

河内長野市
介護予防・日常生活圏域二一ズ調査
報告書

令和 8(2026)年 3 月
河内長野市

目次

I. 調査の概要	1
調査の目的	1
調査概要	1
報告書作成にあたって	1
II. 調査結果	2
回答者の属性	2
問1 あなたのご家族や生活状況について	8
問2 からだを動かすことについて	23
問3 食べることについて	49
問4 毎日の生活について	72
問5 地域での活動について	109
問6 就労について	119
問7 たすけあいについて	126
問8 健康について	159
問9 認知症にかかる相談窓口の把握について	188
問10 認知症について	194
問11 住み慣れた地域での暮らしについて	221
III. リスクを有する高齢者について	249
1. 運動器機能リスクを有する高齢者	249
2. 栄養改善リスクを有する高齢者	251
3. 咀嚼機能リスクを有する高齢者	252
4. 閉じこもりリスクを有する高齢者	253
5. 認知症リスクを有する高齢者	254
6. うつリスクを有する高齢者	255
7. IADLが低い高齢者	257
8. 転倒リスクを有する高齢者	259
IV. 日常生活圏域ごとの特徴と課題	260
1. 長野小学校区	260
2. 小山田小学校区	260
3. 天野小学校区	261
4. 高向小学校区	261
5. 三日市小学校区	262
6. 天見小学校区	263
7. 川上小学校区	263
8. 千代田小学校区	264
9. 楠小学校区	264

10.	加賀田小学校区.....	265
11.	石仏小学校区.....	265
12.	美加の台小学校区.....	265
13.	南花台小学校区.....	266
V.	介護予防に着目した課題整理.....	267
1.	生活機能・健康状態の分析(個人の要因).....	267
2.	生活環境・社会参加の分析(環境の要因).....	267
3.	幸福度と介護予防.....	268
4.	サービス利用・今後の意向分析(支援の要因).....	268
5.	デジタル活用の格差(デジタル・ディバイド).....	269

I. 調査の概要

調査の目的

河内長野市介護予防・日常生活圏域ニーズ調査は、河内長野市第10期高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画の策定にむけて、本市にお住まいの要介護1～5の方を除く65歳以上の方から無作為に選ばせていただいた4,000の方を対象に、現在の心身の状況や、皆様を取り巻く環境の変化などを把握し、計画の策定に向けての基礎資料を作成することを目的として実施しました。

調査概要

調査期間	令和7年11月17日から12月19日
調査方法	郵送による調査票の配布・回収
調査対象者	本市にお住まいの要介護1～5の方を除く65歳以上の方
調査対象者数	4,000
有効回答数	2,875
有効回答率	71.9%

報告書作成にあたって

- ① 第9期調査との比較検討を行いました。
- ② 日常生活圏域別(小学校区)の集計分析を行いました。
- ③ 属性別クロス集計は、男女別、年齢区分別(前期高齢者、後期高齢者)、介護の有無別について集計を行い、報告書には有意な差が認められるものみの記載にとどめました。
- ④ 介護の有無別は問1-2で「介護・介助は必要ない」を「介護は不要」、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」または「現在、何らかの介護を受けている」を「介護は必要」として集計分析しました。
- ⑤ わかりやすい報告書にするため、グラフ表示や文中における質問項目の表示を簡略にしている場合があります。
- ⑥ 割合(%)は端数処理(小数点第2位で四捨五入)を行っているため、合計が100%にならない場合があります。

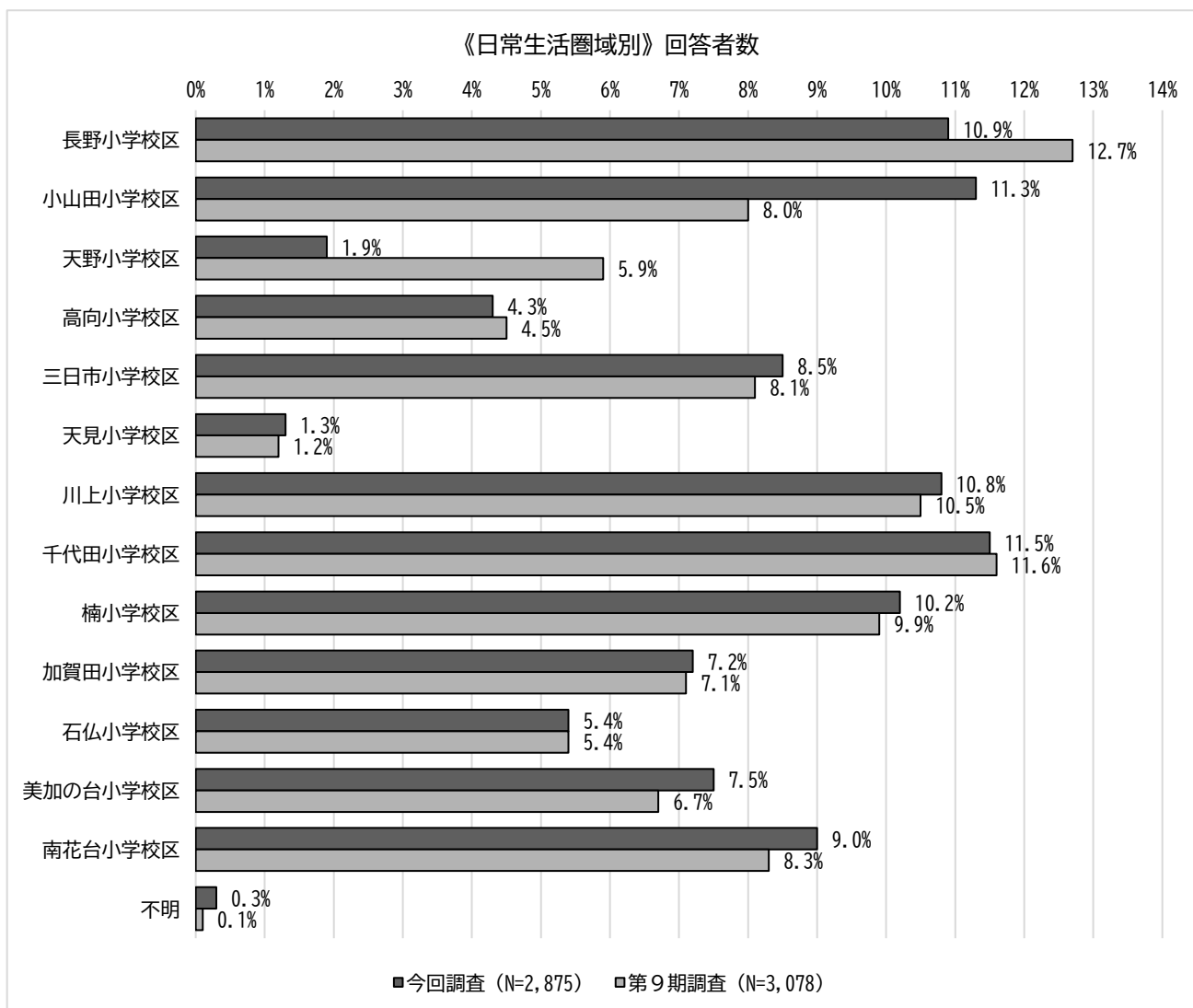
II. 調査結果

回答者の属性

① 日常生活圏域別回答者数

「千代田小学校区」が 11.5%と最も多く、次いで「小山田小学校区」は 11.3%、「長野小学校区」は 10.9%、「川上小学校区」は 10.8%、「楠小学校区」は 10.2%となっています。

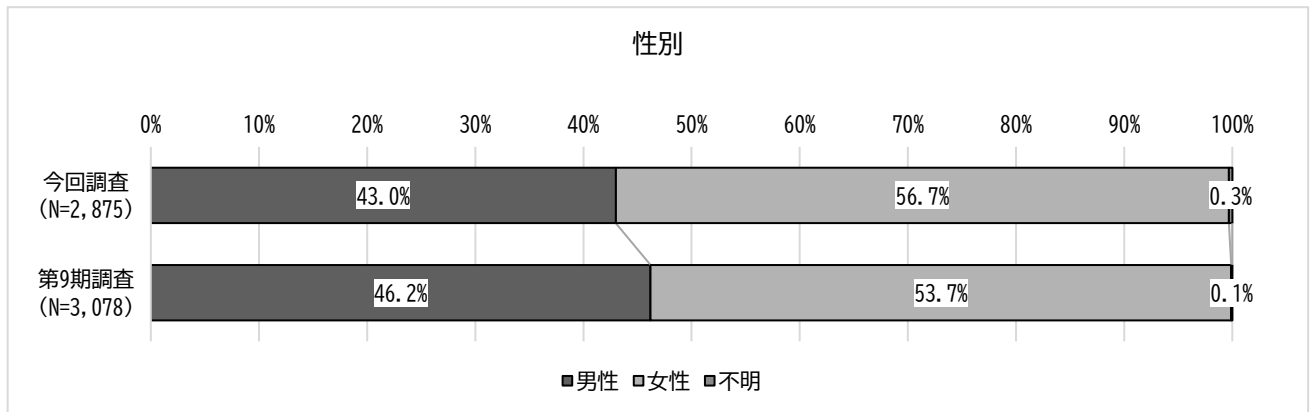
第 9 期調査と比較すると、「天野小学校区」は 5.9%から 1.9%へと、4.0 ポイント減少し、「小山田小学校区」が 8.0%から 11.3%へと 3.3 ポイント増加しています。



② 回答者の男女比

回答者の男女比を見ると、「女性」が 56.7%に対し、「男性」は 43.0%と、「女性」が「男性」を 13.7 ポイント上回っています。

第 9 期調査と比較すると、「女性」は 53.7%から 56.7%へと 3.0 ポイント増加し、「男性」は 46.2%から 43.0%へと 3.2 ポイント減少しています。



《日常生活圏域別》

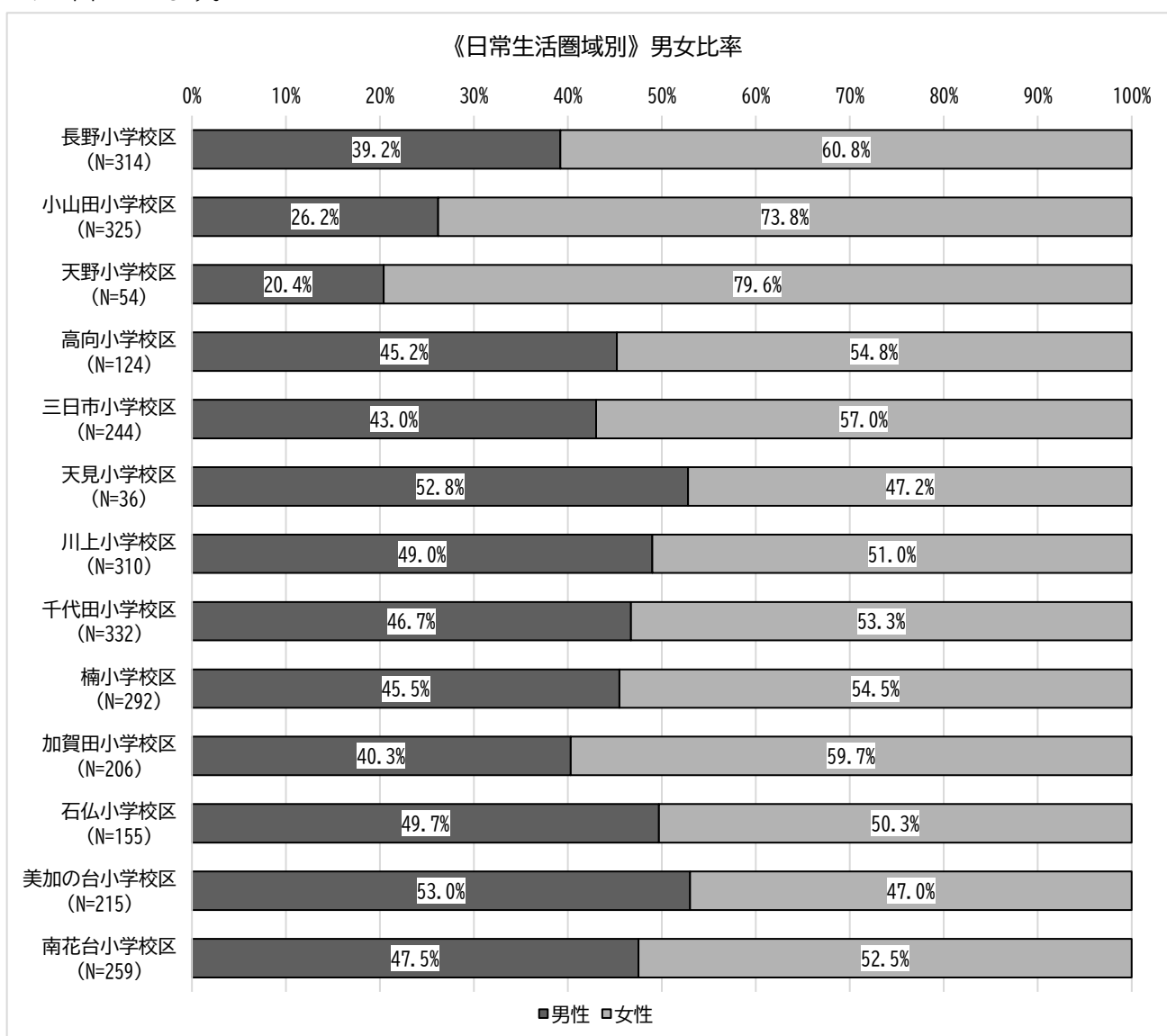
回答者の男女差が大きい圏域を見ると、「天野小学校区」は「女性」が 79.6%に対し、「男性」は 20.4%と、「女性」が「男性」を 59.2 ポイント上回っています。

「小山田小学校区」は「女性」が 73.8%に対し、「男性」は 26.2%と、「女性」が「男性」を 47.6 ポイント上回っています。

「長野小学校区」は「女性」が 60.8%に対し、「男性」は 39.2%と、「女性」が「男性」を 21.6 ポイント上回っています。

「加賀田小学校区」は「女性」が 59.7%に対し、「男性」は 40.3%と、「女性」が「男性」を 19.4 ポイント上回っています。

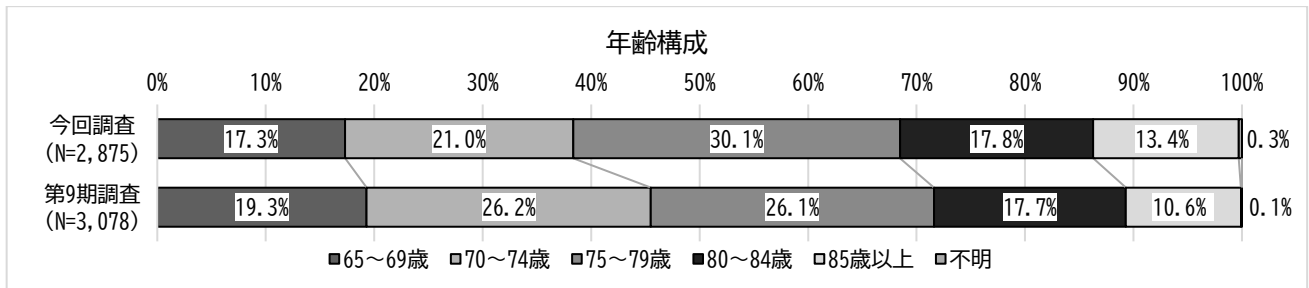
反対に、「美加の台小学校区」は「男性」が 53.0%に対し、「女性」は 47.0%と、「男性」が「女性」を 6.0 ポイント上回っています。



③ 年齢構成

「75～79 歳」が 30.1%と最も多く、次いで「70～74 歳」が 21.0%、「80～84 歳」が 17.8%となっています。

第 9 期調査と比較すると、「75～79 歳」は 26.1%から 30.1%へと 4.0 ポイント増加し、「70～74 歳」は 26.2%から 21.0%へと 5.2 ポイント減少しています。



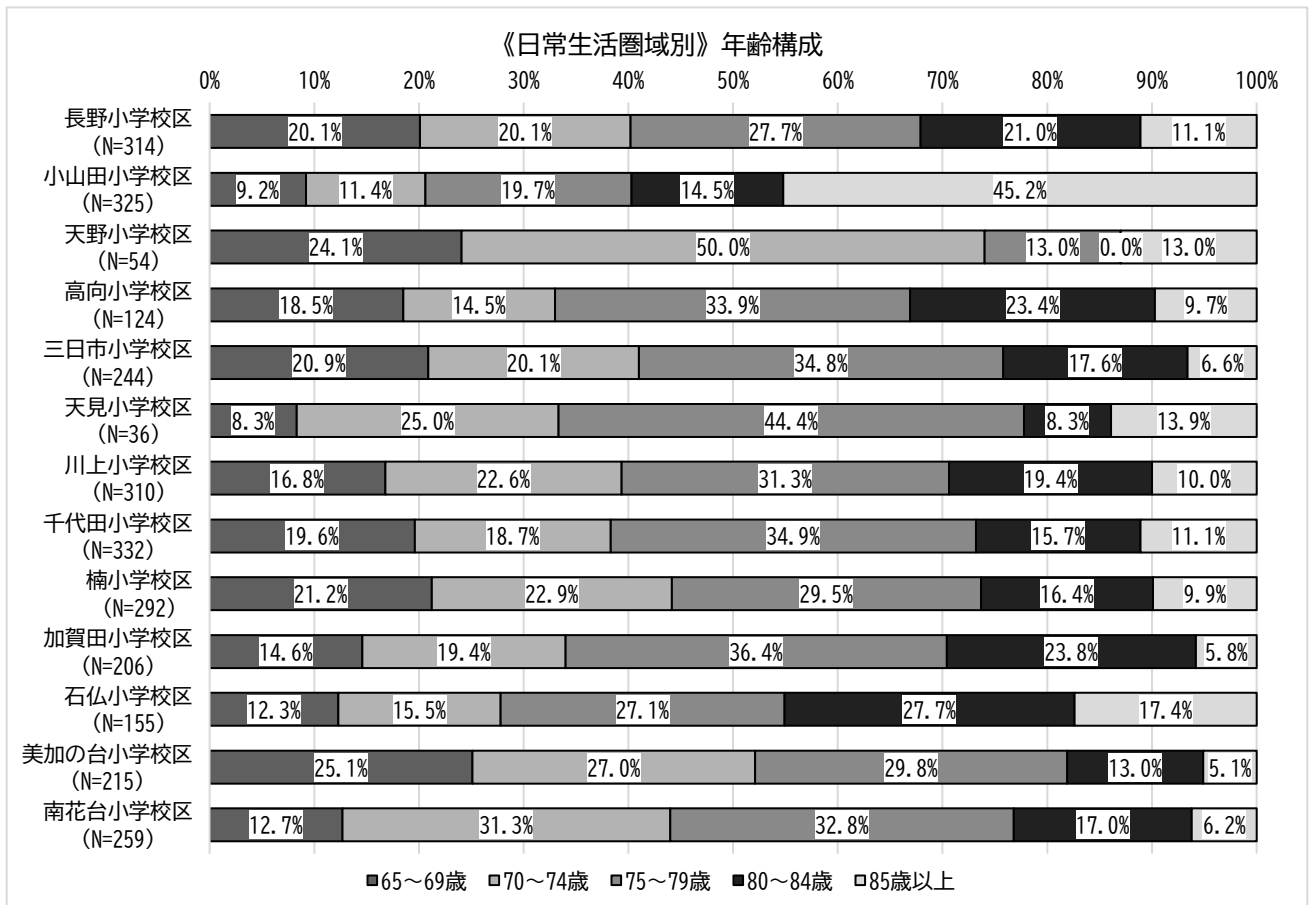
《日常生活圏域別》

「70～74 歳」が最も多い日常生活圏域は、「天野小学校区」の 50.0%となっています。

「75～79 歳」が最も多い日常生活圏域は、「天見小学校区」の 44.4%、「加賀田小学校区」の 36.4%、「千代田小学校区」の 34.9%、「三日市小学校区」の 34.8%、「高向小学校区」の 33.9%、「南花台小学校区」の 32.8%、「川上小学校区」の 31.3%、「美加の台小学校区」の 29.8%、「楠小学校区」の 29.5%、「長野小学校区」の 27.7%となっています。

「80～84 歳」が最も多い日常生活圏域は、「石仏小学校区」の 27.7%となっています。

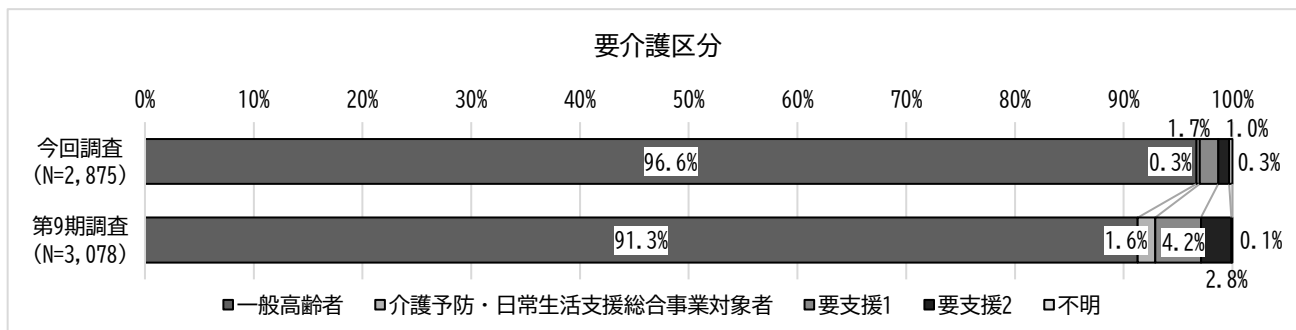
「85 歳以上」が最も多い日常生活圏域は、「小山田小学校区」の 45.2%となっています。



④ 要介護区分

「一般高齢者」が 96.6%と最も多く、次いで「要支援 1」は 1.7%、「要支援 2」は 1.0%、「介護予防・日常生活支援総合事業対象者」は 0.3%となっています。

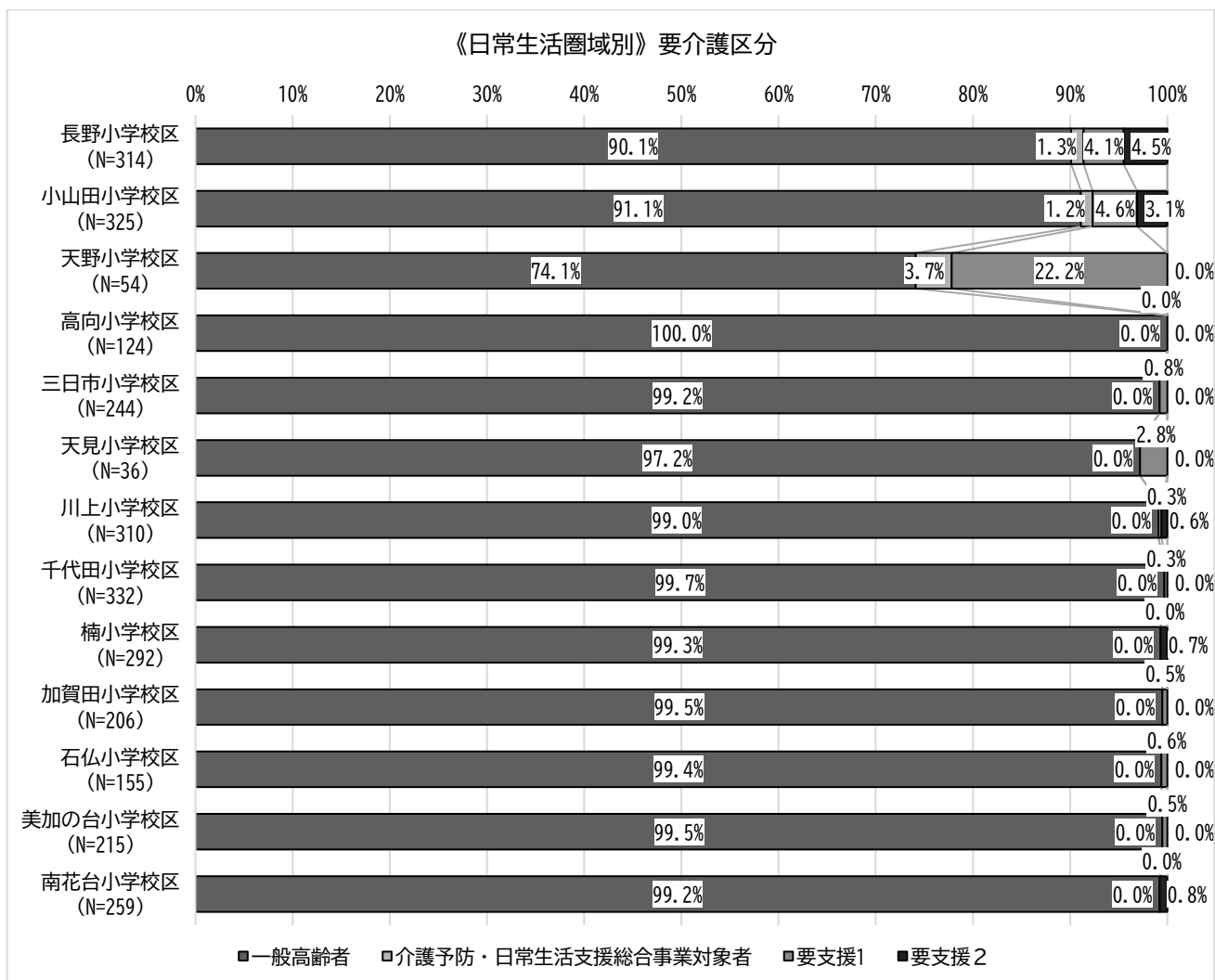
第 9 期調査と比較すると、「一般高齢者」が 91.3%から 96.6%へと 5.3 ポイント増加しています。



《日常生活圏域別》

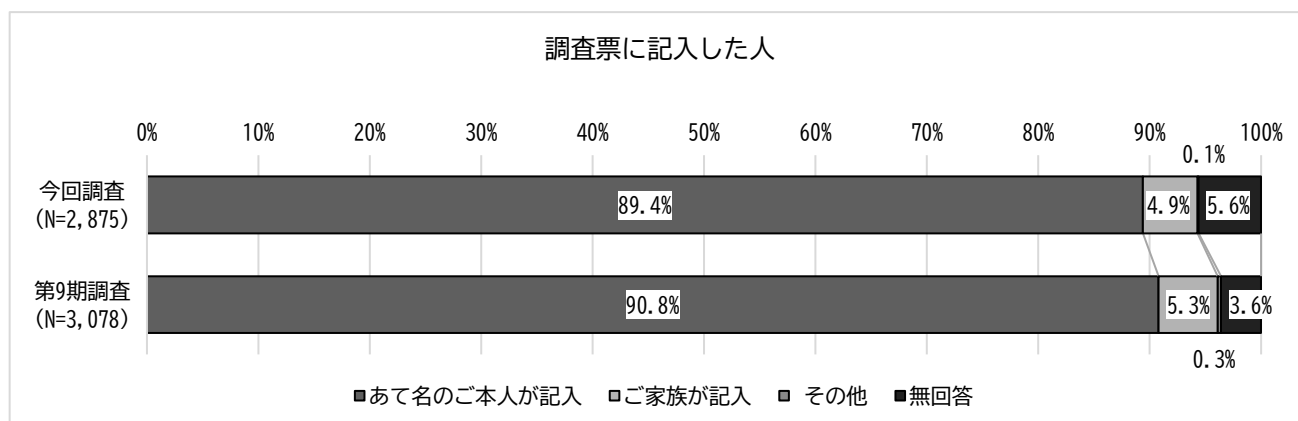
「一般高齢者」は「高向小学校区」が 100.0%と最も多く、次いで「千代田小学校区」が 99.7%、「加賀田小学校区」と「美加の台小学校区」が共に 99.5%、「石仏小学校区」が 99.4%となっています。

「要支援 1」は「天野小学校区」が 22.2%と最も多く、次いで「小山田小学校区」が 4.6%、「長野小学校区」が 4.1%、「天見小学校区」が 2.8%、「三日市小学校区」が 0.8%となっています。



⑤ 調査票に記入した人

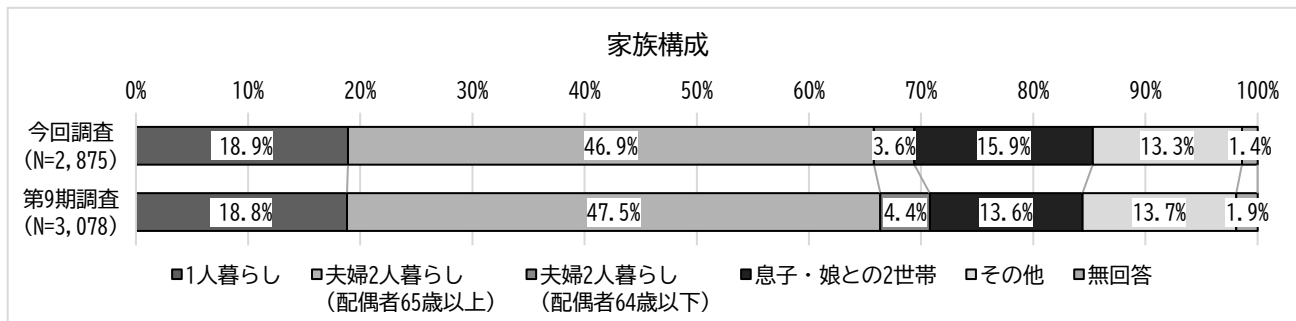
「あて名のご本人が記入」が 89.4%と最も多く、次いで「ご家族が記入」が 4.9%となっています。



問1 あなたのご家族や生活状況について

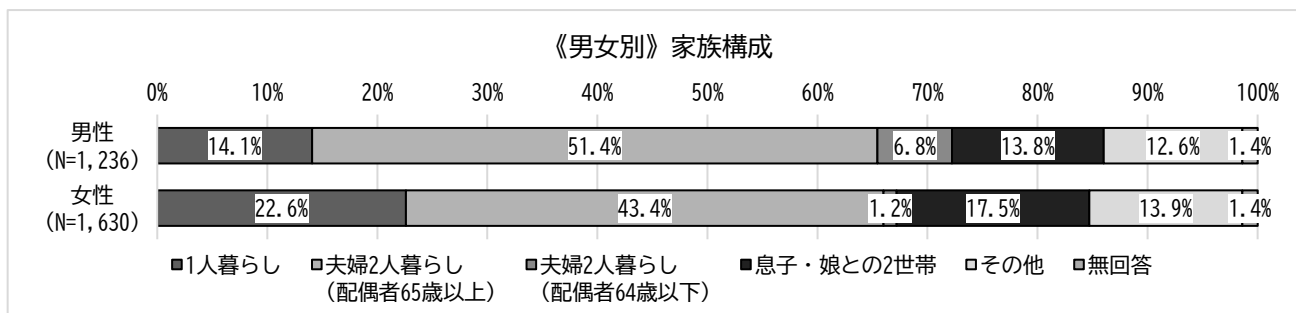
問1-1 家族構成をお教えてください(〇はひとつ)

「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が46.9%と最も多く、次いで「1人暮らし」が18.9%、「息子・娘との2世帯」が15.9%となっており、第9期調査との有意な差はありません。



《男女別》

男女共、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が最も多く、次いで「1人暮らし」となっていますが、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」は「男性」が51.4%に対し、「女性」は43.4%と、「男性」が「女性」を8.0ポイント上回り、「1人暮らし」は「女性」が22.6%に対し、「男性」が14.1%と、「女性」が「男性」を8.5ポイント上回っています。

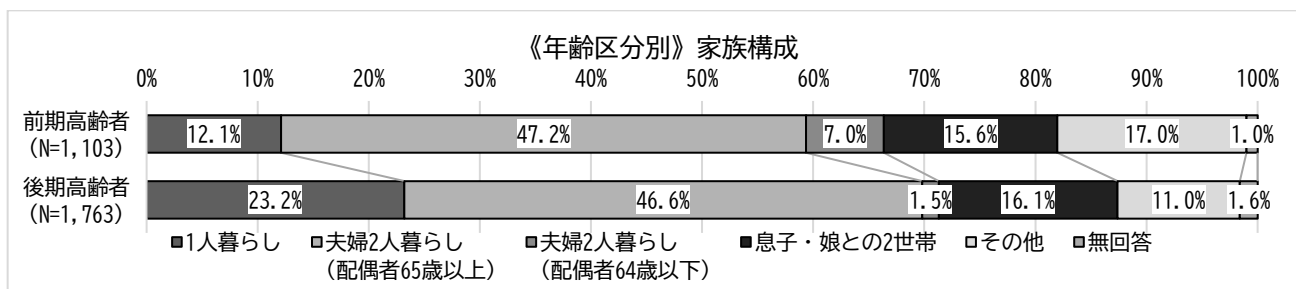


《年齢区分別》

「前期高齢者」では「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が47.2%と最も多く、次いで「その他」が17.0%、「息子・娘との2世帯」が15.6%となっています。

「後期高齢者」では「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が46.6%と最も多く、次いで「1人暮らし」が23.2%、「息子・娘との2世帯」が16.1%となっています。

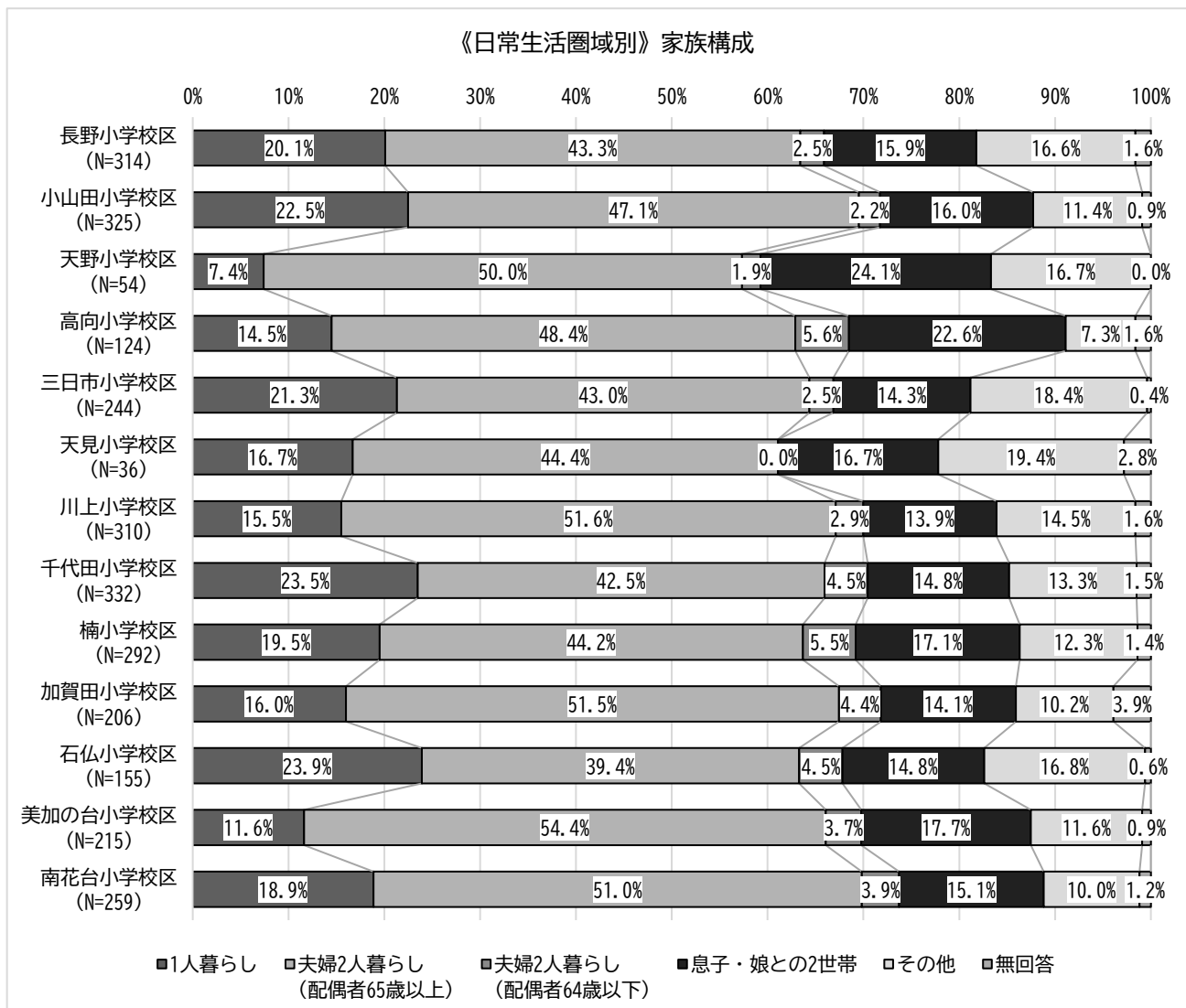
「前期高齢者」と「後期高齢者」を比較すると、「その他」は「前期高齢者」が17.0%に対し、「後期高齢者」は11.0%と、「前期高齢者」が「後期高齢者」を6.0ポイント上回り、「1人暮らし」は「後期高齢者」が23.2%に対し、「前期高齢者」は12.1%と、「後期高齢者」が「前期高齢者」を11.1ポイント上回っています。



《日常生活圏域別》

「1人暮らし」は「石仏小学校区」が23.9%と最も多く、次いで「千代田小学校区」が23.5%、「小山田小学校区」が22.5%、「三日市小学校区」が21.3%、「長野小学校区」が20.1%となっています。

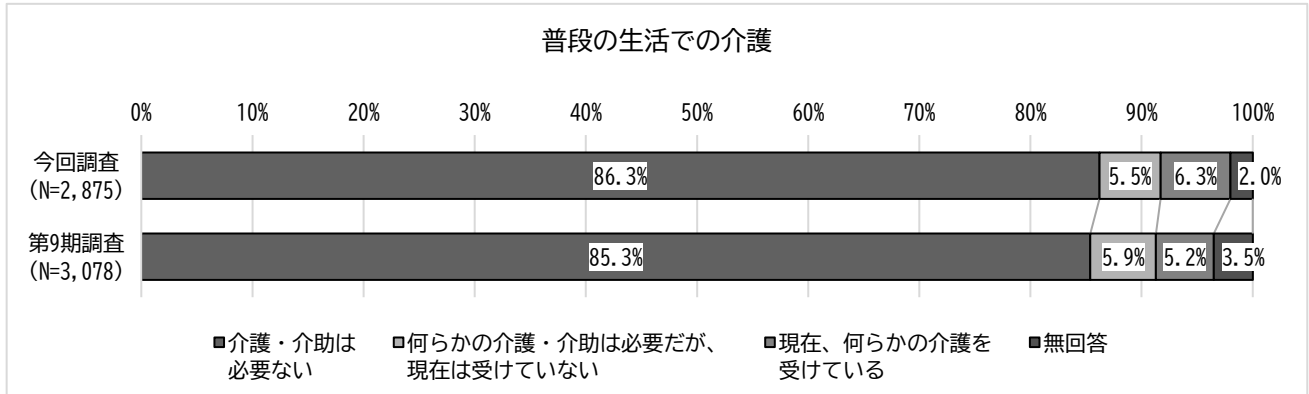
「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」は「美加の台小学校区」が54.4%と最も多く、次いで「川上小学校区」が51.6%、「加賀田小学校区」が51.5%、「南花台小学校区」が51.0%、「天野小学校区」が50.0%となっています。



問1-2 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか(○はひとつ)

「介護・介助は必要ない」が 86.3%と最も多く、次いで「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が 5.5%、「現在、何らかの介護を受けている」が 6.3%となっています。

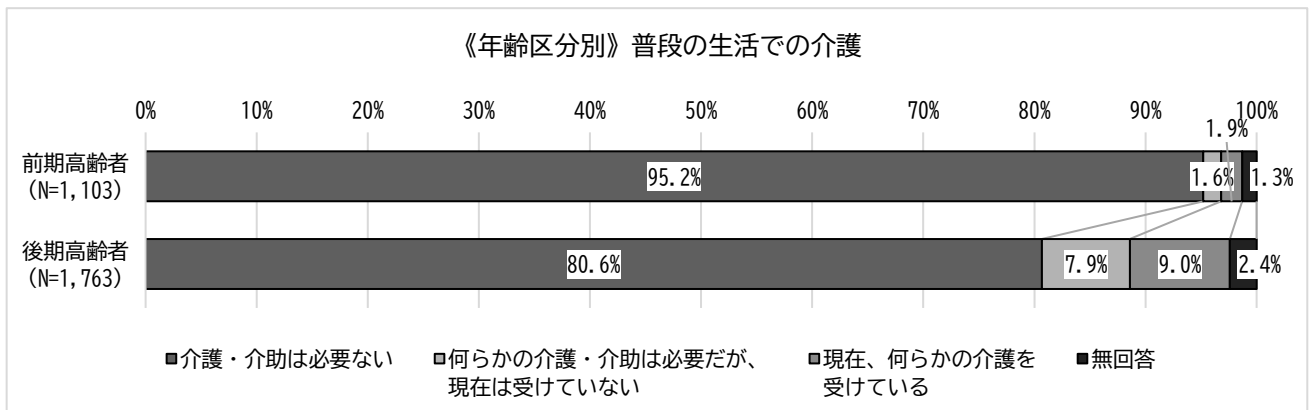
第 9 期調査との有意な差はありません。



《年齢区分別》

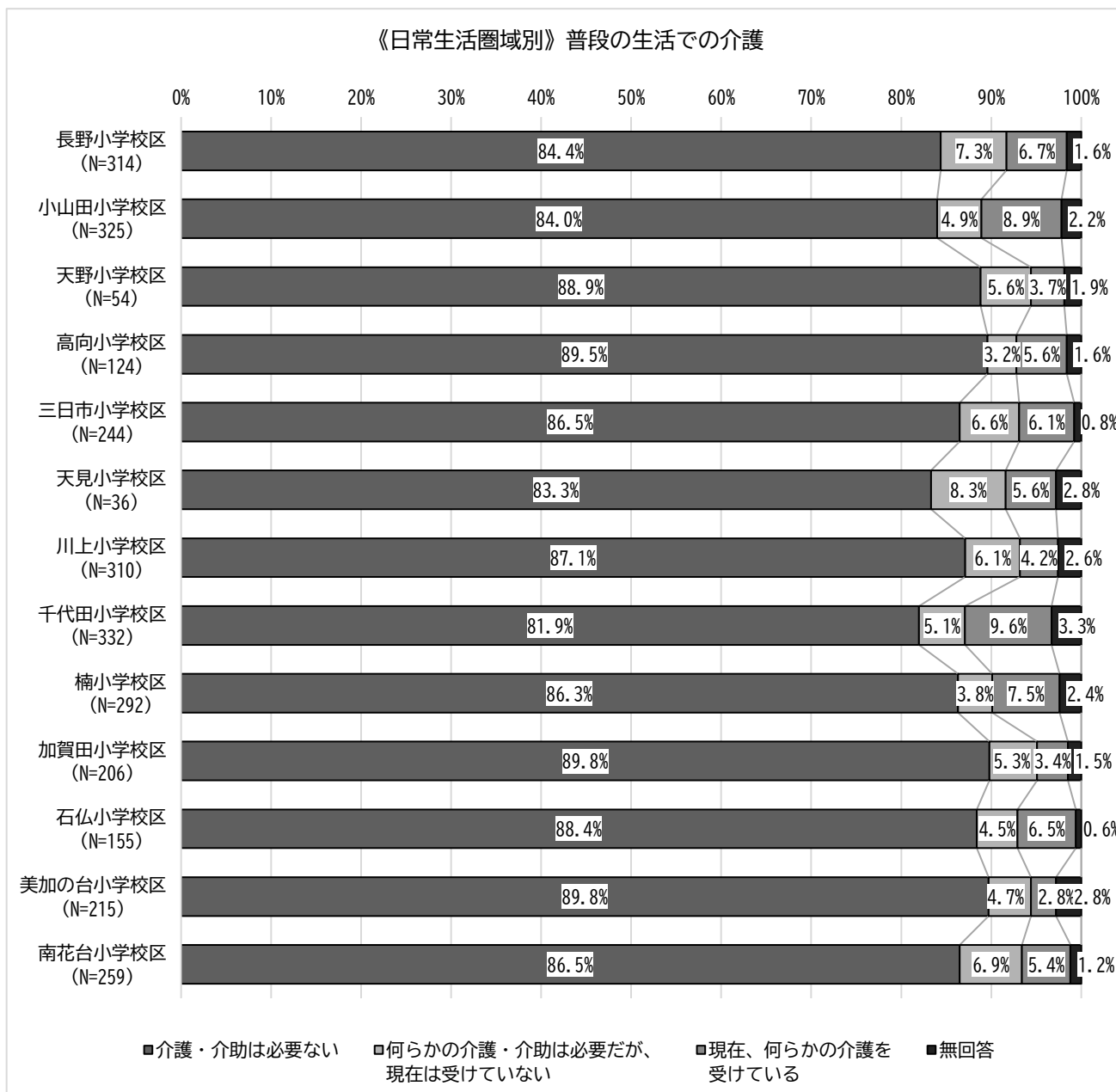
「介護・介助は必要ない」は「前期高齢者」が95.2%に対し、「後期高齢者」は 80.6%と、「前期高齢者」が「後期高齢者」を 14.6 ポイント上回り、「現在、何らかの介護を受けている」は「後期高齢者」が 9.0%に対し、「前期高齢者」は 1.9%と、「後期高齢者」が「前期高齢者」を 7.1 ポイント上回り、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」は「後期高齢者」が 7.9%に対し、「前期高齢者」は 1.6%と、「後期高齢者」が「前期高齢者」を 6.3 ポイント上回っています。

「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」と「現在、何らかの介護を受けている」を合わせた「介護は必要」に着目すると、「後期高齢者」は 16.9%に対し、「前期高齢者」は 3.5%と、「後期高齢者」が「前期高齢者」を 13.4 ポイント上回っています。



《日常生活圏域別》

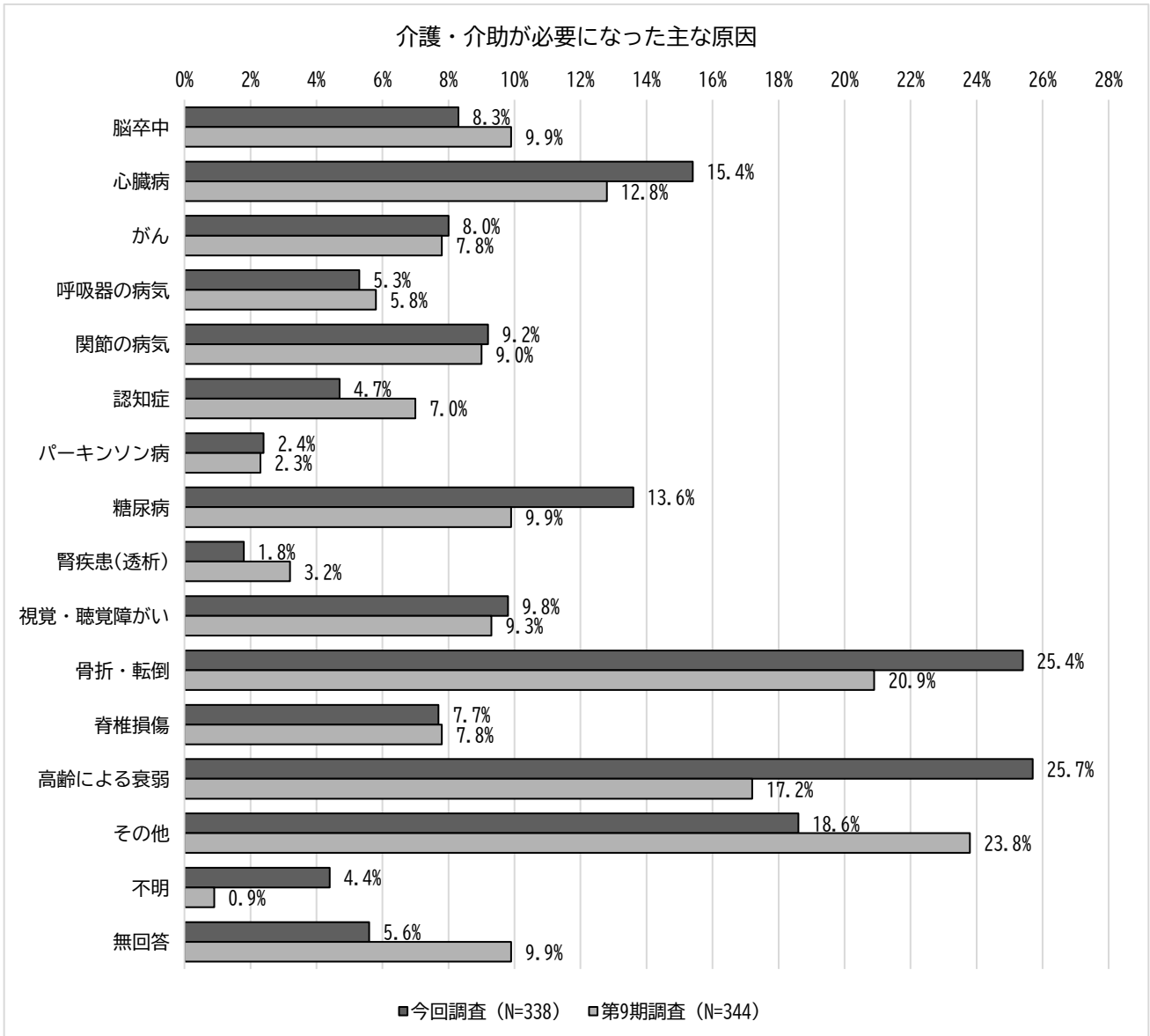
「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」と「現在、何らかの介護を受けている」を合わせた「介護は必要」は「千代田小学校区」が14.7%と最も多く、次いで「長野小学校区」が14.0%、「天見小学校区」が13.9%、「小山田小学校区」が13.8%、「三日市小学校区」が12.7%となっています。



問1-2で「2」または「3」を回答された方(介護・介助が必要な方)のみ
 問1-2-1 介護・介助が必要になった主な原因はなんですか(○はいくつでも)

「高齢による衰弱」が 25.7%と最も多く、次いで「骨折・転倒」が 25.4%、「心臓病」が 15.4%、「糖尿病」が 13.6%、「視覚・聴覚障がい」が 9.8%となっています。

第 9 期調査と比較すると、「高齢による衰弱」は 17.2%から 25.7%へと 8.5 ポイント増加し、「骨折・転倒」は 20.9%から 25.4%へと 4.5 ポイント増加し、「糖尿病」は 9.9%から 13.6%へと 3.7 ポイント増加しています。



《自由記述》

介護・介助が必要になった主な原因について、63 件の回答がありました。

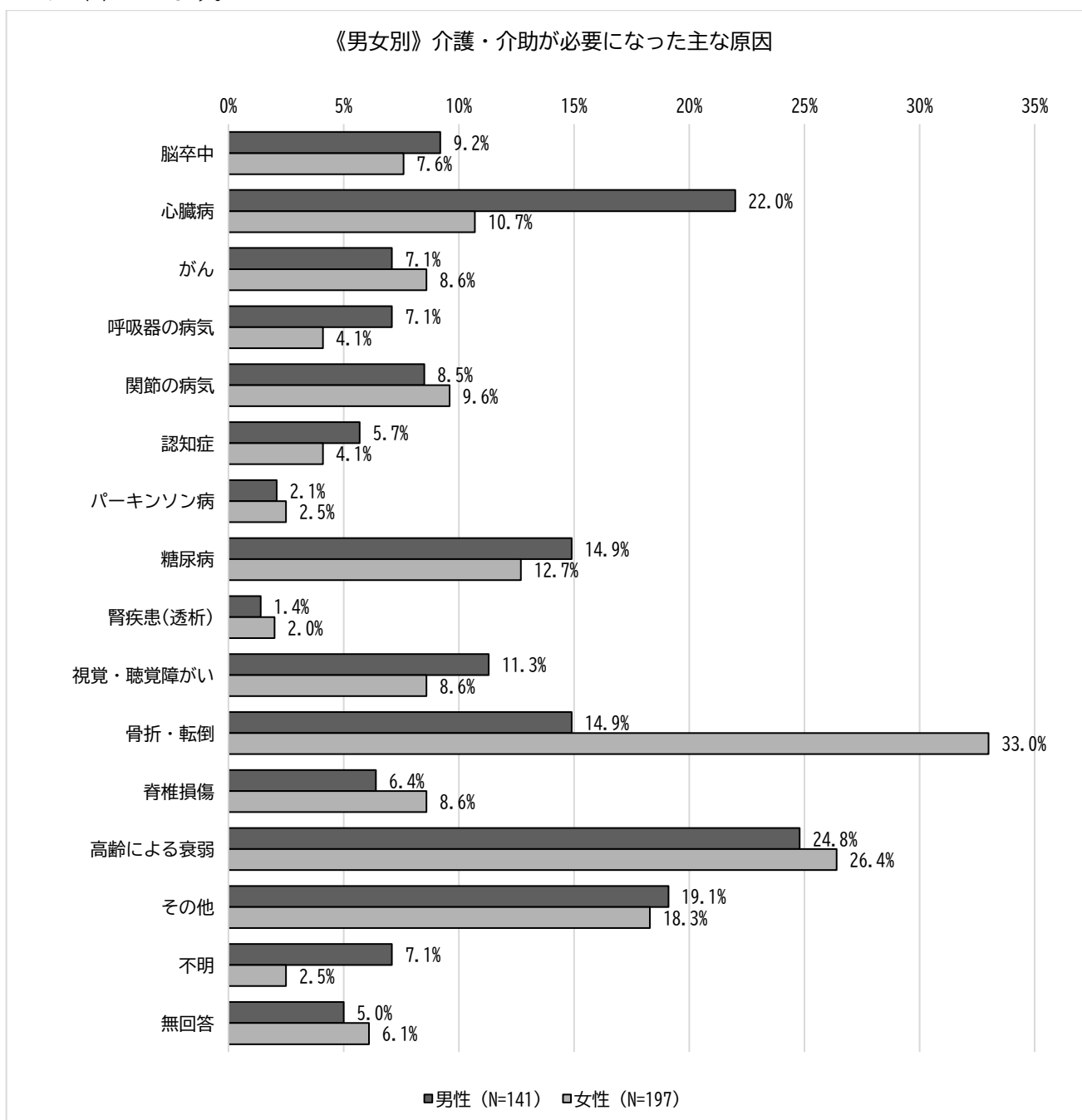
主な原因としては、整形外科的疾患や内科的疾患、事故などが挙げられています。

- 「腰痛」「坐骨神経痛」といった慢性的な痛みを挙げる声が多く見られました。
- 「転倒・骨折」をきっかけとする意見や、手術後の「後遺症」により歩行が不安定になったとする記述もありました。

《男女別》

「男性」は「高齢による衰弱」が24.8%と最も多く、次いで「心臓病」が22.0%、「糖尿病」と「骨折・転倒」が共に14.9%、「視覚・聴覚障がい」が11.3%、「女性」は「骨折・転倒」が33.0%と最も多く、次いで「高齢による衰弱」が26.4%、「糖尿病」が12.7%、「心臓病」が10.7%、「関節の病気」が9.6%となっています。

男女間で差が大きいものは、「心臓病」は「男性」が22.0%に対し、「女性」は10.7%と、「男性」が「女性」を11.3ポイント上回り、「骨折・転倒」は「女性」が33.0%に対し、「男性」は14.9%と、「女性」が「男性」を18.1ポイント上回っています。



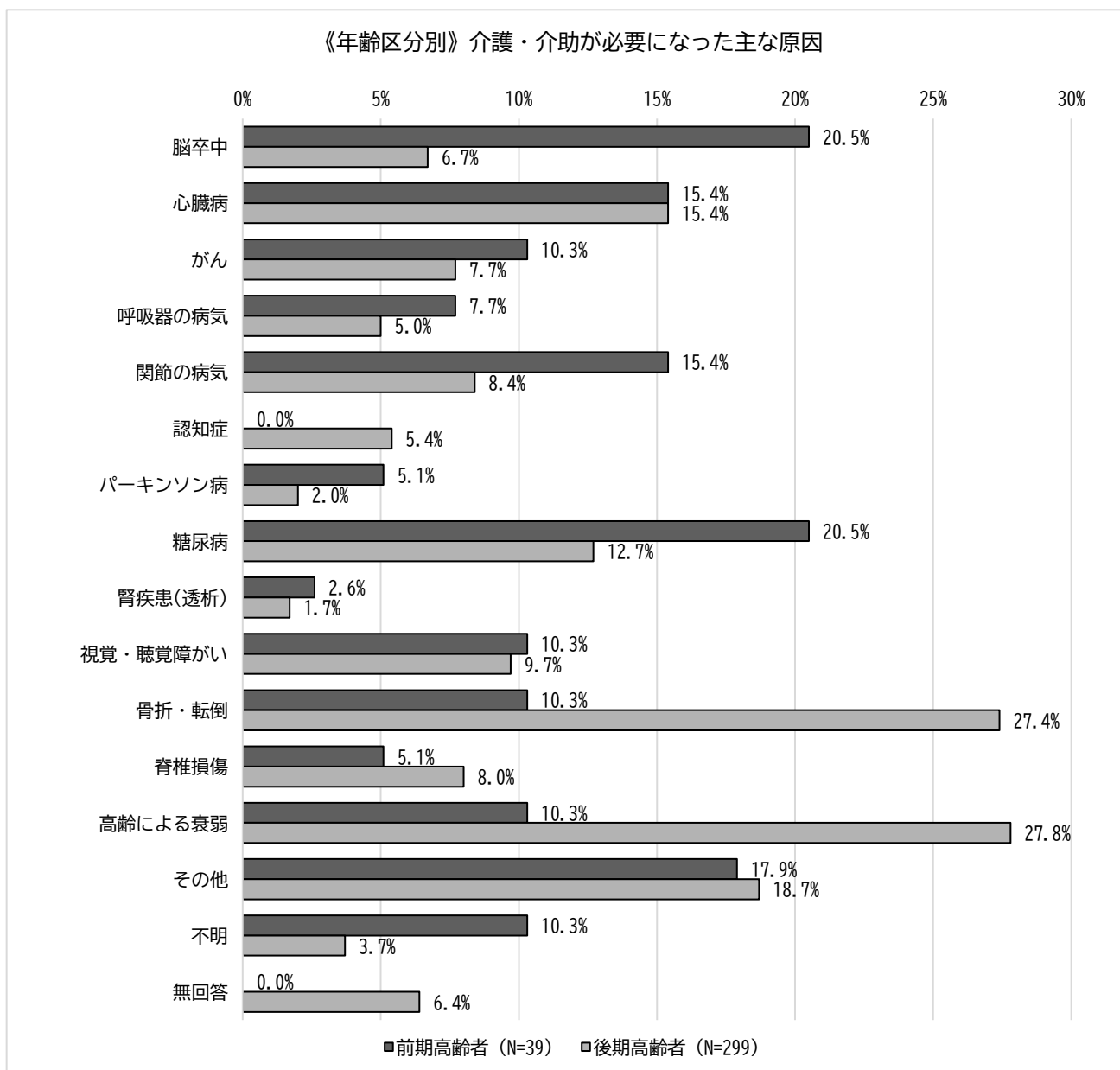
《年齢区分別》

「前期高齢者」では「脳卒中」と「糖尿病」が共に 20.5%と最も多く、次いで「心臓病」と「関節の病気」が共に 15.4%となっています。

「後期高齢者」では「高齢による衰弱」が 27.8%と最も多く、次いで「骨折・転倒」が 27.4%、「心臓病」が 15.4%、「糖尿病」が 12.7%となっています。

「前期高齢者」と「後期高齢者」を比較すると、「高齢による衰弱」は「後期高齢者」が 27.8%に対し、「前期高齢者」は 10.3%と、「後期高齢者」が「前期高齢者」を 17.5 ポイント上回り、「骨折・転倒」は「後期高齢者」が 27.4%に対し、「前期高齢者」は 10.3%と、「後期高齢者」が「前期高齢者」を 17.1 ポイント上回っています。

反対に、「脳卒中」は「前期高齢者」が 20.5%に対し、「後期高齢者」は 6.7%と、「前期高齢者」が「後期高齢者」を 13.8 ポイント上回り、「糖尿病」は「前期高齢者」が 20.5%に対し、「後期高齢者」は 12.7%と、「前期高齢者」が「後期高齢者」を 7.8 ポイント上回り、「関節の病気」は「前期高齢者」が 15.4%に対し、「後期高齢者」は 8.4%と、「前期高齢者」が「後期高齢者」を 7.0 ポイント上回っています。



《日常生活圏域別》

回答の多かった「高齢による衰弱」「骨折・転倒」「心臓病」「糖尿病」に着目して、圏域による比較を行います。

「高齢による衰弱」は「千代田小学校区」が 38.8%と最も多く、次いで「川上小学校区」が 37.5%、「長野小学校区」が 34.1%、「南花台小学校区」が 31.3%、「石仏小学校区」が 29.4%となっています。

「骨折・転倒」は「小山田小学校区」が 33.3%と最も多く、次いで「三日市小学校区」が 32.3%、「美加の台小学校区」が 31.3%、「千代田小学校区」が 30.6%、「南花台小学校区」が 25.0%となっています。

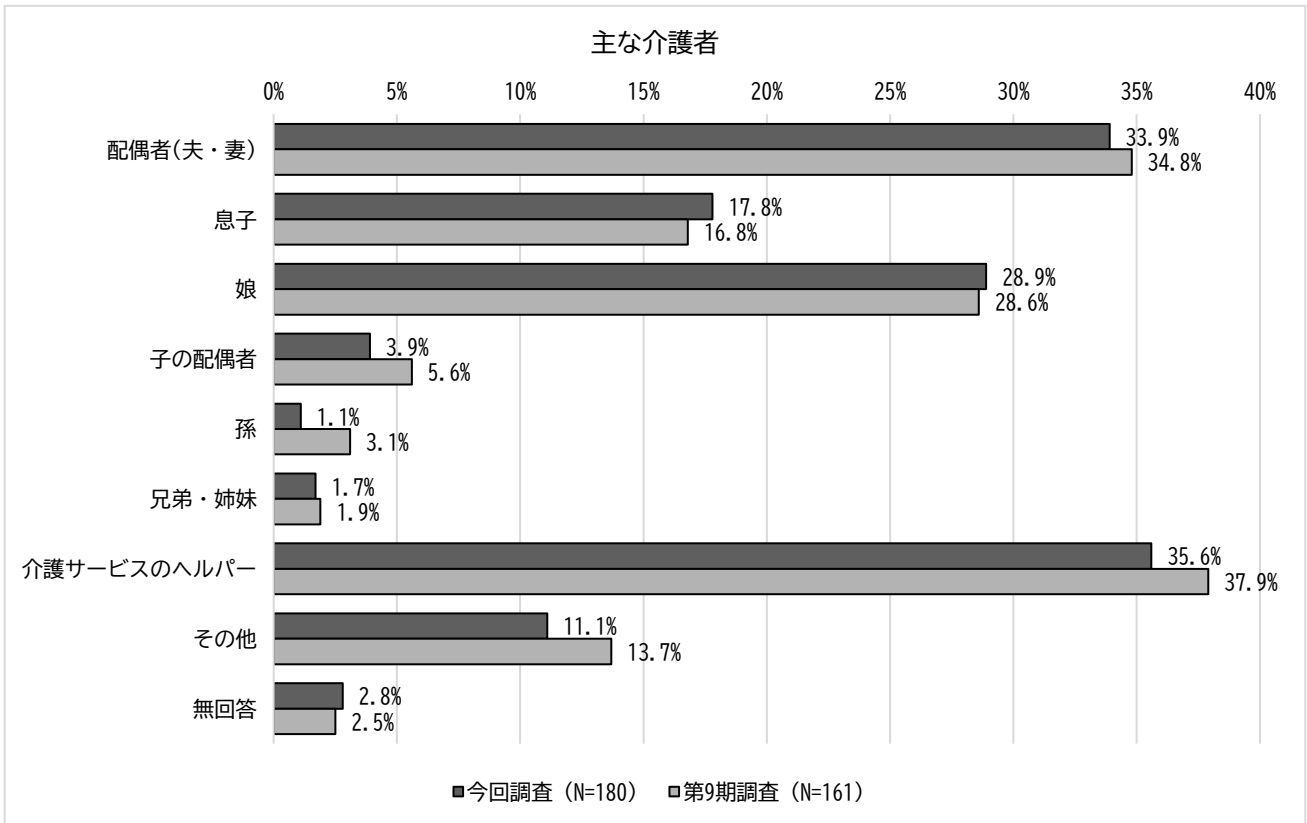
「心臓病」は「石仏小学校区」が 29.4%と最も多く、次いで「高向小学校区」が 27.3%、「加賀田小学校区」が 22.2%、「川上小学校区」が 21.9%、「天見小学校区」が 20.0%となっています。

「糖尿病」は「天野小学校区」が 40.0%と最も多く、次いで「南花台小学校区」が 28.1%、「高向小学校区」が 27.3%、「三日市小学校区」が 25.8%、「石仏小学校区」が 23.5%となっています。

圏域	回答数	脳卒中	心臓病	がん	呼吸器の病気	関節の病気	認知症	パーキンソン病	糖尿病	腎疾患(透析)	障がい 視覚・聴覚	骨折・転倒	脊椎損傷	衰弱 高齢による	その他	不明	無回答
長野	44	9.1%	18.2%	11.4%	6.8%	9.1%	11.4%	2.3%	11.4%	0.0%	15.9%	20.5%	11.4%	34.1%	9.1%	2.3%	11.4%
小山田	45	6.7%	8.9%	8.9%	2.2%	8.9%	0.0%	2.2%	2.2%	2.2%	6.7%	33.3%	11.1%	13.3%	22.2%	4.4%	6.7%
天野	5	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	40.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%
高向	11	0.0%	27.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	27.3%	0.0%	18.2%	18.2%	9.1%	18.2%	18.2%	0.0%	0.0%
三日市	31	6.5%	9.7%	9.7%	9.7%	16.1%	3.2%	3.2%	25.8%	0.0%	6.5%	32.3%	22.6%	25.8%	19.4%	3.2%	3.2%
天見	5	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	20.0%
川上	32	15.6%	21.9%	0.0%	3.1%	6.3%	3.1%	0.0%	0.0%	6.3%	9.4%	18.8%	0.0%	37.5%	6.3%	3.1%	3.1%
千代田	49	10.2%	14.3%	4.1%	2.0%	8.2%	10.2%	4.1%	16.3%	0.0%	8.2%	30.6%	6.1%	38.8%	18.4%	6.1%	6.1%
楠	33	6.1%	9.1%	3.0%	6.1%	12.1%	9.1%	0.0%	6.1%	3.0%	18.2%	24.2%	9.1%	9.1%	36.4%	3.0%	3.0%
加賀田	18	0.0%	22.2%	5.6%	0.0%	5.6%	0.0%	0.0%	5.6%	0.0%	0.0%	16.7%	11.1%	27.8%	22.2%	5.6%	11.1%
石仏	17	0.0%	29.4%	11.8%	11.8%	11.8%	0.0%	11.8%	23.5%	5.9%	0.0%	23.5%	0.0%	29.4%	11.8%	11.8%	5.9%
美加の台	16	18.8%	12.5%	12.5%	18.8%	12.5%	6.3%	0.0%	18.8%	0.0%	25.0%	31.3%	0.0%	6.3%	12.5%	0.0%	0.0%
南花台	32	9.4%	15.6%	18.8%	0.0%	6.3%	0.0%	3.1%	28.1%	3.1%	3.1%	25.0%	0.0%	31.3%	28.1%	6.3%	3.1%

問1-2 で「3. 現在、何らかの介護を受けている」を回答された方のみ
 問1-2-2 主にどなたの介護、介助を受けていますか(○はいくつでも)

「介護サービスのヘルパー」が35.6%と最も多く、次いで「配偶者(夫・妻)」が33.9%、「娘」が28.9%、「息子」が17.8%で、第9期調査との有意な差はありません。



《自由記述》

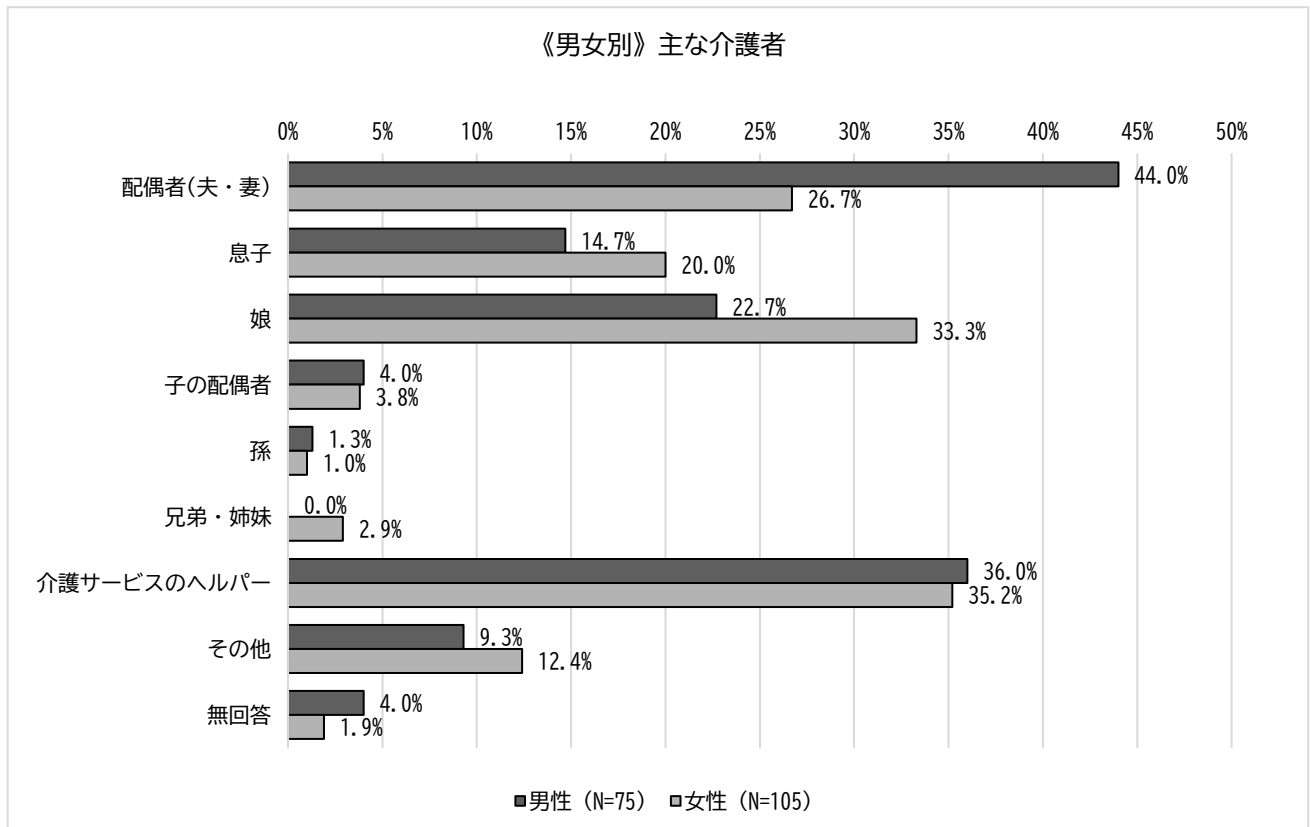
誰に介護されているかについて、20件の回答があり、主な介護・介助の担い手として、友人などが挙げられました。

- 親族以外の支援者として、「友人」や「後見人」が挙げられました。
- 介助者だけでなく、「歩行器を借りて歩行」という用具の利用に関する記述もありました。

《男女別》

「男性」は「配偶者(夫・妻)」が 44.0%と最も多く、次いで「介護サービスのヘルパー」が 36.0%、「娘」が 22.7%、「女性」は「介護サービスのヘルパー」が35.2%と最も多く、次いで「娘」が33.3%、「配偶者(夫・妻)」が 26.7%となっています。

「配偶者(夫・妻)」は「男性」が44.0%に対し、「女性」は26.7%と、「男性」が「女性」を17.3ポイント上回り、「娘」は「女性」が33.3%に対し、「男性」は22.7%と、「女性」が「男性」を10.6ポイント上回っています。



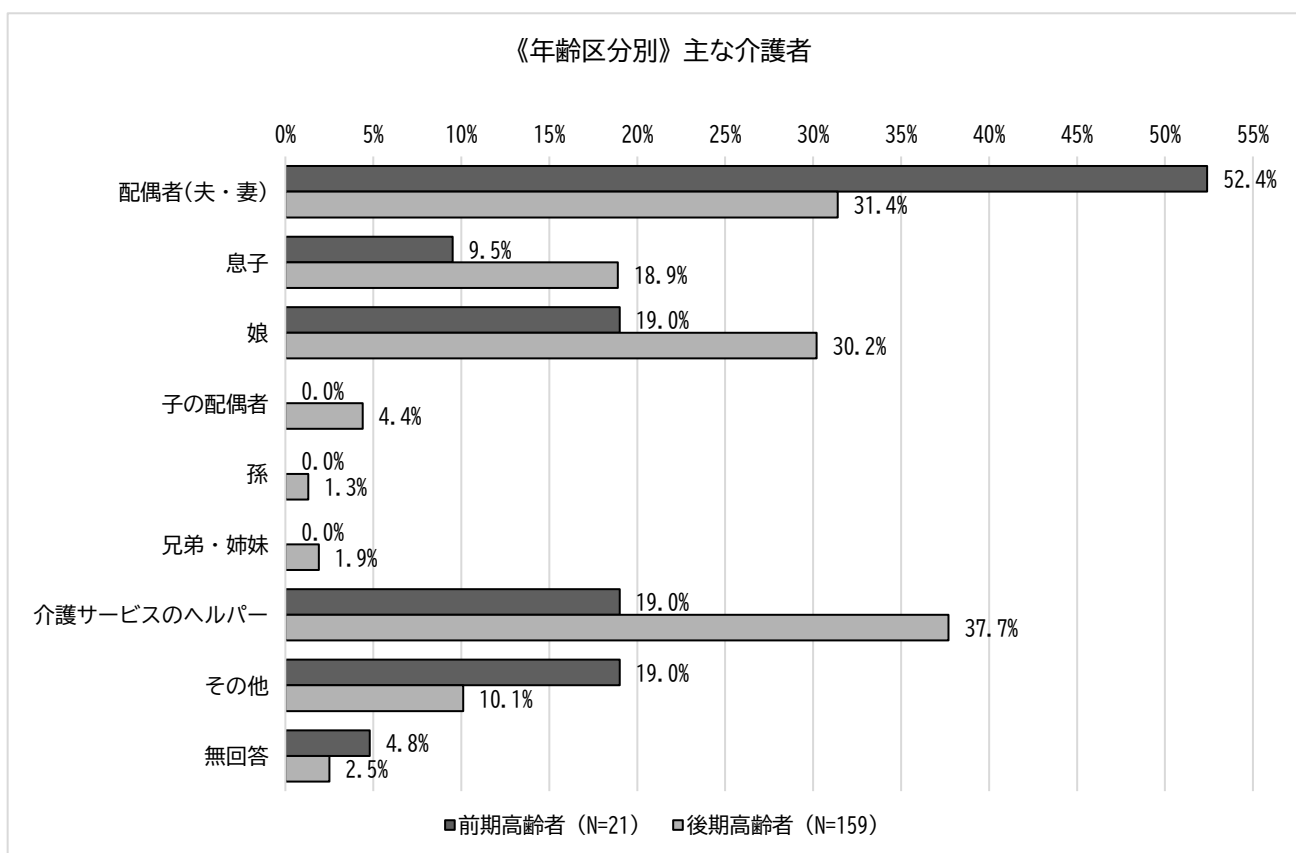
《年齢区分別》

「前期高齢者」は「配偶者(夫・妻)」が 52.4%と最も多く、次いで「娘」と「介護サービスのヘルパー」が共に 19.0%、「後期高齢者」は「介護サービスのヘルパー」が 37.7%と最も多く、次いで「配偶者(夫・妻)」が 31.4%、「娘」が 30.2%、「息子」が 18.9%となっています。

「配偶者(夫・妻)」は「前期高齢者」が52.4%に対し、「後期高齢者」は31.4%と、「前期高齢者」が「後期高齢者」を 21.0 ポイント上回っています。

「介護サービスのヘルパー」は「後期高齢者」が 37.7%に対し、「前期高齢者」は 19.0%と、「後期高齢者」が「前期高齢者」を 18.7 ポイント上回っています。

「娘」は「後期高齢者」が 30.2%に対し、「前期高齢者」は 19.0%と、「後期高齢者」が「前期高齢者」を 11.2 ポイント上回っています。「息子」は「後期高齢者」が 18.9%に対し、「前期高齢者」は 9.5%と、「後期高齢者」が「前期高齢者」を 9.4 ポイント上回っています。



《日常生活圏域別》

回答の多かった「介護サービスのヘルパー」「配偶者(夫・妻)」「娘」に着目して、圏域による比較を行います。ただし、回答数が少ないため、回答誤差が大きいと思われることから、参考値とします。

「介護サービスのヘルパー」は「加賀田小学校区」が 57.1%と最も多く、次いで「美加の台小学校区」が 50.0%、「三日市小学校区」が 46.7%、「小山田小学校区」が 41.4%、「楠小学校区」が 40.9%となっています。

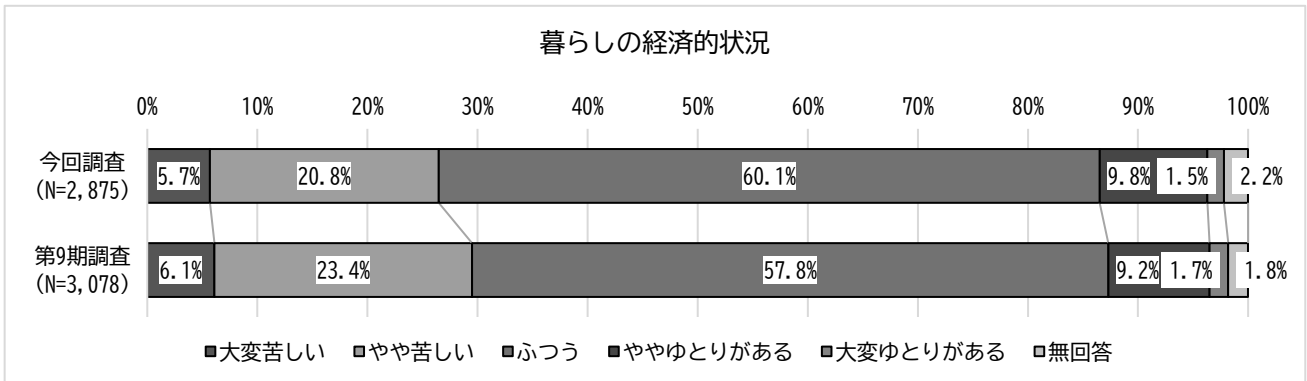
「配偶者(夫・妻)」は「天野小学校区」が 100.0%と最も多く、次いで「美加の台小学校区」が 66.7%、「楠小学校区」と「天見小学校区」が共に 50.0%、「川上小学校区」が 38.5%となっています。

「娘」は「加賀田小学校区」が 57.1%と最も多く、次いで「天野小学校区」が 50.0%、「高向小学校区」が 42.9%、「川上小学校区」が 38.5%、「南花台小学校区」が 35.7%となっています。

圏域	回答数	配偶者(夫・妻)	息子	娘	子の配偶者	孫	兄弟・姉妹	介護サービスのヘルパー	その他	無回答
長野	21	33.3%	28.6%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	19.0%	9.5%
小山田	29	34.5%	17.2%	27.6%	6.9%	0.0%	0.0%	41.4%	13.8%	3.4%
天野	2	100.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
高向	7	28.6%	14.3%	42.9%	14.3%	0.0%	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%
三日市	15	33.3%	6.7%	26.7%	0.0%	0.0%	0.0%	46.7%	13.3%	0.0%
天見	2	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%
川上	13	38.5%	15.4%	38.5%	15.4%	0.0%	0.0%	23.1%	7.7%	0.0%
千代田	32	18.8%	25.0%	31.3%	3.1%	6.3%	6.3%	40.6%	6.3%	3.1%
楠	22	50.0%	9.1%	13.6%	0.0%	0.0%	0.0%	40.9%	9.1%	0.0%
加賀田	7	28.6%	28.6%	57.1%	0.0%	0.0%	0.0%	57.1%	0.0%	0.0%
石仏	10	30.0%	30.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%	10.0%	0.0%
美加の台	6	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%
南花台	14	21.4%	14.3%	35.7%	7.1%	0.0%	0.0%	35.7%	28.6%	0.0%

問1-3 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか(○はひとつ)

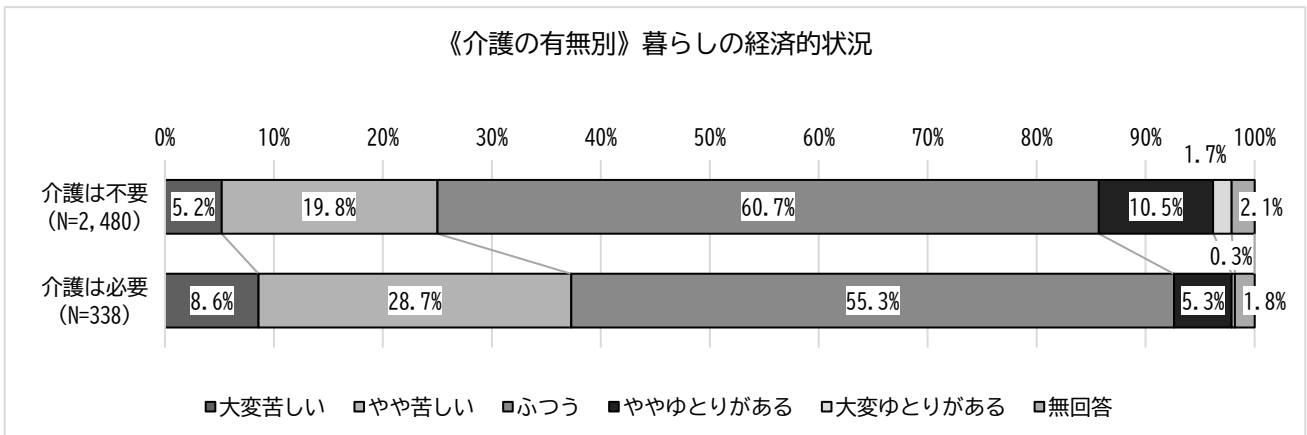
「ふつう」が 60.1%と最も多く、「大変苦しい」の 5.7%と「やや苦しい」の 20.8%を合わせた「苦しい」は 26.5%で、第 9 期調査との有意な差はありません。



《介護の有無別》

「介護は不要」は「ふつう」が 60.7%、「大変苦しい」の 5.2%と「やや苦しい」の 19.8%を合わせた「苦しい」は 25.0%、「介護は必要」は「ふつう」が 55.3%、「大変苦しい」の 8.6%と「やや苦しい」の 28.7%を合わせた「苦しい」は 37.3%となっています。

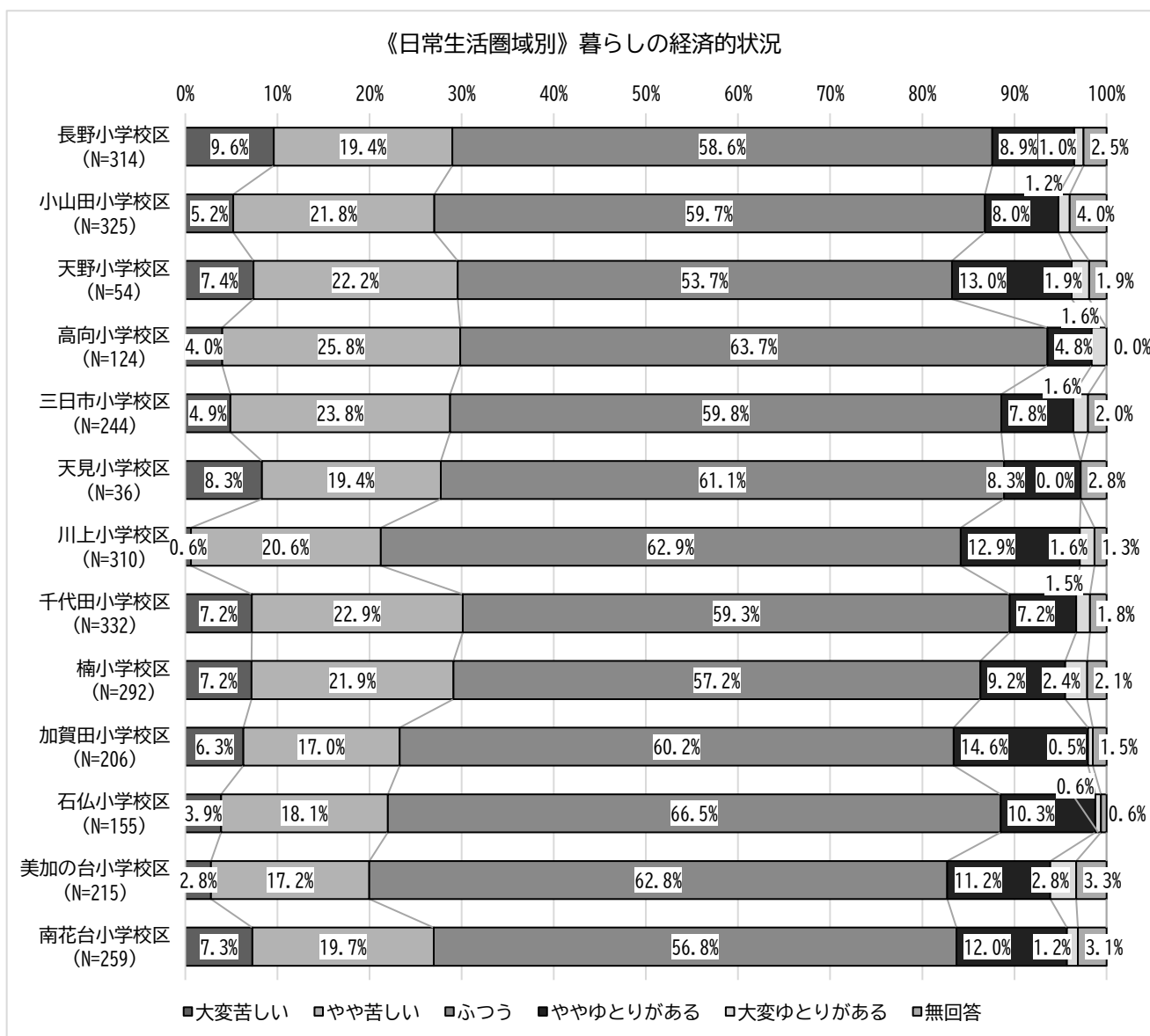
「大変苦しい」と「やや苦しい」を合わせた「苦しい」に着目すると、「介護は必要」が 37.3%に対し、「介護は不要」は 25.0%と、「介護は必要」が「介護は不要」を 12.3 ポイント上回っています。



《日常生活圏域別》

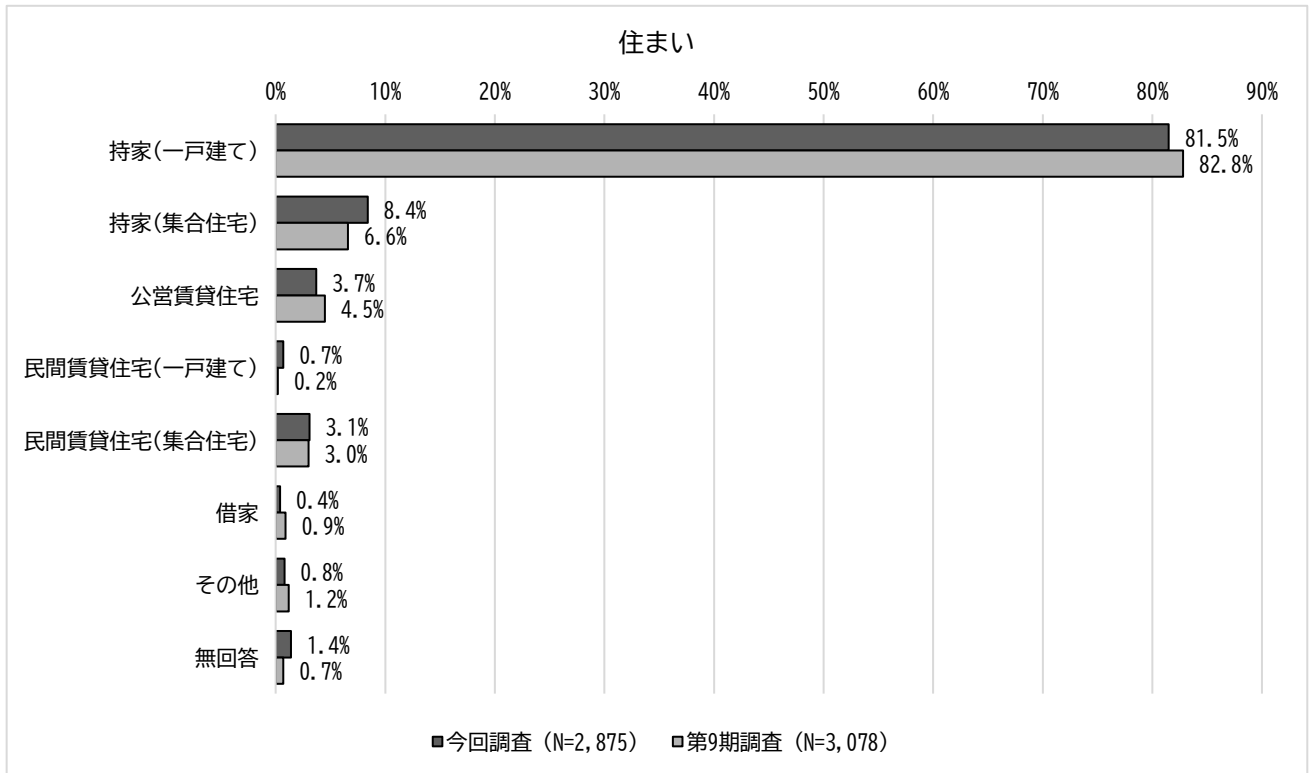
「普通」は「石仏小学校区」が 66.5%と最も多く、次いで「高向小学校区」が 63.7%、「川上小学校区」が 62.9%、「美加の台小学校区」が 62.8%、「天見小学校区」が 61.1%、「大変苦しい」と「やや苦しい」を合わせた「苦しい」は「千代田小学校区」が 30.1%と最も多く、次いで「高向小学校区」が 29.8%、「天野小学校区」が 29.6%、「楠小学校区」が 29.1%、「長野小学校区」が 29.0%となっています。

「普通」は「石仏小学校区」が 66.5%と最も多く、「天野小学校区」は 53.7%と最も少なく、12.8 ポイントの差があり、「大変苦しい」と「やや苦しい」を合わせた「苦しい」は「千代田小学校区」が 30.1%と最も多く、「美加の台小学校区」は 20.0%と最も少なく、10.1 ポイントの差があります。



問1-4 お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか(〇はひとつ)

「持家(一戸建て)」は 81.5%と最も多く、次いで「持家(集合住宅)」は 8.4%、「公営賃貸住宅」は 3.7%で、第 9 期調査との有意な差はありません。



《日常生活圏域別》

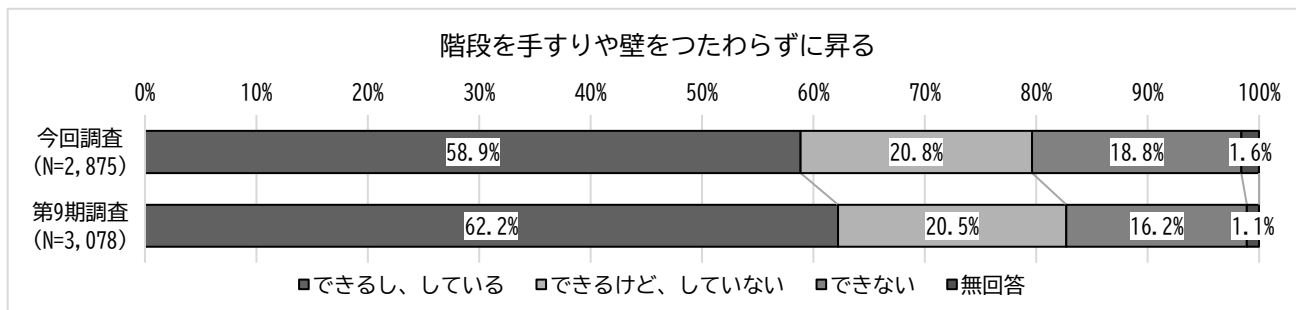
回答数の多い「持家(一戸建て)」に着目して圏域で比較すると、「天見小学校区」が 97.2%と最も多く、次いで「川上小学校区」が 97.1%、「石仏小学校区」が 96.8%、「高向小学校区」が 95.2%、「天野小学校区」が 88.9%となっています。

圏域	回答数	持家(一戸建て)	持家(集合住宅)	公営賃貸住宅	民間賃貸住宅(一戸建て)	民間賃貸住宅(集合住宅)	借家	その他	無回答
長野	314	79.0%	8.9%	1.0%	1.3%	6.7%	0.6%	0.6%	1.9%
小山田	325	82.2%	5.2%	6.8%	0.9%	3.1%	0.0%	0.3%	1.5%
天野	54	88.9%	1.9%	0.0%	3.7%	0.0%	1.9%	1.9%	1.9%
高向	124	95.2%	1.6%	0.0%	0.8%	0.0%	0.8%	0.0%	1.6%
三日市	244	79.9%	7.8%	4.1%	1.6%	2.0%	0.8%	2.0%	1.6%
天見	36	97.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.8%
川上	310	97.1%	1.0%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%	1.3%
千代田	332	67.2%	15.1%	8.4%	0.6%	4.8%	0.9%	1.2%	1.8%
楠	292	65.8%	21.2%	3.8%	0.3%	7.2%	0.3%	0.7%	0.7%
加賀田	206	88.8%	5.8%	2.4%	1.5%	0.5%	0.0%	0.5%	0.5%
石仏	155	96.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%	0.6%	1.3%	0.6%
美加の台	215	84.2%	12.6%	0.0%	0.5%	0.5%	0.0%	0.9%	1.4%
南花台	259	75.3%	7.7%	10.0%	0.0%	4.6%	0.4%	0.0%	1.9%

問2 からだを動かすことについて

問2-1 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか(○はひとつ)

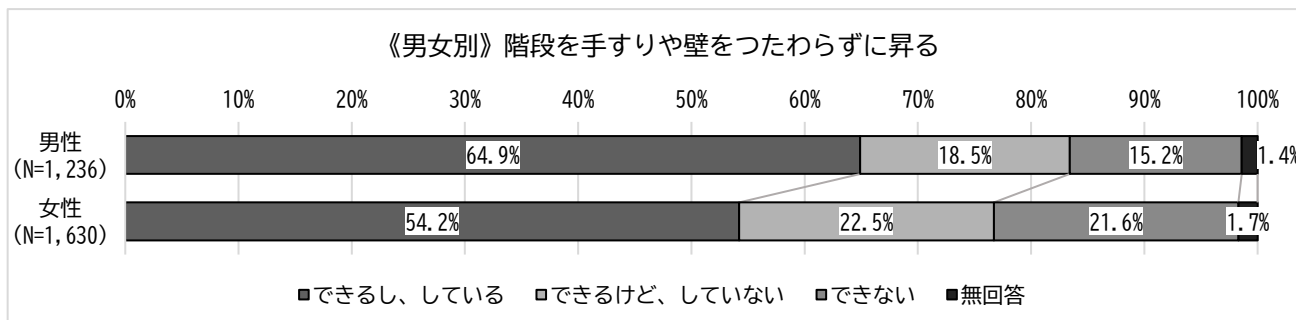
「できるし、している」が58.9%と最も多く、次いで「できるけど、していない」が20.8%、「できない」が18.8%となっており、第9期調査との有意な差はありません。



《男女別》

「男性」は「できるし、している」が64.9%と最も多く、次いで「できるけど、していない」が18.5%、「できない」が15.2%、「女性」は「できるし、している」が54.2%と最も多く、次いで「できるけど、していない」が22.5%、「できない」が21.6%となっています。

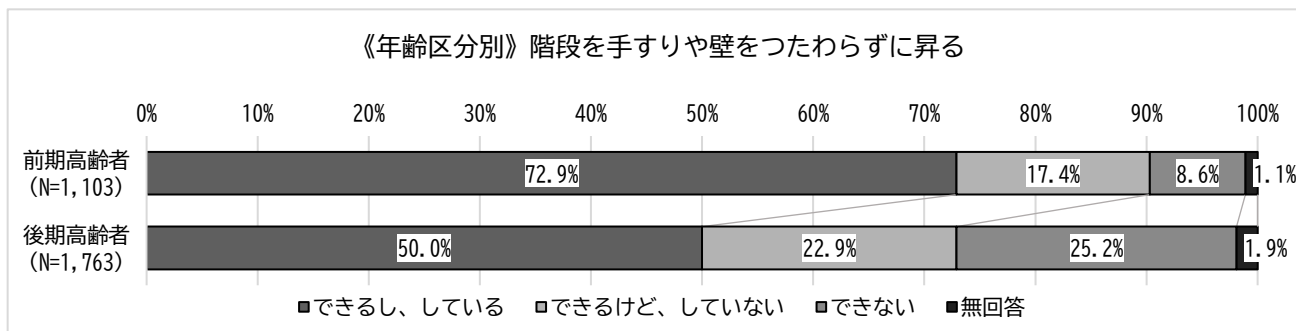
「できるけど、していない」と「できない」を合わせた「していない」に着目すると、「女性」が44.1%に対し、「男性」は33.7%と、「女性」が「男性」を10.4ポイント上回っています。



《年齢区分別》

「前期高齢者」では「できるし、している」が72.9%と最も多く、次いで「できるけど、していない」が17.4%、「できない」が8.6%、「後期高齢者」では「できるし、している」が50.0%と最も多く、次いで「できるけど、していない」が22.9%、「できない」が25.2%となっています。

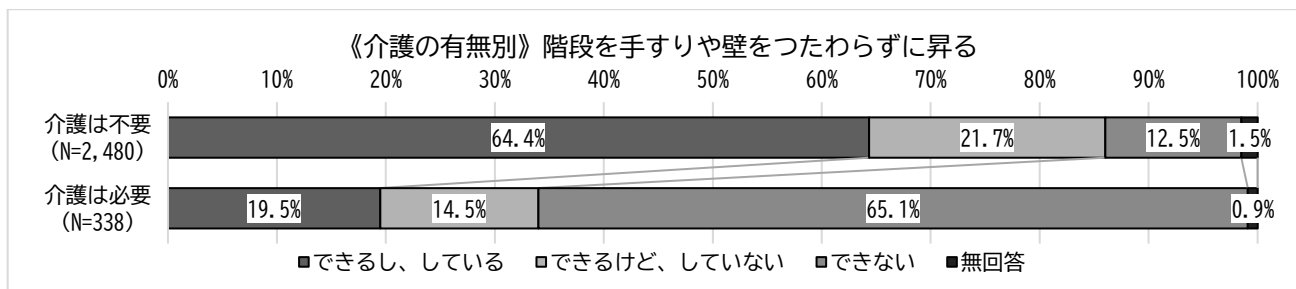
「できるけど、していない」と「できない」を合わせた「していない」に着目すると、「後期高齢者」が48.1%に対し、「前期高齢者」は26.0%と、「後期高齢者」が「前期高齢者」を22.1ポイント上回っています。



《介護の有無別》

「介護は不要」は「できるし、している」が 64.4%と最も多く、次いで「できるけど、していない」が 21.7%、「できない」が 12.5%、「介護は必要」は「できるし、している」が 19.5%と最も多く、次いで「できるけど、していない」が 14.5%、「できない」が 65.1%となっています。

「できるけど、していない」と「できない」を合わせた「していない」に着目すると、「介護は必要」が 79.6%に対し、「介護は不要」は 34.2%と、「介護は必要」が「介護は不要」を 45.4 ポイント上回っています。

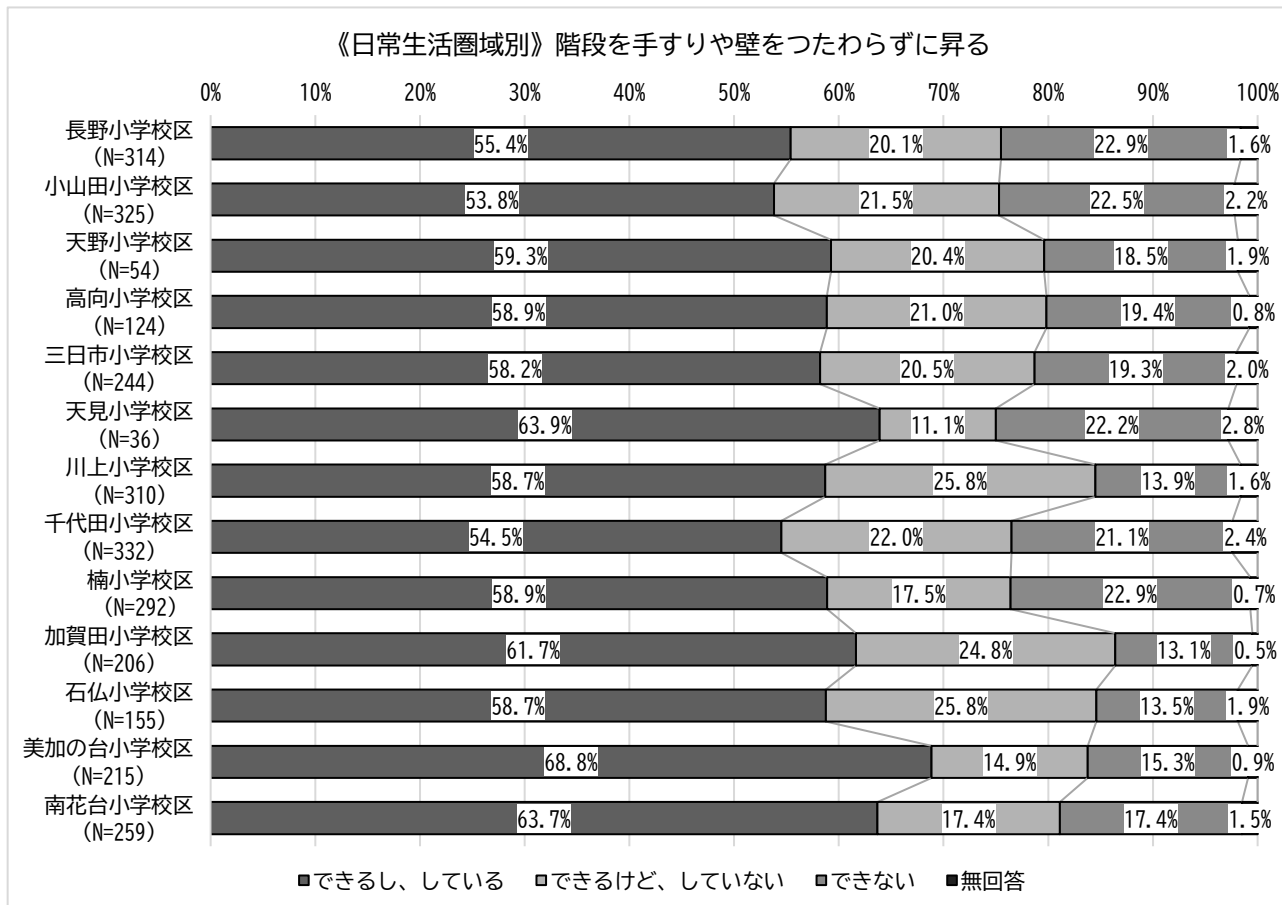


《日常生活圏域別》

「できるし、している」は「美加の台小学校区」が 68.8%と最も多く、次いで「天見小学校区」が 63.9%、「南花台小学校区」が 63.7%、「加賀田小学校区」が 61.7%、「天野小学校区」が 59.3%となっています。

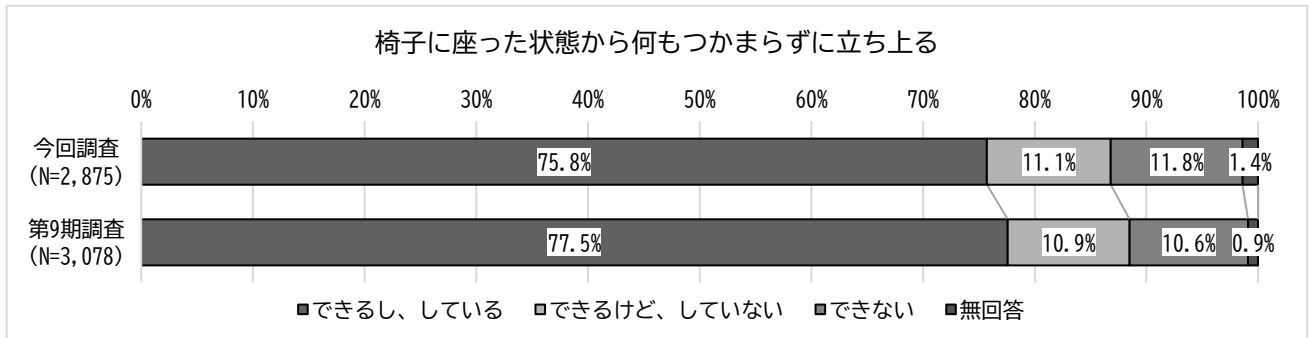
「できるけど、していない」は「川上小学校区」と「石仏小学校区」が共に 25.8%と最も多く、次いで「加賀田小学校区」が 24.8%、「千代田小学校区」が 22.0%、「小山田小学校区」が 21.5%となっています。

「できない」は「長野小学校区」と「楠小学校区」が共に 22.9%と最も多く、次いで「小山田小学校区」が 22.5%、「天見小学校区」が 22.2%、「千代田小学校区」が 21.1%となっています。



問 2-2 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がりますか(○はひとつ)

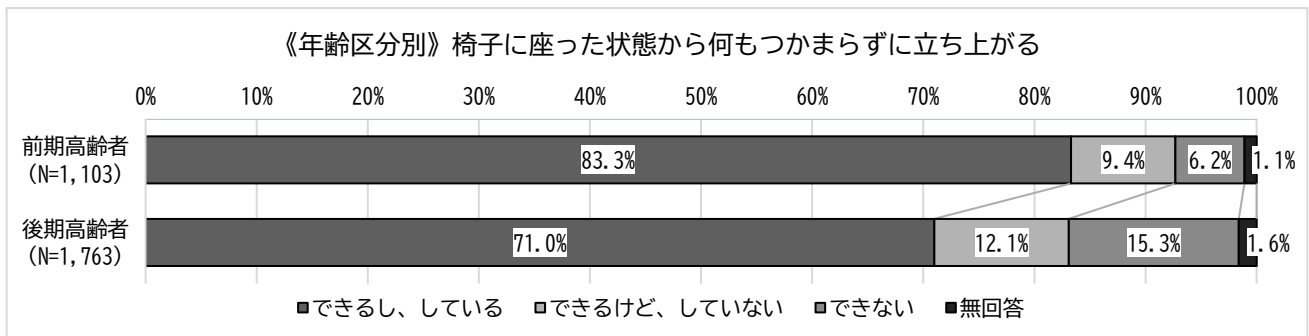
「できるし、している」が75.8%と最も多く、次いで「できない」が11.8%、「できるけど、していない」が11.1%、となっており、第9期調査との有意な差はありません。



《年齢区分別》

「前期高齢者」は「できるし、している」が83.3%と最も多く、次いで「できるけど、していない」が9.4%、「できない」が6.2%、「後期高齢者」は「できるし、している」が71.0%と最も多く、次いで「できるけど、していない」が12.1%、「できない」が15.3%となっています。

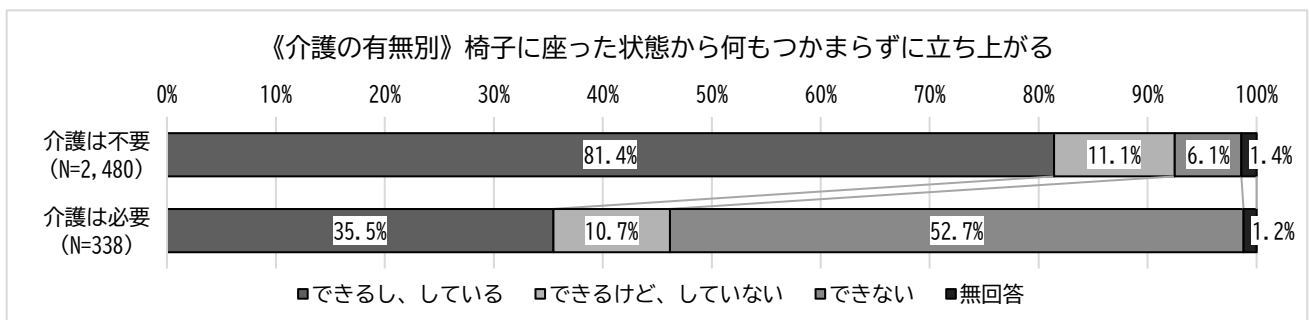
「できるけど、していない」と「できない」を合わせた「していない」に着目すると、「後期高齢者」が27.4%に対し、「前期高齢者」は15.6%と、「後期高齢者」が「前期高齢者」を11.8ポイント上回っています。



《介護の有無別》

「介護は不要」は「できるし、している」が81.4%と最も多く、次いで「できるけど、していない」が11.1%、「できない」が6.1%、「介護は必要」は「できるし、している」が35.5%と最も多く、次いで「できるけど、していない」が10.7%、「できない」が52.7%となっています。

「できるけど、していない」と「できない」を合わせた「していない」に着目すると、「介護は必要」が63.4%に対し、「介護は不要」は17.2%と、「介護は必要」が「介護は不要」を46.2ポイント上回っています。

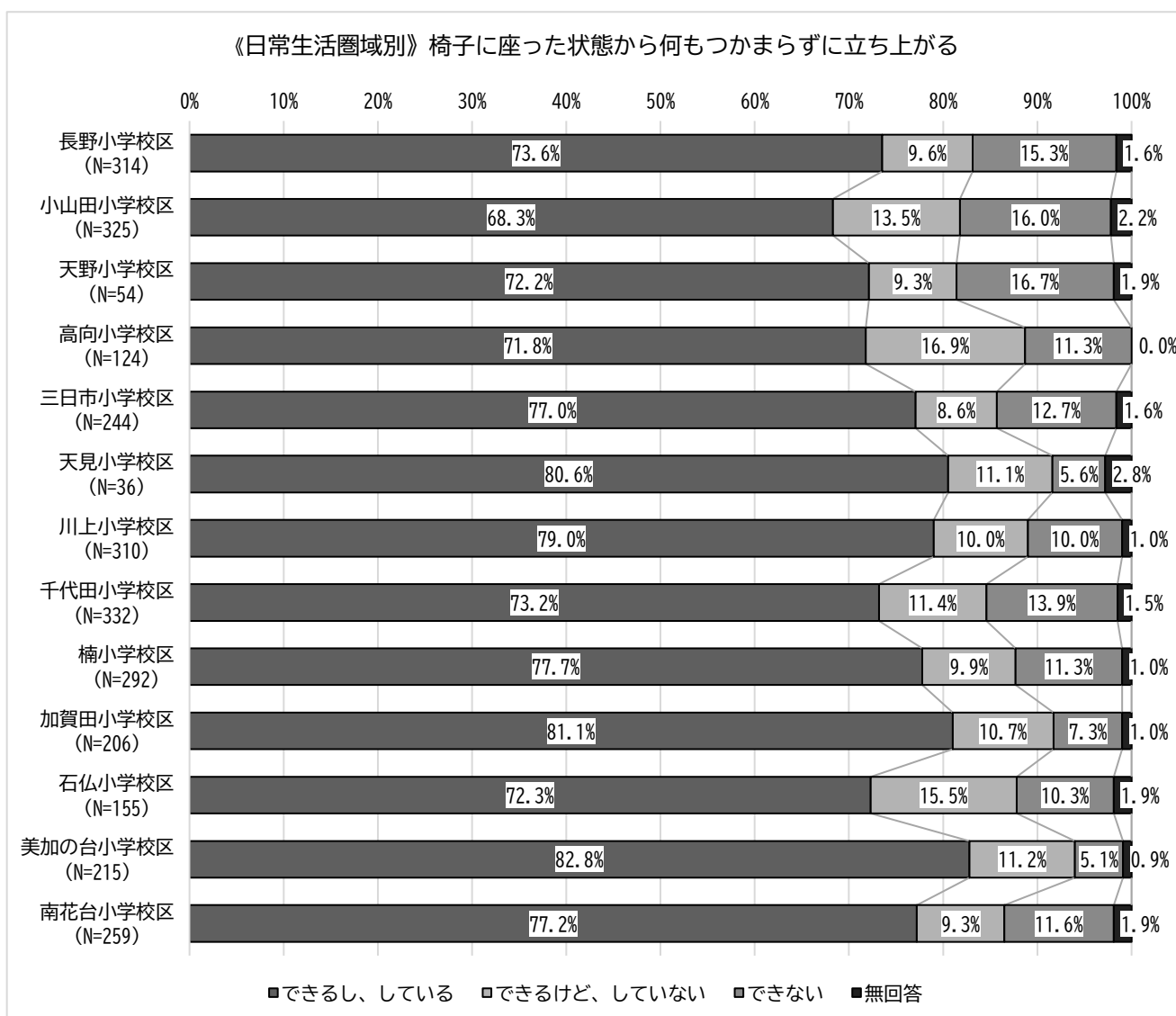


《日常生活圏域別》

「できるし、している」は「美加の台小学校区」が 82.8%と最も多く、次いで「加賀田小学校区」が 81.1%、「天見小学校区」が 80.6%、「川上小学校区」が 79.0%、「楠小学校区」が 77.7%となっています。

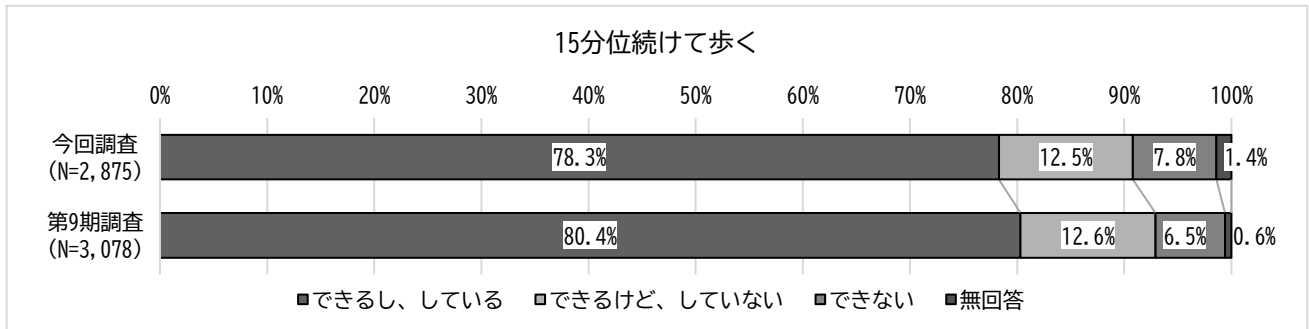
「できるけど、していない」は「高向小学校区」が 16.9%と最も多く、次いで「石仏小学校区」が 15.5%、「小山田小学校区」が 13.5%、「千代田小学校区」が 11.4%、「美加の台小学校区」が 11.2%となっています。

「できない」は「天野小学校区」が 16.7%と最も多く、次いで「小山田小学校区」が 16.0%、「長野小学校区」が 15.3%、「千代田小学校区」が 13.9%、「三日市小学校区」が 12.7%となっています。



問 2-3 15分位続けて歩いていますか(○はひとつ)

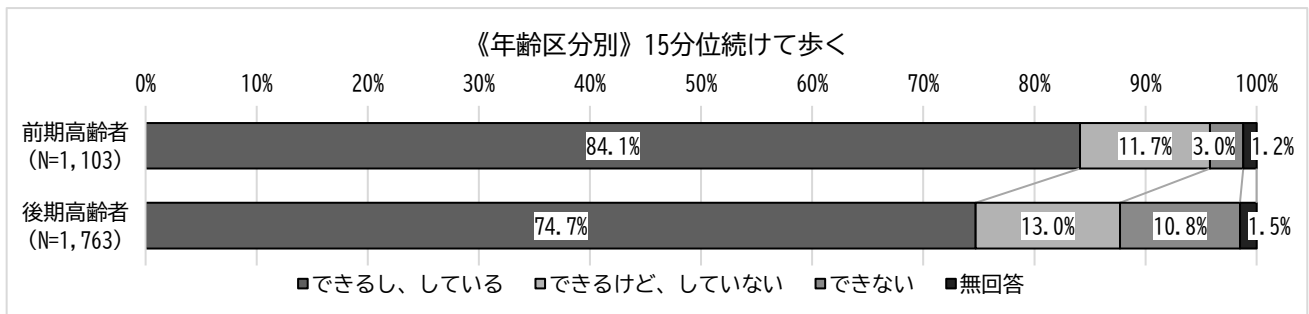
「できるし、している」が78.3%と最も多く、次いで「できるけど、していない」が12.5%、「できない」が7.8%となっており、第9期調査との有意な差はありません。



《年齢区分別》

「前期高齢者」は「できるし、している」が84.1%と最も多く、次いで「できるけど、していない」が11.7%、「できない」が3.0%、「後期高齢者」は「できるし、している」が74.7%と最も多く、次いで「できるけど、していない」が13.0%、「できない」が10.8%となっています。

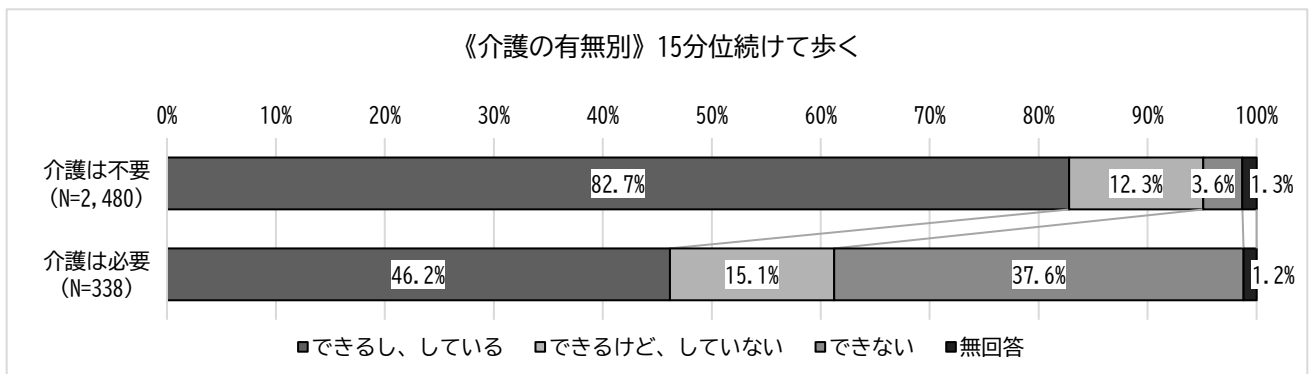
「できるけど、していない」と「できない」を合わせた「していない」に着目すると、「後期高齢者」が23.8%に対し、「前期高齢者」は14.7%と、「後期高齢者」が「前期高齢者」を9.1ポイント上回っています。



《介護の有無別》

「介護は不要」は「できるし、している」が82.7%と最も多く、次いで「できるけど、していない」が12.3%、「できない」が3.6%、「介護は必要」は「できるし、している」が46.2%と最も多く、次いで「できるけど、していない」が15.1%、「できない」が37.6%となっています。

「できるけど、していない」と「できない」を合わせた「していない」に着目すると、「介護は必要」が52.7%に対し、「介護は不要」は15.9%と、「介護は必要」が「介護は不要」を36.8ポイント上回っています。

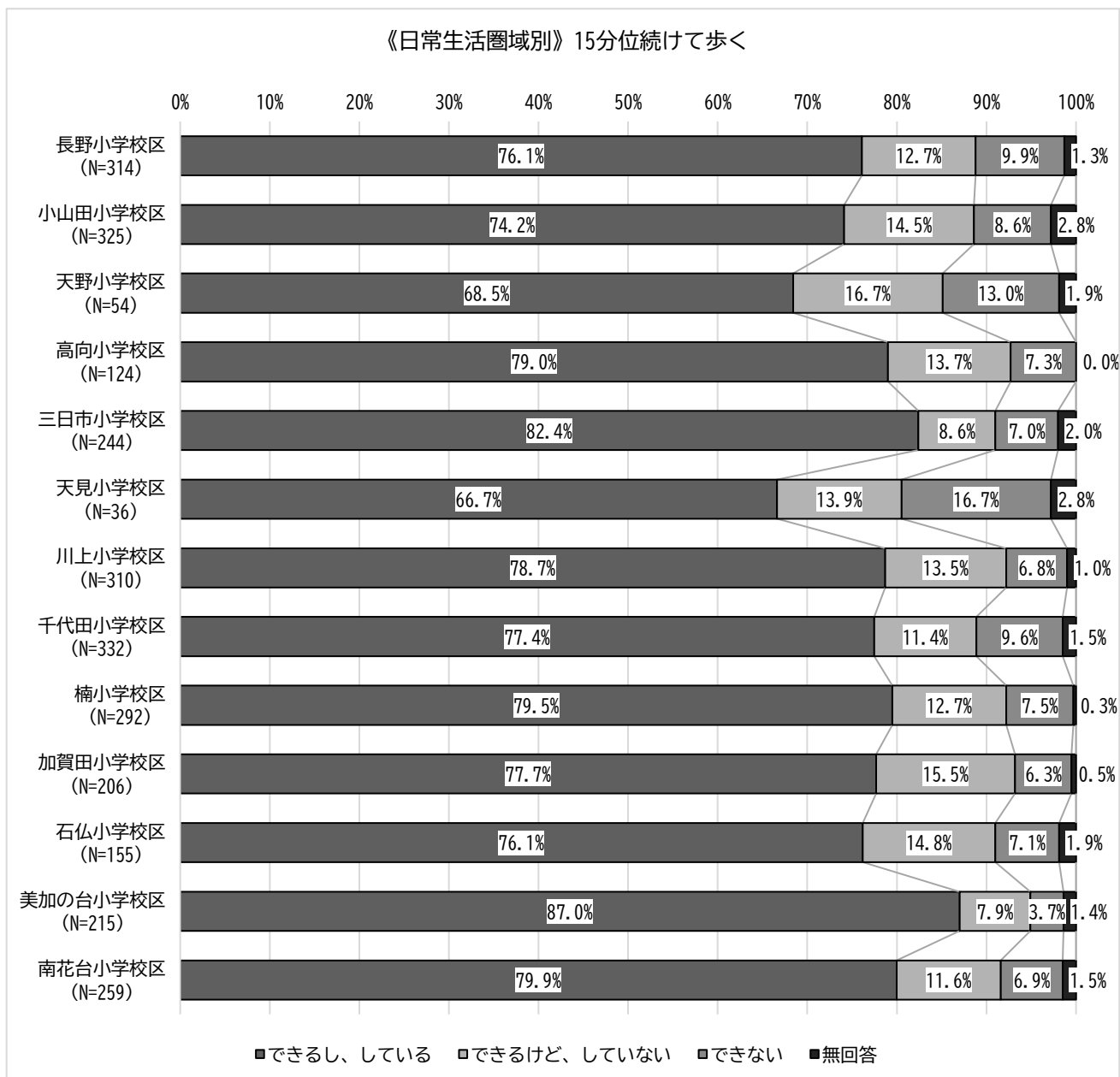


《日常生活圏域別》

「できるし、している」は「美加の台小学校区」が 87.0%と最も多く、次いで「三日市小学校区」が 82.4%、「南花台小学校区」が 79.9%、「楠小学校区」が 79.5%、「高向小学校区」が 79.0%となっています。

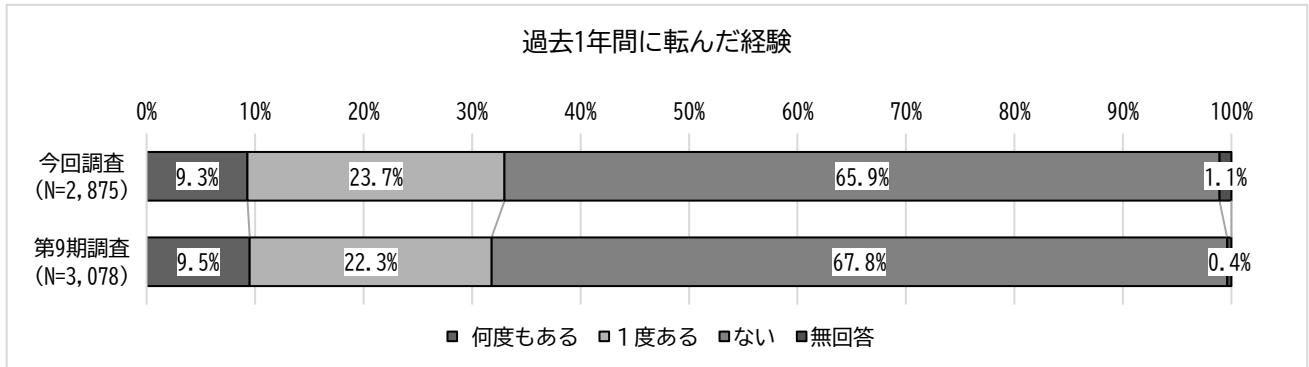
「できるけど、していない」は「天野小学校区」が 16.7%と最も多く、次いで「加賀田小学校区」が 15.5%、「石仏小学校区」が 14.8%、「小山田小学校区」が 14.5%、「天見小学校区」が 13.9%となっています。

「できない」は「天見小学校区」が 16.7%と最も多く、次いで「天野小学校区」が 13.0%、「長野小学校区」が 9.9%、「千代田小学校区」が 9.6%、「小山田小学校区」が 8.6%となっています。



問 2-4 過去1年間に転んだ経験がありますか(○はひとつ)

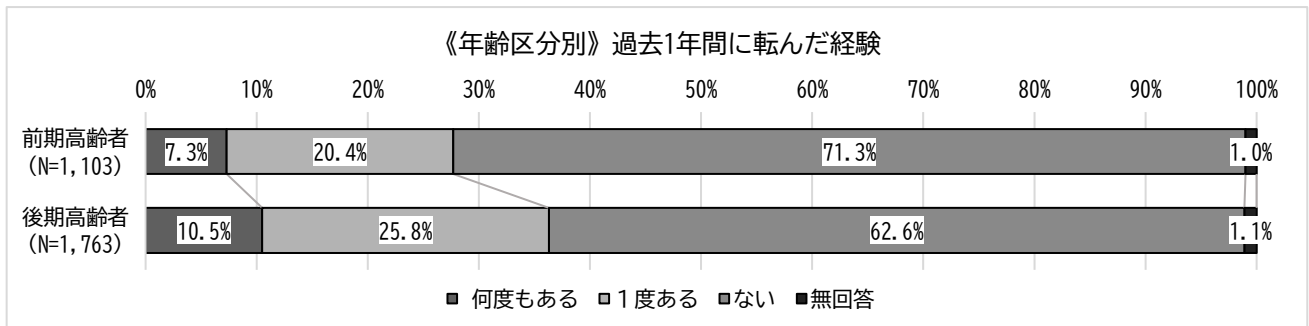
「1度ある」が23.7%と最も多く、次いで「何でもある」が9.3%、「ない」が65.9%となっており、第9期調査との有意な差はありません。



《年齢区分別》

「前期高齢者」は「ない」が71.3%と最も多く、次いで「1度ある」が20.4%、「何でもある」が7.3%、「後期高齢者」は「ない」が62.6%と最も多く、次いで「1度ある」が25.8%、「何でもある」が10.5%となっています。

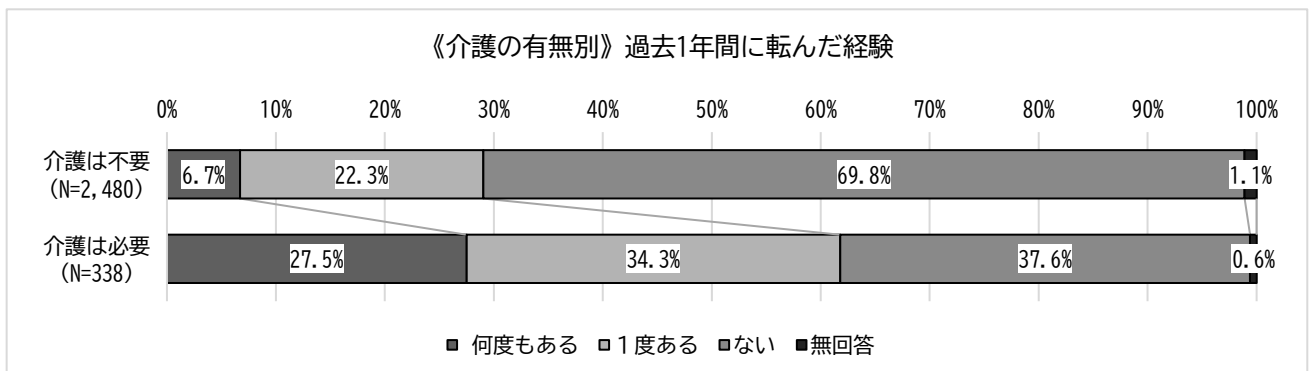
「何でもある」と「1度ある」に着目すると、「何でもある」は「後期高齢者」が10.5%に対し、「前期高齢者」7.3%と、「後期高齢者」が「前期高齢者」を3.2ポイント上回り、「1度ある」は「後期高齢者」が25.8%に対し、「前期高齢者」は20.4%と、「後期高齢者」が「前期高齢者」を5.4ポイント上回っています。



《介護の有無別》

「介護は不要」は「ない」が69.8%と最も多く、次いで「1度ある」が22.3%、「何でもある」が6.7%、「介護は必要」は「ない」が37.6%と最も多く、次いで「1度ある」が34.3%、「何でもある」が27.5%となっています。

「何でもある」に着目すると、「介護は必要」が27.5%に対し、「介護は不要」は6.7%と、「介護は必要」が「介護は不要」を20.8ポイント上回っています。

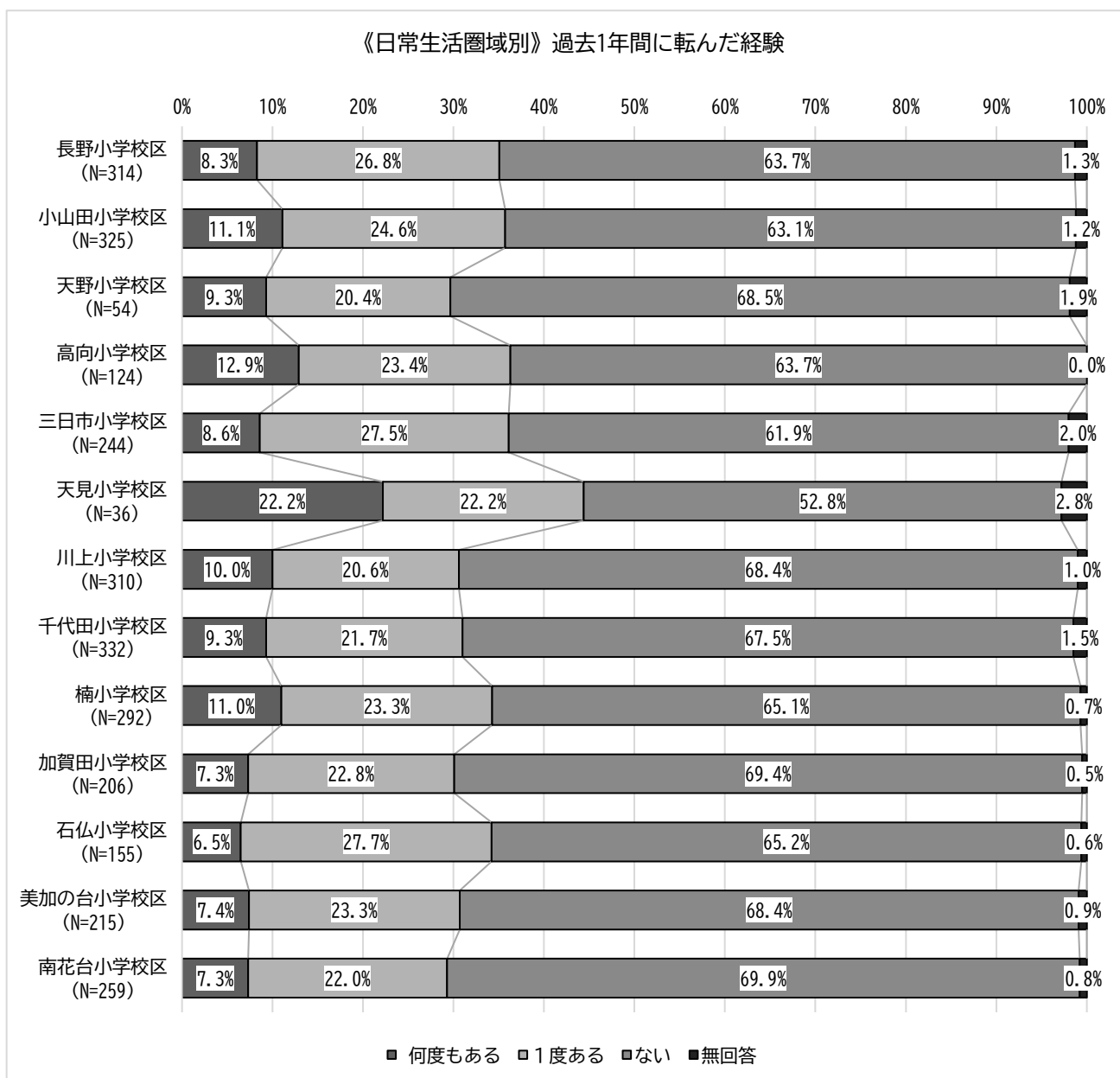


《日常生活圏域別》

「何度もある」は「天見小学校区」が 22.2%と最も多く、次いで「高向小学校区」が 12.9%、「小山田小学校区」が 11.1%、「楠小学校区」が 11.0%、「川上小学校区」が 10.0%となっています。

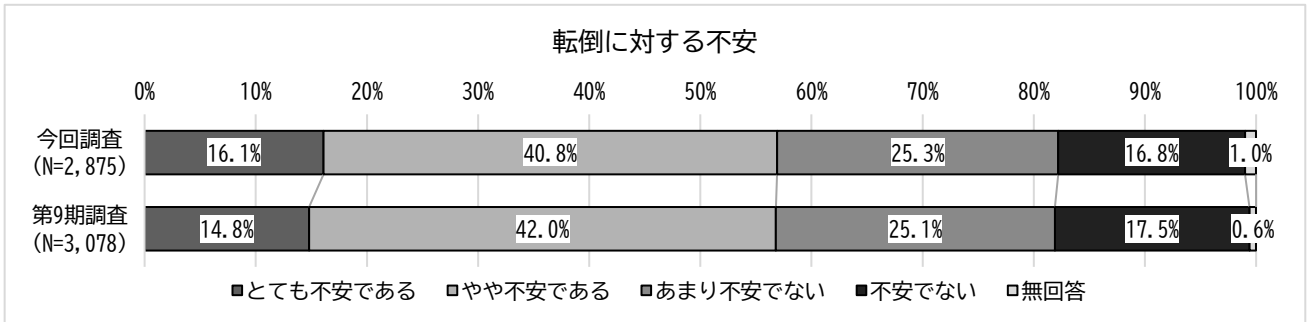
「1度ある」は「石仏小学校区」が 27.7%と最も多く、次いで「三日市小学校区」が 27.5%、「長野小学校区」が 26.8%、「小山田小学校区」が 24.6%、「高向小学校区」が 23.4%となっています。

「ない」は「南花台小学校区」が 69.9%と最も多く、次いで「加賀田小学校区」が 69.4%、「天野小学校区」に 68.5%、「川上小学校区」と「美加の台小学校区」が共に 68.4%となっています。



問 2-5 転倒に対する不安は大きいですか(○はひとつ)

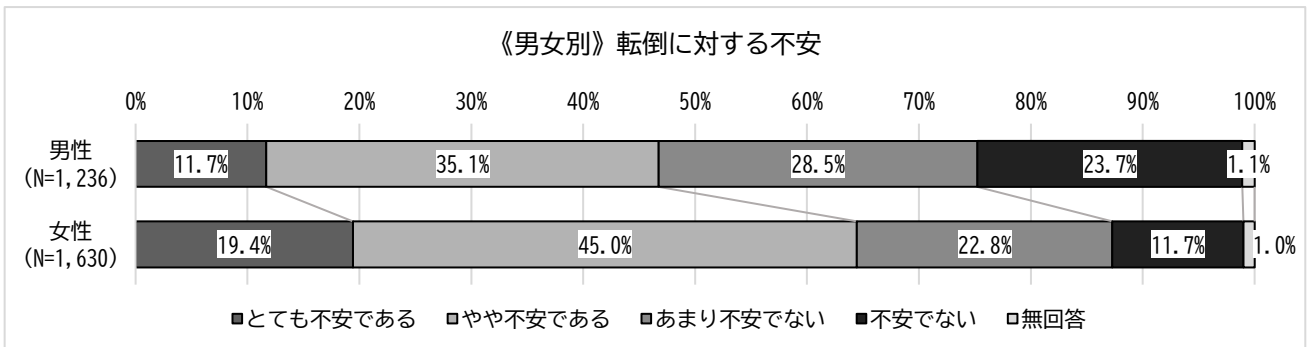
「やや不安である」が 40.8%と最も多く、次いで「あまり不安でない」が 25.3%、「不安でない」が 16.8%、「とても不安である」が 16.1%となっており、第 9 期調査との有意な差はありません。



《男女別》

「男性」は「やや不安である」が 35.1%と最も多く、次いで「あまり不安でない」が 28.5%、「不安でない」が 23.7%、「女性」は「やや不安である」が 45.0%と最も多く、次いで「あまり不安でない」が 22.8%、「とても不安である」が 19.4%となっています。

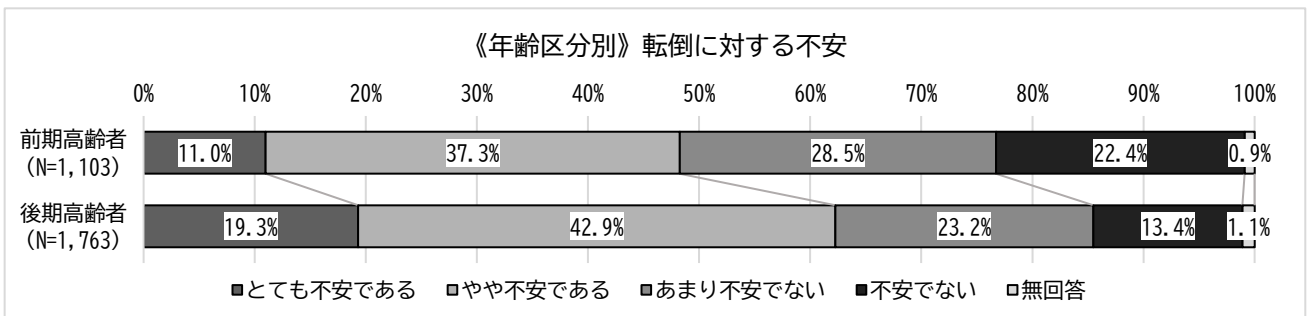
「とても不安である」と「やや不安である」を合わせた「不安」に着目すると、「女性」が 64.4%に対し、「男性」は 46.8%と、「女性」が「男性」を 17.6 ポイント上回っています。



《年齢区分別》

「前期高齢者」は「やや不安である」が 37.3%と最も多く、次いで「あまり不安でない」が 28.5%、「不安でない」が 22.4%、「とても不安である」が 11.0%、「後期高齢者」は「やや不安である」が 42.9%と最も多く、次いで「あまり不安でない」が 23.2%、「とても不安である」が 19.3%、「不安でない」が 13.4%となっています。

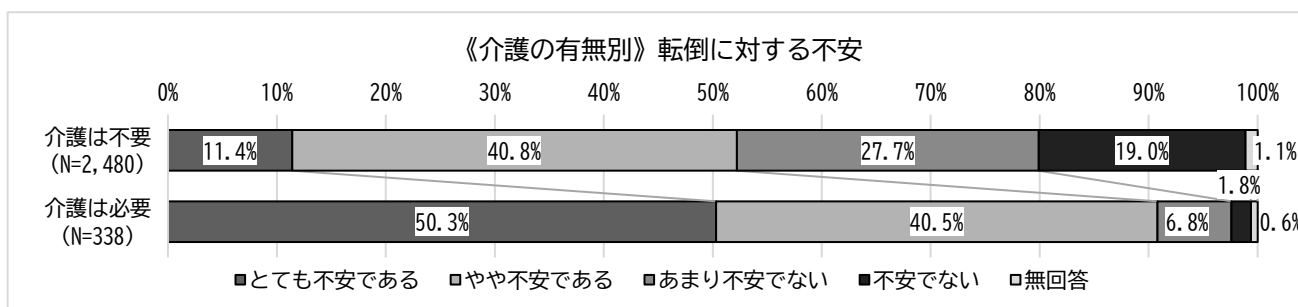
「とても不安である」と「やや不安である」を合わせた「不安」に着目すると、「後期高齢者」が 62.2%に対し、「前期高齢者」は 48.3%と、「後期高齢者」が「前期高齢者」を 13.9 ポイント上回っています。



《介護の有無別》

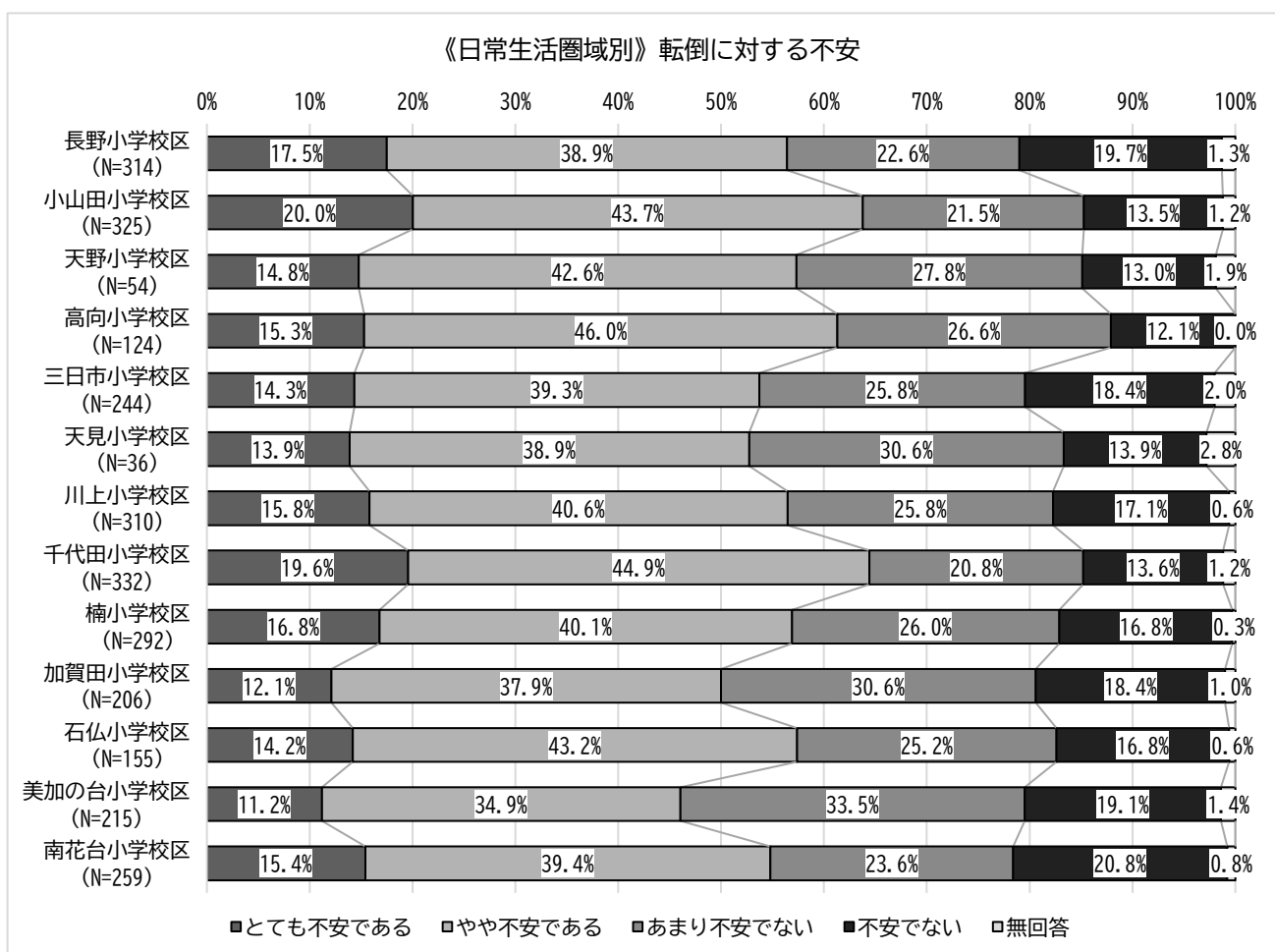
「介護は不要」は「やや不安である」が 40.8%と最も多く、次いで「あまり不安でない」が 27.7%、「不安でない」が 19.0%、「とても不安である」が 11.4%、「介護は必要」は「とても不安である」が 50.3%と最も多く、次いで「やや不安である」が 40.5%、「あまり不安でない」が 6.8%、「不安でない」が 1.8%となっています。

「とても不安である」と「やや不安である」を合わせた「不安がある」に着目すると、「介護は必要」が 90.8%に対し、「介護は不要」は 52.2%と、「介護は必要」が「介護は不要」を 38.6 ポイント上回っています。



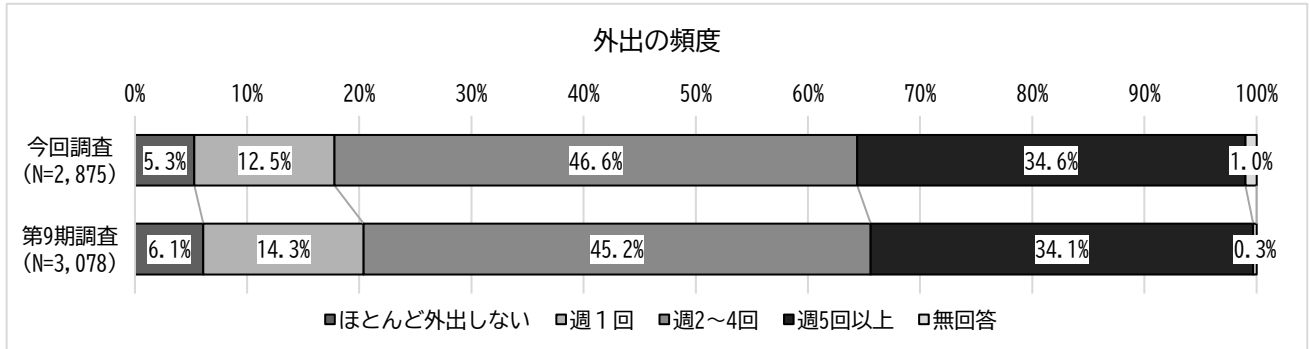
《日常生活圏域別》

「とても不安である」と「やや不安である」を合わせた「不安」に着目すると、「千代田小学校区」が 64.5%と最も多く、次いで「小山田小学校区」が 63.7%、「高向小学校区」が 61.3%、「天野小学校区」が 57.4%、「石仏小学校区」が 57.4%となっています。



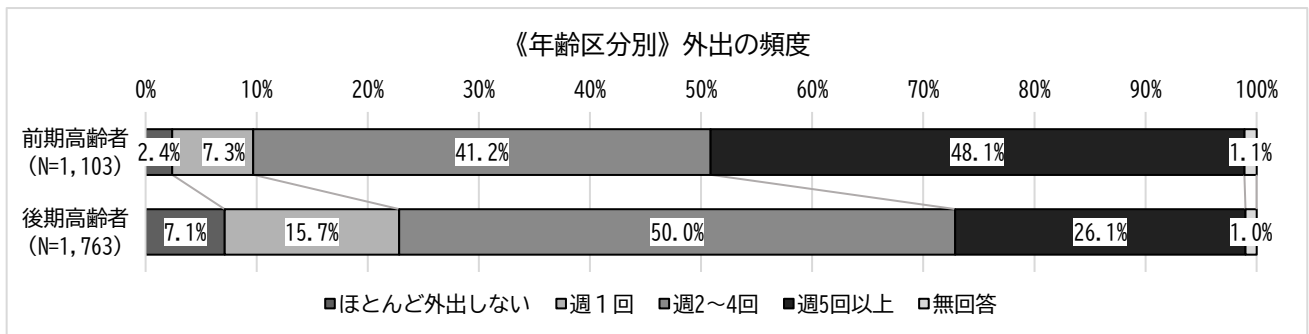
問 2-6 週に 1 回以上は外出していますか(○はひとつ)

「週 2～4 回」が 46.6%と最も多く、次いで「週 5 回以上」が 34.6%、「週1回」が 12.5%、「ほとんど外出しない」が 5.3%となっており、第 9 期調査との有意な差はありません。



《年齢区分別》

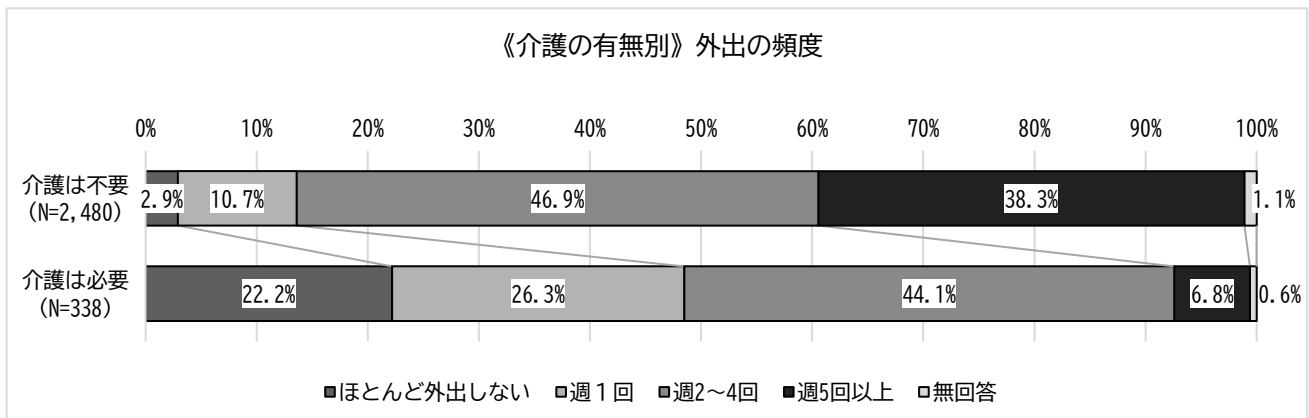
「前期高齢者」は「週 5 回以上」が 48.1%と最も多く、次いで「週 2～4 回」が 41.2%、「週1回」が 7.3%、「ほとんど外出しない」が 2.4%、「後期高齢者」は「週 2～4 回」が 50.0%と最も多く、次いで「週 5 回以上」が 26.1%、「週1回」が 15.7%となっています。



《介護の有無別》

「介護は不要」は「週 2～4 回」が 46.9%と最も多く、次いで「週 5 回以上」が 38.3%、「週1回」が 10.7%、「ほとんど外出しない」が 2.9%、「介護は必要」は「週 2～4 回」が 44.1%と最も多く、次いで「週1回」が 26.3%、「ほとんど外出しない」が 22.2%、「週 5 回以上」が 6.8%となっています。

「ほとんど外出しない」に着目すると、「介護は必要」が 22.2%に対し、「介護は不要」は 2.9%と、「介護は必要」が「介護は不要」を 19.3 ポイント上回っています。



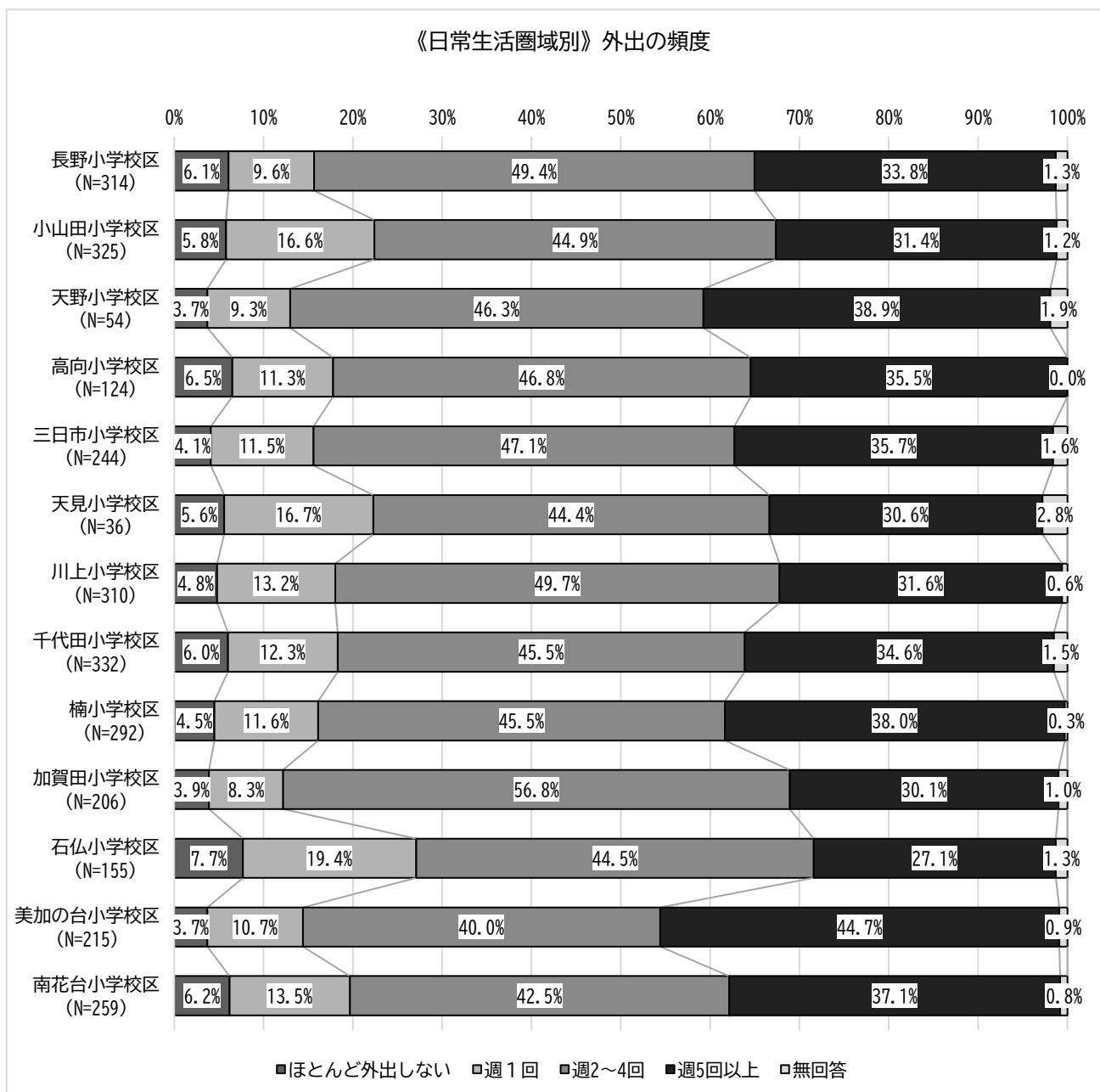
《日常生活圏域別》

「週1回」は「石仏小学校区」が 19.4%と最も多く、次いで「天見小学校区」が 16.7%、「小山田小学校区」が 16.6%、「南花台小学校区」が 13.5%、「川上小学校区」が 13.2%となっています。

「週 2～4 回」は「加賀田小学校区」が 56.8%と最も多く、次いで「川上小学校区」が 49.7%、「長野小学校区」が 49.4%、「三日市小学校区」が 47.1%、「高向小学校区」が 46.8%となっています。

「週 5 回以上」は「美加の台小学校区」が 44.7%と最も多く、次いで「天野小学校区」が 38.9%、「楠小学校区」が 38.0%、「南花台小学校区」が 37.1%、「三日市小学校区」が 35.7%となっています。

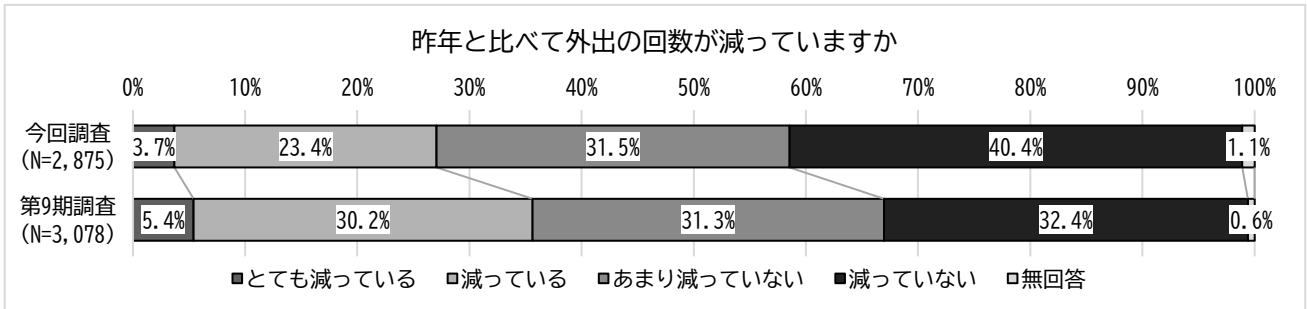
「ほとんど外出しない」は「石仏小学校区」が 7.7%と最も多く、次いで「高向小学校区」が 6.5%、「南花台小学校区」が 6.2%、「長野小学校区」が 6.1%となっています。



問 2-7 昨年と比べて外出の回数が減っていますか(○はひとつ)

「とても減っている」は 3.7%、「減っている」は 23.4%、「あまり減っていない」は 31.5%、「減っていない」は 40.4%となっています。

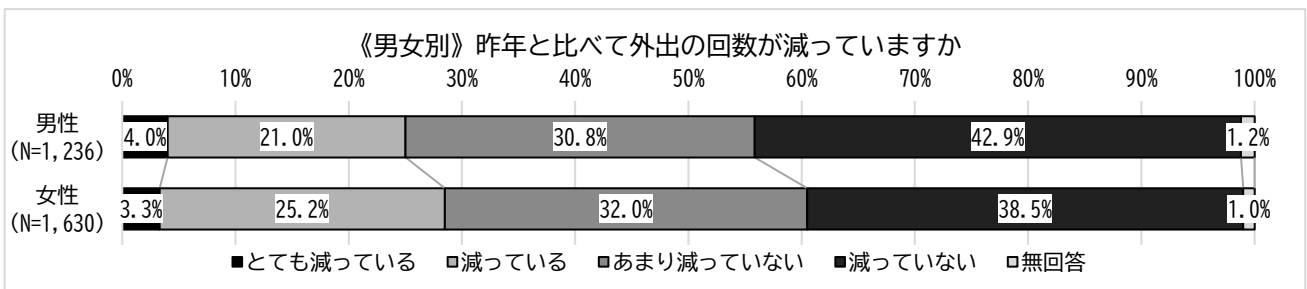
第 9 期調査と比較すると、「減っている」は 30.2%から 23.4%へと 6.8 ポイント減少し、「減っていない」は 32.4%から 40.4%へと 8.0 ポイント増加しています。



《男女別》

「男性」は「とても減っている」が 4.0%、「減っている」が 21.0%、「あまり減っていない」が 30.8%、「減っていない」が 42.9%、「女性」は「とても減っている」が 3.3%、「減っている」が 25.2%、「あまり減っていない」が 32.0%、「減っていない」が 38.5%となっています。

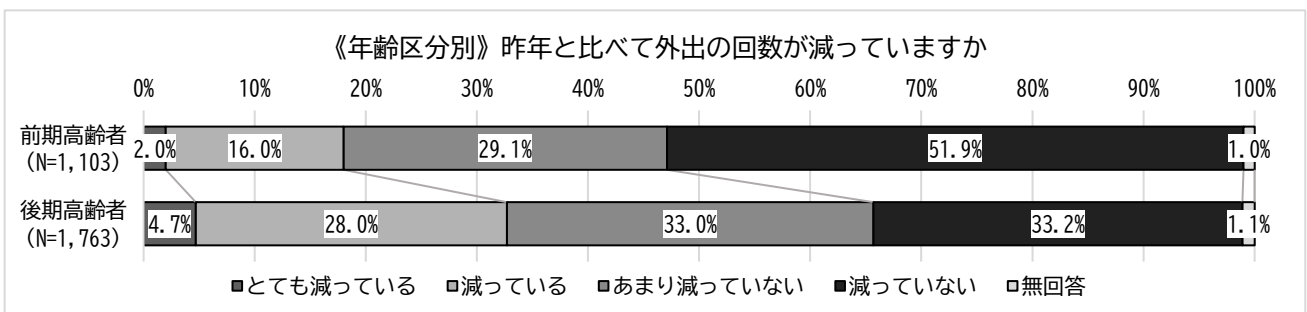
「とても減っている」と「減っている」を合わせた「減った」に着目すると、「女性」が 28.5%に対し、「男性」は 25.0%と、「女性」が「男性」を 3.5 ポイント上回っています。



《年齢区分別》

「前期高齢者」は「とても減っている」が 2.0%、「減っている」が 16.0%、「あまり減っていない」が 29.1%、「減っていない」が 51.9%、「後期高齢者」は「とても減っている」が 4.7%、「減っている」が 28.0%、「あまり減っていない」が 33.0%、「減っていない」が 33.2%となっています。

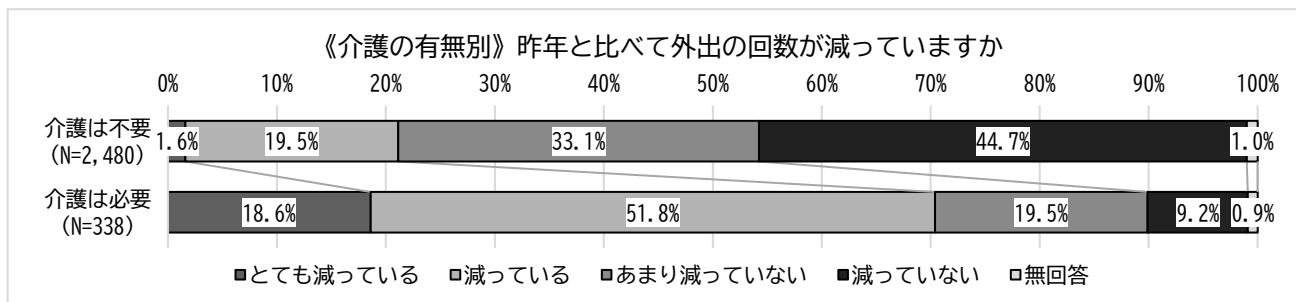
「とても減っている」と「減っている」を合わせた「減った」に着目すると、「後期高齢者」が 32.7%に対し、「前期高齢者」は 18.0%と、「後期高齢者」が「前期高齢者」を 14.7 ポイント上回っています。



《介護の有無別》

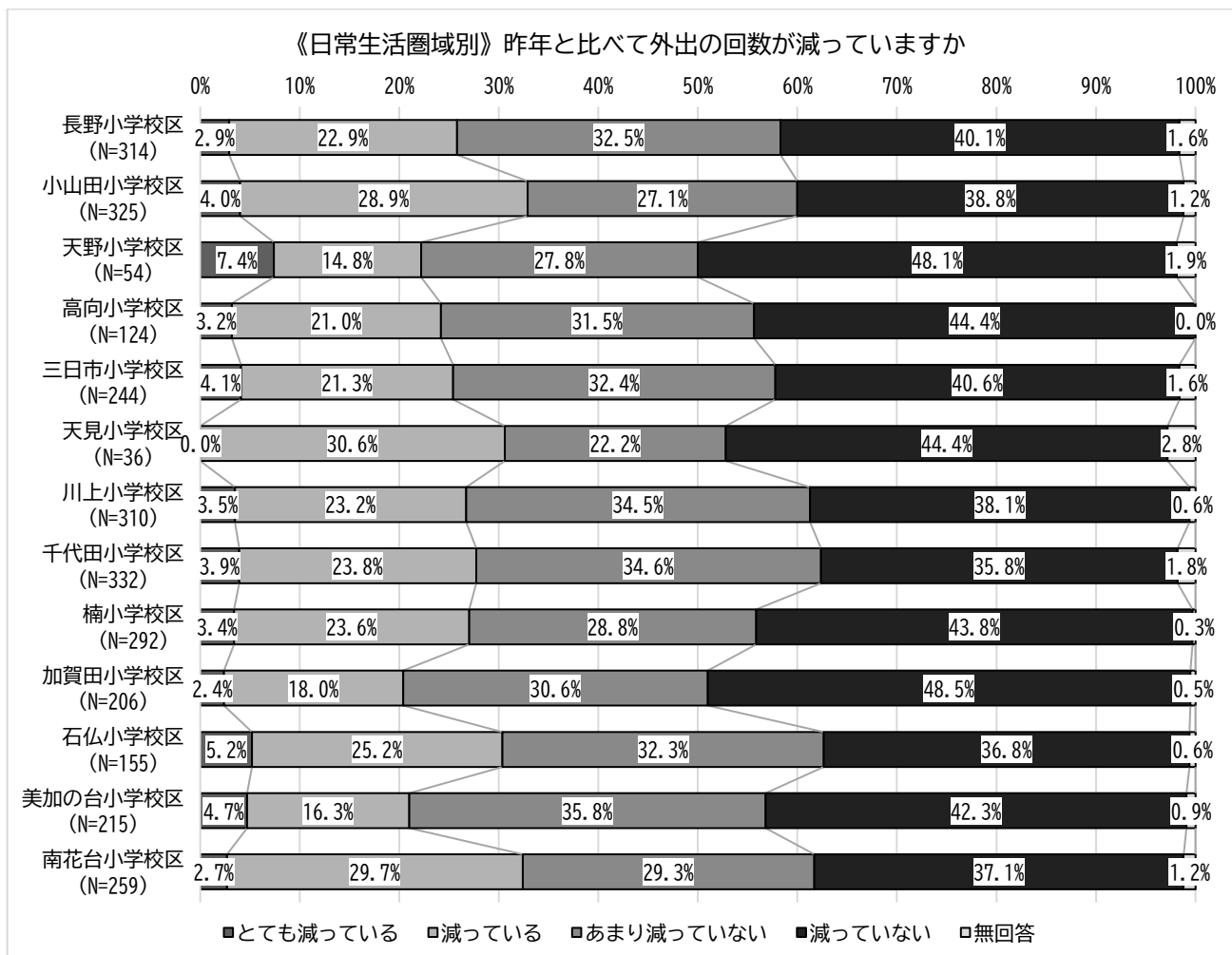
「介護は不要」は「とても減っている」が 1.6%、「減っている」が 19.5%、「あまり減っていない」が 33.1%、「減っていない」が 44.7%、「介護は必要」は「とても減っている」が 18.6%、「減っている」が 51.8%、「あまり減っていない」が 19.5%、「減っていない」が 9.2%となっています。

「とても減っている」と「減っている」を合わせた「減った」に着目すると、「介護は必要」が 70.4%に対し、「介護は不要」は 21.1%と、「介護は必要」が「介護は不要」を 49.3 ポイント上回っています。



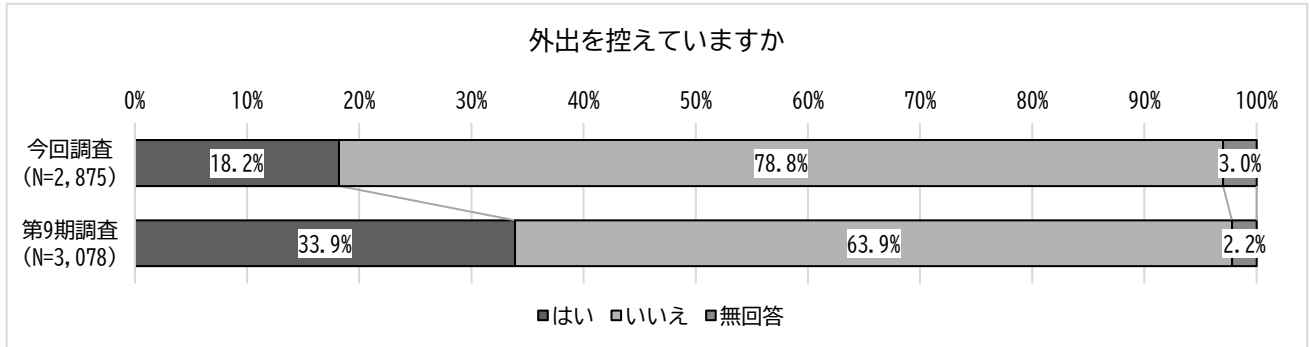
《日常生活圏域別》

「とても減っている」と「減っている」をあわせた「減った」に着目すると、「小山田小学校区」が 32.9%と最も多く、次いで「南花台小学校区」が 32.4%、「天見小学校区」が 30.6%、「石仏小学校区」が 30.4%、「千代田小学校区」が 27.7%となっています。



問 2-8 外出を控えていますか(○はひとつ)

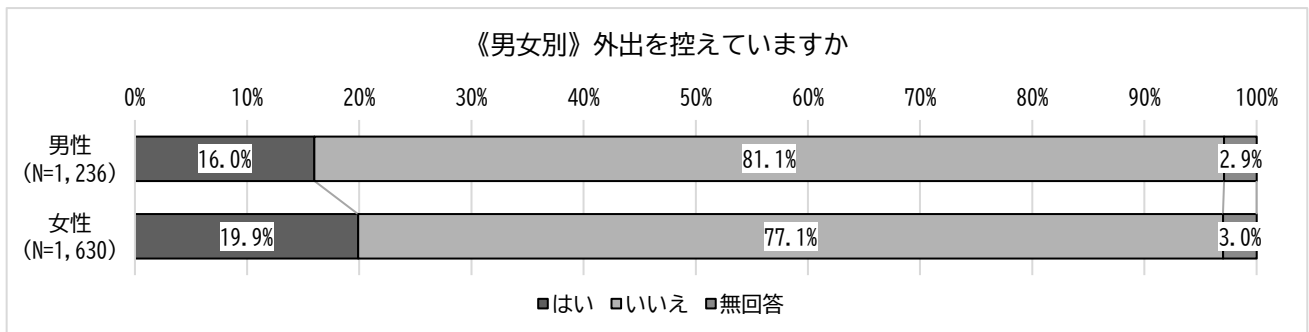
「はい」が 18.2%、「いいえ」が 78.8%となっており、第 9 期調査と比較すると、「はい」は 33.9%から 18.2%へと 15.7 ポイント減少し、「いいえ」は 63.9%から 78.8%へと 14.9 ポイント増加しています。第 9 期調査はコロナ禍による外出自粛が影響していると考えられます。



《男女別》

「男性」は「はい」が 16.0%、「いいえ」が 81.1%、「女性」は「はい」が 19.9%、「いいえ」が 77.1%となっています。

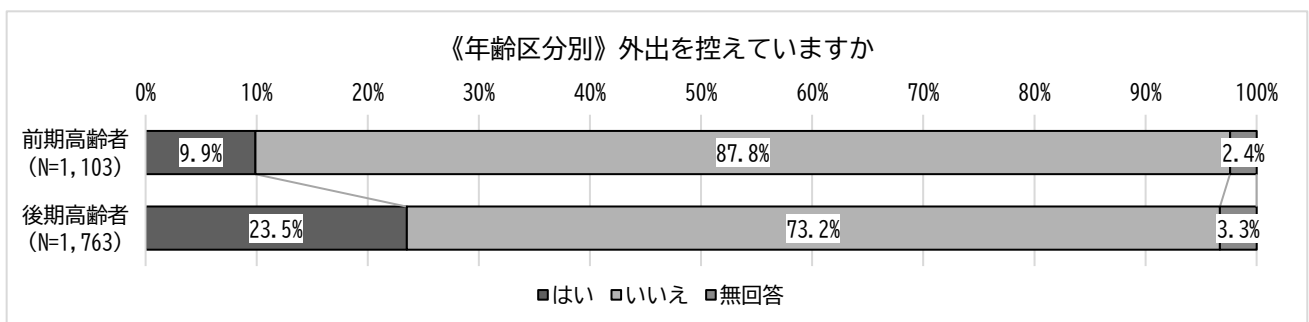
「はい」に着目すると、「女性」が 19.9%に対し、「男性」は 16.0%と、「女性」が「男性」を 3.9 ポイント上回っています。



《年齢区分別》

「前期高齢者」は「はい」が 9.9%、「いいえ」が 87.8%、「後期高齢者」は「はい」が 23.5%、「いいえ」が 73.2%となっています。

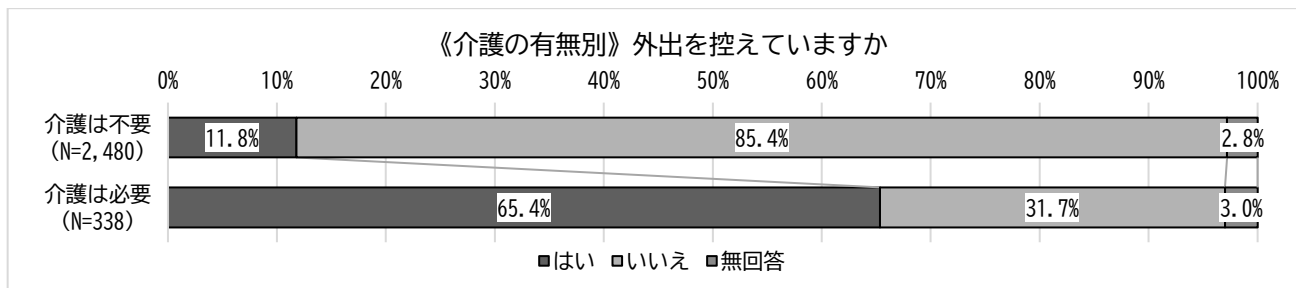
「はい」に着目すると、「後期高齢者」が 23.5%に対し、「前期高齢者」は 9.9%と、「後期高齢者」が「前期高齢者」を 13.6 ポイント上回っています。



《介護の有無別》

「介護は不要」は「はい」が 11.8%、「いいえ」が 85.4%、「介護は必要」は「はい」が 65.4%、「いいえ」が 31.7%となっています。

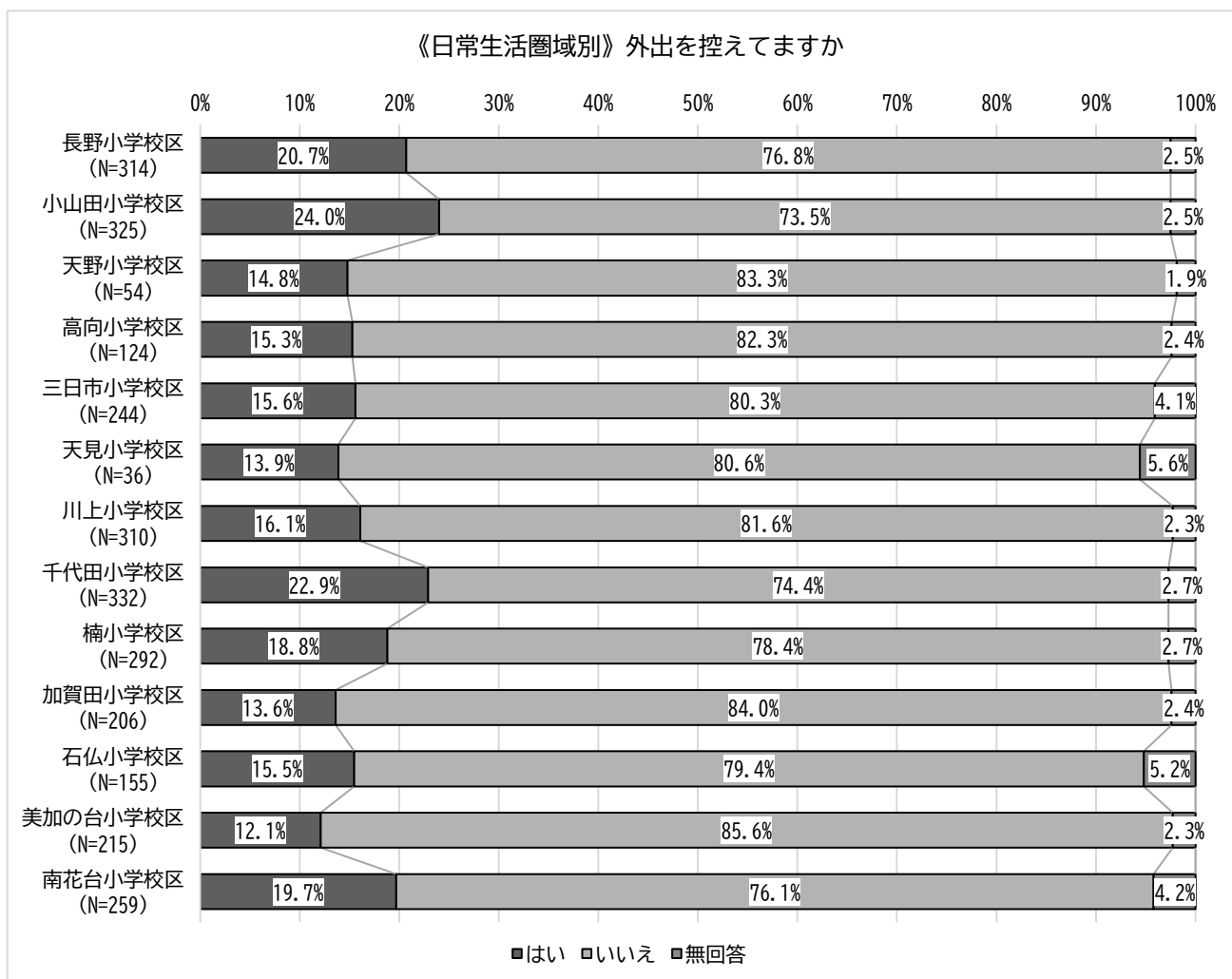
「はい」に着目すると、「介護は必要」が 65.4%に対し、「介護は不要」は 11.8%と、「介護は必要」が「介護は不要」を 53.6 ポイント上回っています。



《日常生活圏域別》

「はい」は「小山田小学校区」が 24.0%と最も多く、次いで「千代田小学校区」が 22.9%、「長野小学校区」が 20.7%、「南花台小学校区」が 19.7%、「楠小学校区」が 18.8%となっています。

「いいえ」は「美加の台小学校区」が 85.6%と最も多く、次いで「加賀田小学校区」が 84.0%、「天野小学校区」が 83.3%、「高向小学校区」が 82.3%、「川上小学校区」が 81.6%となっています。

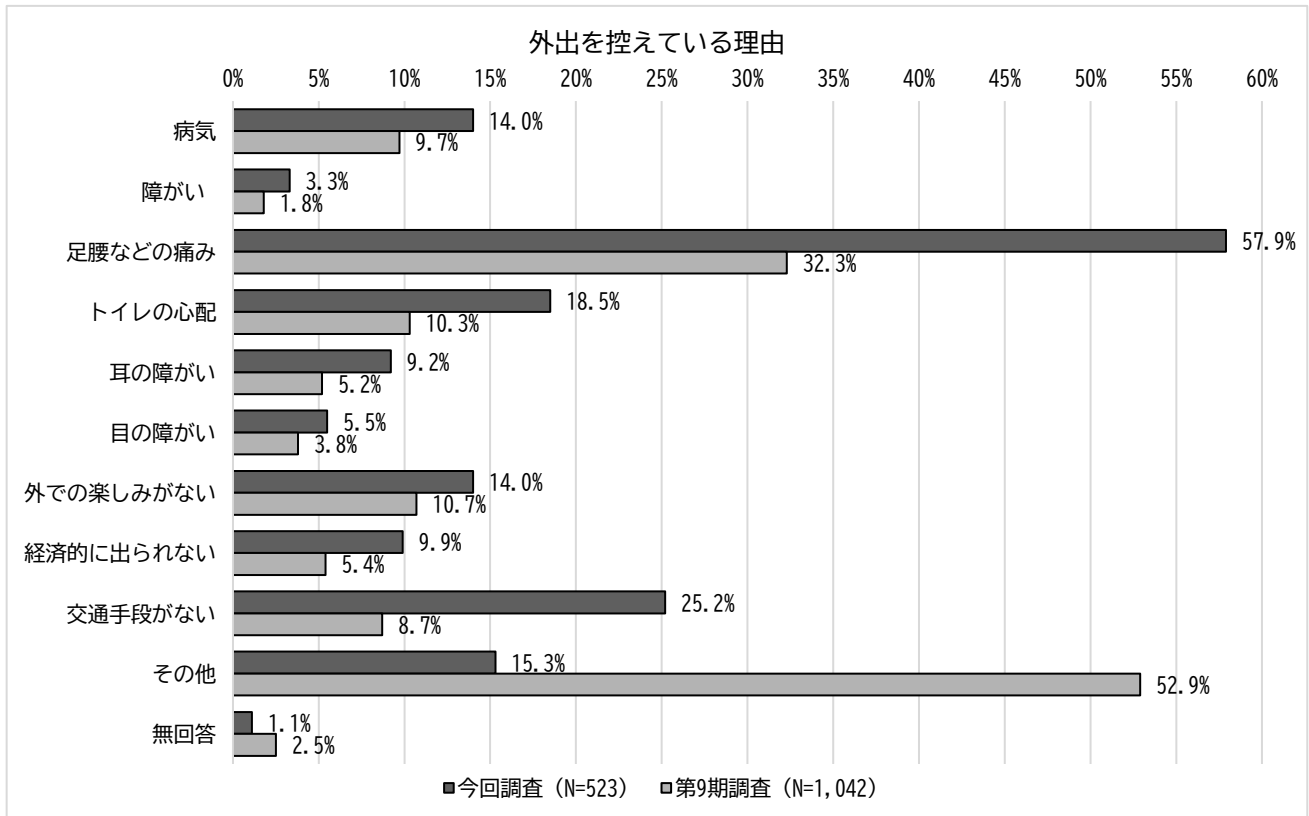


問 2-8 で「1. はい」を回答された方のみ

問 2-8-1 外出を控えている理由は、次のどれですか(○はいいくつでも)

「足腰などの痛み」が 57.9%と最も多く、次いで「交通手段がない」が 25.2%、「トイレの心配」が 18.5%、「病気」と「外での楽しみがない」が共に 14.0%となっています。

第 9 期調査と比較すると、「足腰などの痛み」は 32.3%から 57.9%へと 25.6 ポイント増加し、「交通手段がない」は 8.7%から 25.2%へと 16.5 ポイント増加し、「トイレの心配」は 10.3%から 18.5%へと 8.2 ポイント増加しています。



《自由記述》

外出を控えている理由について、69 件の回答があり、身体機能の低下や感染症への警戒、家族の介護、心理的な意欲低下などが挙げられました。

① 身体機能・健康状態への不安について

- 「転倒が怖いから」「まっすぐに歩けない、ヨロヨロ ヨロける」「足腰が弱ってきた」といった歩行やバランス機能の低下に対する不安が多く見られました。
- 「全身が疲れやすい」「歩行が困難」「半年前に人工股関節手術を受けた」「コルセット・杖が必要」など、具体的な身体状況を挙げる意見もありました。

② 感染症対策・衛生面について

- 「コロナ、インフルエンザにかかりたくない」「感染予防のため」「他の病気にならないように」といった感染症を警戒する意見が多数寄せられました。
- 「アレルギー体質でワクチンを打っていないから」「コロナ禍以降、人ゴミが苦手になった」という記述も見られました。

③ 介護・家庭の事情について

- 「配偶者の介護のため」「自宅で親の介護」など、家族のケアが外出を制限する大きな要因となっています。
- 「老犬の介護の為」「母が入院中で遠出できない」といった事情も挙げられました。

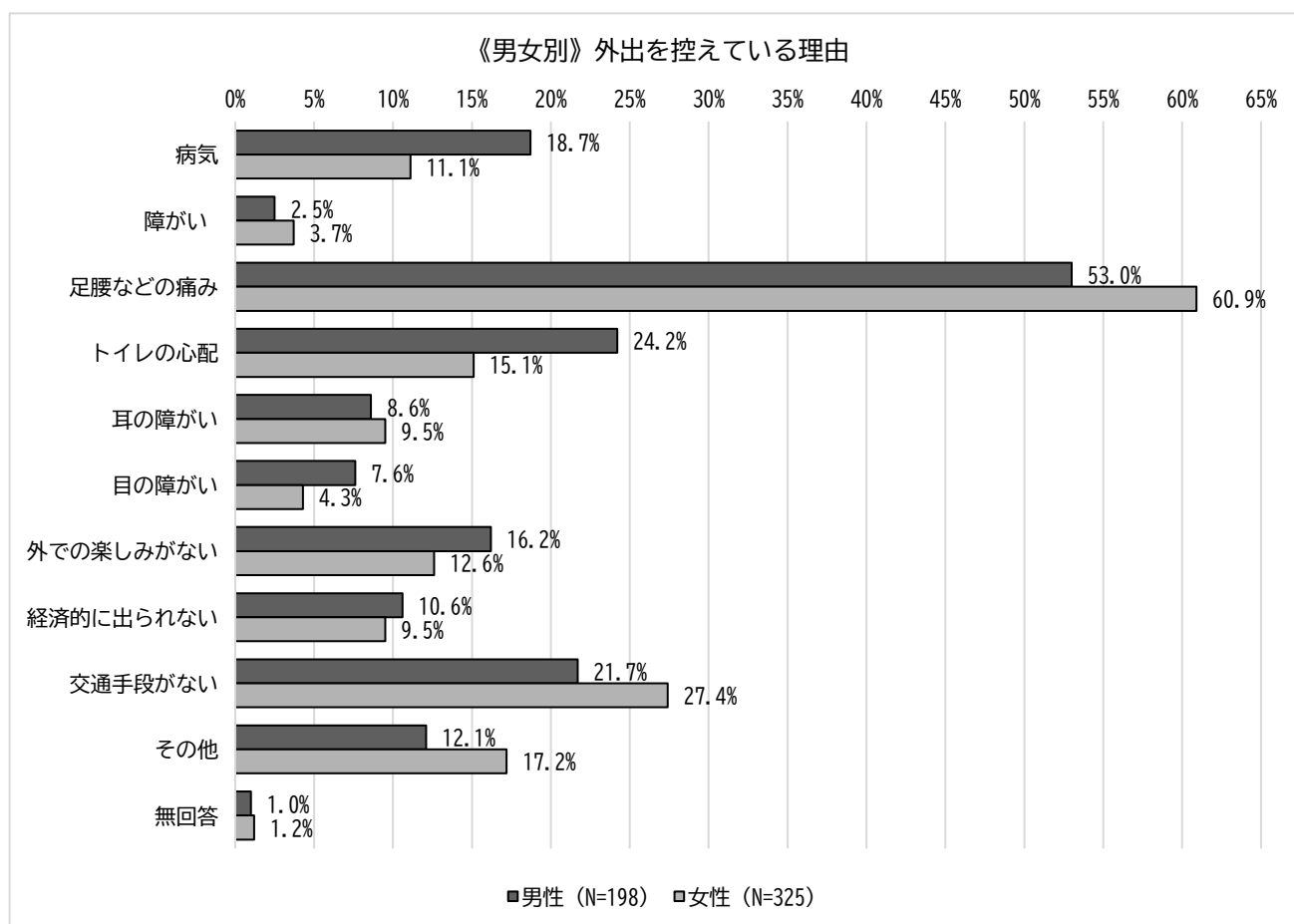
④ 心理的要因・その他について

- 「外出する意欲がない」「気力が減った」「めんどくさい」といった、精神的な活動性の低下を示す意見が多くありました。
- 「特に必要がなければ出ない」「家にいるのが好き」という回答や、「目的地が遠い」といった物理的な理由も散見されました。

《男女別》

「男性」は「足腰などの痛み」が 53.0%と最も多く、次いで「トイレの心配」が 24.2%、「交通手段がない」が 21.7%、「病気」が 18.7%、「外での楽しみがない」が 16.2%、「女性」は「足腰などの痛み」が 60.9%、「交通手段がない」が 27.4%、「トイレの心配」が 15.1%、「外での楽しみがない」が 12.6%、「病気」が 11.1%となっています。

「トイレの心配」は「男性」が 24.2%に対し、「女性」は 15.1%と、「男性」が「女性」を 9.1 ポイント上回り、「病気」は「男性」が 18.7%に対し、「女性」は 11.1%と、「男性」が「女性」を 7.6 ポイント上回り、「足腰などの痛み」は「女性」が 60.9%に対し、「男性」は 53.0%と、「女性」が「男性」を 7.9 ポイント上回っています。

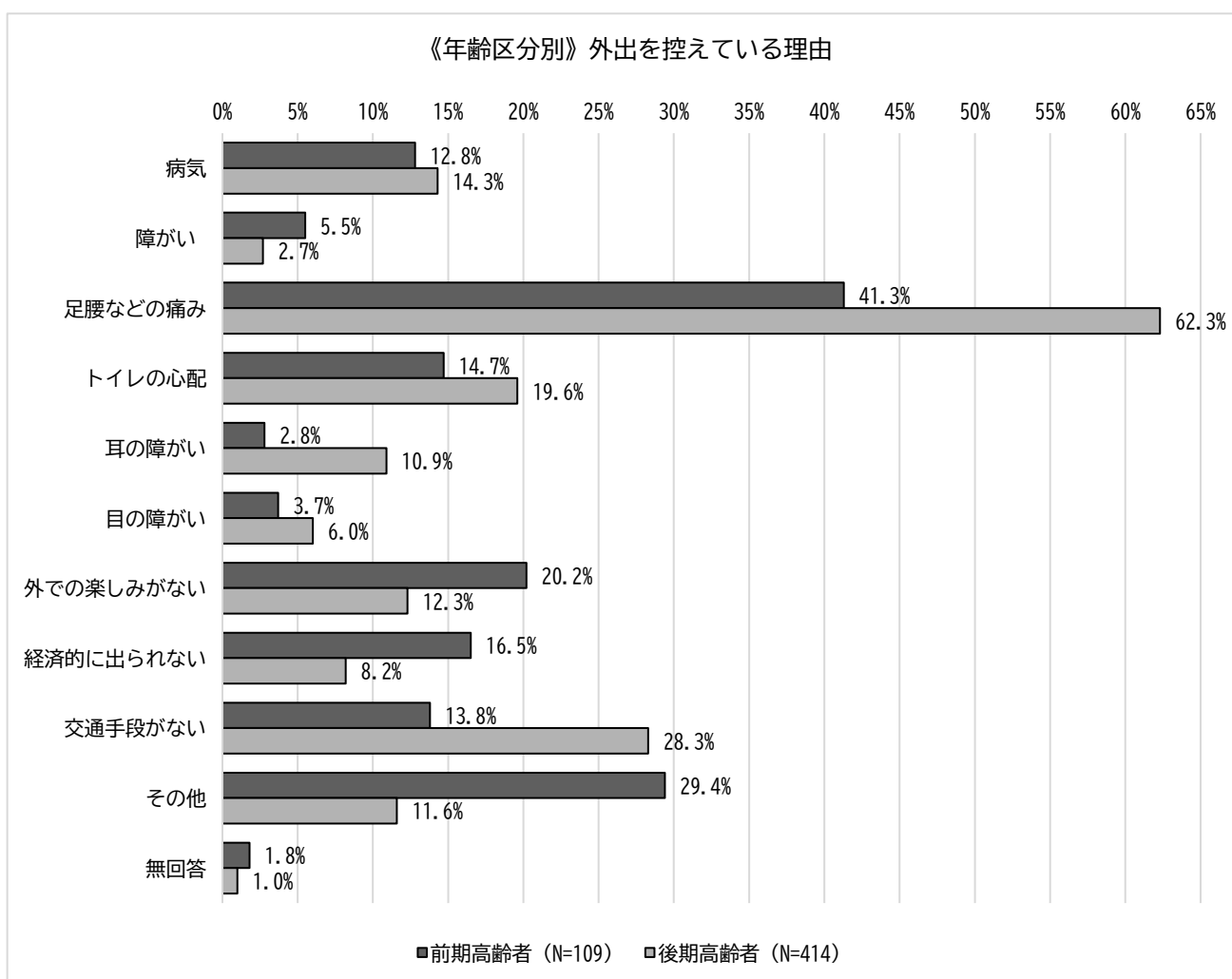


《年齢区分別》

「前期高齢者」は「足腰などの痛み」が 41.3%と最も多く、次いで「外での楽しみがない」が 20.2%、「経済的に出られない」が 16.5%、「トイレの心配」が 14.7%、「交通手段がない」が 13.8%、「後期高齢者」は「足腰などの痛み」が 62.3%と最も多く、次いで「交通手段がない」が 28.3%、「トイレの心配」が 19.6%、「病气」が 14.3%、「外での楽しみがない」が 12.3%となっています。

「足腰などの痛み」は「後期高齢者」が 62.3%に対し、「前期高齢者」は 41.3%と、「後期高齢者」が「前期高齢者」を 21.0 ポイント上回り、「交通手段がない」は「後期高齢者」が 28.3%に対し、「前期高齢者」は 13.8%と、「後期高齢者」が「前期高齢者」を 14.5 ポイント上回っています。

反対に、「経済的に出られない」は「前期高齢者」が 16.5%に対し、「後期高齢者」は 8.2%と、「前期高齢者」が「後期高齢者」を 8.3 ポイント上回り、「外での楽しみがない」は「前期高齢者」が 20.2%に対し、「後期高齢者」は 12.3%と、「前期高齢者」が「後期高齢者」を 7.9 ポイント上回っています。

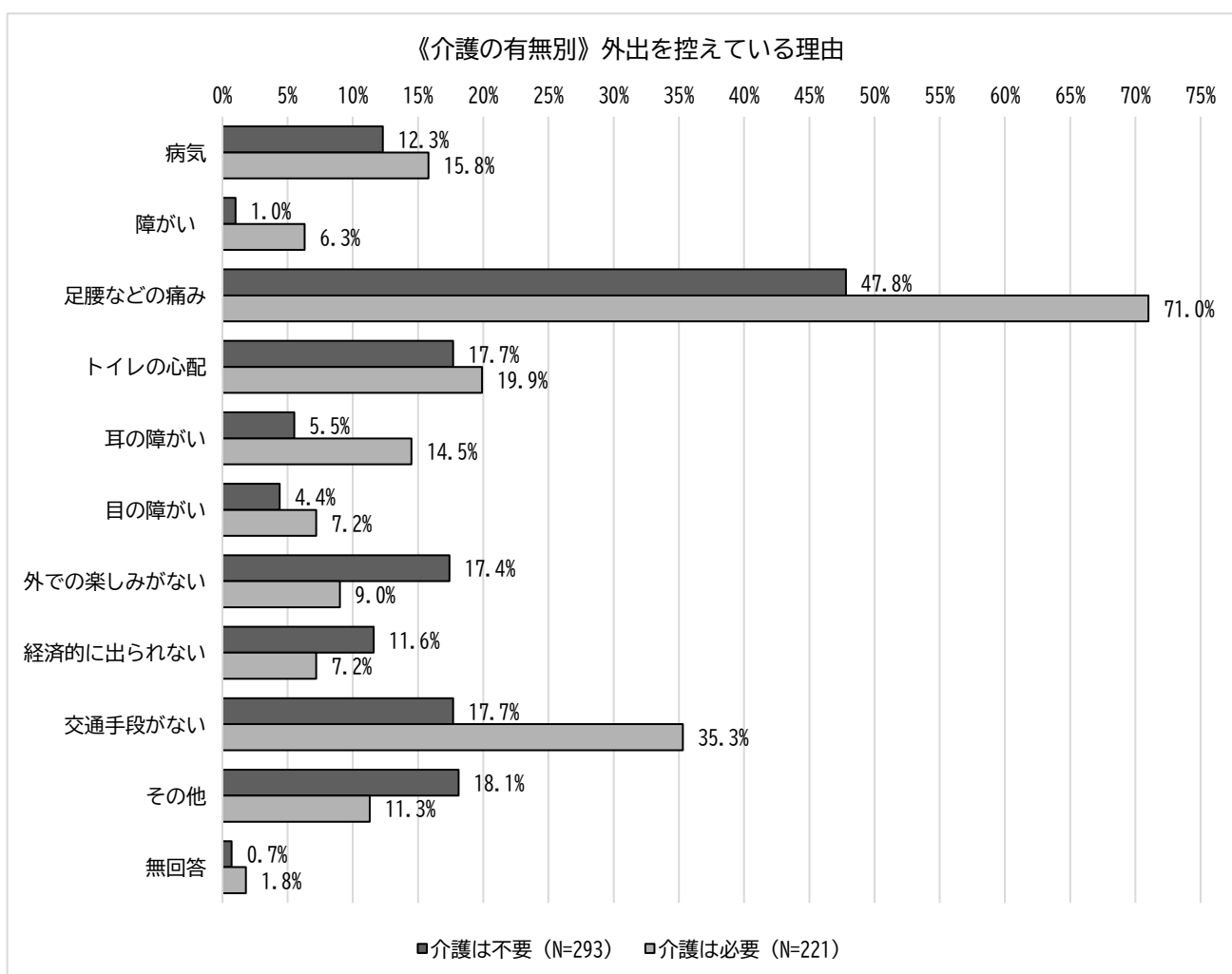


《介護の有無別》

「介護は不要」は「足腰などの痛み」が 47.8%と最も多く、次いで「トイレの心配」「交通手段がない」が共に 17.7%、「外での楽しみがない」が 17.4%、「病気」が 12.3%、「介護は必要」は「足腰などの痛み」が 71.0%と最も多く、次いで「交通手段がない」が 35.3%、「トイレの心配」が 19.9%、「病気」が 15.8%、「耳の障がい」が 14.5%となっています。

「足腰などの痛み」は「介護は必要」が 71.0%に対し、「介護は不要」は 47.8%と、「介護は必要」が「介護は不要」を 23.2 ポイント上回り、「交通手段がない」は「介護は必要」が 35.3%に対し、「介護は不要」は 17.7%と、「介護は必要」が「介護は不要」を 17.6 ポイント上回り、「耳の障がい」は「介護は必要」が 14.5%に対し、「介護は不要」が 5.5%と、「介護は必要」が「介護は不要」を 9.0 ポイント上回っています。

反対に、「外での楽しみがない」は「介護は不要」が 17.4%に対し、「介護は必要」が 9.0%と、「介護は不要」が「介護は必要」を 8.4 ポイント上回っています。



《日常生活圏域別》

回答の多かった「足腰などの痛み」「交通手段がない」「トイレの心配」に着目して圏域による比較を行います。

「足腰などの痛み」は「三日市小学校区」が71.1%と最も多く、次いで「石仏小学校区」が62.5%、「南花台小学校区」が60.8%、「千代田小学校区」が60.5%、「小山田小学校区」が60.3%となっています。

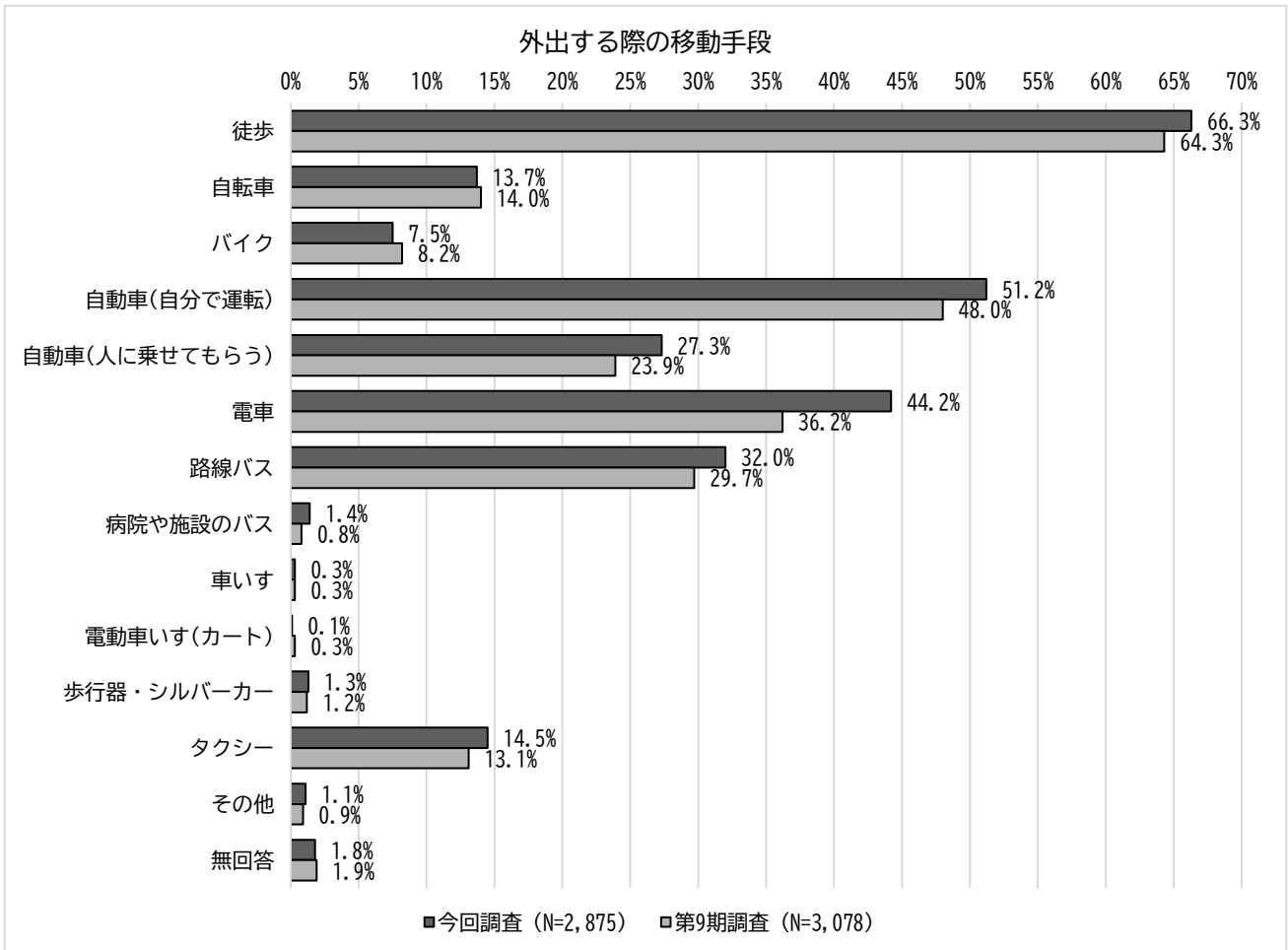
「交通手段がない」は「石仏小学校区」が37.5%と最も多く、次いで「小山田小学校区」が34.6%、「加賀田小学校区」が28.6%、「美加の台小学校区」が26.9%、「千代田小学校区」が25.0%となっています。

「トイレの心配」は「天見小学校区」が40.0%と最も多く、次いで「加賀田小学校区」が39.3%、「天野小学校区」が25.0%、「楠小学校区」が21.8%、「三日市小学校区」が21.1%となっています。

圏域	回答数	病気	障がい	足腰などの痛み	トイレの心配	耳の障がい	目の障がい	外での楽しみがない	経済的に出られない	交通手段がない	その他	無回答
長野	65	16.9%	1.5%	56.9%	20.0%	7.7%	4.6%	21.5%	13.8%	23.1%	13.8%	3.1%
小山田	78	9.0%	1.3%	60.3%	16.7%	9.0%	9.0%	11.5%	7.7%	34.6%	6.4%	1.3%
天野	8	12.5%	12.5%	50.0%	25.0%	12.5%	0.0%	37.5%	25.0%	12.5%	25.0%	0.0%
高向	19	10.5%	5.3%	42.1%	10.5%	0.0%	10.5%	0.0%	10.5%	21.1%	21.1%	0.0%
三日市	38	13.2%	2.6%	71.1%	21.1%	10.5%	5.3%	10.5%	5.3%	23.7%	13.2%	2.6%
天見	5	20.0%	20.0%	0.0%	40.0%	0.0%	20.0%	20.0%	40.0%	20.0%	0.0%	0.0%
川上	50	14.0%	2.0%	58.0%	20.0%	8.0%	2.0%	24.0%	6.0%	22.0%	16.0%	0.0%
千代田	76	13.2%	5.3%	60.5%	14.5%	7.9%	1.3%	9.2%	15.8%	25.0%	18.4%	1.3%
楠	55	16.4%	5.5%	52.7%	21.8%	18.2%	5.5%	12.7%	3.6%	16.4%	18.2%	0.0%
加賀田	28	14.3%	0.0%	53.6%	39.3%	3.6%	7.1%	21.4%	3.6%	28.6%	14.3%	0.0%
石仏	24	12.5%	0.0%	62.5%	20.8%	8.3%	4.2%	8.3%	12.5%	37.5%	8.3%	0.0%
美加の台	26	19.2%	3.8%	57.7%	3.8%	7.7%	15.4%	3.8%	11.5%	26.9%	15.4%	0.0%
南花台	51	15.7%	3.9%	60.8%	13.7%	11.8%	3.9%	13.7%	9.8%	23.5%	25.5%	2.0%

問 2-9 外出する際の移動手段は何ですか(○はいくつでも)

「徒歩」が 66.3%と最も多く、次いで「自動車(自分で運転)」が 51.2%、「電車」が 44.2%、「路線バス」が 32.0%、「自動車(人に乗せてもらう)」が 27.3%となっており、第 9 期調査と比較すると、「電車」は 36.2%から 44.2%へと 8.0 ポイント増加しています。



《自由記述》

移動手段について 33 件の回答があり、バスや電車、徒歩などが挙げられる一方、公共交通機関の利便性低下を訴える声が見られました。

① 公共交通・サービスについて

- 「市バス」「電車」「南花台モビリティ『クルクル』(電動カート)」を利用しているという回答がありました。
- 一方で、「路線バスが少なくなって、病院に行くのに利用できない」「バス路線を増やしてほしい」といった、減便やルート変更による不便さを訴える切実な意見が多く寄せられました。

② 徒歩・補助具・その他について

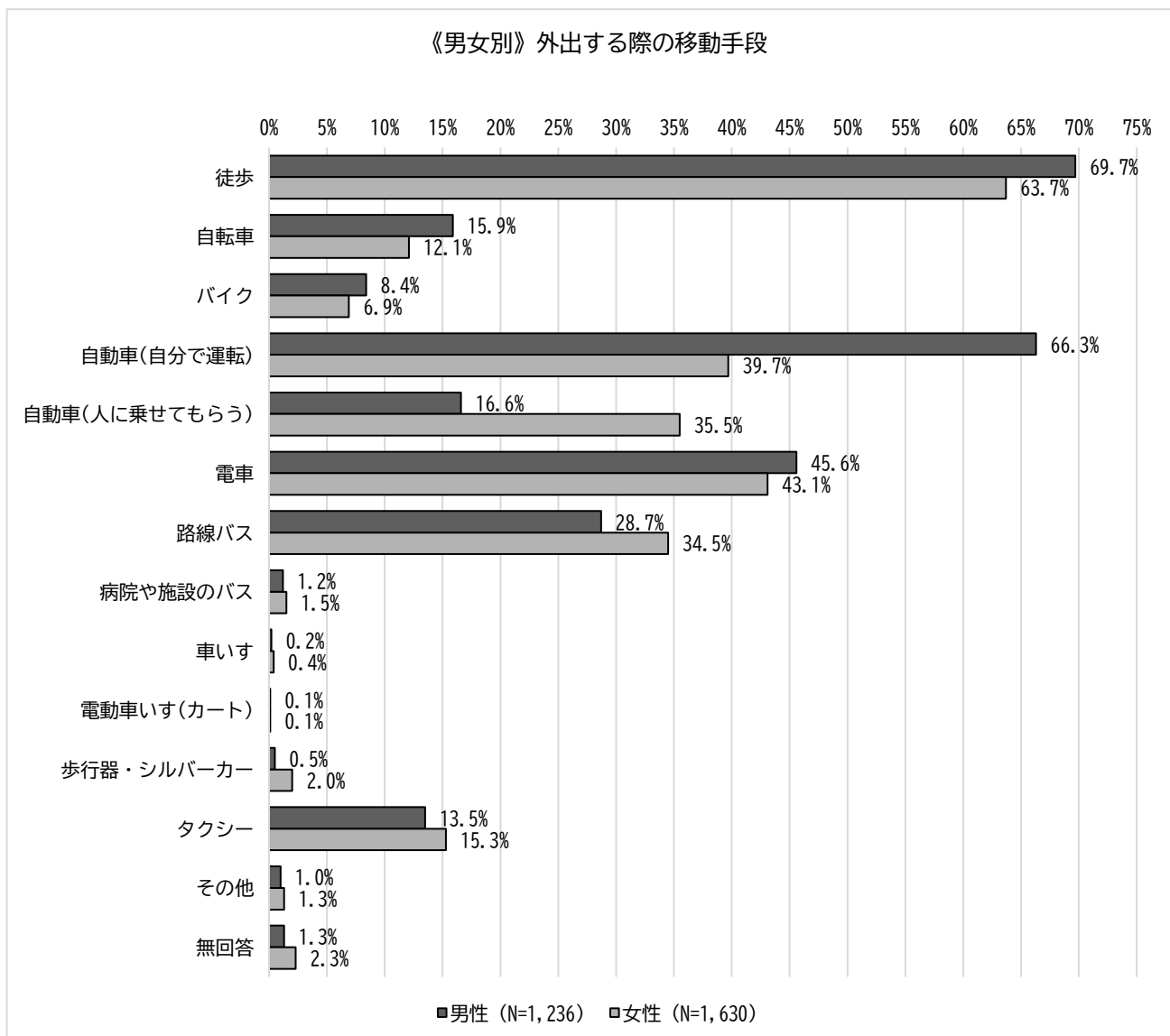
- 「電動自転車」や「特定小型原動機付自転車」を利用するほか、「徒歩」での移動が挙げられました。
- 歩行の補助として「杖(つえ)」を使用しているという記述も多数ありました。
- 「外出しない」という回答もありました。

《男女別》

「男性」は「徒歩」が69.7%と最も多く、次いで「自動車(自分で運転)」が66.3%、「電車」が45.6%、「路線バス」が28.7%、「女性」は「徒歩」が63.7%と最も多く、次いで「電車」が43.1%、「自動車(自分で運転)」が39.7%、「自動車(人に乗せてもらう)」が35.5%、「路線バス」が34.5%となっています。

「自動車(自分で運転)」は「男性」が66.3%に対し、「女性」は39.7%と、「男性」が「女性」を26.6ポイント上回り、「徒歩」は「男性」が69.7%に対し、「女性」は63.7%と、「男性」が「女性」を6.0ポイント上回っています。

反対に、「自動車(人に乗せてもらう)」は「女性」が35.5%に対し、「男性」は16.6%と、「女性」が「男性」を18.9ポイント上回り、「路線バス」は「女性」が34.5%に対し、「男性」は28.7%と、「女性」が「男性」を5.8ポイント上回っています。

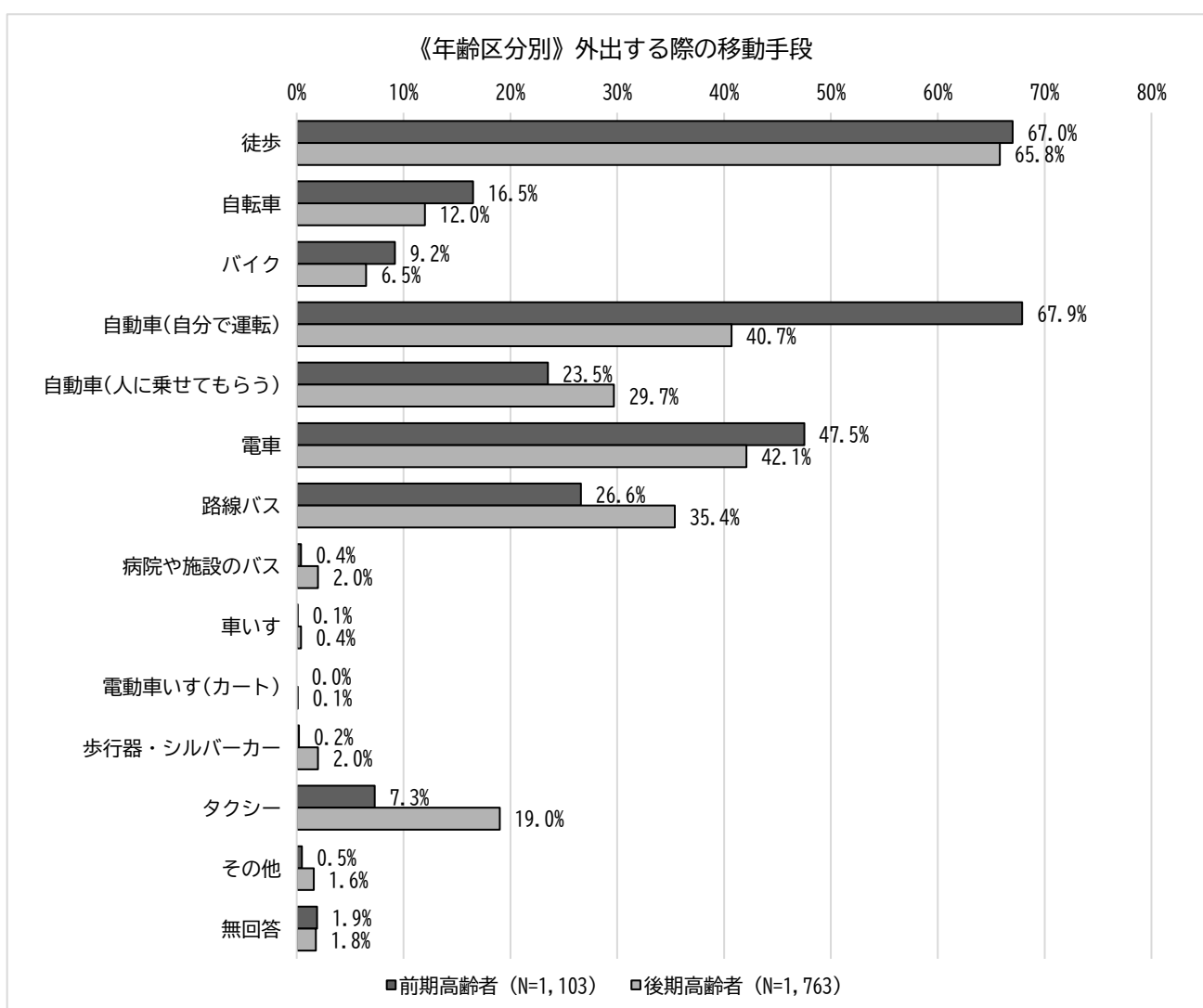


《年齢区分別》

「前期高齢者」は「自動車(自分で運転)」が67.9%と最も多く、次いで「徒歩」が67.0%、「電車」が47.5%、「路線バス」が26.6%、「自動車(人に乗せてもらう)」が23.5%、「後期高齢者」は「徒歩」が65.8%と最も多く、次いで「電車」が42.1%、「自動車(自分で運転)」が40.7%、「路線バス」が35.4%、「自動車(人に乗せてもらう)」が29.7%となっています。

「タクシー」は「後期高齢者」が19.0%に対し、「前期高齢者」は7.3%と、「後期高齢者」が「前期高齢者」を11.7ポイント上回り、「路線バス」は「後期高齢者」が35.4%に対し、「前期高齢者」は26.6%と、「後期高齢者」が「前期高齢者」を8.8ポイント上回り、「自動車(人に乗せてもらう)」は「後期高齢者」が29.7%に対し、「前期高齢者」は23.5%と、「後期高齢者」が「前期高齢者」を6.2ポイント上回っています。

反対に、「自動車(自分で運転)」は「前期高齢者」が67.9%に対し、「後期高齢者」は40.7%と、「前期高齢者」が「後期高齢者」を27.2ポイント上回っています。

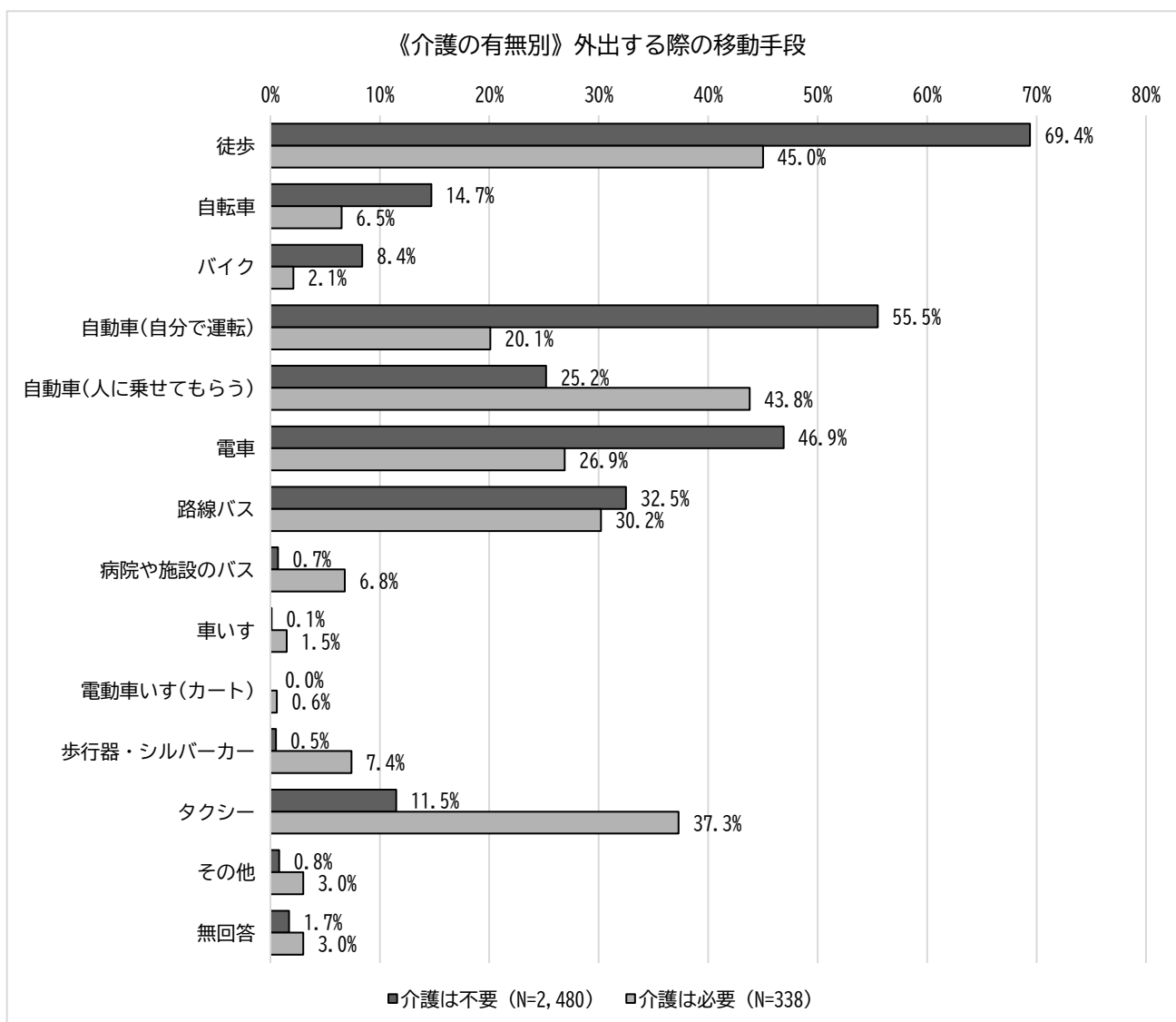


《介護の有無別》

「介護は不要」は「徒歩」が69.4%と最も多く、次いで「自動車(自分で運転)」が55.5%、「電車」が46.9%、「路線バス」が32.5%、「自動車(人に乗せてもらう)」が25.2%、「介護は必要」は「徒歩」が45.0%と最も多く、次いで「自動車(人に乗せてもらう)」が43.8%、「タクシー」が37.3%、「路線バス」が30.2%、「電車」が26.9%となっています。

「タクシー」は「介護は必要」が37.3%に対し、「介護は不要」は11.5%と、「介護は必要」が「介護は不要」を25.8ポイント上回り、「自動車(人に乗せてもらう)」は「介護は必要」が43.8%に対し、「介護は不要」は25.2%と、「介護は必要」が「介護は不要」を18.6ポイント上回っています。

反対に、「自動車(自分で運転)」は「介護は不要」が55.5%に対し、「介護は必要」は20.1%と、「介護は不要」が「介護は必要」を35.4ポイント上回り、「徒歩」は「介護は不要」が69.4%に対し、「介護は必要」は45.0%と、「介護は不要」が「介護は必要」を24.4ポイント上回り、「電車」は「介護は不要」が46.9%に対し、「介護は必要」は26.9%と、「介護は不要」が「介護は必要」を20.0ポイント上回っています。



《日常生活圏域別》

回答の多かった「徒歩」「自動車(自分で運転)」「電車」「路線バス」に着目して圏域による比較を行います。

「徒歩」は「楠小学校区」が75.0%と最も多く、次いで「長野小学校区」が74.5%、「三日市小学校区」が70.1%、「千代田小学校区」が69.6%、「美加の台小学校区」が67.9%となっています。

「自動車(自分で運転)」は「天野小学校区」が66.7%と最も多く、次いで「美加の台小学校区」が66.5%、「天見小学校区」が58.3%、「高向小学校区」が58.1%、「川上小学校区」が57.7%となっています。

「電車」は「美加の台小学校区」が52.6%と最も多く、次いで「川上小学校区」が50.6%、「南花台小学校区」が48.3%、「楠小学校区」が47.6%、「千代田小学校区」が45.2%となっています。

「路線バス」は「南花台小学校区」が45.9%と最も多く、次いで「石仏小学校区」が44.5%、「小山田小学校区」が42.2%、「加賀田小学校区」が41.7%、「川上小学校区」が41.3%となっています。

圏域	回答数	徒歩	自転車	バイク	運転 自動車(自分で せともう)	自動車(人に乗 せてもらう)	電車	路線バス	ス 病院 院や 施設 のバ ス	車 い す	ト 電動 車 い す(カ ー)	歩 行 器 ・ シル バ ー	タク シー	そ の 他	無 回 答
長野	314	74.5%	27.7%	3.5%	40.4%	29.0%	44.3%	25.5%	1.3%	0.3%	0.0%	2.5%	18.5%	0.3%	1.9%
小山田	325	60.9%	13.8%	11.7%	45.8%	33.8%	34.8%	42.2%	1.5%	0.9%	0.0%	2.2%	16.6%	2.5%	1.5%
天野	54	35.2%	13.0%	7.4%	66.7%	29.6%	33.3%	29.6%	1.9%	0.0%	0.0%	0.0%	5.6%	1.9%	1.9%
高向	124	60.5%	13.7%	14.5%	58.1%	27.4%	31.5%	41.1%	0.0%	0.0%	0.8%	1.6%	12.9%	3.2%	0.8%
三日市	244	70.1%	11.5%	6.6%	52.0%	20.9%	45.1%	22.1%	0.4%	0.0%	0.0%	1.2%	13.1%	2.0%	2.9%
天見	36	47.2%	0.0%	5.6%	58.3%	25.0%	41.7%	2.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.6%	0.0%	8.3%
川上	310	66.5%	3.2%	9.0%	57.7%	24.2%	50.6%	41.3%	2.3%	0.6%	0.0%	0.0%	19.0%	1.0%	1.3%
千代田	332	69.6%	27.4%	6.3%	39.8%	29.8%	45.2%	14.8%	1.8%	0.0%	0.3%	2.1%	18.7%	0.6%	1.8%
楠	292	75.0%	19.5%	8.2%	46.9%	26.7%	47.6%	16.4%	1.7%	0.0%	0.0%	1.4%	14.0%	0.0%	1.0%
加賀田	206	55.3%	4.4%	8.7%	57.3%	29.6%	40.3%	41.7%	1.9%	0.5%	0.0%	0.5%	7.3%	1.5%	1.0%
石仏	155	61.3%	5.8%	5.8%	56.8%	21.9%	41.9%	44.5%	1.9%	0.6%	0.0%	0.6%	16.8%	0.6%	1.3%
美加の台	215	67.9%	6.0%	7.0%	66.5%	26.0%	52.6%	36.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.9%	9.3%	0.5%	0.9%
南花台	259	67.2%	8.1%	4.6%	52.9%	26.6%	48.3%	45.9%	1.5%	0.0%	0.0%	1.2%	10.8%	1.5%	4.2%

問3 食べることについて

問3-1 身長・体重を教えてください(数字を記入)(小数点以下は四捨五入)

回答いただいた身長と体重から BMI を計算し、「低体重」「普通体重」「肥満」の傾向についての分析を行いました。

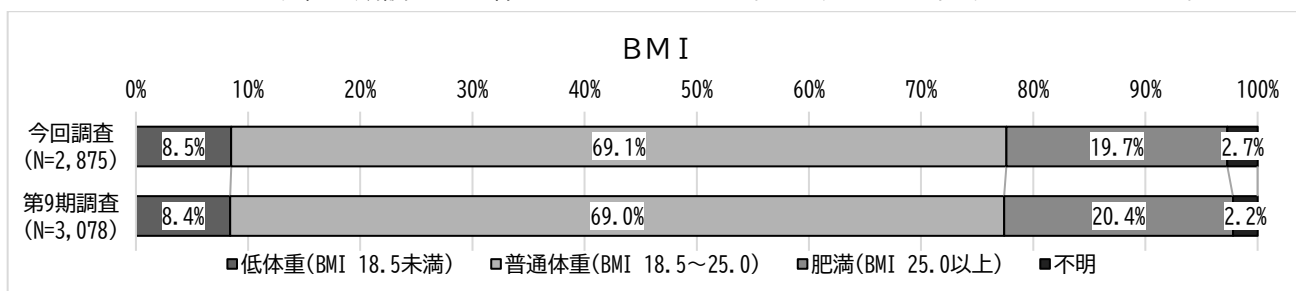
BMI(ボディ・マス指数)とは

体格を表す指標として国際的に用いられている指数で、[体重 (kg)] ÷ [身長 (m) の 2 乗] で求められます (身長は cm ではなく m で計算します)。

計算方法は世界共通ですが、肥満の判定基準は国によって異なり、WHO (世界保健機関) の基準では 30 以上を “Obese” (肥満) としています。一方、日本人は欧米人よりも BMI が平均的に低いことが特徴であり、日本肥満学会の基準では 25 以上を肥満と定義しています。肥満だけでは治療の対象とはならず、治療が必要な「肥満症」とは区別されます。また、18.5 未満は「低体重」(やせ) に分類されます。

《参考》厚生労働省 健康日本 21 アクション支援システム～健康づくりサポートネット～

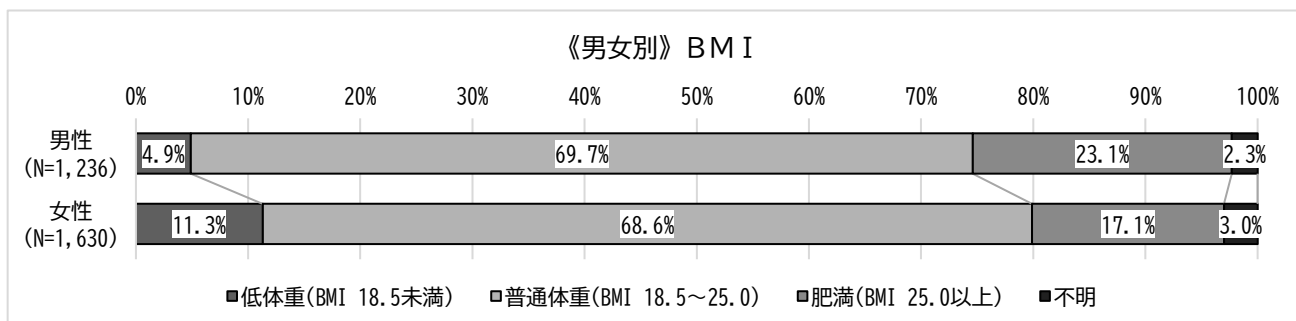
「低体重(BMI18.5 未満)」が 8.5%、「普通体重(BMI18.5～25.0)」が 69.1%、「肥満(BMI25.0 以上)」が 19.7%となっており、第 9 期調査との有意な差はありません。また、BMI の平均は 22.56 でした。



《男女別》

「男性」は「低体重(BMI18.5 未満)」が 4.9%、「普通体重(BMI18.5～25.0)」が 69.7%、「肥満(BMI25.0 以上)」が 23.1%、「女性」は「低体重(BMI18.5 未満)」が 11.3%、「普通体重(BMI18.5～25.0)」が 68.6%、「肥満(BMI25.0 以上)」が 17.1%となっています。また、BMI の平均は「男性」は 23.09、「女性」は 22.17 となっています。

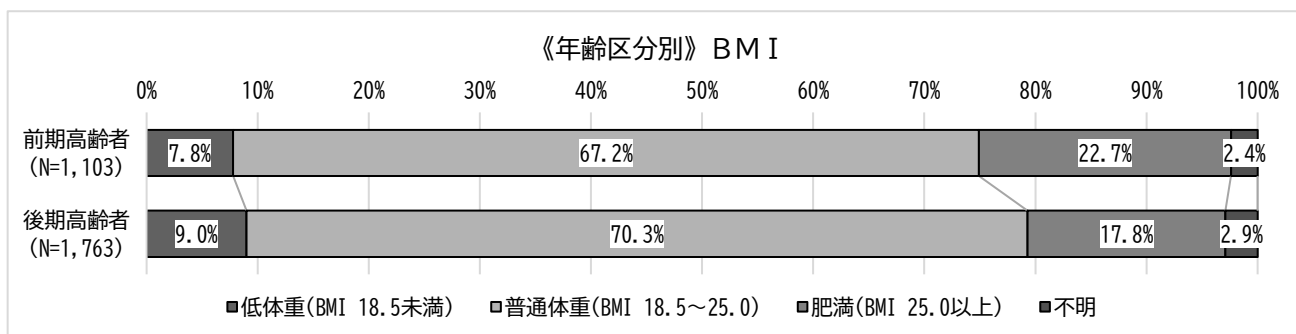
「低体重(BMI18.5 未満)」は「女性」が 11.3%に対し、「男性」は 4.9%と、「女性」が「男性」を 6.4 ポイント上回り、「肥満(BMI25.0 以上)」は「男性」が 23.1%に対し、「女性」は 17.1%と、「男性」が「女性」を 6.0 ポイント上回っています。



《年齢区分別》

「前期高齢者」は「低体重(BMI18.5 未満)」が 7.8%、「普通体重(BMI18.5～25.0)」が 67.2%、「肥満(BMI25.0 以上)」が 22.7%、「後期高齢者」は「低体重(BMI18.5 未満)」が 9.0%、「普通体重(BMI18.5～25.0)」が 70.3%、「肥満(BMI25.0 以上)」が 17.8%となっています。

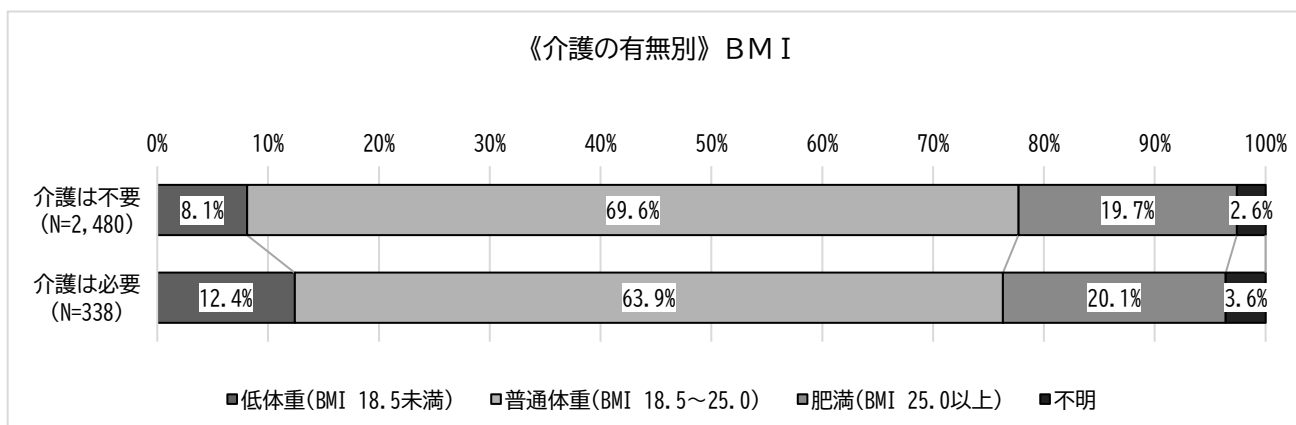
「普通体重(BMI18.5～25.0)」は「後期高齢者」が 70.3%に対し、「前期高齢者」67.2%と、「後期高齢者」が「前期高齢者」を 3.1 ポイント上回り、「肥満(BMI25.0 以上)」は「前期高齢者」が 22.7%に対し、「後期高齢者」は 17.8%と、「前期高齢者」が「後期高齢者」を 4.9 ポイント上回り、BMI の平均は「前期高齢者」が 22.80 に対し、「後期高齢者」は 22.42 となっています。



《介護の有無別》

「介護は不要」は「低体重(BMI18.5 未満)」が 8.1%、「普通体重(BMI18.5～25.0)」が 69.6%、「肥満(BMI25.0 以上)」が 19.7%、「介護は必要」は「低体重(BMI18.5 未満)」が 12.4%、「普通体重(BMI18.5～25.0)」が 63.9%、「肥満(BMI25.0 以上)」が 20.1%となっています。

「低体重(BMI18.5 未満)」は「介護は必要」が 12.4%に対し、「介護は不要」は 8.1%と、「介護は必要」が「介護は不要」を 4.3 ポイント上回り、「普通体重(BMI18.5～25.0)」は「介護は不要」が 69.6%に対し、「介護は必要」は 63.9%と、「介護は不要」が「介護は必要」を 5.7 ポイント上回り、BMI の平均は「介護は不要」が 22.60 に対し、「介護は必要」は 22.31 となっています。

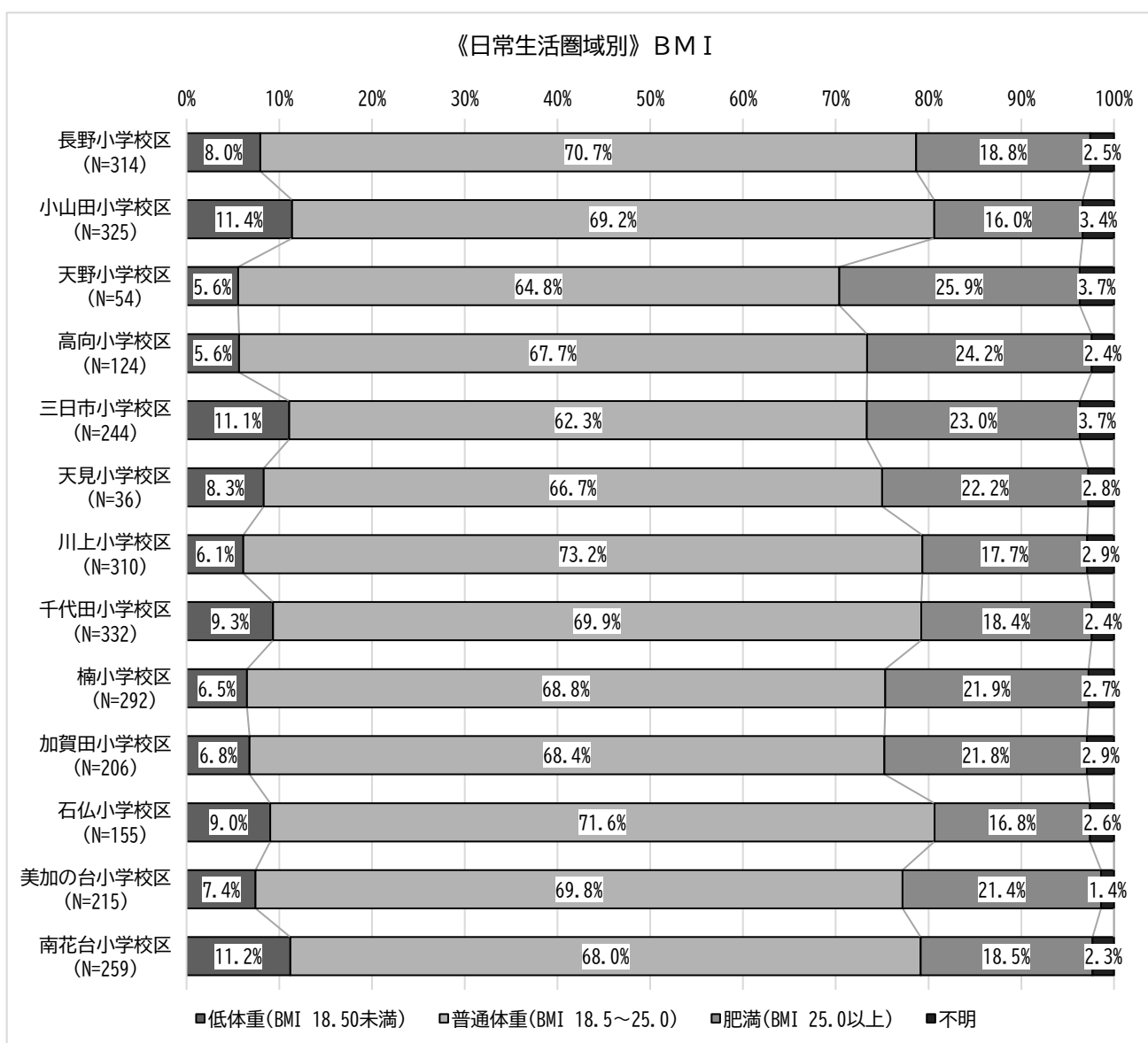


《日常生活圏域別》

「低体重」は「小山田小学校区」が 11.4%と最も多く、次いで「南花台小学校区」が 11.2%、「三日市小学校区」が 11.1%、「千代田小学校区」が 9.3%、「石仏小学校区」が 9.0%となっています。また、「高向小学校区」と「天野小学校区」は共に 5.6%と、最も少なくなっています。

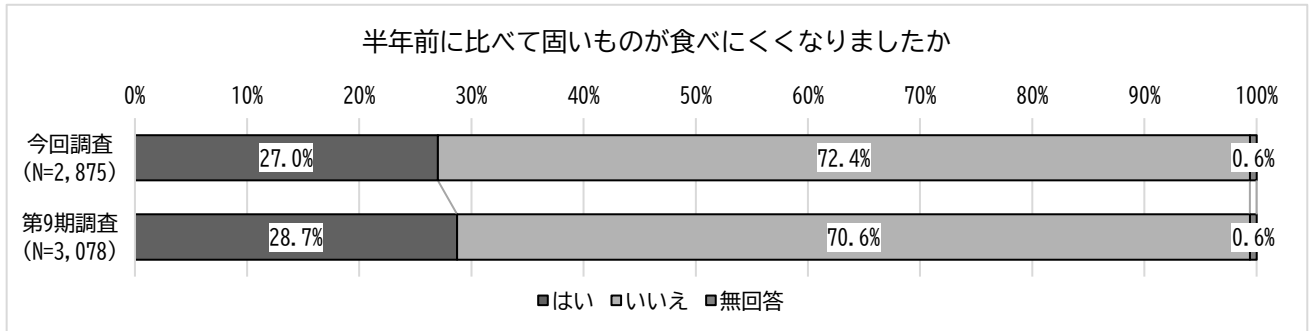
「普通体重」は「川上小学校区」が 73.2%と最も多く、次いで「石仏小学校区」が 71.6%、「長野小学校区」が 70.7%、「千代田小学校区」が 69.9%、「美加の台小学校区」が 69.8%となっています。また、「三日市小学校区」は 62.3%と、最も少なくなっています。

「肥満」は「天野小学校区」が 25.9%と最も多く、次いで「高向小学校区」が 24.2%、「三日市小学校区」が 23.0%、「天見小学校区」が 22.2%、「楠小学校区」が 21.9%となっており、「小山田小学校区」は 16.0%となっており最も少なく、BMI の平均は「天野小学校区」が 23.39 と最も高く、「小山田小学校区」は 22.06 と最も低くなっています。



問 3-2 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか(○はひとつ)

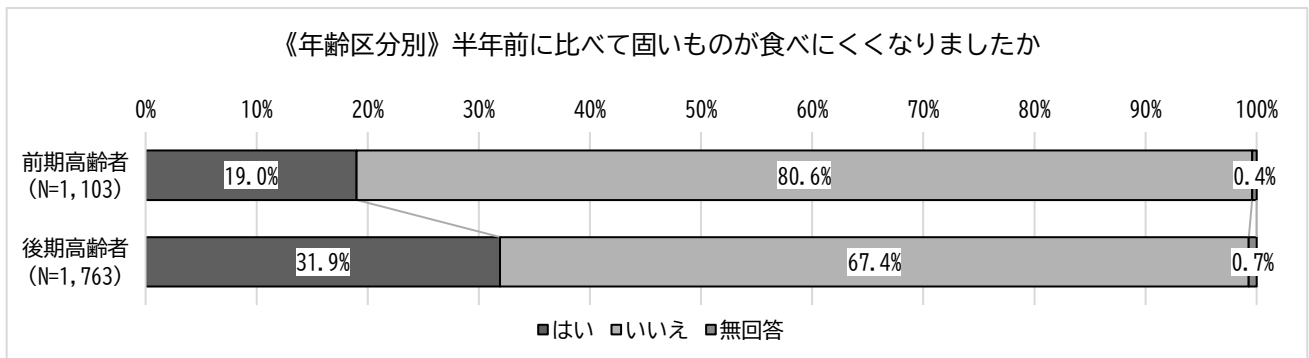
「はい」が 27.0%、「いいえ」が 72.4%となっており、第 9 期調査との有意な差はありません。



《年齢区分別》

「前期高齢者」は「はい」が 19.0%、「いいえ」が 80.6%、「後期高齢者」は「はい」が 31.9%、「いいえ」が 67.4%となっています。

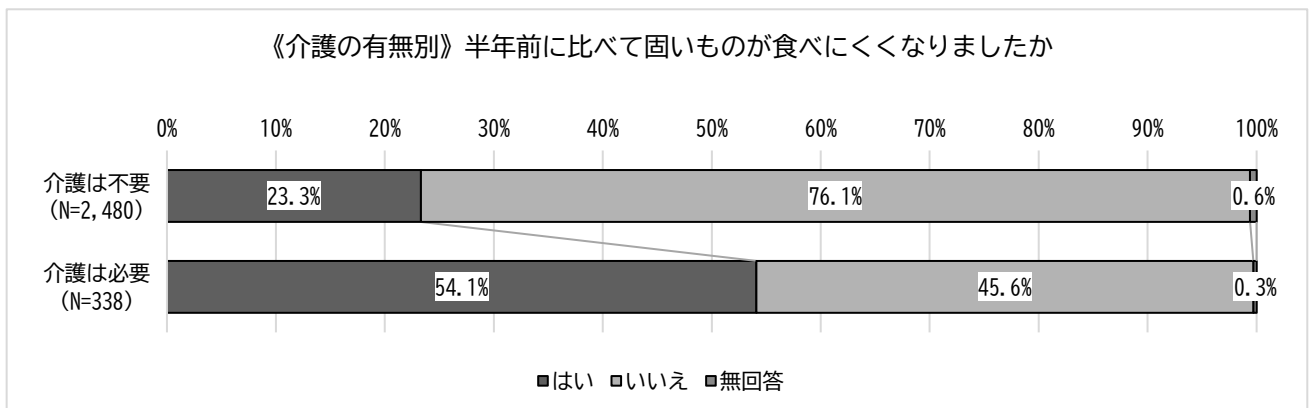
「はい」に着目すると、「後期高齢者」が 31.9%に対し、「前期高齢者」は 19.0%と、「後期高齢者」が「前期高齢者」を 12.9 ポイント上回っています。



《介護の有無別》

「介護は不要」は「はい」が 23.3%、「いいえ」が 76.1%、「介護は必要」は「はい」が 54.1%、「いいえ」が 45.6%となっています。

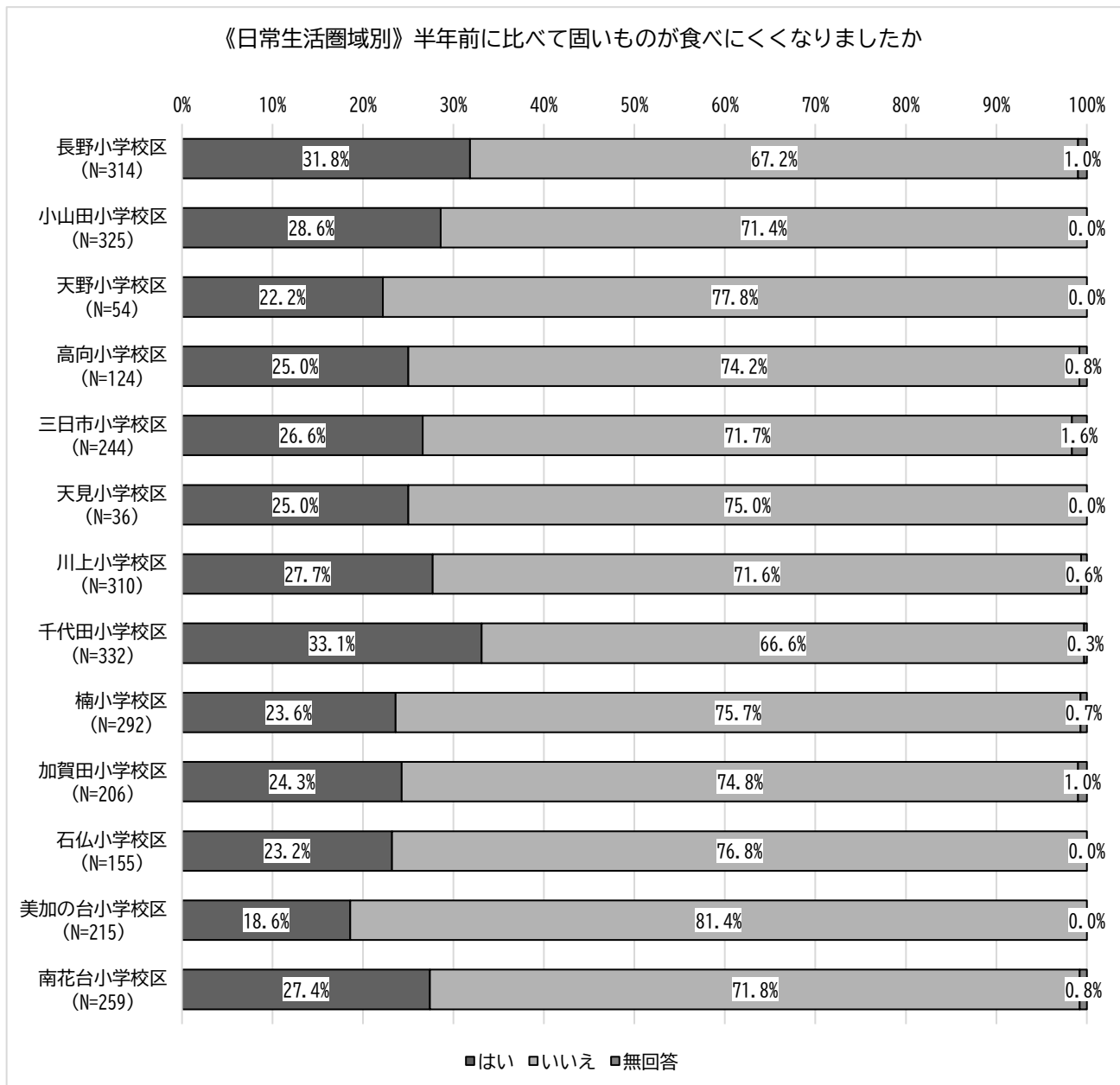
「はい」に着目すると、「介護は必要」が 54.1%に対し、「介護は不要」は 23.3%と、「介護は必要」が「介護は不要」を 30.8 ポイント上回っています。



《日常生活圏域別》

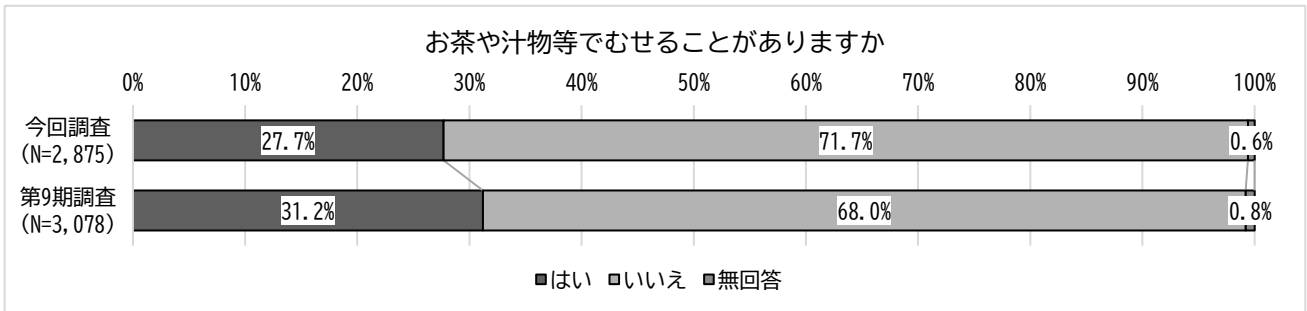
「はい」は「千代田小学校区」が 33.1%と最も多く、次いで「長野小学校区」が 31.8%、「小山田小学校区」が 28.6%、「川上小学校区」が 27.7%、「南花台小学校区」が 27.4%となっています。

「いいえ」は「美加の台小学校区」が 81.4%と最も多く、次いで「天野小学校区」が 77.8%、「石仏小学校区」が 76.8%、「楠小学校区」が 75.7%、「天見小学校区」が 75.0%となっています。



問 3-3 お茶や汁物等でむせることがありますか(○はひとつ)

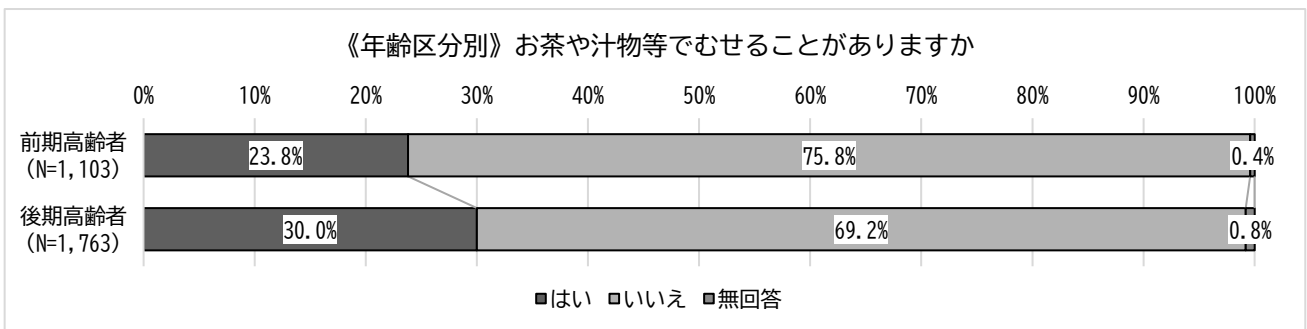
「はい」が27.7%、「いいえ」が71.7%となっており、第9期調査との有意な差はありません。



《年齢区分別》

「前期高齢者」は「はい」が23.8%、「いいえ」が75.8%、「後期高齢者」は「はい」が30.0%、「いいえ」が69.2%となっています。

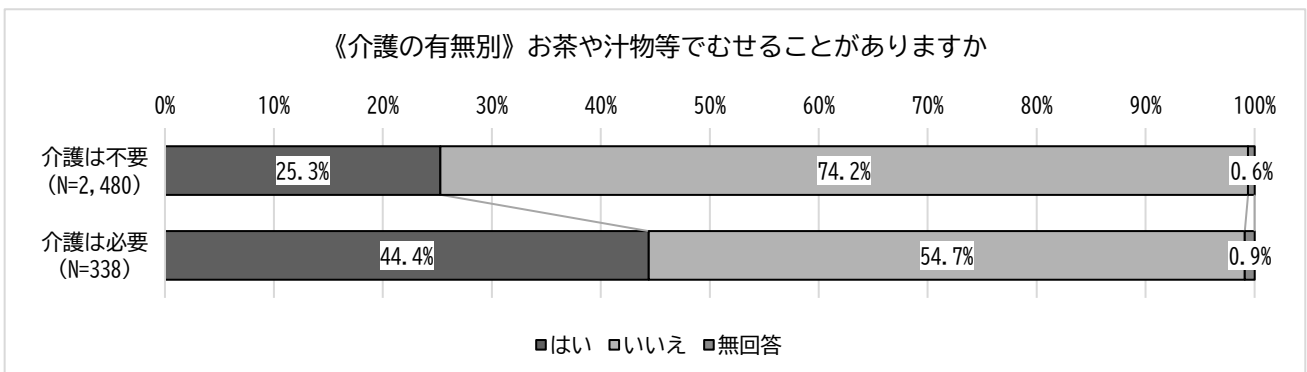
「はい」に着目すると、「後期高齢者」が30.0%に対し、「前期高齢者」は23.8%と、「後期高齢者」が「前期高齢者」を6.2ポイント上回っています。



《介護の有無別》

「介護は不要」は「はい」が25.3%、「いいえ」が74.2%、「介護は必要」は「はい」が44.4%、「いいえ」が54.7%となっています。

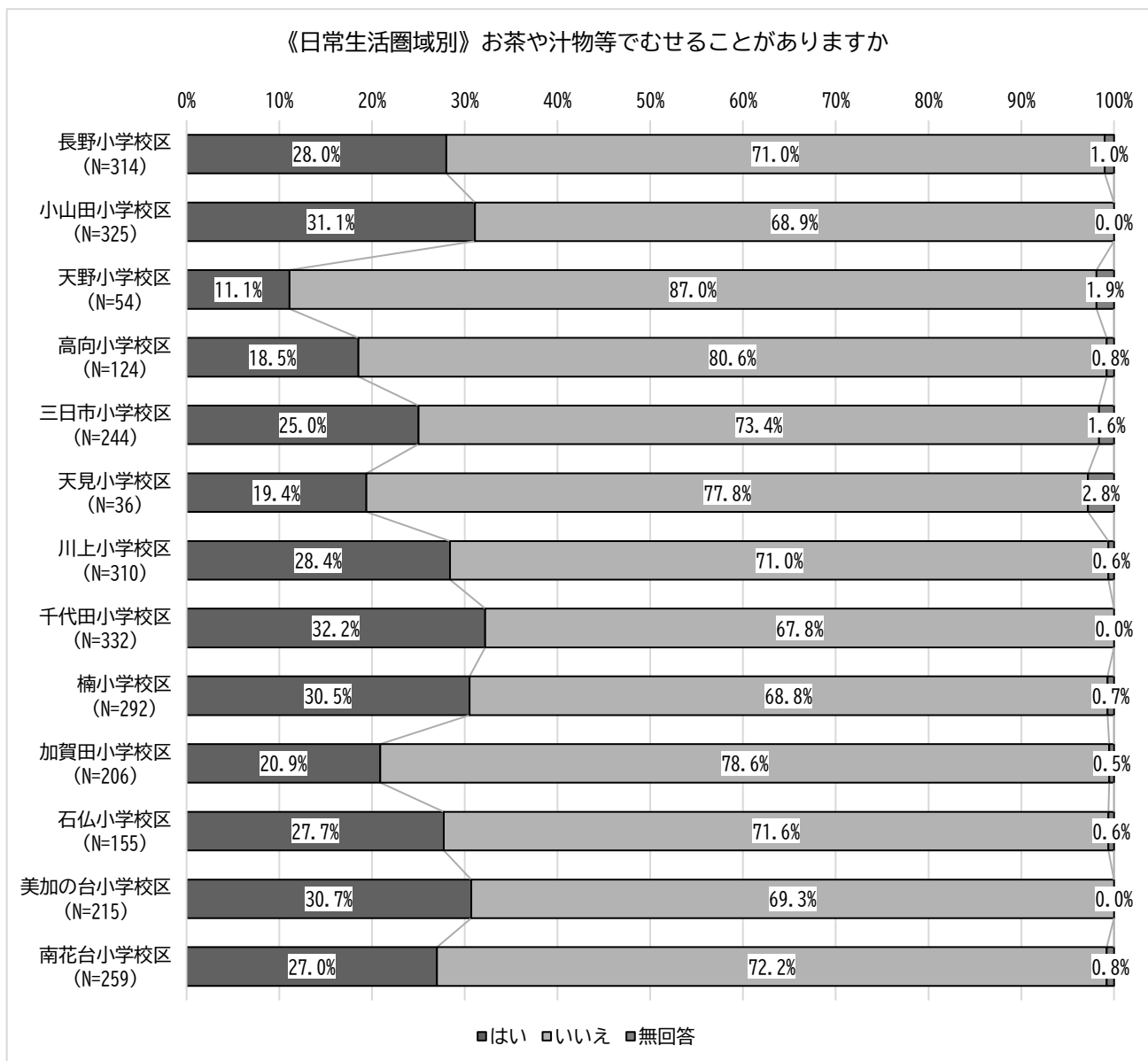
「はい」に着目すると、「介護は必要」が44.4%に対し、「介護は不要」は25.3%と、「介護は必要」が「介護は不要」を19.1ポイント上回っています。



《日常生活圏域別》

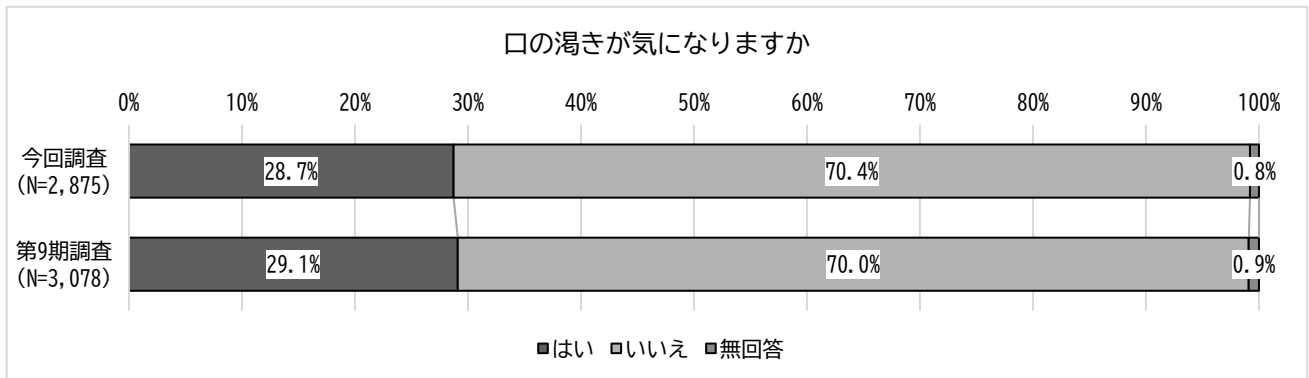
「はい」は「千代田小学校区」が 32.2%と最も多く、次いで「小山田小学校区」が 31.1%、「美加の台小学校区」が 30.7%、「楠小学校区」が 30.5%、「川上小学校区」が 28.4%となっています。

「いいえ」は「天野小学校区」が 87.0%と最も多く、次いで「高向小学校区」が 80.6%、「加賀田小学校区」が 78.6%、「天見小学校区」が 77.8%、「三日市小学校区」が 73.4%となっています。



問 3-4 口の渇きが気になりますか(○はひとつ)

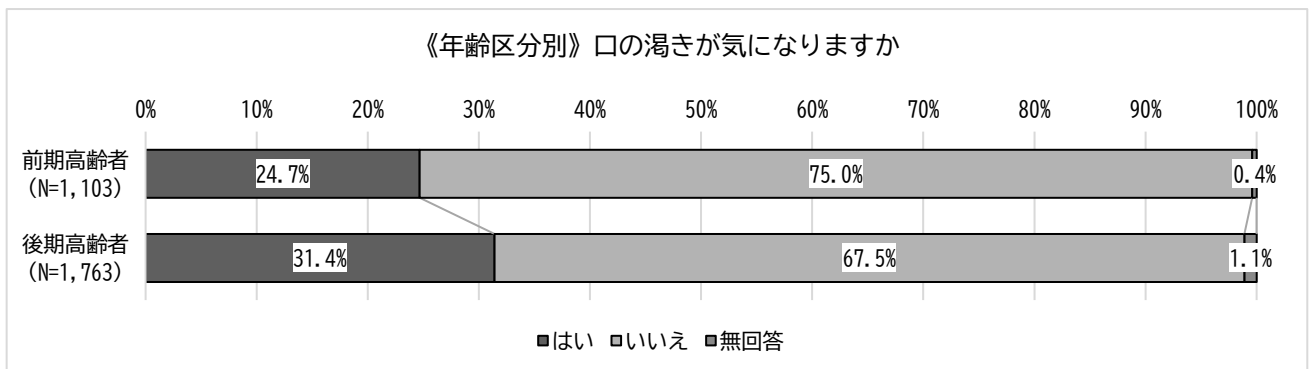
「はい」が28.7%、「いいえ」が70.4%となっており、第9期調査との有意な差はありません。



《年齢区分別》

「前期高齢者」は「はい」が24.7%、「いいえ」が75.0%、「後期高齢者」は「はい」が31.4%、「いいえ」が67.5%となっています。

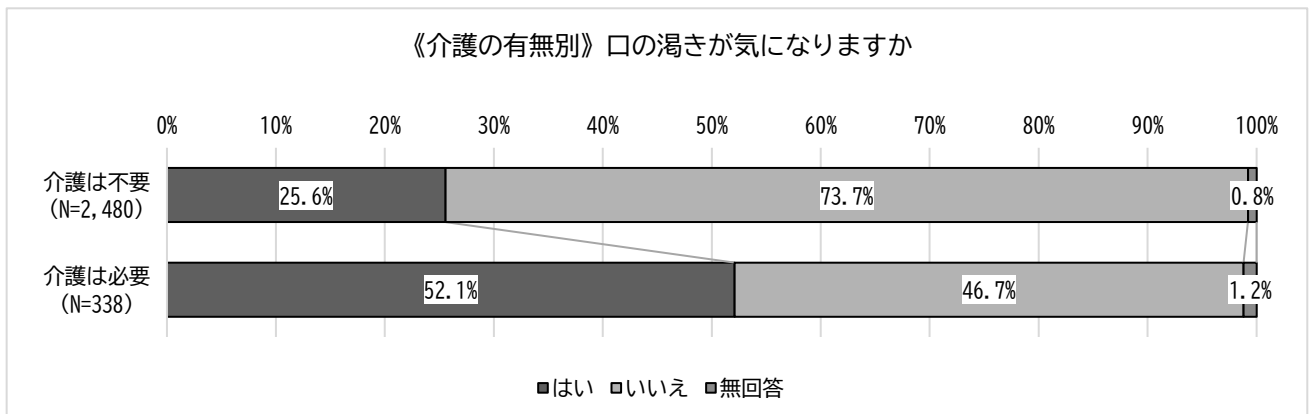
「はい」に着目すると、「後期高齢者」が31.4%に対し、「前期高齢者」は24.7%と、「後期高齢者」が「前期高齢者」を6.7ポイント上回っています。



《介護の有無別》

「介護は不要」は「はい」が25.6%、「いいえ」が73.7%、「介護は必要」は「はい」が52.1%、「いいえ」が46.7%となっています。

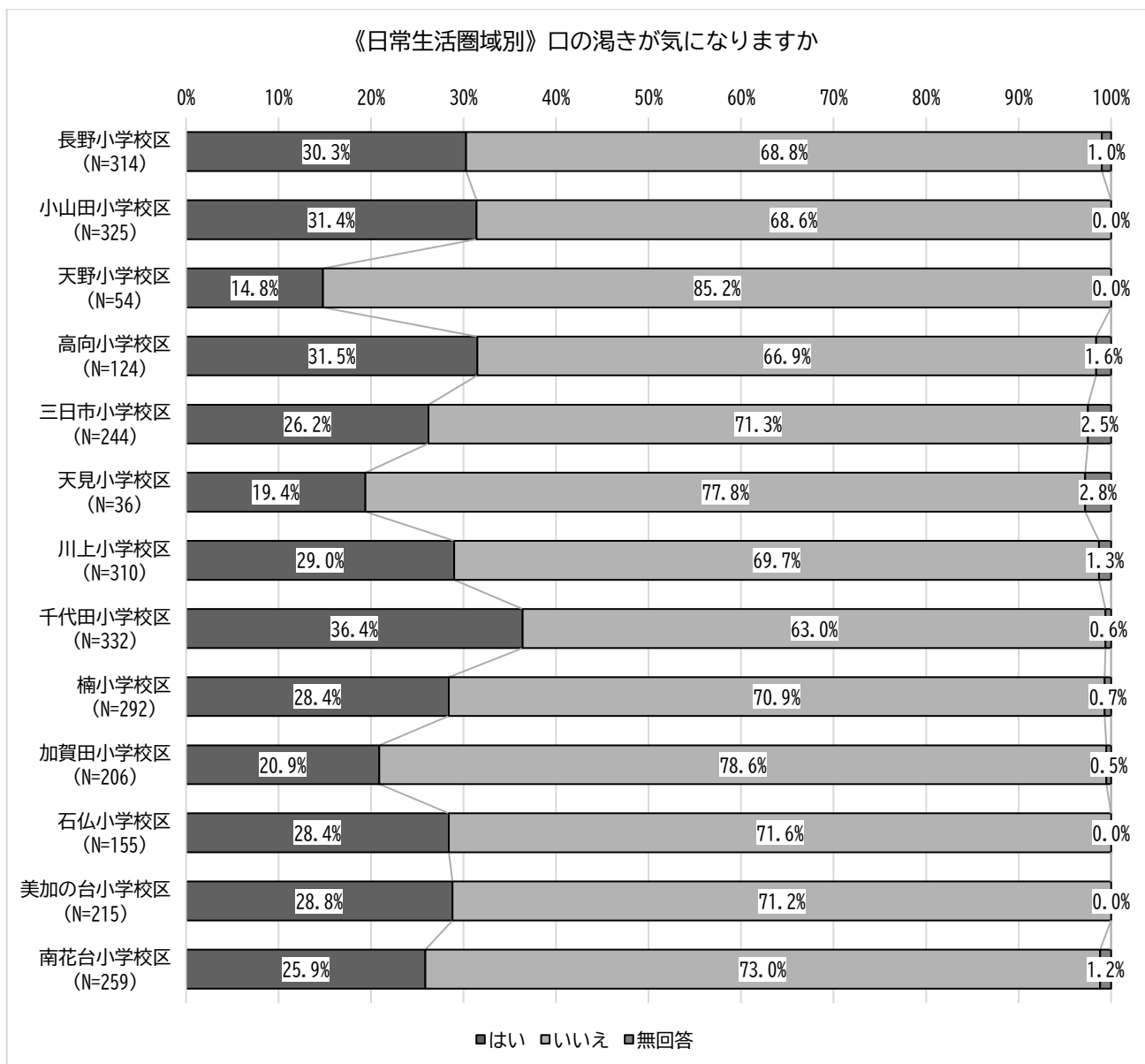
「はい」に着目すると、「介護は必要」が52.1%に対し、「介護は不要」は25.6%と、「介護は必要」が「介護は不要」を26.5ポイント上回っています。



《日常生活圏域別》

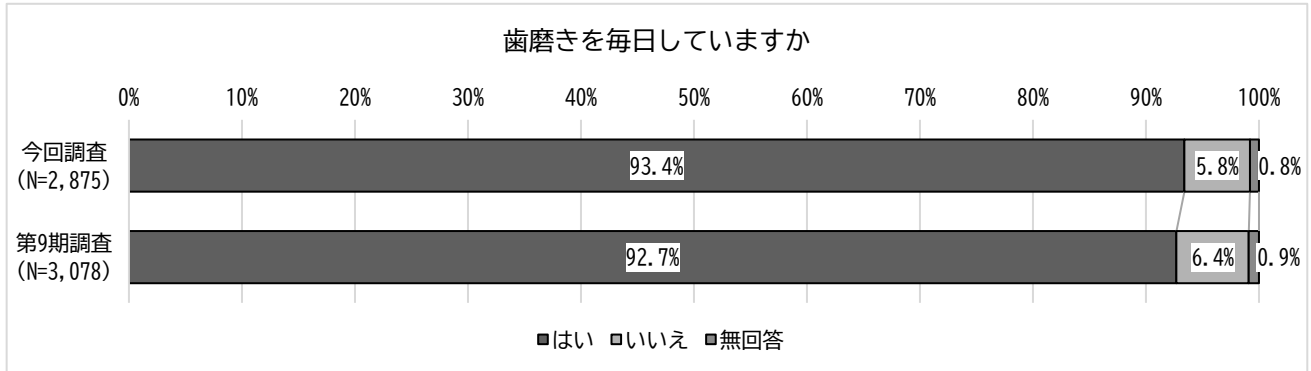
「はい」は「千代田小学校区」が36.4%と最も多く、次いで「高向小学校区」が31.5%、「小山田小学校区」が31.4%、「長野小学校区」が30.3%、「川上小学校区」が29.0%となっています。

「いいえ」は「天野小学校区」が85.2%と最も多く、次いで「加賀田小学校区」が78.6%、「天見小学校区」が77.8%、「南花台小学校区」が73.0%、「石仏小学校区」が71.6%となっています。



問 3-5 歯磨き(人にやってもらう場合も含む)を毎日していますか(○はひとつ)

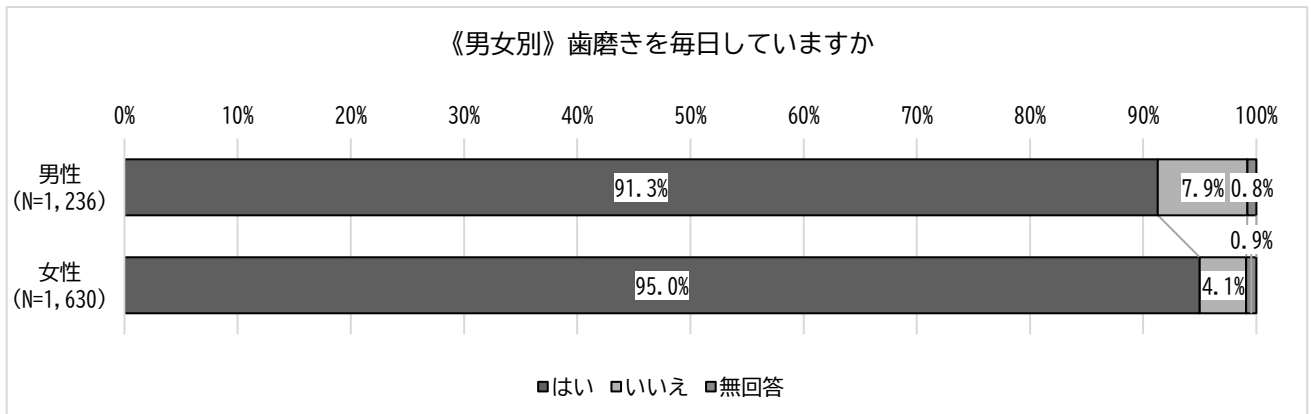
「はい」が93.4%、「いいえ」が5.8%となっており、第9期調査との有意な差はありません。



《男女別》

「男性」は「はい」が91.3%、「いいえ」が7.9%、「女性」は「はい」が95.0%、「いいえ」が4.1%となっています。

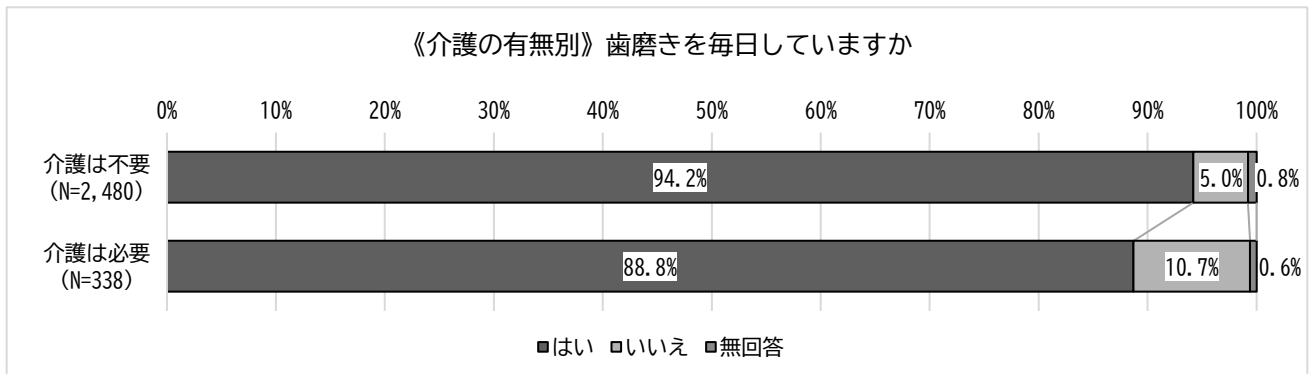
「いいえ」に着目すると、「男性」が7.9%に対し、「女性」は4.1%と、「男性」が「女性」を3.8ポイント上回っています。



《介護の有無別》

「介護は不要」は「はい」が94.2%、「いいえ」が5.0%、「介護は必要」は「はい」が88.8%、「いいえ」が10.7%となっています。

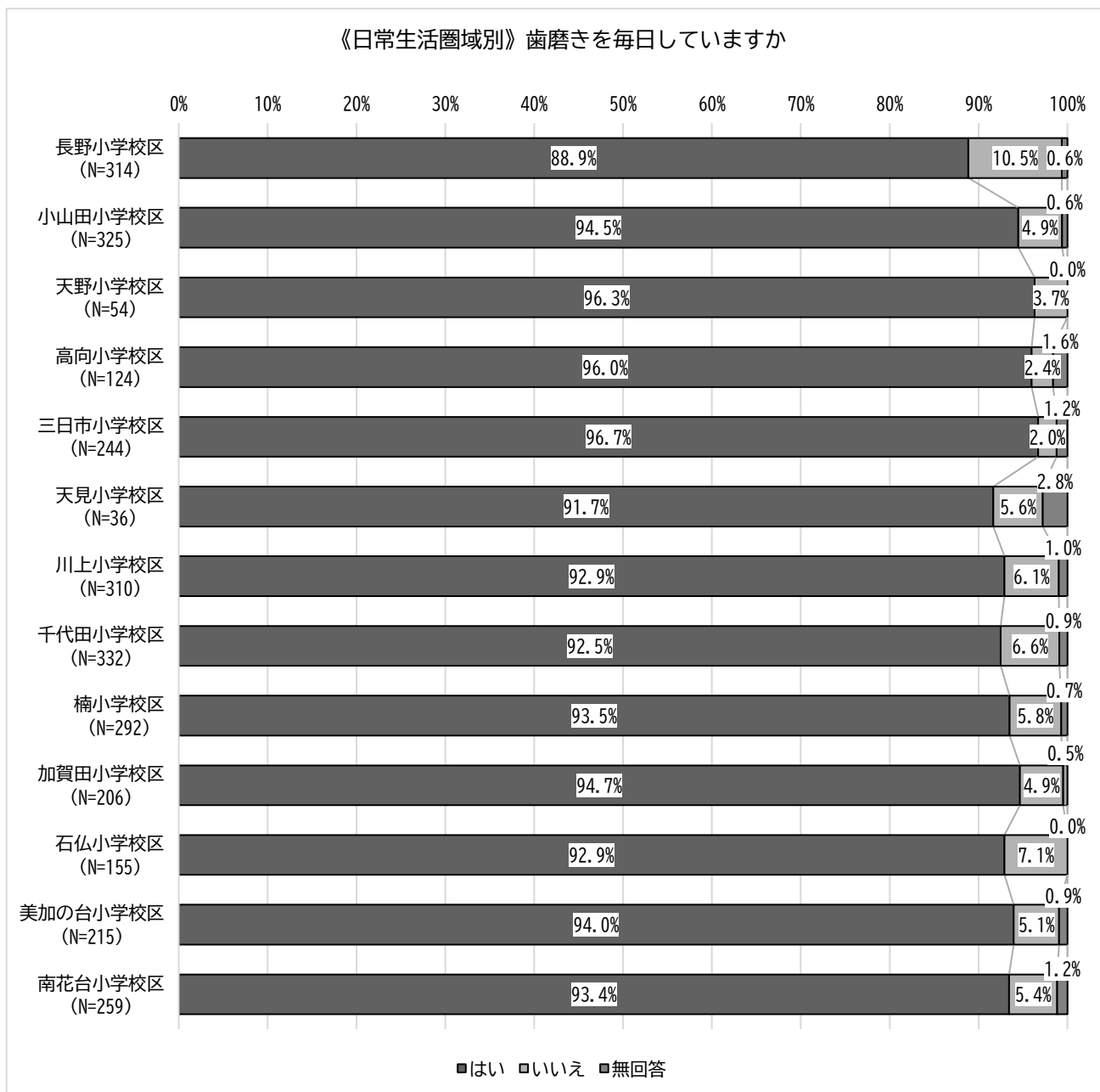
「いいえ」に着目すると、「介護は必要」が10.7%に対し、「介護は不要」は5.0%と、「介護は必要」が「介護は不要」を5.7ポイント上回っています。



《日常生活圏域別》

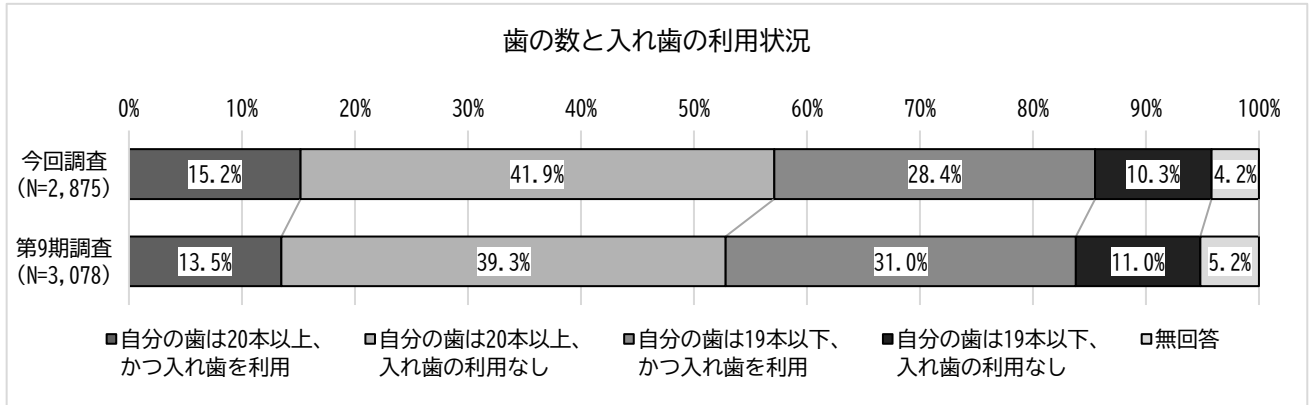
「はい」は「三日市小学校区」が 96.7%と最も多く、次いで「天野小学校区」が 96.3%、「高向小学校区」が 96.0%、「加賀田小学校区」が 94.7%、「小山田小学校区」が 94.5%となっています。

「いいえ」は「長野小学校区」が 10.5%と最も多く、次いで「石仏小学校区」が 7.1%、「千代田小学校区」が 6.6%、「川上小学校区」が 6.1%、「楠小学校区」が 5.8%となっています。



問 3-6 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください(○はひとつ)

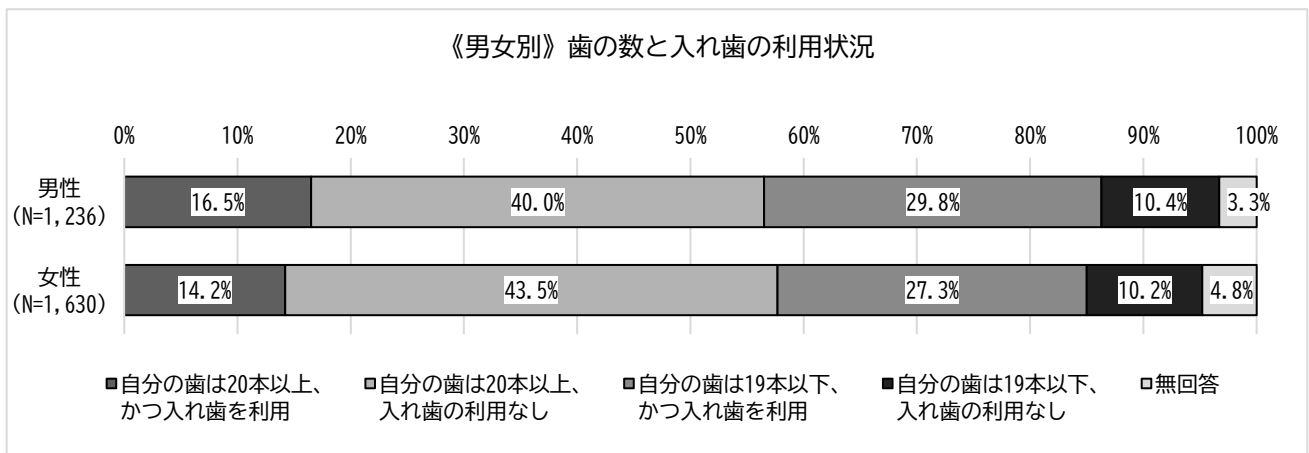
「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」が 41.9%と最も多く、次いで「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」が 28.4%、「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」が 15.2%、「自分の歯は 19 本以下、入れ歯の利用なし」10.3%となっており、第 9 期調査との有意な差はありません。



《男女別》

「男性」は「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」が 40.0%と最も多く、次いで「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」が 29.8%、「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」が 16.5%、「自分の歯は 19 本以下、入れ歯の利用なし」が 10.4%、「女性」は「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」が 43.5%と最も多く、次いで「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」が 27.3%、「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」が 14.2%、「自分の歯は 19 本以下、入れ歯の利用なし」が 10.2%となっています。

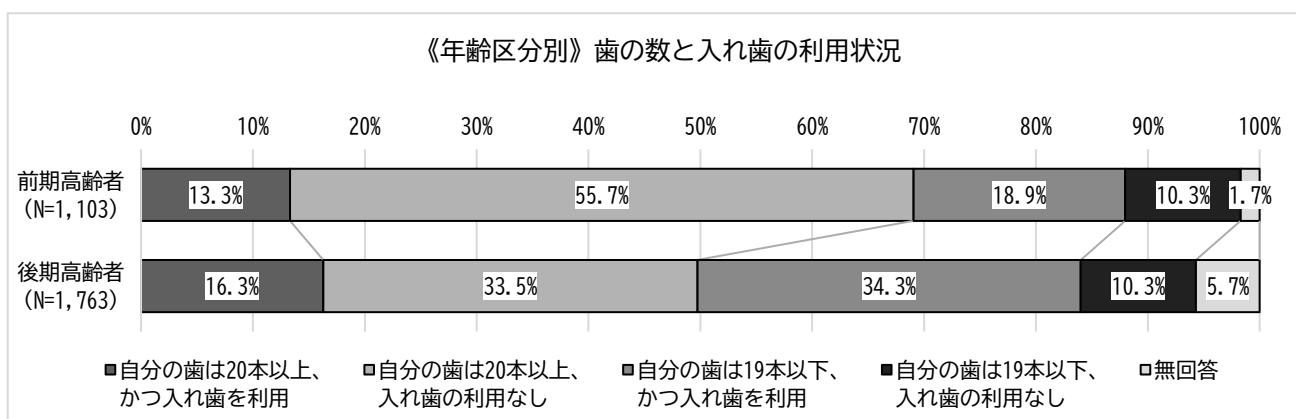
「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」と「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」を合わせた「入れ歯利用」に着目すると、「男性」が 46.3%に対し、「女性」は 41.5%と、「男性」が「女性」を 4.8 ポイント上回っています。



《年齢区分別》

「前期高齢者」は「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」が 55.7%と最も多く、次いで「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」が 18.9%、「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」が 13.3%、「自分の歯は 19 本以下、入れ歯の利用なし」が 10.3%、「後期高齢者」は「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」が 34.3%と最も多く、次いで「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」が 33.5%、「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」が 16.3%、「自分の歯は 19 本以下、入れ歯の利用なし」が 10.3%となっています。

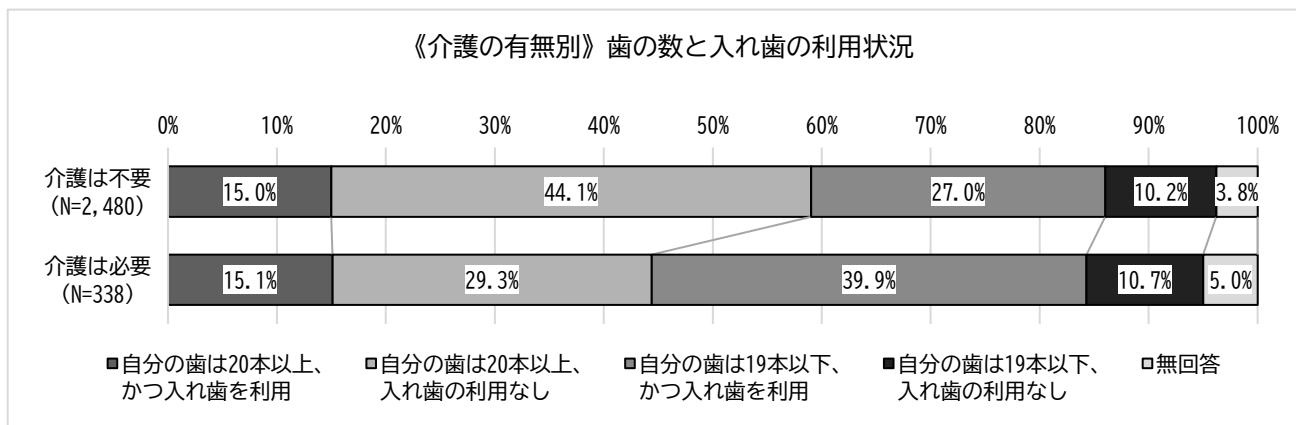
「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」と「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」を合わせた「入れ歯利用」に着目すると、「後期高齢者」が 50.6%に対し、「前期高齢者」は 32.2%と、「後期高齢者」が「前期高齢者」を 18.4 ポイント上回っています。



《介護の有無別》

「介護は不要」は「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」が 15.0%、「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」が 44.1%、「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」が 27.0%、「自分の歯は 19 本以下、入れ歯の利用なし」が 10.2%、「介護は必要」は「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」が 15.1%、「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」が 29.3%、「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」が 39.9%、「自分の歯は 19 本以下、入れ歯の利用なし」が 10.7%となっています。

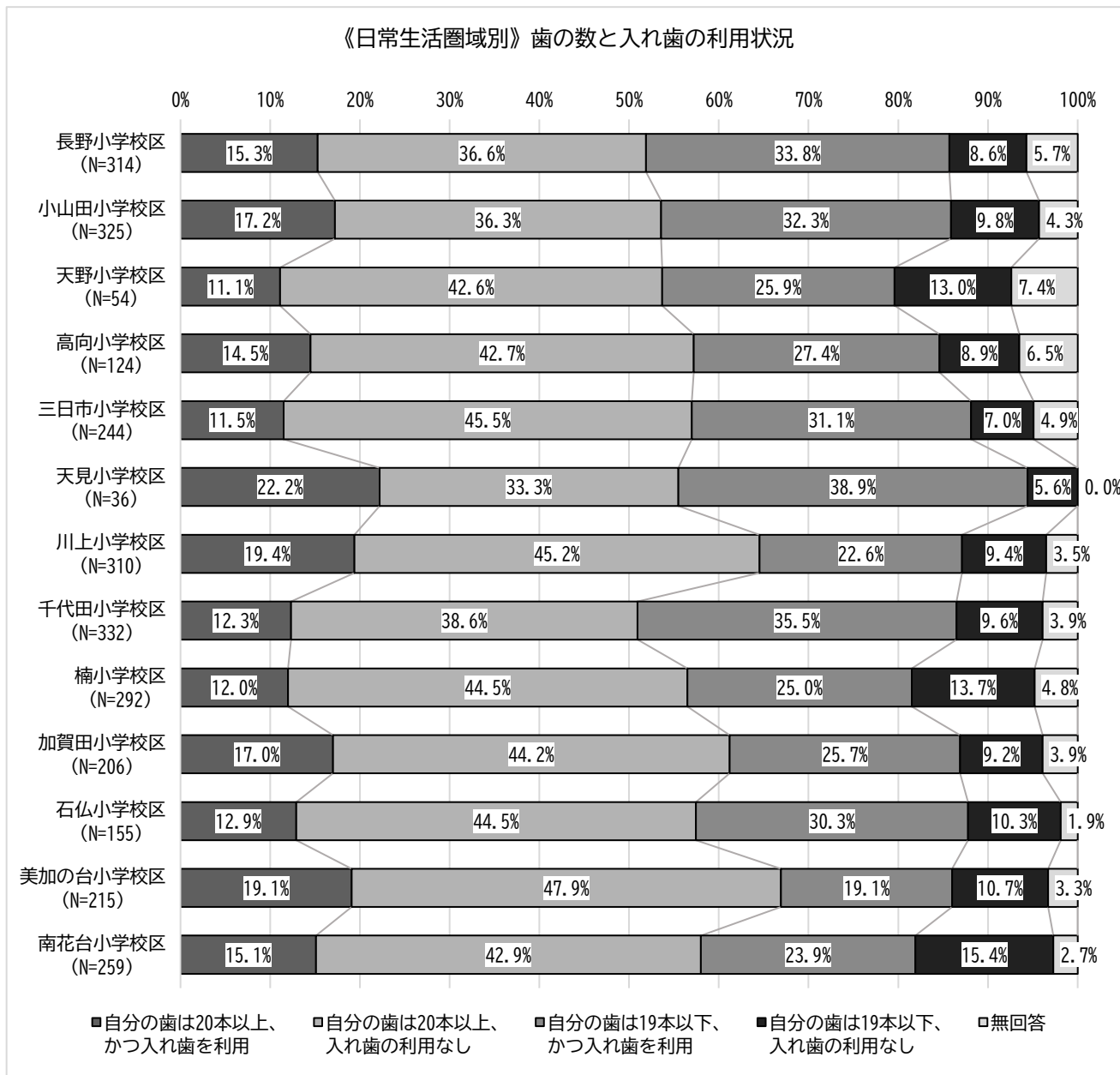
「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」と「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」を合わせた「入れ歯利用」に着目すると、「介護は必要」が 55.0%に対し、「介護は不要」が 42.0%と、「介護は必要」が「介護は不要」を 13.0 ポイント上回っています。



《日常生活圏域別》

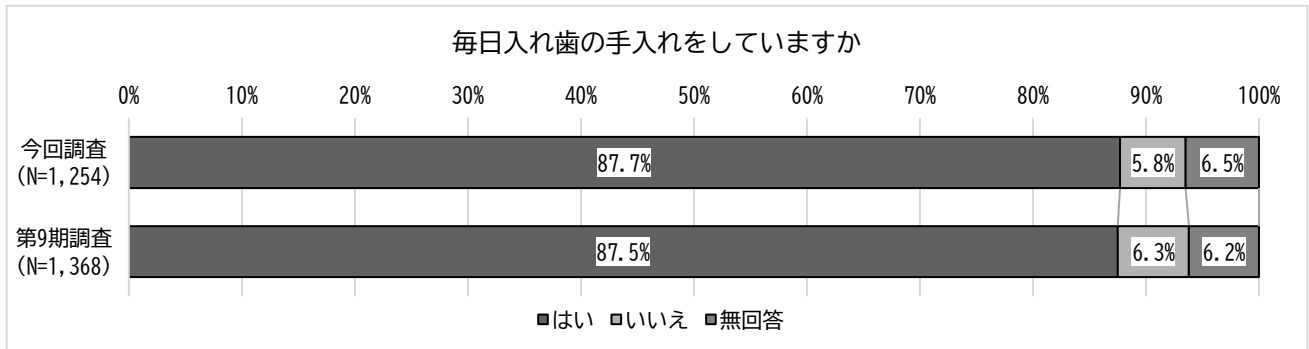
「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」と「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」を合わせた「入れ歯利用」に着目すると、「天見小学校区」が61.1%と最も多く、次いで「小山田小学校区」が49.5%、「長野小学校区」が49.1%、「千代田小学校区」が47.8%、「石仏小学校区」が43.2%となっています。

また、「楠小学校区」「天野小学校区」は共に37.0%と、最も少なくなっています。



問 3-6 で「1」または「3」を回答された方(入れ歯を利用されている方)のみ
 問 3-6-1 毎日入れ歯の手入れをしていますか(○はひとつ)

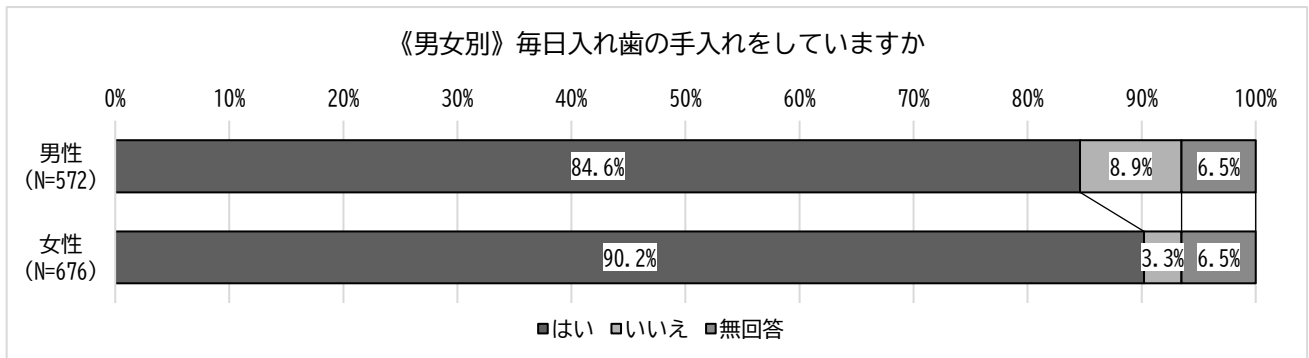
「はい」が 87.7%、「いいえ」が 5.8%となっており、第 9 期調査との有意な差はありません。



《男女別》

「男性」は「はい」が 84.6%、「いいえ」が 8.9%、「女性」は「はい」が 90.2%、「いいえ」が 3.3%となっています。

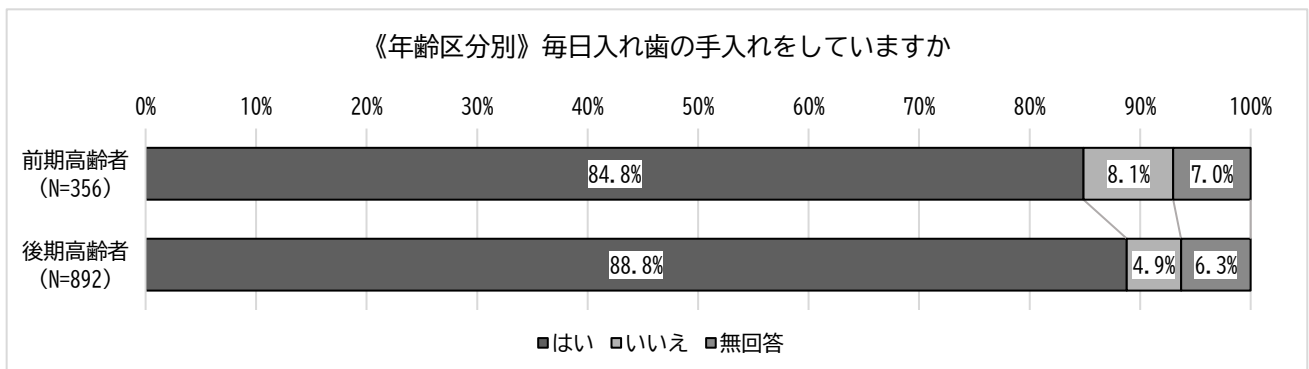
「いいえ」に着目すると、「男性」が 8.9%に対し、「女性」は 3.3%と、「男性」が「女性」を 5.6 ポイント上回っています。



《年齢区分別》

「前期高齢者」は「はい」が 84.8%、「いいえ」が 8.1%、「後期高齢者」は「はい」が 88.8%、「いいえ」が 4.9%となっています。

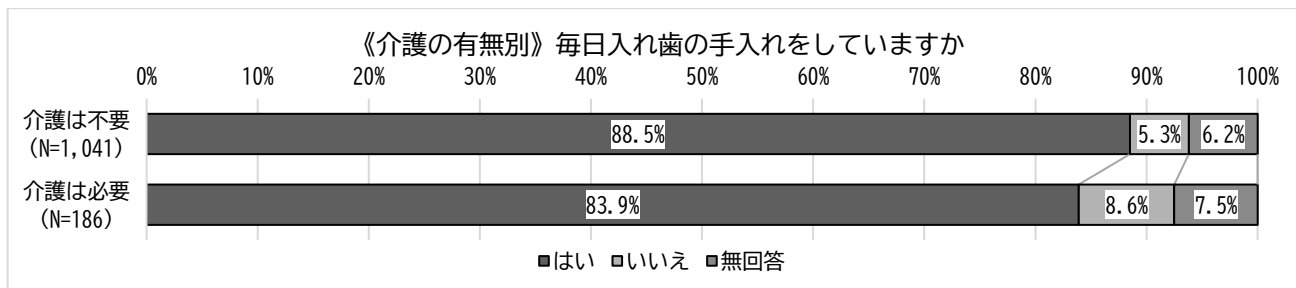
「いいえ」に着目すると、「前期高齢者」が 8.1%に対し、「後期高齢者」は 4.9%と、「前期高齢者」が「後期高齢者」を 3.2 ポイント上回っています。



《介護の有無別》

「介護は不要」は「はい」が 88.5%、「いいえ」が 5.3%、「介護は必要」は「はい」が 83.9%、「いいえ」が 8.6%となっています。

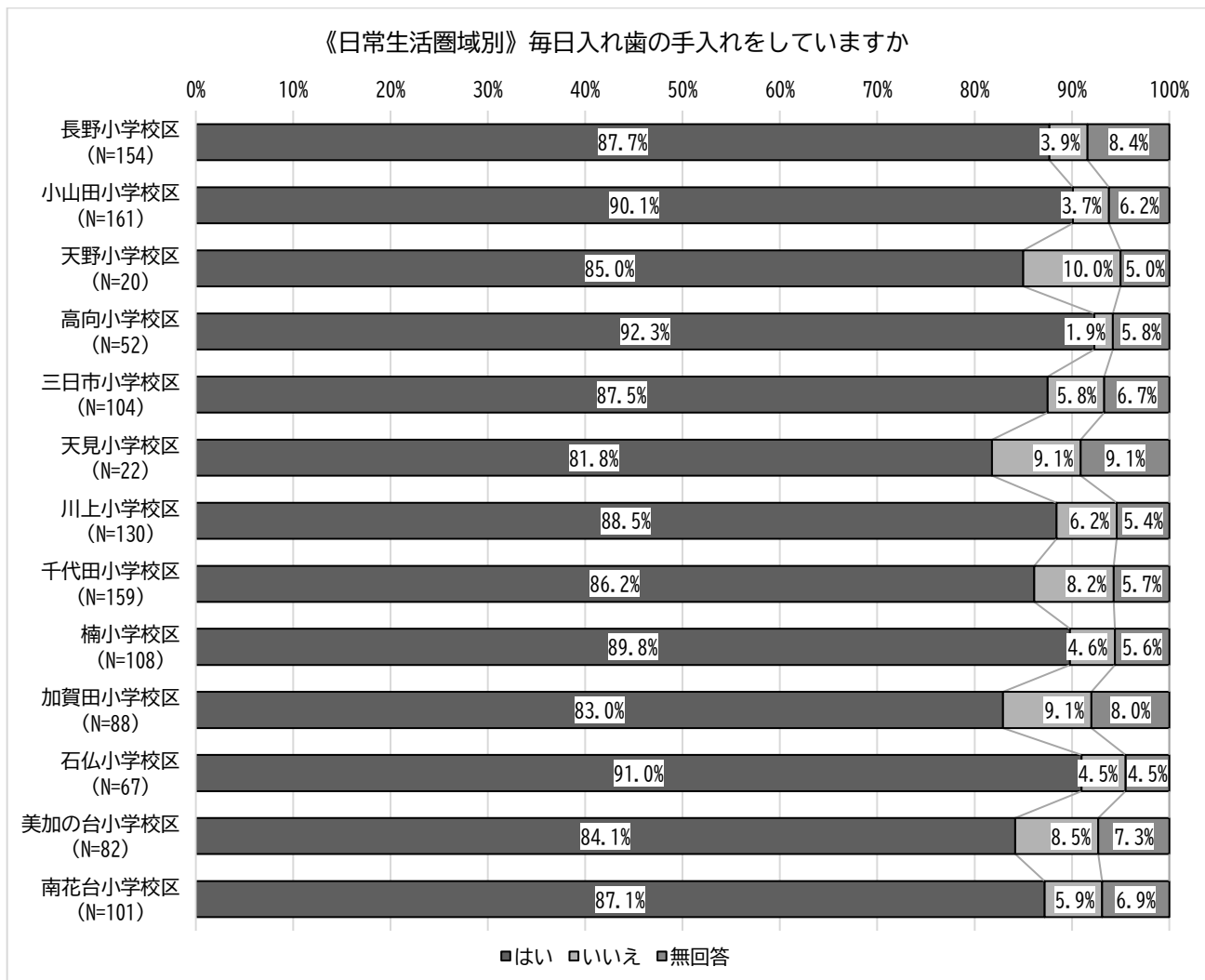
「いいえ」に着目すると、「介護は必要」が 8.6%に対し、「介護は不要」は 5.3%と、「介護は必要」が「介護は不要」を 3.3 ポイント上回っています。



《日常生活圏域別》

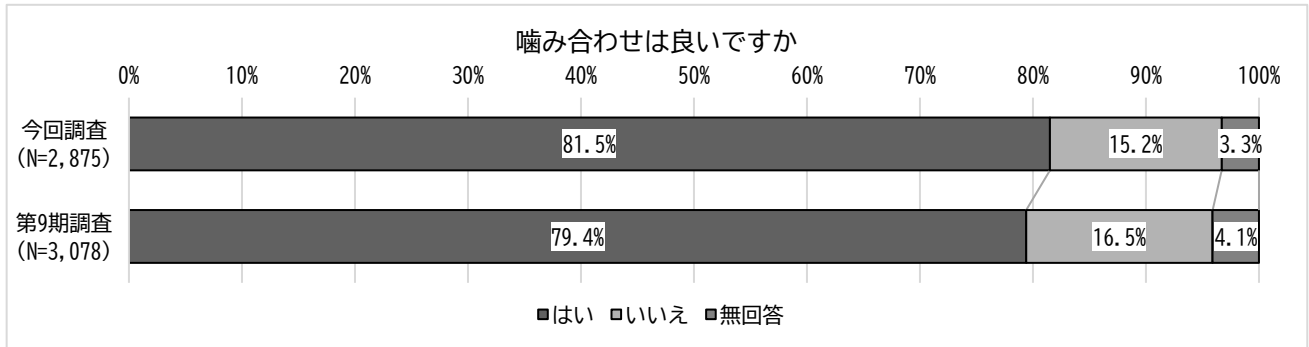
「はい」は「高向小学校区」が 92.3%と最も多く、次いで「石仏小学校区」が 91.0%、「小山田小学校区」が 90.1%、「楠小学校区」が 89.8%、「川上小学校区」が 88.5%となっています。

「いいえ」は「天野小学校区」が 10.0%と最も多く、次いで「加賀田小学校区」が 9.1%、「天見小学校区」が 9.1%、「美加の台小学校区」が 8.5%、「千代田小学校区」が 8.2%となっています。



問 3-7 噛み合わせは良いですか(○はひとつ)

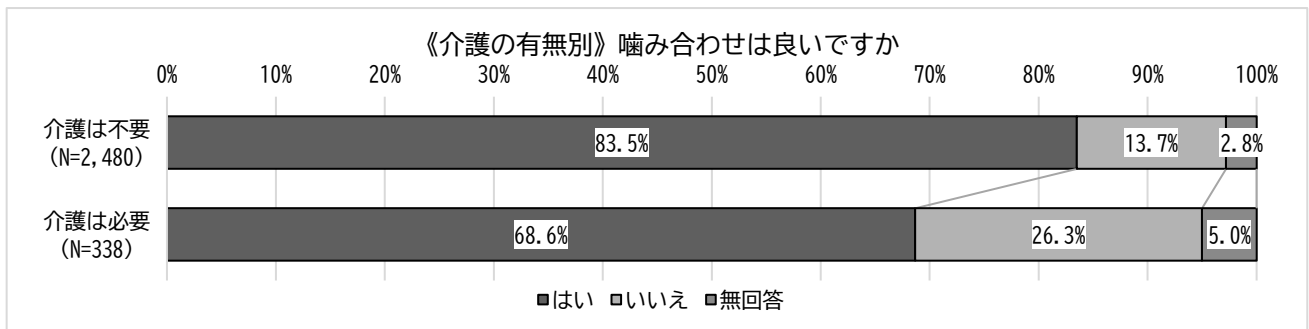
「はい」が 81.5%、「いいえ」が 15.2%となっており、第 9 期調査との有意な差はありません。



《介護の有無別》

「介護は不要」は「はい」が 83.5%、「いいえ」が 13.7%、「介護は必要」は「はい」が 68.6%、「いいえ」が 26.3%となっています。

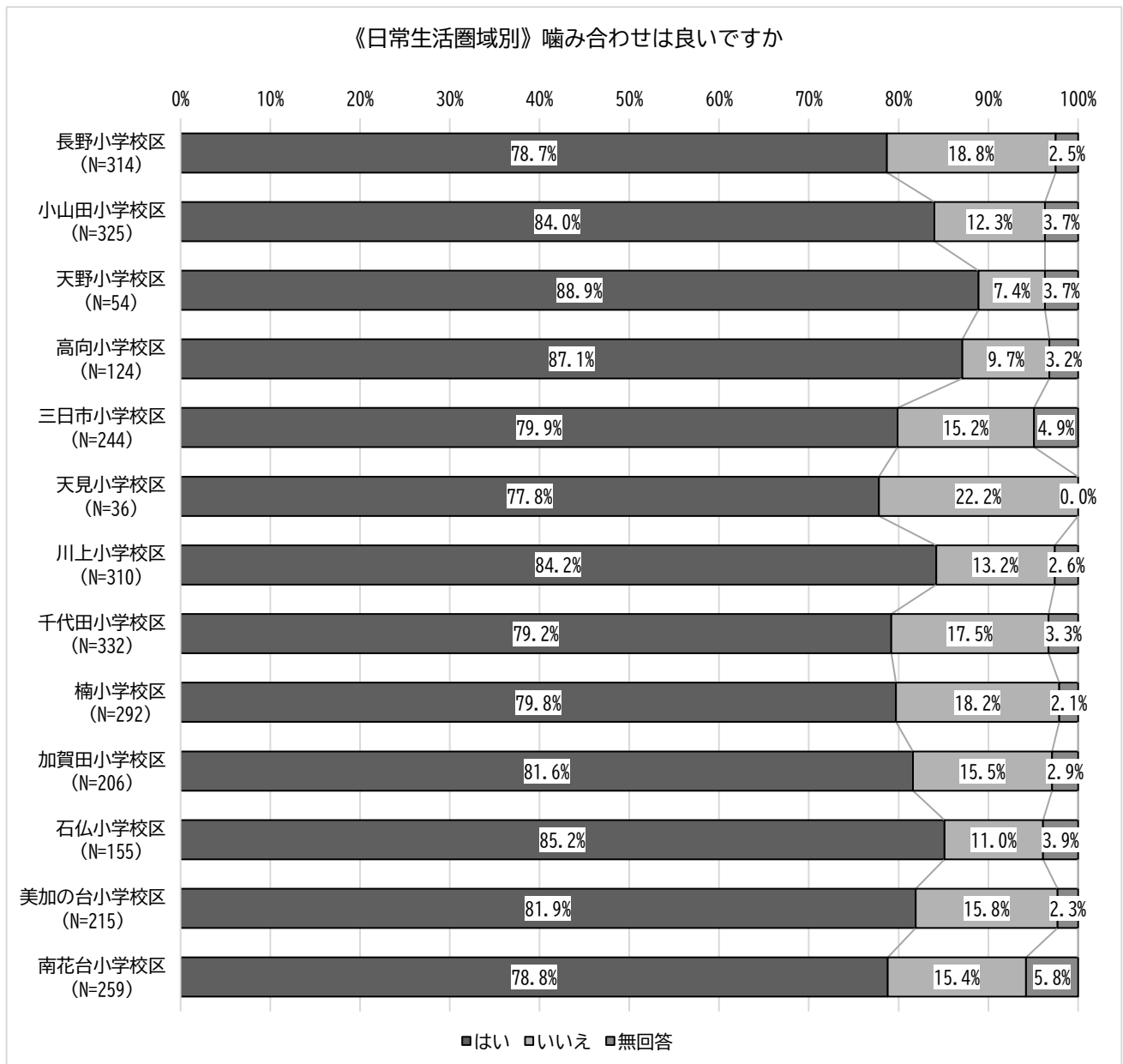
「いいえ」に着目すると、「介護は必要」が 26.3%に対し、「介護は不要」は 13.7%と、「介護は必要」が「介護は不要」を 12.6 ポイント上回っています。



《日常生活圏域別》

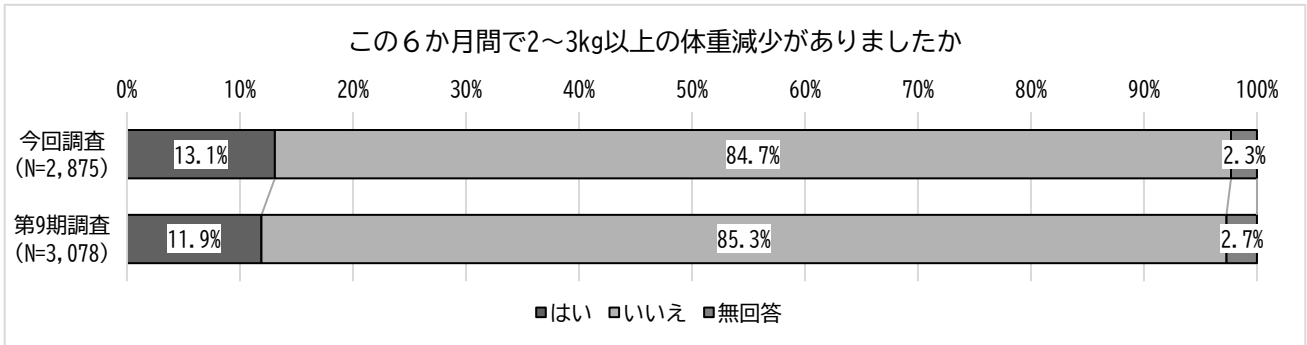
「はい」は「天野小学校区」が 88.9%と最も多く、次いで「高向小学校区」が 87.1%、「石仏小学校区」が 85.2%、「川上小学校区」が 84.2%、「小山田小学校区」が 84.0%となっています。

「いいえ」は「天見小学校区」が 22.2%と最も多く、次いで「長野小学校区」が 18.8%、「楠小学校区」が 18.2%、「千代田小学校区」が 17.5%、「美加の台小学校区」が 15.8%となっています。



問 3-8 6 か月間で 2～3kg 以上の体重減少がありましたか(○はひとつ)

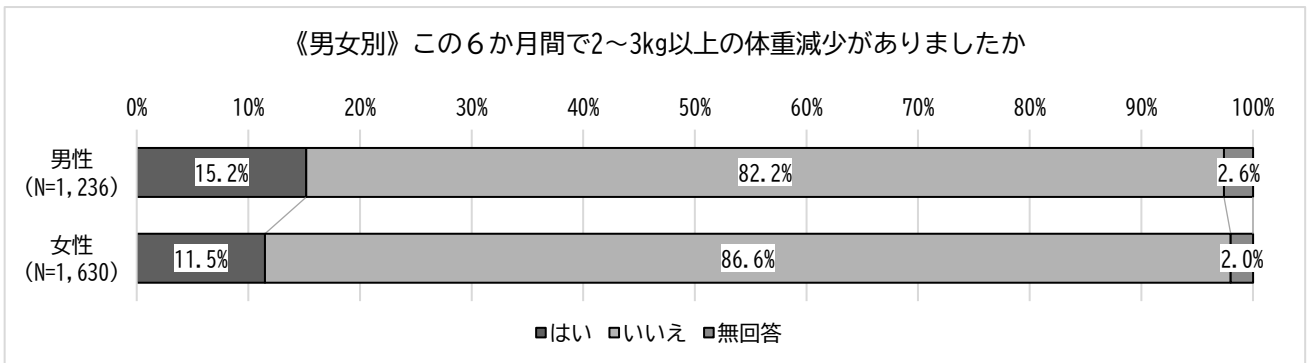
「はい」が 13.1%、「いいえ」が 84.7%となっており、第 9 期調査との有意な差はありません。



《男女別》

「男性」は「はい」が 15.2%、「いいえ」が 82.2%、「女性」は「はい」が 11.5%、「いいえ」が 86.6%となっています。

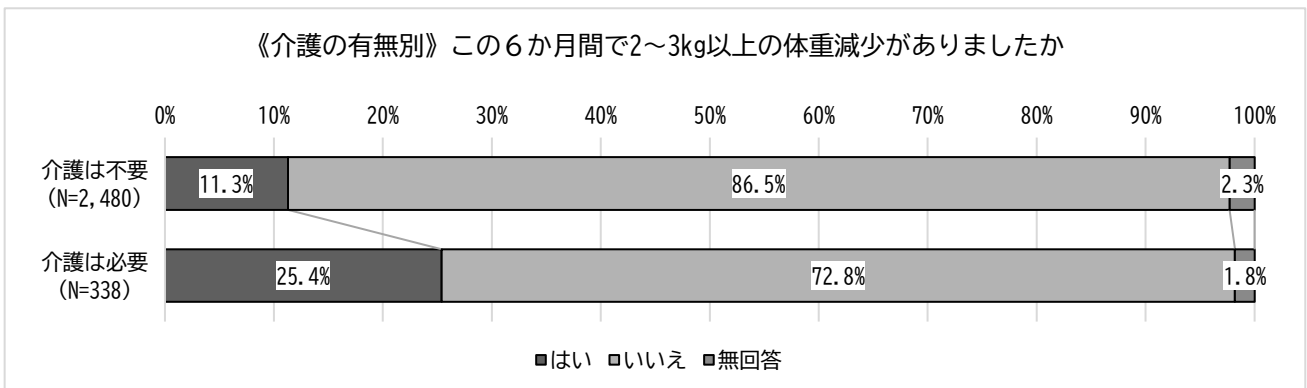
「はい」に着目すると、「男性」が 15.2%に対し、「女性」は 11.5%と、「男性」が「女性」を 3.7 ポイント上回っています。



《介護の有無別》

「介護は不要」は「はい」が 11.3%、「いいえ」が 86.5%、「介護は必要」は「はい」が 25.4%となっています。

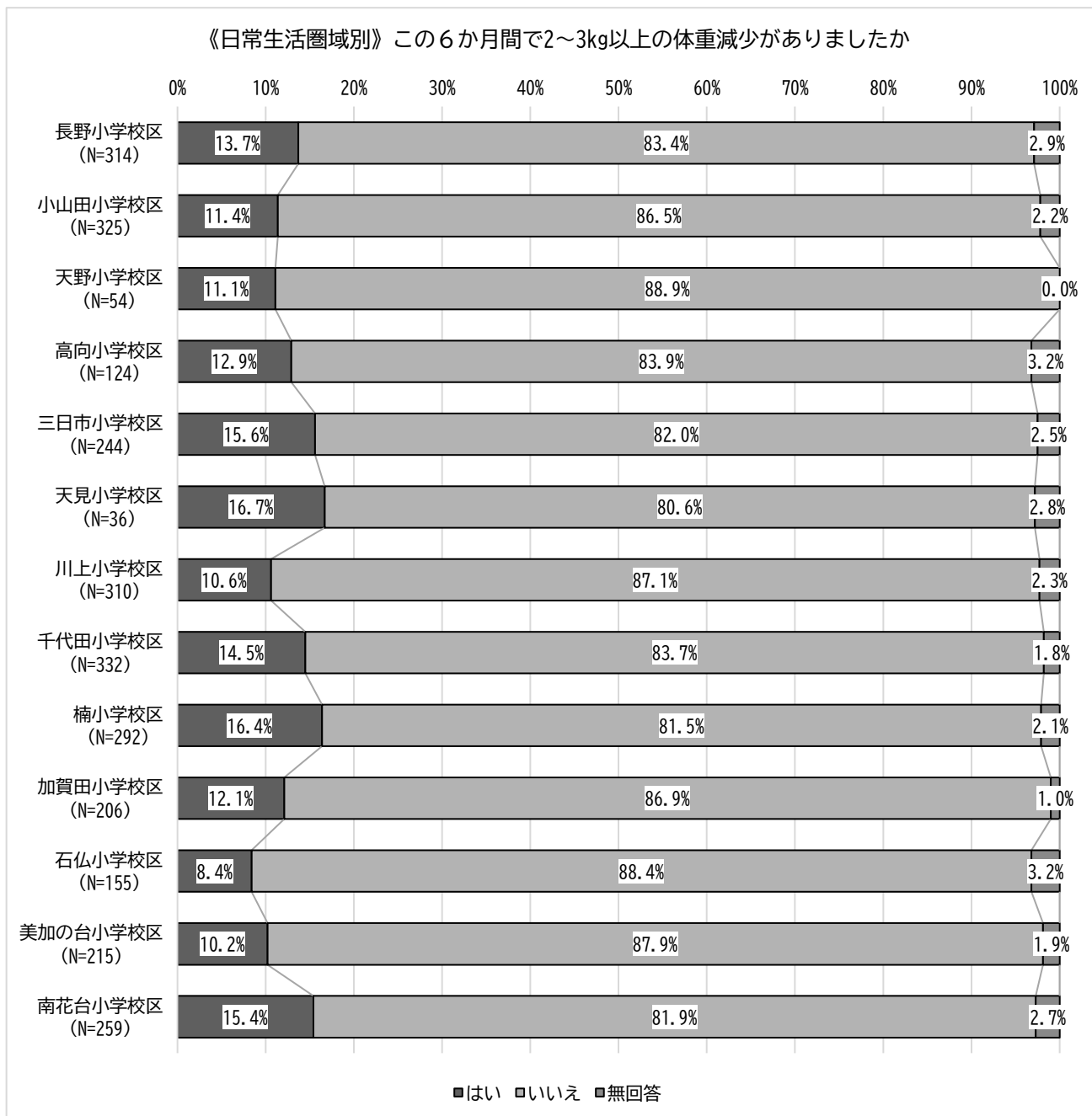
「はい」に着目すると、「介護は必要」が 25.4%に対し、「介護は不要」は 11.3%と、「介護は必要」が「介護は不要」を 14.1 ポイント上回っています。



《日常生活圏域別》

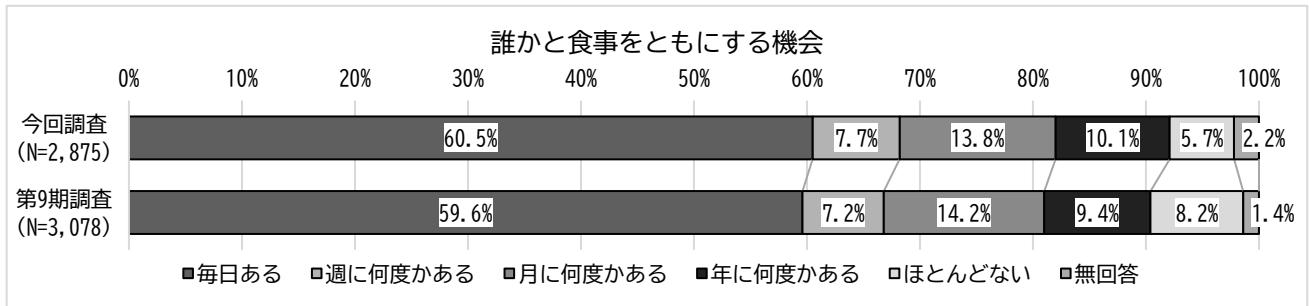
「はい」は「天見小学校区」が 16.7%と最も多く、次いで「楠小学校区」が 16.4%、「三日市小学校区」が 15.6%、「南花台小学校区」が 15.4%、「千代田小学校区」が 14.5%となっています。

「いいえ」は「天野小学校区」が 88.9%と最も多く、次いで「石仏小学校区」が 88.4%、「美加の台小学校区」が 87.9%、「川上小学校区」が 87.1%、「加賀田小学校区」が 86.9%となっています。



問 3-9 どなたかと食事をとる機会がありますか(○はひとつ)

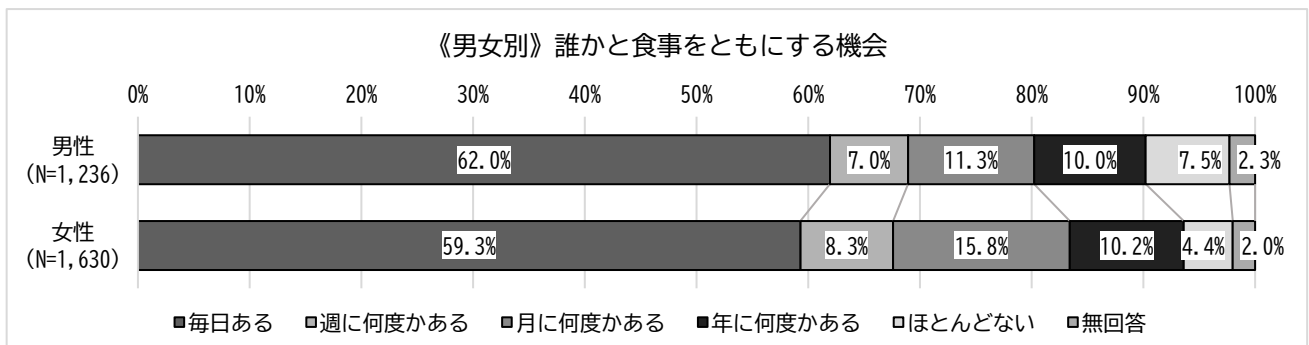
「毎日ある」が60.5%と最も多く、次いで「月に何度かある」が13.8%、「年に何度かある」が10.1%となっており、第9期調査との有意な差はありません。



《男女別》

「男性」は「毎日ある」が62.0%と最も多く、次いで「月に何度かある」が11.3%、「年に何度かある」が10.0%、「女性」は「毎日ある」が59.3%、「月に何度かある」が15.8%、「年に何度かある」が10.2%となっています。

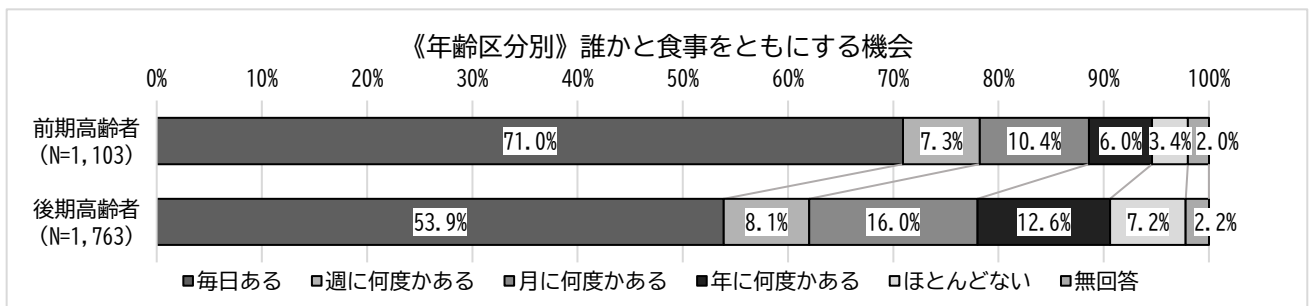
「月に何度かある」は「女性」が15.8%に対し、「男性」は11.3%と、「女性」が「男性」を4.5ポイント上回り、「ほとんどない」は「男性」が7.5%に対し、「女性」は4.4%と、「男性」が「女性」を3.1ポイント上回っています。



《年齢区分別》

「前期高齢者」は「毎日ある」が71.0%と最も多く、次いで「月に何度かある」が10.4%、「週に何度かある」が7.3%、「後期高齢者」は「毎日ある」が53.9%と最も多く、次いで「月に何度かある」が16.0%、「年に何度かある」が12.6%となっています。

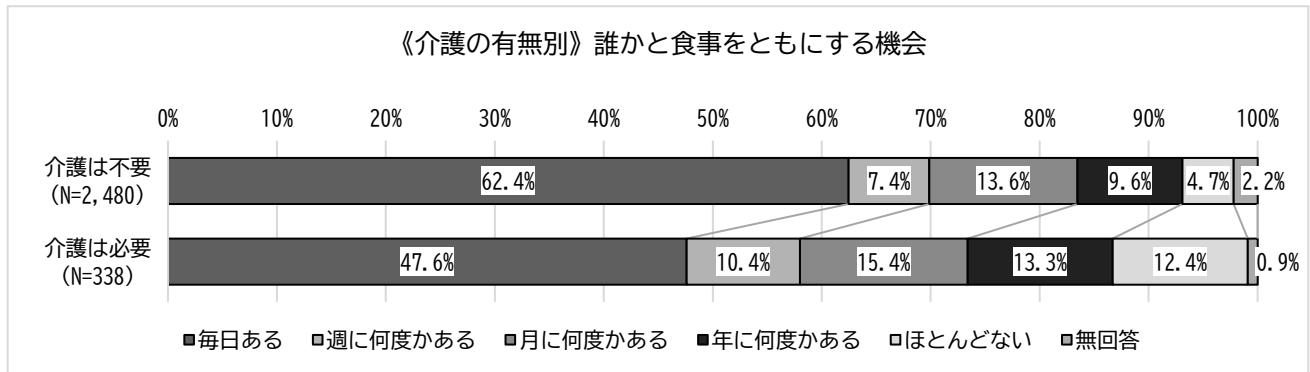
「毎日ある」に着目すると、「前期高齢者」が71.0%に対し、「後期高齢者」は53.9%と、「前期高齢者」が「後期高齢者」を17.1ポイント上回っています。



《介護の有無別》

「介護は不要」は「毎日ある」が 62.4%と最も多く、次いで「月に何度かある」が 13.6%、「年に何度かある」が 9.6%、「介護は必要」は「毎日ある」が 47.6%と最も多く、次いで「月に何度かある」が 15.4%、「年に何度かある」が 13.3%となっています。

「毎日ある」に着目すると、「介護は不要」が 62.4%に対し、「介護は必要」は 47.6%と、「介護は不要」が「介護は必要」を 14.8 ポイント上回っています。



《日常生活圏域別》

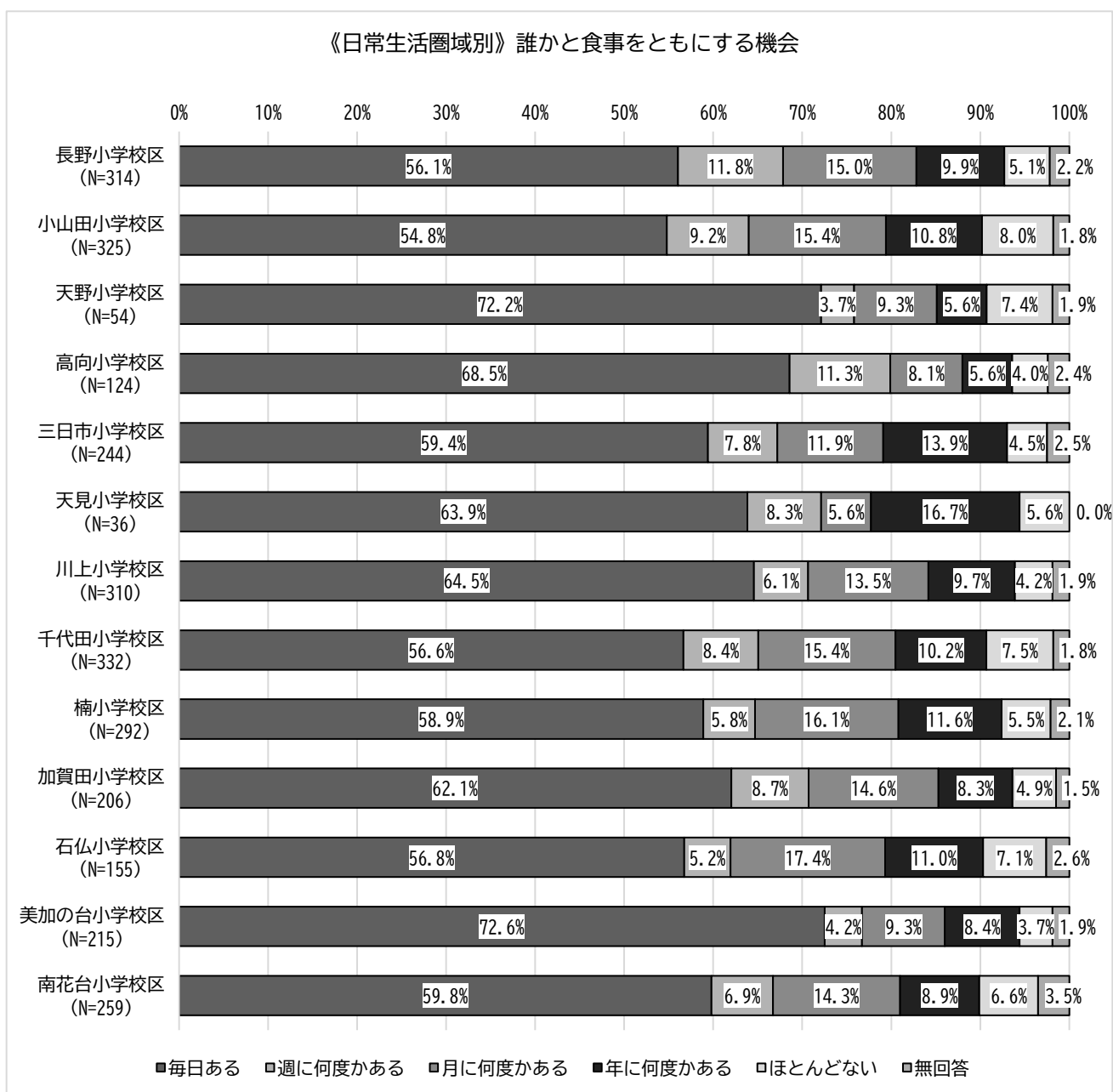
「毎日ある」は「美加の台小学校区」が 72.6%と最も多く、次いで「天野小学校区」が 72.2%、「高向小学校区」が 68.5%、「川上小学校区」が 64.5%、「天見小学校区」が 63.9%となっています。

「週に何度かある」は「長野小学校区」が 11.8%と最も多く、次いで「高向小学校区」が 11.3%、「小山田小学校区」が 9.2%、「加賀田小学校区」が 8.7%、「千代田小学校区」が 8.4%となっています。

「月に何度かある」は「石仏小学校区」が 17.4%と最も多く、次いで「楠小学校区」が 16.1%、「小山田小学校区」が 15.4%、「千代田小学校区」が 15.4%、「長野小学校区」が 15.0%となっています。

「年に何度かある」は「天見小学校区」が 16.7%、「三日市小学校区」が 13.9%、「楠小学校区」が 11.6%、「石仏小学校区」が 11.0%、「小山田小学校区」が 10.8%となっています。

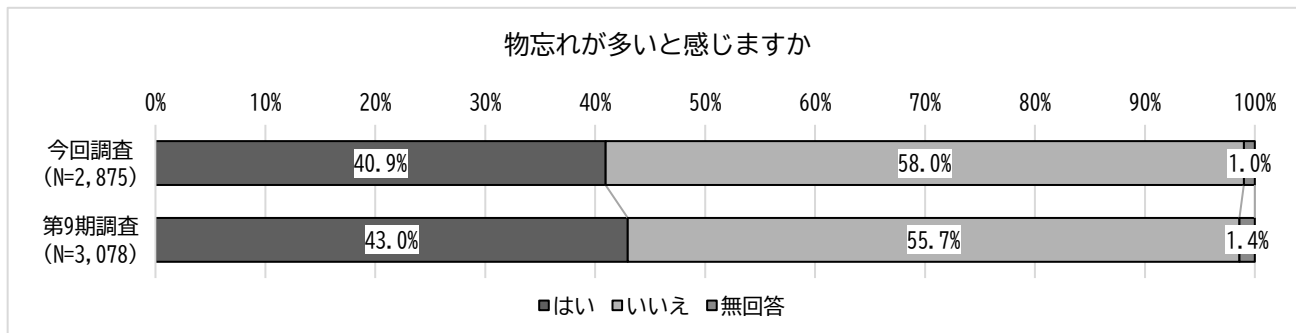
「ほとんどない」は「小山田小学校区」が 8.0%と最も多く、次いで「千代田小学校区」が 7.5%、「天野小学校区」が 7.4%、「石仏小学校区」が 7.1%、「南花台小学校区」が 6.6%となっています。



問4 毎日の生活について

問4-1 物忘れが多いと感じますか(○はひとつ)

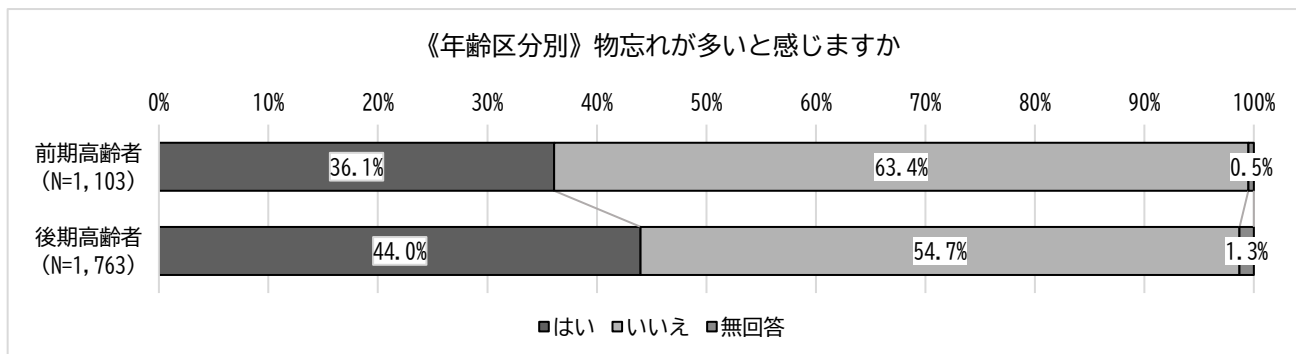
「はい」が40.9%、「いいえ」が58.0%となっており、第9期調査との有意な差はありません。



《年齢区分別》

「前期高齢者」は「はい」が36.1%、「いいえ」が63.4%、「後期高齢者」は「はい」が44.0%、「いいえ」が54.7%となっています。

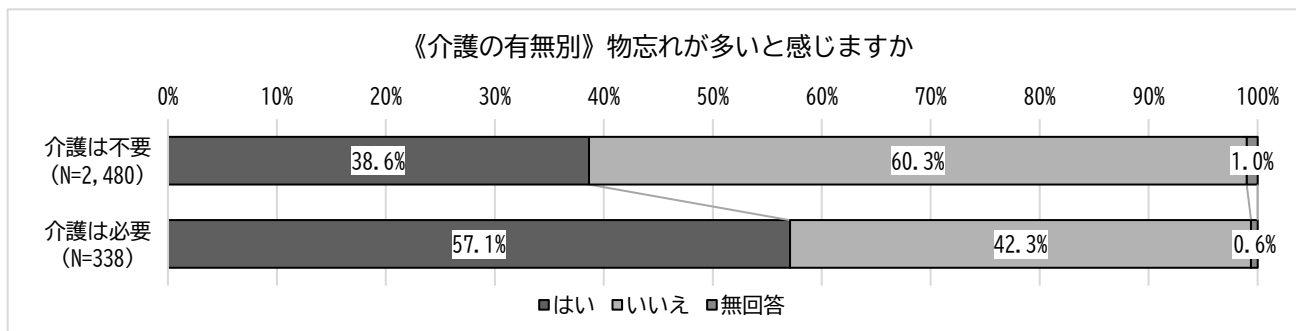
「はい」に着目すると、「後期高齢者」が44.0%に対し、「前期高齢者」は36.1%と、「後期高齢者」が「前期高齢者」を7.9ポイント上回っています。



《介護の有無別》

「介護は不要」は「はい」が38.6%、「いいえ」が60.3%、「介護は必要」は「はい」が57.1%、「いいえ」が42.3%となっています。

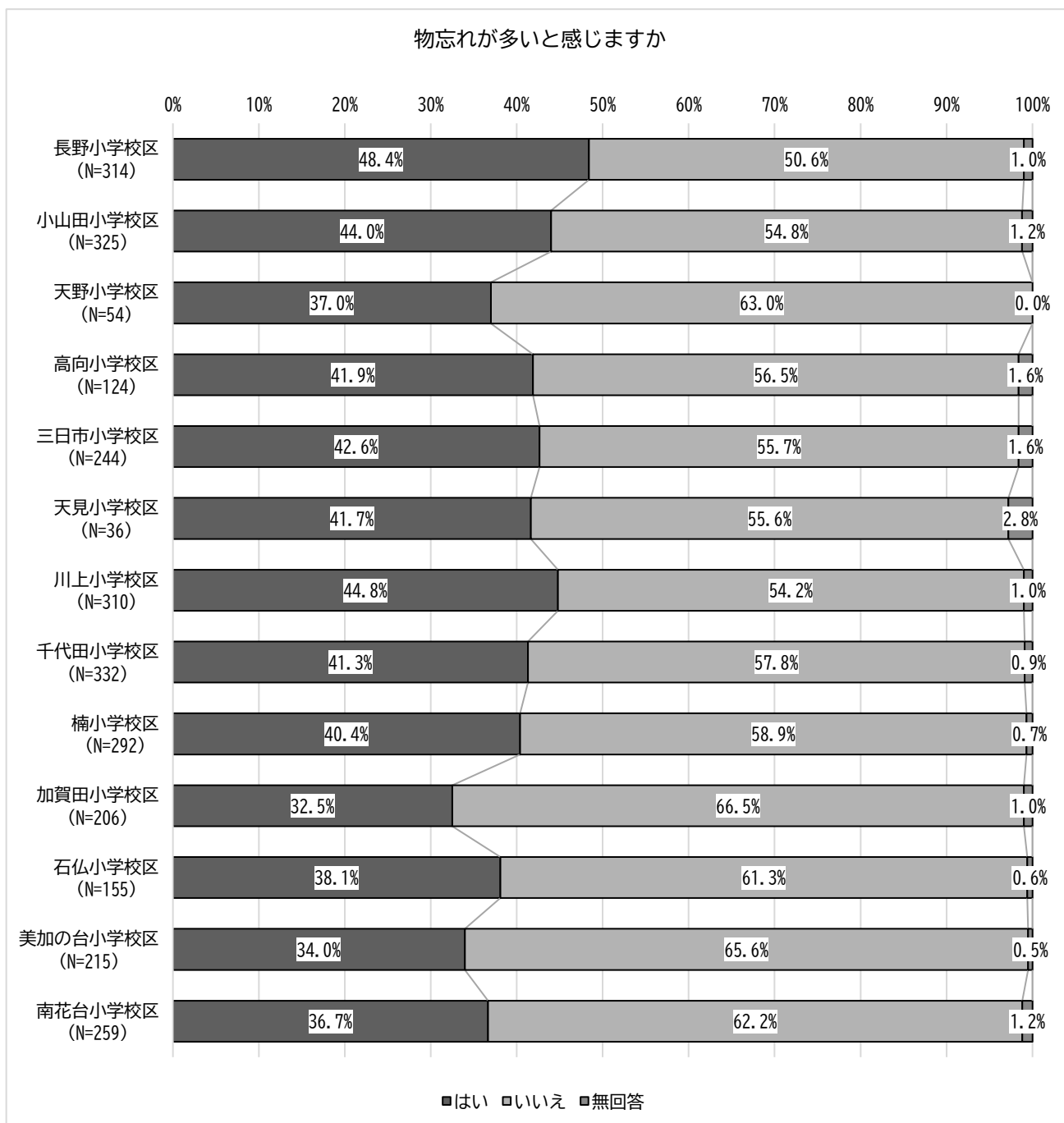
「はい」に着目すると、「介護は必要」が57.1%に対し、「介護は不要」は38.6%と、「介護は必要」が「介護は不要」を18.5ポイント上回っています。



《日常生活圏域別》

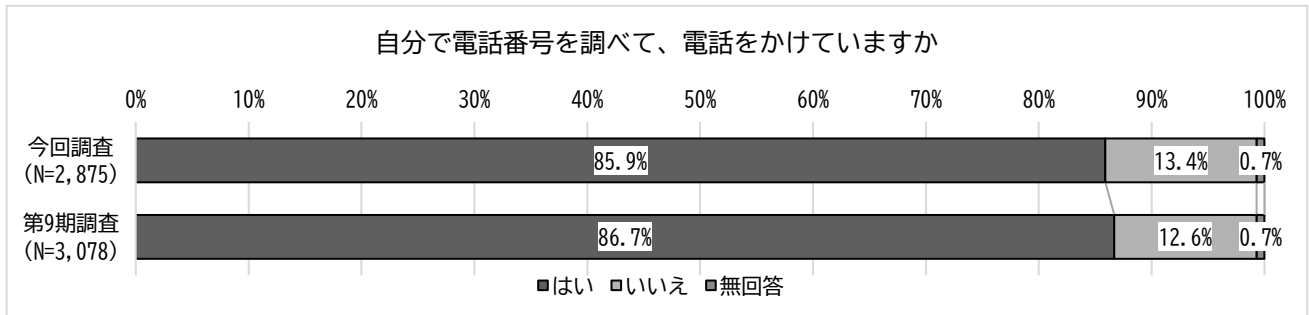
「はい」は「長野小学校区」が 48.4%と最も多く、次いで「川上小学校区」が 44.8%、「小山田小学校区」が 44.0%、「三日市小学校区」が 42.6%、「高向小学校区」が 41.9%となっています。

「いいえ」は「加賀田小学校区」が 66.5%と最も多く、次いで「美加の台小学校区」が 65.6%、「天野小学校区」が 63.0%、「南花台小学校区」が 62.2%、「石仏小学校区」が 61.3%となっています。



問 4-2 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか(○はひとつ)

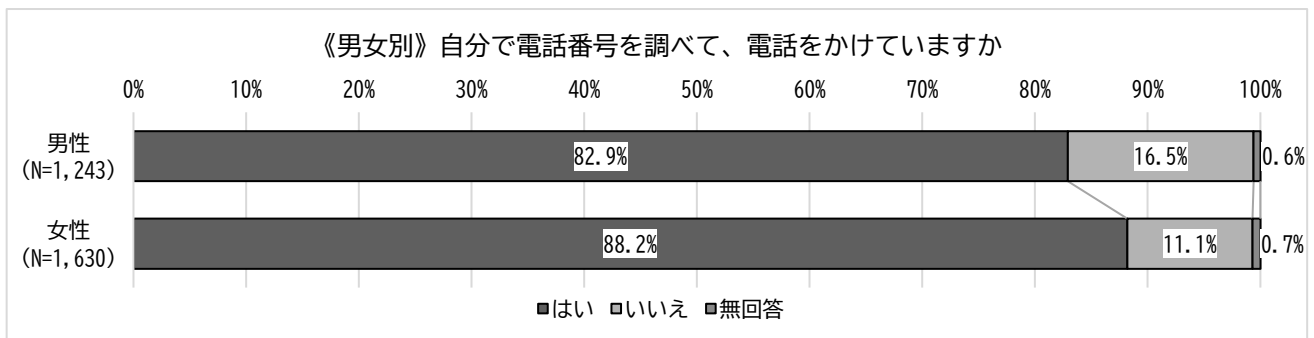
「はい」が85.9%、「いいえ」が13.4%となっており、第9期調査との有意な差はありません。



《男女別》

「男性」は「はい」が82.9%、「いいえ」が16.5%、「女性」は「はい」が88.2%、「いいえ」が11.1%となっています。

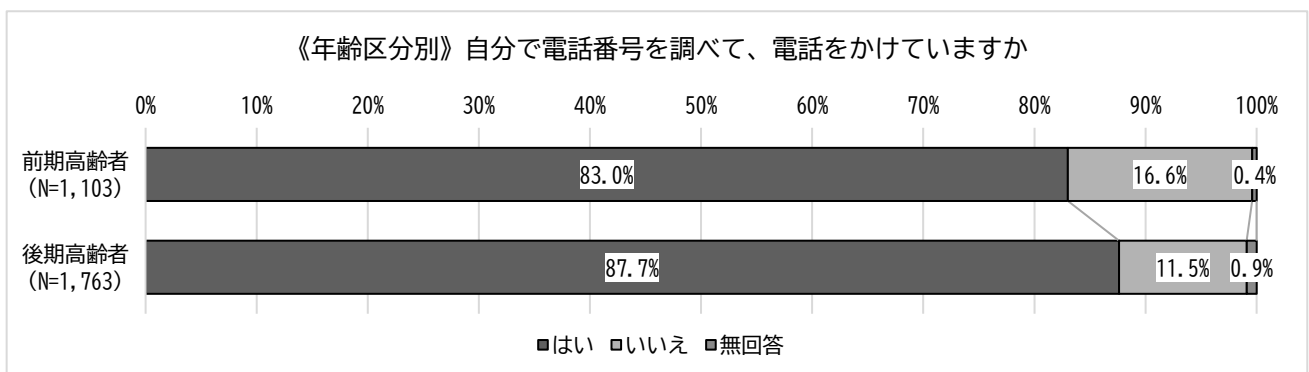
「いいえ」に着目すると、「男性」が16.5%に対し、「女性」は11.1%と、「男性」が「女性」を5.4ポイント上回っています。



《年齢区分別》

「前期高齢者」は「はい」が83.0%、「いいえ」が16.6%、「後期高齢者」は「はい」が87.7%、「いいえ」が11.5%となっています。

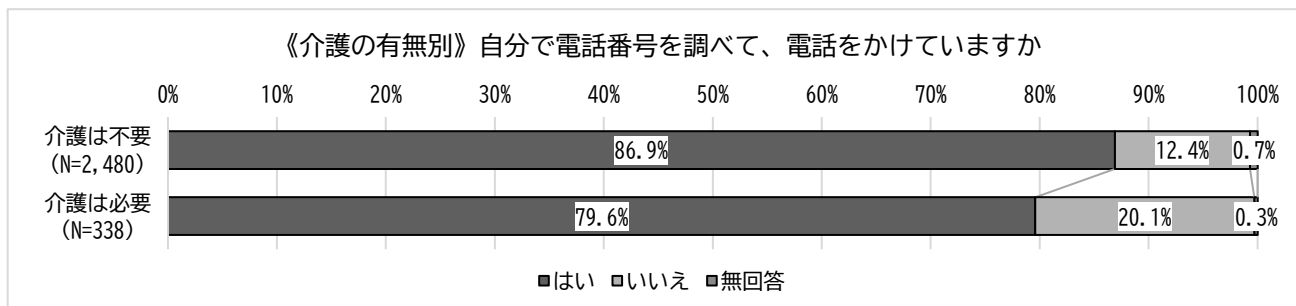
「いいえ」に着目すると、「前期高齢者」が16.6%に対し、「後期高齢者」は11.5%と、「前期高齢者」が「後期高齢者」を5.1ポイント上回っています。



《介護の有無別》

「介護は不要」は「はい」が 86.9%、「いいえ」が 12.4%、「介護は必要」は「はい」が 79.6%、「いいえ」が 20.1%となっています。

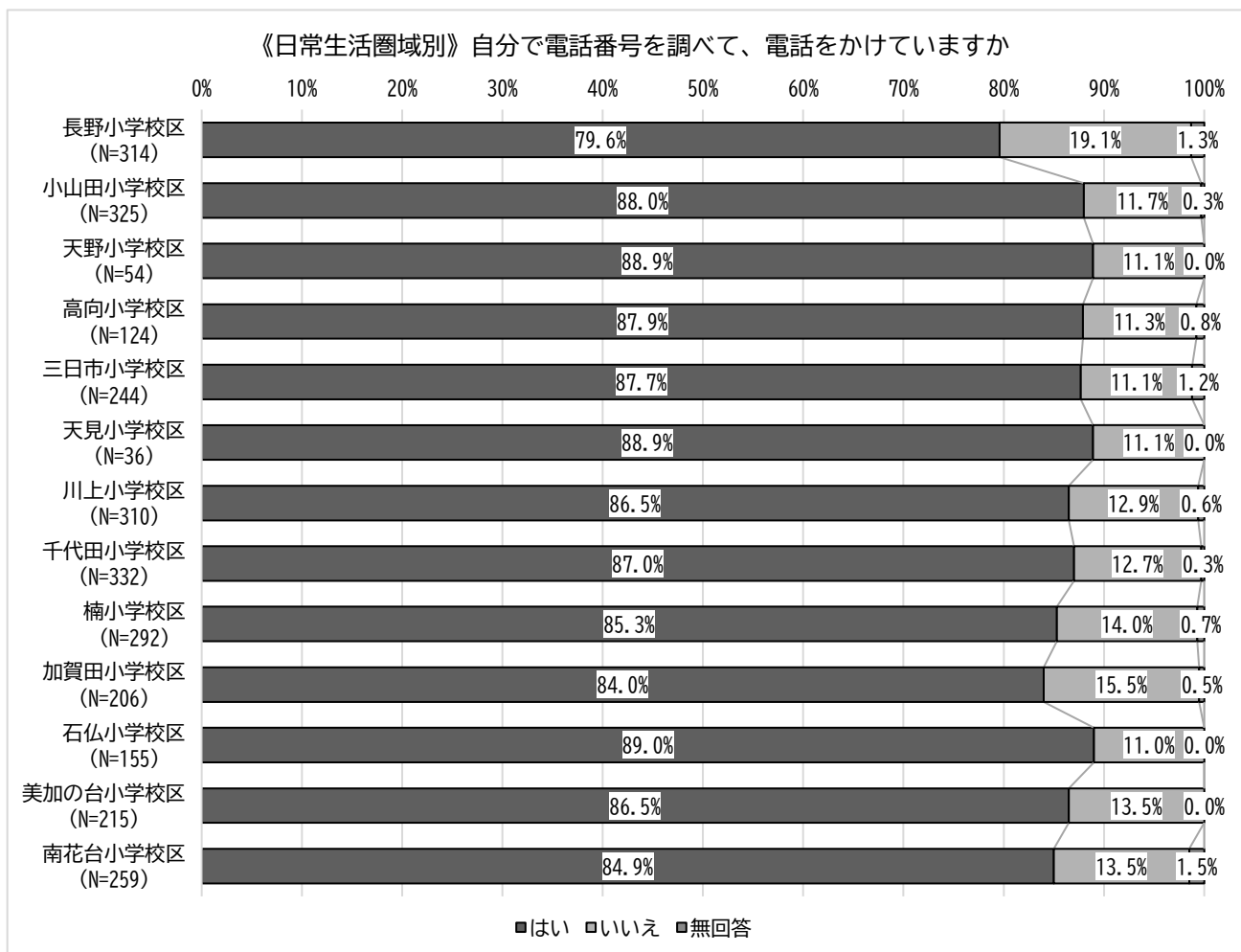
「いいえ」に着目すると、「介護は必要」が 20.1%に対し、「介護は不要」は 12.4%と、「介護は必要」が「介護は不要」を 7.7 ポイント上回っています。



《日常生活圏域別》

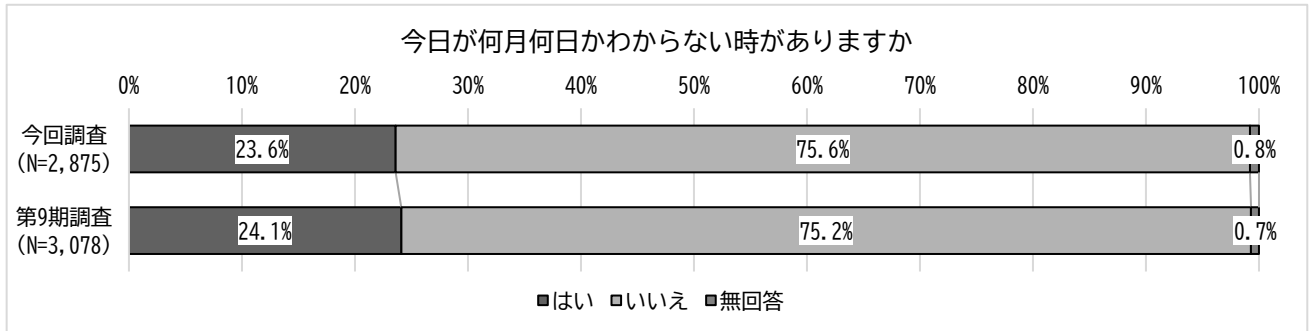
「はい」は「石仏小学校区」が 89.0%と最も多く、次いで「天野小学校区」が 88.9%、「天見小学校区」が 88.9%、「小山田小学校区」が 88.0%、「高向小学校区」が 87.9%となっています。

「いいえ」は「長野小学校区」が 19.1%と最も多く、次いで「加賀田小学校区」が 15.5%、「楠小学校区」が 14.0%、「美加の台小学校区」と「南花台小学校区」が共に 13.5%となっています。



問 4-3 今日が何月何日かわからない時がありますか(○はひとつ)

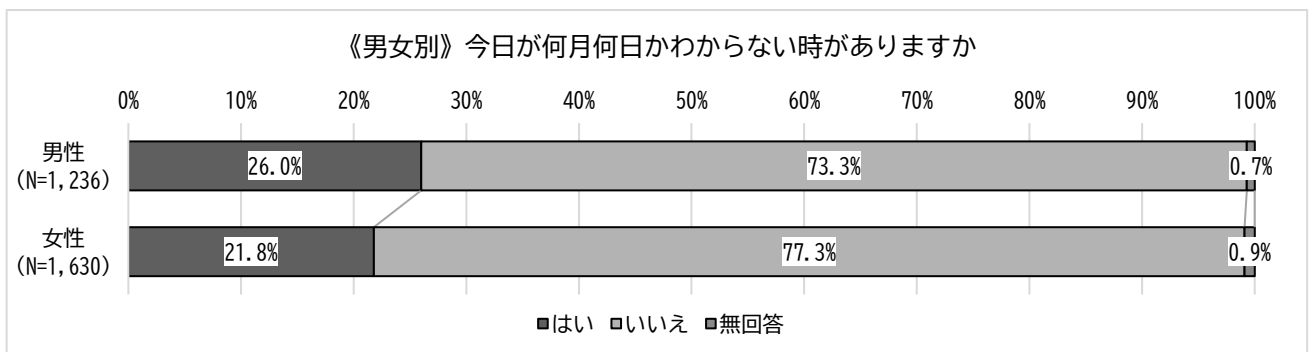
「はい」が23.6%、「いいえ」が75.6%となっており、第9期調査との有意な差はありません。



《男女別》

「男性」は「はい」が26.0%、「いいえ」が73.3%、「女性」は「はい」が21.8%、「いいえ」が77.3%となっています。

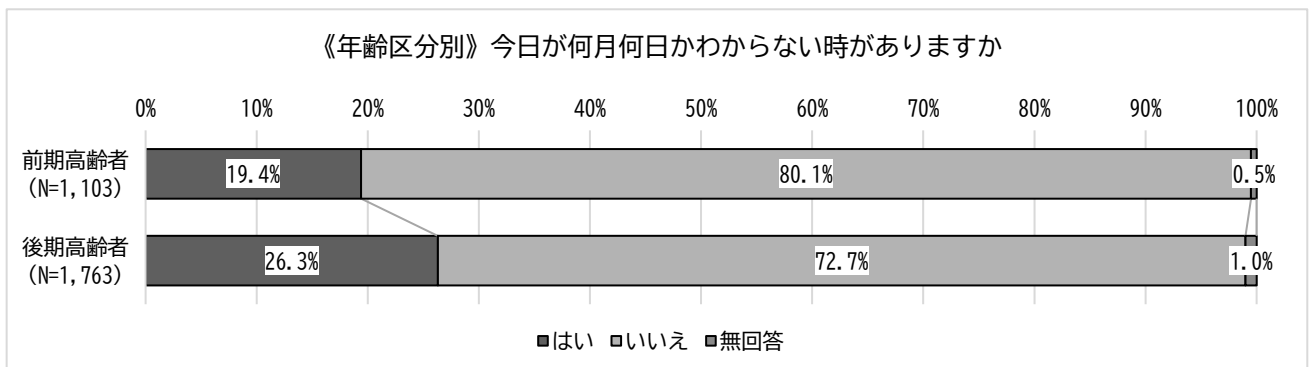
「はい」に着目すると、「男性」が26.0%に対し、「女性」は21.8%と、「男性」が「女性」を4.2ポイント上回っています。



《年齢区分別》

「前期高齢者」は「はい」が19.4%、「いいえ」が80.1%、「後期高齢者」は「はい」が26.3%、「いいえ」が72.7%となっています。

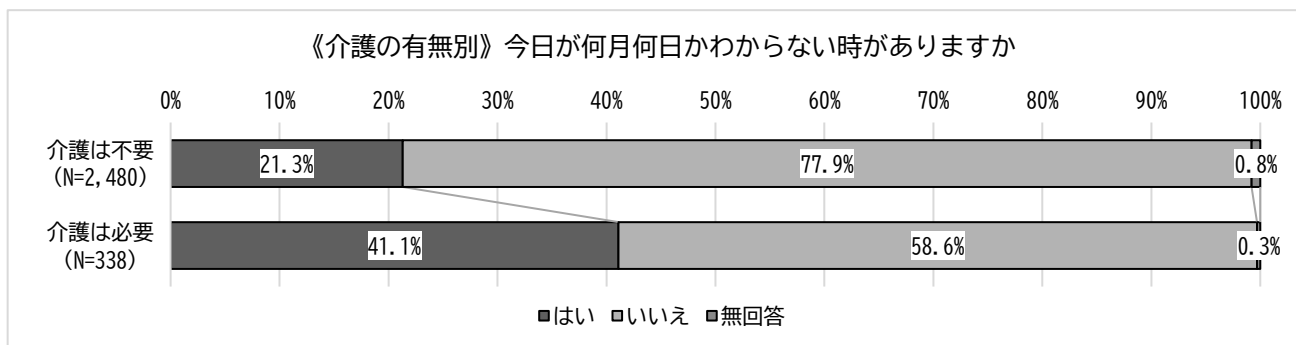
「はい」に着目すると、「後期高齢者」が26.3%に対し、「前期高齢者」は19.4%と、「後期高齢者」が「前期高齢者」を6.9ポイント上回っています。



《介護の有無別》

「介護は不要」は「はい」が 21.3%、「いいえ」が 77.9%、「介護は必要」は「はい」が 41.1%、「いいえ」が 58.6%となっています。

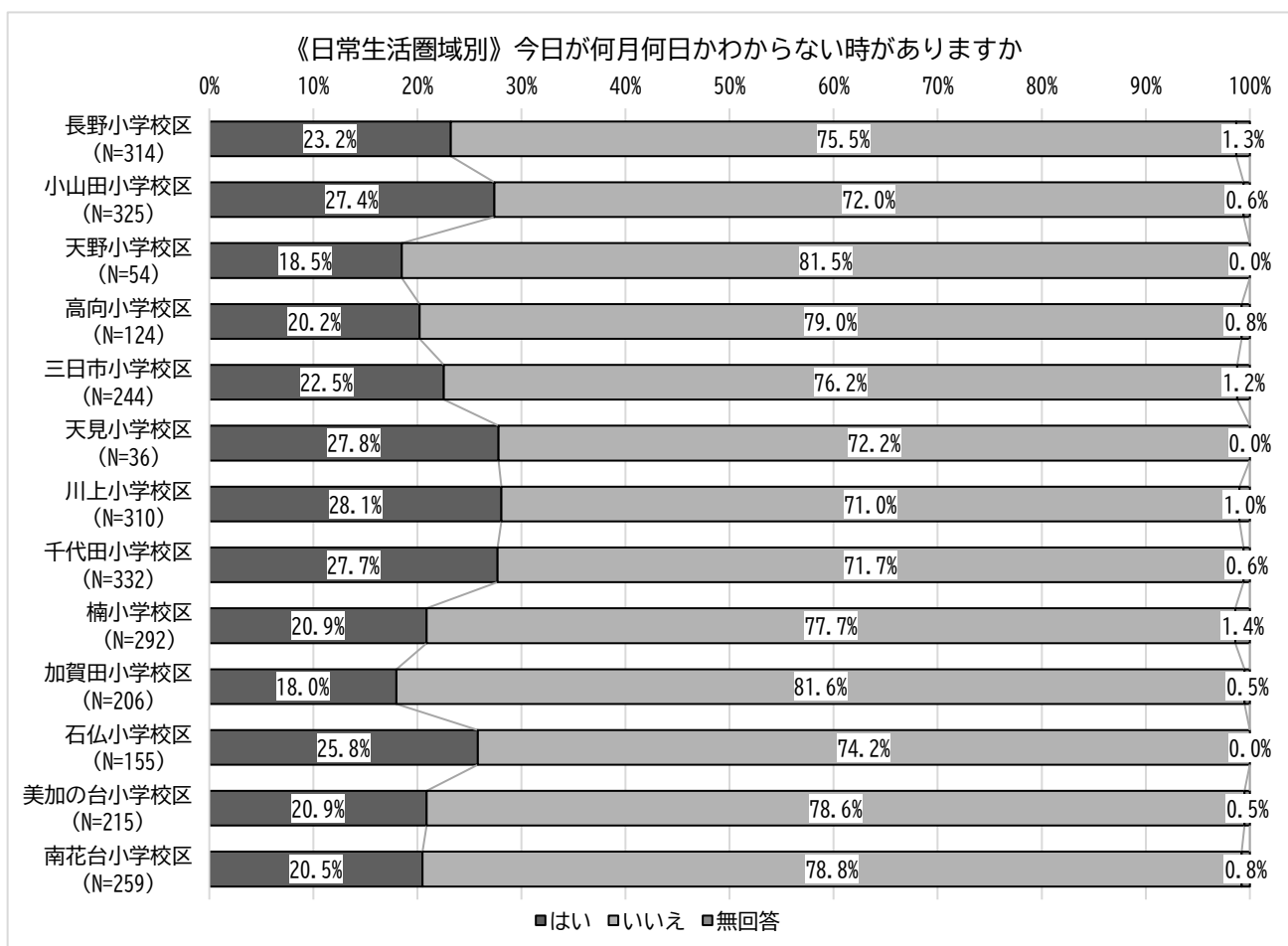
「はい」に着目すると、「介護は必要」が 41.1%に対し、「介護は不要」は 21.3%と、「介護は必要」が「介護は不要」を 19.8 ポイント上回っています。



《日常生活圏域別》

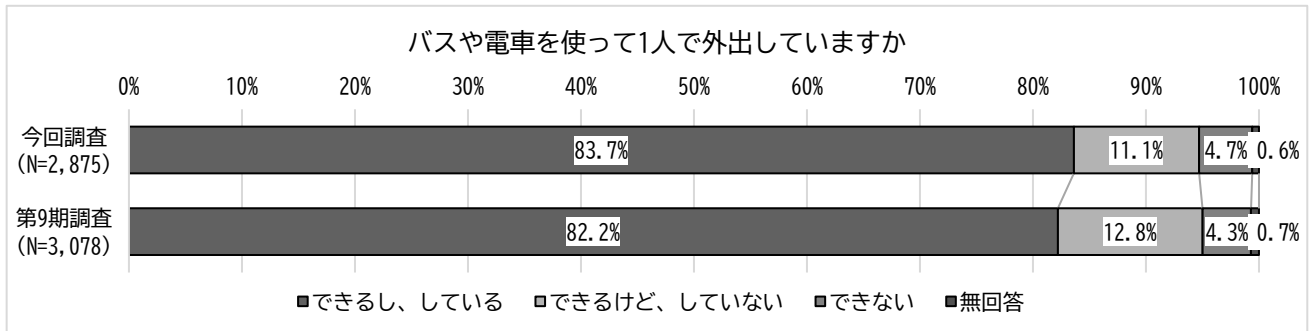
「はい」は「川上小学校区」が 28.1%と最も多く、次いで「天見小学校区」が 27.8%、「千代田小学校区」が 27.7%、「小山田小学校区」が 27.4%、「石仏小学校区」が 25.8%となっています。

「いいえ」は「加賀田小学校区」が 81.6%と最も多く、次いで「天野小学校区」が 81.5%、「高向小学校区」が 79.0%、「南花台小学校区」が 78.8%、「美加の台小学校区」が 78.6%となっています。



問 4-4 バスや電車を使って1人で外出していますか(自家用車でも可)(○はひとつ)

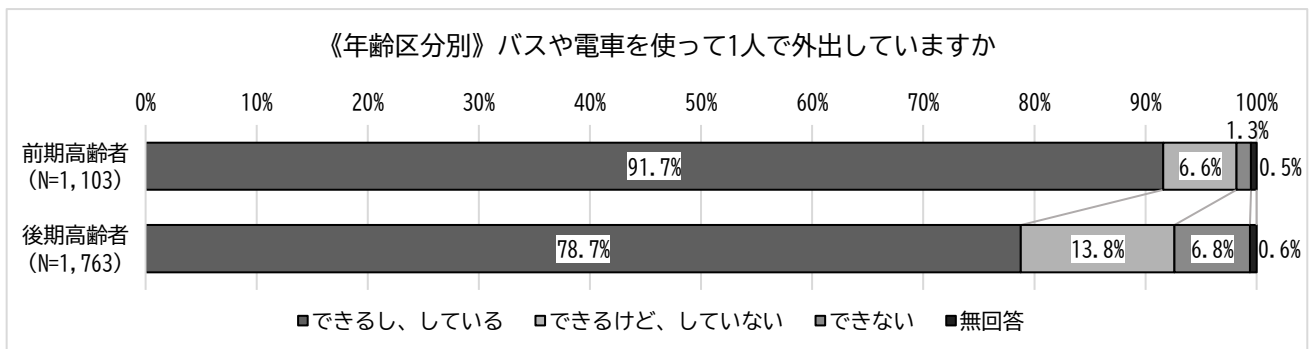
「できるし、している」が83.7%と最も多く、次いで「できるけど、していない」が11.1%、「できない」が4.7%となっており、第9期調査との有意な差はありません。



《年齢区分別》

「前期高齢者」は「できるし、している」が91.7%と最も多く、次いで「できるけど、していない」が6.6%、「できない」が1.3%、「後期高齢者」は「できるし、している」が78.7%と最も多く、次いで「できるけど、していない」が13.8%、「できない」が6.8%となっています。

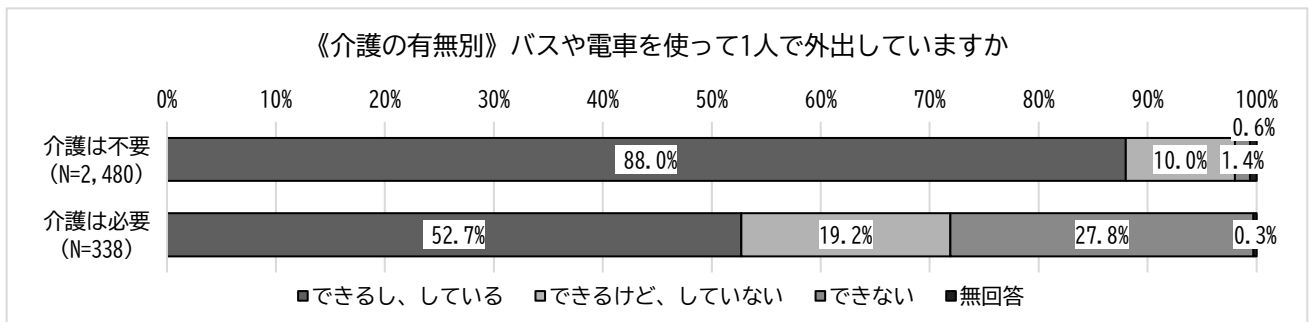
「できるけど、していない」と「できない」を合わせた「していない」に着目すると、「後期高齢者」が20.6%に対し、「前期高齢者」は7.9%と、「後期高齢者」が「前期高齢者」を12.7ポイント上回っています。



《介護の有無別》

「介護は不要」は「できるし、している」が88.0%と最も多く、次いで「できるけど、していない」が10.0%、「できない」が1.4%、「介護は必要」は「できるし、している」が52.7%と最も多く、次いで「できない」が27.8%、「できるけど、していない」が19.2%となっています。

「できるけど、していない」と「できない」を合わせた「していない」に着目すると、「介護は必要」が47.0%に対し、「介護は不要」は11.4%と、「介護は必要」が「介護は不要」を35.6ポイント上回っています。

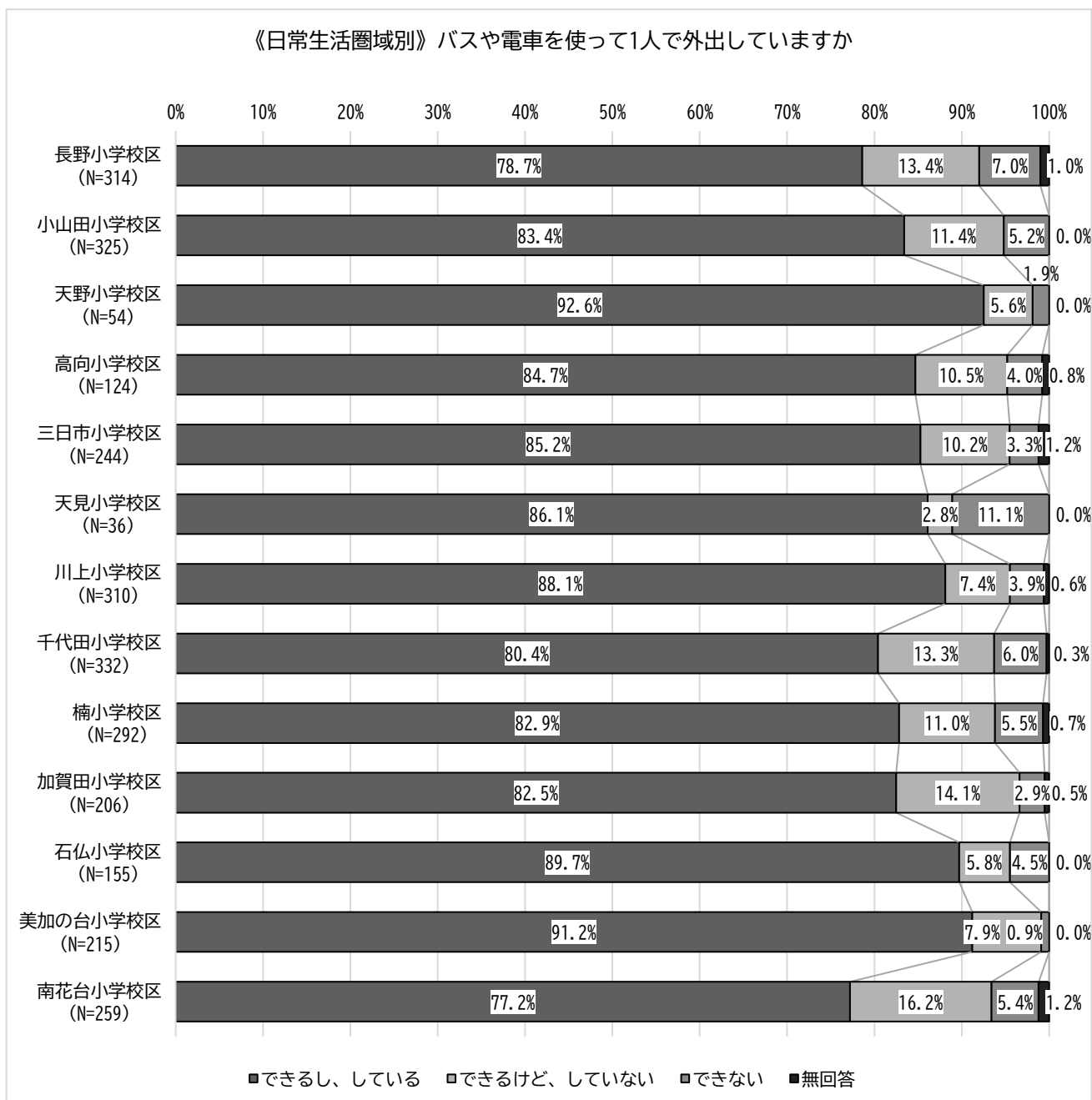


《日常生活圏域別》

「できるし、している」は「天野小学校区」が 92.6%と最も多く、次いで「美加の台小学校区」が 91.2%、「石仏小学校区」が 89.7%、「川上小学校区」が 88.1%、「天見小学校区」が 86.1%となっています。

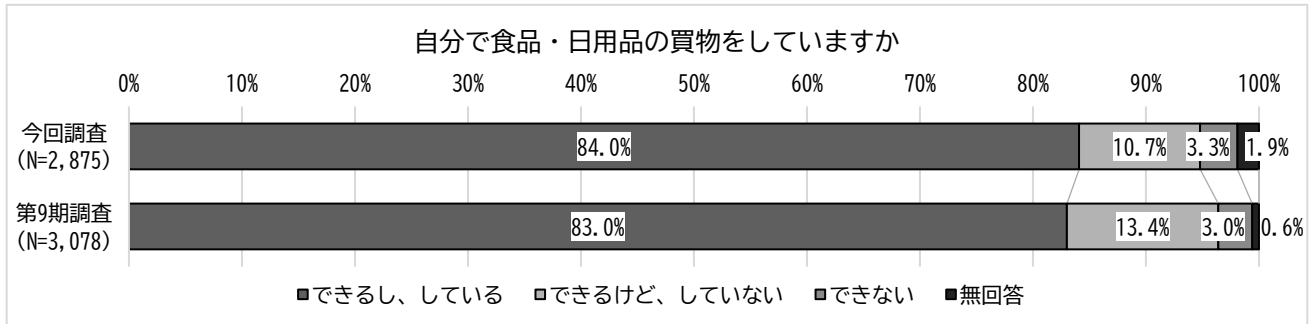
「できるけど、していない」は「南花台小学校区」が 16.2%と最も多く、次いで「加賀田小学校区」が 14.1%、「長野小学校区」が 13.4%、「千代田小学校区」が 13.3%、「小山田小学校区」が 11.4%となっています。

「できない」は「天見小学校区」が 11.1%と最も多く、次いで「長野小学校区」が 7.0%、「千代田小学校区」が 6.0%、「楠小学校区」が 5.5%、「南花台小学校区」が 5.4%となっています。



問 4-5 自分で食品・日用品の買物をしていますか(○はひとつ)

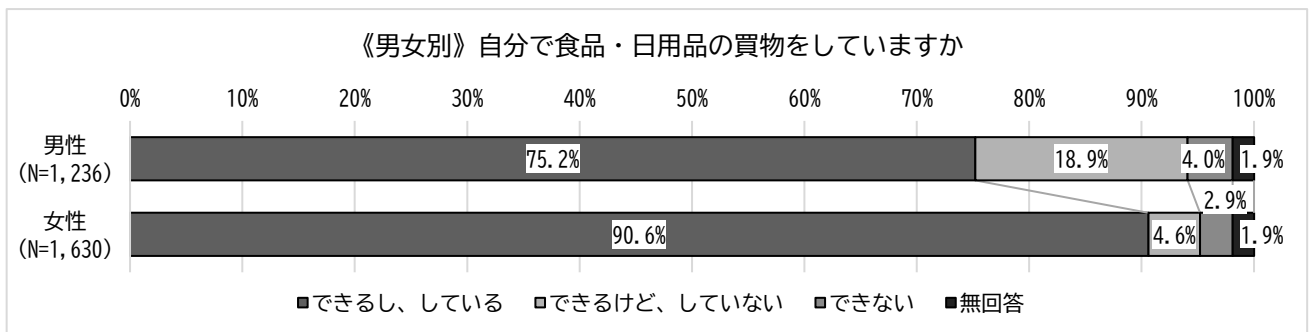
「できるし、している」が84.0%と最も多く、次いで「できるけど、していない」が10.7%、「できない」が3.3%となっており、第9期調査との有意な差はありません。



《男女別》

「男性」は「できるし、している」が75.2%と最も多く、次いで「できるけど、していない」が18.9%、「できない」が4.0%、「女性」は「できるし、している」が90.6%と最も多く、次いで「できるけど、していない」が4.6%、「できない」が2.9%となっています。

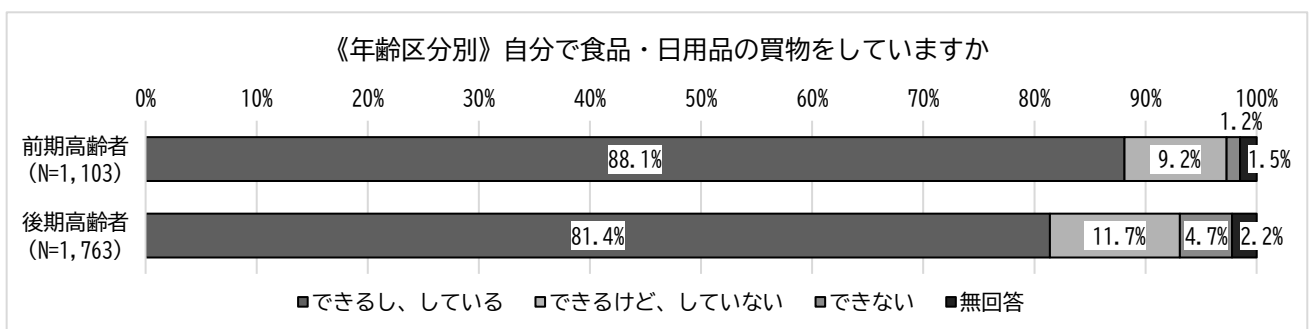
「できるけど、していない」と「できない」を合わせた「していない」に着目すると、「男性」が22.9%に対し、「女性」は7.5%と、「男性」が「女性」を15.4ポイント上回っています。



《年齢区分別》

「前期高齢者」は「できるし、している」が88.1%と最も多く、次いで「できるけど、していない」が9.2%、「できない」が1.2%、「後期高齢者」は「できるし、している」が81.4%と最も多く、次いで「できるけど、していない」が11.7%、「できない」が4.7%となっています。

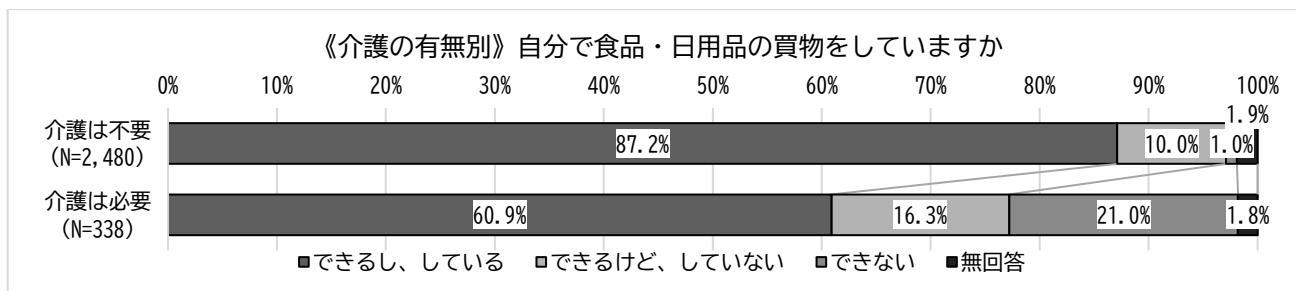
「できるけど、していない」と「できない」を合わせた「していない」に着目すると、「後期高齢者」が16.4%に対し、「前期高齢者」は10.4%と、「後期高齢者」が「前期高齢者」を6.0ポイント上回っています。



《介護の有無別》

「介護は不要」は「できるし、している」が 87.2%と最も多く、次いで「できるけど、していない」が 10.0%、「できない」が 1.0%、「介護は必要」は「できるし、している」が 60.9%と最も多く、次いで「できるけど、していない」が 16.3%、「できない」が 21.0%となっています。

「できるけど、していない」と「できない」を合わせた「していない」に着目すると、「介護は必要」が 37.3%に対し、「介護は不要」は 11.0%と「介護は必要」が「介護は不要」を 26.3 ポイント上回っています。

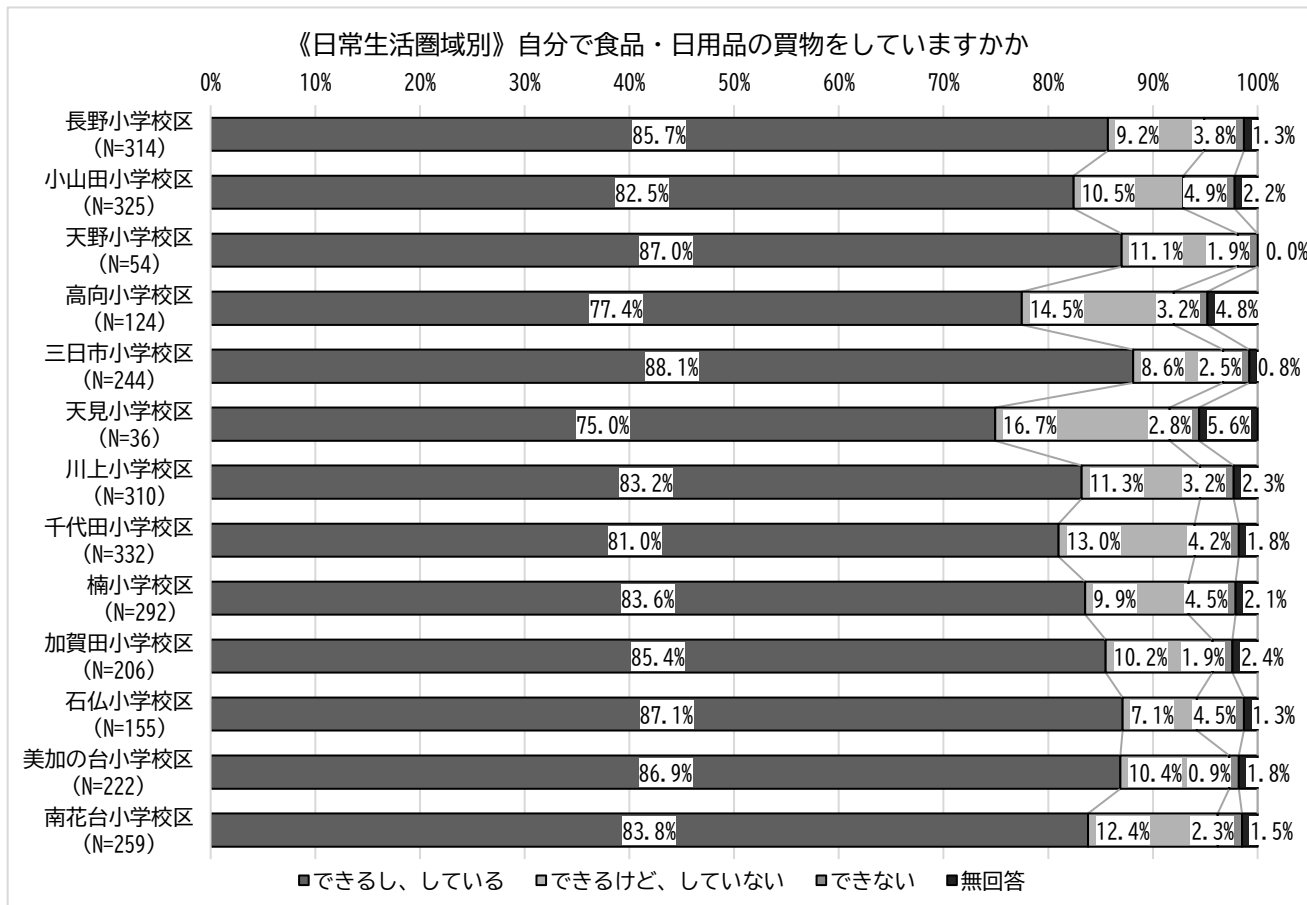


《日常生活圏域別》

「できるし、している」は「三日市小学校区」が 88.1%と最も多く、次いで「石仏小学校区」が 87.1%、「天野小学校区」が 87.0%、「美加の台小学校区」が 86.9%、「長野小学校区」が 85.7%となっています。

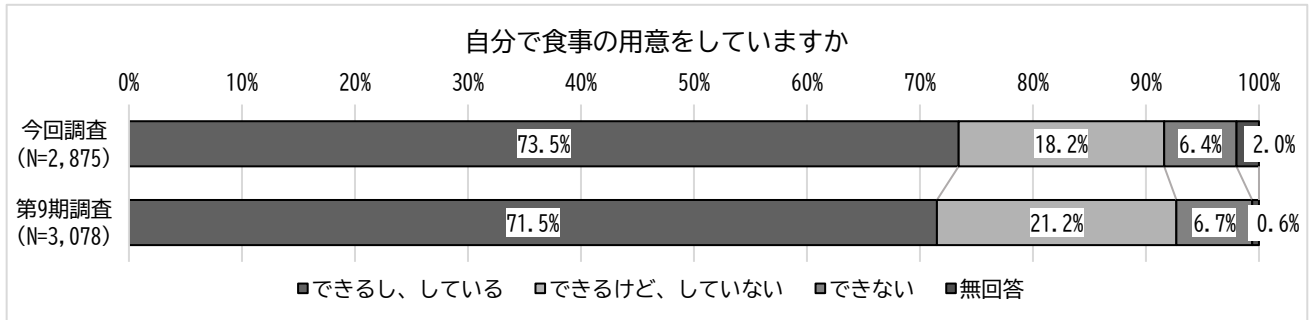
「できるけど、していない」は「天見小学校区」が 16.7%と最も多く、次いで「高向小学校区」が 14.5%、「千代田小学校区」が 13.0%、「南花台小学校区」が 12.4%、「川上小学校区」が 11.3%となっています。

「できない」は「小山田小学校区」が 4.9%と最も多く、次いで「楠小学校区」と「石仏小学校区」が共に 4.5%、「千代田小学校区」が 4.2%、「長野小学校区」が 3.8%となっています。



問 4-6 自分で食事の用意をしていますか(○はひとつ)

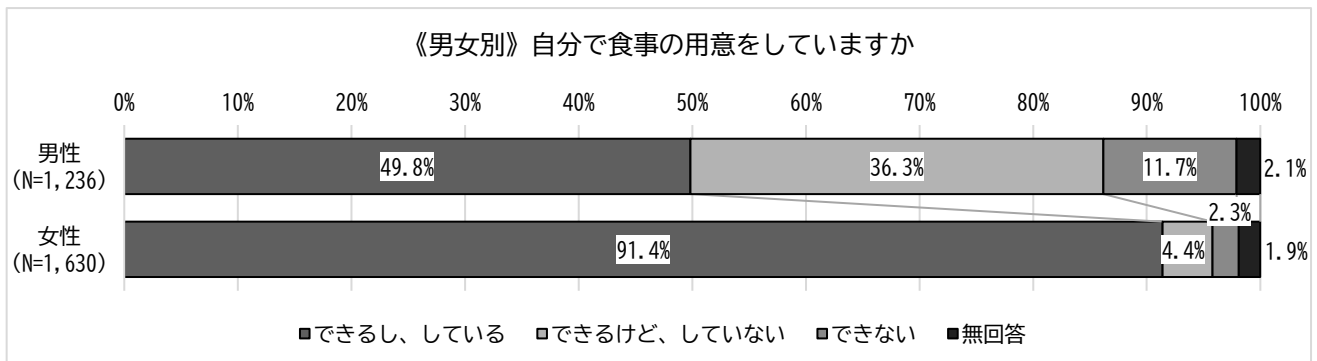
「できるし、している」が73.5%と最も多く、次いで「できるけど、していない」が18.2%、「できない」が6.4%となっており、第9期調査との有意な差はありません。



《男女別》

「男性」は「できるし、している」が49.8%と最も多く、次いで「できるけど、していない」が36.3%、「できない」が11.7%、「女性」は「できるし、している」が91.4%と最も多く、次いで「できるけど、していない」が4.4%、「できない」が2.3%となっています。

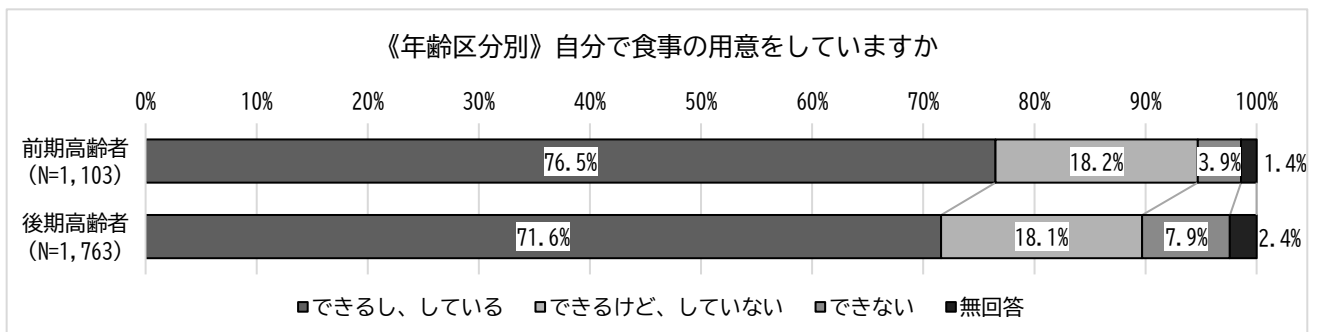
「できるけど、していない」と「できない」を合わせた「していない」に着目すると、「男性」が48.0%に対し、「女性」は6.7%と、「男性」が「女性」を41.3ポイント上回っています。



《年齢区分別》

「前期高齢者」は「できるし、している」が76.5%と最も多く、次いで「できるけど、していない」が18.2%、「できない」が3.9%、「後期高齢者」は「できるし、している」が71.6%と最も多く、次いで「できるけど、していない」が18.1%、「できない」が7.9%となっています。

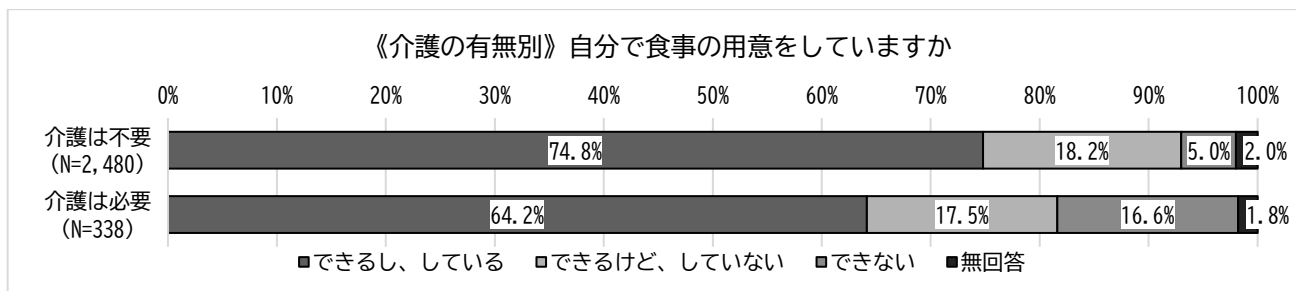
「できるけど、していない」と「できない」を合わせた「していない」に着目すると、「後期高齢者」が26.0%に対し、「前期高齢者」は22.1%と、「後期高齢者」が「前期高齢者」を3.9ポイント上回っています。



《介護の有無別》

「介護は不要」は「できるし、している」が 74.8%と最も多く、次いで「できるけど、していない」が 18.2%、「できない」が 5.0%、「介護は必要」は「できるし、している」が 64.2%と最も多く、次いで「できるけど、していない」が 17.5%、「できない」が 16.6%となっています。

「できるけど、していない」と「できない」を合わせた「していない」に着目すると、「介護は必要」が 34.1%に対し、「介護は不要」は 23.2%と、「介護は必要」が「介護は不要」を 10.9 ポイント上回っています。

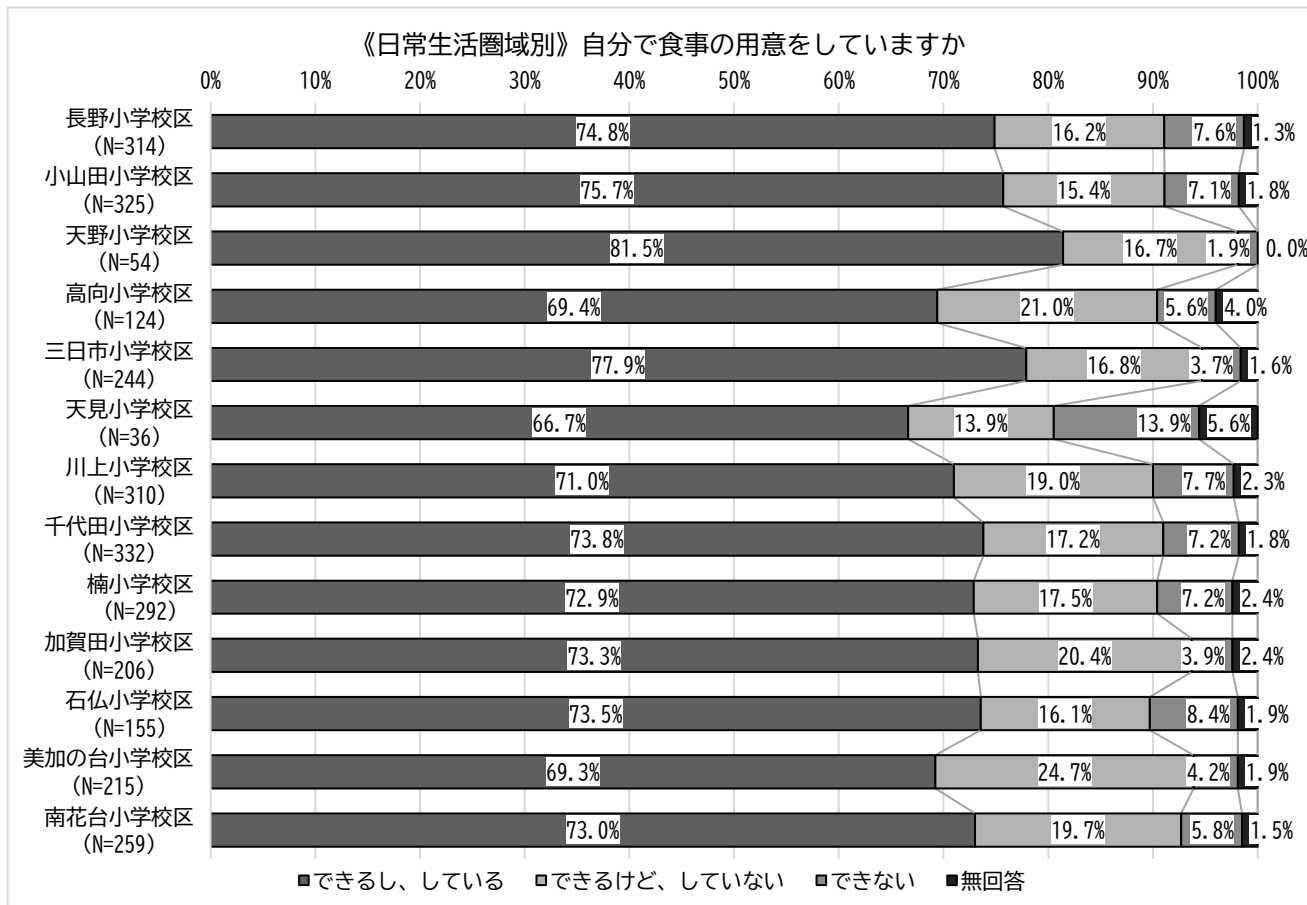


《日常生活圏域別》

「できるし、している」は「天野小学校区」が 81.5%と最も多く、次いで「三日市小学校区」が 77.9%、「小山田小学校区」が 75.7%、「長野小学校区」が 74.8%、「千代田小学校区」が 73.8%となっています。

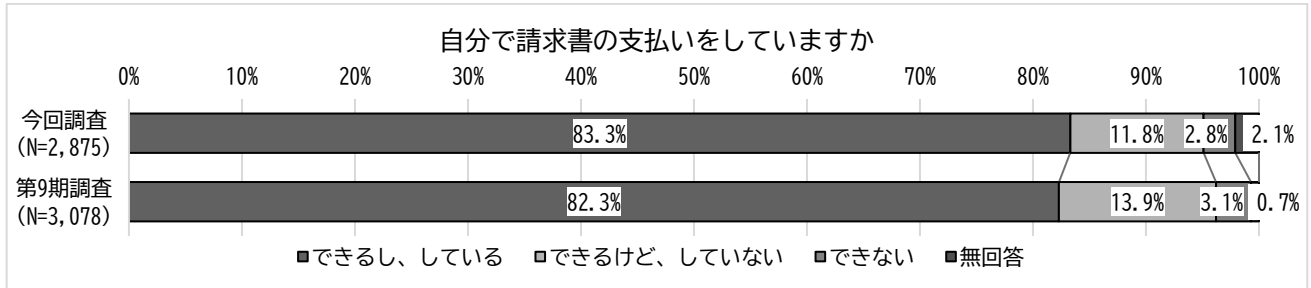
「できるけど、していない」は「美加の台小学校区」が 24.7%と最も多く、次いで「高向小学校区」が 21.0%、「加賀田小学校区」が 20.4%、「南花台小学校区」が 19.7%、「川上小学校区」が 19.0%となっています。

「できない」は「天見小学校区」が 13.9%と最も多く、次いで「石仏小学校区」が 8.4%、「川上小学校区」が 7.7%、「長野小学校区」が 7.6%、「千代田小学校区」と「楠小学校区」が共に 7.2%となっています。



問 4-7 自分で請求書の支払いをしていますか(○はひとつ)

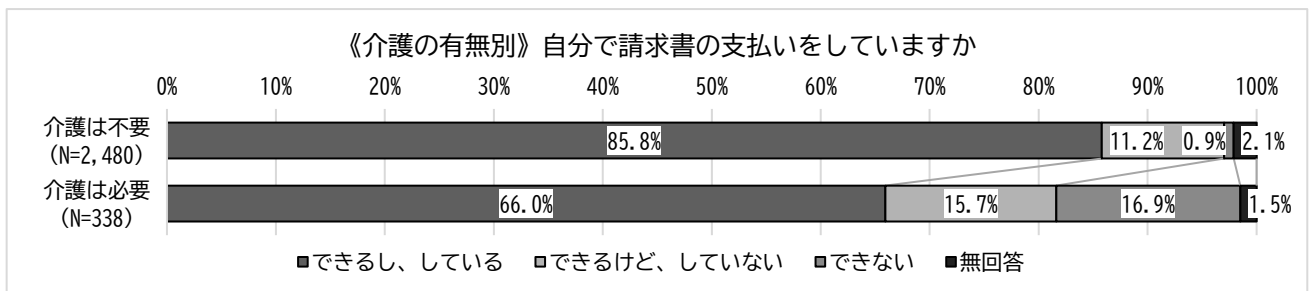
「できるし、している」が 83.3%と最も多く、次いで「できるけど、していない」が 11.8%、「できない」が 2.8%となっており、第 9 期調査との有意な差はありません。



《介護の有無別》

「介護は不要」は「できるし、している」が 85.8%と最も多く、次いで「できるけど、していない」が 11.2%、「できない」が 0.9%、「介護は必要」は「できるし、している」が 66.0%と最も多く、次いで「できない」が 16.9%、「できるけど、していない」が 15.7%となっています。

「できるけど、していない」と「できない」を合わせた「していない」に着目すると、「介護は必要」が 32.6%に対し、「介護は不要」は 12.1%と、「介護は必要」が「介護は不要」を 20.5 ポイント上回っています。

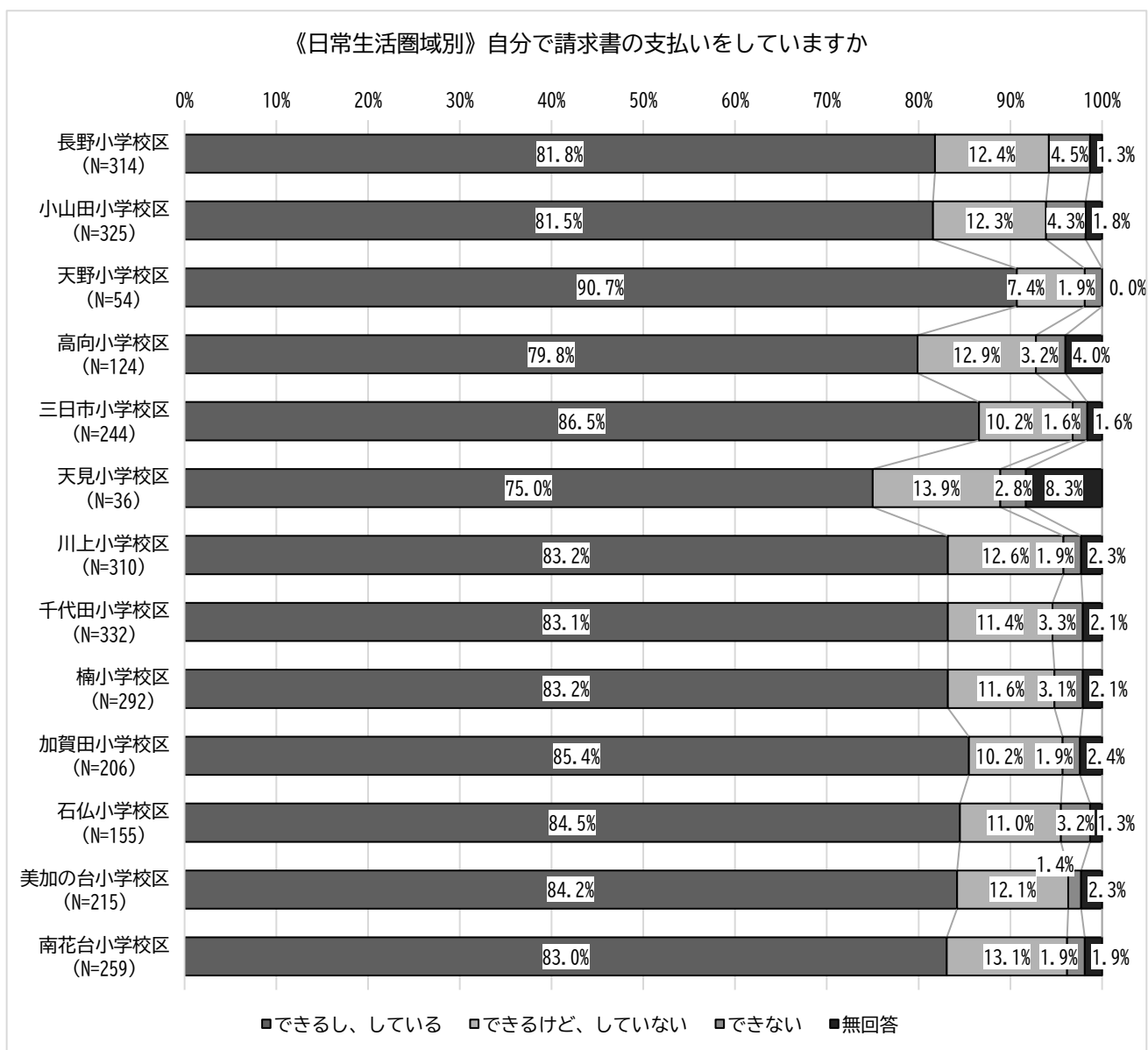


《日常生活圏域別》

「できるし、している」は「天野小学校区」が 90.7%と最も多く、次いで「三日市小学校区」が 86.5%、「加賀田小学校区」が 85.4%、「石仏小学校区」が 84.5%、「美加の台小学校区」が 84.2%となっています。

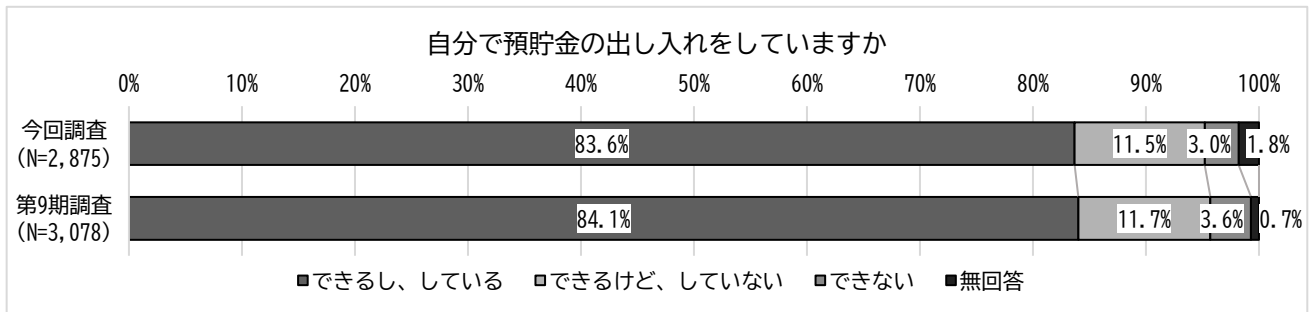
「できるけど、していない」は「天見小学校区」が 13.9%と最も多く、次いで「南花台小学校区」が 13.1%、「高向小学校区」が 12.9%、「川上小学校区」が 12.6%、「長野小学校区」が 12.4%となっています。

「できない」は「長野小学校区」が 4.5%と最も多く、次いで「小山田小学校区」が 4.3%、「千代田小学校区」が 3.3%、「高向小学校区」と「石仏小学校区」が共に 3.2%となっています。



問 4-8 自分で預貯金の出し入れをしていますか(○はひとつ)

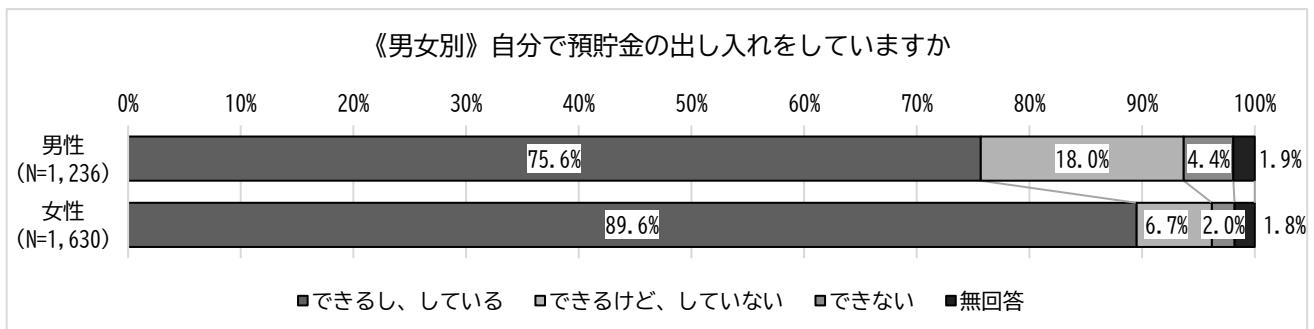
「できるし、している」が83.6%と最も多く、次いで「できるけど、していない」が11.5%、「できない」が3.0%となっており、第9期調査との有意な差はありません。



《男女別》

「男性」は「できるし、している」が75.6%と最も多く、次いで「できるけど、していない」が18.0%、「できない」が4.4%、「女性」は「できるし、している」が89.6%と最も多く、次いで「できるけど、していない」が6.7%、「できない」が2.0%となっています。

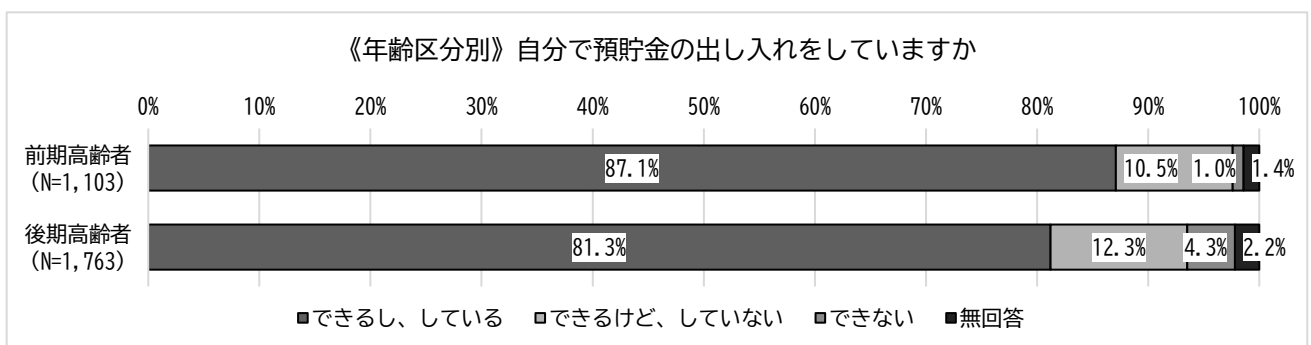
「できるけど、していない」と「できない」を合わせた「していない」に着目すると、「男性」が22.4%に対し、「女性」は8.7%と、「男性」が「女性」を13.7ポイント上回っています。



《年齢区分別》

「前期高齢者」は「できるし、している」が87.1%と最も多く、次いで「できるけど、していない」が10.5%、「できない」が1.0%、「後期高齢者」は「できるし、している」が81.3%と最も多く、次いで「できるけど、していない」が12.3%、「できない」が4.3%となっています。

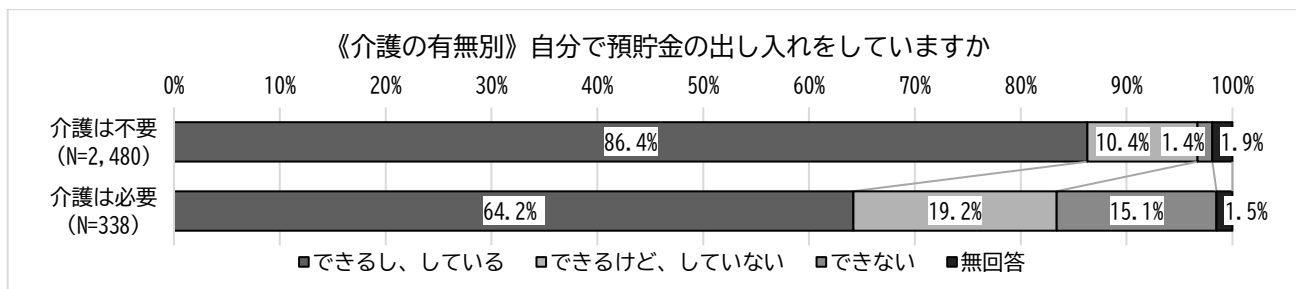
「できるけど、していない」と「できない」を合わせた「していない」に着目すると、「後期高齢者」が16.6%、「前期高齢者」は11.5%と、「後期高齢者」が「前期高齢者」を5.1ポイント上回っています。



《介護の有無別》

「介護は不要」は「できるし、している」が 86.4%と最も多く、次いで「できるけど、していない」が 10.4%、「できない」が 1.4%、「介護は必要」は「できるし、している」が 64.2%と最も多く、次いで「できるけど、していない」が 19.2%、「できない」が 15.1%となっています。

「できるけど、していない」と「できない」を合わせた「していない」に着目すると、「介護は必要」が 34.3%に対し、「介護は不要」は 11.8%と、「介護は必要」が「介護は不要」を 22.5 ポイント上回っています。

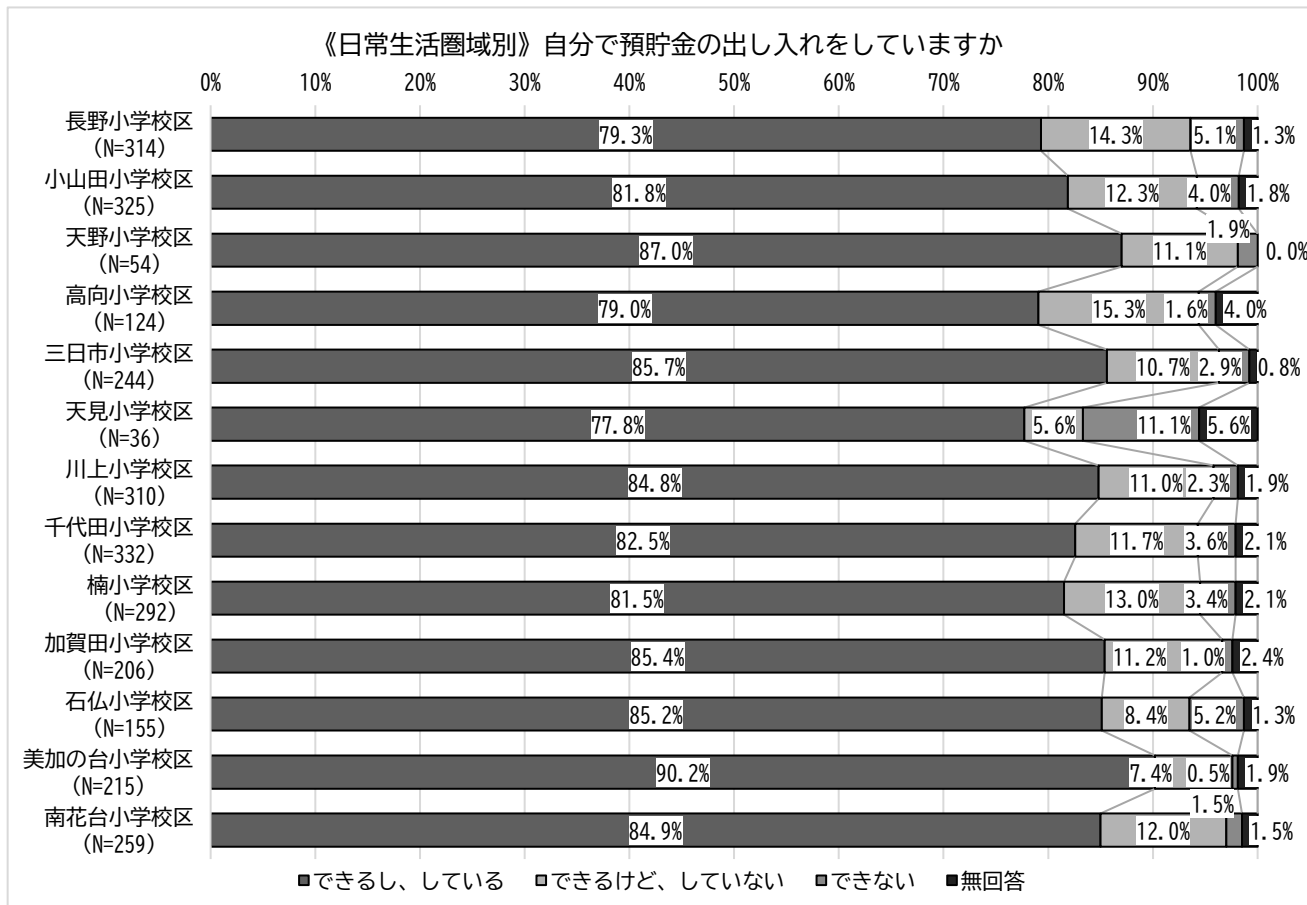


《日常生活圏域別》

「できるし、している」は「美加の台小学校区」90.2%と最も多く、次いで「天野小学校区」が 87.0%、「三日市小学校区」が 85.7%、「加賀田小学校区」が 85.4%、「石仏小学校区」が 85.2%となっています。

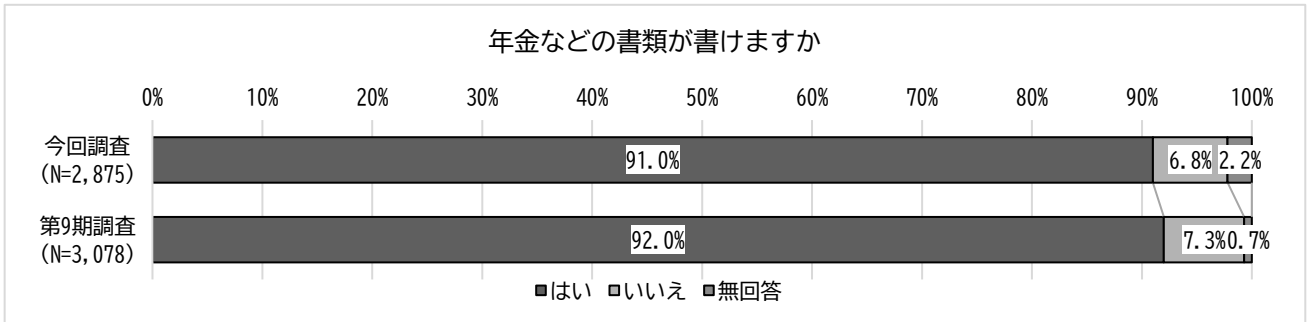
「できるけど、していない」は「高向小学校区」が 15.3%と最も多く、次いで「長野小学校区」が 14.3%、「楠小学校区」が 13.0%、「小山田小学校区」が 12.3%、「南花台小学校区」が 12.0%となっています。

「できない」は「天見小学校区」が 11.1%と最も多く、次いで「石仏小学校区」が 5.2%、「長野小学校区」が 5.1%、「小山田小学校区」が 4.0%、「千代田小学校区」が 3.6%となっています。



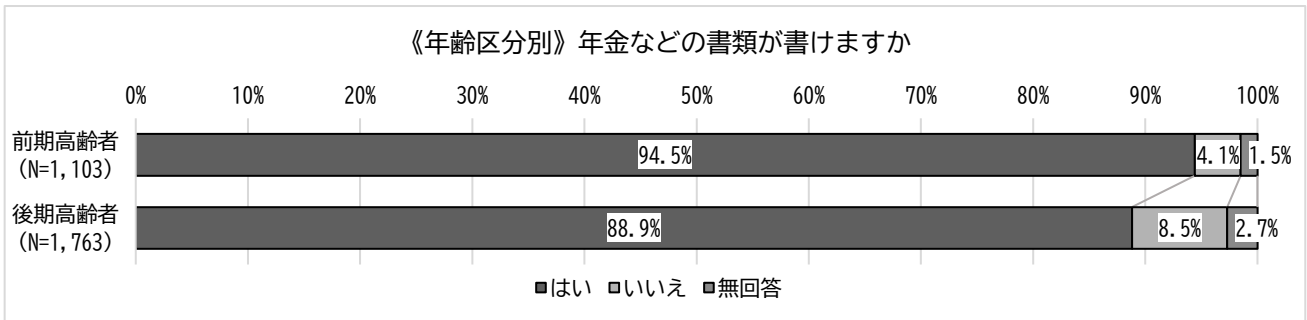
問 4-9 年金などの書類(役所や病院などに出す書類)が書けますか(○はひとつ)

「はい」が 91.0%、「いいえ」が 6.8%となっており、第 9 期調査との有意な差はありません。



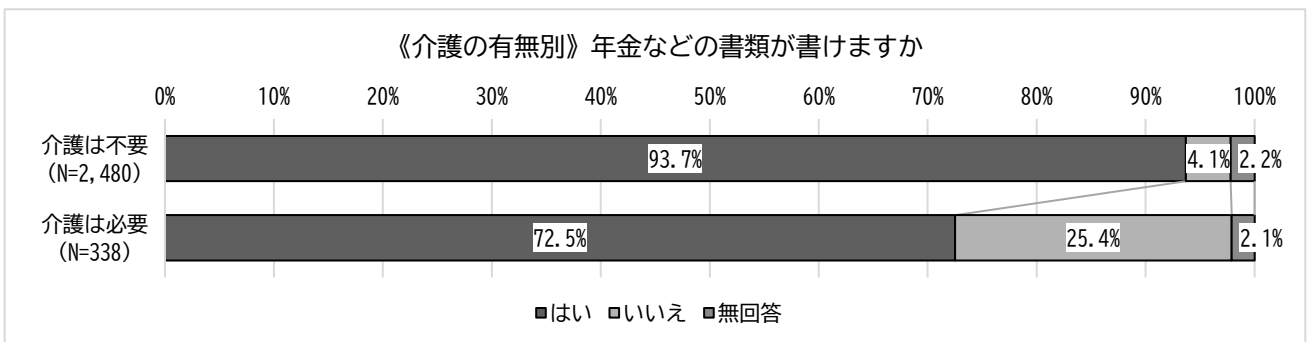
《年齢区分別》

「前期高齢者」は「はい」が 94.5%、「いいえ」が 4.1%、「後期高齢者」は「はい」が 88.9%、「いいえ」が 8.5%で、「いいえ」に着目すると、「後期高齢者」が 8.5%に対し、「前期高齢者」は 4.1%と、「後期高齢者」が「前期高齢者」を 4.4 ポイント上回っています。



《介護の有無別》

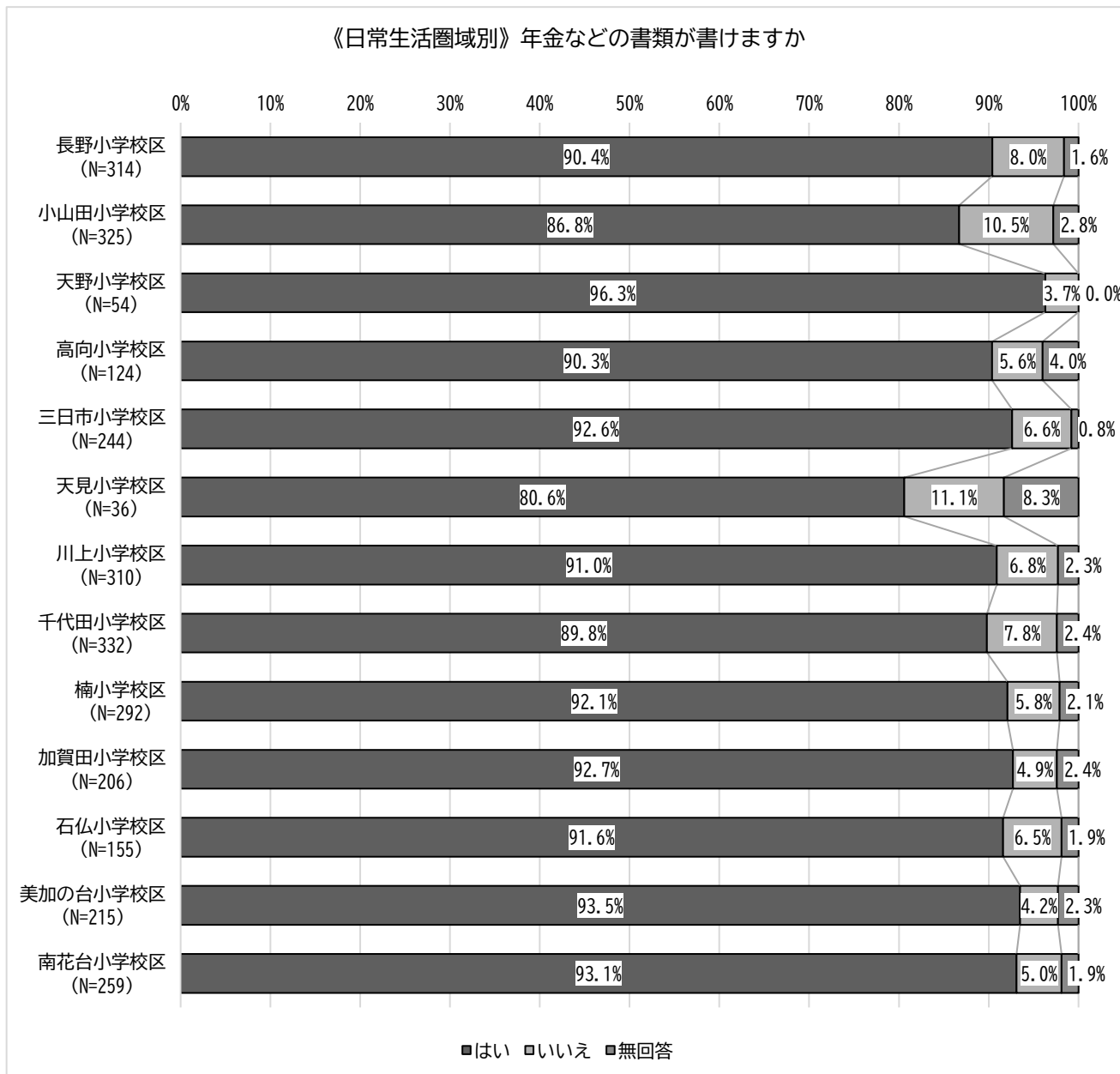
「介護は不要」は「はい」が 93.7%、「いいえ」が 4.1%、「介護は必要」は「はい」が 72.5%、「いいえ」が 25.4%で、「いいえ」に着目すると、「介護は必要」が 25.4%に対し、「介護は不要」は 4.1%と、「介護は必要」が「介護は不要」を 21.3 ポイント上回っています。



《日常生活圏域別》

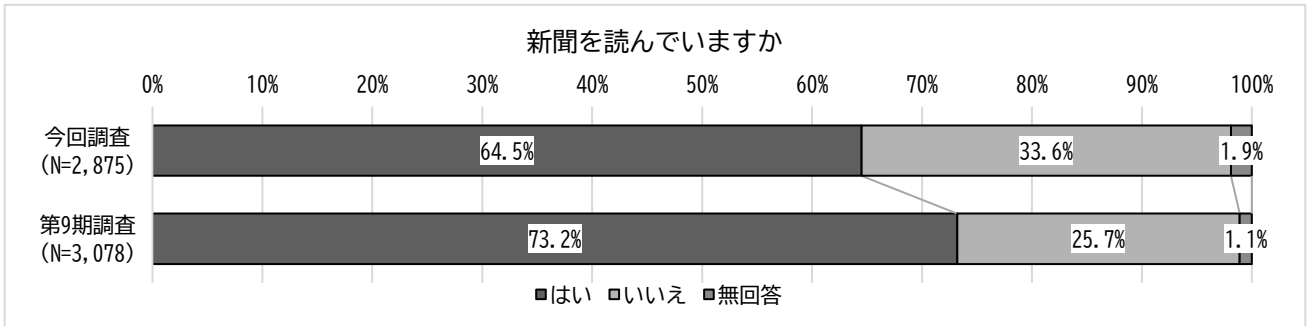
「はい」は「天野小学校区」が96.3%と最も多く、次いで「美加の台小学校区」が93.5%、「南花台小学校区」が93.1%、「加賀田小学校区」が92.7%、「三日市小学校区」が92.6%となっています。

「いいえ」は「天見小学校区」が11.1%と最も多く、次いで「小山田小学校区」が10.5%、「長野小学校区」が8.0%、「千代田小学校区」が7.8%、「川上小学校区」が6.8%となっています。



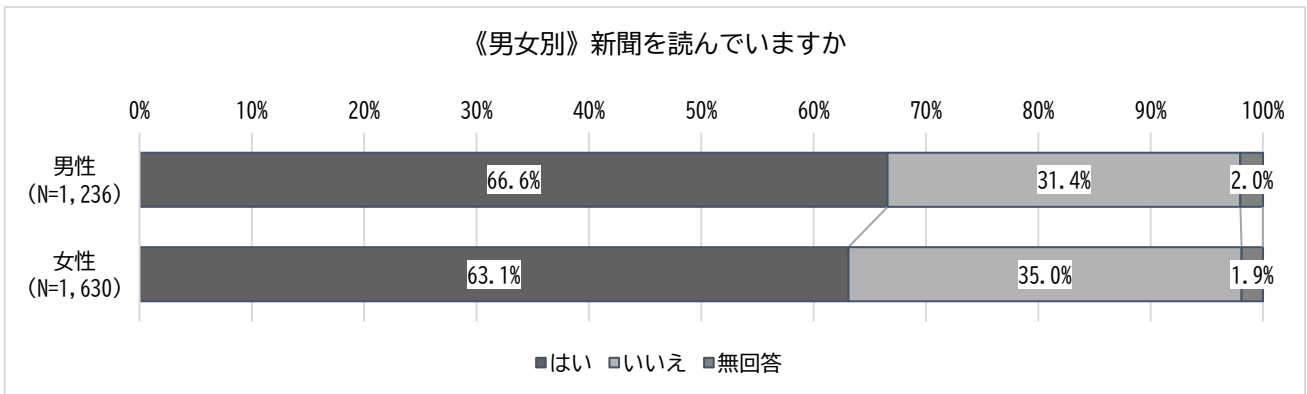
問 4-10 新聞を読んでいますか(○はひとつ)

「はい」が64.5%、「いいえ」が33.6%となっており、「はい」は73.2%から64.5%へと8.7ポイント減少し、「いいえ」は25.7%から33.6%へと7.9ポイント増加しています。



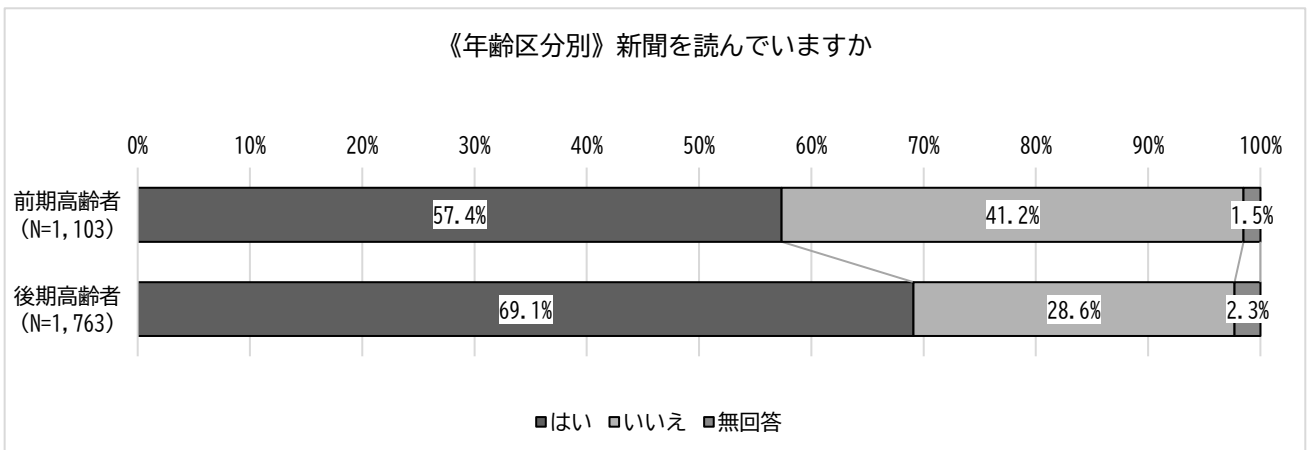
《男女別》

「男性」は「はい」が66.6%、「いいえ」が31.4%、「女性」は「はい」が63.1%、「いいえ」が35.0%で、「いいえ」に着目すると、「女性」が35.0%に対し、「男性」は31.4%と、「女性」が「男性」を3.6ポイント上回っています。



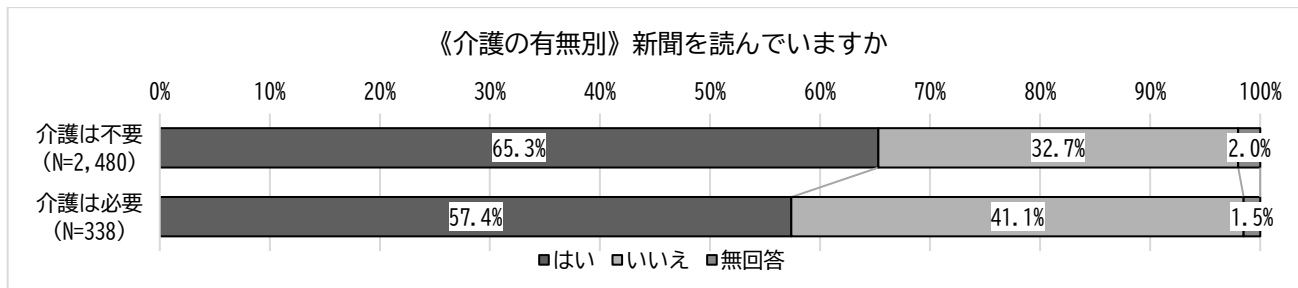
《年齢区分別》

「前期高齢者」は「はい」が57.4%、「いいえ」が41.2%、「後期高齢者」は「はい」が69.1%で、「いいえ」に着目すると、「前期高齢者」が41.2%に対し、「後期高齢者」は28.6%と、「前期高齢者」が「後期高齢者」を12.6ポイント上回っています。



《介護の有無別》

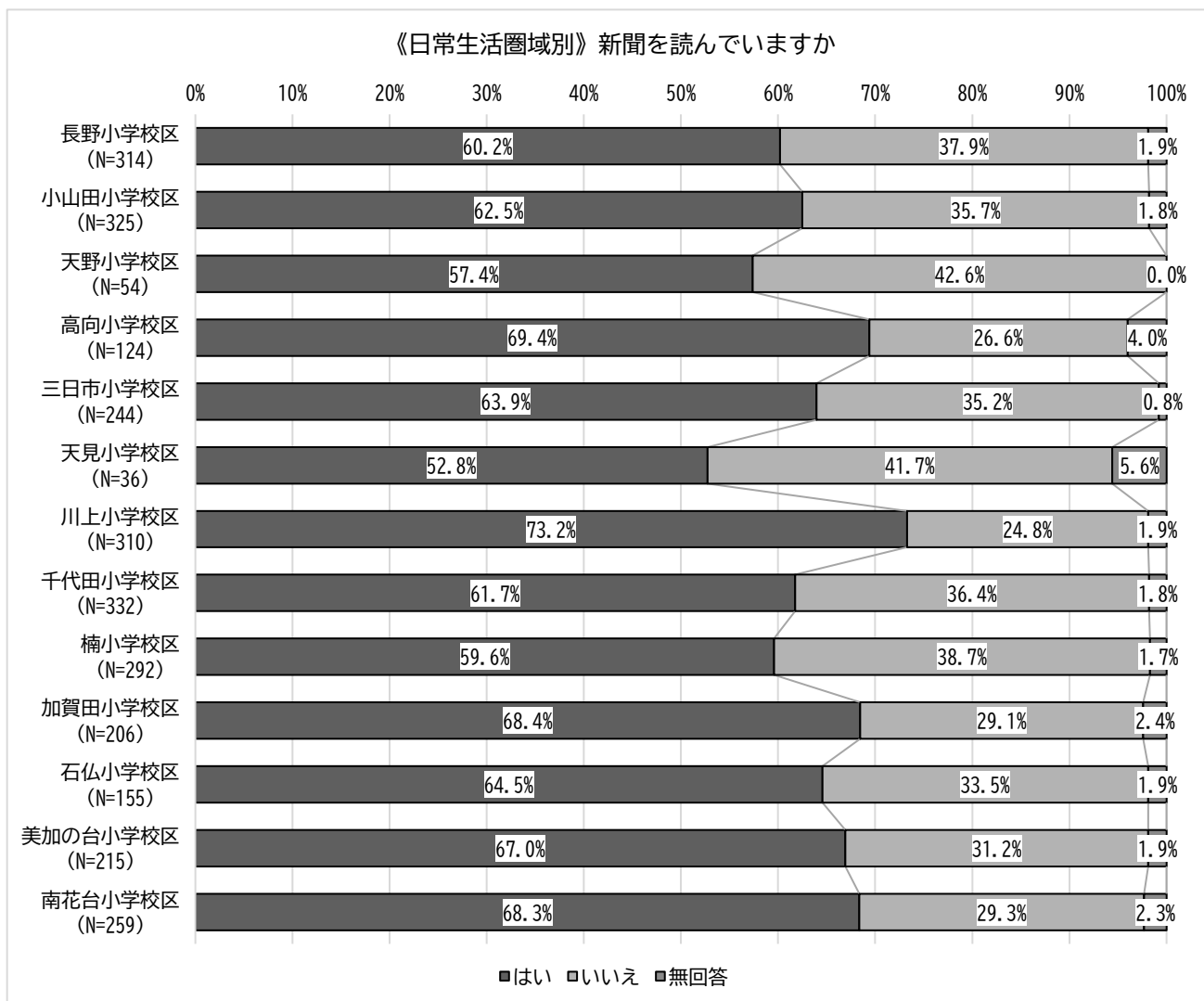
「介護は不要」は「はい」が 65.3%、「いいえ」が 32.7%、「介護は必要」は「はい」が 57.4%、「いいえ」が 41.1%で、「いいえ」に着目すると、「介護は必要」が 41.1%に対し、「介護は不要」は 32.7%と、「介護は必要」が「介護は不要」を 8.4 ポイント上回っています。



《日常生活圏域別》

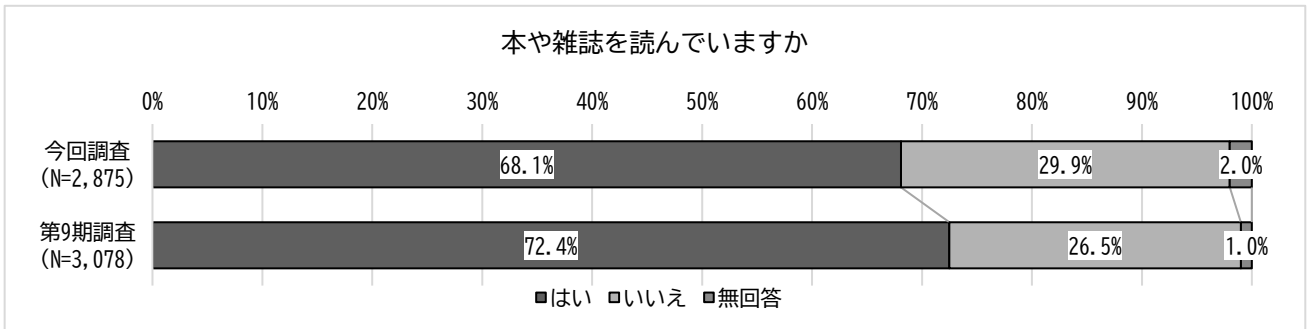
「はい」は「川上小学校区」が 73.2%と最も多く、次いで「高向小学校区」が 69.4%、「加賀田小学校区」が 68.4%、「南花台小学校区」が 68.3%、「美加の台小学校区」が 67.0%となっています。

「いいえ」は「天野小学校区」が 42.6%と最も多く、次いで「天見小学校区」が 41.7%、「楠小学校区」が 38.7%、「長野小学校区」が 37.9%、「千代田小学校区」が 36.4%となっています。



問 4-11 本や雑誌を読んでいますか(○はひとつ)

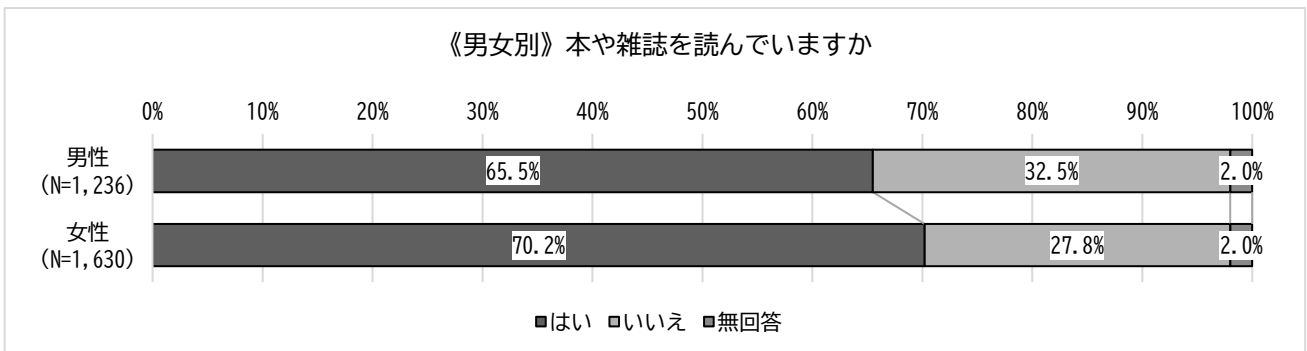
「はい」が 68.1%、「いいえ」が 29.9%となっており、第 9 期調査と比較すると、「はい」は 72.4%から 68.1%へと 4.3 ポイント減少し、「いいえ」は 26.5%から 29.9%へと 3.4 ポイント増加しています。



《男女別》

「男性」は「はい」が 65.5%、「いいえ」が 32.5%、「女性」は「はい」が 70.2%、「いいえ」が 27.8%となっています。

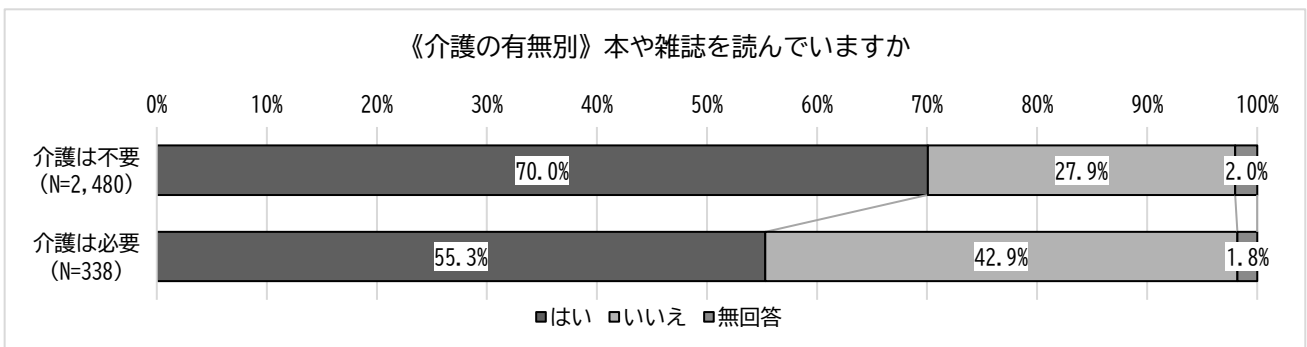
「いいえ」に着目すると、「男性」が 32.5%に対し、「女性」は 27.8%と、「男性」が「女性」を 4.7 ポイント上回っています。



《介護の有無別》

「介護は不要」は「はい」が 70.0%、「いいえ」が 27.9%、「介護は必要」は「はい」が 55.3%、「いいえ」が 42.9%となっています。

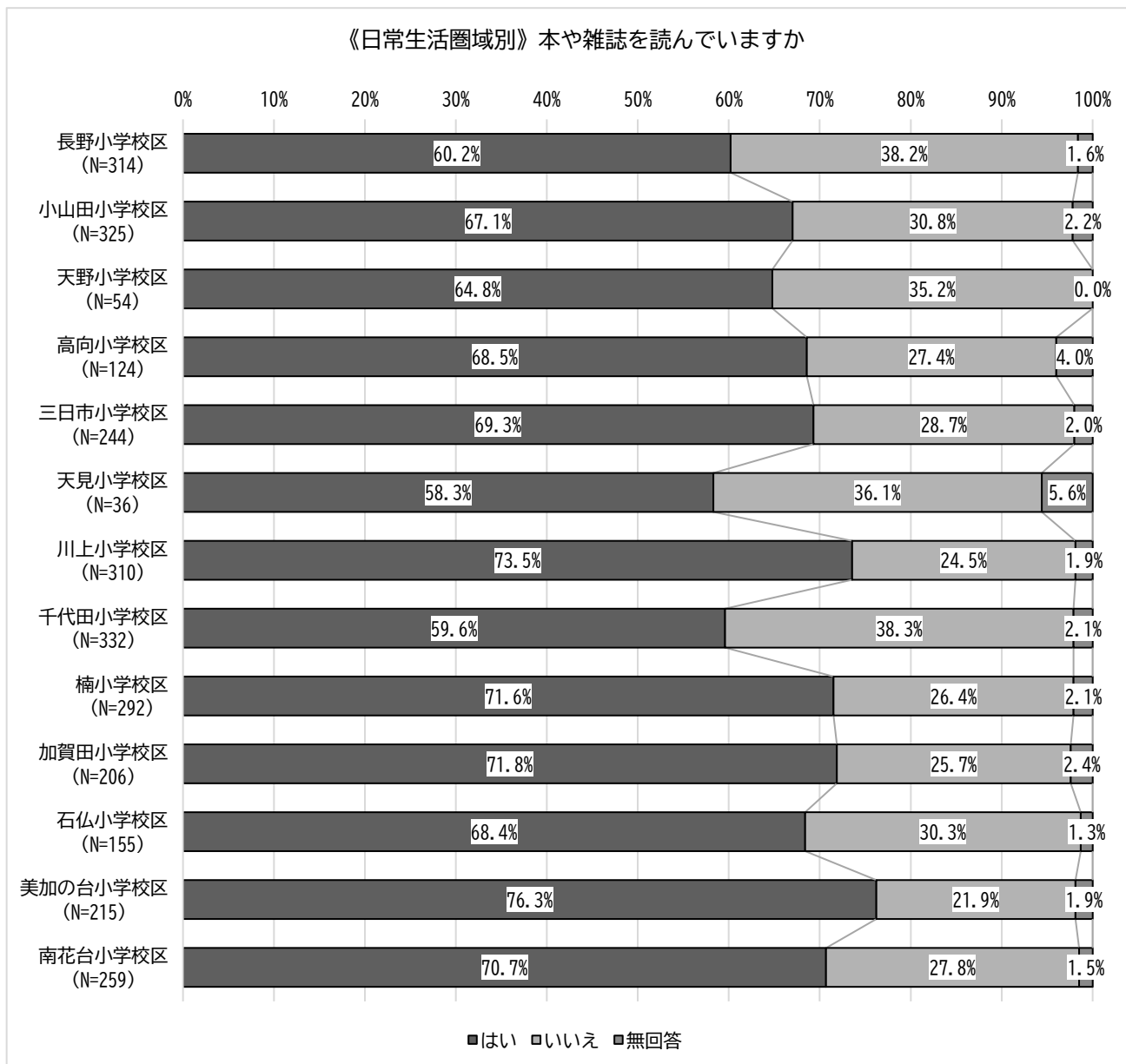
「いいえ」に着目すると、「介護は必要」が 42.9%に対し、「介護は不要」は 27.9%と、「介護は必要」が「介護は不要」を 15.0 ポイント上回っています。



《日常生活圏域別》

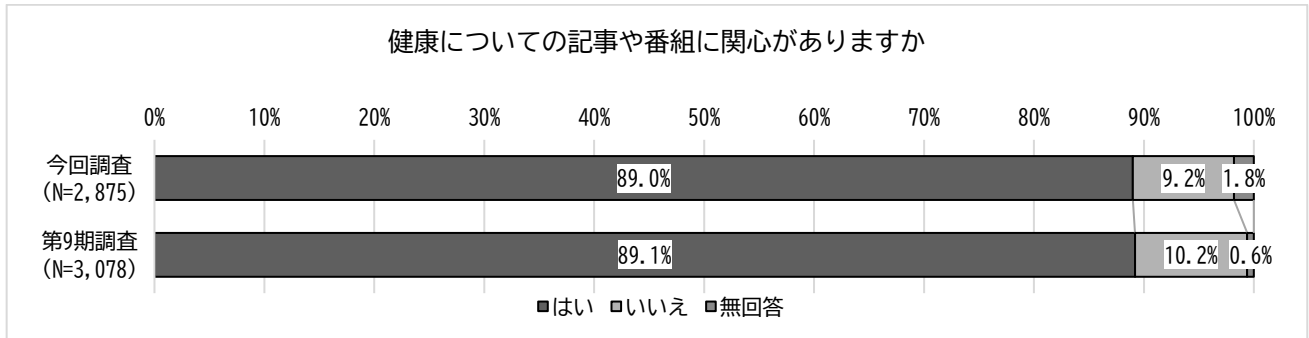
「はい」は「美加の台小学校区」が76.3%と最も多く、次いで「川上小学校区」が73.5%、「加賀田小学校区」が71.8%、「楠小学校区」が71.6%、「南花台小学校区」が70.7%となっています。

「いいえ」は「千代田小学校区」が38.3%と最も多く、次いで「長野小学校区」が38.2%、「天見小学校区」が36.1%、「天野小学校区」が35.2%、「小山田小学校区」が30.8%となっています。



問 4-12 健康についての記事や番組に関心がありますか(○はひとつ)

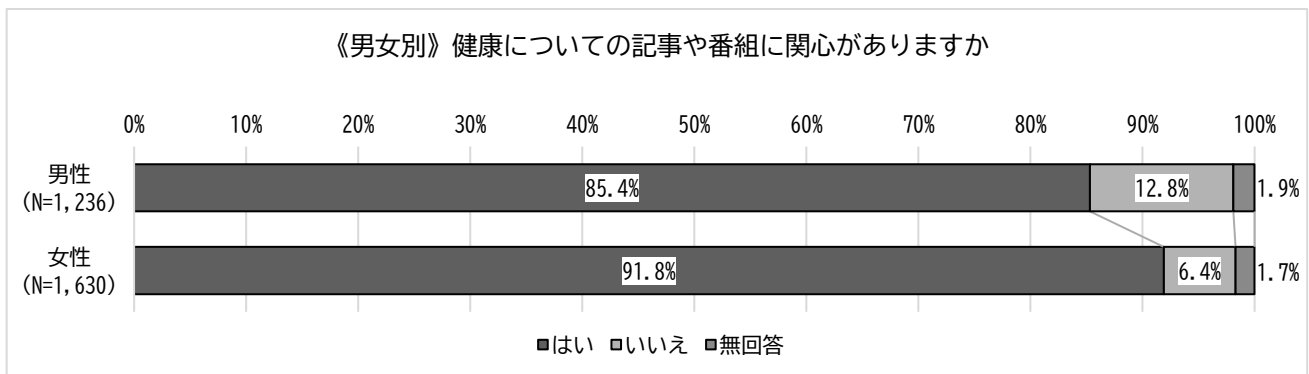
「はい」が89.0%、「いいえ」が9.2%となっており、第9期調査との有意な差はありません。



《男女別》

「男性」は「はい」が85.4%、「いいえ」が12.8%、「女性」は「はい」が91.8%、「いいえ」が6.4%となっています。

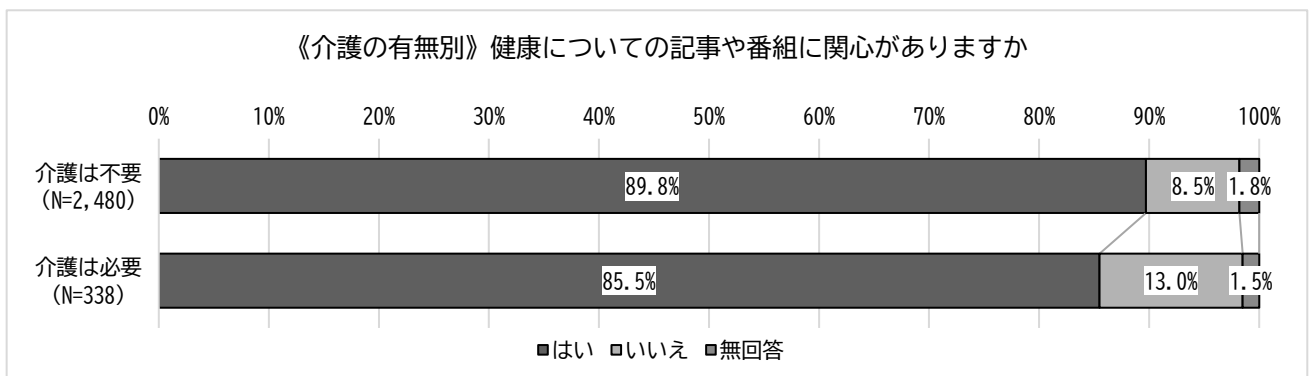
「いいえ」に着目すると、「男性」が12.8%に対し、「女性」は6.4%と、「男性」が「女性」を6.4ポイント上回っています。



《介護の有無別》

「介護は不要」は「はい」が89.8%、「いいえ」が8.5%、「介護は必要」は「はい」が85.5%、「いいえ」が13.0%となっています。

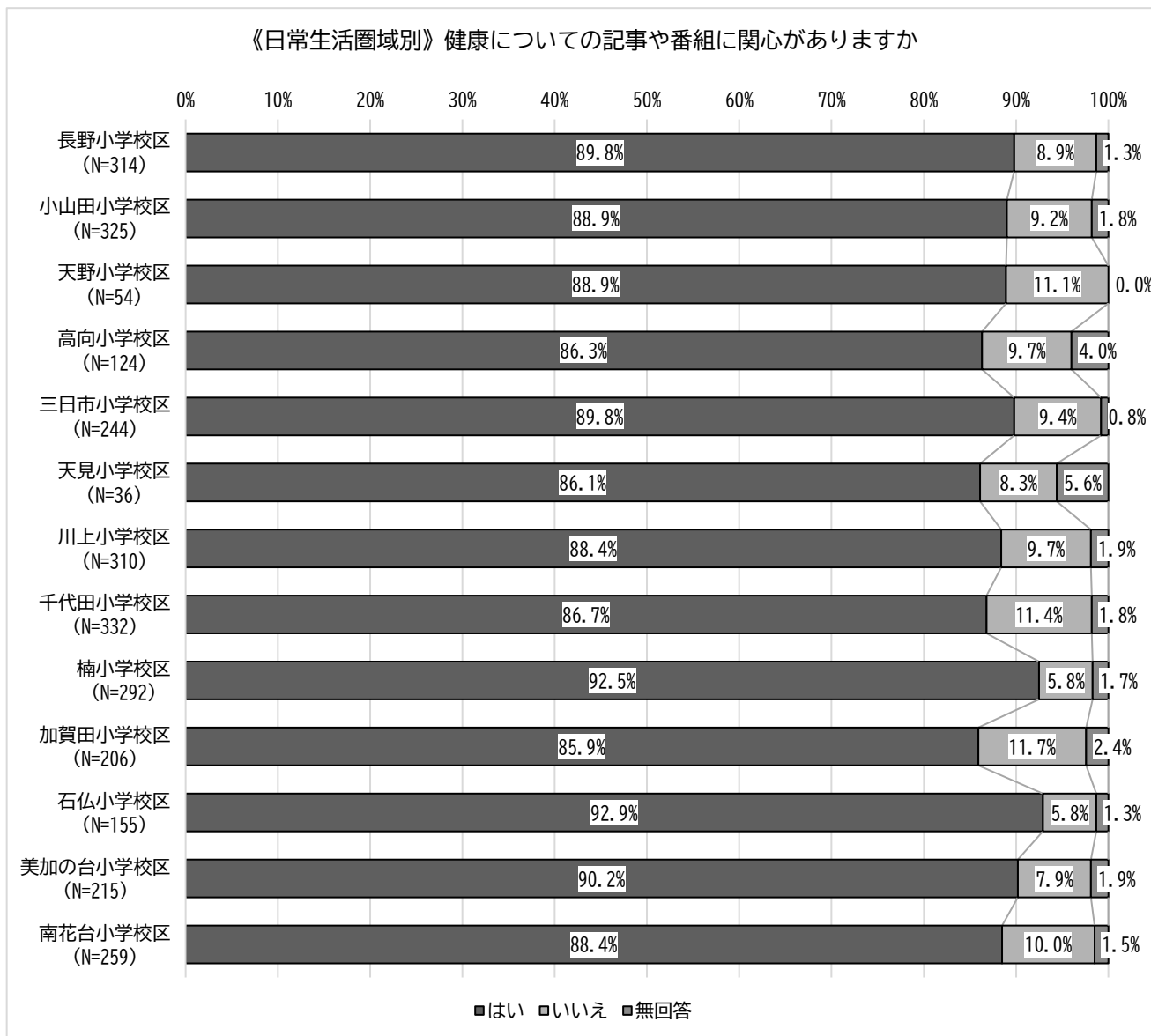
「いいえ」に着目すると、「介護は必要」が13.0%に対し、「介護は不要」は8.5%と、「介護は必要」が「介護は不要」を4.5ポイント上回っています。



《日常生活圏域別》

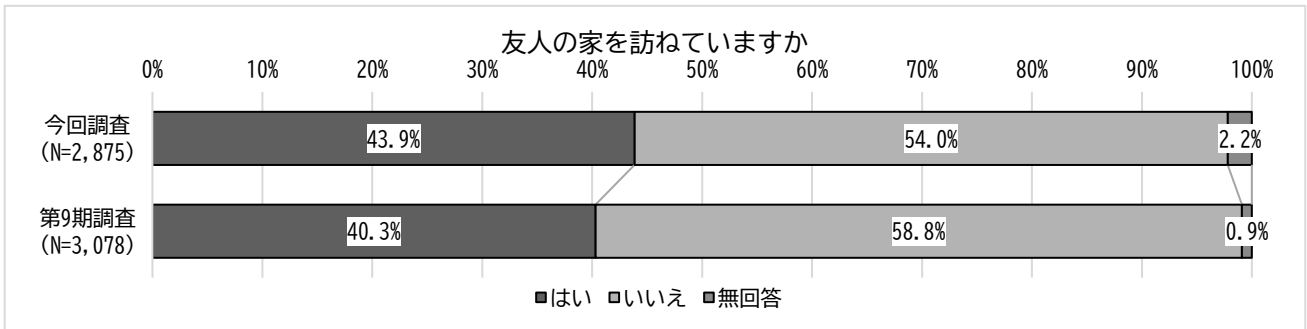
「はい」は「石仏小学校区」が 92.9%と最も多く、次いで「楠小学校区」が 92.5%、「美加の台小学校区」が 90.2%、「長野小学校区」と「三日市小学校区」が共に 89.8%となっています。

「いいえ」は「加賀田小学校区」が 11.7%と最も多く、次いで「千代田小学校区」が 11.4%、「天野小学校区」が 11.1%、「南花台小学校区」が 10.0%、「高向小学校区」と「川上小学校区」、が共に 9.7%となっています。



問 4-13 友人の家を訪ねていますか(○はひとつ)

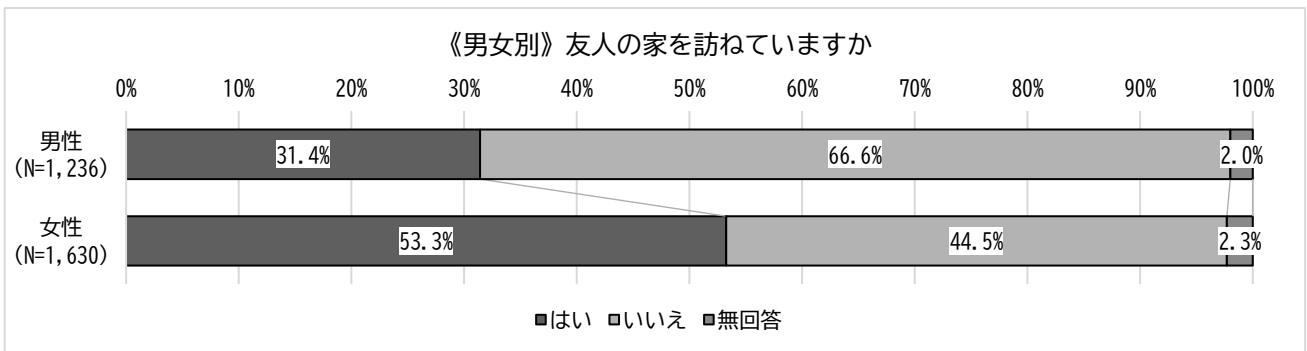
「はい」が 43.9%、「いいえ」が 54.0%となっており、第 9 期調査と比較すると、「はい」は 40.3%から 43.9%へと 3.6 ポイント増加し、「いいえ」は 58.8%から 54.0%へと 4.8 ポイント減少しています。



《男女別》

「男性」は「はい」が 31.4%、「いいえ」が 66.6%、「女性」は「はい」が 53.3%、「いいえ」が 44.5%となっています。

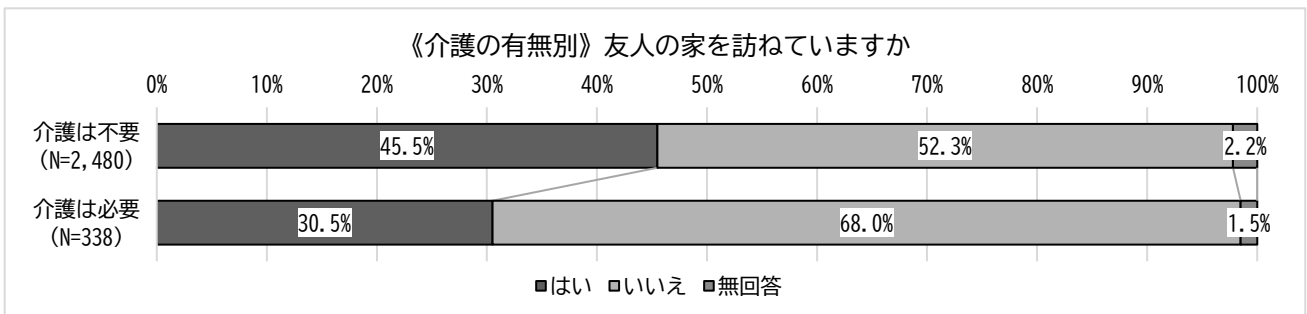
「いいえ」に着目すると、「男性」が 66.6%に対し、「女性」は 44.5%と、「男性」が「女性」を 22.1 ポイント上回っています。



《介護の有無別》

「介護は不要」は「はい」が 45.5%、「いいえ」が 52.3%、「介護は必要」は「はい」が 30.5%、「いいえ」が 68.0%となっています。

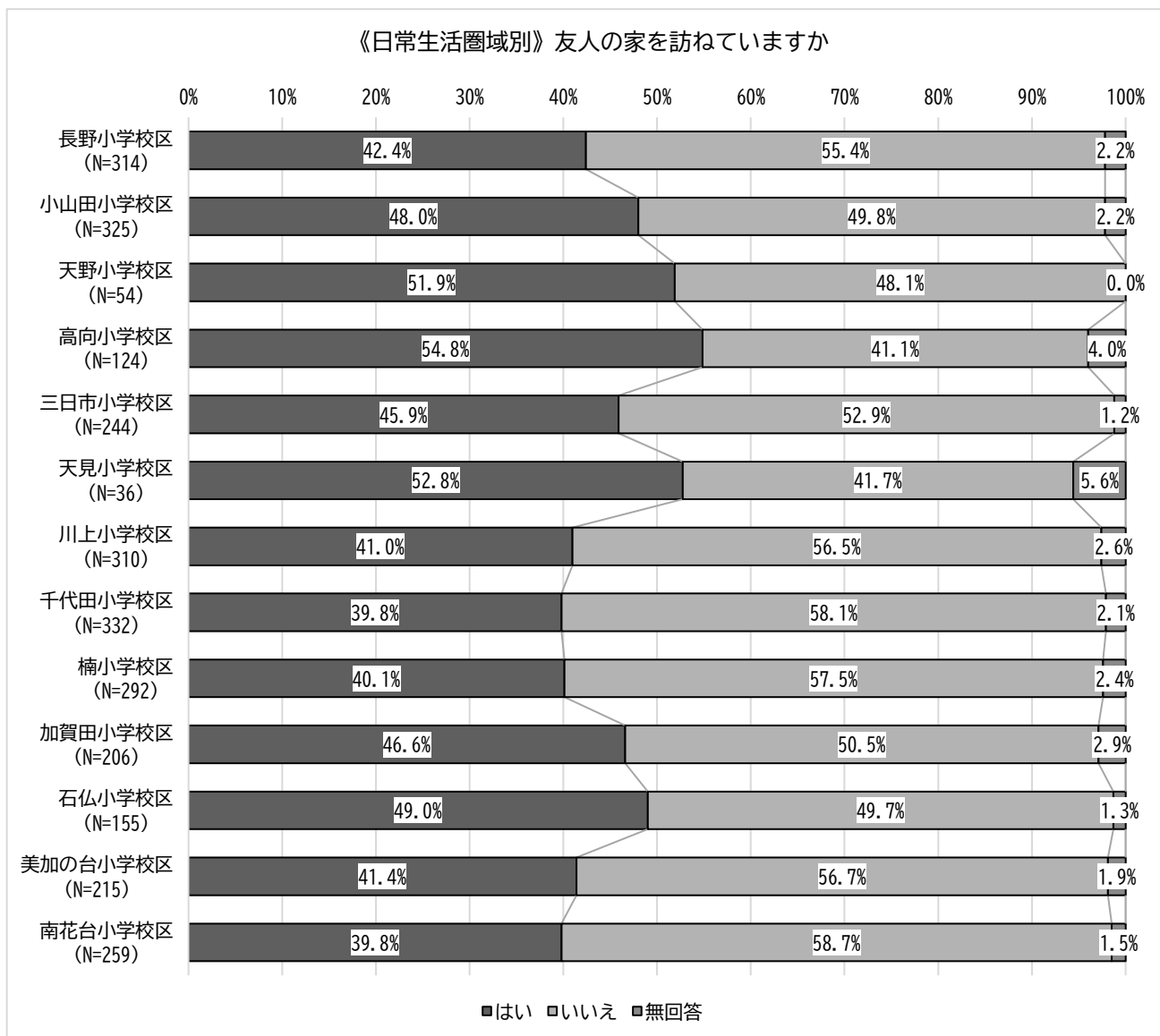
「いいえ」に着目すると、「介護は必要」が 68.0%に対し、「介護は不要」は 52.3%と、「介護は必要」が「介護は不要」を 15.7 ポイント上回っています。



《日常生活圏域別》

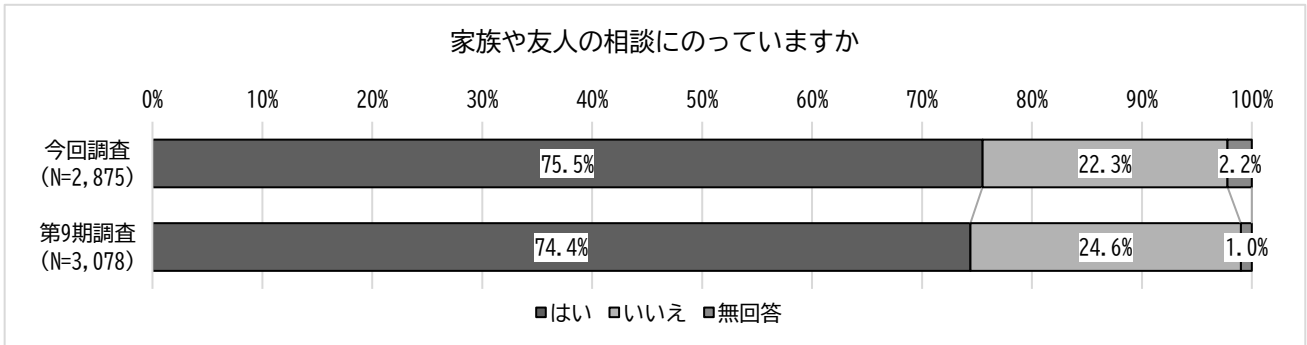
「はい」は「高向小学校区」が 54.8%と最も多く、次いで「天見小学校区」が 52.8%、「天野小学校区」が 51.9%、「石仏小学校区」が 49.0%、「小山田小学校区」が 48.0%となっています。

「いいえ」は「南花台小学校区」が 58.7%と最も多く、次いで「千代田小学校区」が 58.1%、「楠小学校区」が 57.5%、「美加の台小学校区」が 56.7%、「川上小学校区」が 56.5%となっています。



問 4-14 家族や友人の相談にのっていますか(○はひとつ)

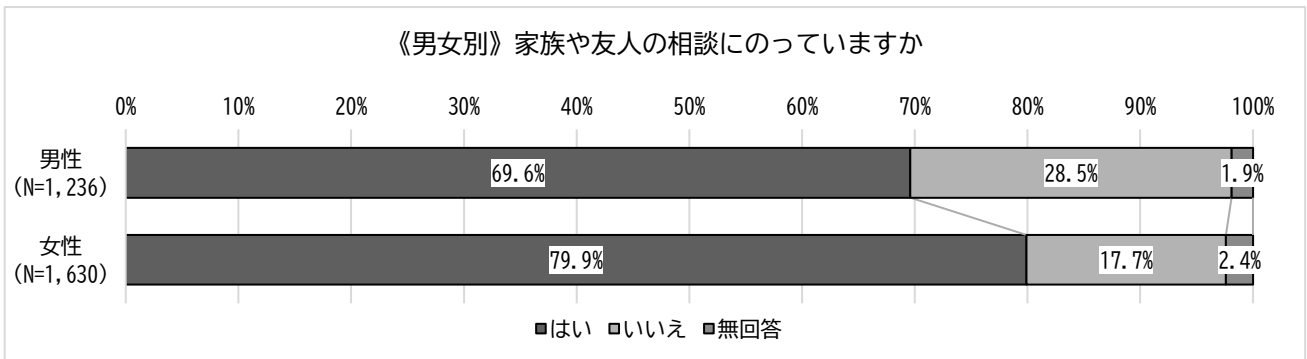
「はい」が75.5%、「いいえ」が22.3%となっており、第9期調査との有意な差はありません。



《男女別》

「男性」は「はい」が69.6%、「いいえ」が28.5%、「女性」は「はい」が79.9%、「いいえ」は17.7%となっています。

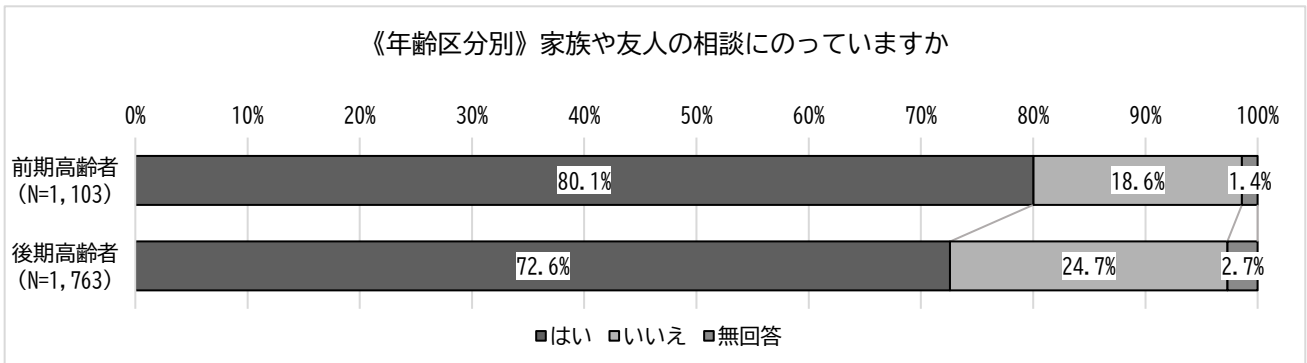
「いいえ」に着目すると、「男性」が28.5%に対し、「女性」は17.7%と、「男性」が「女性」を10.8ポイント上回っています。



《年齢区分別》

「前期高齢者」は「はい」が80.1%、「いいえ」が18.6%、「後期高齢者」は「はい」が72.6%、「いいえ」が24.7%となっています。

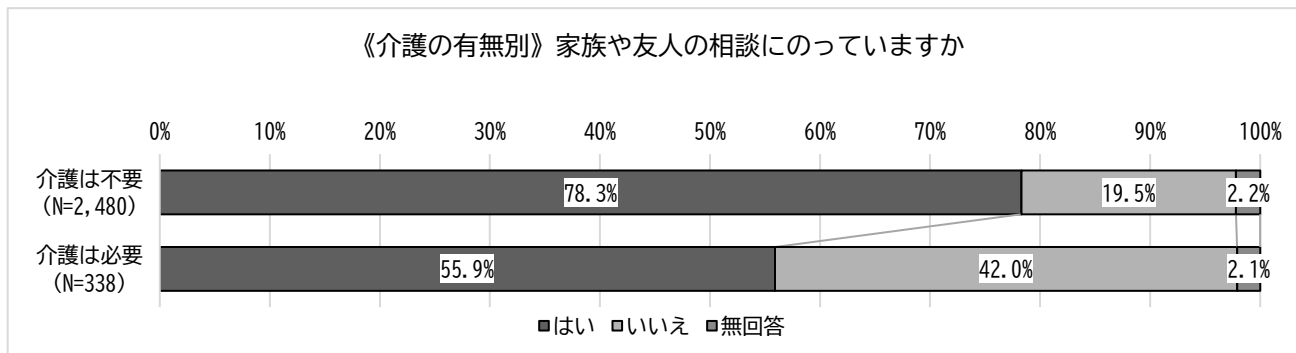
「いいえ」に着目すると、「後期高齢者」が24.7%に対し、「前期高齢者」は18.6%と、「後期高齢者」が「前期高齢者」を6.1ポイント上回っています。



《介護の有無別》

「介護は不要」は「はい」が 78.3%、「いいえ」が 19.5%、「介護は必要」は「はい」が 55.9%、「いいえ」が 42.0%となっています。

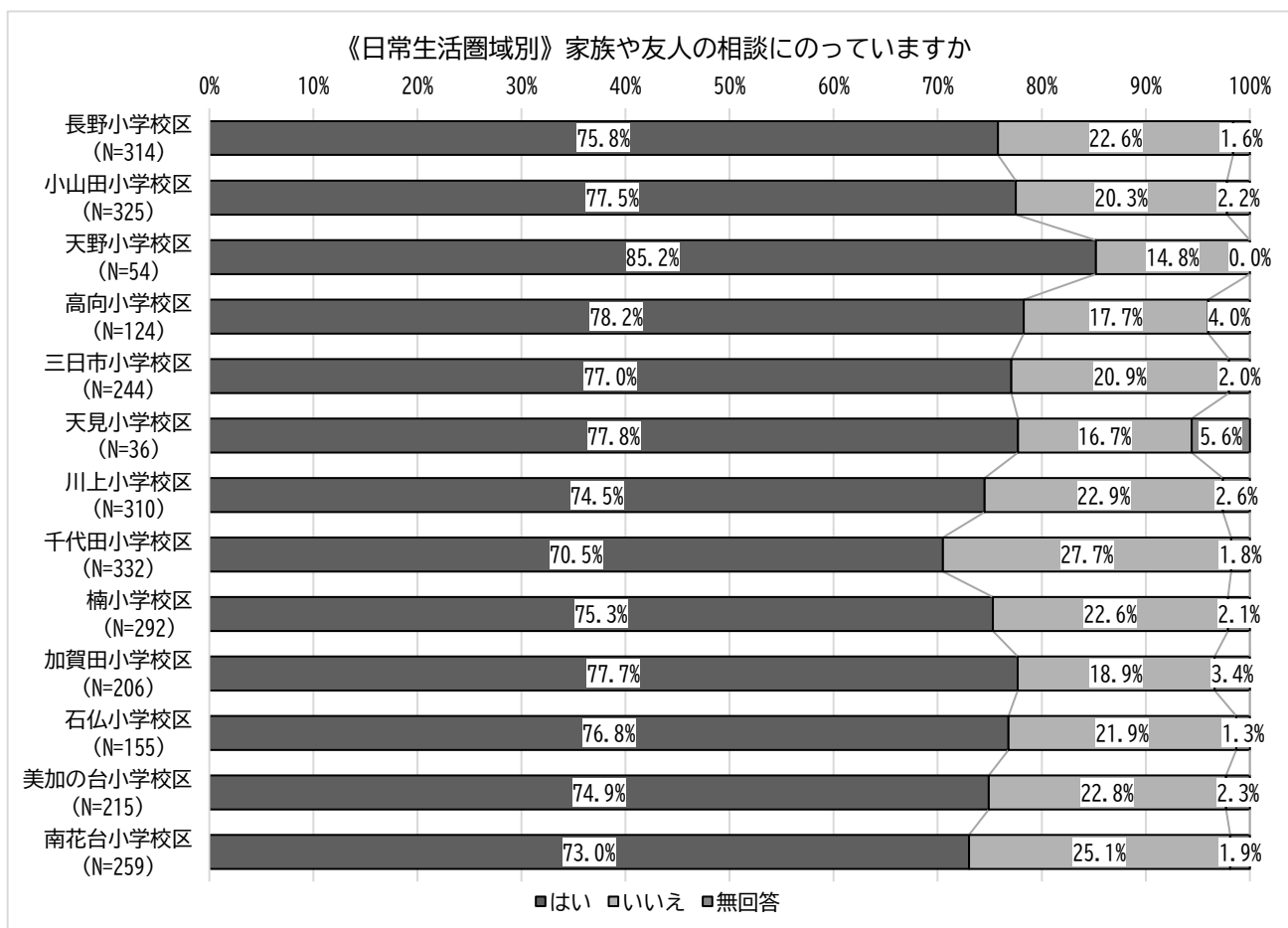
「いいえ」に着目すると、「介護は必要」が 42.0%に対し、「介護は不要」は 19.5%と、「介護は必要」が「介護は不要」を 22.5 ポイント上回っています。



《日常生活圏域別》

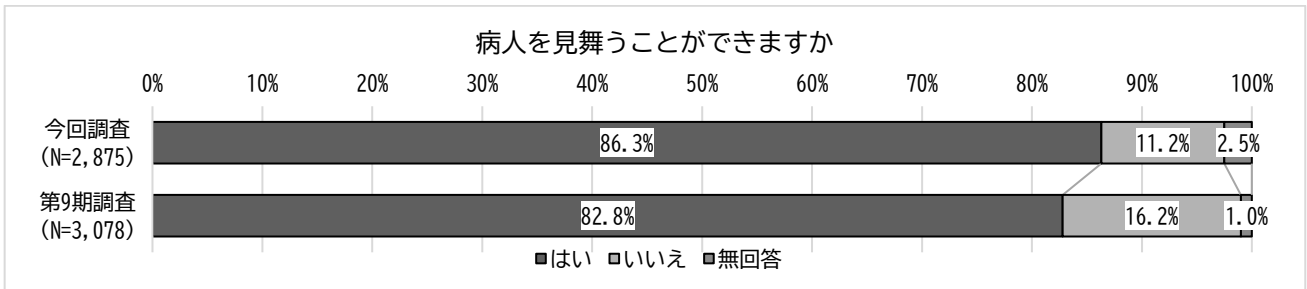
「はい」は「天野小学校区」が 85.2%と最も多く、次いで「高向小学校区」が 78.2%、「天見小学校区」が 77.8%、「加賀田小学校区」が 77.7%、「小山田小学校区」が 77.5%となっています。

「いいえ」は「千代田小学校区」が 27.7%と最も多く、次いで「南花台小学校区」が 25.1%、「川上小学校区」が 22.9%、「美加の台小学校区」が 22.8%、「長野小学校区」と「楠小学校区」が共に 22.6%となっています。



問 4-15 病人を見舞うことができますか

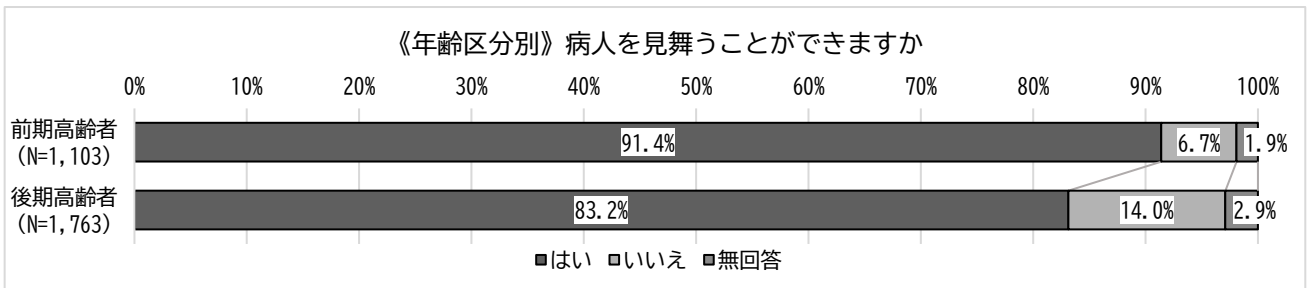
「はい」が 86.3%、「いいえ」が 11.2%となっており、第 9 期調査と比較すると、「はい」は 82.8%から 86.3%へと 3.5 ポイント増加し、「いいえ」は 16.2%から 11.2%へと 5.0 ポイント減少しています。



《年齢区分別》

「前期高齢者」は「はい」が 91.4%、「いいえ」が 6.7%、「後期高齢者」は「はい」が 83.2%、「いいえ」が 14.0%となっています。

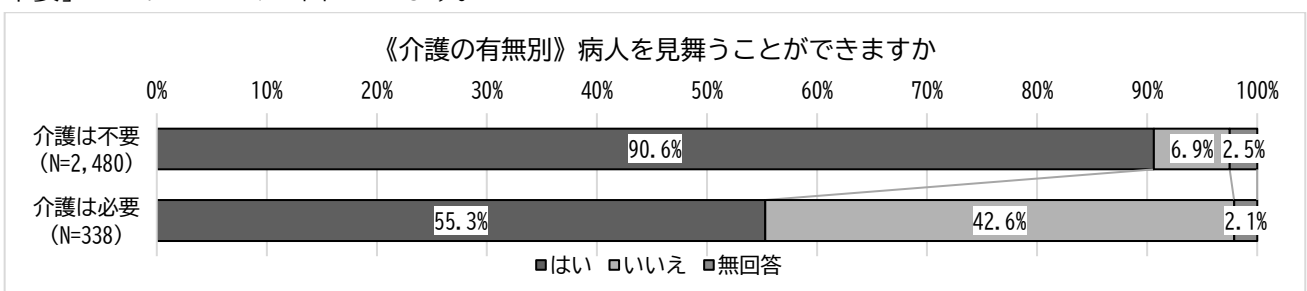
「いいえ」に着目すると、「いいえ」は「後期高齢者」が 14.0%に対し、「前期高齢者」は 6.7%と、「後期高齢者」が「前期高齢者」を 7.3 ポイント上回っています。



《介護の有無別》

「介護は不要」は「はい」が 90.6%、「いいえ」が 6.9%、「介護は必要」は「はい」が 55.3%、「いいえ」が 42.6%となっています。

「いいえ」に着目すると、「介護は必要」が 42.6%に対し、「介護は不要」は 6.9%と、「介護は必要」が「介護は不要」を 35.7 ポイント上回っています。



《日常生活圏域別》

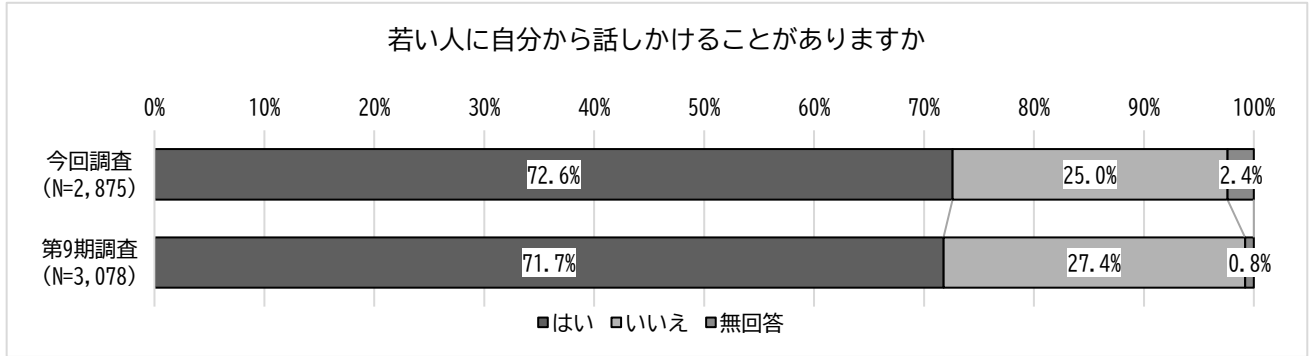
「はい」は「天野小学校区」が92.6%と最も多く、次いで「三日市小学校区」が89.8%、「美加の台小学校区」が89.3%、「加賀田小学校区」が88.8%、「石仏小学校区」が88.4%となっています。

「いいえ」は「小山田小学校区」が14.8%と最も多く、次いで「千代田小学校区」が13.3%、「川上小学校区」が12.3%、「長野小学校区」が11.8%、「天見小学校区」が11.1%となっています。



問 4-16 若い人に自分から話しかけることがありますか(○はひとつ)

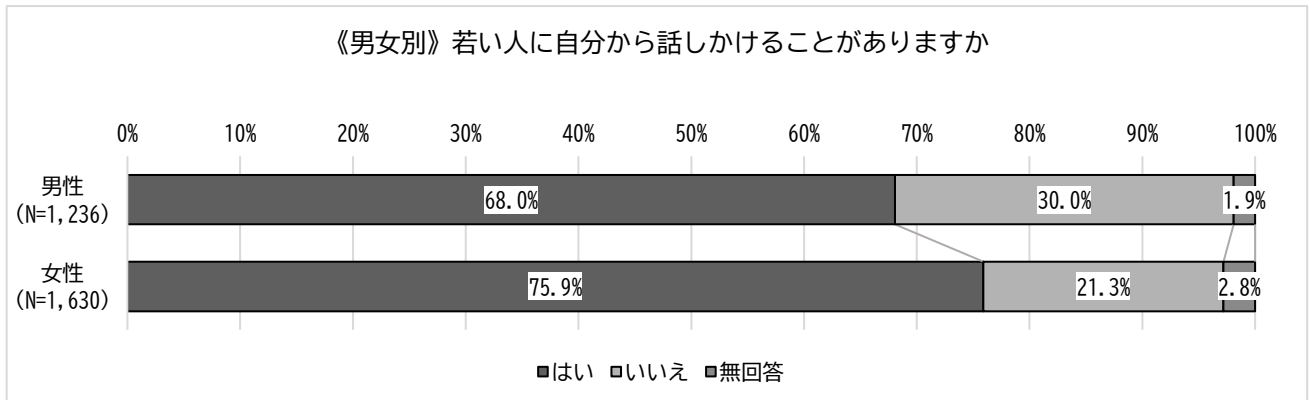
「はい」が72.6%、「いいえ」が25.0%となっており、第9期調査との有意な差はありません。



《男女別》

「男性」は「はい」が68.0%、「いいえ」が30.0%、「女性」は「はい」が75.9%、「いいえ」が21.3%となっています。

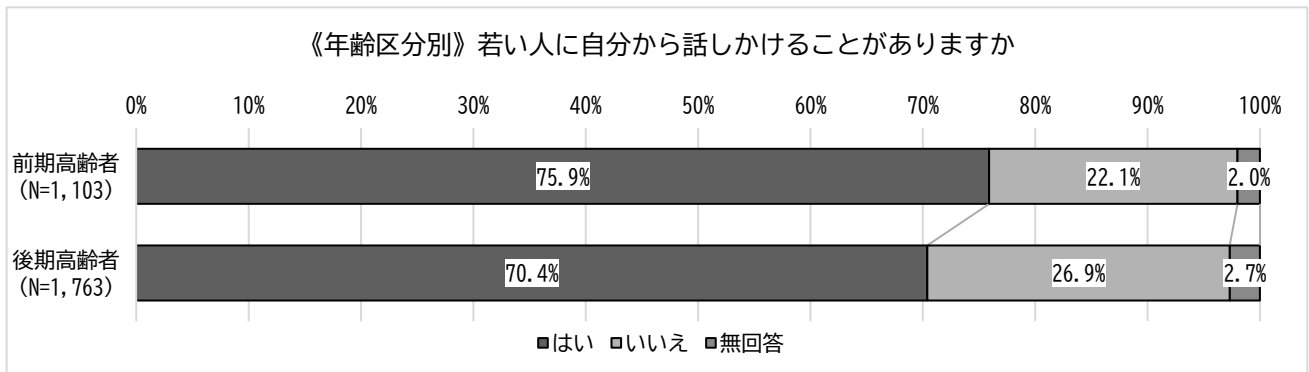
「いいえ」に着目すると、「男性」が30.0%に対し、「女性」は21.3%と、「男性」が「女性」を8.7ポイント上回っています。



《年齢区分別》

「前期高齢者」は「はい」が75.9%、「いいえ」が22.1%、「後期高齢者」は「はい」が70.4%、「いいえ」が26.9%となっています。

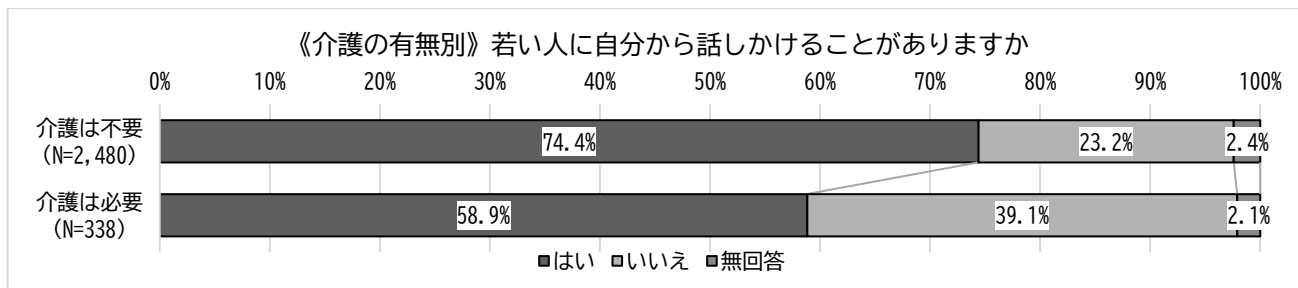
「いいえ」に着目すると、「後期高齢者」が26.9%に対し、「前期高齢者」は22.1%と、「後期高齢者」が「前期高齢者」を4.8ポイント上回っています。



《介護の有無別》

「介護は不要」は「はい」が 74.4%、「いいえ」が 23.2%、「介護は必要」は「はい」が 58.9%、「いいえ」が 39.1%となっています。

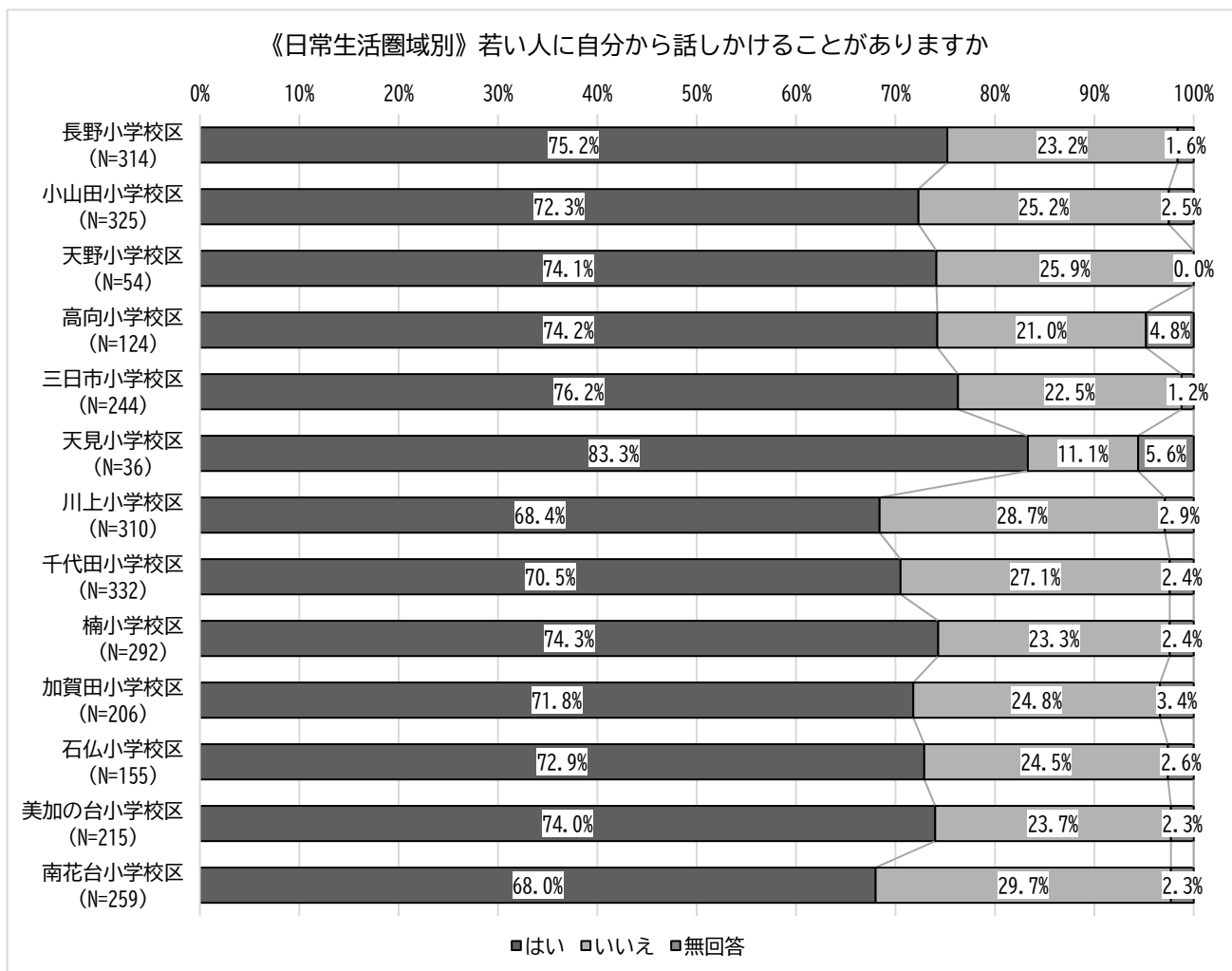
「いいえ」に着目すると、「介護は必要」が 39.1%に対し、「介護は不要」は 23.2%と、「介護は必要」が「介護は不要」を 15.9 ポイント上回っています。



《日常生活圏域別》

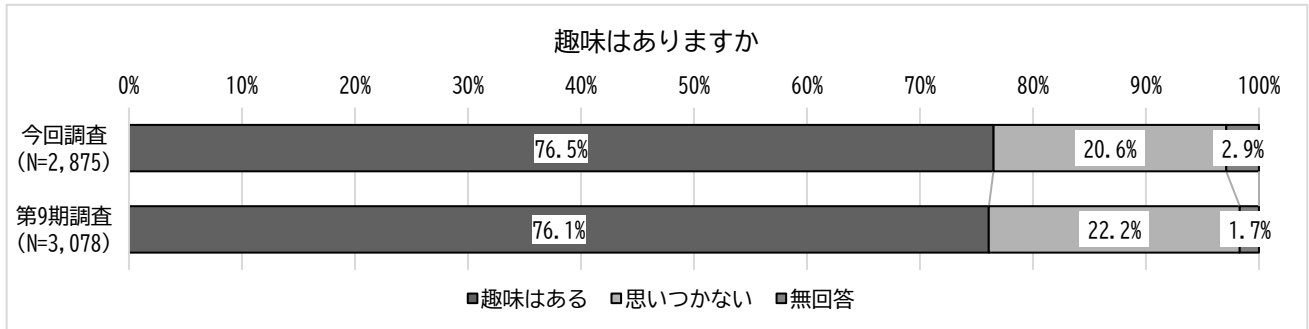
「はい」は「天見小学校区」が 83.3%と最も多く、次いで「三日市小学校区」が 76.2%、「長野小学校区」が 75.2%、「楠小学校区」と「美加の台小学校区」が共に 74.3%となっています。

「いいえ」は「南花台小学校区」が 29.7%と最も多く、次いで「川上小学校区」が 28.7%、「千代田小学校区」が 27.1%、「天野小学校区」が 25.9%、「小山田小学校区」が 25.2%となっています。



問 4-17 趣味はありますか(○はひとつ)

「趣味はある」が76.5%、「思いつかない」が20.6%となっており、第9期調査との有意な差はありません。



《自由記述》

趣味について、2,132 件の回答があり、身体を動かすスポーツや健康づくり、園芸や農作業、手芸や創作活動、読書や旅行などの教養・娯楽活動まで多岐にわたる回答が見られました。

① 運動・スポーツについて

- 「ウォーキング」「散歩」や「グランドゴルフ」「ゴルフ」を楽しむという回答が非常に多く見られました。
- 「テニス」「水泳(スイミング)」「ヨガ」「太極拳」「各種体操(カーブス、ラジオ体操など)」など、健康維持を意識した活動も多数挙げられました。
- 「登山」「ハイキング」や、「ダンス(社交ダンス、フラダンスなど)」といった活動的な趣味も散見されました。

② 園芸・自然との触れ合いについて

- 「家庭菜園」「畑仕事」「野菜作り」など、作物を育てることに楽しみを見出している記述が多数寄せられました。
- 「ガーデニング」「花の手入れ」「盆栽」「庭いじり」「花を植える」といった植物に親しむ趣味も根強い人気がありました。

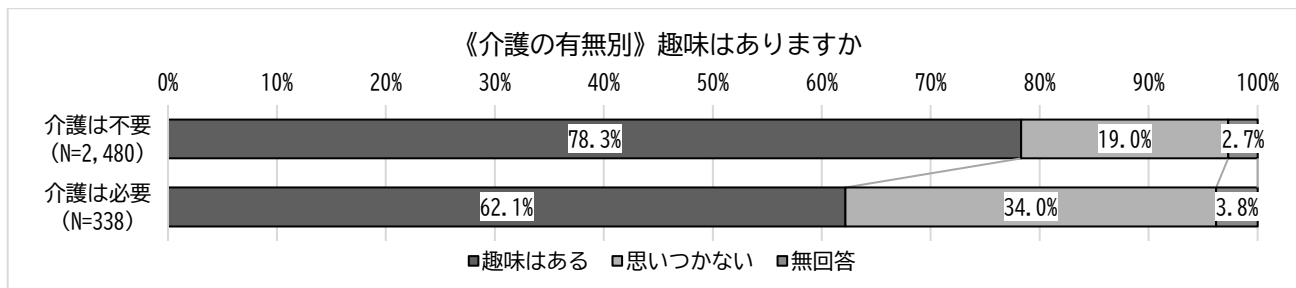
③ 文化・芸術・創作活動について

- 「手芸(編み物、パッチワーク、洋裁、着物リメイクなど)」や「書道」「絵画(絵手紙、水彩画、ぬり絵など)」といった創作活動が多く挙げられました。
- 「カラオケ」「コーラス」「楽器演奏(ピアノ、ギター、大正琴、ウクレレなど)」といった音楽活動を楽しむ声も多く見られました。
- 「写真撮影」「木工」「陶芸」「DIY」といった趣味も見られました。

《介護の有無別》

「介護は不要」は「趣味はある」が 78.3%、「思いつかない」が 19.0%、「介護は必要」は「趣味はある」が 62.1%、「思いつかない」が 34.0%となっています。

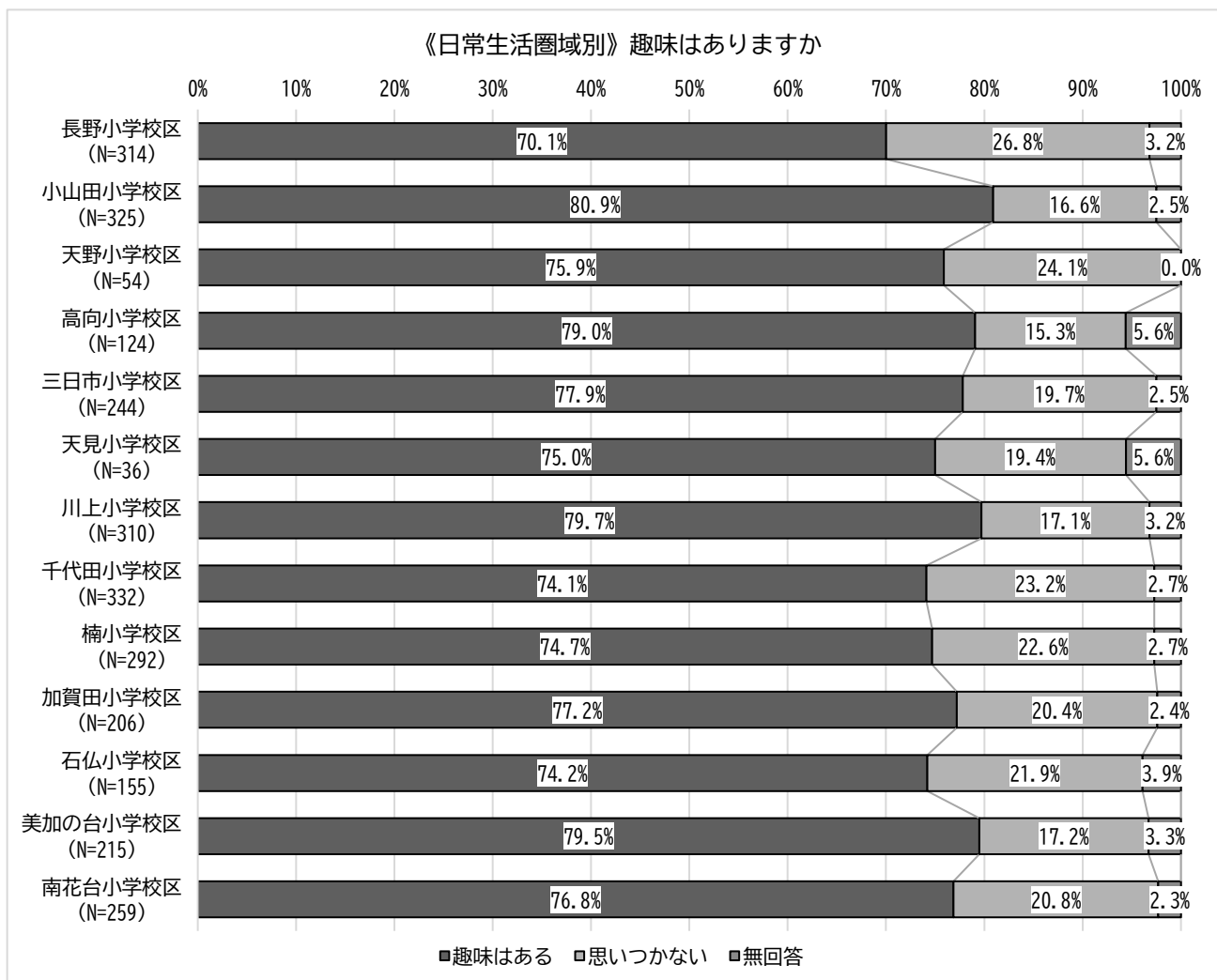
「思いつかない」は、「介護は必要」が 34.0%に対し、「介護は不要」は 19.0%と、「介護は必要」が「介護は不要」を 15.0 ポイント上回っています。



《日常生活圏域別》

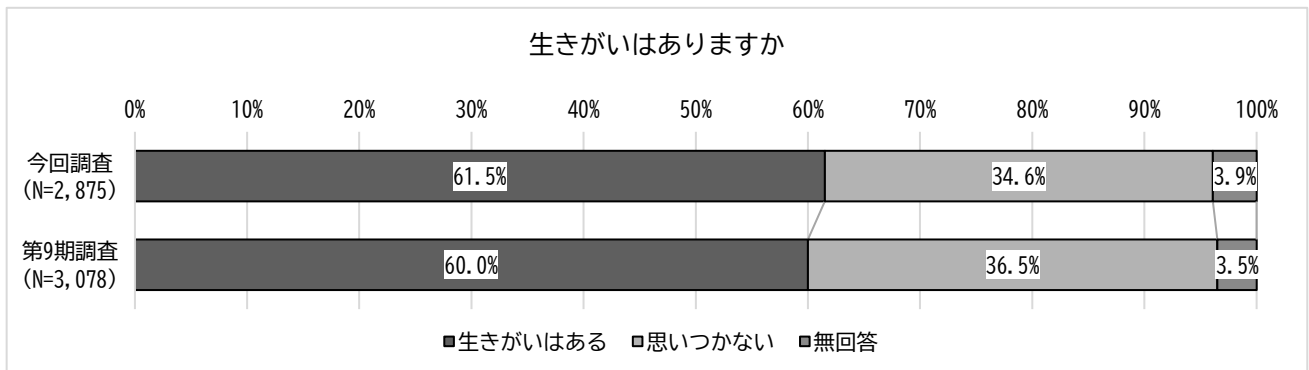
「趣味はある」は「小山田小学校区」が 80.9%と最も多く、次いで「川上小学校区」が 79.7%、「美加の台小学校区」が 79.5%、「高向小学校区」が 79.0%、「三日市小学校区」が 77.9%となっています。

「思いつかない」は「長野小学校区」が 26.8%と最も多く、次いで「天野小学校区」が 24.1%、「千代田小学校区」が 23.2%、「楠小学校区」が 22.6%、「石仏小学校区」が 21.9%となっています。



問 4-18 生きがいがありますか(○はひとつ)

「生きがいはある」が 61.5%、「思いつかない」が 34.6%となっており、第 9 期調査との有意な差はありません。



《自由記述》

生きがいについて、1,631 件の回答があり、孫や子どもの成長を見守ること、趣味や旅行を楽しむこと、健康維持や友人との交流など幅広く挙げられました。

① 家族・ペットについて

- 「孫の成長」「子どもの成長」「ひ孫に会うこと」を楽しみにしているという回答が圧倒的多数を占めました。
- 「家族団欒」「夫婦での旅行や生活」「家族の健康・幸せ」を願う声や、「ペット(犬・猫)の世話・触れ合い」を生きがいとする記述も多く見られました。

② 趣味・楽しみについて

- 「旅行(温泉含む)」「ゴルフ」「カラオケ」「登山・ハイキング」など、アクティブな活動を楽しむ声が多く寄せられました。
- 「家庭菜園・野菜作り」「ガーデニング・花の手入れ」「手芸・編み物」といった、日常での創造性や自然に触れる喜びを挙げる意見も多数ありました。
- 「推し活(コンサート、ライブ、スポーツ観戦など)」「美味しいものを食べること」「友人とのランチ・おしゃべり」も生きがいの大きな要素となっています。

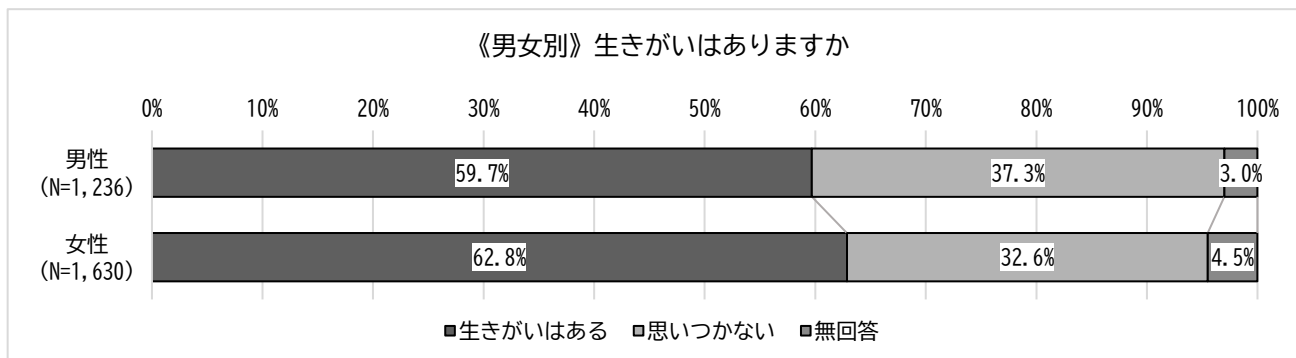
③ 健康・社会参加・その他について

- 「健康で長生きすること」「毎日元気に過ごせること」「美味しく食べられること」といった、健康維持そのものを生きがいとする意見が見られました。
- 「仕事を続けること」「ボランティア活動」「社会貢献」など、社会との関わりを重視する声もありました。
- 「信仰」「学び(歴史、語学など)」といった精神的な充実を挙げる回答もありました。

《男女別》

「男性」は「生きがいはある」が59.7%、「思いつかない」が37.3%、「女性」は「生きがいはある」が62.8%、「思いつかない」が32.6%となっています。

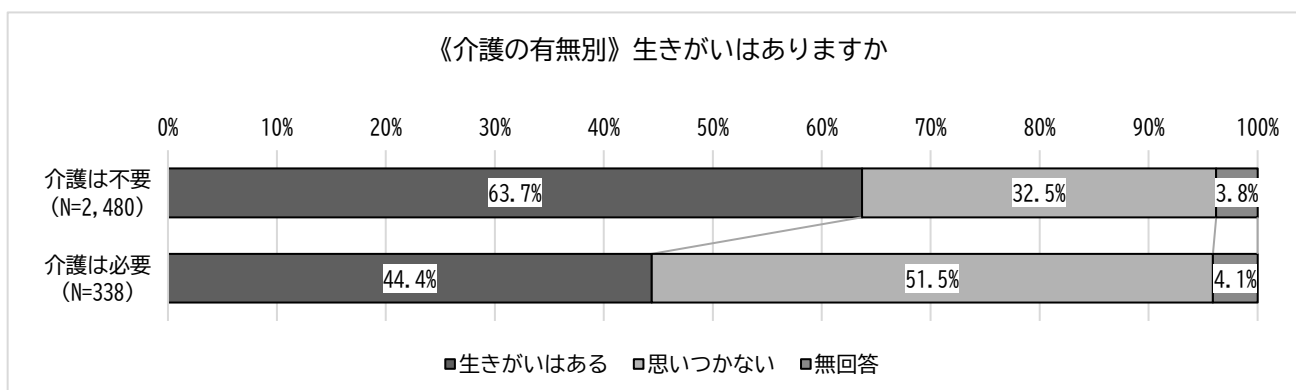
「思いつかない」は「男性」が37.3%に対し、「女性」は32.6%と、「男性」が「女性」を4.7ポイント上回っています。



《介護の有無別》

「介護は不要」は「生きがいはある」が63.7%、「思いつかない」が32.5%、「介護は必要」は「生きがいはある」が44.4%、「思いつかない」が51.5%となっています。

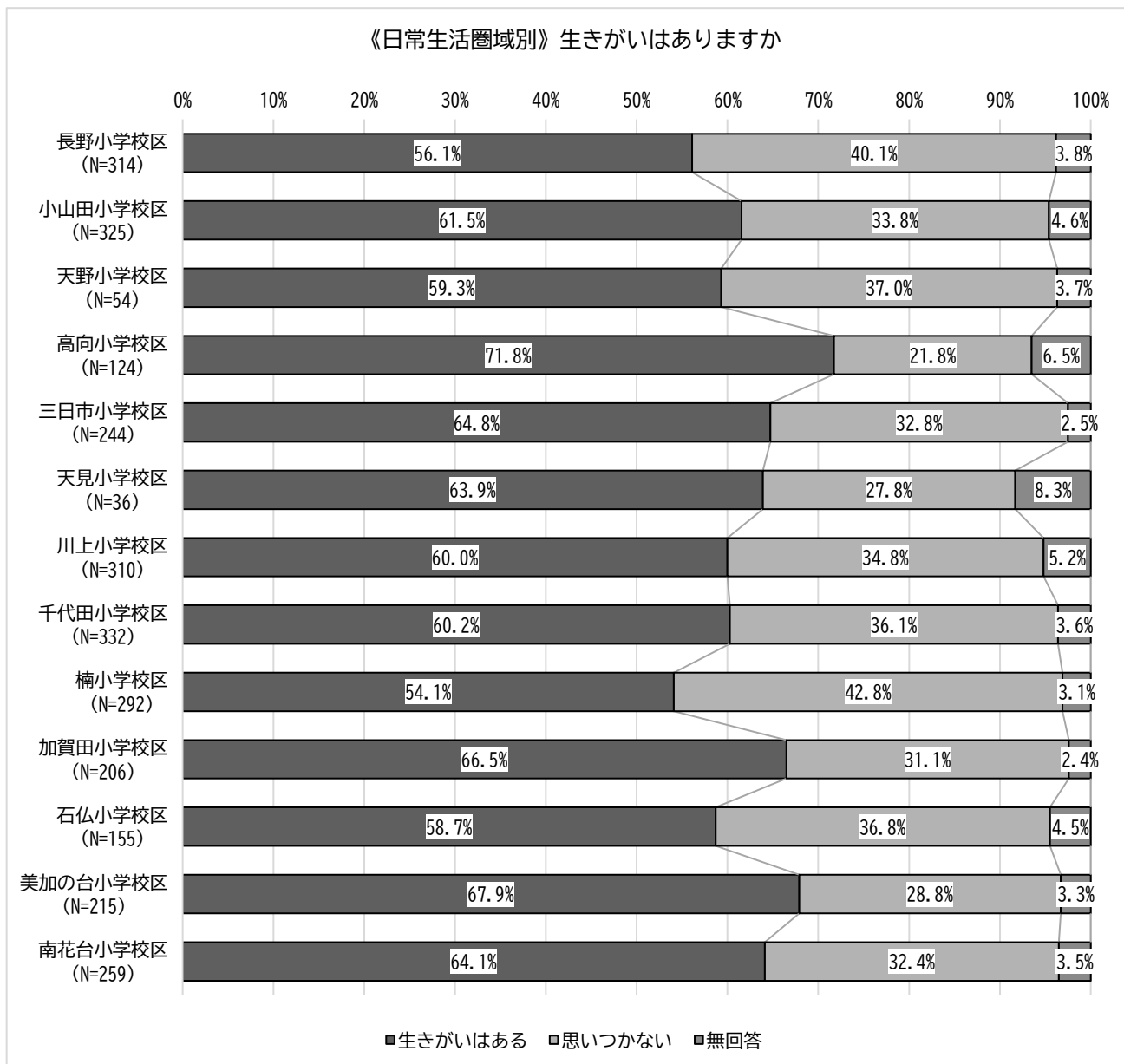
「思いつかない」は「介護は必要」が51.5%に対し、「介護は不要」は32.5%と、「介護は必要」が「介護は不要」を19.0ポイント上回っています。



《日常生活圏域別》

「生きがいはある」は「高向小学校区」が 71.8%と最も多く、次いで、「美加の台小学校区」が 67.9%、「加賀田小学校区」が 66.5%、「三日市小学校区」が 64.8%、「南花台小学校区」が 64.1%となっています。

「思いつかない」は「楠小学校区」が 42.8%と最も多く、次いで、「長野小学校区」が 40.1%、「天野小学校区」が 37.0%、「石仏小学校区」が 36.8%、「千代田小学校区」が 36.1%となっています。

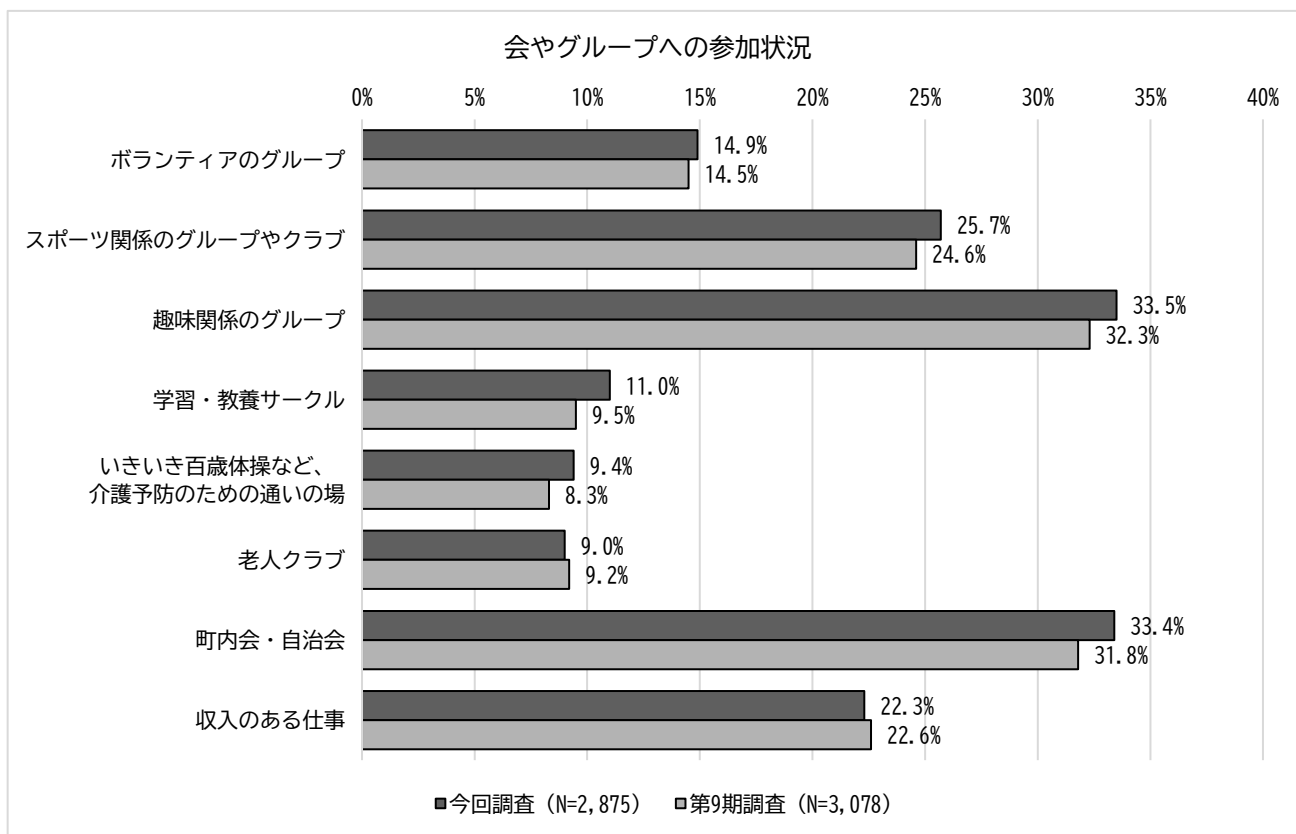


問 5 地域での活動について

問 5-1 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか
 (①～⑧それぞれに○はひとつ)

① 会やグループへの参加状況

「趣味関係のグループ」が 33.5%と最も多く、次いで「町内会・自治会」が 33.4%、「スポーツ関係のグループやクラブ」が 25.7%、「収入のある仕事」が 22.3%となっており、第 9 期調査との有意な差はありません。

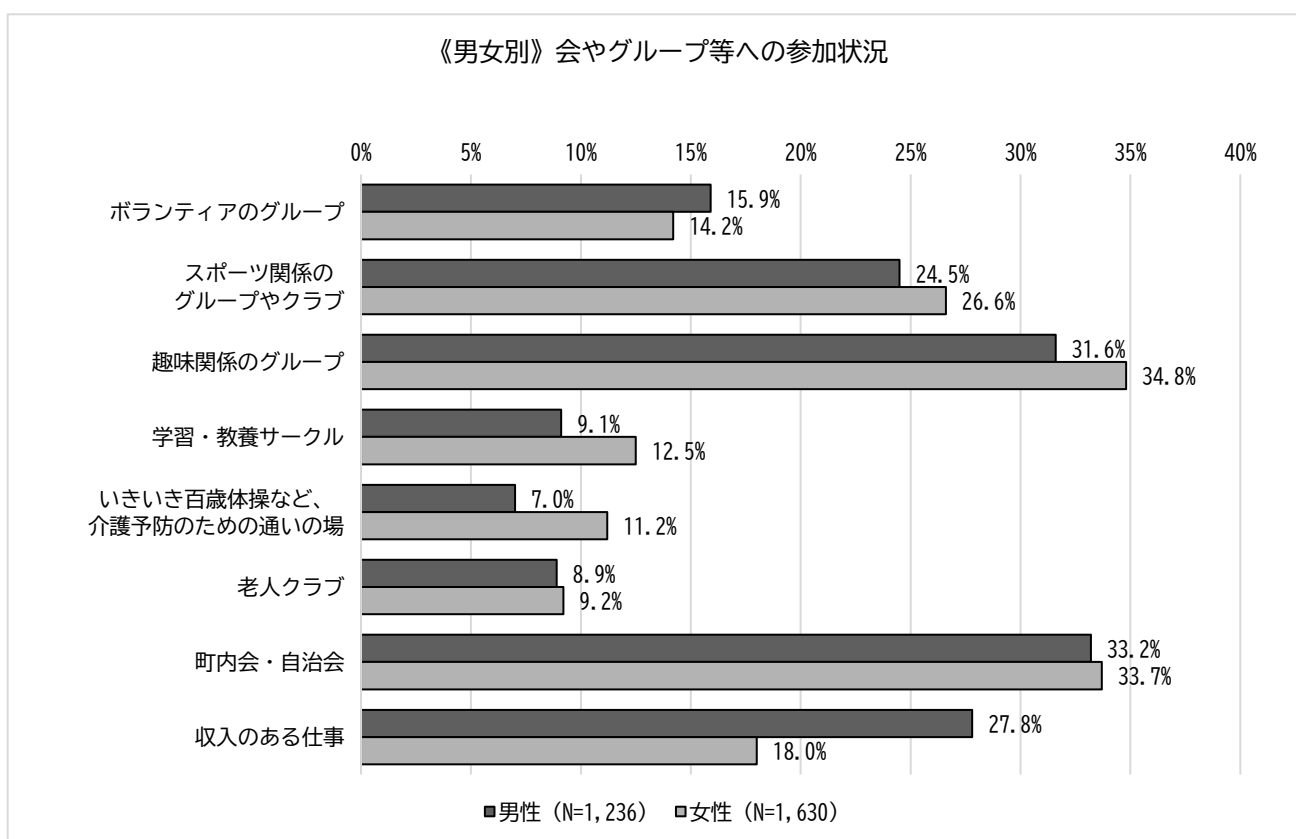


《男女別》

「男性」は「町内会・自治会」が33.2%と最も多く、次いで「趣味関係のグループ」が31.6%、「収入のある仕事」が27.8%、「スポーツ関係のグループやクラブ」が24.5%、「女性」は「趣味関係のグループ」が34.8%と最も多く、次いで「町内会・自治会」が33.7%、「スポーツ関係のグループやクラブ」が26.6%、「収入のある仕事」が18.0%となっています。

「収入のある仕事」は「男性」が27.8%に対し、「女性」は18.0%と、「男性」が「女性」を9.8ポイント上回っています。

反対に、「いきいき百歳体操など、介護予防のための通いの場」は「女性」が11.2%に対し、「男性」は7.0%と、「女性」が「男性」を4.2ポイント上回り、「学習・教養サークル」は「女性」が12.5%に対し、「男性」は9.1%と、「女性」が「男性」を3.4ポイント上回り、「趣味関係のグループ」は「女性」が34.8%に対し、「男性」は31.6%と、「女性」が「男性」を3.2ポイント上回っています。

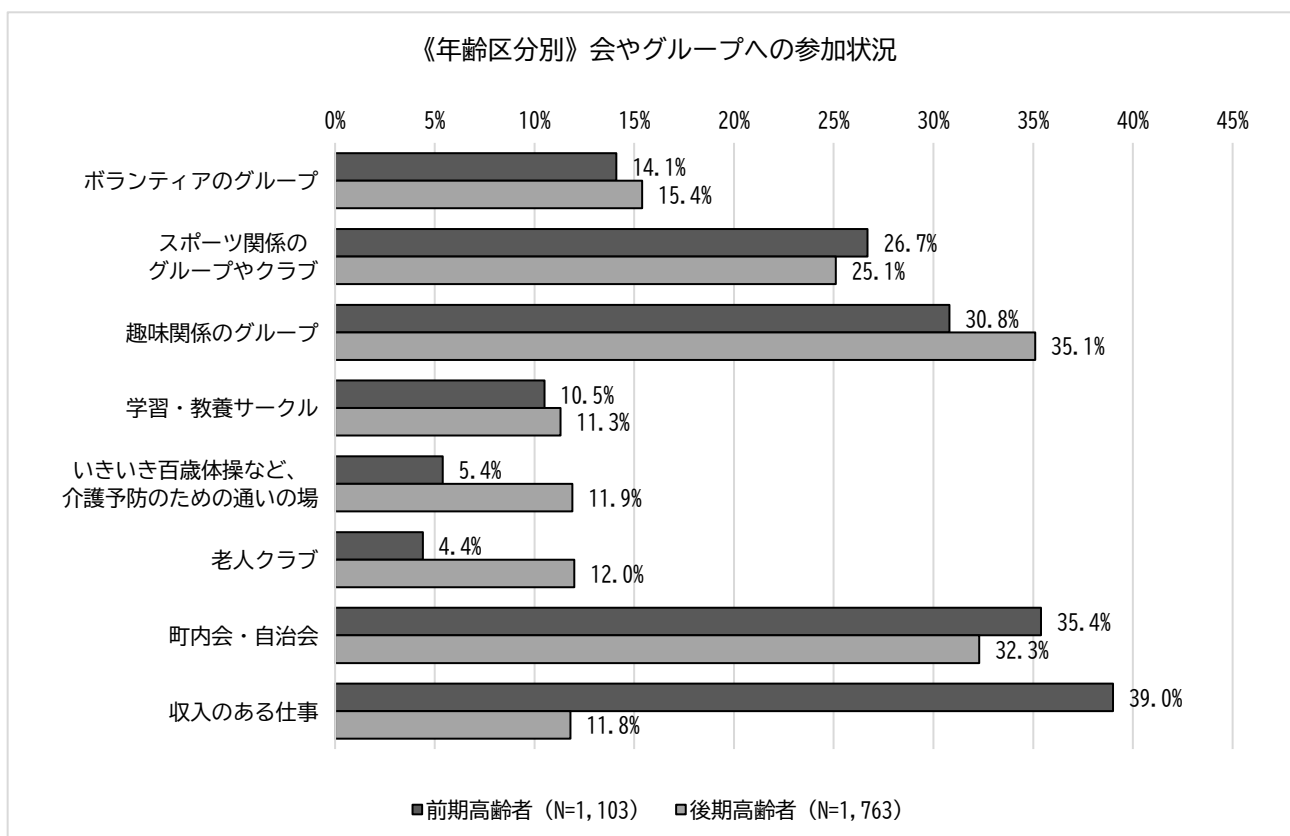


《年齢区分別》

「前期高齢者」は「収入のある仕事」が39.0%と最も多く、次いで「町内会・自治会」が35.4%、「趣味関係のグループ」が30.8%、「スポーツ関係のグループやクラブ」が26.7%、「後期高齢者」は「趣味関係のグループ」が35.1%と最も多く、次いで「町内会・自治会」が32.3%、「スポーツ関係のグループやクラブ」が25.1%、「ボランティアのグループ」が15.4%となっています。

「収入のある仕事」は「前期高齢者」が39.0%に対し、「後期高齢者」は11.8%と、「前期高齢者」が「後期高齢者」を27.2ポイント上回っています。

反対に、「老人クラブ」は「後期高齢者」が12.0%に対し、「前期高齢者」は4.4%と、「後期高齢者」が「前期高齢者」を7.6ポイント上回り、「いきいき百歳体操など、介護予防のための通いの場」は「後期高齢者」が11.9%に対し、「前期高齢者」は5.4%と、「後期高齢者」が「前期高齢者」を6.5ポイント上回り、「趣味関係のグループ」は「後期高齢者」が35.1%に対し、「前期高齢者」は30.8%と、「後期高齢者」が「前期高齢者」を4.3ポイント上回っています。



《介護の有無別》

「介護は不要」は「町内会・自治会」が35.2%と最も多く、次いで「趣味関係のグループ」が35.1%、「スポーツ関係のグループやクラブ」が27.9%、「収入のある仕事」が24.7%、「介護は必要」は「趣味関係のグループ」が22.2%と最も多く、次いで「いきいき百歳体操など、介護予防のための通いの場」が21.3%、「町内会・自治会」が19.8%、「スポーツ関係のグループやクラブ」が11.2%となっています。

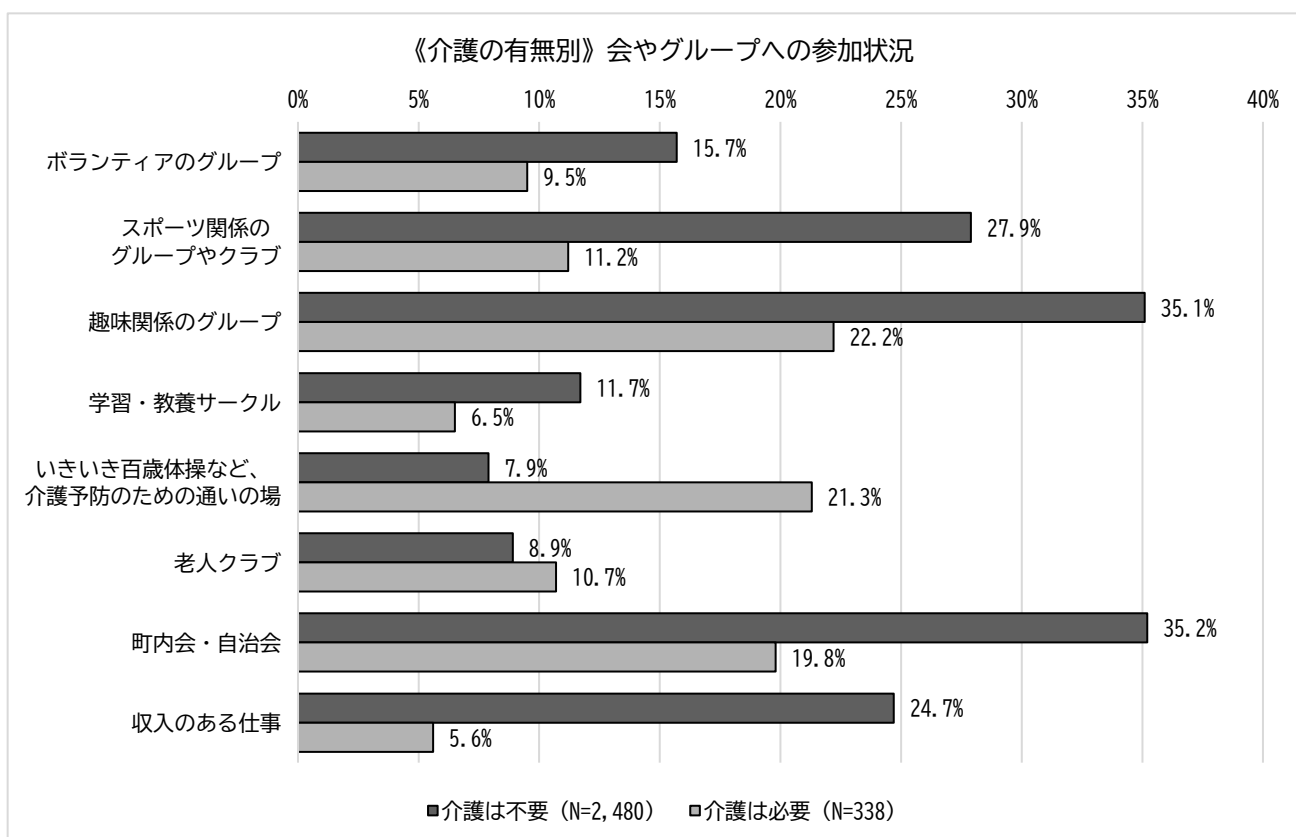
「収入のある仕事」は「介護は不要」が24.7%に対し、「介護は必要」は5.6%と、「介護は不要」が「介護は必要」を19.1ポイント上回っています。

「スポーツ関係のグループやクラブ」は「介護は不要」が27.9%に対し、「介護は必要」は11.2%と、「介護は不要」が「介護は必要」を16.7ポイント上回っています。

「町内会・自治会」は「介護は不要」が35.2%に対し、「介護は必要」は19.8%と、「介護は不要」が「介護は必要」を15.4ポイント上回っています。

「趣味関係のグループ」は「介護は不要」が35.1%に対し、「介護は必要」は22.2%と、「介護は不要」が「介護は必要」を12.9ポイント上回っています。

反対に、「いきいき百歳体操など、介護予防のための通いの場」は「介護は必要」が21.3%に対し、「介護は不要」は7.9%と、「介護は必要」が「介護は不要」を13.4ポイント上回っています。



《日常生活圏域別》

参加しているという回答が多かった「趣味関係のグループ」「町内会・自治会」「スポーツ関係のグループやクラブ」「収入のある仕事」に着目して圏域による比較を行います。

「趣味関係のグループ」は「天野小学校区」が 44.4%と最も多く、次いで「天見小学校区」が 41.7%、「南花台小学校区」が 39.0%、「三日市小学校区」が 34.8%、「小山田小学校区」が 34.5%となっています。

「町内会・自治会」は「天見小学校区」が 55.6%と最も多く、次いで「高向小学校区」が 50.0%、「美加の台小学校区」が 39.1%、「石仏小学校区」が 37.4%、「天野小学校区」が 37.0%となっています。

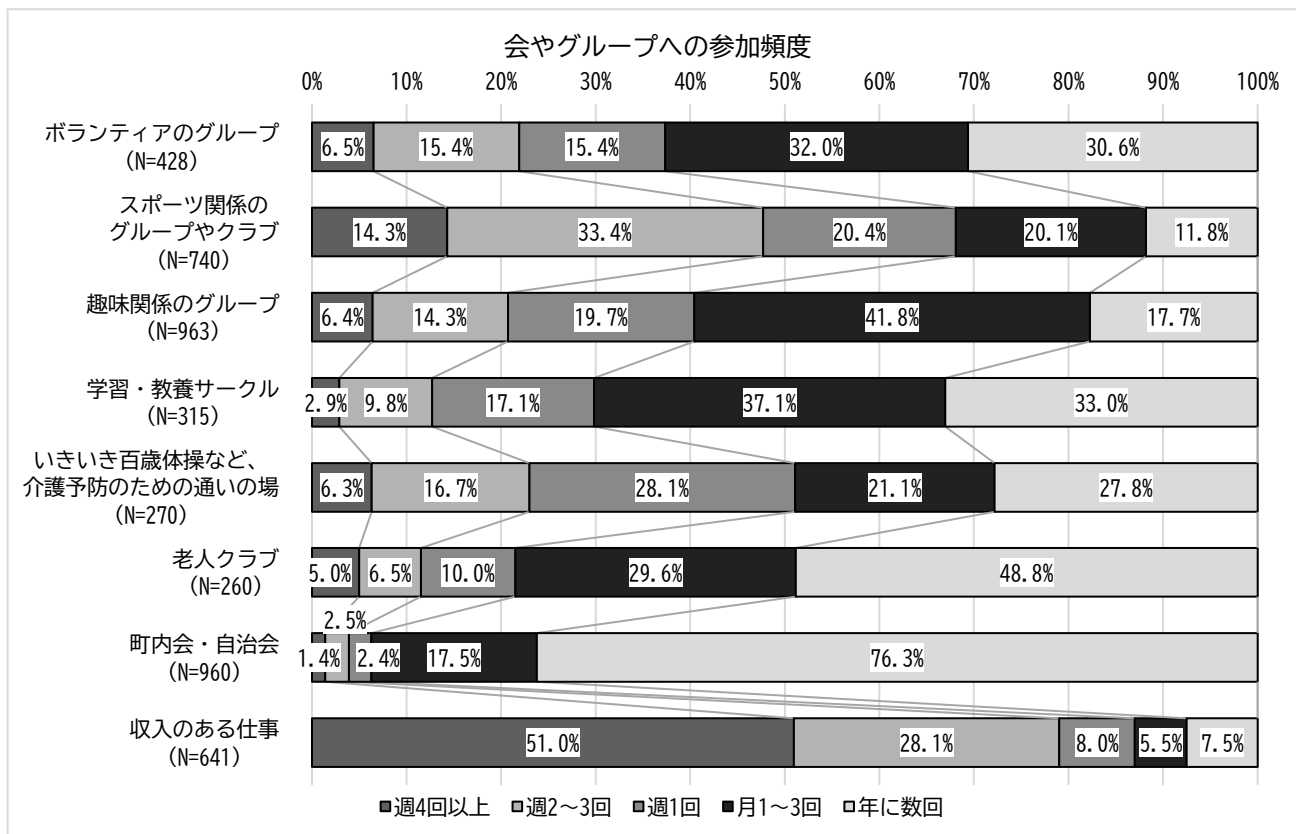
「スポーツ関係のグループやクラブ」は「川上小学校区」が 31.6%と最も多く、次いで「南花台小学校区」が 29.7%、「小山田小学校区」が 27.1%、「三日市小学校区」が 26.6%、「加賀田小学校区」が 25.7%となっています。

「収入のある仕事」は「天野小学校区」が 33.3%と最も多く、次いで「美加の台小学校区」が 29.3%、「楠小学校区」が 27.1%、「高向小学校区」が 26.6%、「三日市小学校区」が 25.0%となっています。

圏域	回答数	ボランティアのグループ	スポーツ関係のグループやクラブ	趣味関係のグループ	学習・教養サークル	いきいき百歳体操など、介護予防のための通いの場	老人クラブ	町内会・自治会	収入のある仕事
長野	314	13.4%	22.3%	31.2%	9.2%	9.9%	6.1%	30.3%	20.1%
小山田	325	14.8%	27.1%	34.5%	11.1%	11.4%	11.1%	33.8%	14.8%
天野	54	7.4%	18.5%	44.4%	5.6%	1.9%	5.6%	37.0%	33.3%
高向	124	22.6%	21.0%	29.0%	10.5%	12.1%	19.4%	50.0%	26.6%
三日市	244	17.2%	26.6%	34.8%	10.2%	9.4%	13.9%	35.2%	25.0%
天見	36	30.6%	5.6%	41.7%	13.9%	11.1%	30.6%	55.6%	13.9%
川上	310	16.5%	31.6%	31.6%	15.2%	10.3%	7.1%	33.2%	19.4%
千代田	332	13.0%	25.3%	33.7%	8.1%	13.9%	9.3%	25.9%	21.7%
楠	292	11.0%	24.3%	30.5%	8.2%	5.8%	2.4%	30.8%	27.1%
加賀田	206	11.2%	25.7%	34.5%	15.0%	6.3%	9.2%	35.0%	24.3%
石仏	155	18.1%	24.5%	32.9%	11.6%	10.3%	14.2%	37.4%	17.4%
美加の台	215	13.5%	25.6%	31.2%	12.1%	7.4%	5.1%	39.1%	29.3%
南花台	259	18.1%	29.7%	39.0%	12.0%	7.3%	8.1%	28.2%	22.8%

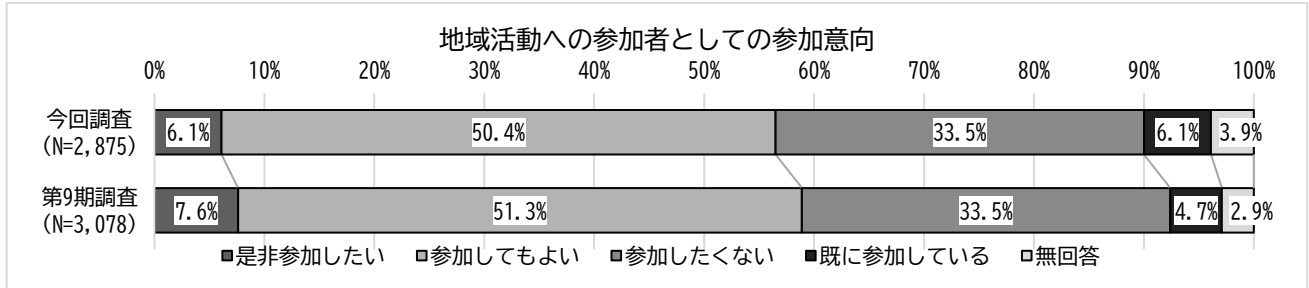
② 会やグループへの参加頻度

最も多い参加頻度を見ると、「ボランティアのグループ」は「月1～3回」が32.0%、「スポーツ関係のグループやクラブ」は「週2～3回」が33.4%、「趣味関係のグループ」は「月1～3回」が41.8%、「学習・教養サークル」は「月1～3回」が37.1%、「いきいき百歳体操など、介護予防のための通いの場」は「週1回」が28.1%、「老人クラブ」は「年に数回」が48.8%、「町内会・自治会」は「年に数回」が76.3%、「収入のある仕事」は「週4回以上」が51.0%となっています。



問 5-2 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか
(〇はひとつ)

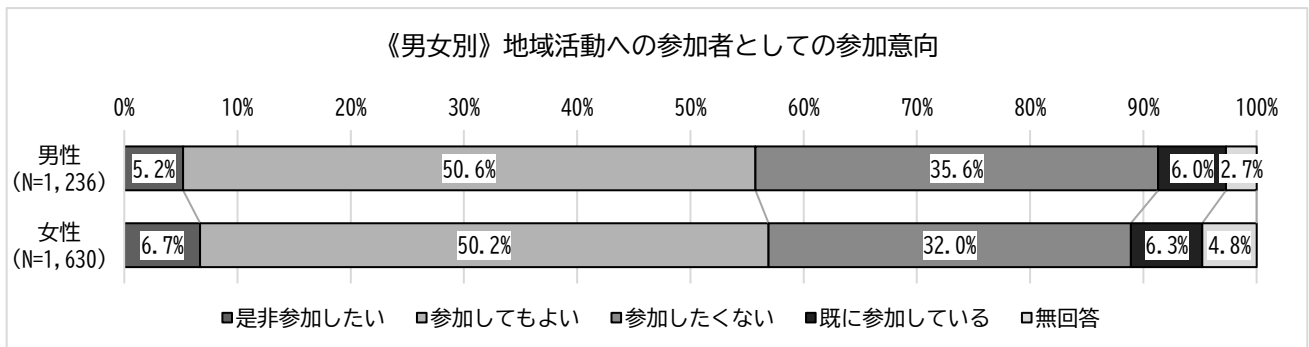
「参加してもよい」が 50.4%と最も多く、次いで「参加したくない」が 33.5%、「是非参加したい」「参加してもよい」「既に参加している」を合わせた「参加したい」は 62.6%となっており、第 9 期調査との有意な差はありません。



《男女別》

「男性」は「参加してもよい」が 50.6%と最も多く、次いで「参加したくない」が 35.6%、「女性」は「参加してもよい」が 50.2%と最も多く、次いで「参加したくない」が 32.0%となっています。

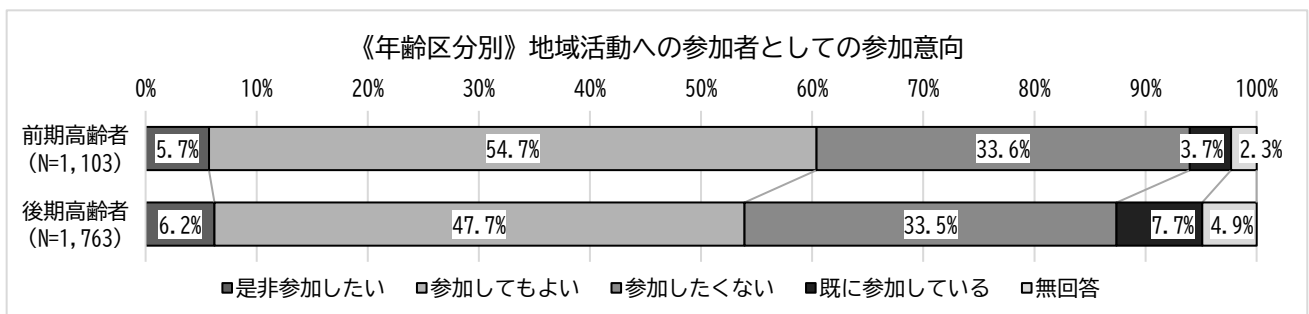
「参加したくない」は「男性」が 35.6%に対し、「女性」は 32.0%と、「男性」が「女性」を 3.6 ポイント上回っています。



《年齢区分別》

「前期高齢者」は「参加してもよい」が 54.7%と最も多く、次いで「参加したくない」が 33.6%、「後期高齢者」は「参加してもよい」が 47.7%と最も多く、次いで「参加したくない」が 33.5%となっています。

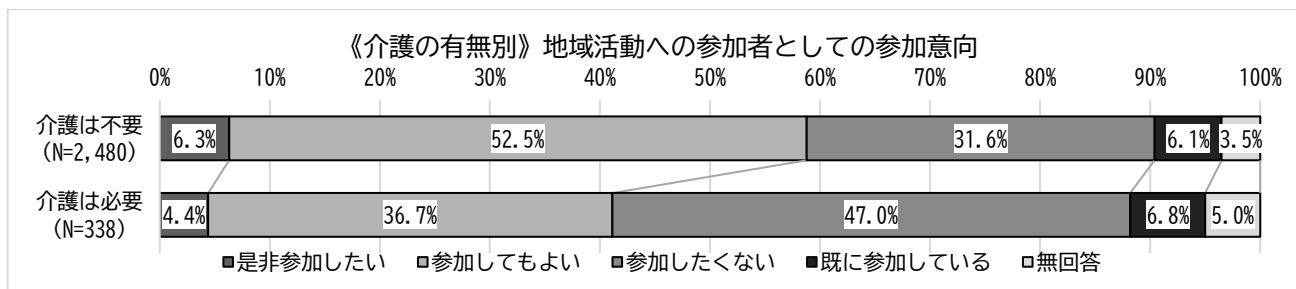
「参加してもよい」に着目すると、「前期高齢者」が 54.7%に対し、「後期高齢者」は 47.7%と、「前期高齢者」が「後期高齢者」を 7.0 ポイント上回っています。



《介護の有無別》

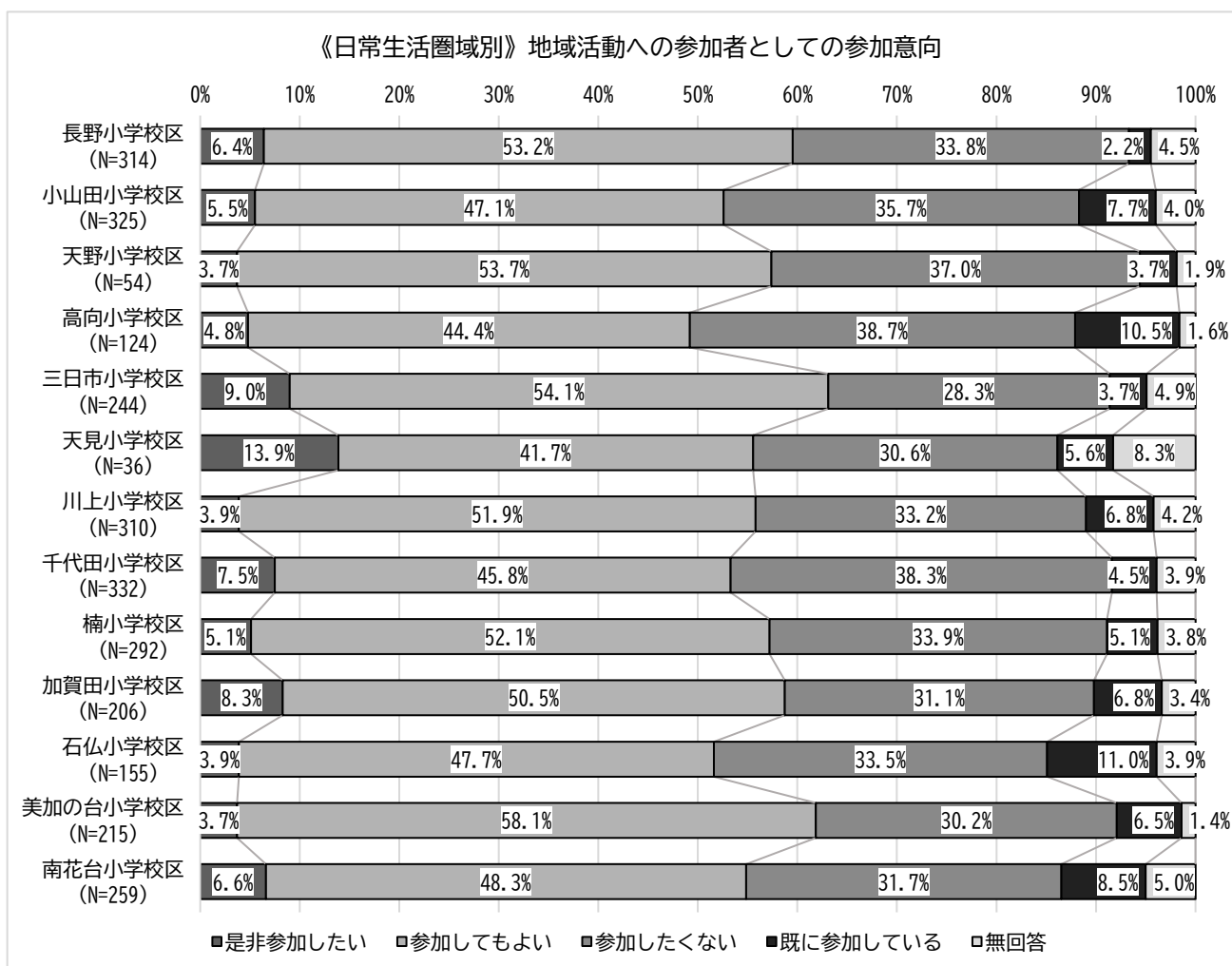
「介護は不要」は「参加してもよい」が 52.5%と最も多く、次いで「参加したくない」が 31.6%、「介護は必要」は「参加したくない」が 47.0%と最も多く、次いで「参加してもよい」が 36.7%となっています。

「是非参加したい」「参加してもよい」「既に参加している」を合わせた「参加したい」に着目すると、「介護は不要」が 64.9%に対し、「介護は必要」は 47.9%と、「介護は不要」が「介護は必要」を 17.0 ポイント上回っています。



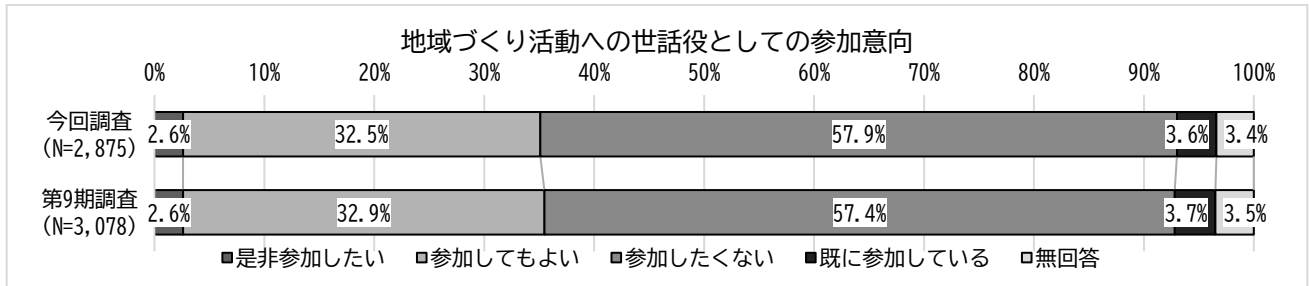
《日常生活圏域別》

「是非参加したい」「参加してもよい」「既に参加している」を合わせた「参加したい」に着目して圏域の比較を行うと、「美加の台小学校区」が 68.3%と最も多く、次いで「三日市小学校区」が 66.8%、「加賀田小学校区」が 65.6%、「南花台小学校区」が 63.4%、「川上小学校区」と「石仏小学校区」が共に 62.6%となっています。



問 5-3 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか(○はひとつ)

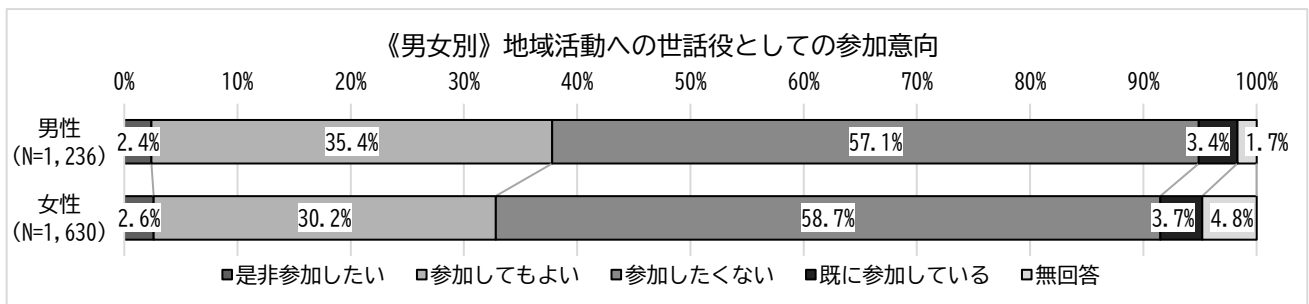
「参加したくない」が57.9%と最も多く、次いで「参加してもよい」が32.5%となっており、第9期調査との有意な差はありません。



《男女別》

「男性」は「参加したくない」が57.1%と最も多く、次いで「参加してもよい」が35.4%、「女性」は「参加したくない」が58.7%と最も多く、次いで「参加してもよい」が30.2%となっています。

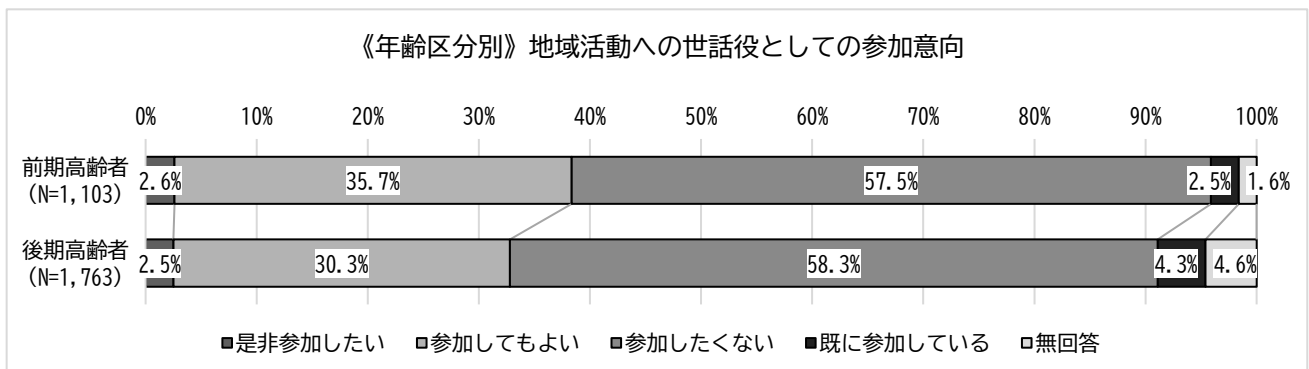
「是非参加したい」「参加してもよい」「既に参加している」を合わせた「参加したい」に着目すると、「男性」が41.2%に対し、「女性」は36.5%と、「男性」が「女性」を4.7ポイント上回っています。



《年齢区分別》

「前期高齢者」は「参加したくない」が57.5%と最も多く、次いで「参加してもよい」が35.7%、「後期高齢者」は「参加したくない」が58.3%と最も多く、次いで「参加してもよい」が30.3%となっています。

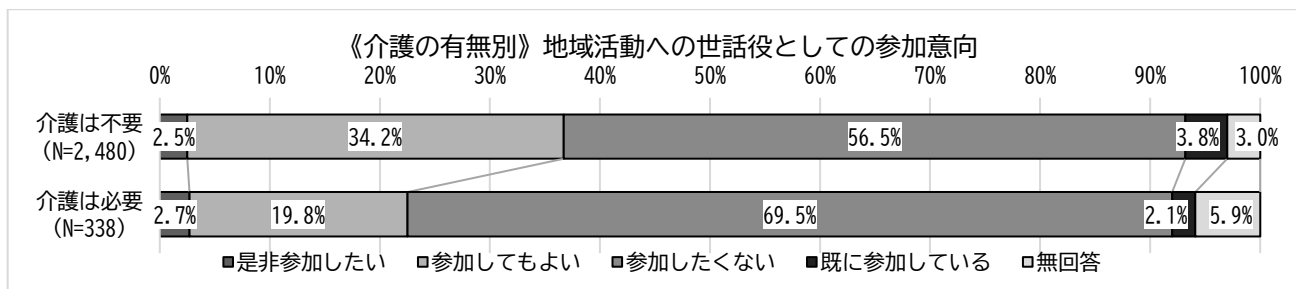
「是非参加したい」「参加してもよい」「既に参加している」を合わせた「参加したい」に着目すると、「前期高齢者」が40.8%に対し、「後期高齢者」は37.1%と、「前期高齢者」が「後期高齢者」を3.7ポイント上回っています。



《介護の有無別》

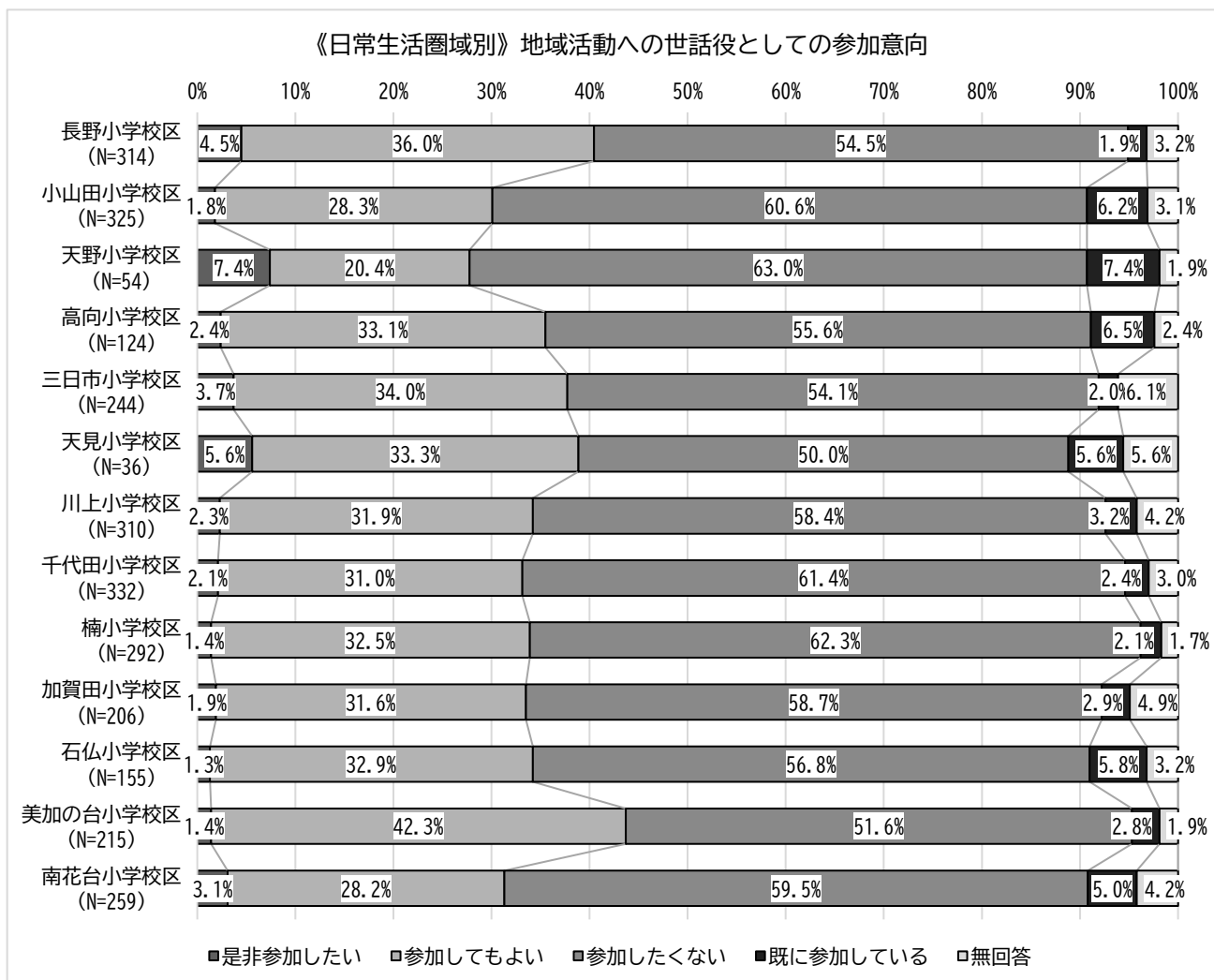
「介護は不要」は「参加したくない」が 56.5%と最も多く、次いで「参加してもよい」が 34.2%、「介護は必要」は「参加したくない」が 69.5%と最も多く、次いで「参加してもよい」が 19.8%となっています。

「是非参加したい」「参加してもよい」「既に参加している」を合わせた「参加したい」に着目すると、「介護は不要」が 40.5%に対し、「介護は必要」は 24.6%と、「介護は不要」が「介護は必要」を 15.9 ポイント上回っています。



《日常生活圏域別》

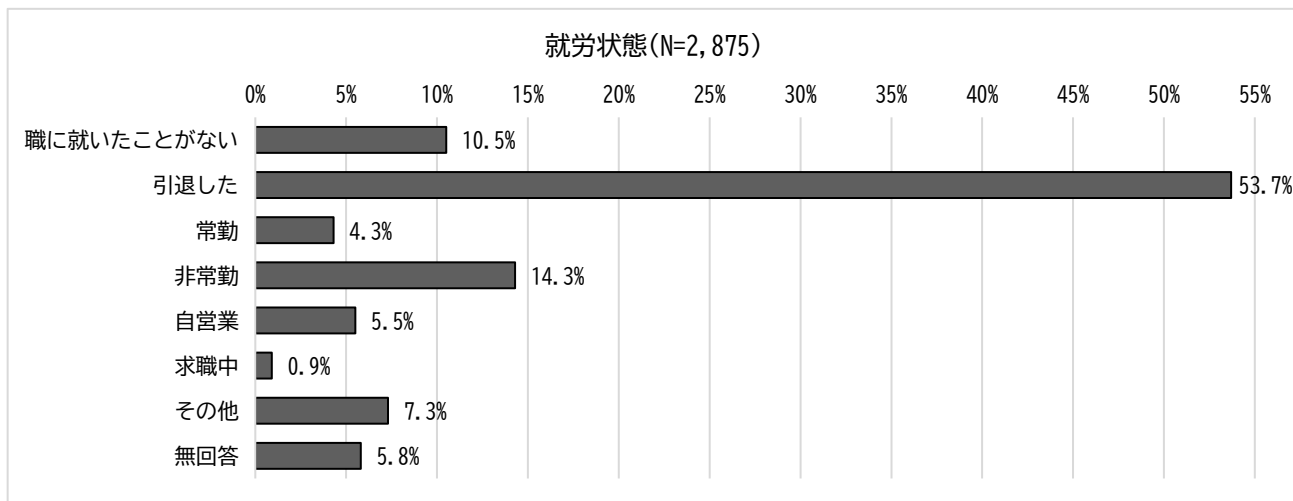
「是非参加したい」「参加してもよい」「既に参加している」を合わせた「参加したい」に着目して圏域の比較を行うと、「美加の台小学校区」が 46.5%と最も多く、次いで「天見小学校区」が 44.5%、「長野小学校区」が 42.4%、「高向小学校区」が 42.0%、「石仏小学校区」が 40.0%となっています。



問6 就労について

問6-1 現在のあなたの就労状態はどれですか(○はいくつでも)

「引退した」が53.7%と最も多く、次いで「非常勤」が14.3%、「職に就いたことがない」が10.5%となっています。

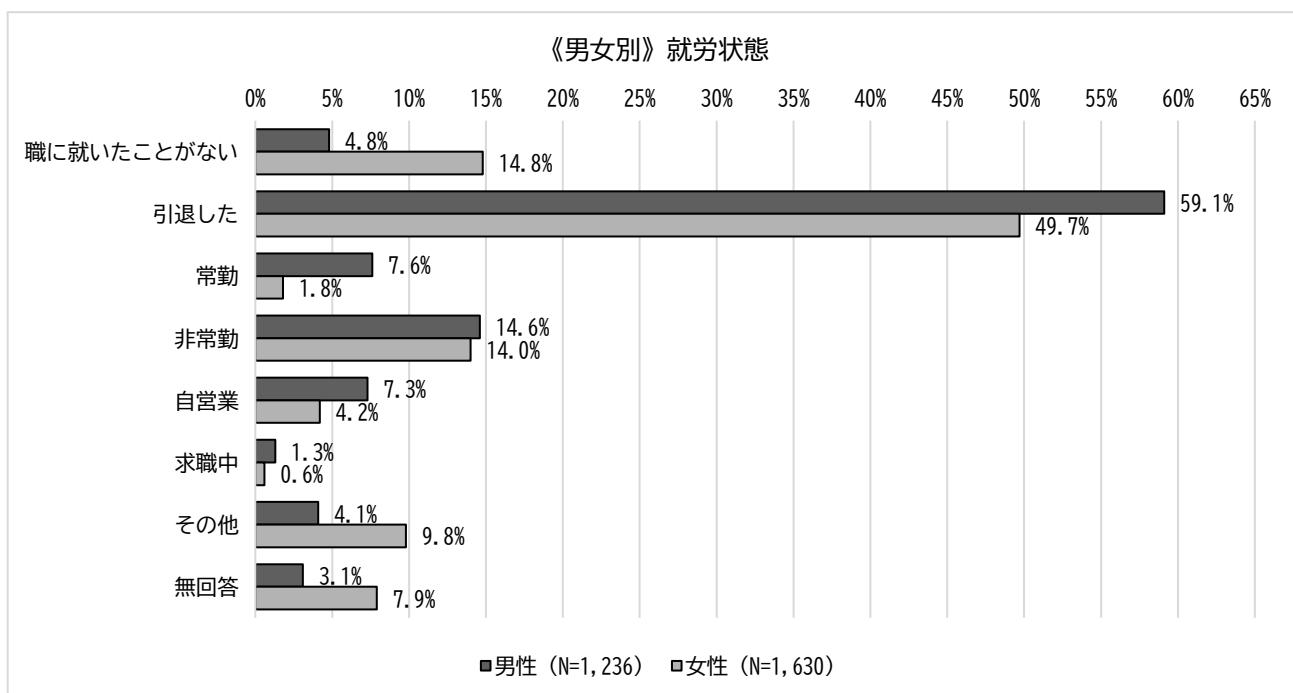


《男女別》

「男性」は「引退した」が59.1%と最も多く、次いで「非常勤」が14.6%、「女性」は「引退した」が49.7%と最も多く、次いで「非常勤」が14.0%となっています。

「引退した」は「男性」が59.1%に対し、「女性」は49.7%と、「男性」が「女性」を9.4ポイント上回り、「常勤」は「男性」が7.6%に対し、「女性」は1.8%と、「男性」が「女性」を5.8ポイント上回っています。

反対に、「職に就いたことがない」は「女性」が14.8%に対し、「男性」は4.8%と、「女性」が「男性」を10.0ポイント上回っています。

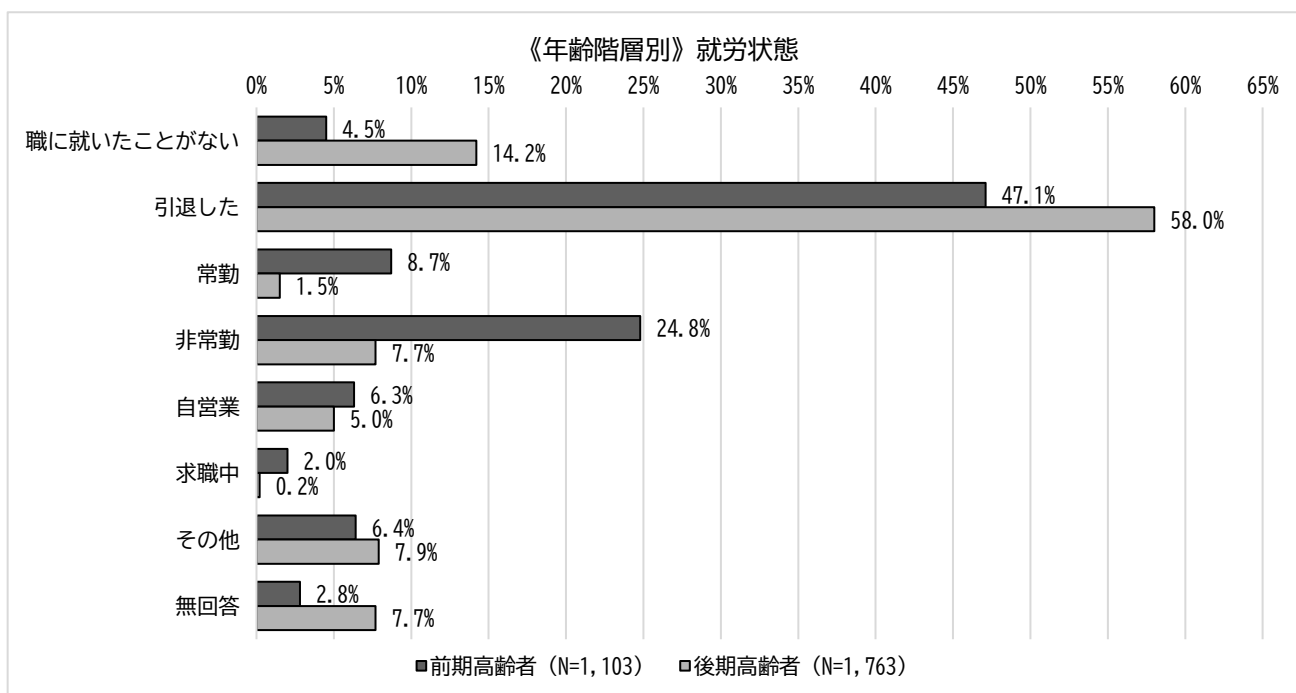


《年齢区分別》

「前期高齢者」は「引退した」が 47.1%と最も多く、次いで「非常勤」が 24.8%、「後期高齢者」は「引退した」が 58.0%と最も多く、次いで「職に就いたことがない」が 14.2%となっています。

「非常勤」は「前期高齢者」が 24.8%に対し、「後期高齢者」は 7.7%と、「前期高齢者」が「後期高齢者」を 17.1 ポイント上回り、「常勤」は「前期高齢者」が 8.7%に対し、「後期高齢者」は 1.5%と、「前期高齢者」が「後期高齢者」を 7.2 ポイント上回っています。

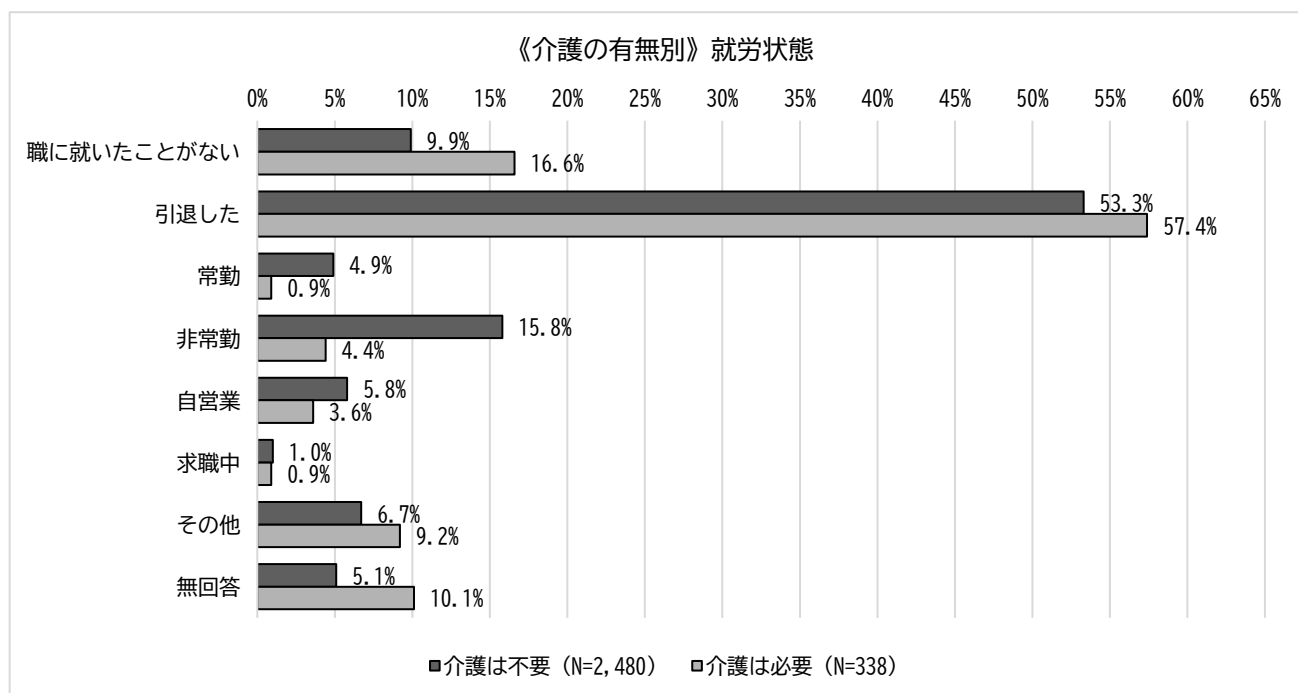
反対に、「引退した」は「後期高齢者」が 58.0%に対し、「前期高齢者」は 47.1%と、「後期高齢者」が「前期高齢者」を 10.9 ポイント上回り、「職に就いたことがない」は「後期高齢者」が 14.2%に対し、「前期高齢者」は 4.5%と、「後期高齢者」が「前期高齢者」を 9.7 ポイント上回っています。



《介護の有無別》

「介護は不要」は「引退した」が 53.3%と最も多く、次いで「非常勤」が 15.8%、「介護は必要」は「引退した」が 57.4%と最も多く、次いで「職に就いたことがない」が 16.6%となっています。

「非常勤」は「介護は不要」が 15.8%に対し、「介護は必要」は 4.4%と、「介護は不要」が「介護は必要」を 11.4ポイント上回り、「職に就いたことがない」は「介護は必要」が16.6%に対し、「介護は不要」は9.9%と、「介護は必要」が「介護は不要」を 6.7ポイント上回っています。



《日常生活圏域別》

回答が多かった「引退した」「非常勤」「職に就いたことがない」に着目して圏域ごとの比較を行います。

「引退した」は「天見小学校区」が 61.1%と最も多く、次いで「小山田小学校区」が 57.8%、「川上小学校区」が 57.7%、「高向小学校区」が 57.3%、「美加の台小学校区」が 54.9%となっています。

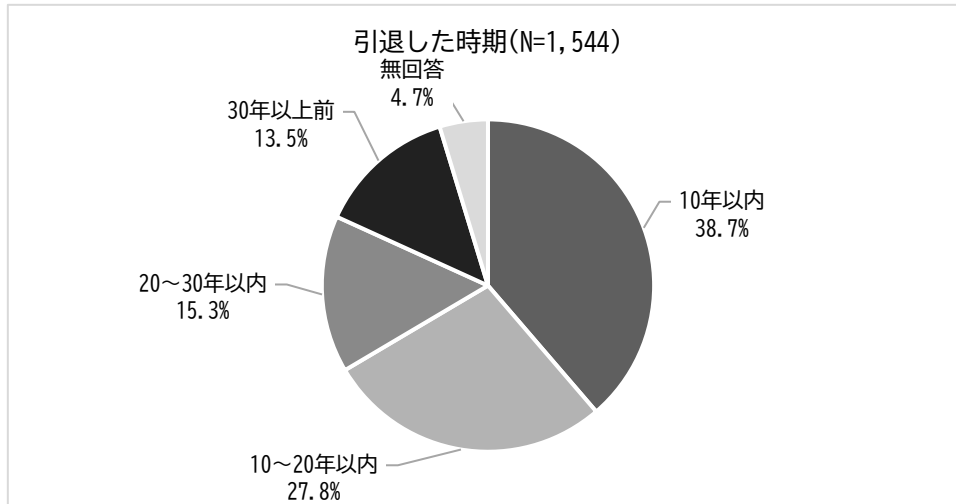
「非常勤」は「美加の台小学校区」が 20.0%と最も多く、次いで「三日市小学校区」が 17.6%、「高向小学校区」が 16.9%、「千代田小学校区」が 16.6%、「南花台小学校区」が 15.1%となっています。

「職に就いたことがない」は「小山田小学校区」が 14.2%と最も多く、次いで「三日市小学校区」が 13.5%、「高向小学校区」が 12.9%、「川上小学校区」と「石仏小学校区」が共に 11.6%となっています。

圏域	回答数	職に就いたことがない	引退した	常勤(フルタイム)	非常勤(パート・アルバイト等)	自営業	求職中	その他	無回答
長野	314	10.2%	51.0%	3.8%	12.4%	6.1%	1.9%	8.9%	7.0%
小山田	325	14.2%	57.8%	2.8%	11.1%	4.6%	0.9%	7.1%	6.2%
天野	54	3.7%	48.1%	5.6%	11.1%	18.5%	0.0%	11.1%	3.7%
高向	124	12.9%	57.3%	3.2%	16.9%	6.5%	0.8%	2.4%	2.4%
三日市	244	13.5%	51.6%	4.5%	17.6%	5.3%	0.8%	5.3%	3.7%
天見	36	8.3%	61.1%	2.8%	5.6%	8.3%	0.0%	5.6%	11.1%
川上	310	11.6%	57.7%	3.2%	11.9%	5.2%	0.0%	6.8%	5.5%
千代田	332	8.7%	53.3%	4.5%	16.6%	5.4%	0.6%	6.6%	7.5%
楠	292	7.9%	52.4%	6.8%	14.4%	6.8%	0.7%	7.2%	5.5%
加賀田	206	10.2%	51.9%	3.4%	14.1%	6.8%	1.5%	10.7%	4.9%
石仏	155	11.6%	52.9%	3.9%	11.0%	5.8%	0.0%	9.7%	6.5%
美加の台	215	6.0%	54.9%	5.1%	20.0%	3.7%	1.4%	6.0%	5.1%
南花台	259	11.2%	51.0%	5.4%	15.1%	1.9%	1.5%	8.5%	6.9%

問 6-1で「2.「引退した」の方のみ
問 6-1-1 あなたはいつ引退しましたか

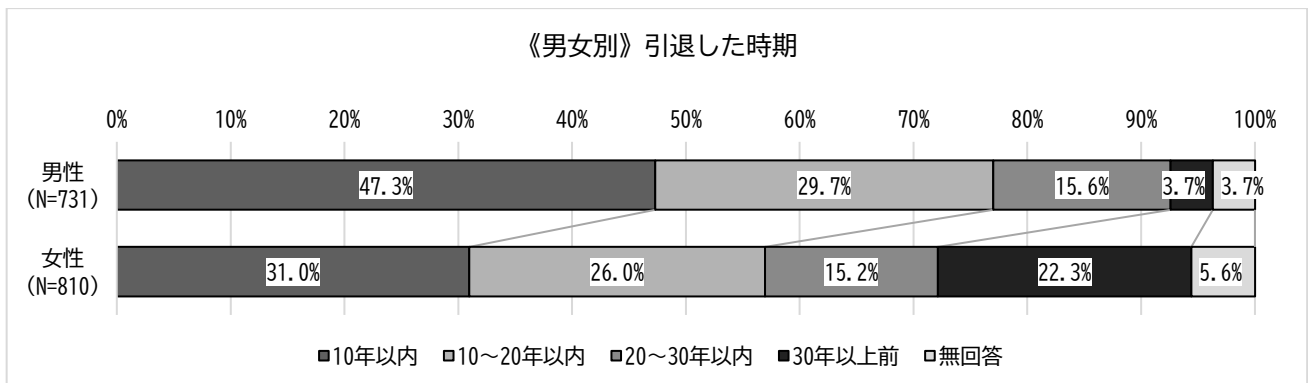
回答から引退した時期を計算すると、「10 年以内」が 38.7%と最も多く、次いで「10～20 年以内」が 27.8%となっています。



《男女別》

「男性」は「10 年以内」が 47.3%と最も多く、次いで「10～20 年以内」が 29.7%、「女性」は「10 年以内」が 31.0%と最も多く、次いで「10～20 年以内」が 26.0%となっています。

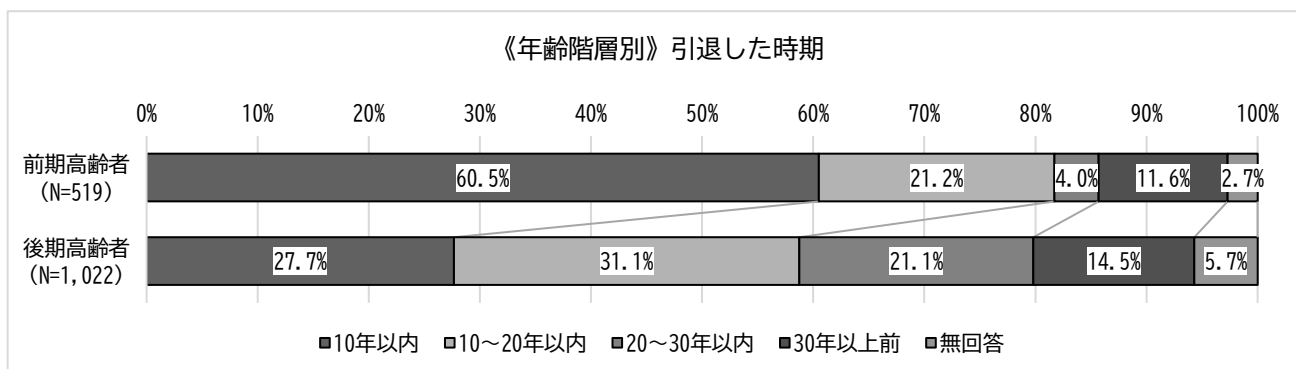
「10 年以内」は「男性」が 47.3%に対し、「女性」は 31.0%と、「男性」が「女性」を 16.3 ポイント上回り、「30 年以上前」は「女性」が 22.3%に対し、「男性」は 3.7%と、「女性」が「男性」を 18.6 ポイント上回っています。



《年齢区分別》

「前期高齢者」は「10年以内」が60.5%と最も多く、次いで「10～20年以内」が21.2%、「後期高齢者」は「10～20年以内」が31.1%と最も多く、次いで「10年以内」が27.7%となっています。

「10年以内」は「前期高齢者」が60.5%に対し、「後期高齢者」は27.7%と、「前期高齢者」が「後期高齢者」を32.8ポイント上回り、「20～30年以内」は「後期高齢者」が21.1%に対し、「前期高齢者」は4.0%と、「後期高齢者」が「前期高齢者」を17.1ポイント上回り、「10～20年以内」は「後期高齢者」が31.1%に対し、「前期高齢者」は21.2%と、「後期高齢者」が「前期高齢者」を9.9ポイント上回っています。

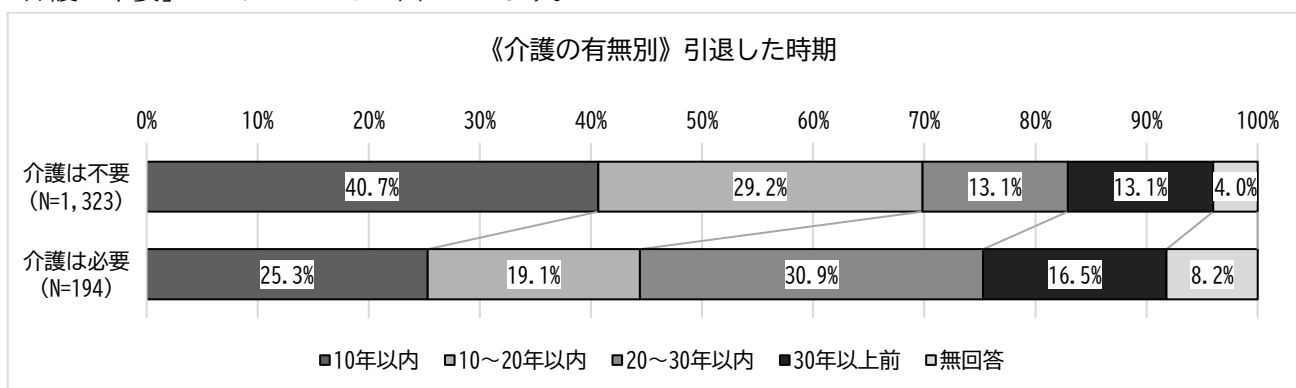


《介護の有無別》

「介護は不要」は「10年以内」が40.7%と最も多く、次いで「10～20年以内」が29.2%、「介護は必要」は「20～30年以内」が30.9%と最も多く、次いで「10年以内」が25.3%となっています。

「10年以内」は「介護は不要」が40.7%に対し、「介護は必要」は25.3%と、「介護は不要」が「介護は必要」を15.4ポイント上回り、「10～20年以内」は「介護は不要」が29.2%に対し、「介護は必要」は19.1%と、「介護は不要」が「介護は必要」を10.1ポイント上回っています。

反対に、「20～30年以内」は「介護は必要」が30.9%に対し、「介護は不要」は13.1%と、「介護は必要」が「介護は不要」を17.8ポイント上回っています。



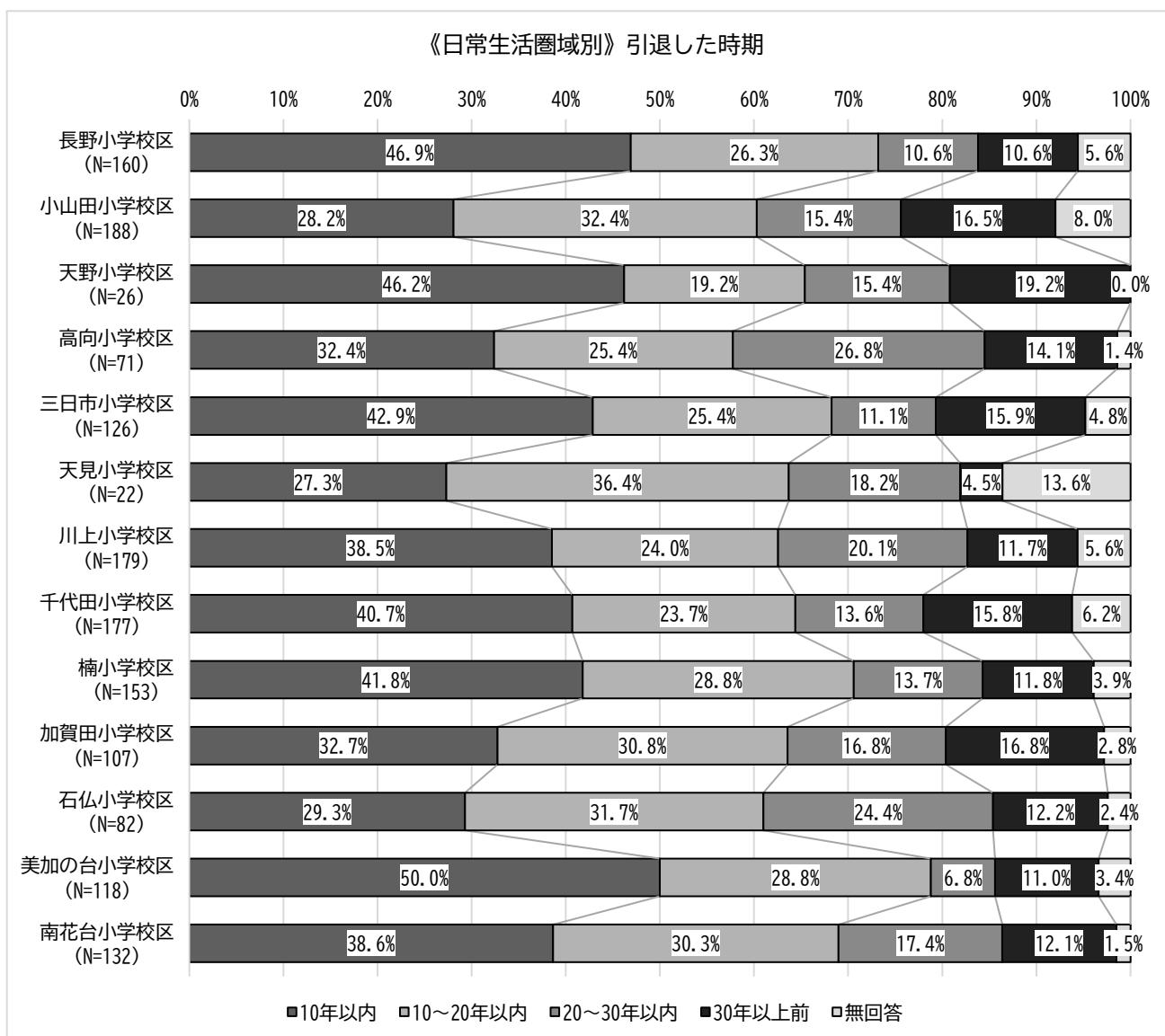
《日常生活圏域別》

「10年以内」は「美加の台小学校区」が50.0%と最も多く、次いで「長野小学校区」が46.9%、「天野小学校区」が46.2%、「三日市小学校区」が42.9%、「楠小学校区」が41.8%となっています。

「10～20年以内」は「天見小学校区」が36.4%と最も多く、次いで「小山田小学校区」が32.4%、「石仏小学校区」が31.7%、「加賀田小学校区」が30.8%、「南花台小学校区」が30.3%となっています。

「20～30年以内」は「高向小学校区」が26.8%と最も多く、次いで「石仏小学校区」が24.4%、「川上小学校区」が20.1%、「天見小学校区」が18.2%、「南花台小学校区」が17.4%となっています。

「30年以上前」は「天野小学校区」が19.2%と最も多く、次いで「加賀田小学校区」が16.8%、「小山田小学校区」が16.5%、「三日市小学校区」が15.9%、「千代田小学校区」が15.8%となっています。

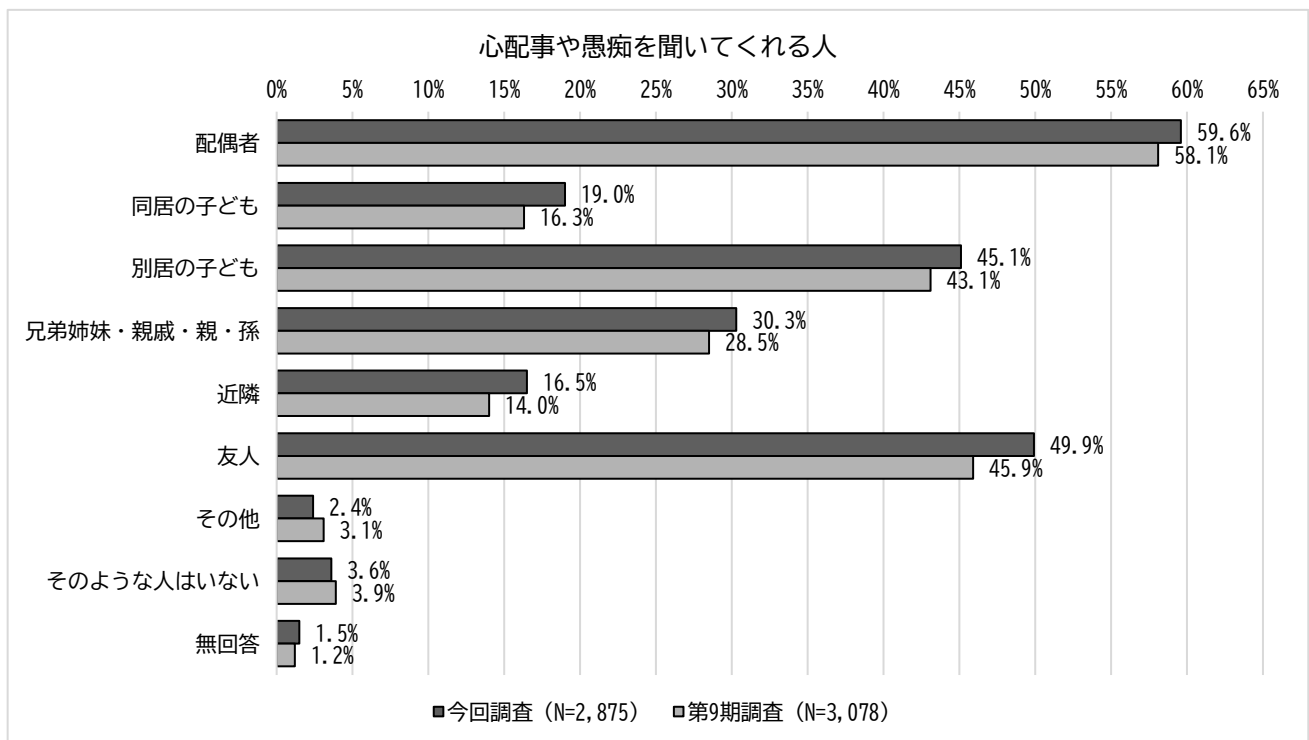


問7 たすけあいについて

問7-1 あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人(〇はいくつでも)

「配偶者」が59.6%と最も多く、次いで「友人」が49.9%、「別居の子ども」が45.1%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が30.3%となっています。

第9期調査と比較すると、「友人」が45.9%から49.9%へと4.0ポイント増加しています。



《自由記述》

心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人について、57件の回答があり、職場の同僚や趣味の仲間が挙げられる一方、専門家を頼る声や、あえて相談しないという意見も見られました。

① 職場・友人・知人について

- 「会社の同僚」「職場の仲間」「仕事仲間」「バイト仲間」といった職場関係の回答が多数見られました。
- 「スポーツジム仲間」「ギター、テニス仲間」「NET 仲間」「高校・大学の同期」など、趣味や学生時代の友人を挙げる回答もありました。

② 専門家について

- 専門的なサポート役として「ケアマネ(介護施設のケアマネ)」「心療内科の先生」「リハビリの先生」「任意後見人」という回答が見られました。

③ 相談に対する姿勢について

- 「愚痴は言わない」「言いたくない」「自分で解決するのが自分の生き方」といった、あえて他者に相談しない姿勢を示す意見が見受けられました。
- 「心配事がない」「思う事がない」という回答がある一方、「つらくてわびしいです」といった現状を吐露する記述もありました。

《男女別》

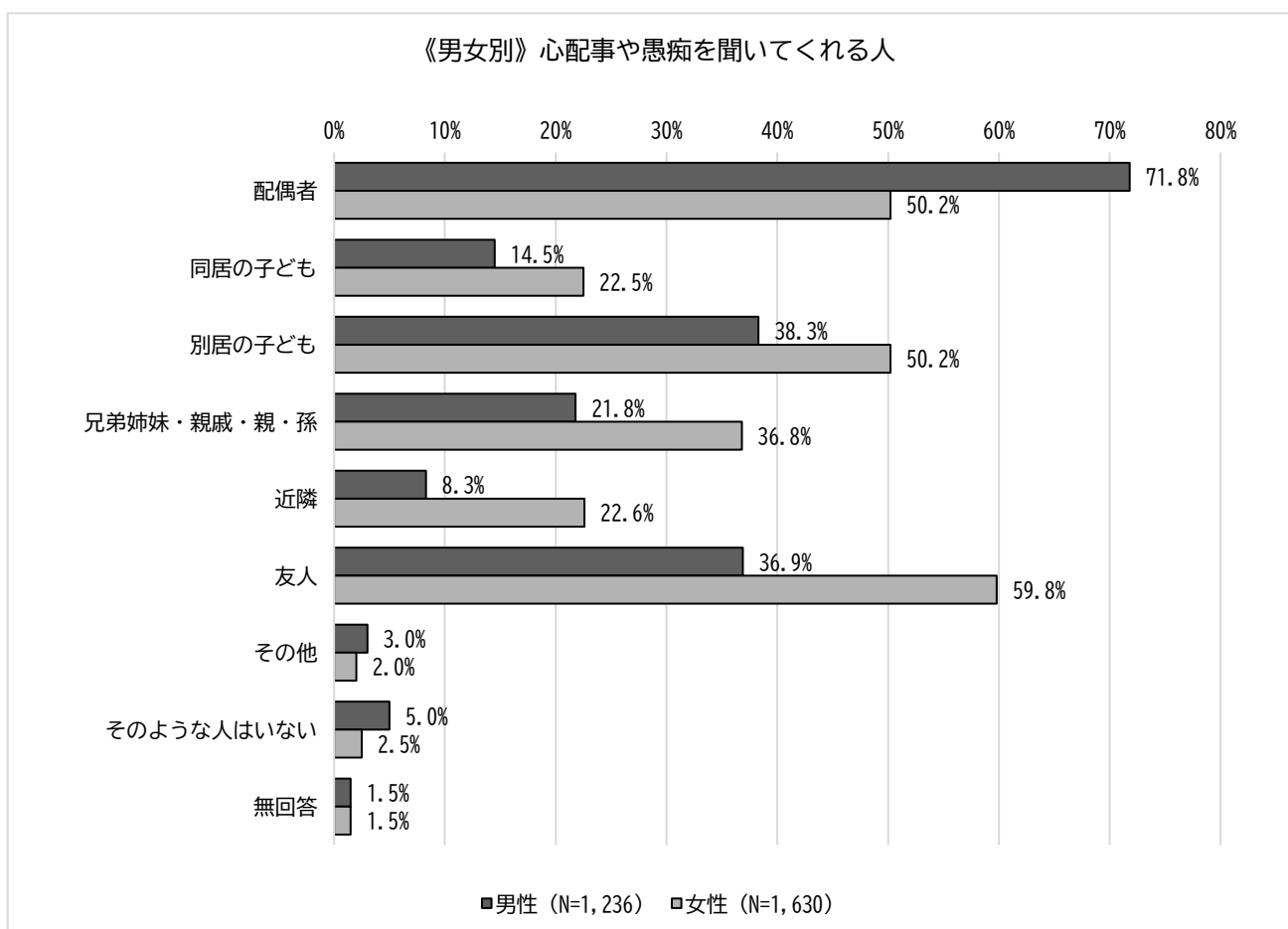
「男性」は「配偶者」が71.8%と最も多く、次いで「別居の子ども」が38.3%、「友人」が36.9%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が21.8%、「女性」は「友人」が59.8%と最も多く、次いで「配偶者」と「別居の子ども」が共に50.2%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が36.8%となっています。

「友人」は「女性」が59.8%に対し、「男性」は36.9%と、「女性」が「男性」を22.9ポイント上回っています。

「兄弟姉妹・親戚・親・孫」は「女性」が36.8%に対し、「男性」は21.8%と、「女性」が「男性」を15.0ポイント上回り、「近隣」は「女性」が22.6%に対し、「男性」は8.3%と、「女性」が「男性」を14.3ポイント上回っています。

「別居の子ども」は「女性」が50.2%に対し、「男性」は38.3%と、「女性」が「男性」を11.9ポイント上回り、「同居の子ども」は「女性」が22.5%に対し、「男性」は14.5%と、「女性」が「男性」を8.0ポイント上回っています。

反対に、「配偶者」は「男性」が71.8%に対し、「女性」は50.2%と、「男性」が「女性」を21.6ポイント上回っています。



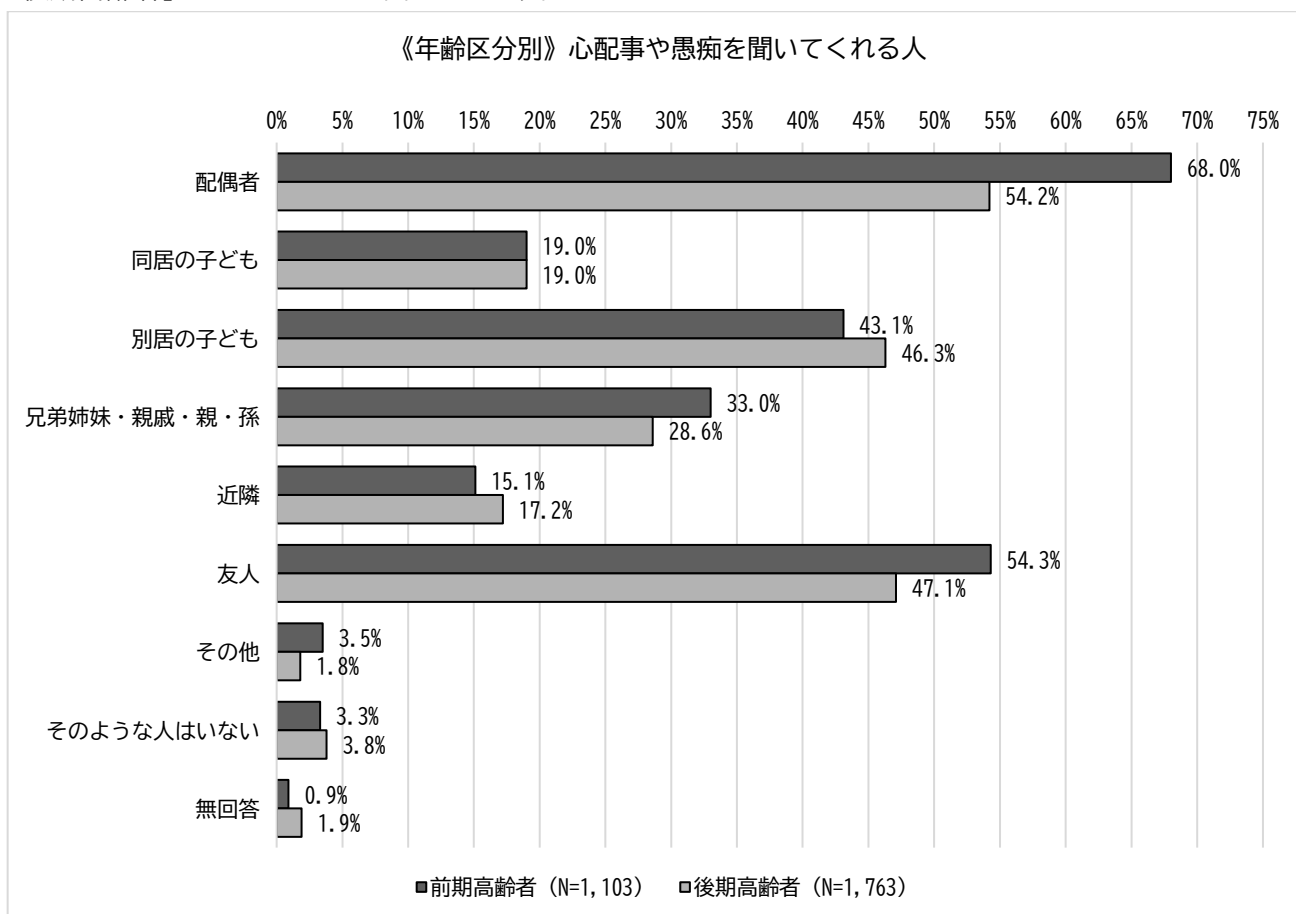
《年齢区分別》

「前期高齢者」は「配偶者」が 68.0%と最も多く、次いで「友人」が 54.3%、「別居の子ども」が 43.1%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が 33.0%、「後期高齢者」は「配偶者」が 54.2%と最も多く、「友人」が 47.1%、「別居の子ども」が 46.3%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が 28.6%となっています。

「配偶者」は「前期高齢者」が 68.0%に対し、「後期高齢者」は 54.2%と、「前期高齢者」が「後期高齢者」を 13.8 ポイント上回っています。

「友人」は「前期高齢者」が 54.3%に対し、「後期高齢者」は 47.1%と、「前期高齢者」が「後期高齢者」を 7.2 ポイント上回っています。

「兄弟姉妹・親戚・親・孫」は「前期高齢者」が 33.0%に対し、「後期高齢者」は 28.6%と、「前期高齢者」が「後期高齢者」を 4.4 ポイント上回っています。



《介護の有無別》

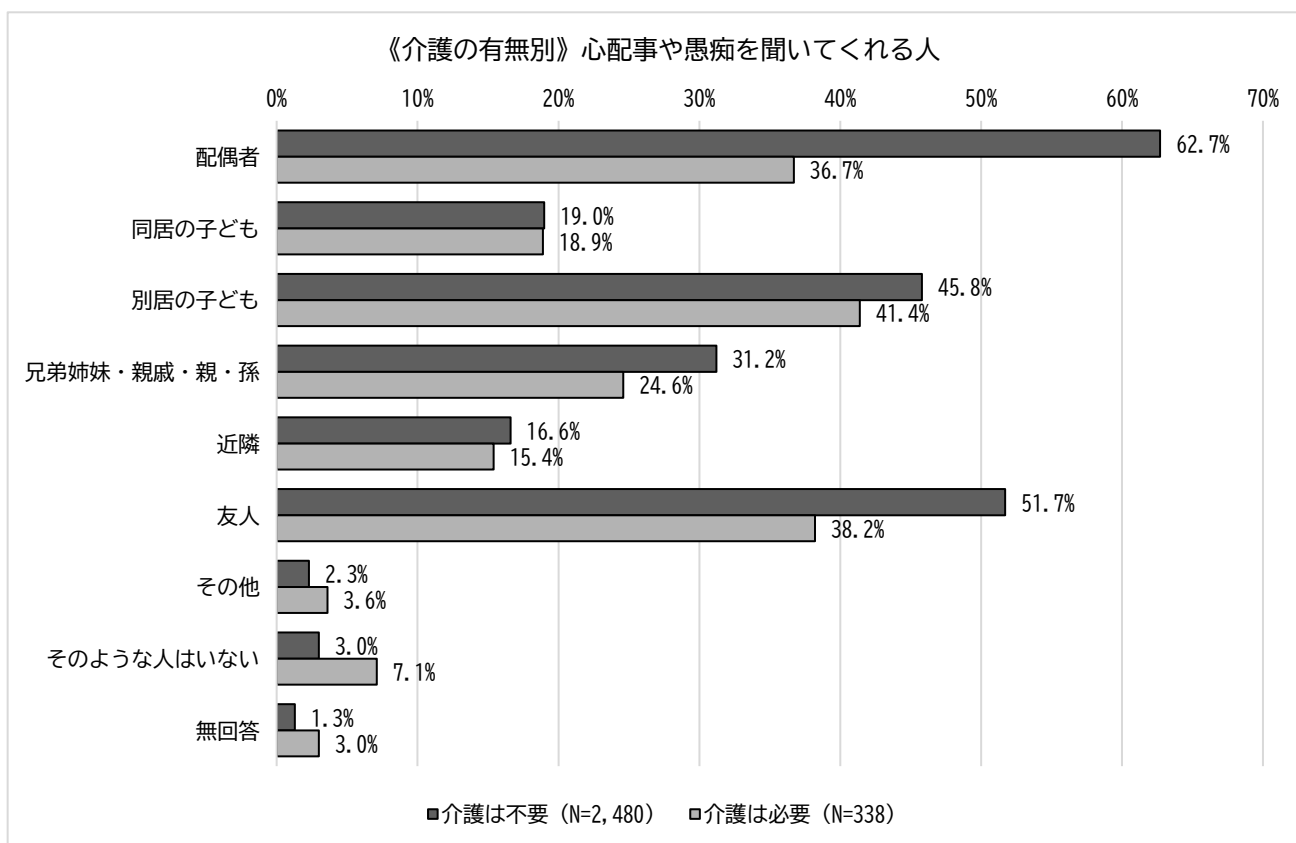
「介護は不要」は「配偶者」が 62.7%と最も多く、次いで「友人」が 51.7%、「別居の子ども」が 45.8%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が 31.2%、「介護は必要」は「別居の子ども」が 41.4%と最も多く、次いで「友人」が 38.2%、「配偶者」が 36.7%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が 24.6%となっています。

「配偶者」は「介護は不要」が 62.7%に対し、「介護は必要」は 36.7%と、「介護は不要」が「介護は必要」を 26.0 ポイント上回っています。

「友人」は「介護は不要」が51.7%に対し、「介護は必要」は38.2%と、「介護は不要」が「介護は必要」を 13.5 ポイント上回っています。

「兄弟姉妹・親戚・親・孫」は「介護は不要」が31.2%に対し、「介護は必要」は 24.6%と、「介護は不要」が「介護は必要」を 6.6 ポイント上回っています。

別居の子どもは「介護は不要」が 45.8%に対し、「介護は必要」は 41.4%と、「介護は不要」が「介護は必要」を 4.4 ポイント上回っています。



《日常生活圏域別》

回答の多かった「配偶者」「友人」「別居の子ども」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」に着目して圏域ごとの比較を行います。

「配偶者」は「美加の台小学校区」が 71.6%と最も多く、次いで「川上小学校区」が 65.2%、「南花台小学校区」が 64.1%、「高向小学校区」が 63.7%、「天野小学校区」が 63.0%となっています。

「友人」は「小山田小学校区」が 56.0%と最も多く、次いで「天見小学校区」が 55.6%、「天野小学校区」が 53.7%、「加賀田小学校区」が 51.5%、「長野小学校区」が 51.3%となっています。

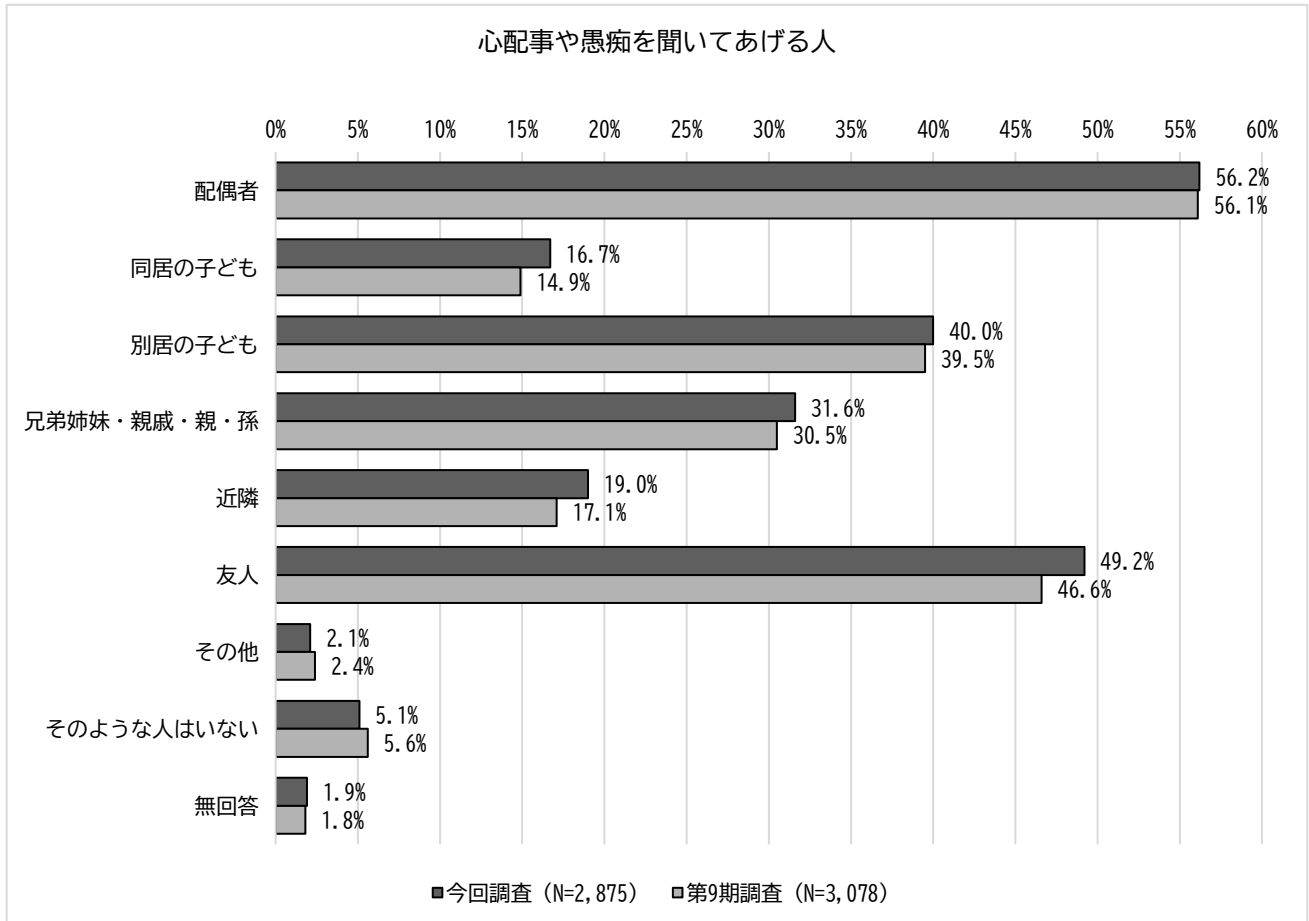
「別居の子ども」は「石仏小学校区」が 52.3%と最も多く、次いで「小山田小学校区」が 49.2%、「加賀田小学校区」が 48.5%、「天野小学校区」が 48.1%、「美加の台小学校区」が 46.5%となっています。

「兄弟姉妹・親戚・親・孫」は「天見小学校区」が 44.4%と最も多く、次いで「高向小学校区」が 37.1%、「石仏小学校区」が 33.5%、「加賀田小学校区」が 32.0%、「三日市小学校区」と「千代田小学校区」が共に 31.6%となっています。

圏域	回答数	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
長野	314	53.2%	22.6%	42.4%	29.6%	16.9%	51.3%	1.3%	3.8%	1.9%
小山田	325	56.0%	20.3%	49.2%	28.6%	20.3%	56.0%	2.2%	3.1%	0.9%
天野	54	63.0%	31.5%	48.1%	25.9%	16.7%	53.7%	3.7%	3.7%	0.0%
高向	124	63.7%	18.5%	44.4%	37.1%	18.5%	50.8%	0.8%	0.8%	0.8%
三日市	244	54.1%	19.3%	45.5%	31.6%	13.9%	50.4%	2.5%	2.9%	1.6%
天見	36	61.1%	22.2%	44.4%	44.4%	16.7%	55.6%	0.0%	0.0%	2.8%
川上	310	65.2%	18.1%	42.6%	28.7%	18.1%	47.7%	1.9%	4.5%	1.9%
千代田	332	54.2%	16.9%	44.6%	31.6%	16.6%	47.3%	2.7%	3.9%	2.1%
楠	292	59.9%	18.8%	42.5%	30.1%	15.8%	49.3%	2.1%	4.1%	1.0%
加賀田	206	61.2%	19.9%	48.5%	32.0%	16.5%	51.5%	2.9%	3.4%	1.5%
石仏	155	56.1%	16.8%	52.3%	33.5%	18.1%	48.4%	5.2%	3.2%	0.6%
美加の台	215	71.6%	16.3%	46.5%	31.2%	12.6%	43.7%	3.7%	4.7%	1.4%
南花台	259	64.1%	17.0%	40.9%	24.3%	12.7%	49.4%	2.7%	3.9%	1.9%

問 7-2 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人(〇はいくつでも)

「配偶者」が56.2%と最も多く、次いで「友人」が49.2%、「別居の子ども」が40.0%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が31.6%となっており、第9期調査との有意な差はありません。



《自由記述》

心配事や愚痴を聞いてあげる人については、53件の回答があり、職場の同僚や取引先、趣味や活動を通じた仲間などが見られました。

① 職場・仕事関係について

- 「会社の同僚」「仕事の仲間」「職場のスタッフ」といった同僚などのほか、「得意先」「お客様」「仕事の依頼者」「ビジネス仲間」といった取引先関係も多く見られました。
- 「同業者」といった仕事上のつながりも挙げられています。

② 趣味・友人・知人について

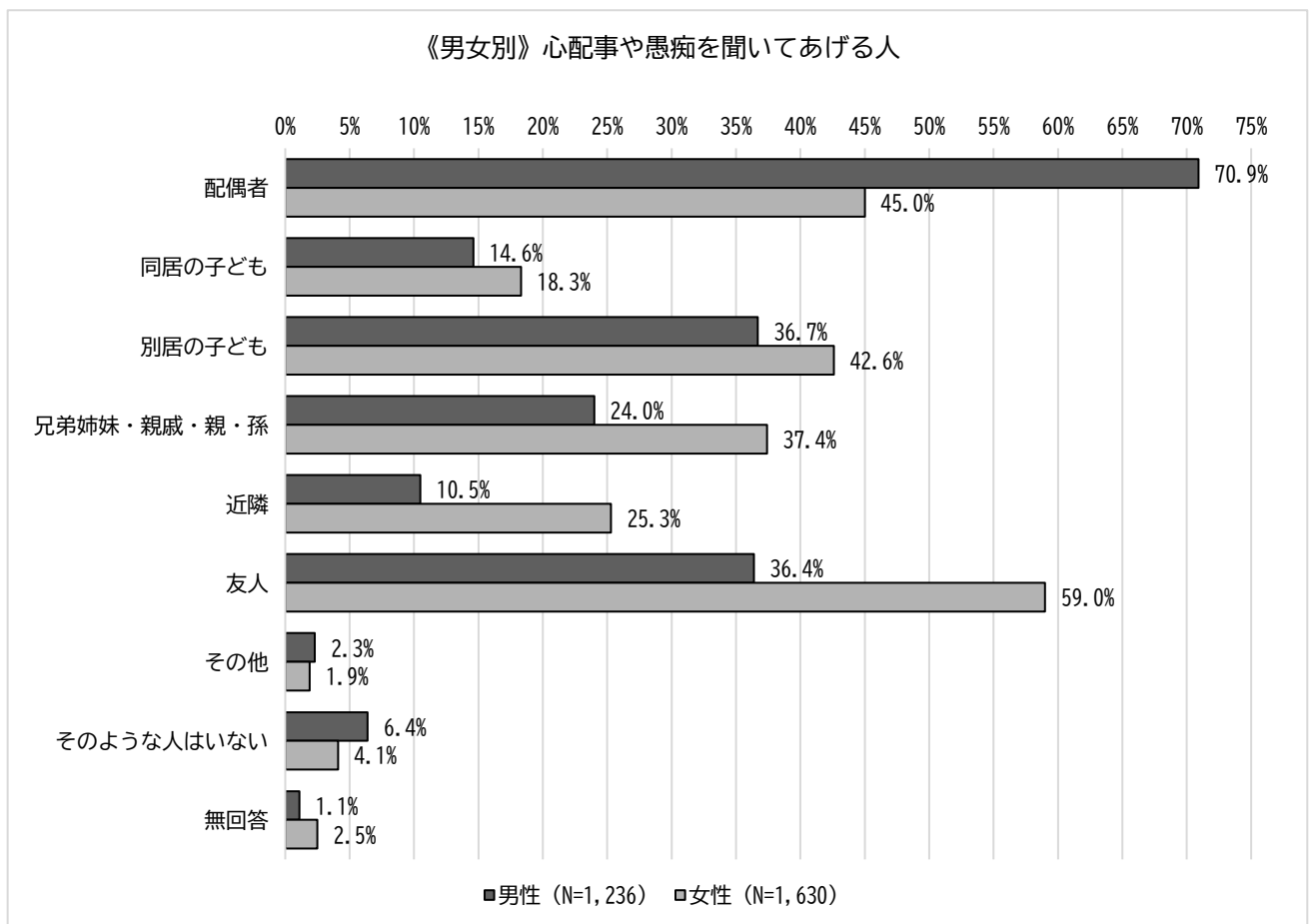
- 「信仰の仲間」「老人会の人」「スポーツクラブの友人」「ギター、テニス仲間」「NET 仲間」など、活動を通じた関係が多く挙げられました。
- 「大学・高校の同期や先輩」「教え子」「教えている人達」といった学生時代や指導関係のつながりも見られました。

《男女別》

「男性」は「配偶者」が70.9%と最も多く、次いで「別居の子ども」が36.7%、「友人」が36.4%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が24.0%、「女性」は「友人」が59.0%と最も多く、次いで「配偶者」が45.0%、「別居の子ども」が42.6%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が37.4%となっています。

「配偶者」は「男性」が70.9%に対し、「女性」は45.0%と、「男性」が「女性」を25.9ポイント上回っています。

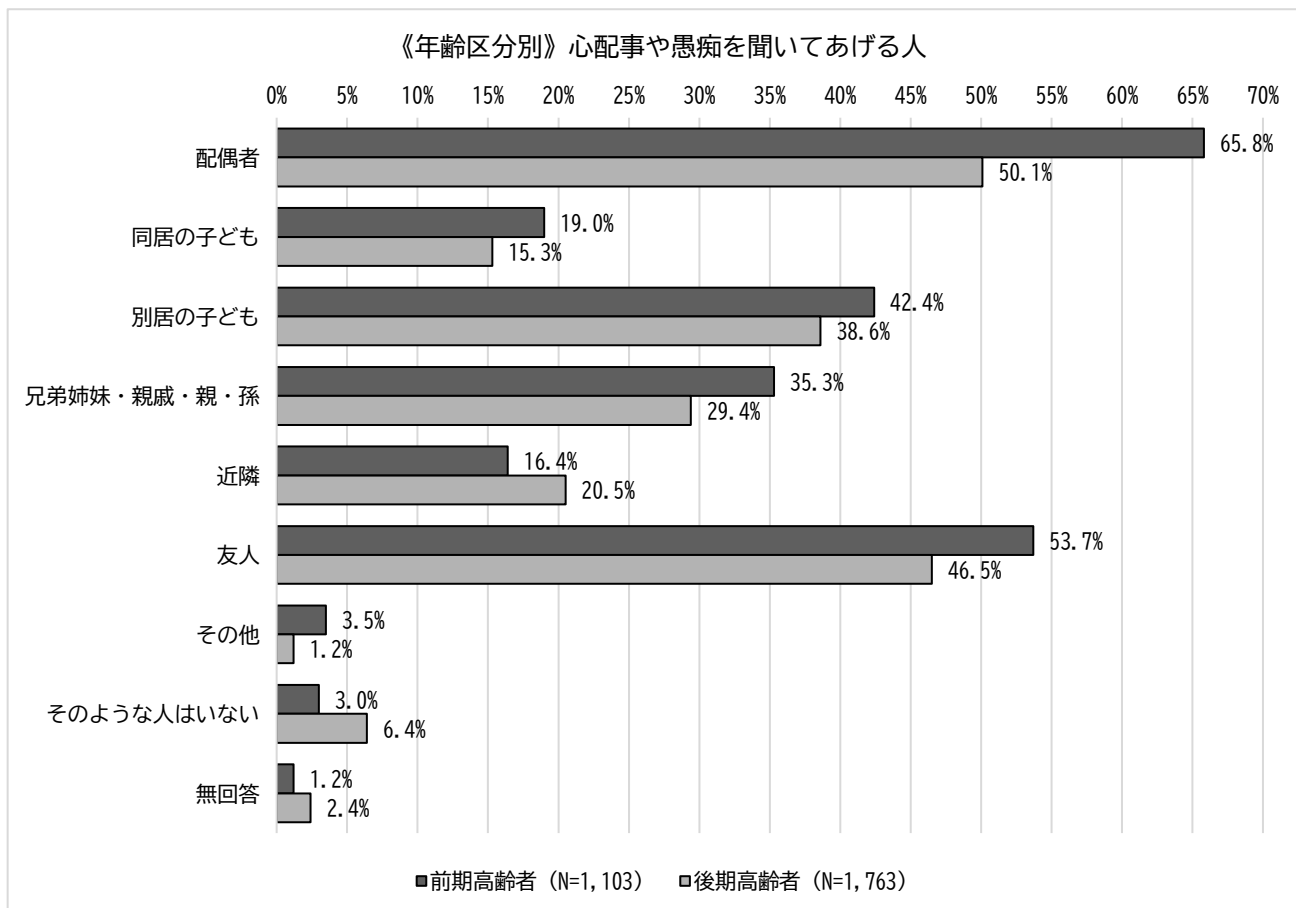
反対に、「友人」は「女性」が59.0%に対し、「男性」は36.4%と、「女性」が「男性」を22.6ポイント上回り、「近隣」は「女性」が25.3%に対し、「男性」は10.5%と、「女性」が「男性」を14.8ポイント上回り、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」は「女性」が37.4%に対し、「男性」は24.0%と、「女性」が「男性」を13.4ポイント上回っています。



《年齢区分別》

「前期高齢者」は「配偶者」が 65.8%と最も多く、次いで「友人」が 53.7%、「別居の子ども」が 42.4%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が 35.3%、「後期高齢者」は「配偶者」が 50.1%と最も多く、次いで「友人」が 46.5%、「別居の子ども」が 38.6%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が 29.4%となっています。

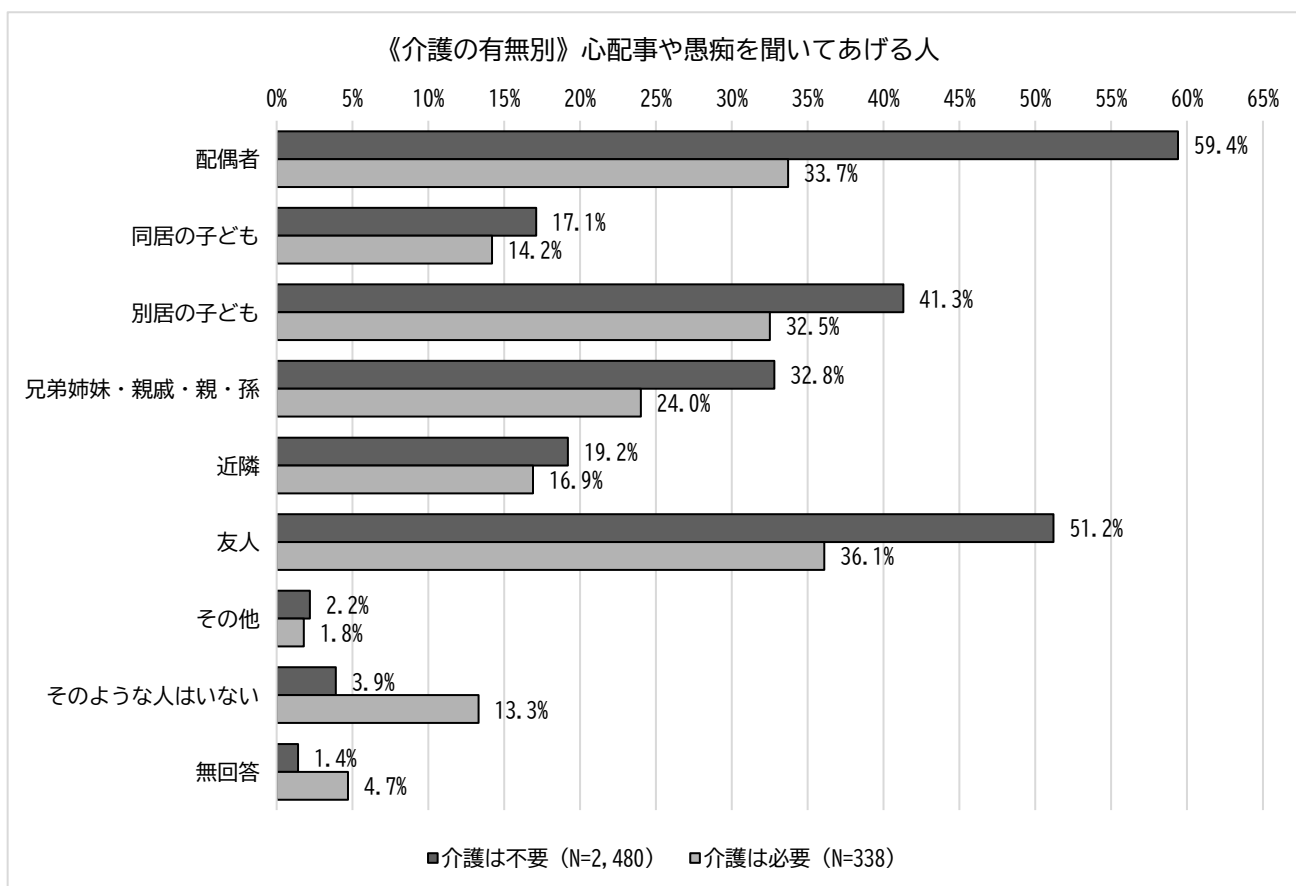
「配偶者」は「前期高齢者」が 65.8%に対し、「後期高齢者」は 50.1%と、「前期高齢者」が「後期高齢者」を 15.7 ポイント上回り、「友人」は「前期高齢者」が 53.7%に対し、「後期高齢者」は 46.5%と、「前期高齢者」が「後期高齢者」を 7.2 ポイント上回り、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」は「前期高齢者」が 35.3%に対し、「後期高齢者」は 29.4%と、「前期高齢者」が「後期高齢者」を 5.9 ポイント上回っています。



《介護の有無別》

「介護は不要」は「配偶者」が 59.4%と最も多く、次いで「友人」が 51.2%、「別居の子ども」が 41.3%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が 32.8%、「介護は必要」は「友人」が 36.1%、「配偶者」が 33.7%、「別居の子ども」が 32.5%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が 24.0%となっています。

「配偶者」は「介護は不要」が 59.4%に対し、「介護は必要」は 33.7%と、「介護は不要」が「介護は必要」を 25.7 ポイント上回り、「友人」は「介護は不要」が 51.2%に対し、「介護は必要」は 36.1%と、「介護は不要」が「介護は必要」を 15.1 ポイント上回り、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」は「介護は不要」が 32.8%に対し、「介護は必要」は 24.0%と、「介護は不要」が「介護は必要」を 8.8 ポイント上回り、「別居の子ども」は「介護は不要」が 41.3%に対し、「介護は必要」は 32.5%と、「介護は不要」が「介護は必要」を 8.8 ポイント上回っています。



《日常生活圏域別》

回答の多かった「配偶者」「友人」「別居の子ども」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」に着目して圏域ごとの比較を行います。

「配偶者」は「美加の台小学校区」が 69.3%と最も多く、次いで「南花台小学校区」が 64.5%、「天野小学校区」と「天見小学校区」が共に 61.1%、「川上小学校区」が 59.0%となっています。

「友人」は「加賀田小学校区」が 54.9%と最も多く、次いで「小山田小学校区」が 53.5%、「高向小学校区」が 53.2%、「天見小学校区」が 52.8%、「南花台小学校区」が 52.1%となっています。

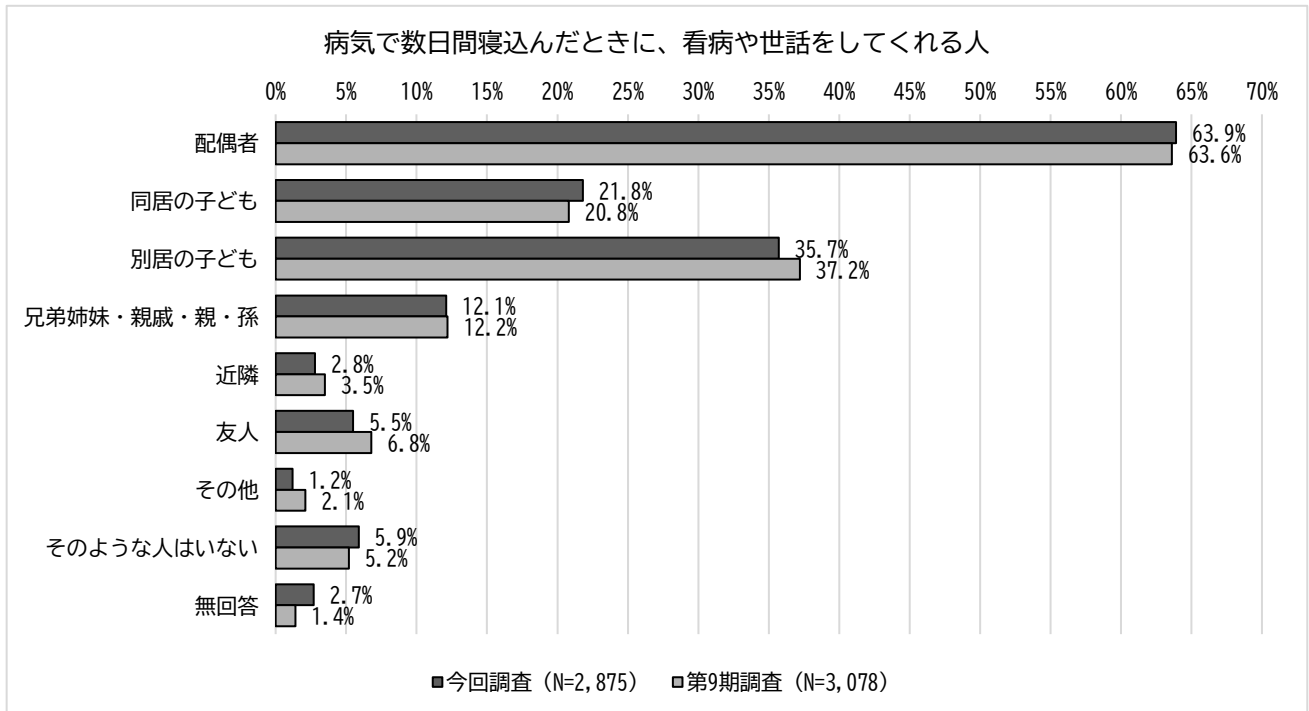
「別居の子ども」は「美加の台小学校区」が 47.4%と最も多く、次いで「石仏小学校区」が 43.2%、「天野小学校区」が 42.6%、「加賀田小学校区」が 42.2%、「三日市小学校区」が 41.4%となっています。

「兄弟姉妹・親戚・親・孫」は「天見小学校区」が 38.9%と最も多く、次いで「美加の台小学校区」が 35.3%、「高向小学校区」が 34.7%、「楠小学校区」が 34.6%、「石仏小学校区」が 34.2%となっています。

圏域	回答数	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
長野	314	50.6%	17.8%	35.4%	34.1%	17.2%	49.0%	1.6%	6.7%	1.3%
小山田	325	51.1%	16.6%	38.5%	28.0%	23.1%	53.5%	0.9%	4.6%	2.2%
天野	54	61.1%	27.8%	42.6%	29.6%	20.4%	48.1%	5.6%	3.7%	1.9%
高向	124	57.3%	18.5%	37.1%	34.7%	26.6%	53.2%	0.8%	4.0%	0.8%
三日市	244	50.8%	14.8%	41.4%	29.9%	16.4%	49.6%	2.5%	5.3%	1.6%
天見	36	61.1%	19.4%	33.3%	38.9%	22.2%	52.8%	0.0%	0.0%	2.8%
川上	310	59.0%	18.1%	41.0%	29.4%	20.0%	47.4%	2.6%	6.1%	2.3%
千代田	332	53.3%	13.3%	38.9%	31.3%	18.7%	47.0%	1.5%	5.1%	2.7%
楠	292	54.5%	17.1%	40.8%	34.6%	17.1%	49.0%	2.7%	5.5%	1.4%
加賀田	206	58.7%	18.4%	42.2%	34.0%	20.9%	54.9%	2.4%	3.9%	2.4%
石仏	155	50.3%	14.2%	43.2%	34.2%	20.0%	43.2%	3.9%	4.5%	3.2%
美加の台	215	69.3%	17.7%	47.4%	35.3%	15.8%	41.9%	3.3%	4.2%	1.4%
南花台	259	64.5%	15.4%	38.2%	26.3%	15.1%	52.1%	1.2%	5.4%	1.5%

問 7-3 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人(〇はいくつでも)

「配偶者」が 63.9%と最も多く、次いで「別居の子ども」が 35.7%、「同居の子ども」が 21.8%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が 12.1%となっており、第 9 期調査との有意な差はありません。



《自由記述》

病や世話をしてくれる人については、30 件の回答があり、介護施設のスタッフなどが見られたほか、経験がないため分からないという回答も見られました。

① 家族・親族・同居人について

- 「パートナー」「子ども」「長男の嫁」といった家族や親族が挙げられました。
- 「同居の娘と長男夫婦」という具体的な記述や、「同居人」「頼めば友人、近隣」という回答もありました。

② 施設・専門職について

- 「施設スタッフ」「ケアマネさん」「ヘルパー」といった専門職による支援が挙げられました。
- 「施設(療養型病院)」という場所に関する記述も見られました。

③ 健康状態・事情について

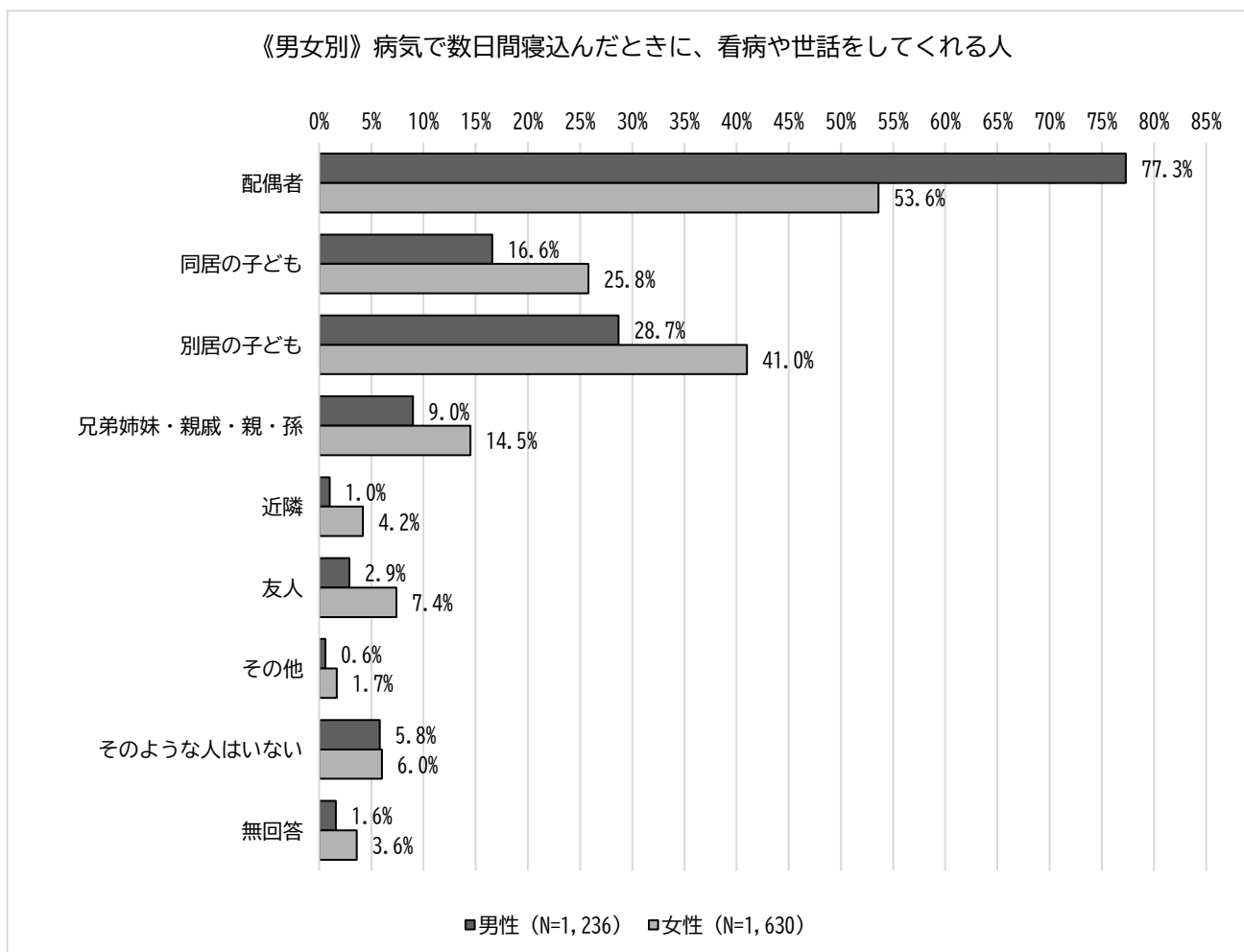
- 「寝込んだことがない」「経験なし」「わからない」といった、まだ必要としたことがないため不明とする回答が多く見られました。
- 「とことん一人で頑張ると思う」という自助の姿勢や、「子どもは遠方のため無理」「主人が要介護4」といった家庭の事情を挙げる意見もありました。

《男女別》

「男性」は「配偶者」が77.3%と最も多く、次いで「別居の子ども」が28.7%、「同居の子ども」が16.6%、「女性」は「配偶者」が53.6%と最も多く、次いで「別居の子ども」が41.0%、「同居の子ども」が25.8%となっています。

「配偶者」は「男性」が77.3%に対し、「女性」は53.6%と、「男性」が「女性」を23.7ポイント上回っています。

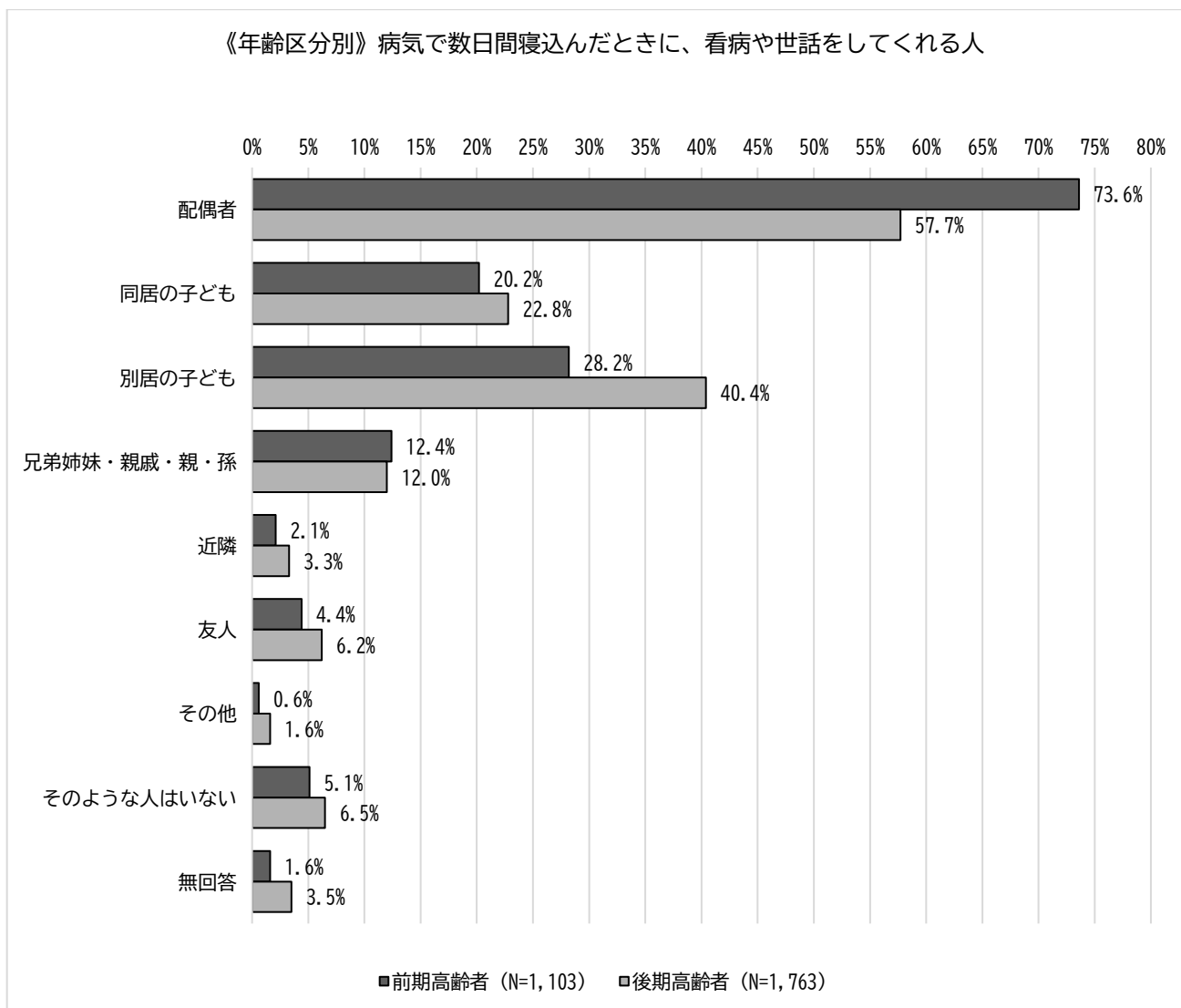
反対に、「別居の子ども」は「女性」が41.0%に対し、「男性」は28.7%と、「女性」が「男性」を12.3ポイント上回っています。



《年齢区分別》

「前期高齢者」は「配偶者」が 73.6%と最も多く、次いで「別居の子ども」が 28.2%、「同居の子ども」が 20.2%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が 12.4%、「後期高齢者」は「配偶者」が 57.7%と最も多く、「別居の子ども」が 40.4%、「同居の子ども」が 22.8%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が 12.0%となっています。

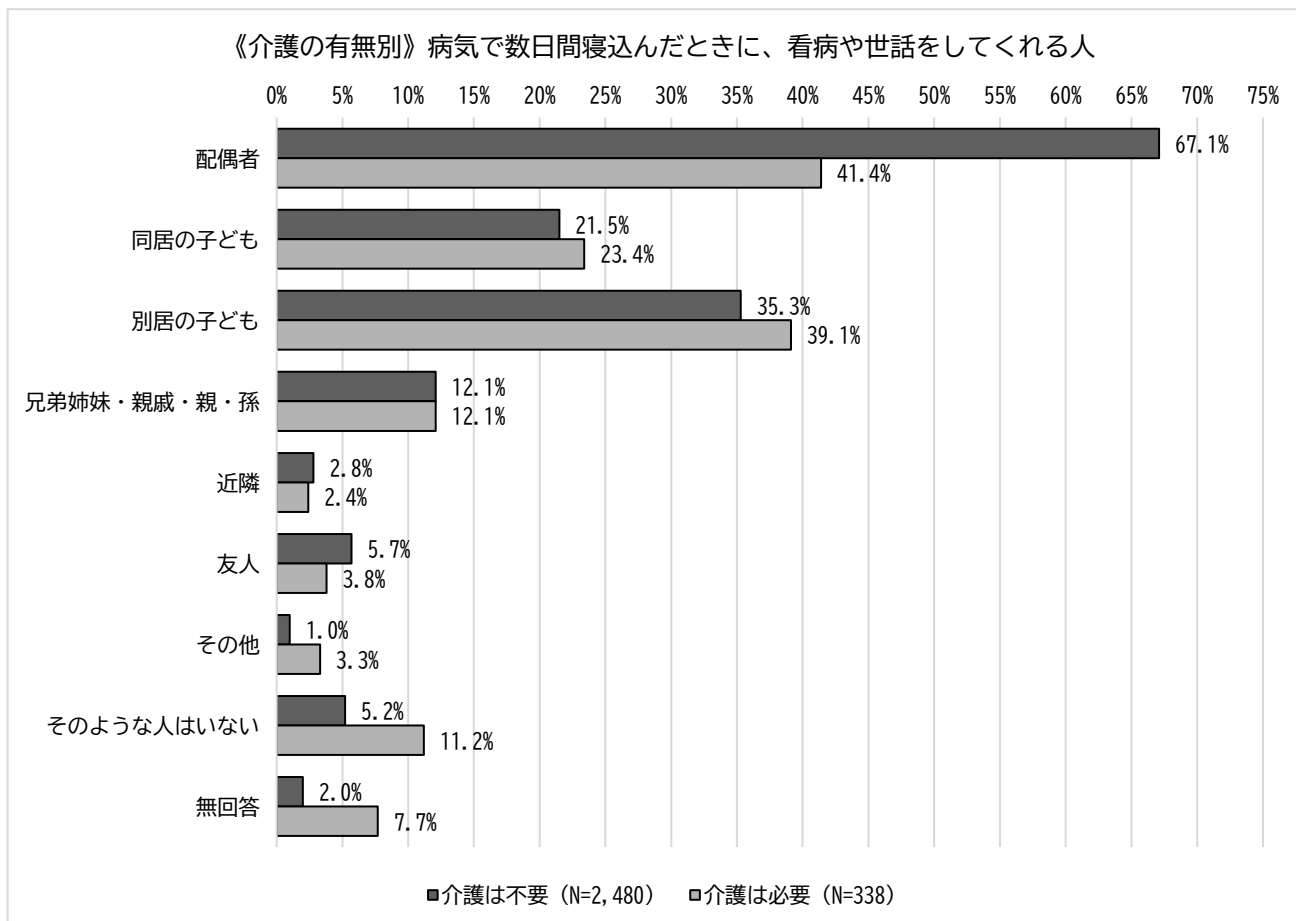
「配偶者」は「前期高齢者」が 73.6%に対し、「後期高齢者」は 57.7%と、「前期高齢者」が「後期高齢者」を 15.9 ポイント上回り、「別居の子ども」は「後期高齢者」が 40.4%に対し、「前期高齢者」は 28.2%と、「後期高齢者」が「前期高齢者」を 12.2 ポイント上回っています。



《介護の有無別》

「介護は不要」は「配偶者」が 67.1%と最も多く、次いで「別居の子ども」が 35.3%、「同居の子ども」が 21.5%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が 12.1%、「介護は必要」は「配偶者」が 41.4%と最も多く、次いで「別居の子ども」が 39.1%、「同居の子ども」が 23.4%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が 12.1%となっています。

「配偶者」は「介護は不要」が 67.1%に対し、「介護は必要」は 41.4%と、「介護は不要」が「介護は必要」を 25.7 ポイント上回っています。



《日常生活圏域別》

回答の多かった「配偶者」「別居の子ども」「同居の子ども」に着目して圏域ごとの比較を行います。

「配偶者」は「美加の台小学校区」が78.6%と最も多く、次いで「天野小学校区」が74.1%、「川上小学校区」が68.7%、「高向小学校区」が67.7%、「南花台小学校区」が65.3%となっています。

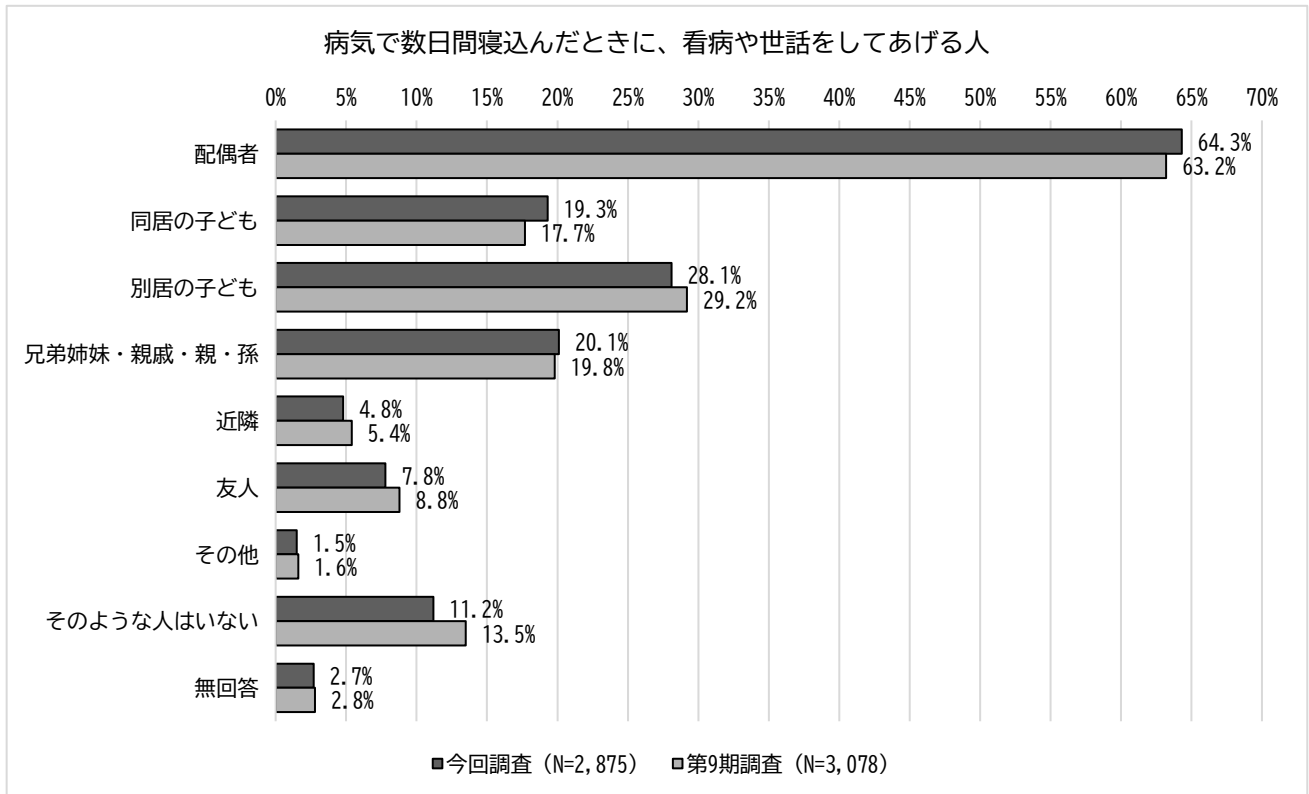
「別居の子ども」は「小山田小学校区」が39.7%と最も多く、次いで「石仏小学校区」が39.4%、「加賀田小学校区」が39.3%、「高向小学校区」と「長野小学校区」が共に37.9%となっています。

「同居の子ども」は「天野小学校区」が27.8%と最も多く、次いで「天見小学校区」が27.8%、「長野小学校区」が24.5%、「小山田小学校区」が24.0%、「三日市小学校区」が23.0%となっています。

圏域	回答数	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・ 親戚・親・ 孫	近隣	友人	その他	そのような 人はいない	無回答
長野	314	58.6%	24.5%	37.9%	15.3%	2.5%	6.4%	1.0%	6.1%	2.9%
小山田	325	60.9%	24.0%	39.7%	13.5%	4.6%	6.8%	1.8%	4.6%	3.7%
天野	54	74.1%	27.8%	37.0%	9.3%	1.9%	1.9%	0.0%	5.6%	3.7%
高向	124	67.7%	21.8%	37.9%	16.9%	6.5%	7.3%	0.8%	5.6%	1.6%
三日市	244	60.2%	23.0%	36.1%	11.9%	2.5%	6.1%	0.0%	7.8%	2.0%
天見	36	58.3%	27.8%	36.1%	13.9%	0.0%	2.8%	0.0%	2.8%	5.6%
川上	310	68.7%	19.7%	30.3%	9.4%	3.2%	3.9%	1.6%	6.1%	2.6%
千代田	332	59.3%	20.5%	34.6%	12.3%	3.6%	4.5%	1.2%	6.9%	2.7%
楠	292	64.4%	22.3%	34.9%	13.4%	2.4%	5.5%	2.1%	5.8%	1.0%
加賀田	206	64.1%	22.8%	39.3%	10.2%	3.4%	7.8%	1.9%	4.9%	3.4%
石仏	155	56.8%	20.0%	39.4%	14.8%	1.9%	5.8%	0.6%	2.6%	5.8%
美加の台	215	78.6%	18.6%	28.4%	10.7%	0.9%	2.8%	0.9%	4.7%	2.3%
南花台	259	65.3%	19.3%	35.9%	7.7%	0.8%	5.8%	1.2%	8.9%	2.3%

問 7-4 反対に、看病や世話をしあける人(○はいくつでも)

「配偶者」が 64.3%と最も多く、次いで「別居の子ども」が 28.1%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が 20.1%、「同居の子ども」が 19.3%となっており、第 9 期調査との有意な差はありません。



《自由記述》

看病や世話をしあける人については、35 件の回答があり、パートナーや同居人などの住まいを一緒にしている人が多く見られた一方、高齢や体調を理由に「できない」とする回答も多く見られました。

① 家族・親族について

- 「パートナー」「別居の配偶者」「別れた夫」といった配偶者関係への世話が挙げられました。
- 「嫁」「一人住まいの兄嫁」といった親族を挙げる記述もありました。

② 実施の可否・事情について

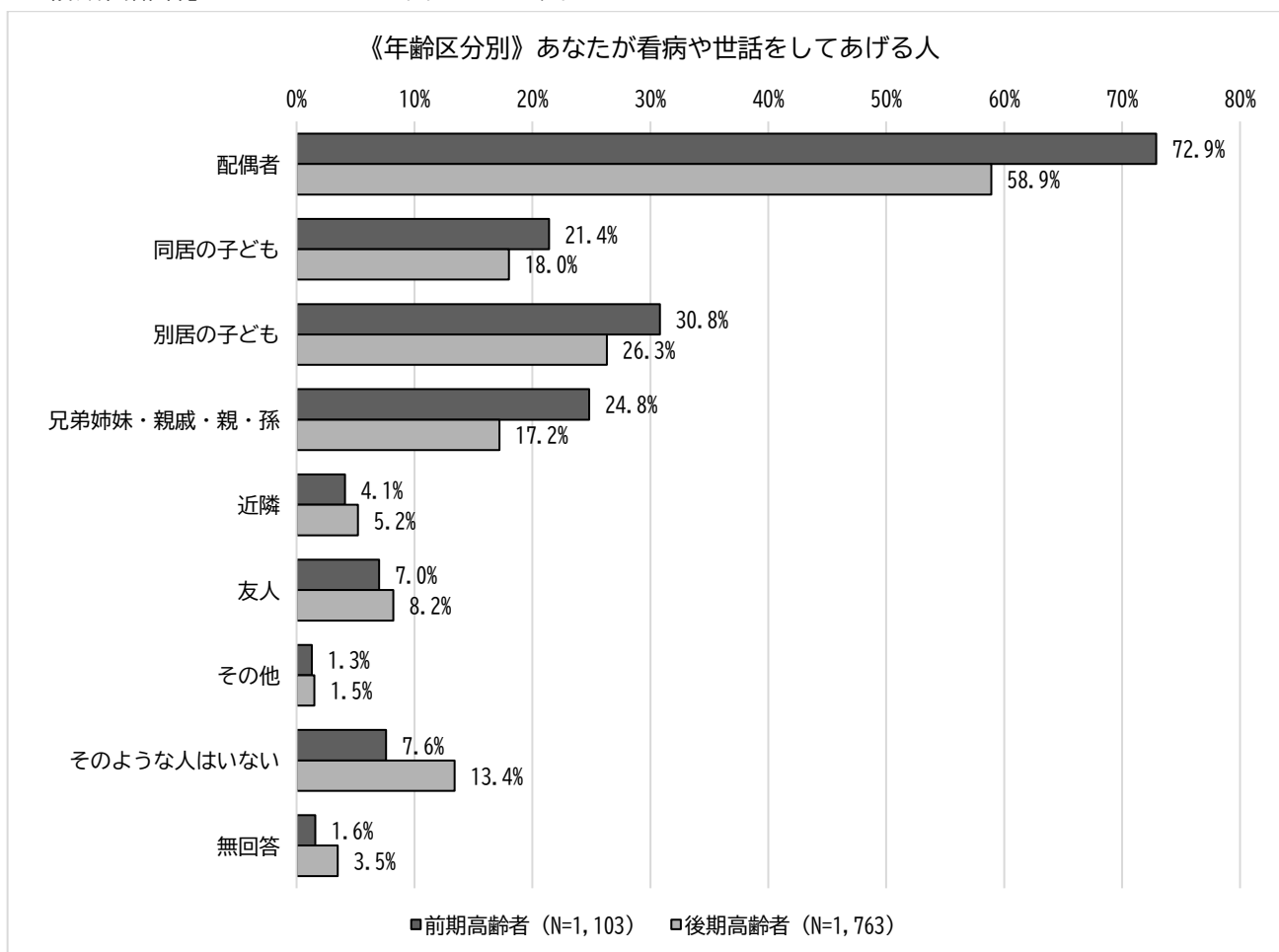
- 「人のお世話はできません」「お世話する体力なし」「自身が動けず不可能」「年齢的に無理」といった、自身の健康状態や年齢を理由に不可能とする意見が多く寄せられました。
- 「別にしてあげるよりしてもらう方では?」「今はいません」「経験なし」といった現状や、「頼まれればする」という条件付きの回答も見られました。

《年齢区分別》

「前期高齢者」は「配偶者」が72.9%と最も多く、次いで「別居の子ども」が30.8%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が24.8%、「同居の子ども」が21.4%、「後期高齢者」は「配偶者」が58.9%と最も多く、次いで「別居の子ども」が26.3%、「同居の子ども」が18.0%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が17.2%となっています。

「配偶者」は「前期高齢者」が72.9%に対し、「後期高齢者」は58.9%と、「前期高齢者」が「後期高齢者」を14.0ポイント上回り、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」は「前期高齢者」が24.8%に対し、「後期高齢者」は17.2%と、「前期高齢者」が「後期高齢者」を7.6ポイント上回り、「別居の子ども」は「前期高齢者」が30.8%に対し、「後期高齢者」は26.3%と、「前期高齢者」が「後期高齢者」を4.5ポイント上回っています。

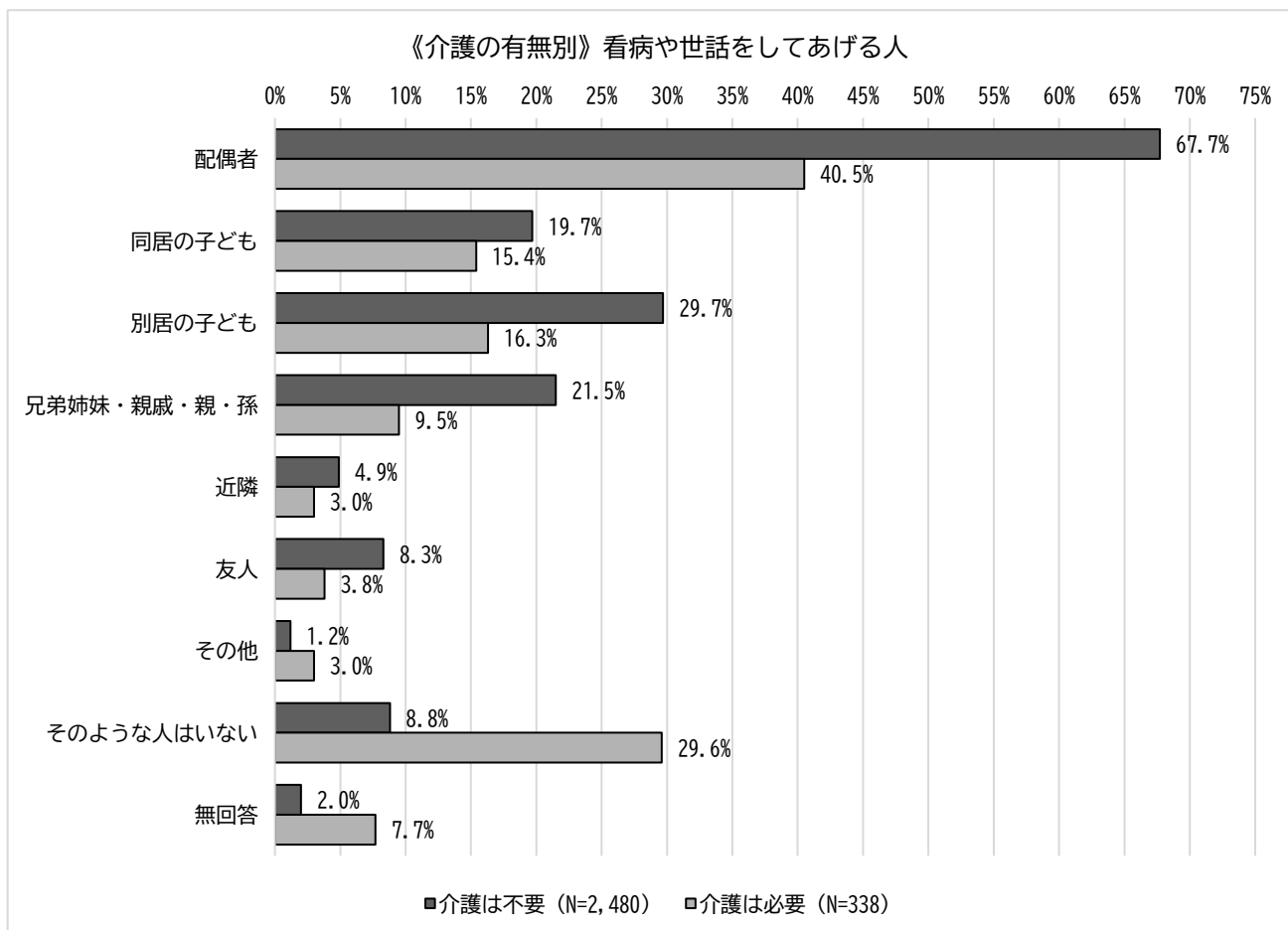
反対に、「そのような人はいない」は「後期高齢者」が13.4%に対し、「前期高齢者」は7.6%と、「後期高齢者」が「前期高齢者」を5.8ポイント上回っています。



《介護の有無別》

「介護は不要」は「配偶者」が 67.7%と最も多く、次いで「別居の子ども」が 29.7%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が 21.5%、「同居の子ども」が 19.7%、「介護は必要」は「配偶者」が 40.5%と最も多く、次いで「そのような人はいない」が 29.6%、「別居の子ども」が 16.3%、「同居の子ども」が 15.4%となっています。

「配偶者」は「介護は不要」が 67.7%に対し、「介護は必要」は 40.5%と、「介護は不要」が「介護は必要」を 27.2 ポイント上回り、「別居の子ども」は「介護は不要」が 29.7%に対し、「介護は必要」は 16.3%と、「介護は不要」が「介護は必要」を 13.4 ポイント上回り、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」は「介護は不要」が 21.5%に対し、「介護は必要」は 9.5%と、「介護は必要」が「介護は不要」を 12.0 ポイント上回っています。



《日常生活圏域別》

回答の多かった「配偶者」「別居の子ども」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」「同居の子ども」に着目して圏域ごとの比較を行います。

「配偶者」は「美加の台小学校区」が76.7%と最も多く、次いで「高向小学校区」が69.4%、「南花台小学校区」が68.7%、「天野小学校区」が68.5%、「川上小学校区」が68.1%となっています。

「別居の子ども」は「加賀田小学校区」が31.6%と最も多く、次いで「天野小学校区」が31.5%、「長野小学校区」が30.6%、「小山田小学校区」が30.5%、「千代田小学校区」が30.4%となっています。

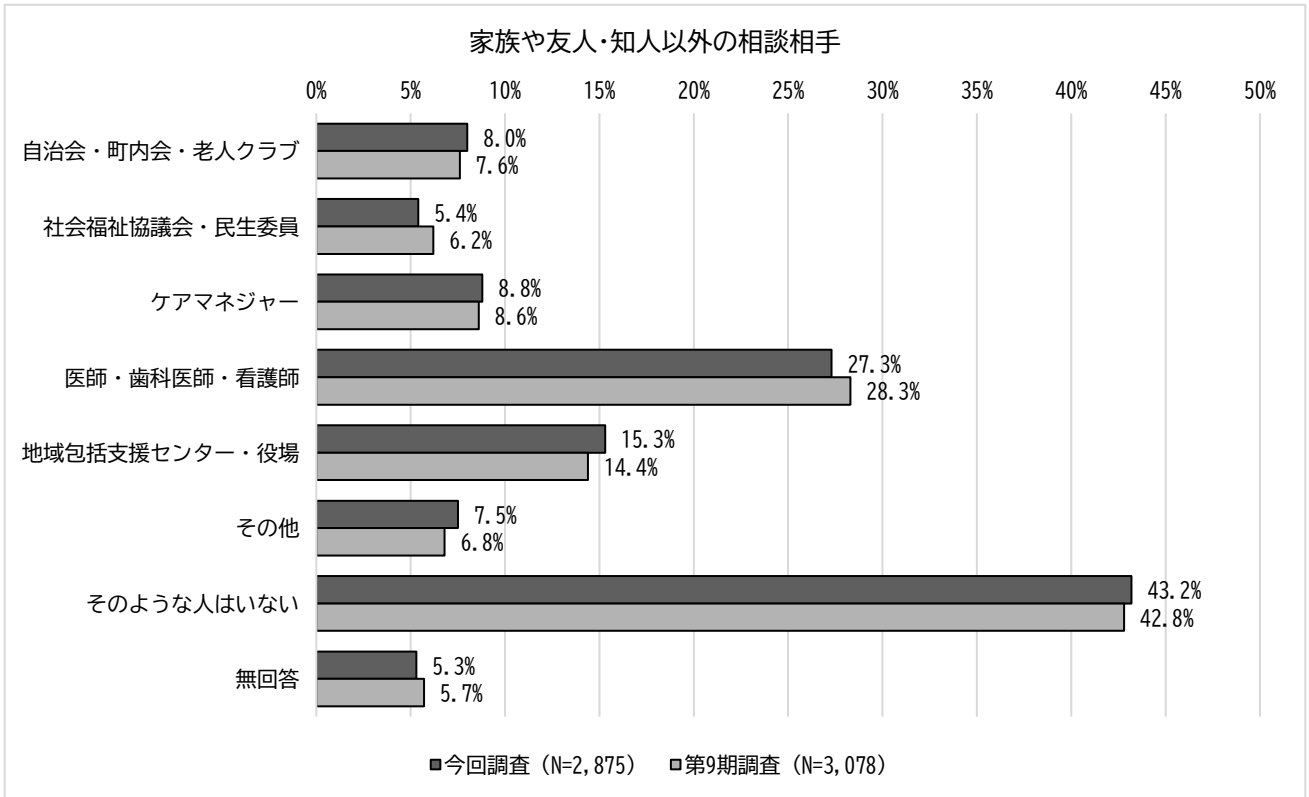
「兄弟姉妹・親戚・親・孫」は「天見小学校区」が27.8%と最も多く、次いで「三日市小学校区」が25.0%、「高向小学校区」が24.2%、「長野小学校区」が22.0%、「楠小学校区」が21.6%となっています。

「同居の子ども」は「天見小学校区」が27.8%と最も多く、次いで「長野小学校区」が22.6%、「天野小学校区」が22.2%、「高向小学校区」が21.0%、「楠小学校区」が20.5%となっています。

圏域	回答数	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
長野	314	57.6%	22.6%	30.6%	22.0%	6.1%	9.2%	2.5%	11.8%	2.9%
小山田	325	61.8%	20.3%	30.5%	18.5%	6.8%	10.5%	0.9%	10.2%	3.7%
天野	54	68.5%	22.2%	31.5%	20.4%	5.6%	7.4%	0.0%	11.1%	3.7%
高向	124	69.4%	21.0%	29.8%	24.2%	10.5%	11.3%	0.8%	8.9%	1.6%
三日市	244	60.7%	20.1%	26.6%	25.0%	4.1%	8.6%	1.2%	11.9%	2.0%
天見	36	58.3%	27.8%	25.0%	27.8%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	5.6%
川上	310	68.1%	16.8%	23.9%	18.4%	2.9%	5.5%	1.6%	11.9%	2.6%
千代田	332	59.9%	18.1%	30.4%	19.9%	3.9%	6.3%	1.8%	11.4%	2.7%
楠	292	64.4%	20.5%	25.7%	21.6%	4.1%	8.2%	1.7%	11.6%	1.0%
加賀田	206	67.0%	19.4%	31.6%	20.9%	5.3%	6.3%	1.0%	12.1%	3.4%
石仏	155	58.1%	15.5%	27.7%	14.8%	5.2%	6.5%	1.3%	9.7%	5.8%
美加の台	215	76.7%	19.5%	22.8%	20.5%	2.8%	5.6%	1.4%	9.3%	2.3%
南花台	259	68.7%	15.8%	28.6%	15.4%	3.9%	8.9%	1.2%	12.4%	2.3%

問 7-5 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください(○はいくつでも)

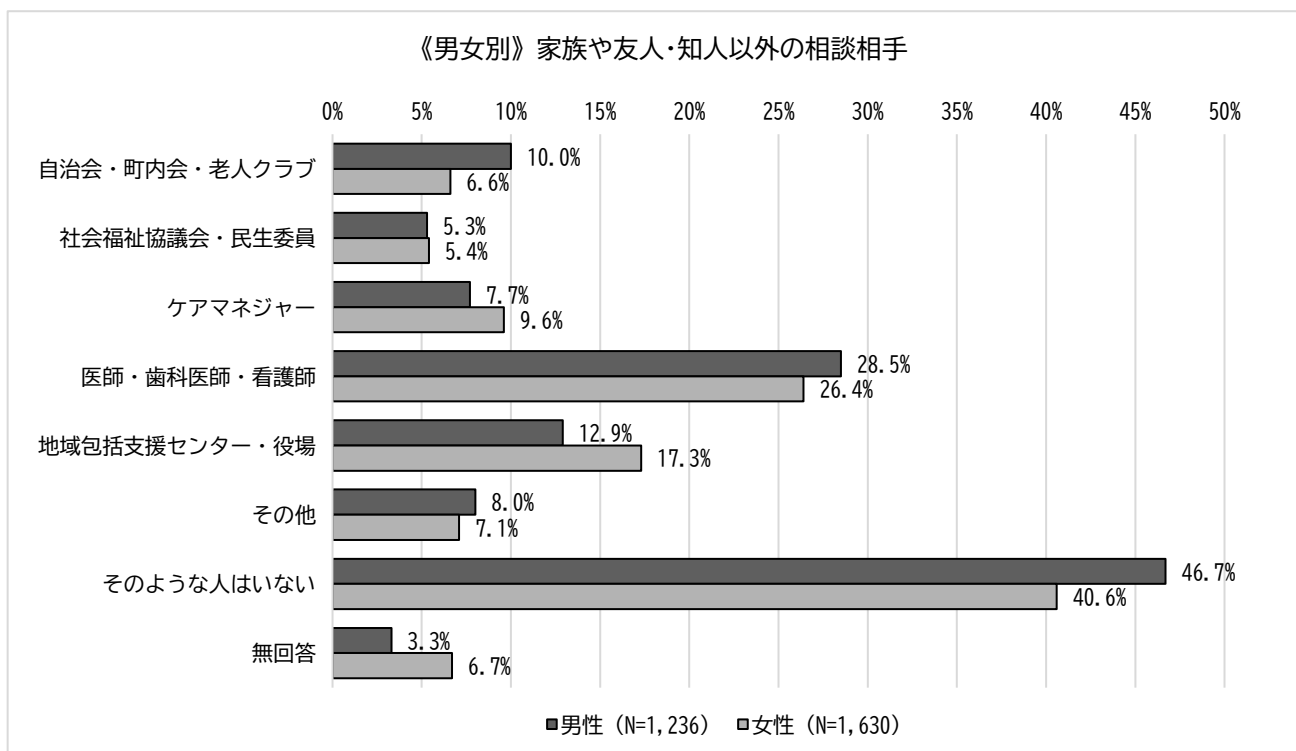
「そのような人はいない」が43.2%と最も多く、次いで「医師・歯科医師・看護師」が27.3%、「地域包括支援センター・役場」が15.3%となっており、第9期調査との有意な差はありません。



《男女別》

「男性」は「そのような人はいない」が46.7%と最も多く、次いで「医師・歯科医師・看護師」が28.5%、「地域包括支援センター・役場」が12.9%、「女性」は「そのような人はいない」が40.6%、「医師・歯科医師・看護師」が26.4%、「地域包括支援センター・役場」が17.3%となっています。

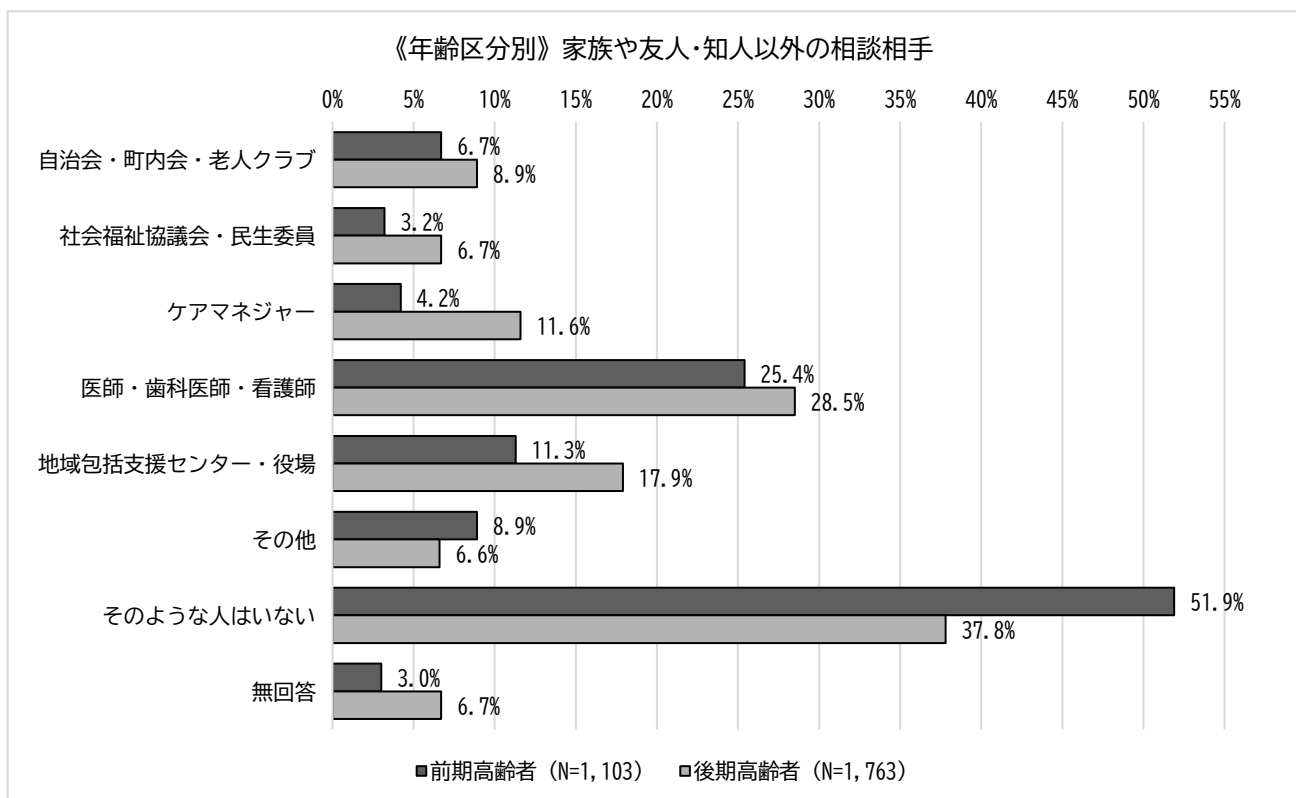
「そのような人はいない」は「男性」が46.7%に対し、「女性」は40.6%と、「男性」が「女性」を6.1ポイント上回り、「地域包括支援センター・役場」は「女性」が17.3%に対し、「男性」は12.9%と、「女性」が「男性」を4.4ポイント上回っています。



《年齢区分別》

「前期高齢者」は「そのような人はいない」が 51.9%と最も多く、次いで「医師・歯科医師・看護師」が 25.4%、「地域包括支援センター・役場」が 11.3%、「後期高齢者」は「そのような人はいない」が 37.8%と最も多く、次いで「医師・歯科医師・看護師」が 28.5%、「地域包括支援センター・役場」が 17.9%、「ケアマネジャー」が 11.6%となっています。

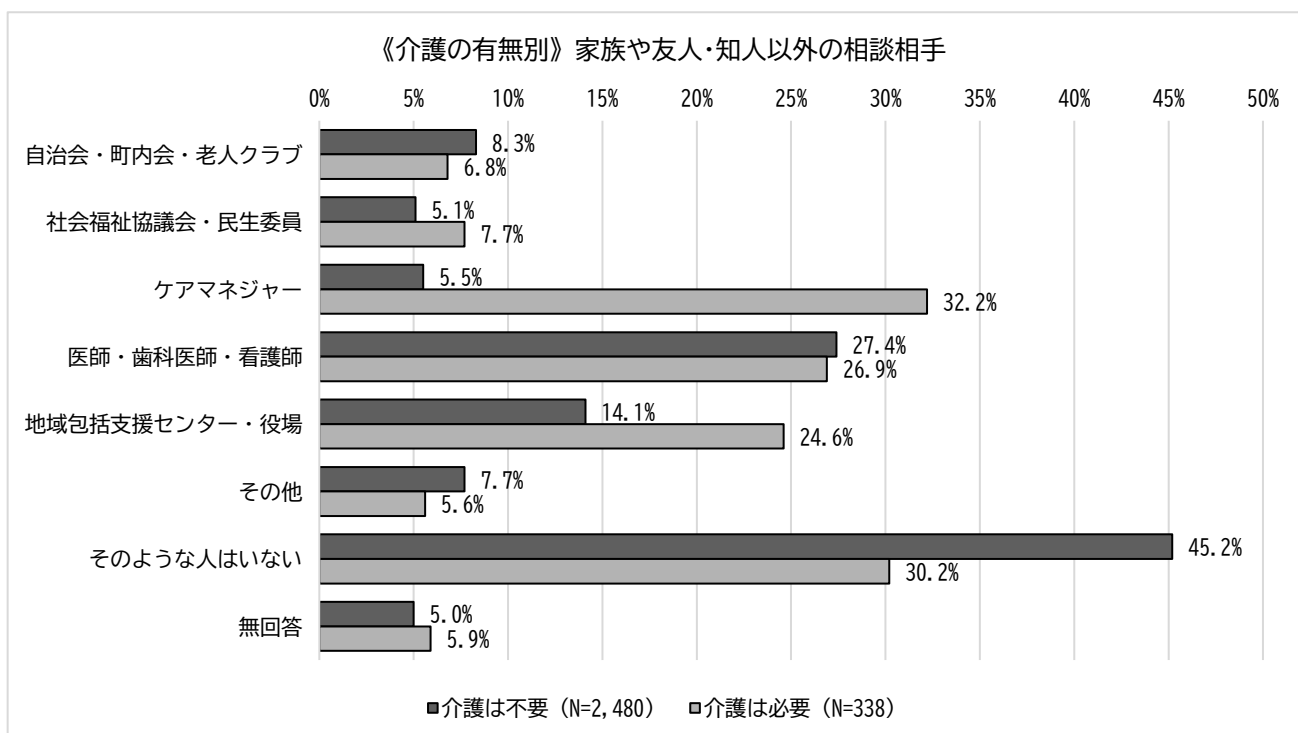
「そのような人はいない」は「前期高齢者」が 51.9%に対し、「後期高齢者」は 37.8%と、「前期高齢者」が「後期高齢者」を 14.1 ポイント上回り、「ケアマネジャー」は「後期高齢者」が 11.6%に対し、「前期高齢者」は 4.2%と、「後期高齢者」が「前期高齢者」を 7.4 ポイント上回り、「地域包括支援センター・役場」は「後期高齢者」が 17.9%に対し、「前期高齢者」は 11.3%と、「後期高齢者」が「前期高齢者」を 6.6 ポイント上回っています。



《介護の有無別》

「介護は不要」は「そのような人はいない」が 45.2%と最も多く、次いで「医師・歯科医師・看護師」が 27.4%、「地域包括支援センター・役場」が 14.1%、「介護は必要」はケアマネジャー」が 32.2%と最も多く、「そのような人はいない」が 30.2%、「医師・歯科医師・看護師」が 26.9%、「地域包括支援センター・役場」が 24.6%となっています。

「そのような人はいない」は「介護は不要」が45.2%に対し、「介護は必要」は 30.2%と、「介護は不要」が「介護は必要」を 15.0 ポイント上回り、「ケアマネジャー」は「介護は必要」が32.2%に対し、「介護は不要」は 5.5%と、「介護は必要」が「介護は不要」を 26.7 ポイント上回り、「地域包括支援センター・役場」は「介護は必要」が 24.6%に対し、「介護は不要」は 14.1%と、「介護は必要」が「介護は不要」を 10.5 ポイント上回っています。



《日常生活圏域別》

回答の多かった「そのような人はいない」「医師・歯科医師・看護師」「地域包括支援センター・役場」に着目して圏域ごとの比較を行います。

「そのような人はいない」は「天野小学校区」が55.6%と最も多く、次いで「川上小学校区」が49.0%、「美加の台小学校区」が48.8%、「加賀田小学校区」が46.6%、「楠小学校区」が44.5%となっています。

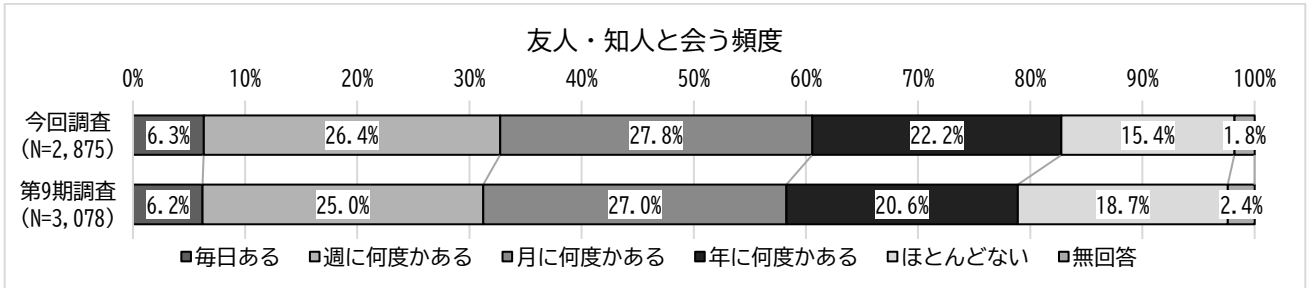
「医師・歯科医師・看護師」は「石仏小学校区」が32.9%と最も多く、次いで「小山田小学校区」が30.8%、「南花台小学校区」が30.1%、「楠小学校区」が28.8%、「高向小学校区」が28.2%となっています。

「地域包括支援センター・役場」は「高向小学校区」が23.4%と最も多く、次いで「小山田小学校区」が18.8%、「千代田小学校区」が18.4%、「加賀田小学校区」が18.0%、「天見小学校区」が16.7%となっています。

圏域	回答数	自治会・町内会・「老人クラブ」	社会福祉協議会・民生委員	ケアマネジャー	医師・歯科医師・看護師	地域包括支援センター・役場	その他	そのような人はいない	無回答
長野	314	9.6%	5.1%	9.2%	25.5%	15.3%	7.6%	41.1%	5.7%
小山田	325	10.2%	7.1%	12.9%	30.8%	18.8%	4.3%	36.9%	7.1%
天野	54	5.6%	0.0%	5.6%	18.5%	9.3%	7.4%	55.6%	1.9%
高向	124	16.1%	8.1%	6.5%	28.2%	23.4%	5.6%	33.9%	7.3%
三日市	244	7.0%	6.1%	10.7%	25.4%	15.2%	9.8%	42.6%	4.9%
天見	36	11.1%	8.3%	5.6%	22.2%	16.7%	2.8%	44.4%	11.1%
川上	310	7.4%	4.5%	7.1%	25.2%	12.9%	6.8%	49.0%	5.8%
千代田	332	7.5%	5.7%	12.0%	26.2%	18.4%	6.6%	42.2%	4.2%
楠	292	6.5%	5.1%	6.5%	28.8%	15.4%	7.2%	44.5%	4.5%
加賀田	206	11.2%	3.4%	7.8%	25.7%	18.0%	7.3%	46.6%	3.9%
石仏	155	7.7%	4.5%	8.4%	32.9%	10.3%	7.7%	40.6%	5.8%
美加の台	215	3.3%	3.3%	2.8%	26.5%	14.0%	10.7%	48.8%	4.7%
南花台	259	5.8%	6.9%	9.7%	30.1%	10.0%	10.0%	42.9%	4.6%

問 7-6 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか(○はひとつ)

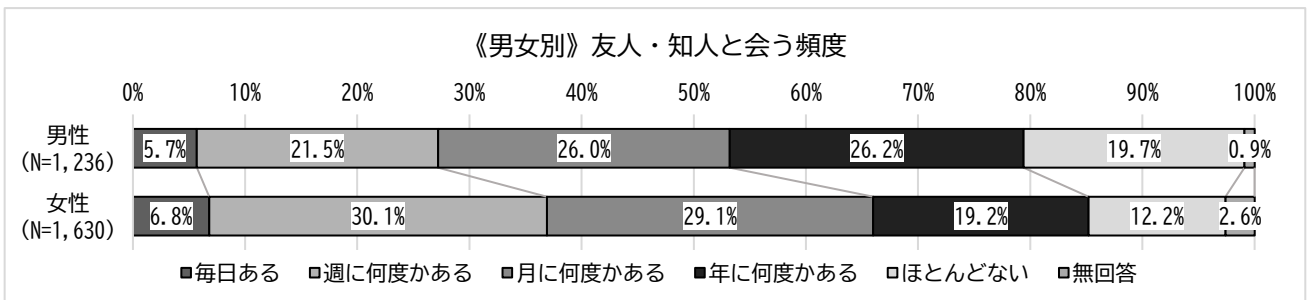
「月に何度かある」が27.8%と最も多く、次いで「週に何度かある」が26.4%、「年に何度かある」が22.2%、「ほとんどない」が15.4%となっており、第9期調査と比較すると、「ほとんどない」が18.7%から15.4%へと3.3ポイント減少しています。



《男女別》

「男性」は「年に何度かある」が26.2%と最も多く、次いで「月に何度かある」が26.0%、「週に何度かある」が21.5%、「ほとんどない」が19.7%、「女性」は「週に何度かある」が30.1%、「月に何度かある」が29.1%、「年に何度かある」が19.2%、「ほとんどない」が12.2%となっています。

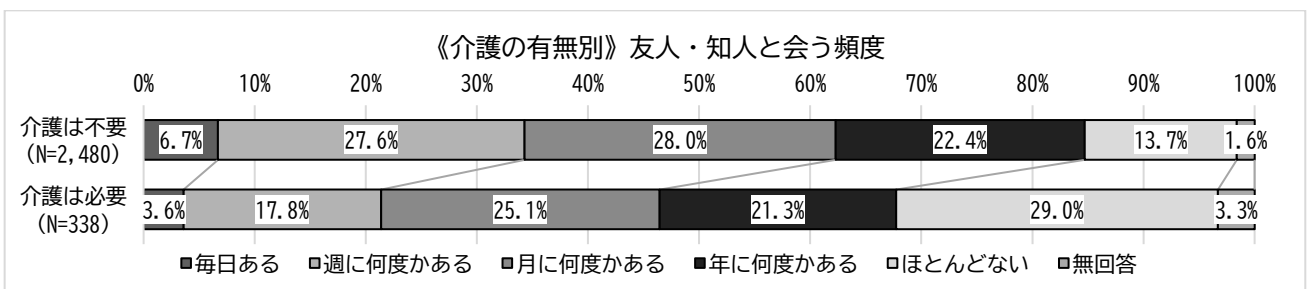
「週に何度かある」は「女性」が30.1%、「男性」は21.5%と、「女性」が「男性」を8.6ポイント上回り、「ほとんどない」は「男性」が19.7%に対し、「女性」は12.2%と、「男性」が「女性」を7.5ポイント上回り、「年に何度かある」は「男性」が26.2%に対し、「女性」は19.2%と、「男性」が「女性」を7.0ポイント上回っています。



《介護の有無別》

「介護は不要」は「月に何度かある」が28.0%と最も多く、次いで「週に何度かある」が27.6%、「年に何度かある」が22.4%、「ほとんどない」が13.7%、「介護は必要」は「ほとんどない」が29.0%と最も多く、次いで「月に何度かある」が25.1%、「年に何度かある」が21.3%、「週に何度かある」が17.8%となっています。

「週に何度かある」は「介護は不要」が27.6%に対し、「介護は必要」は17.8%と、「介護は不要」が「介護は必要」を9.8ポイント上回り、「ほとんどない」は「介護は必要」が29.0%に対し、「介護は不要」は13.7%と、「介護は必要」が「介護は不要」を15.3ポイント上回っています。



《日常生活圏域別》

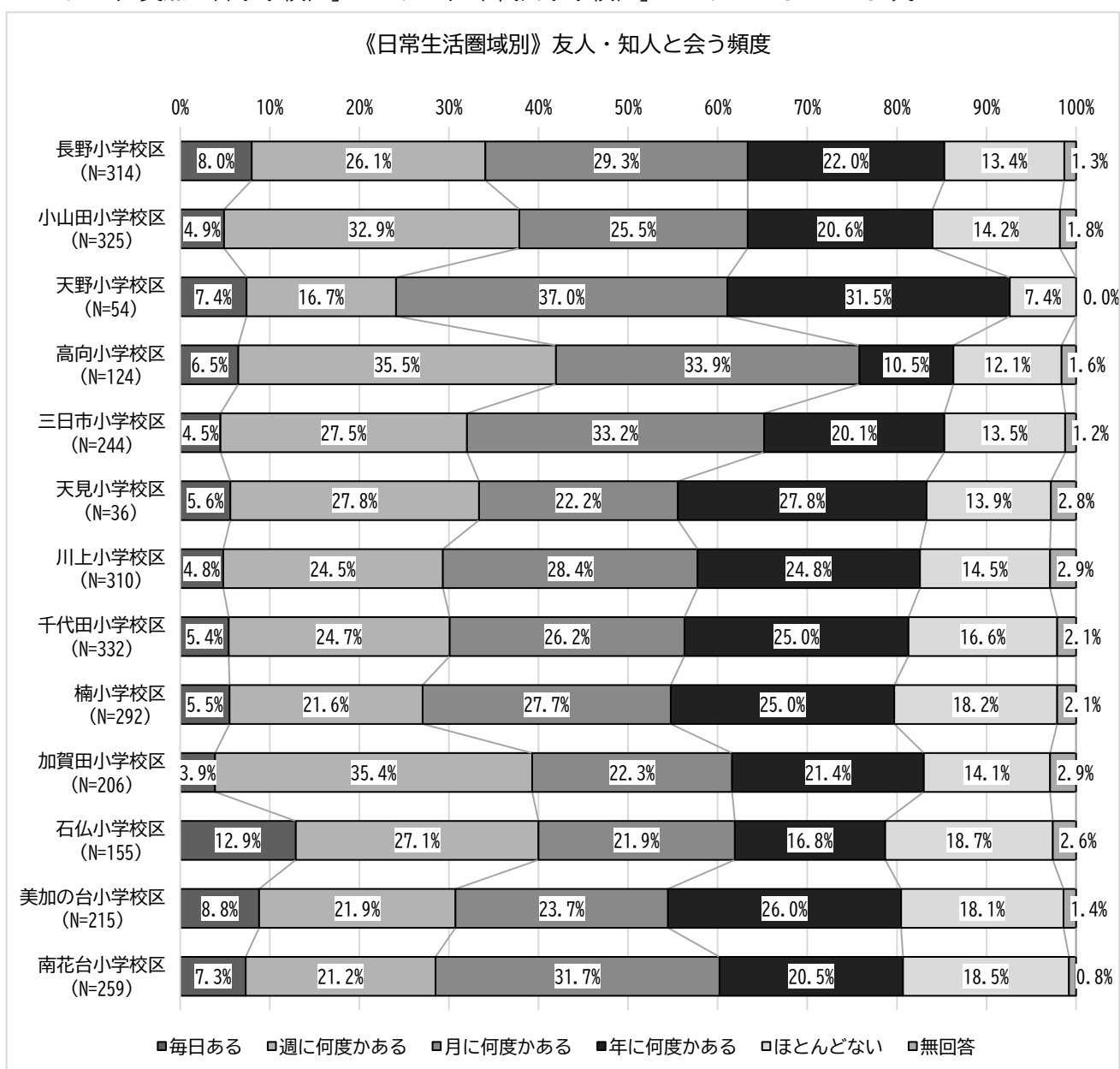
回答の多かった「月に何度かある」「週に何度かある」「年に何度かある」「ほとんどない」に着目して圏域ごとの比較を行います。

「月に何度かある」は「天野小学校区」が 37.0%と最も多く、次いで「高向小学校区」が 33.9%、「三日市小学校区」が 33.2%、「南花台小学校区」が 31.7%、「長野小学校区」が 29.3%となっています。

「週に何度かある」は「高向小学校区」が 35.5%と最も多く、次いで「加賀田小学校区」が 35.4%、「小山田小学校区」が 32.9%、「天見小学校区」が 27.8%、「三日市小学校区」が 27.5%となっています。

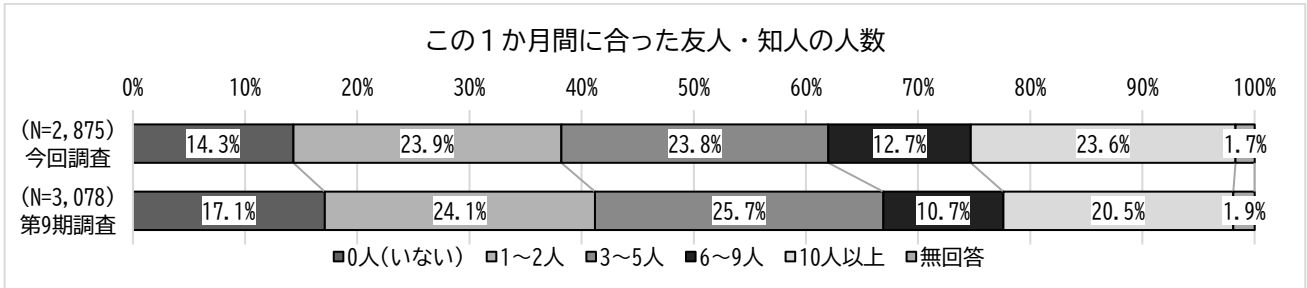
「年に何度かある」は「天野小学校区」が 31.5%と最も多く、次いで「天見小学校区」が 27.8%、「美加の台小学校区」が 26.0%、「千代田小学校区」と「楠小学校区」が共に 25.0%となっています。

「ほとんどない」は「石仏小学校区」が 18.7%と最も多く、次いで「南花台小学校区」が 18.5%、「楠小学校区」が 18.2%、「美加の台小学校区」が 18.1%、「千代田小学校区」が 16.6%となっています。



問 7-7 この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか(〇はひとつ)

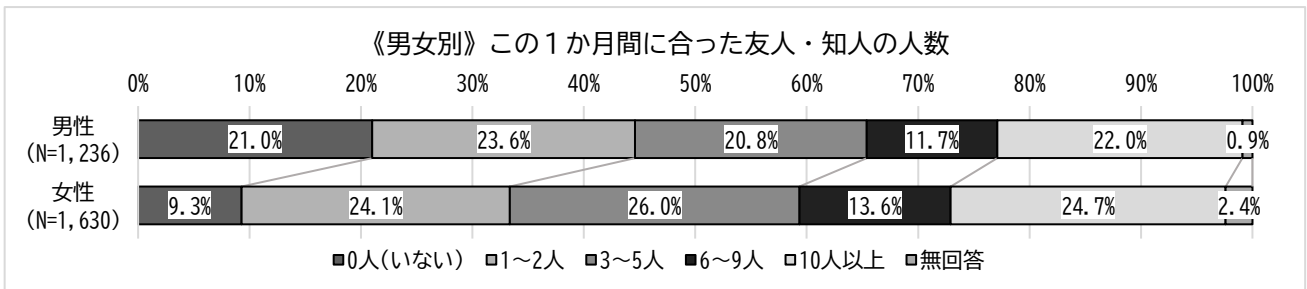
「1～2人」が23.9%と最も多く、次いで「3～5人」が23.8%、「10人以上」が23.6%、「0人(いない)」が14.3%となっており、第9期調査と比較すると、「10人以上」は20.5%から23.6%へと3.1ポイント増加し、「0人(いない)」は17.1%から14.3%へと2.8ポイント減少しています。



《男女別》

「男性」は「1～2人」が23.6%と最も多く、次いで「10人以上」が22.0%、「0人(いない)」が21.0%、「3～5人」が20.8%、「女性」は「3～5人」が26.0%と最も多く、「10人以上」が24.7%、「1～2人」が24.1%、「6～9人」が13.6%となっています。

「3～5人」は「女性」が26.0%に対し、「男性」は20.8%と、「女性」が「男性」を5.2ポイント上回り、「0人(いない)」は「男性」が21.0%に対し、「女性」は9.3%と、「男性」が「女性」を11.7ポイント上回っています。

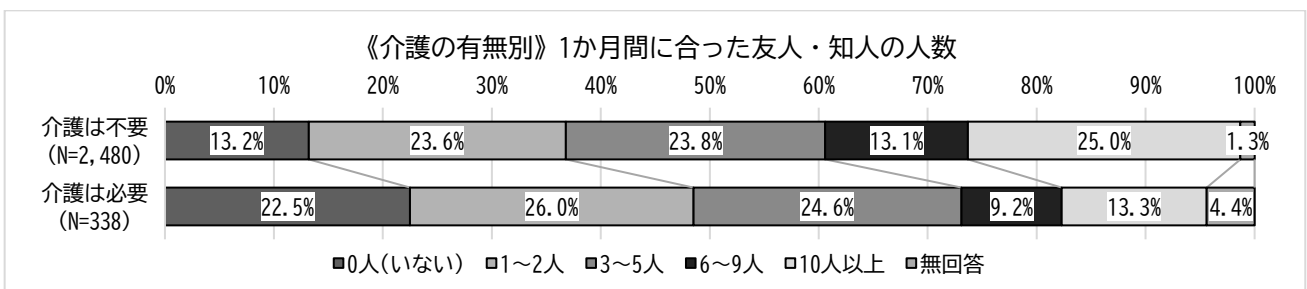


《介護の有無別》

「介護は不要」は「10人以上」が25.0%、「3～5人」が23.8%、「1～2人」が23.6%、「0人(いない)」が13.2%、「6～9人」が13.1%、「介護は必要」は「1～2人」が26.0%と最も多く、「3～5人」が24.6%、「0人(いない)」が22.5%、「10人以上」が13.3%、「6～9人」が9.2%となっています。

「10人以上」は「介護は不要」が25.0%に対し、「介護は必要」は13.3%と、「介護は不要」が「介護は必要」を11.7ポイント上回り、「6～9人」は「介護は不要」が13.1%に対し、「介護は必要」は9.2%と、「介護は不要」が「介護は必要」を3.9ポイント上回っています。

反対に、「0人(いない)」は「介護は必要」が22.5%に対し、「介護は不要」は13.2%と、「介護は必要」が「介護は不要」を9.3ポイント上回っています。



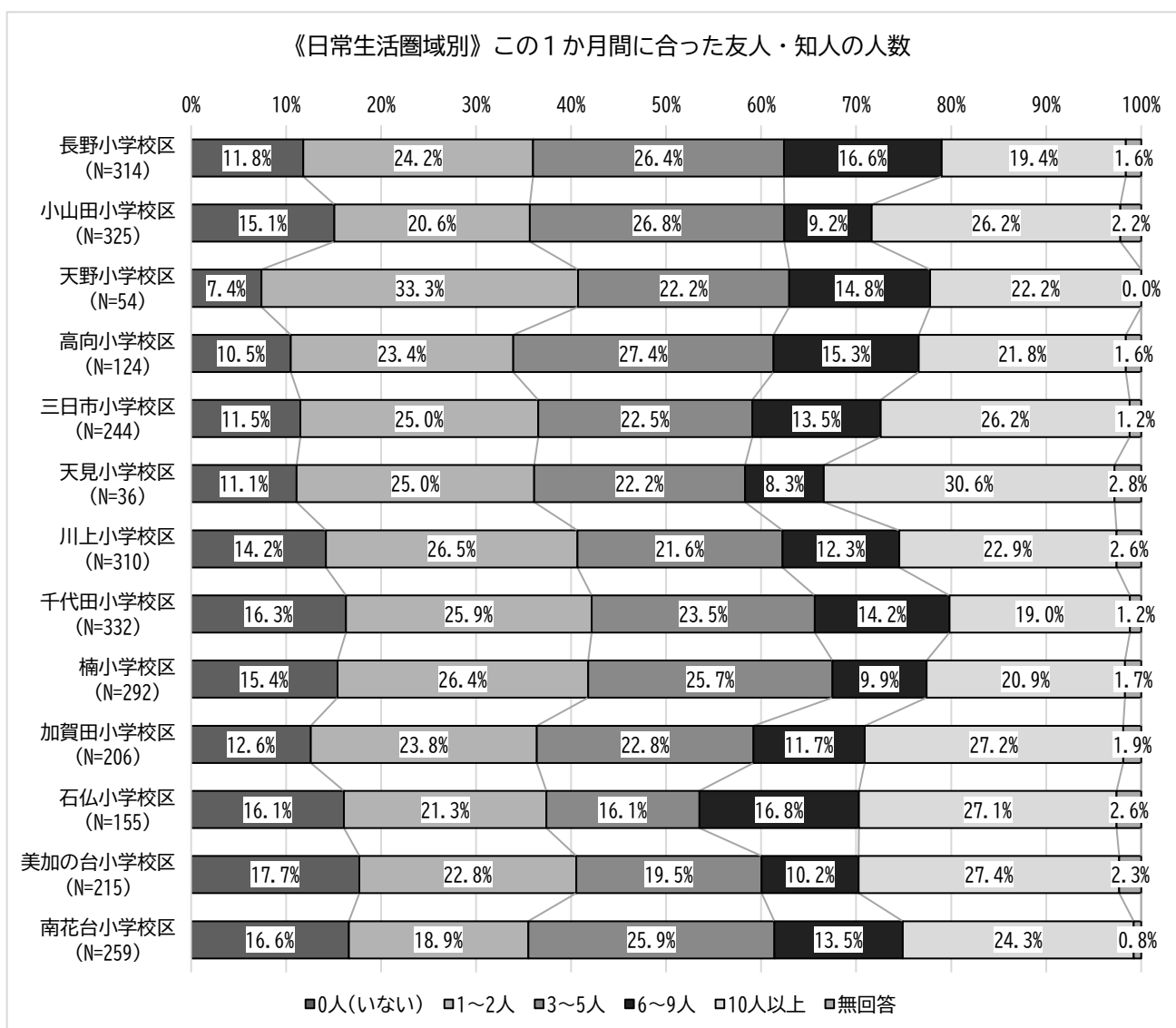
《日常生活圏域別》

回答の多かった「1～2人」「3～5人」「10人以上」に着目して圏域ごとの比較を行います。

「1～2人」は「天野小学校区」が33.3%と最も多く、次いで「川上小学校区」が26.5%、「楠小学校区」が26.4%、「千代田小学校区」が25.9%、「三日市小学校区」と「天見小学校区」が共に25.0%となっています。

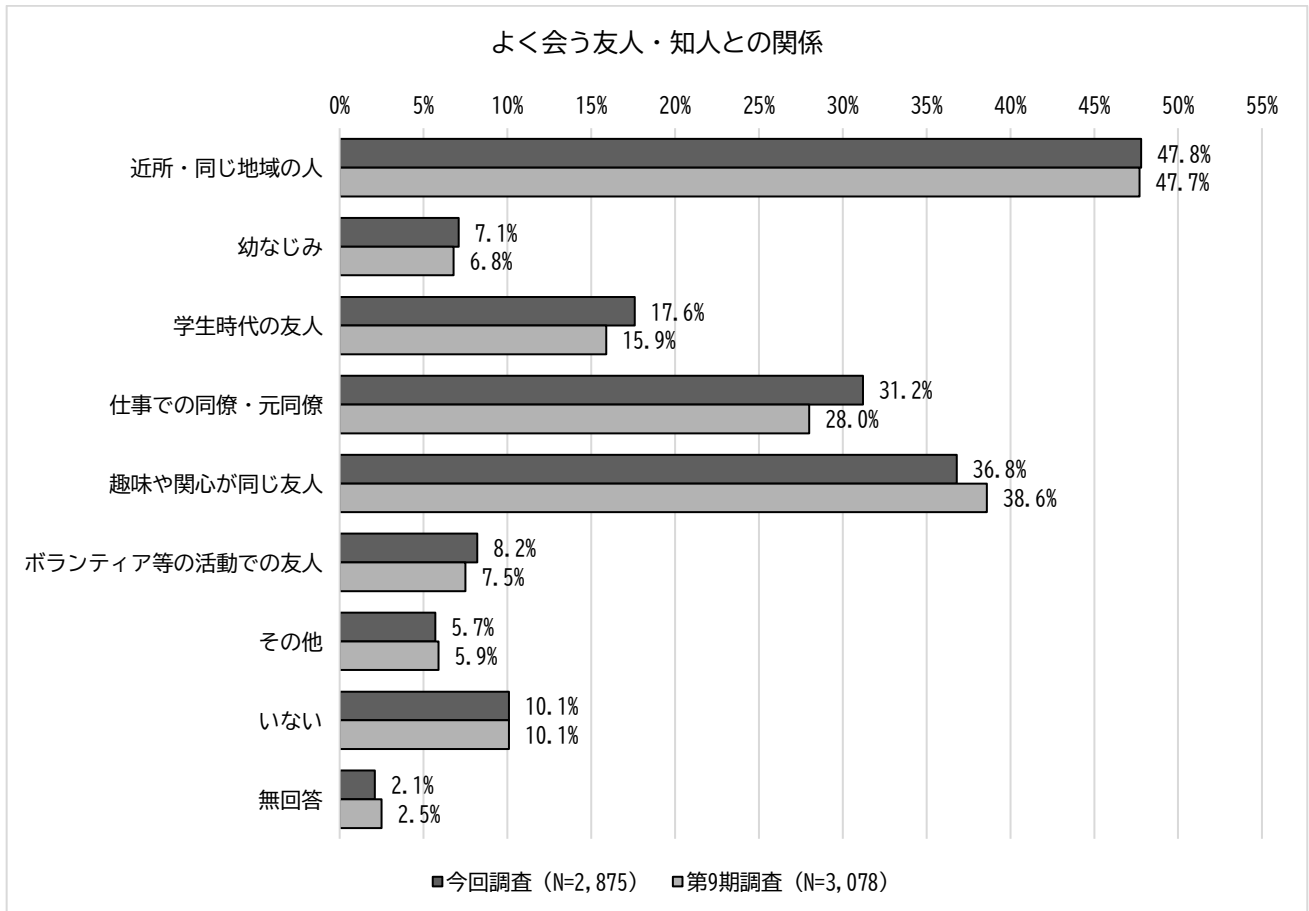
「3～5人」は「高向小学校区」が27.4%と最も多く、次いで「小山田小学校区」が26.8%、「長野小学校区」が26.4%、「南花台小学校区」が25.9%、「楠小学校区」が25.7%となっています。

「10人以上」は「天見小学校区」が30.6%と最も多く、次いで「美加の台小学校区」が27.4%、「加賀田小学校区」が27.2%、「石仏小学校区」が27.1%、「小山田小学校区」と、「三日市小学校区」が共に26.2%となっています。



問 7-8 よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか(○はいくつでも)

「近所・同じ地域の人」が 47.8%と最も多く、次いで「趣味や関心が同じ友人」が 36.8%、「仕事での同僚・元同僚」が 31.2%、「学生時代の友人」が 17.6%となっており、第 9 期調査との有意な差はありません。

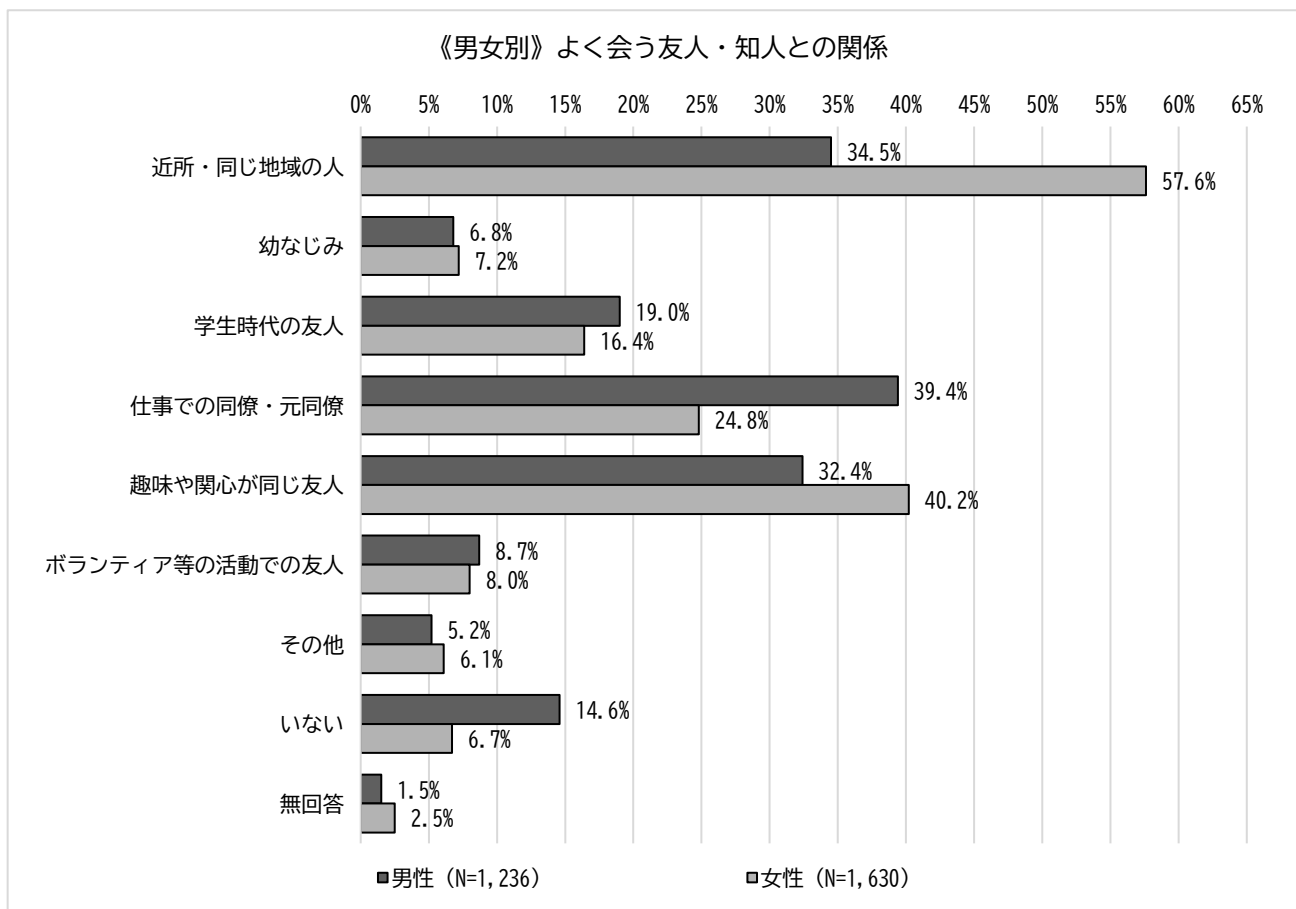


《男女別》

「男性」は「仕事での同僚・元同僚」が 39.4%と最も多く、次いで「近所・同じ地域の人」が 34.5%、「趣味や関心が同じ友人」が 32.4%、「女性」は「近所・同じ地域の人」が 57.6%と最も多く、次いで「趣味や関心が同じ友人」が 40.2%、「仕事での同僚・元同僚」が 24.8%となっています。

「近所・同じ地域の人」は「女性」が 57.6%に対し、「男性」は 34.5%と、「女性」が「男性」を 23.1 ポイント上回り、「趣味や関心が同じ友人」は「女性」が 40.2%に対し、「男性」は 32.4%と、「女性」が「男性」を 7.8 ポイント上回っています。

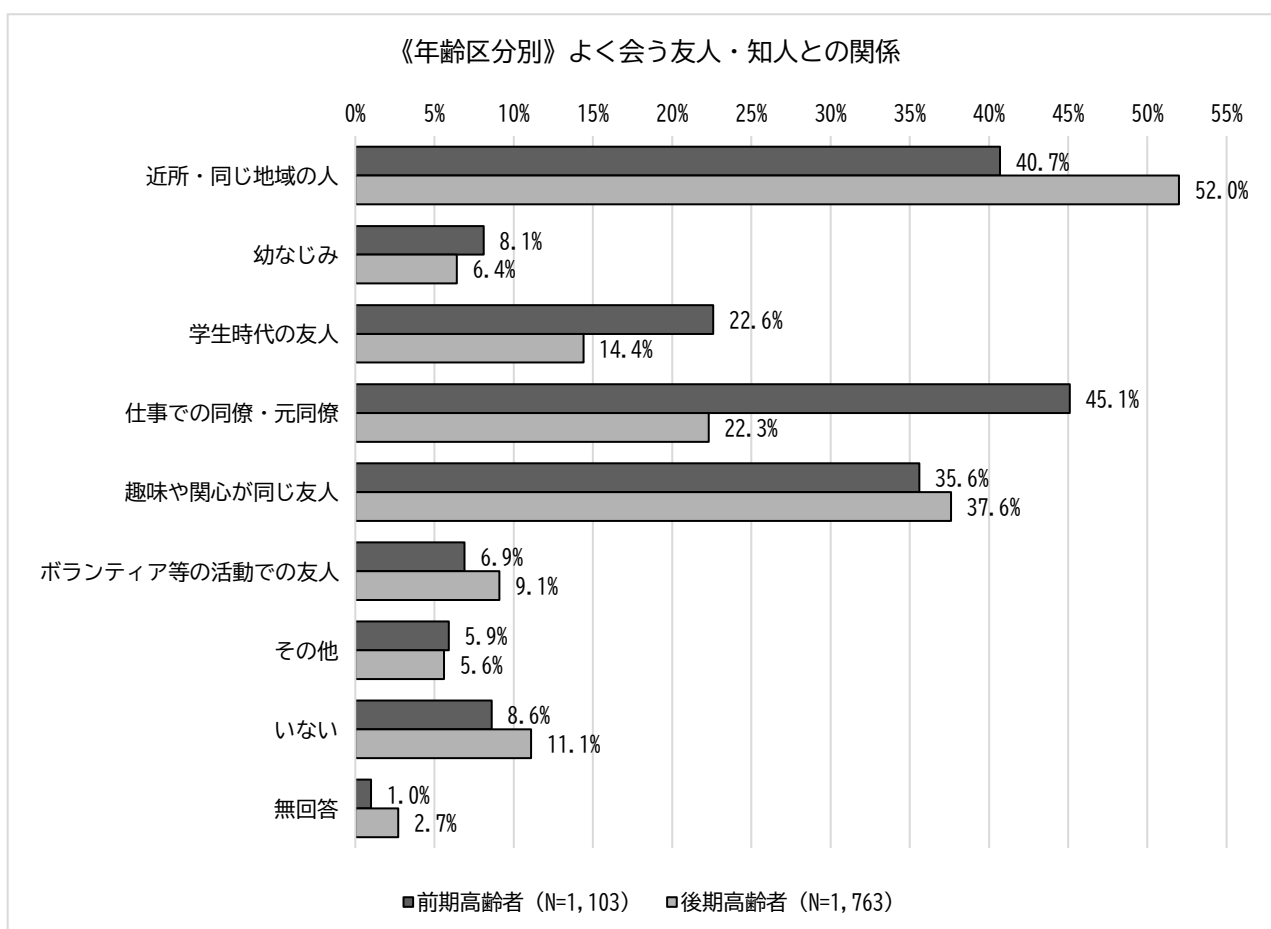
反対に、「仕事での同僚・元同僚」は「男性」が 39.4%に対し、「女性」は 24.8%と、「男性」が「女性」を 14.6 ポイント上回り、「いない」は「男性」が 14.6%に対し、「女性」は 6.7%と、「男性」が「女性」を 7.9 ポイント上回っています。



《年齢区分別》

「前期高齢者」は「仕事での同僚・元同僚」が 45.1%と最も多く、次いで「近所・同じ地域の人」が 40.7%、「趣味や関心が同じ友人」が 35.6%、「学生時代の友人」が 22.6%、「後期高齢者」は「近所・同じ地域の人」が 52.0%と最も多く、次いで「趣味や関心が同じ友人」が 37.6%、「仕事での同僚・元同僚」が 22.3%、「学生時代の友人」が 14.4%となっています。

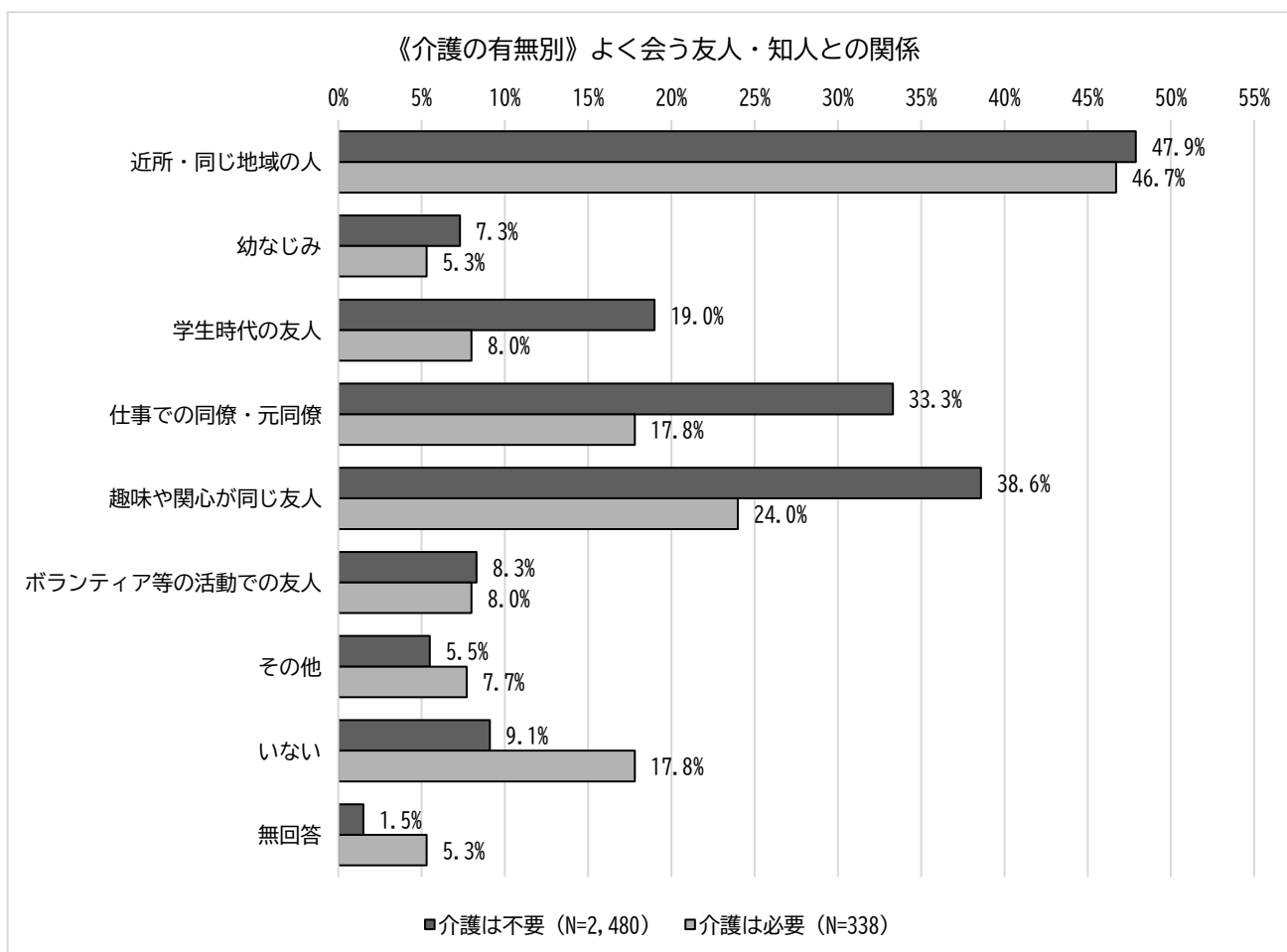
「近所・同じ地域の人」は「後期高齢者」が 52.0%に対し、「前期高齢者」は 40.7%と、「後期高齢者」が「前期高齢者」を 11.3 ポイント上回り、「仕事での同僚・元同僚」は「前期高齢者」が 45.1%に対し、「後期高齢者」は 22.3%と、「前期高齢者」が「後期高齢者」を 22.8 ポイント上回り、「学生時代の友人」は「前期高齢者」が 22.6%に対し、「後期高齢者」は 14.4%と、「前期高齢者」が「後期高齢者」を 8.2 ポイント上回っています。



《介護の有無別》

「介護は不要」は「近所・同じ地域の人」が 47.9%と最も多く、次いで「趣味や関心が同じ友人」が 38.6%、「仕事での同僚・元同僚」が 33.3%、「学生時代の友人」が 19.0%、「介護は必要」は「近所・同じ地域の人」が 46.7%と最も多く、次いで「趣味や関心が同じ友人」が 24.0%、「仕事での同僚・元同僚」と「いない」が共に 17.8%となっています。

「仕事での同僚・元同僚」は「介護は不要」が 33.3%に対し、「介護は必要」は 17.8%と、「介護は不要」が「介護は必要」を 15.5 ポイント上回り、「趣味や関心が同じ友人」は「介護は不要」が 38.6%に対し、「介護は必要」は 24.0%と、「介護は不要」が「介護は必要」を 14.6 ポイント上回り、「学生時代の友人」は「介護は不要」が 19.0%に対し、「介護は必要」は 8.0%と、「介護は不要」が「介護は必要」を 11.0 ポイント上回っています。



《日常生活圏域別》

回答の多かった「近所・同じ地域の人」「趣味や関心が同じ友人」「仕事での同僚・元同僚」に着目して圏域ごとの比較を行います。

「近所・同じ地域の人」は「高向小学校区」が 62.1%と最も多く、次いで「天見小学校区」が 61.1%、「小山田小学校区」が 57.2%、「長野小学校区」が 53.5%、「石仏小学校区」が 52.9%となっています。

「趣味や関心が同じ友人」は「天野小学校区」が 48.1%と最も多く、次いで「加賀田小学校区」が 42.7%、「南花台小学校区」が 41.3%、「小山田小学校区」と「川上小学校区」が共に 39.7%となっています。

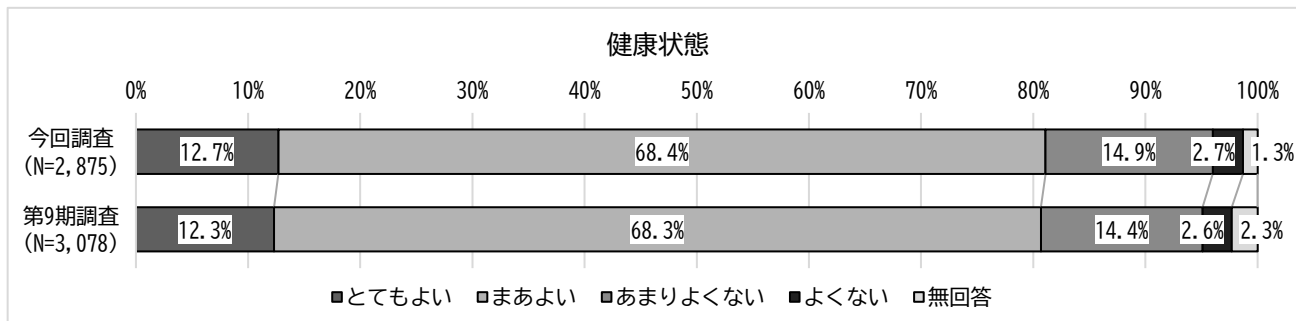
「仕事での同僚・元同僚」は「天野小学校区」が 38.9%と最も多く、次いで「美加の台小学校区」が 38.1%、「楠小学校区」が 33.9%、「千代田小学校区」が 33.7%、「高向小学校区」が 33.1%となっています。

圏域	回答数	近所・同じ地域の人	幼なじみ	学生時代の友人	仕事での同僚・元同僚	趣味や関心が同じ友人	ボランティア等の活動での友人	その他	いない	無回答
長野	314	53.5%	8.9%	17.2%	29.9%	34.4%	8.6%	5.7%	9.6%	1.6%
小山田	325	57.2%	6.5%	14.8%	24.3%	39.7%	7.7%	7.1%	8.6%	3.1%
天野	54	40.7%	0.0%	18.5%	38.9%	48.1%	11.1%	9.3%	1.9%	0.0%
高向	124	62.1%	5.6%	16.9%	33.1%	24.2%	10.5%	2.4%	6.5%	2.4%
三日市	244	48.0%	11.9%	20.9%	32.0%	34.8%	9.8%	7.0%	7.4%	1.6%
天見	36	61.1%	22.2%	16.7%	30.6%	36.1%	16.7%	2.8%	2.8%	2.8%
川上	310	43.9%	3.2%	17.7%	31.9%	39.7%	6.8%	6.1%	12.3%	1.9%
千代田	332	41.9%	6.9%	17.8%	33.7%	32.8%	7.2%	6.9%	10.2%	2.1%
楠	292	41.8%	5.5%	17.5%	33.9%	35.3%	6.5%	5.8%	12.0%	1.4%
加賀田	206	49.0%	8.7%	18.0%	28.2%	42.7%	7.8%	4.9%	9.7%	1.9%
石仏	155	52.9%	3.9%	12.3%	23.2%	36.8%	10.3%	3.2%	10.3%	3.2%
美加の台	215	38.6%	8.4%	19.1%	38.1%	36.3%	5.6%	6.5%	10.2%	2.8%
南花台	259	42.9%	6.9%	19.3%	31.7%	41.3%	10.8%	3.1%	15.1%	1.5%

問 8 健康について

問 8-1 現在のあなたの健康状態はいかがですか(○はひとつ)

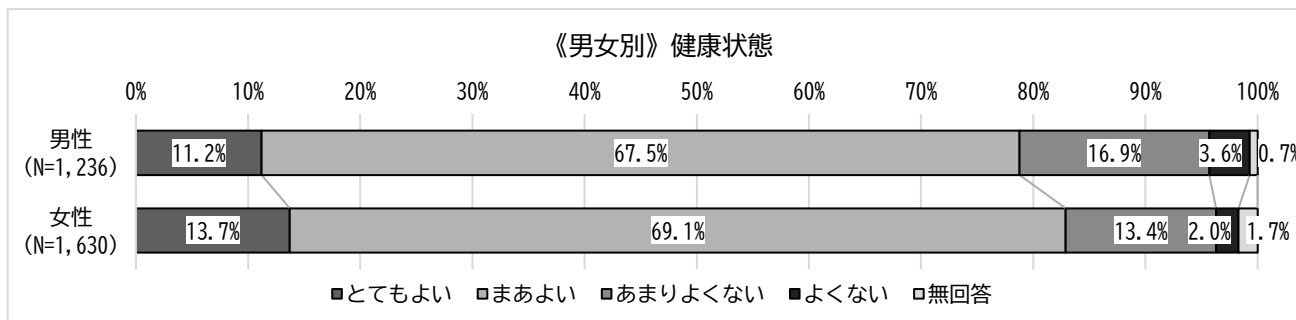
「まあよい」が 68.4%と最も多く、次いで「あまりよくない」が 14.9%、「とてもよい」が 12.7%となっており、第 9 期調査との有意な差はありません。



《男女別》

「男性」は「まあよい」が 67.5%と最も多く、次いで「あまりよくない」が 16.9%、「とてもよい」が 11.2%、「女性」は「まあよい」が 69.1%と最も多く、次いで「とてもよい」が 13.7%、「あまりよくない」が 13.4%となっています。

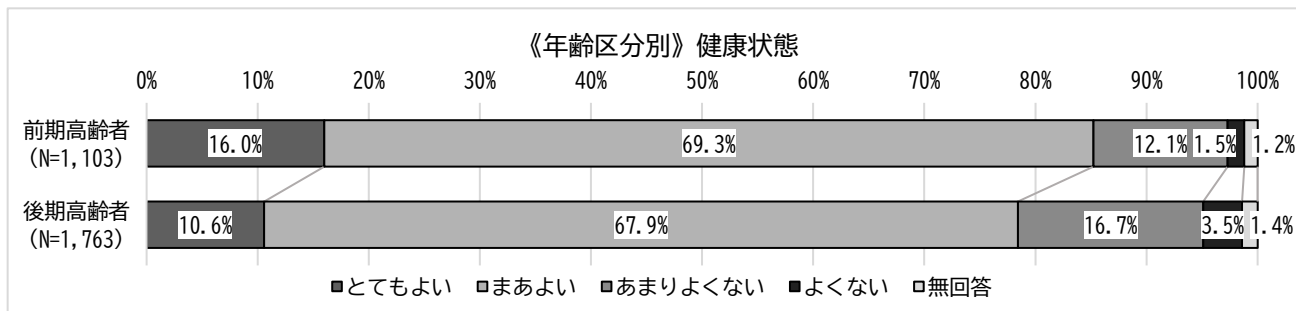
「まあよい」と「とてもよい」を合わせた「よい」に着目すると、「女性」が 82.8%に対し、「男性」は 78.7%と、「女性」が「男性」を 4.1 ポイント上回っています。



《年齢区分別》

「前期高齢者」は「まあよい」が 69.3%と最も多く、次いで「とてもよい」が 16.0%、「あまりよくない」が 12.1%、「後期高齢者」は「まあよい」が 67.9%と最も多く、次いで「あまりよくない」が 16.7%、「とてもよい」が 10.6%となっています。

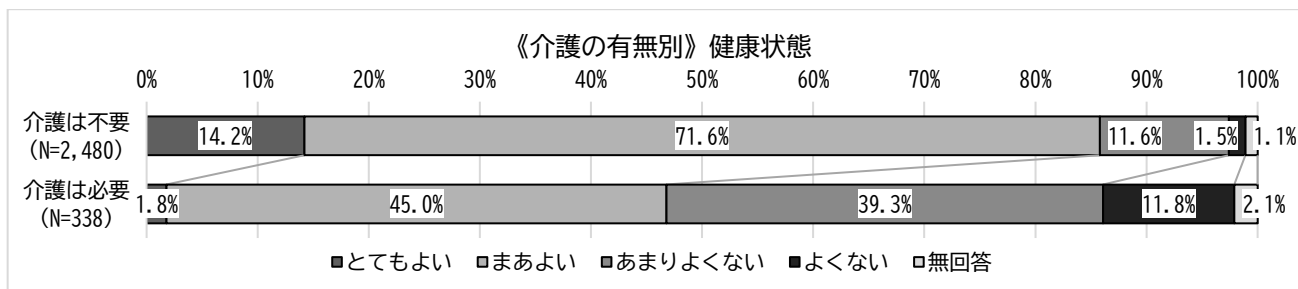
「まあよい」と「とてもよい」を合わせた「よい」に着目すると、「前期高齢者」が 85.3%に対し、「後期高齢者」は 78.5%と、「前期高齢者」が「後期高齢者」を 6.8 ポイント上回っています。



《介護の有無別》

「介護は不要」は「まあよい」が71.6%と最も多く、次いで「とてもよい」が14.2%、「あまりよくない」が11.6%、「介護は必要」は「まあよい」が45.0%と最も多く、次いで「あまりよくない」が39.3%、「よくない」が11.8%となっています。

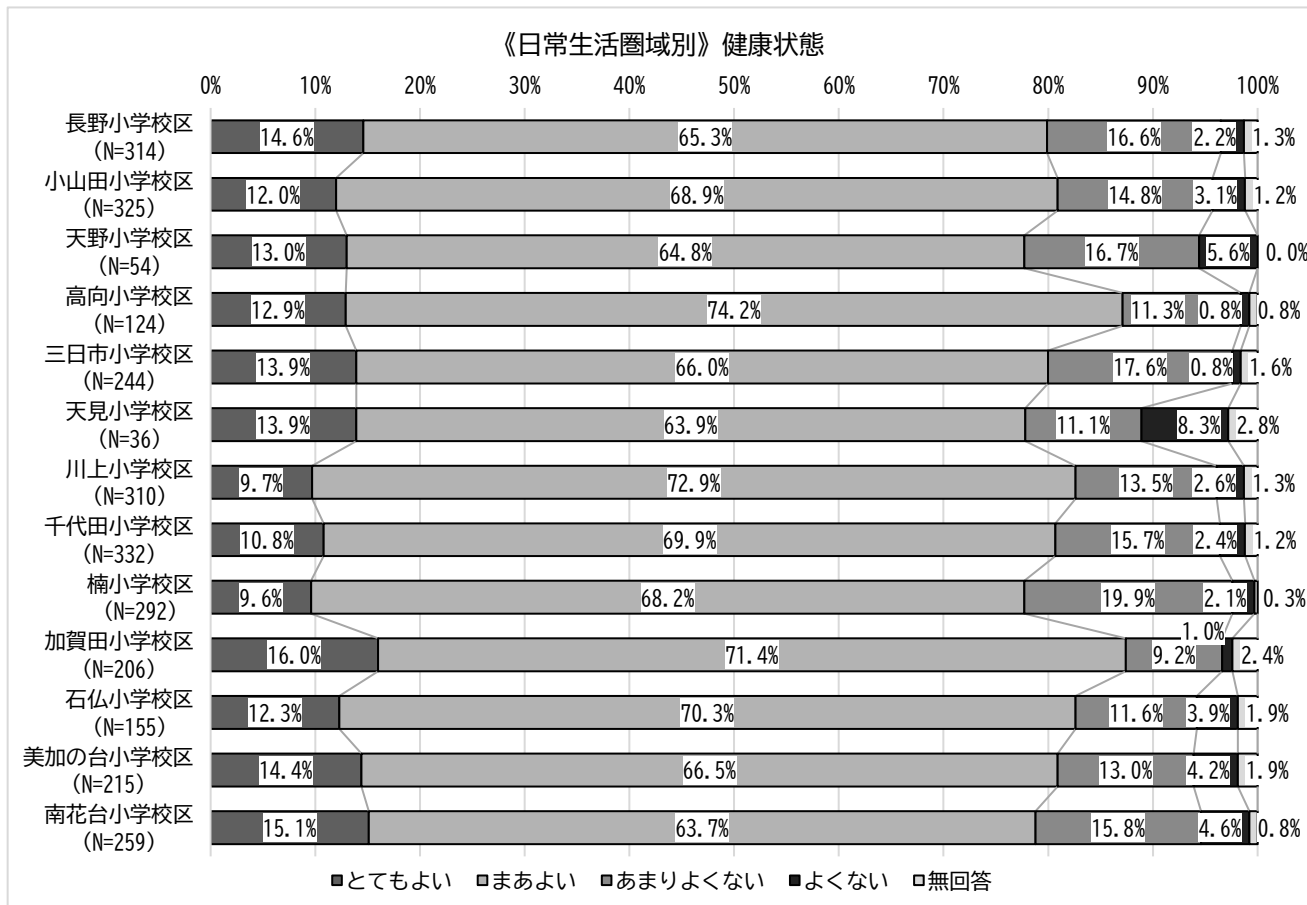
「まあよい」と「とてもよい」を合わせた「よい」に着目すると、「介護は不要」が85.8%に対し、「介護は必要」は46.8%と、「介護は不要」が「介護は必要」を39.0ポイント上回っています。



《日常生活圏域別》

「とてもよい」と「まあよい」を合わせた「よい」に着目して圏域ごとに比較すると、「加賀田小学校区」が87.4%と最も多く、次いで「高向小学校区」が87.1%、「川上小学校区」と「石仏小学校区」が共に82.6%、「小山田小学校区」と「美加の台小学校区」が共に80.9%となっています。

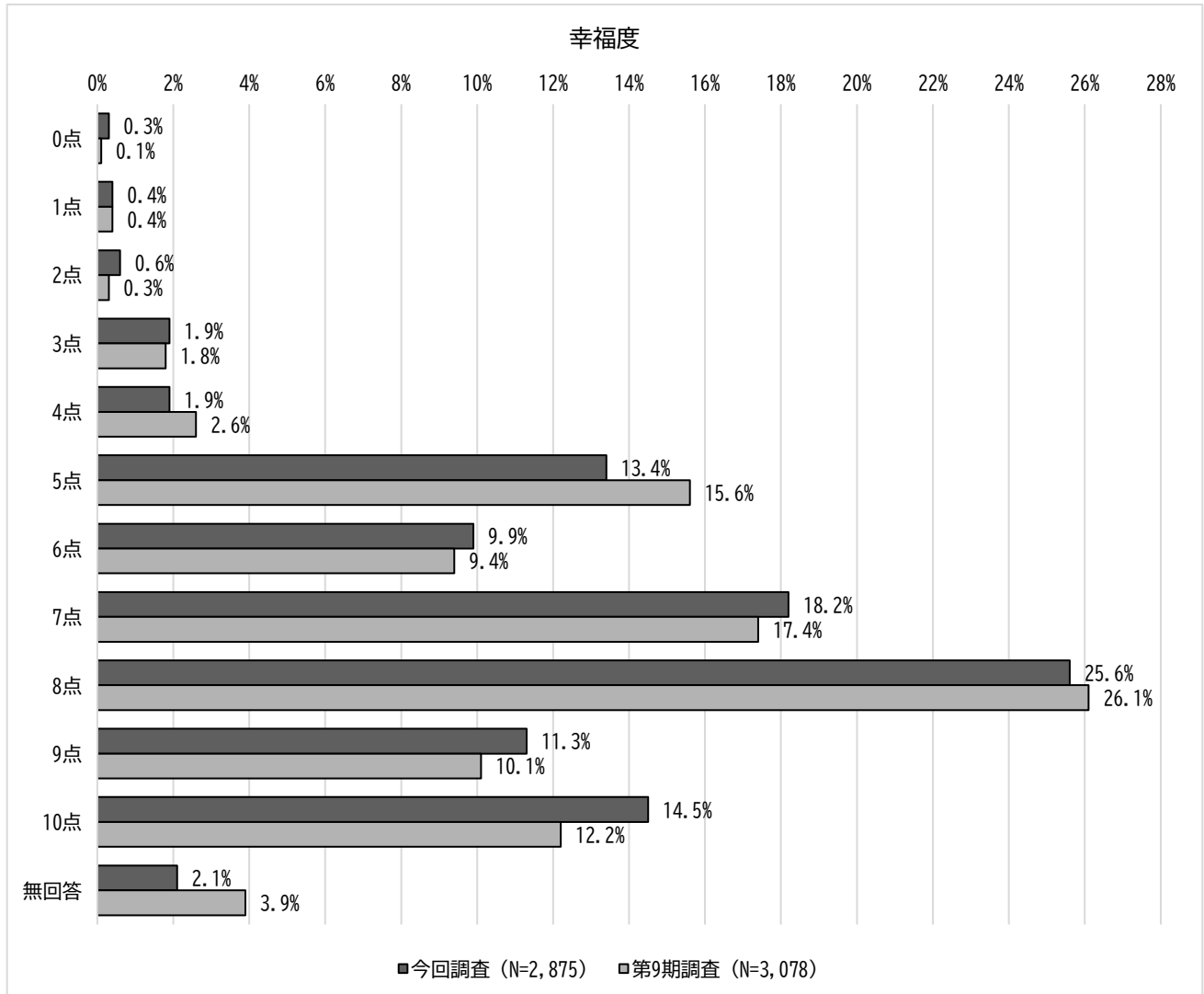
「あまりよくない」と「よくない」を合わせた「よくない」に着目して圏域ごとに比較すると、「天野小学校区」が22.3%と最も多く、次いで「楠小学校区」が22.0%、「南花台小学校区」が20.4%、「天見小学校区」が19.4%、「長野小学校区」が18.8%となっています。



問 8-2 あなたは、現在どの程度幸せですか(〇はひとつ)

「8点」が25.6%と最も多く、「7点」が18.2%、「10点」が14.5%、「5点」が13.4%、「9点」が11.3%となっており、第9期調査との有意な差はありません。

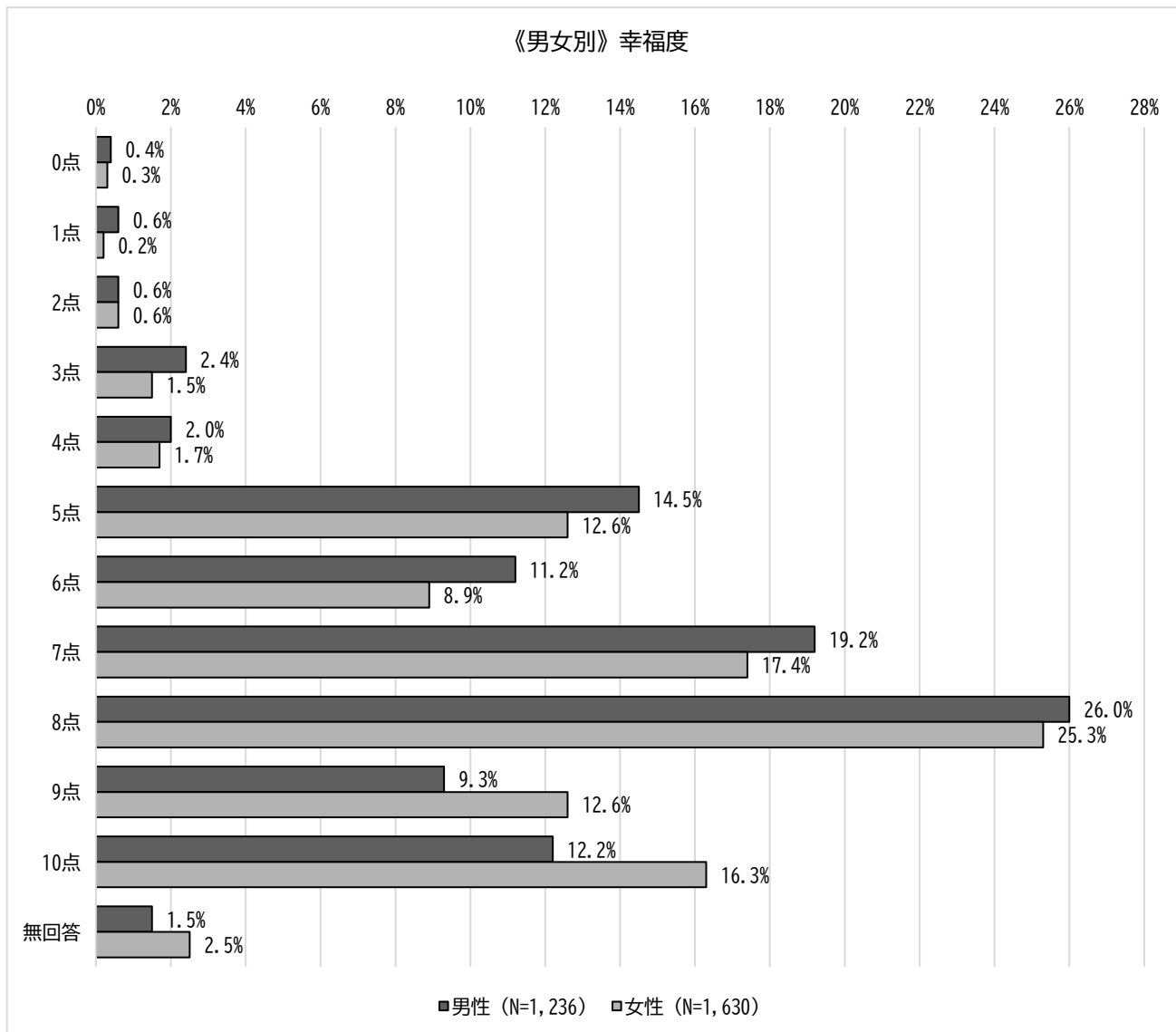
また、幸福度の平均は7.35点でした。



《男女別》

「男性」は「8点」が26.0%と最も多く、次いで「7点」が19.2%、「5点」が14.5%、「10点」が12.2%、「女性」は「8点」が25.3%と最も多く、次いで「7点」が17.4%、「10点」が16.3%、「5点」と「9点」が共に12.6%となっています。平均は「女性」が7.49点に対し、「男性」は7.16点でした。

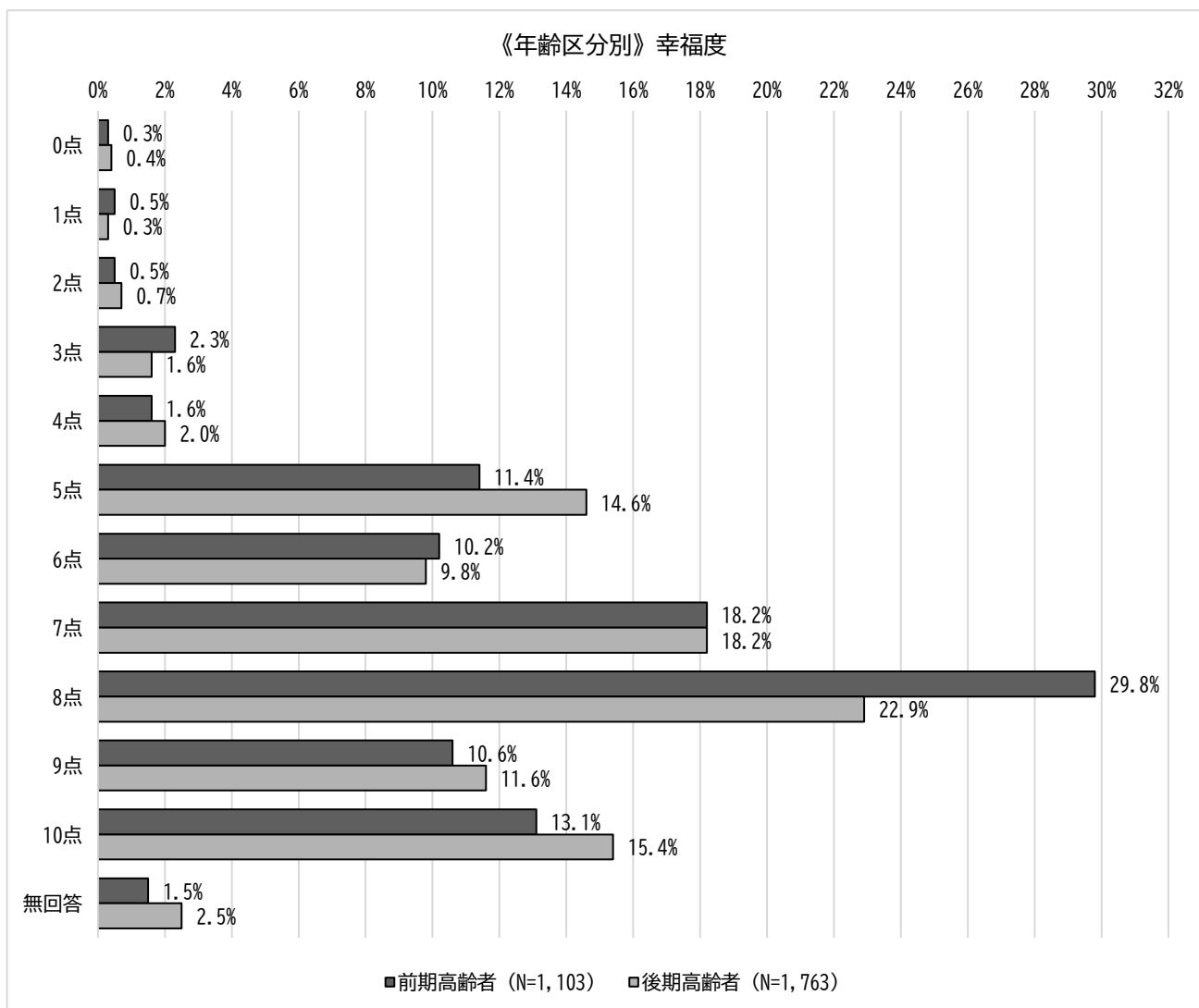
「10点」は「女性」が16.3%に対し、「男性」は12.2%と、「女性」が「男性」を4.1ポイント上回り、「9点」は「女性」が12.6%に対し、「男性」は9.3%と、「女性」が「男性」を3.3ポイント上回っています。



《年齢区分別》

「前期高齢者」は「8点」が29.8%と最も多く、次いで「7点」が18.2%、「10点」が13.1%、「5点」が11.4%、「後期高齢者」は「8点」が22.9%と最も多く、次いで「7点」が18.2%、「10点」が15.4%、「5点」が14.6%となっています。平均は「前期高齢者」が7.37点に対し、「後期高齢者」は7.33点でした。

「5点」は「後期高齢者」が14.6%に対し、「前期高齢者」は11.4%と、「後期高齢者」が「前期高齢者」を3.2ポイント上回り、「8点」は「前期高齢者」が29.8%に対し、「後期高齢者」は22.9%と、「前期高齢者」が「後期高齢者」を6.9ポイント上回っています。

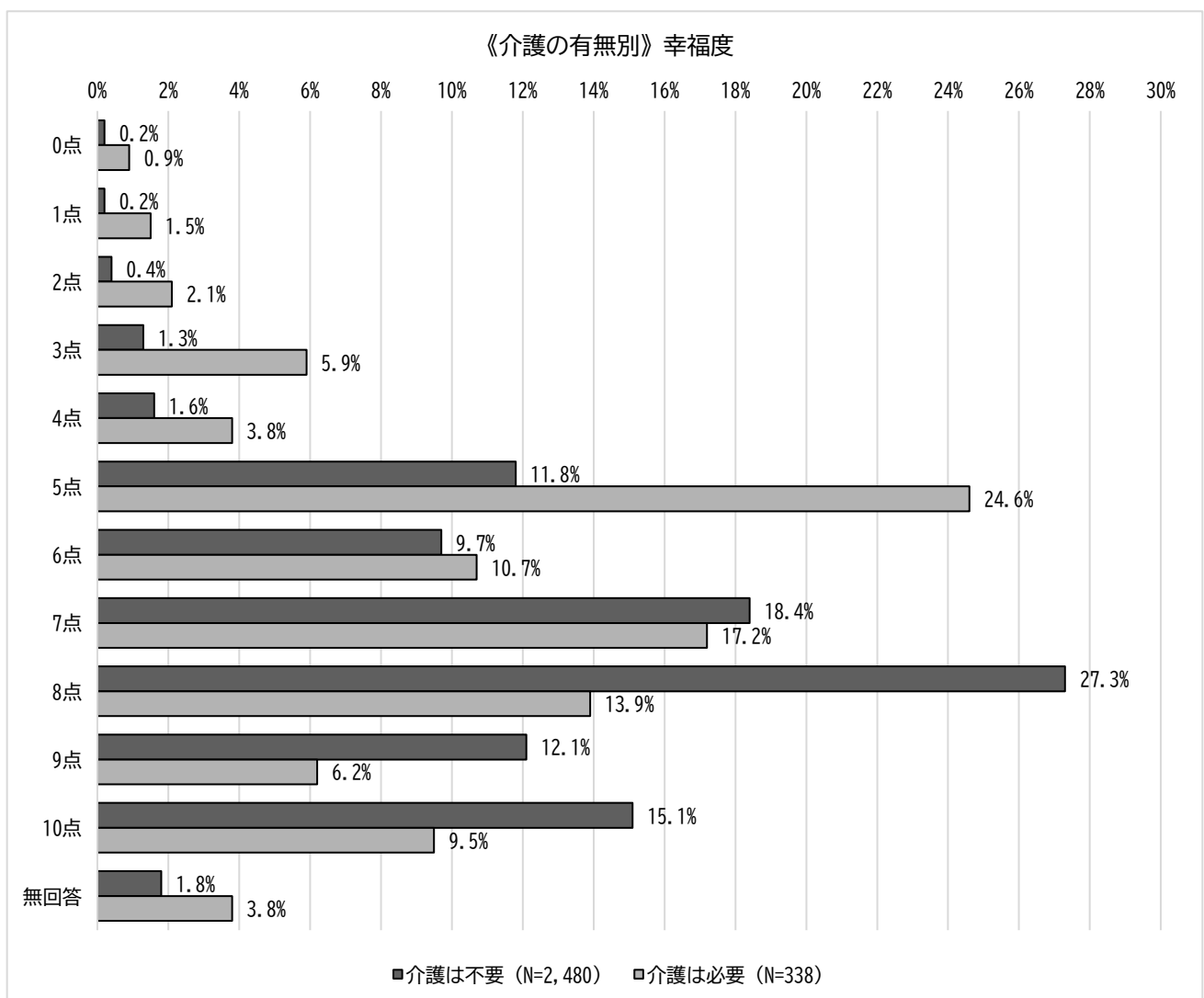


《介護の有無別》

「介護は不要」は「8点」が27.3%と最も多く、次いで「7点」が18.4%、「10点」が15.1%、「9点」が12.1%、「介護は必要」は「5点」が24.6%と最も多く、次いで「7点」が17.2%、「8点」が13.9%、「6点」が10.7%となっています。平均は「介護は不要」が7.49点に対し、「介護は必要」は6.32点でした。

「8点」は「介護は不要」が27.3%に対し、「介護は必要」は13.9%と、「介護は不要」が「介護は必要」を13.4ポイント上回り、「9点」は「介護は不要」が12.1%に対し、「介護は必要」は6.2%と、「介護は不要」が「介護は必要」を5.9ポイント上回り、「10点」は「介護は不要」が15.1%に対し、「介護は必要」は9.5%と、「介護は不要」が「介護は必要」を5.6ポイント上回っています。

反対に、「5点」は「介護は必要」が24.6%に対し、「介護は不要」は11.8%と、「介護は必要」が「介護は不要」を12.8ポイント上回っています。



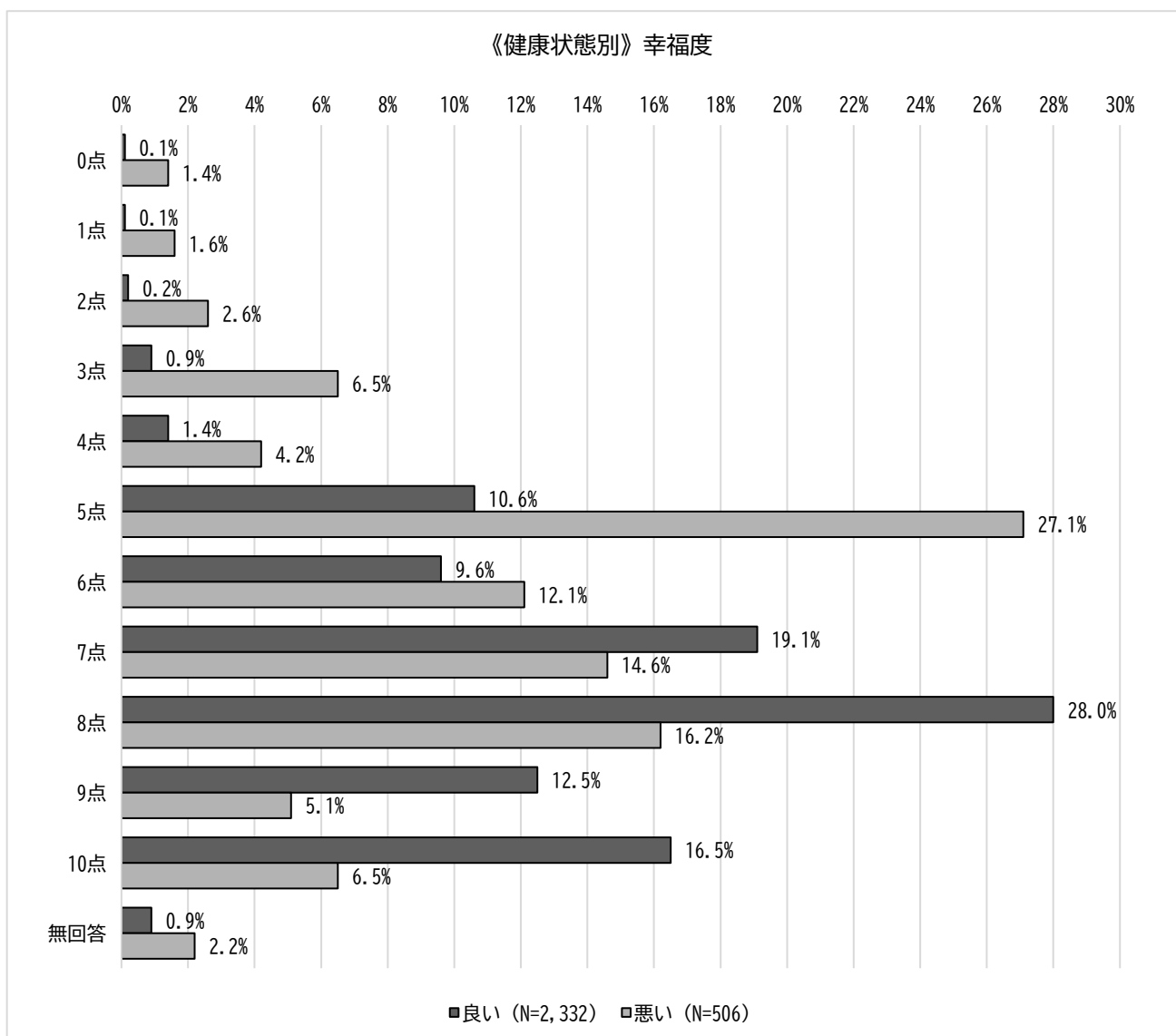
《健康状態別》

「良い」は「8点」が28.0%と最も多く、次いで「7点」が19.1%、「10点」が16.5%、「9点」が12.5%、「悪い」は「5点」が27.1%と最も多く、「8点」が16.2%、「7点」が14.6%、「6点」が12.1%となっています。平均は「良い」が7.62点に対し、「悪い」は6.07点でした。

「8点」は「良い」が28.0%に対し、「悪い」は16.2%と、「良い」が「悪い」を11.8ポイント上回っています。

「10点」は「良い」が16.5%に対し、「悪い」は6.5%と、「良い」が「悪い」を10.0ポイント上回っています。

「9点」は「良い」が12.5%に対し、「悪い」は5.1%と、「良い」が「悪い」を7.4ポイント上回っています。

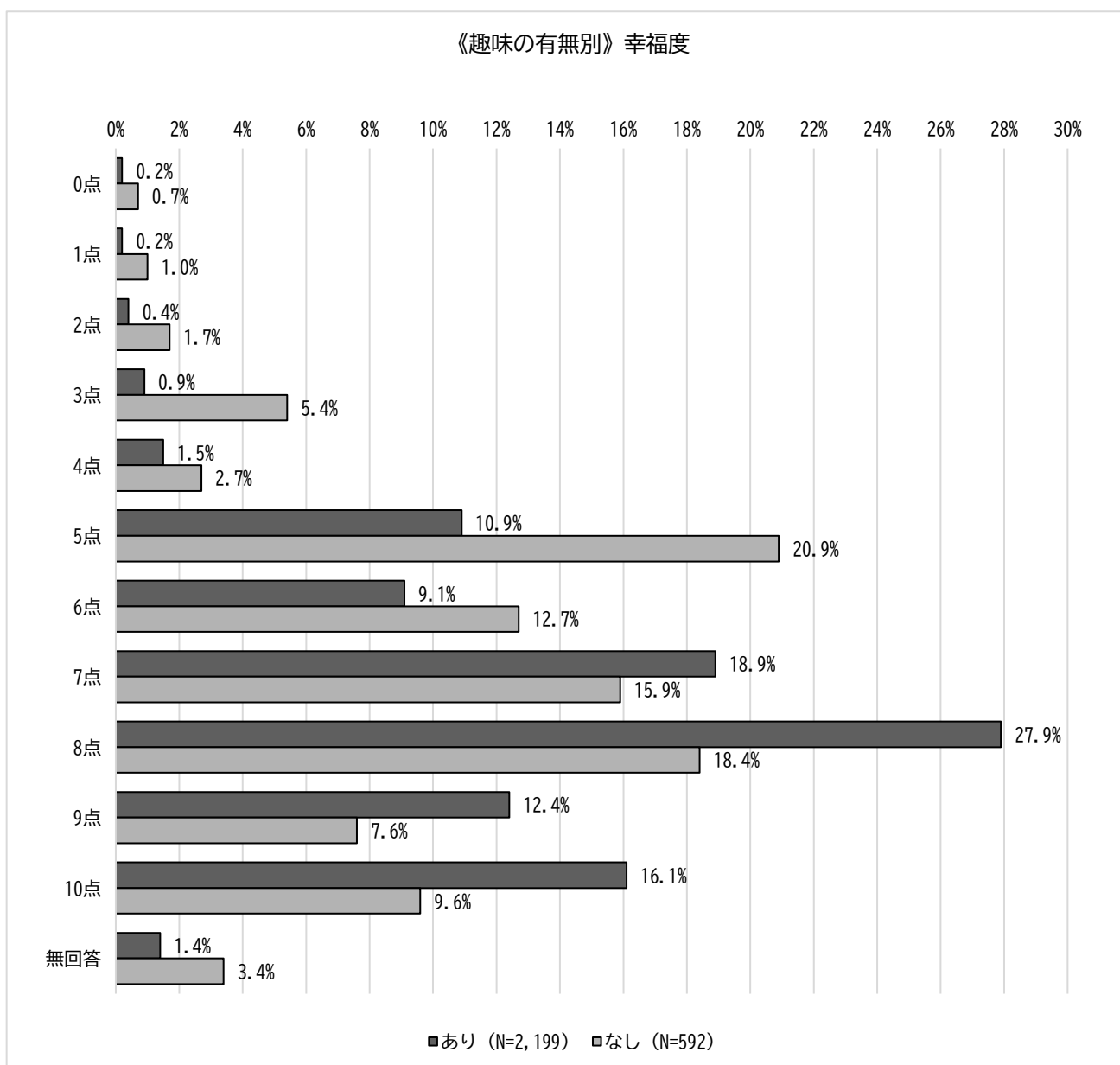


《趣味の有無別》

「あり」は「8点」が27.9%と最も多く、次いで「7点」が18.9%、「10点」が16.1%、「9点」が12.4%、「なし」は「5点」が20.9%と最も多く、次いで「8点」が18.4%、「7点」が15.9%、「6点」が12.7%となっています。平均は「あり」が7.58点に対し、「なし」は6.58点でした。

「8点」は「あり」が27.9%に対し、「なし」は18.4%と、「あり」が「なし」を9.5ポイント上回り、「10点」は「あり」が16.1%に対し、「なし」は9.6%と、「あり」が「なし」を6.5ポイント上回り、「9点」は「あり」が12.4%に対し、「なし」は7.6%と、「あり」が「なし」を4.8ポイント上回っています。

反対に、「5点」は「なし」が20.9%に対し、「あり」は10.9%と、「なし」が「あり」を10.0ポイント上回り、「3点」は「なし」が5.4%に対し、「あり」は0.9%と、「なし」が「あり」を4.5ポイント上回っています。

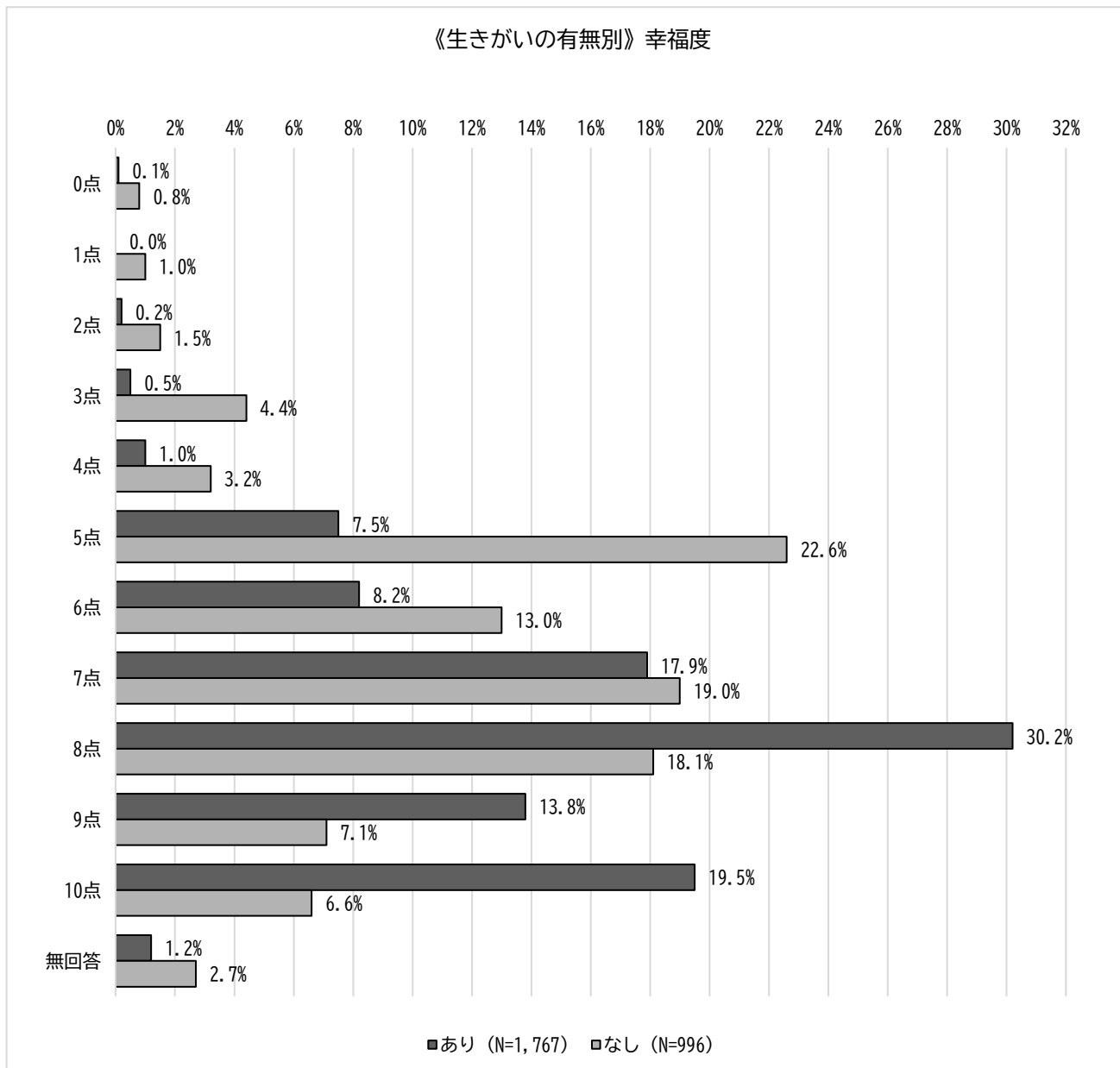


《生きがいの有無別》

「あり」は「8点」が30.2%と最も多く、次いで「10点」が19.5%、「7点」が17.9%、「9点」が13.8%、「なし」は「5点」が22.6%と最も多く、次いで「7点」が19.0%、「8点」が18.1%、「6点」が13.0%となっています。平均は「あり」が7.88点に対し、「なし」は6.46点でした。

「10点」は「あり」が19.5%に対し、「なし」は6.6%と、「あり」が「なし」を12.9ポイント上回り、「8点」は「あり」が30.2%に対し、「なし」は18.1%と、「あり」が「なし」を12.1ポイント上回り、「9点」は「あり」が13.8%に対し、「なし」は7.1%と、「あり」が「なし」を6.7ポイント上回っています。

反対に、「5点」は「なし」が22.6%に対し、「あり」は7.5%と、「なし」が「あり」を15.1ポイント上回っています。

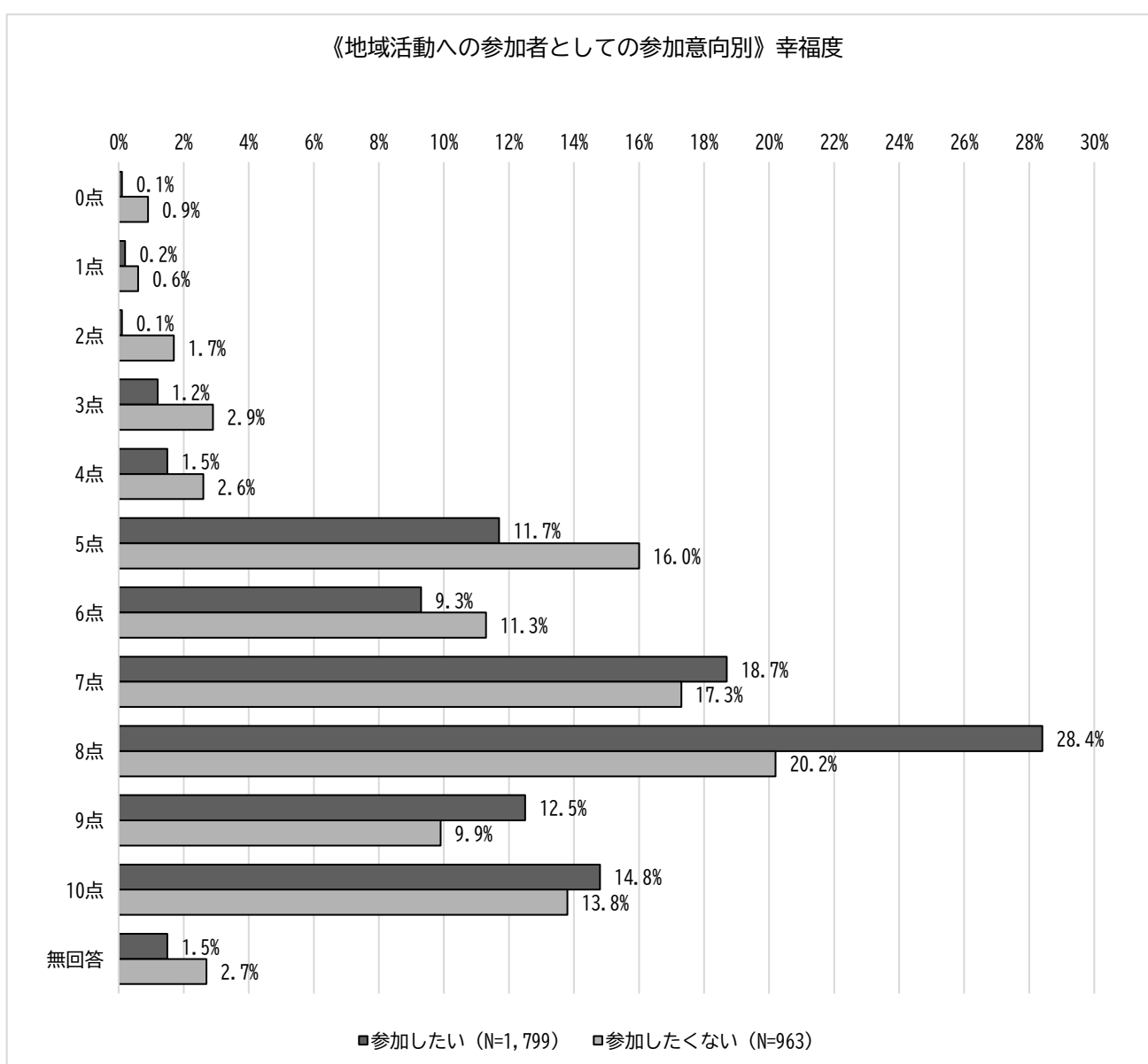


《地域活動への参加者としての参加意向別》

「是非参加したい」と「参加してもよい」と「既に参加している」を合わせた「参加したい」と「参加したくない」で幸福度を比較してみました。

「参加したい」は「8点」が28.4%と最も多く、次いで「7点」が18.7%、「10点」が14.8%、「9点」が12.5%、「5点」が11.7%、「参加したくない」は「8点」が20.2%と最も多く、次いで「7点」が17.3%、「5点」が16.0%、「10点」が13.8%、「6点」が11.3%となっています。平均は「参加したい」が7.54点、「参加したくない」は7.00点でした。

「8点」は「参加したい」が28.4%に対し、「参加したくない」は20.2%と、「参加したい」が「参加したくない」を8.2ポイント上回り、「5点」は「参加したくない」が16.0%に対し、「参加したい」は11.7%と、「参加したくない」が「参加したい」を4.3ポイント上回っています。

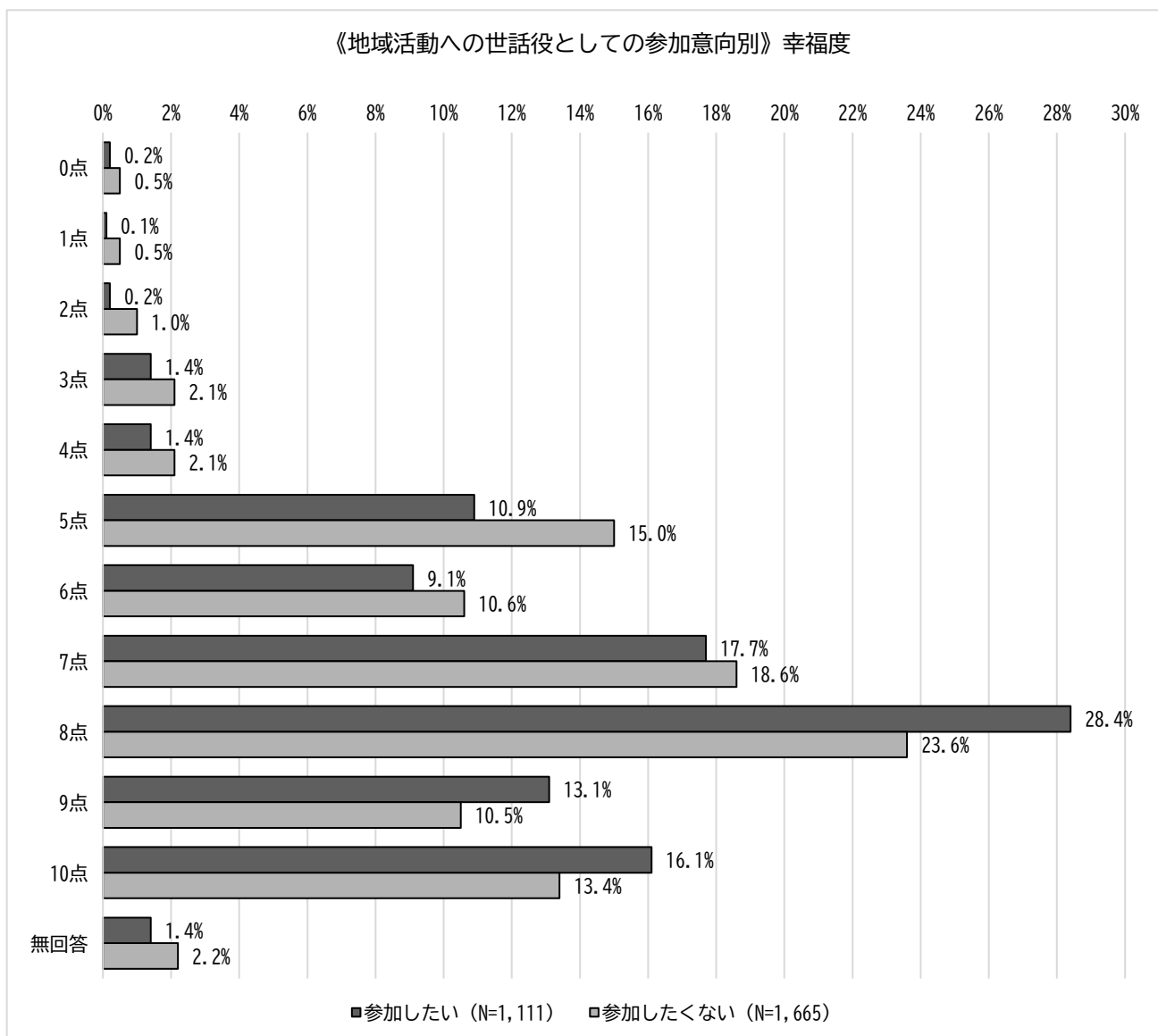


《地域活動への世話役としての参加意向別》

「是非参加したい」と「参加してもよい」と「既に参加している」を合わせた「参加したい」と「参加したくない」で幸福度を比較してみました。

「参加したい」が「8点」が28.4%と最も多く、次いで「7点」が17.7%、「10点」が16.1%、「9点」が13.1%、「5点」が10.9%、「参加したくない」は「8点」が23.6%と最も多く、次いで「7点」が18.6%、「5点」が15.0%、「10点」が13.4%、「6点」が10.6%となっています。平均は「参加したい」が7.60点に対し、「参加したくない」は7.18点でした。

「8点」は「参加したい」が28.4%に対し、「参加したくない」は23.6%と、「参加したい」が「参加したくない」を4.8ポイント上回り、「5点」は「参加したくない」が15.0%に対し、「参加したい」は10.9%と、「参加したくない」が「参加したい」を4.1ポイント上回っています。



《日常生活圏域別》

回答数の多い「8点」に着目して圏域で比較すると、「美加の台小学校区」が28.8%と最も多く、次いで「南花台小学校区」が28.6%、「天野小学校区」が27.8%、「三日市小学校区」が27.5%、「加賀田小学校区」が26.7%、「楠小学校区」が26.0%、「小山田小学校区」が25.8%、「長野小学校区」が25.2%、「高向小学校区」が25.0%、「千代田小学校区」が23.8%、「川上小学校区」が23.5%となっています。

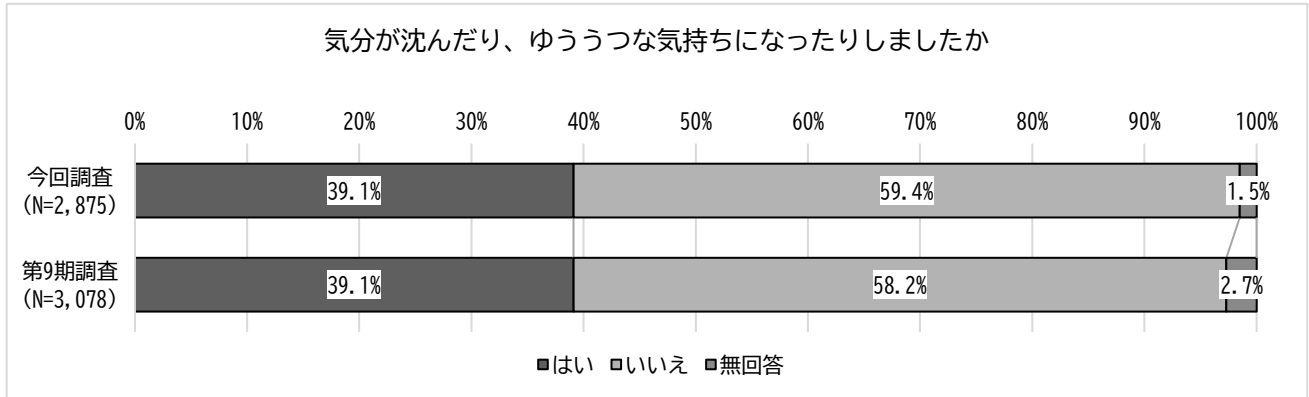
「天見小学校区」は「5点」が25.0%と最も多く、「石仏小学校区」は「7点」が21.9%と最も多くなっています。

幸福度の平均を見ると「加賀田小学校区」が7.63点で最も高く、次いで「高向小学校区」が7.60点、「天野小学校区」が7.52点、「小山田小学校区」が7.48点、「美加の台小学校区」が7.40点となっており、「天見小学校区」は7.00点で最も低くなっています。

圏域	回答数	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答	平均
長野	314	0.3%	0.3%	1.0%	2.5%	2.2%	12.4%	10.8%	19.4%	25.2%	10.8%	12.1%	2.9%	7.22
小山田	325	0.0%	0.6%	0.3%	1.2%	0.9%	14.5%	8.3%	18.5%	25.8%	11.1%	16.3%	2.5%	7.48
天野	54	0.0%	0.0%	1.9%	5.6%	0.0%	11.1%	9.3%	13.0%	27.8%	7.4%	24.1%	0.0%	7.52
高向	124	0.0%	0.0%	0.0%	0.8%	2.4%	8.9%	12.1%	16.9%	25.0%	14.5%	14.5%	4.8%	7.60
三日市	244	0.4%	0.4%	0.8%	2.0%	2.9%	12.7%	11.1%	16.8%	27.5%	13.1%	10.2%	2.0%	7.22
天見	36	0.0%	0.0%	0.0%	5.6%	0.0%	25.0%	8.3%	16.7%	19.4%	5.6%	16.7%	2.8%	7.00
川上	310	0.3%	0.0%	0.3%	0.3%	1.9%	13.2%	11.6%	21.0%	23.5%	11.0%	13.9%	2.9%	7.39
千代田	332	0.6%	0.9%	0.6%	2.1%	1.8%	15.7%	9.9%	18.1%	23.8%	10.8%	13.6%	2.1%	7.19
楠	292	0.3%	0.7%	0.7%	2.7%	3.1%	14.0%	6.8%	17.5%	26.0%	11.3%	15.8%	1.0%	7.31
加賀田	206	0.0%	0.0%	0.5%	0.0%	2.4%	10.7%	10.2%	18.9%	26.7%	11.2%	18.0%	1.5%	7.63
石仏	155	1.3%	0.6%	0.0%	1.9%	2.6%	15.5%	7.1%	21.9%	20.0%	12.9%	14.8%	1.3%	7.24
美加の台	215	0.0%	0.0%	0.5%	2.3%	0.9%	12.6%	11.2%	18.6%	28.8%	9.8%	14.0%	1.4%	7.40
南花台	259	0.8%	0.4%	1.5%	2.7%	0.4%	13.1%	10.8%	13.9%	28.6%	10.8%	15.4%	1.5%	7.33

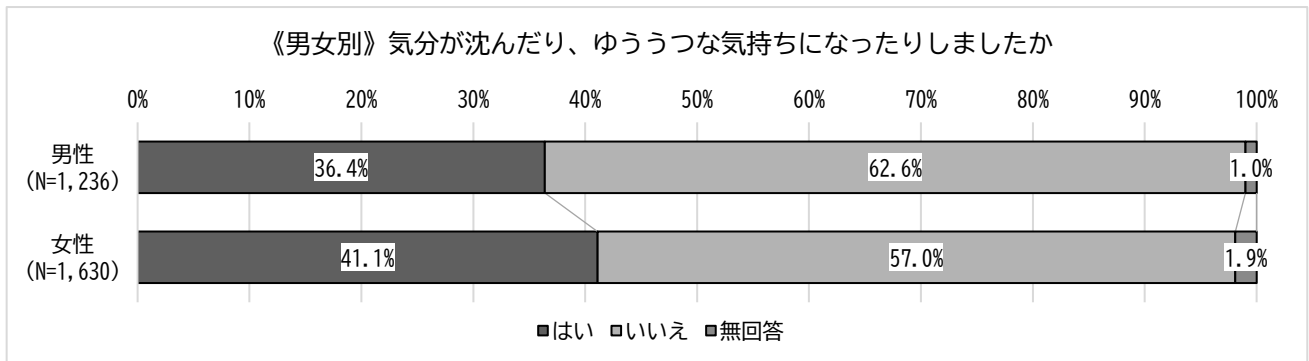
問 8-3 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか
(〇はひとつ)

「はい」が39.1%、「いいえ」が59.4%となっており、第9期調査との有意な差はありません。



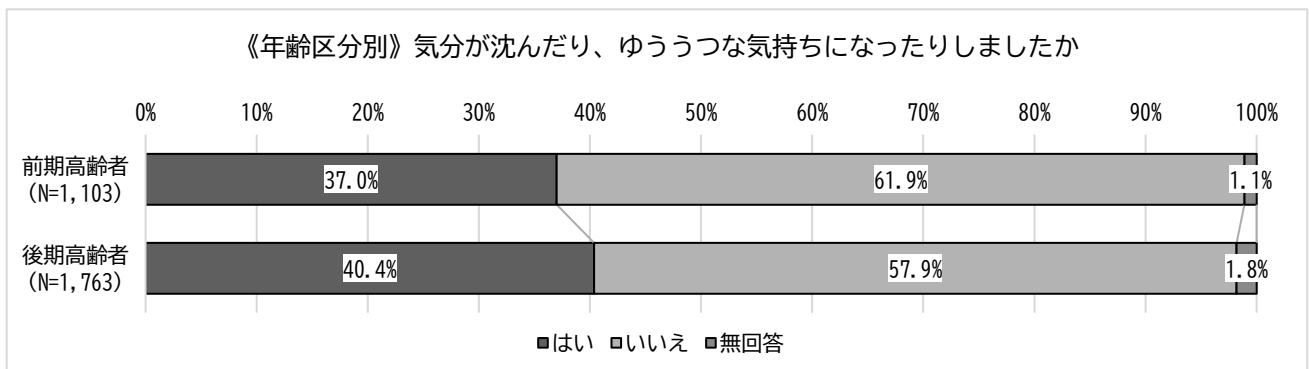
《男女別》

「男性」は「はい」が36.4%、「いいえ」が62.6%、「女性」は「はい」が41.1%、「いいえ」が57.0%で、「はい」に着目すると、「女性」が41.1%に対し、「男性」は36.4%と、「女性」が「男性」を4.7ポイント上回っています。



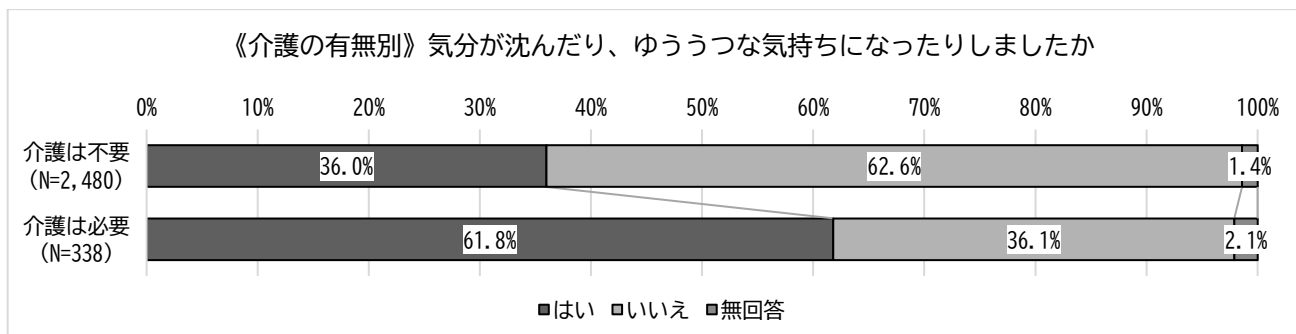
《年齢区分別》

「前期高齢者」は「はい」が37.0%、「いいえ」が61.9%、「後期高齢者」は「はい」が40.4%、「いいえ」が57.9%で、「はい」に着目すると、「後期高齢者」が40.4%に対し、「前期高齢者」は37.0%と、「後期高齢者」が「前期高齢者」を3.4ポイント上回っています。



《介護の有無別》

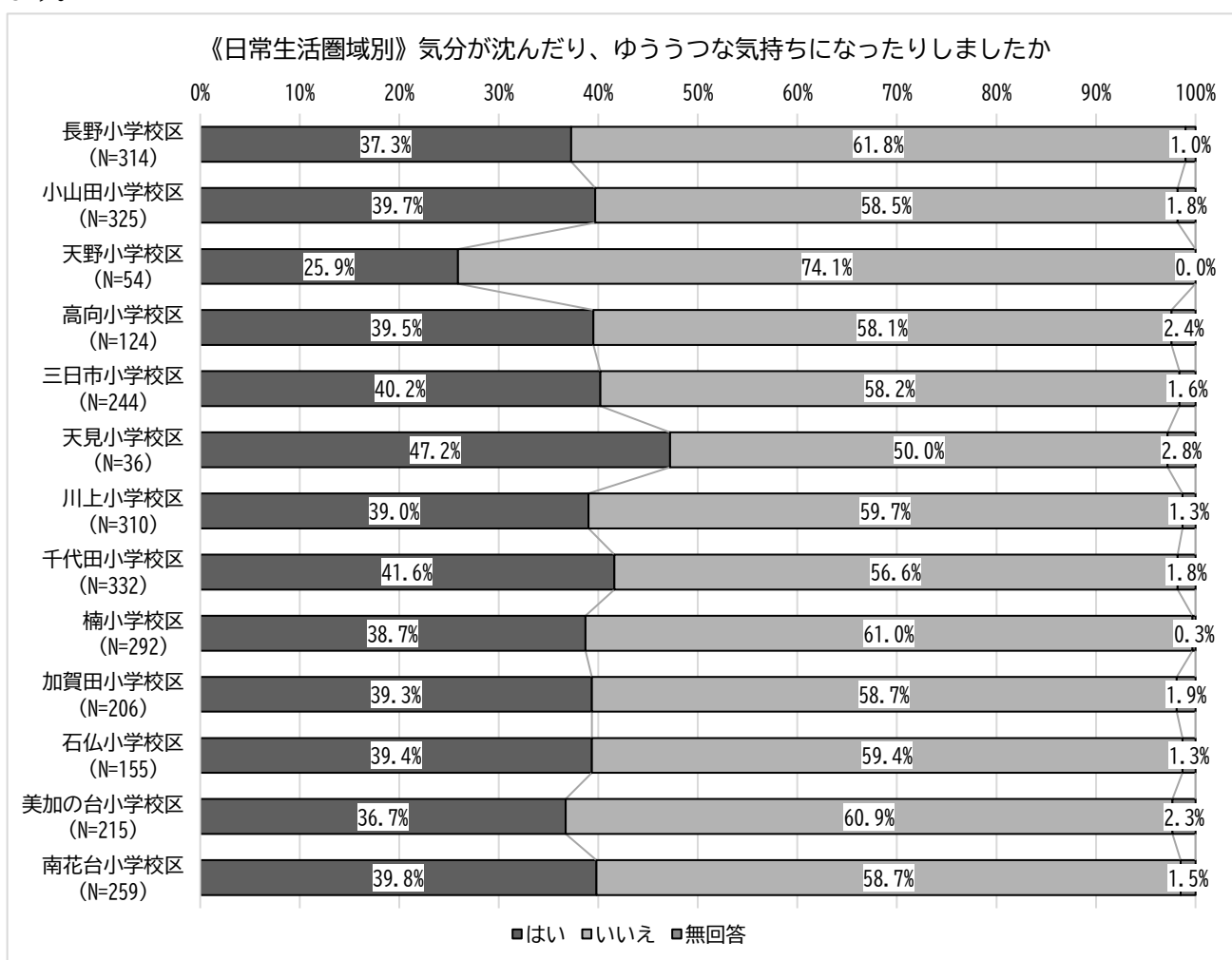
「介護は不要」は「はい」が 36.0%、「いいえ」が 62.6%、「介護は必要」は「はい」が 61.8%、「いいえ」が 36.1%で、「はい」に着目すると、「介護は必要」が 61.8%に対し、「介護は不要」は 36.0%と、「介護は必要」が「介護は不要」を 25.8 ポイント上回っています。



《日常生活圏域別》

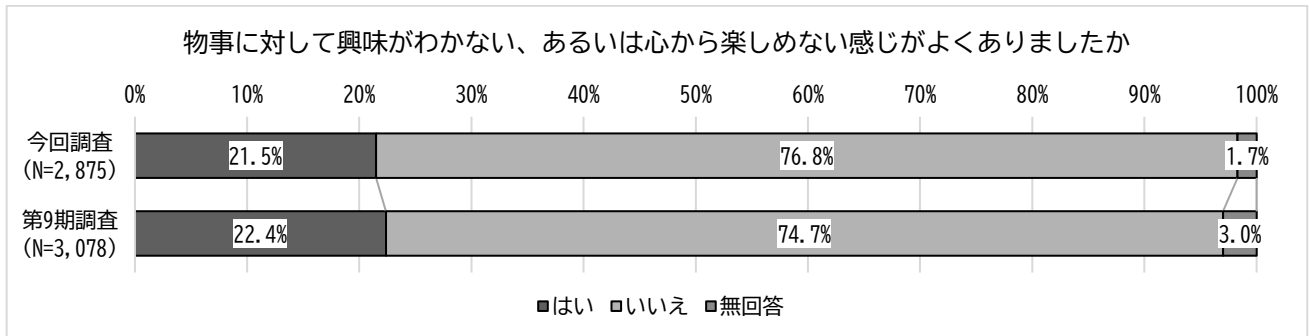
「はい」は「天見小学校区」が 47.2%と最も多く、次いで「千代田小学校区」が 41.6%、「三日市小学校区」が 40.2%、「南花台小学校区」が 39.8%、「小山田小学校区」が 39.7%となっています。

「いいえ」は「天野小学校区」が 74.1%と最も多く、次いで「長野小学校区」が 61.8%、「楠小学校区」が 61.0%、「美加の台小学校区」が 60.9%、「川上小学校区」が 59.7%、「石仏小学校区」が 59.4%となっています。



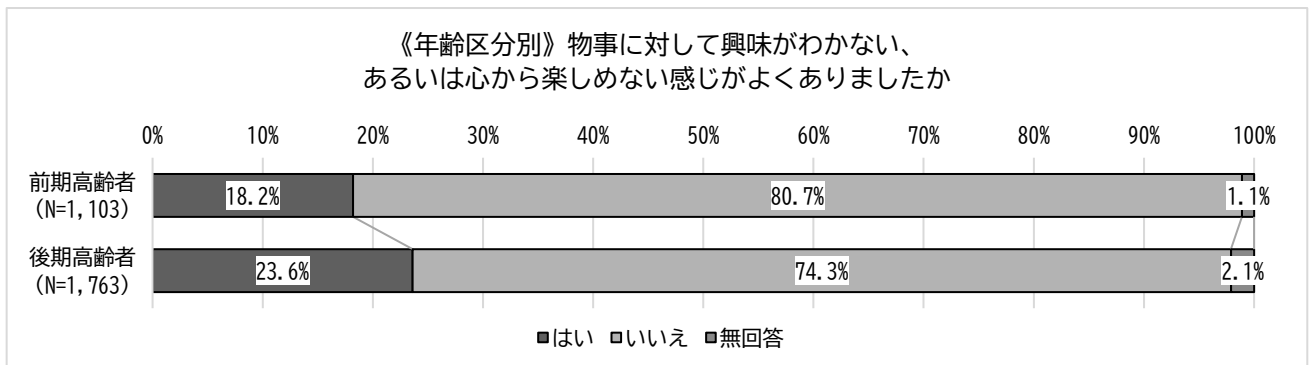
問 8-4 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか(○はひとつ)

「はい」が21.5%、「いいえ」が76.8%となっており、第9期調査との有意な差はありません。



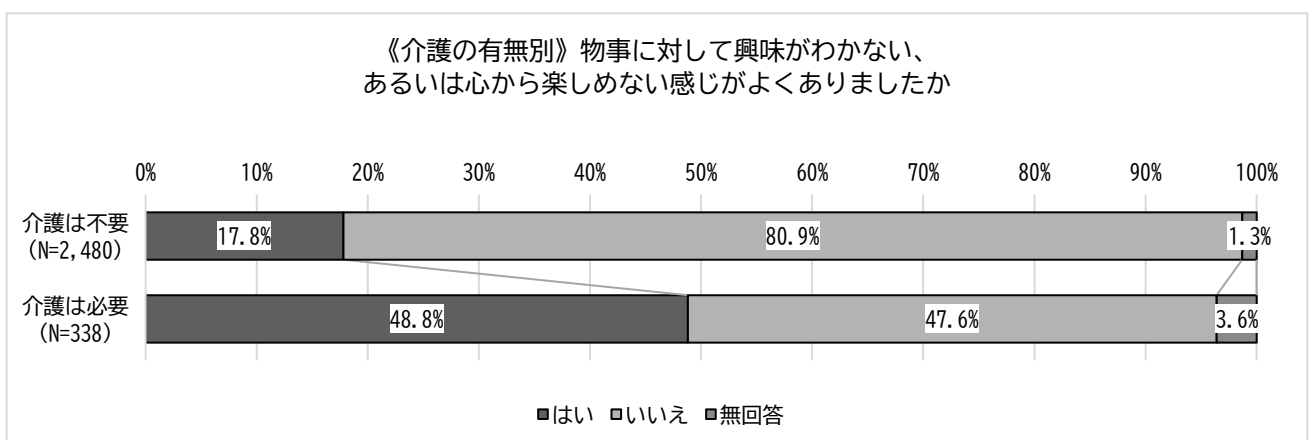
《年齢区分別》

「前期高齢者」は「はい」が18.2%、「いいえ」が80.7%、「後期高齢者」は「はい」が23.6%、「いいえ」が74.3%で、「はい」に着目すると、「後期高齢者」が23.6%に対し、「前期高齢者」は18.2%と、「後期高齢者」が「前期高齢者」を5.4ポイント上回っています。



《介護の有無別》

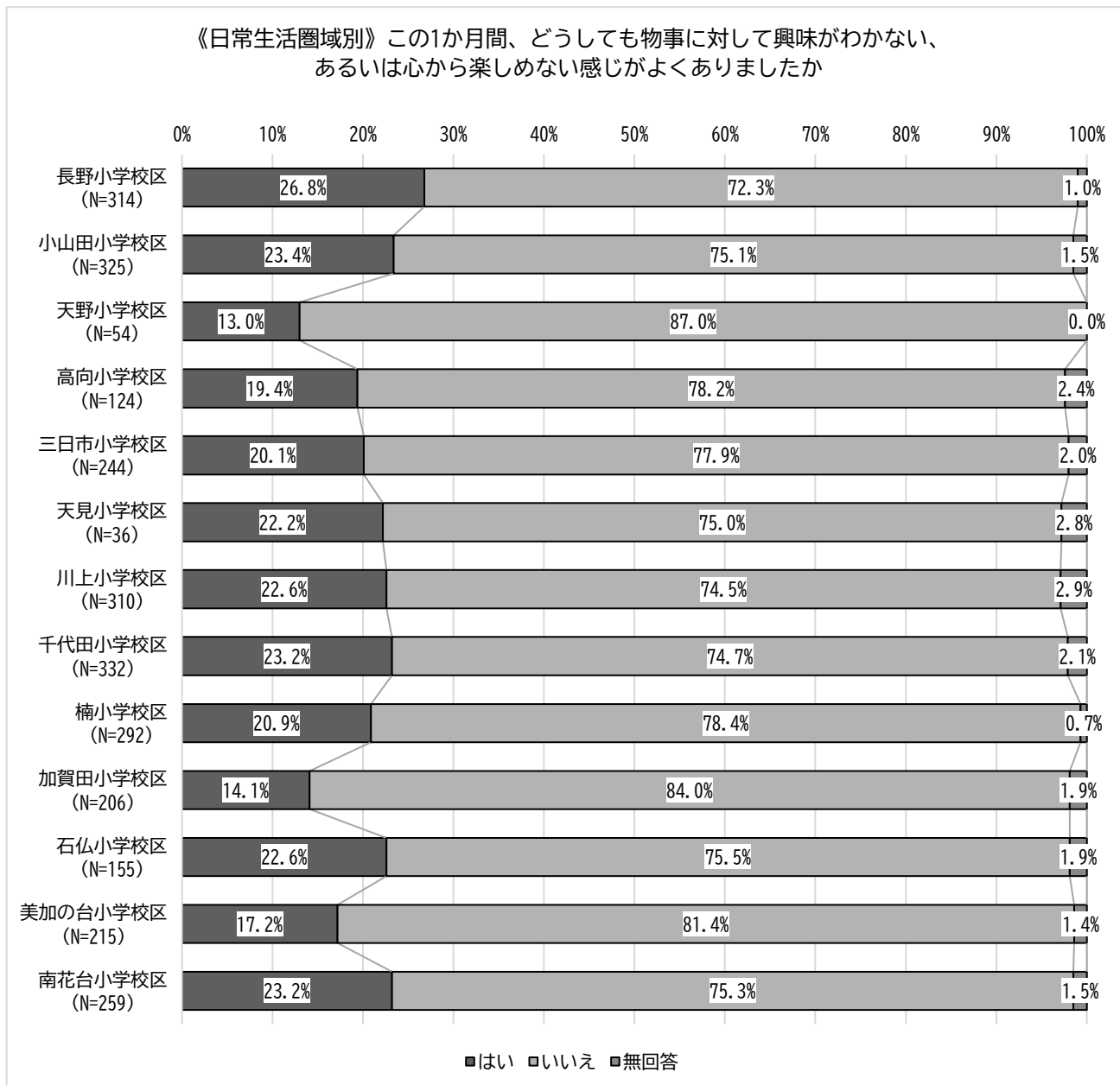
「介護は不要」は「はい」が17.8%、「いいえ」が80.9%、「介護は必要」は「はい」が48.8%、「いいえ」が47.6%で、「はい」に着目すると、「介護は必要」が48.8%に対し、「介護は不要」は17.8%と、「介護は必要」が「介護は不要」を31.0ポイント上回っています。



《日常生活圏域別》

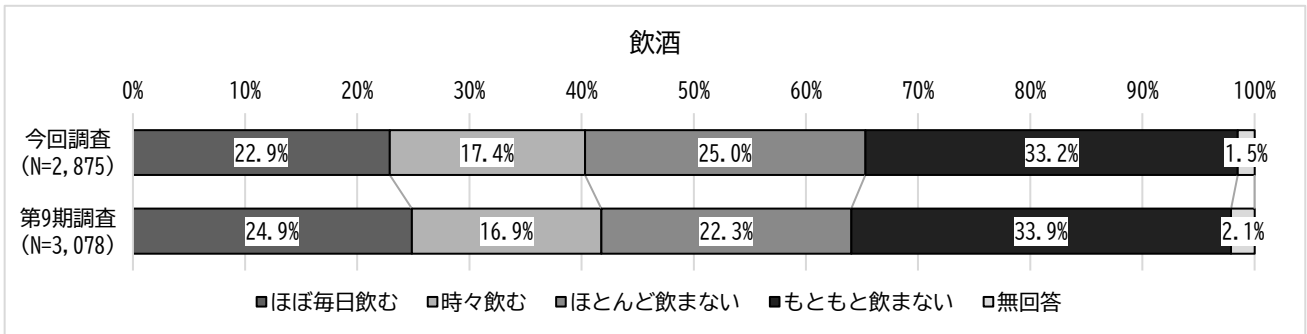
「はい」は「長野小学校区」が 26.8%と最も多く、次いで「小山田小学校区」が 23.4%、「千代田小学校区」と「南花台小学校区」が共に 23.2%、「川上小学校区」と「石仏小学校区」が共に 22.6%となっています。

「いいえ」は「天野小学校区」が 87.0%と最も多く、次いで「加賀田小学校区」が 84.0%、「美加の台小学校区」が 81.4%、「楠小学校区」が 78.4%、「高向小学校区」が 78.2%となっています。



問 8-5 お酒は飲みますか(○はひとつ)

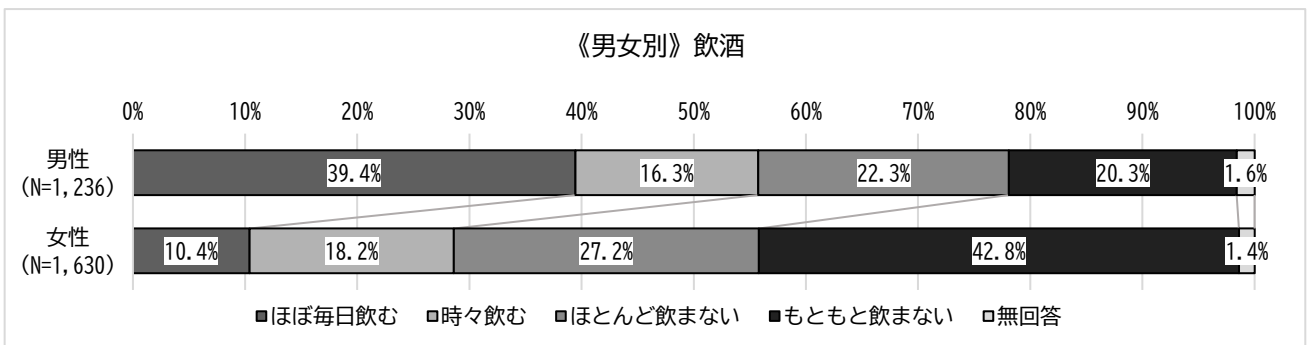
「もともと飲まない」が33.2%と最も多く、次いで「ほとんど飲まない」が25.0%、「ほぼ毎日飲む」が22.9%、「時々飲む」が17.4%となっており、第9期調査との有意な差はありません。



《男女別》

「男性」は「ほぼ毎日飲む」が39.4%と最も多く、次いで「ほとんど飲まない」が22.3%、「もともと飲まない」が20.3%、「時々飲む」が16.3%、「女性」は「もともと飲まない」が42.8%、「ほとんど飲まない」が27.2%、「時々飲む」が18.2%、「ほぼ毎日飲む」が10.4%となっています。

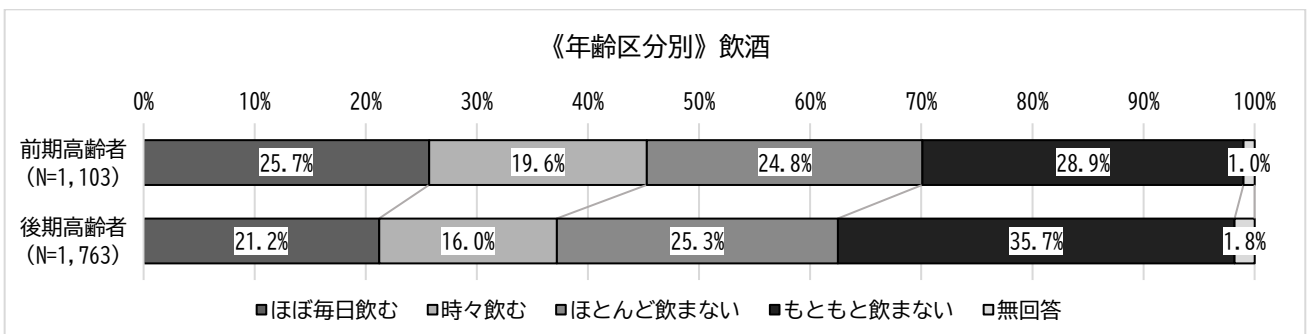
「ほぼ毎日飲む」と「時々飲む」を合わせた「飲む」に着目すると、「男性」が55.7%に対し、「女性」は28.6%と、「男性」が「女性」を27.1ポイント上回っています。



《年齢区分別》

「前期高齢者」は「もともと飲まない」が28.9%と最も多く、次いで「ほぼ毎日飲む」が25.7%、「ほとんど飲まない」が24.8%、「時々飲む」が19.6%、「後期高齢者」は「もともと飲まない」が35.7%と最も多く、「ほとんど飲まない」が25.3%、「ほぼ毎日飲む」が21.2%、「時々飲む」が16.0%となっています。

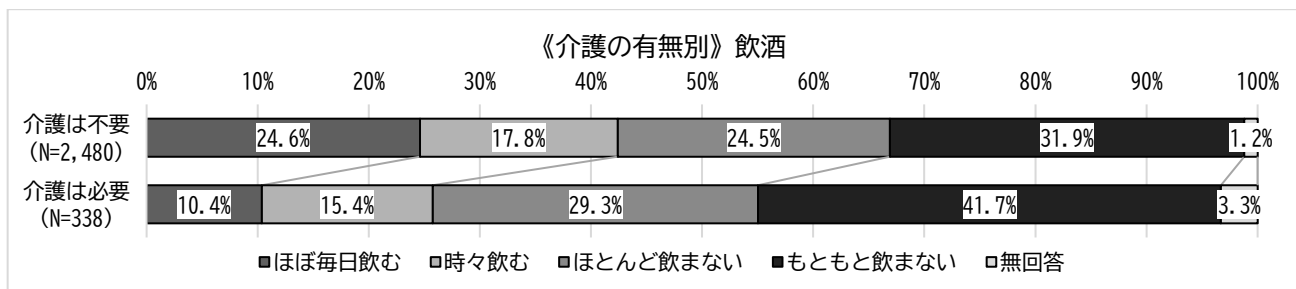
「ほぼ毎日飲む」と「時々飲む」を合わせた「飲む」に着目すると、「前期高齢者」が45.3%に対し、「後期高齢者」は37.2%と、「前期高齢者」が「後期高齢者」を8.1ポイント上回っています。



《介護の有無別》

「介護は不要」は「もともと飲まない」が31.9%と最も多く、次いで「ほぼ毎日飲む」が24.6%、「ほとんど飲まない」が24.5%、「時々飲む」が17.8%、「介護は必要」は「もともと飲まない」が41.7%、「ほとんど飲まない」が29.3%、「時々飲む」が15.4%、「ほぼ毎日飲む」が10.4%となっています。

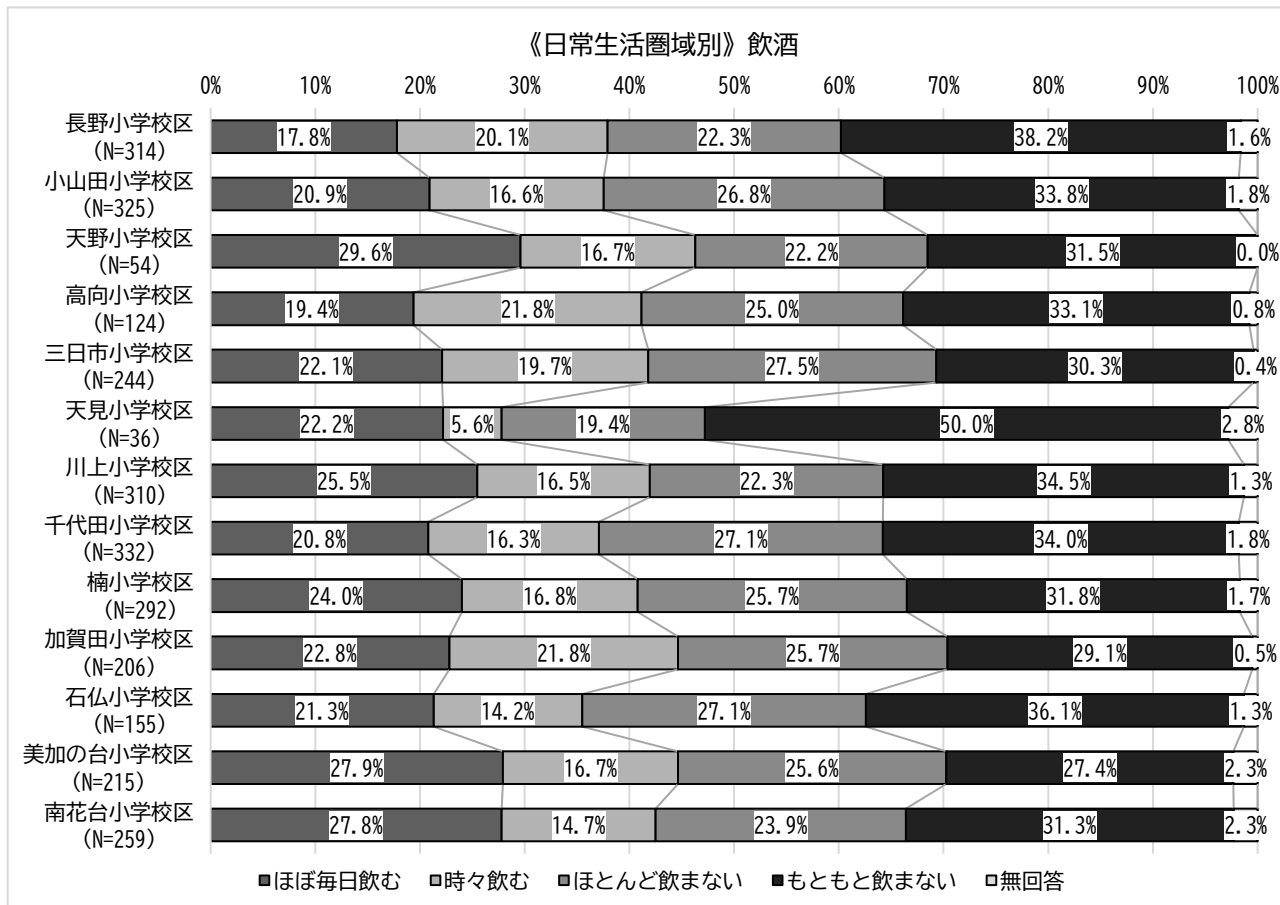
「ほぼ毎日飲む」と「時々飲む」を合わせた「飲む」に着目すると、「介護は不要」が42.4%に対し、「介護は必要」は25.8%と、「介護は不要」が「介護は必要」を16.6ポイント上回っています。



《日常生活圏域別》

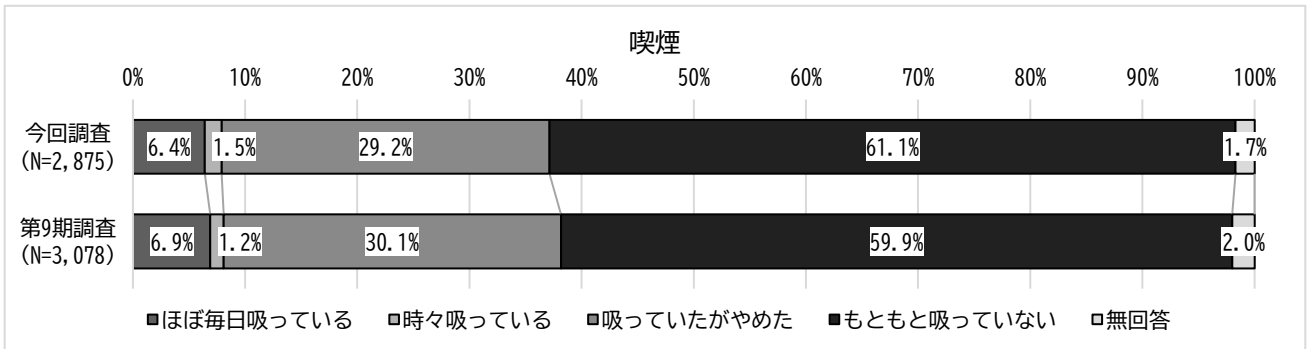
「ほぼ毎日飲む」と「時々飲む」を合わせた「飲む」に着目して圏域ごとに比較すると、「天野小学校区」が46.3%と最も多く、次いで「加賀田小学校区」と「美加の台小学校区」が共に44.6%、「南花台小学校区」が42.5%、「川上小学校区」が42.0%となっています。

「ほとんど飲まない」と「もともと飲まない」を合わせた「飲まない」に着目して圏域ごとに比較すると、「天見小学校区」が69.4%と最も多く、次いで「石仏小学校区」が63.2%、「千代田小学校区」が61.1%、「小山田小学校区」が60.6%、「長野小学校区」が60.5%となっています。



問 8-6 タバコは吸っていますか(○はひとつ)

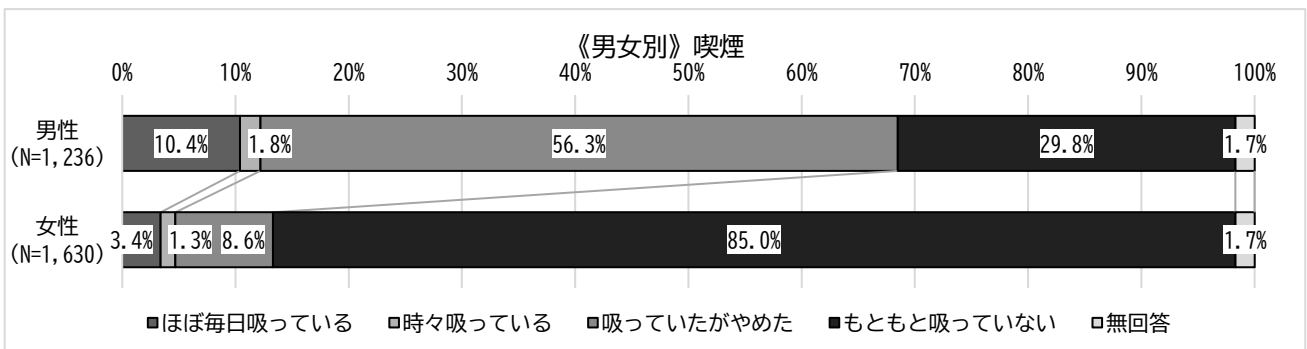
「もともと吸っていない」が 61.1%と最も多く、次いで「吸っていたがやめた」が 29.2%、「ほぼ毎日吸っている」が 6.4%となっており、第 9 期調査との有意な差はありません。



《男女別》

「男性」は「吸っていたがやめた」が 56.3%と最も多く、次いで「もともと吸っていない」が 29.8%、「ほぼ毎日吸っている」が 10.4%、「時々吸っている」が 1.8%、「女性」は「もともと吸っていない」が 85.0%と最も多く、次いで「吸っていたがやめた」が 8.6%、「ほぼ毎日吸っている」が 3.4%、「時々吸っている」が 1.3%となっています。

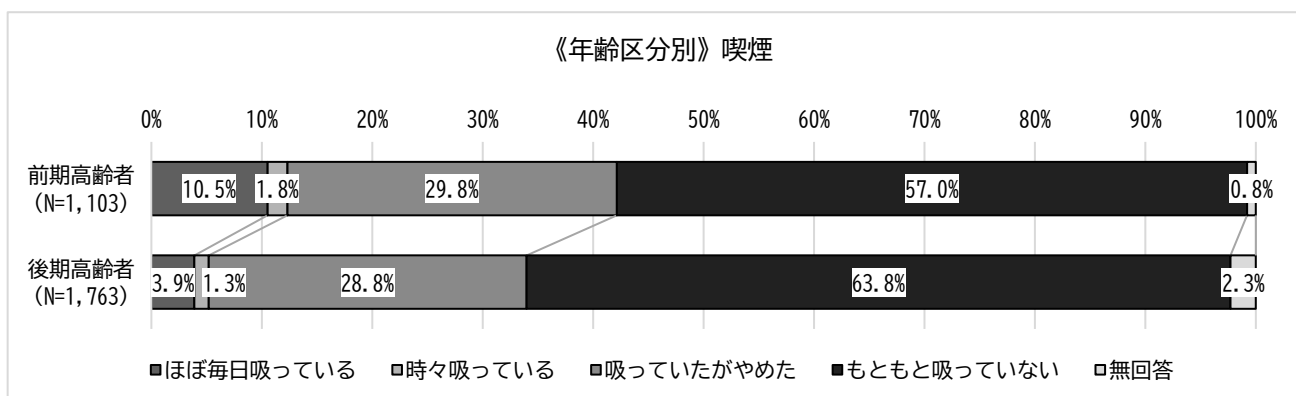
「ほぼ毎日吸っている」と「時々吸っている」を合わせた「吸っている」に着目すると、「男性」が 12.2%に対し、「女性」は 4.7%と、「男性」が「女性」を 7.5 ポイント上回っています。



《年齢区分別》

「前期高齢者」は「もともと吸っていない」が57.0%と最も多く、次いで「吸っていたがやめた」が29.8%、「ほぼ毎日吸っている」が10.5%、「時々吸っている」が1.8%、「後期高齢者」は「もともと吸っていない」が63.8%と最も多く、次いで「吸っていたがやめた」が28.8%、「ほぼ毎日吸っている」が3.9%、「時々吸っている」が1.3%となっています。

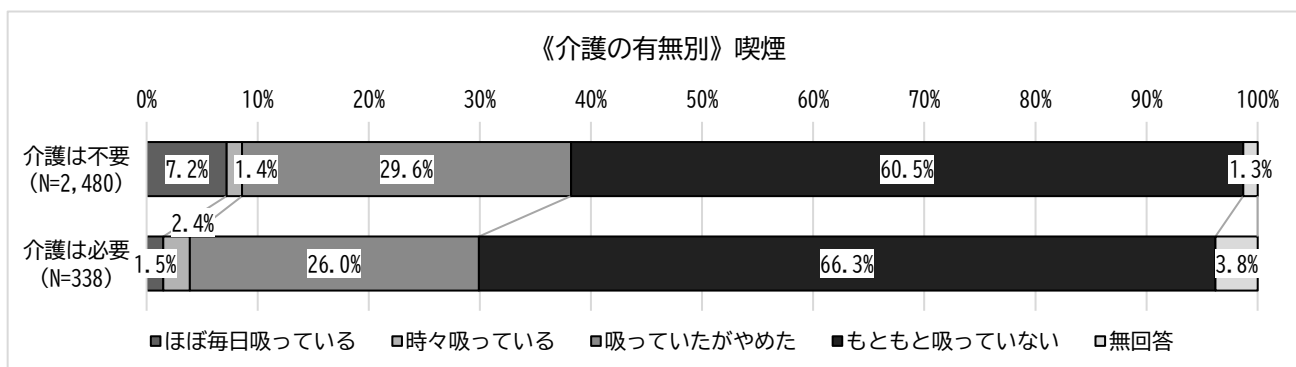
「ほぼ毎日吸っている」と「時々吸っている」を合わせた「吸っている」に着目すると、「前期高齢者」が12.3%に対し、「後期高齢者」は5.2%と、「前期高齢者」が「後期高齢者」を7.1ポイント上回っています。



《介護の有無別》

「介護は不要」は「もともと吸っていない」が60.5%と最も多く、次いで「吸っていたがやめた」が29.6%、「ほぼ毎日吸っている」が7.2%、「時々吸っている」が1.4%、「介護は必要」は「もともと吸っていない」が66.3%と最も多く、次いで「吸っていたがやめた」が26.0%、「時々吸っている」が2.4%、「ほぼ毎日吸っている」が1.5%となっています。

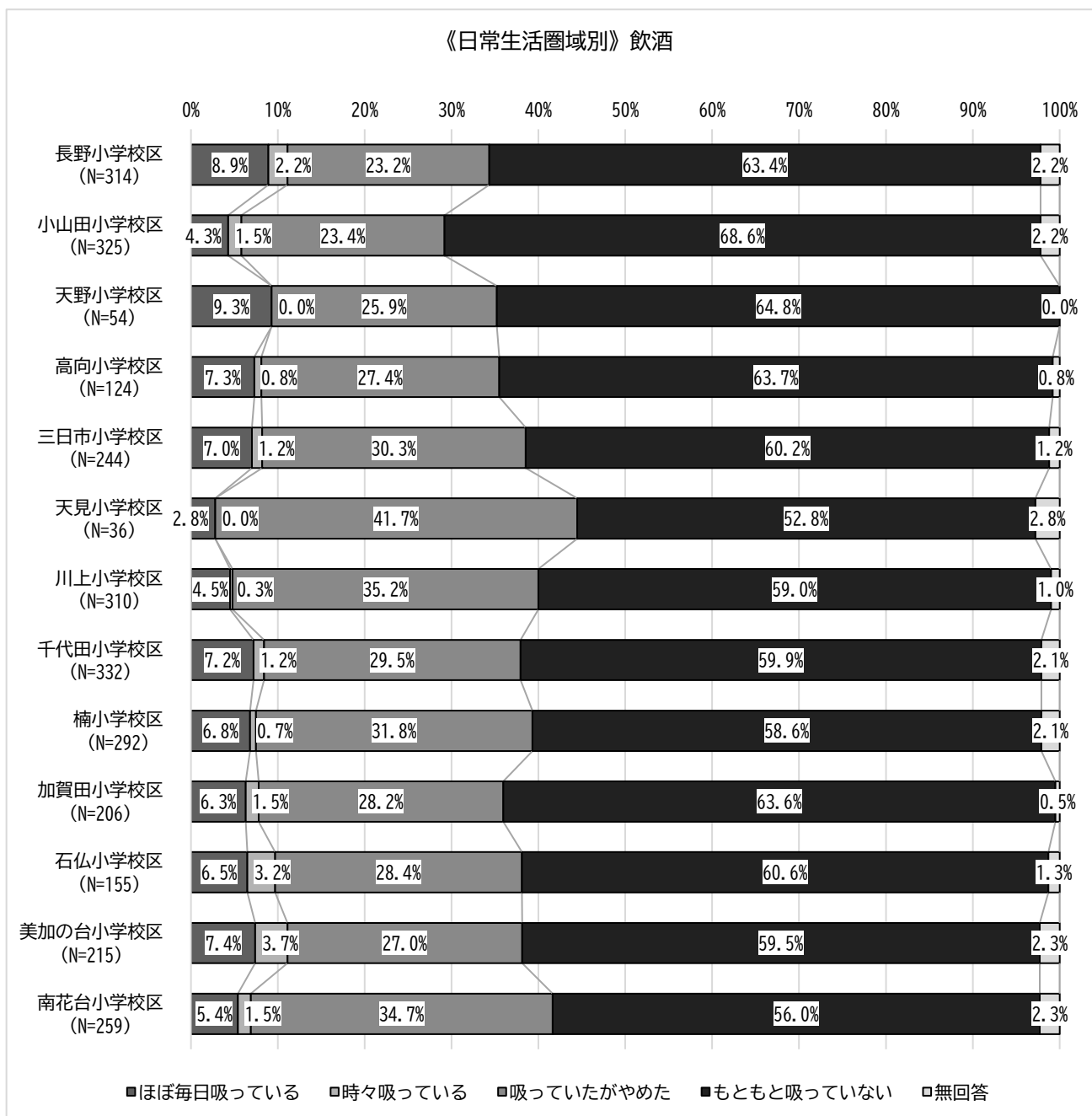
「ほぼ毎日吸っている」と「時々吸っている」を合わせた「吸っている」に着目すると、「介護は不要」が8.6%に対し、「介護は必要」は3.9%と、「介護は不要」が「介護は必要」を4.7ポイント上回っています。



《日常生活圏域別》

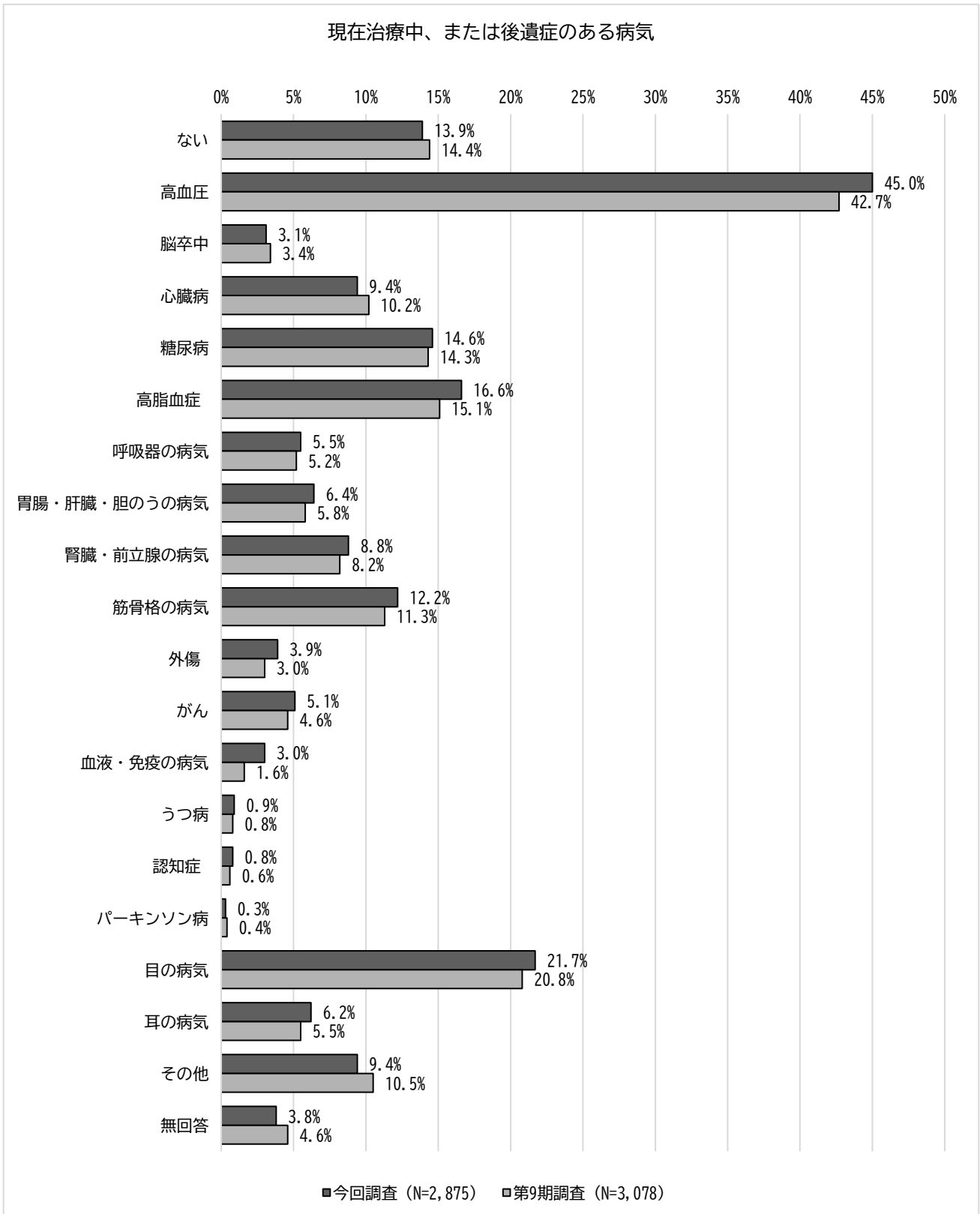
「ほぼ毎日吸っている」と「時々吸っている」を合わせた「吸う」に着目して圏域ごとに比較すると、「長野小学校区」と「美加の台小学校区」が共に 11.1%と最も多く、次いで「石仏小学校区」が 9.7%、「天野小学校区」が 9.3%、「千代田小学校区」が 8.4%となっています。

「吸っていたがやめた」と「もともと吸っていない」を合わせた「吸わない」に着目して圏域ごとに比較すると、「天見小学校区」が 94.5%と最も多く、次いで「川上小学校区」が 94.2%、「小山田小学校区」が 92.0%、「加賀田小学校区」が 91.8%、「高向小学校区」が 91.1%となっています。



問 8-7 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか(○はいくつでも)

「高血圧」が45.0%と最も多く、次いで「目の病気」が21.7%、「高脂血症」が16.6%、「糖尿病」が14.6%、「筋骨格の病気」が12.2%となっており、第9期調査との有意な差はありません。



《自由記述》

現在治療中、または後遺症のある病気について、252 件の回答があり、甲状腺疾患、皮膚・歯科疾患、神経・精神系の疾患、睡眠に関する悩みなどが見られました。

① 甲状腺・代謝疾患について

- 「甲状腺機能低下症」「橋本病」「バセドウ病」といった甲状腺に関する記述が複数見られました。
- 代謝系の疾患として「痛風」を挙げる回答がありました。

② 皮膚・歯科・鼻の疾患について

- 「帯状疱疹」のほか、「乾癬」「アトピー」「慢性蕁麻疹」「爪白癬」などの皮膚疾患が挙げられました。
- 「歯科治療中」「歯周病(歯槽膿漏)」「インプラント」「白板症」といった口腔内の問題も見られました。
- 「アレルギー性鼻炎」「花粉症」「蓄膿症(副鼻腔炎)」といった鼻の症状に関する記述がありました。

③ 神経・精神・睡眠に関する疾患について

- 「自律神経失調症」「パニック障害」「双極性障害」「統合失調症」「てんかん」が挙げられました。
- 「睡眠時無呼吸症候群」「不眠症」といった睡眠に関する悩みも見られました。
- 指定難病等である「脊髄小脳変性症」「進行性核上性麻痺」「重症筋無力症」などの記述もありました。

④ 泌尿器・腫瘍・その他について

- 「過活動膀胱」「尿道結石」「膀胱結石」が挙げられました。
- 「下垂体脳腫瘍」「聴神経腫瘍」「脳髄膜腫」といった脳腫瘍に関する記述がありました。
- その他、「下肢静脈瘤」「痔」「ポリオ」などの回答が見られました。

《男女別》

「男性」は「高血圧」が48.5%と最も多く、次いで「目の病気」が22.1%、「糖尿病」が19.3%、「腎臓・前立腺の病気」が16.8%、「高脂血症」が15.3%、「女性」は「高血圧」が42.3%と最も多く、次いで「目の病気」が21.5%、「筋骨格の病気」が17.5%、「高脂血症」が17.4%、「糖尿病」が11.0%となっています。

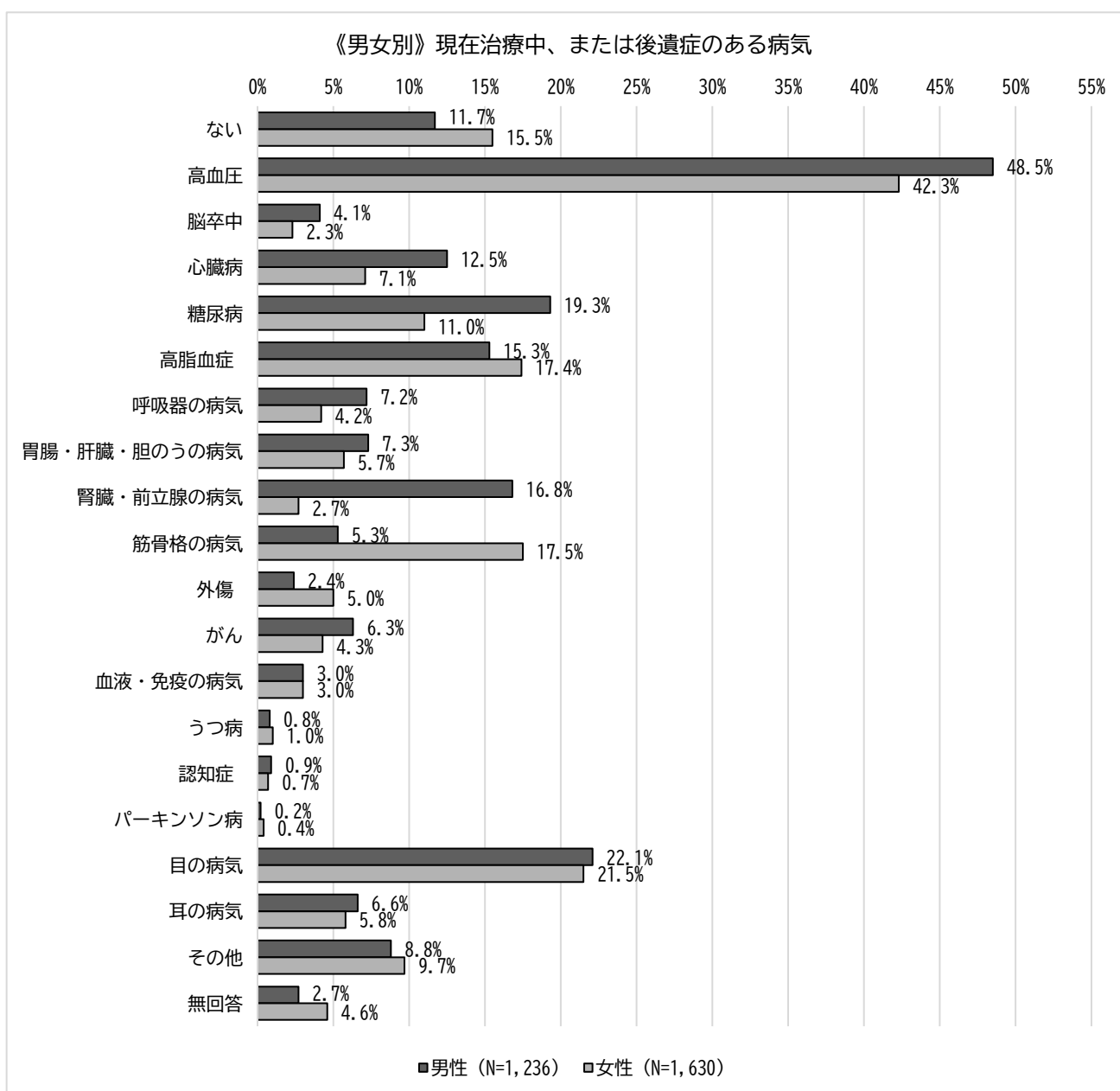
「腎臓・前立腺の病気」は「男性」が16.8%に対し、「女性」は2.7%と、「男性」が「女性」を14.1ポイント上回っています。

「糖尿病」は「男性」が19.3%に対し、「女性」は11.0%と、「男性」が「女性」を8.3ポイント上回っています。

「高血圧」は「男性」が48.5%に対し、「女性」は42.3%と、「男性」が「女性」を6.2ポイント上回っています。

「心臓病」は「男性」が12.5%に対し、「女性」は7.1%と、「男性」が「女性」を5.4ポイント上回っています。

反対に、「筋骨格の病気」は「女性」が17.5%に対し、「男性」は5.3%と、「女性」が「男性」を12.2ポイント上回っています。



《年齢区分別》

「前期高齢者」は「高血圧」が 39.3%と最も多く、次いで「高脂血症」が 19.3%、「目の病気」が 16.1%、「糖尿病」が 13.7%、「後期高齢者」は「高血圧」が 48.5%、「目の病気」が 25.2%、「糖尿病」が 15.2%、「高脂血症」が 14.7%、「筋骨格の病気」が 14.1%となっています。

「高血圧」は「後期高齢者」が 48.5%に対し、「前期高齢者」は 39.3%と、「後期高齢者」が「前期高齢者」を 9.2 ポイント上回っています。

「目の病気」は「後期高齢者」が 25.2%に対し、「前期高齢者」は 16.1%と、「後期高齢者」が「前期高齢者」を 9.1 ポイント上回っています。

「腎臓・前立腺の病気」は「後期高齢者」が 10.7%に対し、「前期高齢者」は 5.7%と、「後期高齢者」が「前期高齢者」を 5.0 ポイント上回っています。

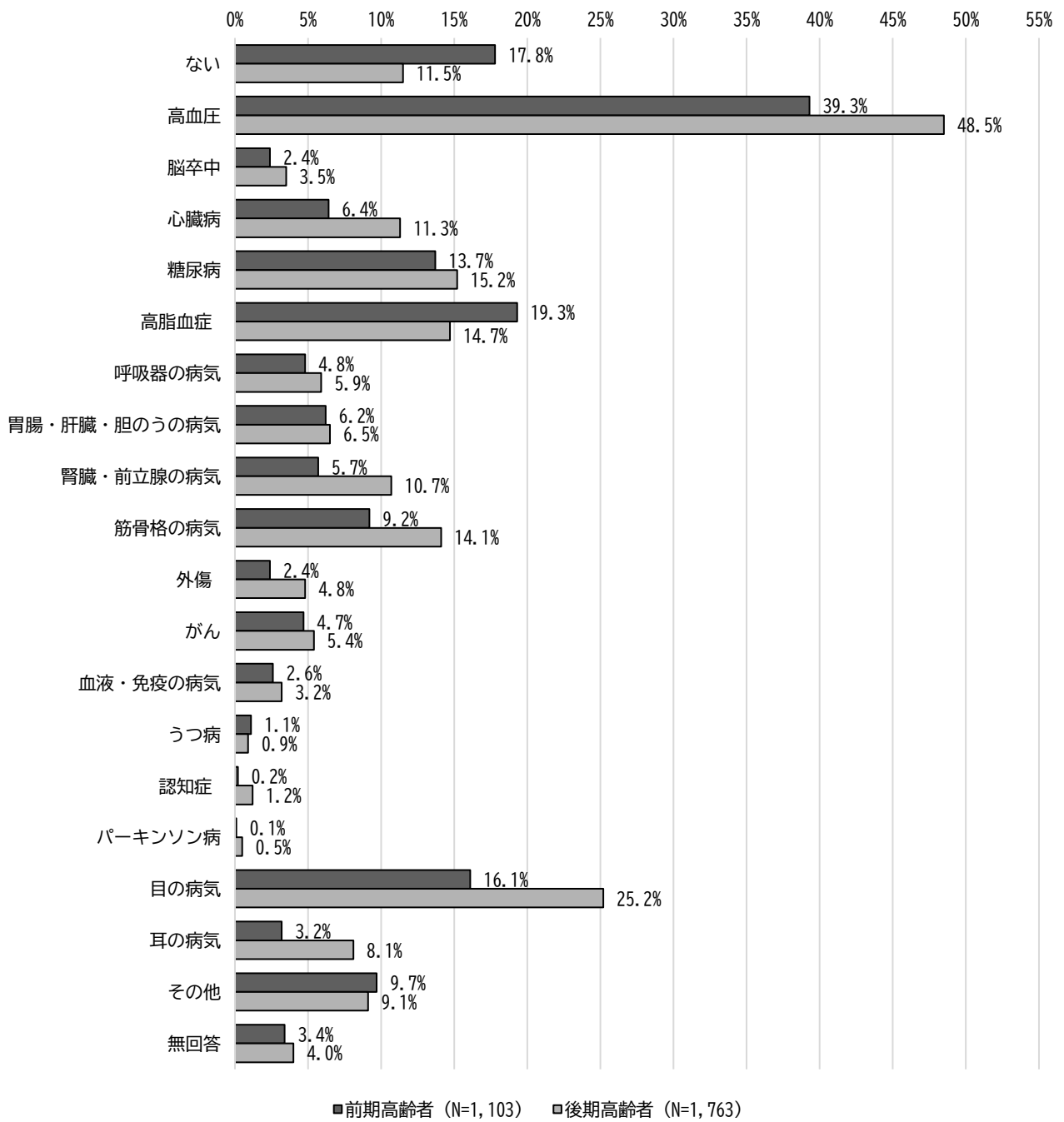
「心臓病」は「後期高齢者」が 11.3%に対し、「前期高齢者」は 6.4%と、「後期高齢者」が「前期高齢者」を 4.9 ポイント上回っています。

「筋骨格の病気」は「後期高齢者」が 14.1%に対し、「前期高齢者」は 9.2%と、「後期高齢者」が「前期高齢者」を 4.9 ポイント上回っています。

「耳の病気」は「後期高齢者」が 8.1%に対し、「前期高齢者」は 3.2%と、「後期高齢者」が「前期高齢者」を 4.9 ポイント上回っています。

反対に「高脂血症」は「前期高齢者」が 19.3%に対し、「後期高齢者」は 14.7%と、「前期高齢者」が「後期高齢者」を 4.6 ポイント上回っています。

《年齢区分別》現在治療中、または後遺症のある病気



《介護の有無別》

「介護は不要」は「高血圧」が 44.7%と最も多く、次いで「目の病気」が 20.7%、「高脂血症」が 17.0%、「糖尿病」が 14.1%、「筋骨格の病気」が 11.3%、「介護は必要」は「高血圧」が 45.9%と最も多く、次いで「目の病気」が 30.2%、「心臓病」が 21.0%、「筋骨格の病気」が 19.5%、「糖尿病」が 18.3%となっています。

「外傷」は「介護は必要」が 17.5%に対し、「介護は不要」は 2.1%と、「介護は必要」が「介護は不要」を 15.4ポイント上回っています。

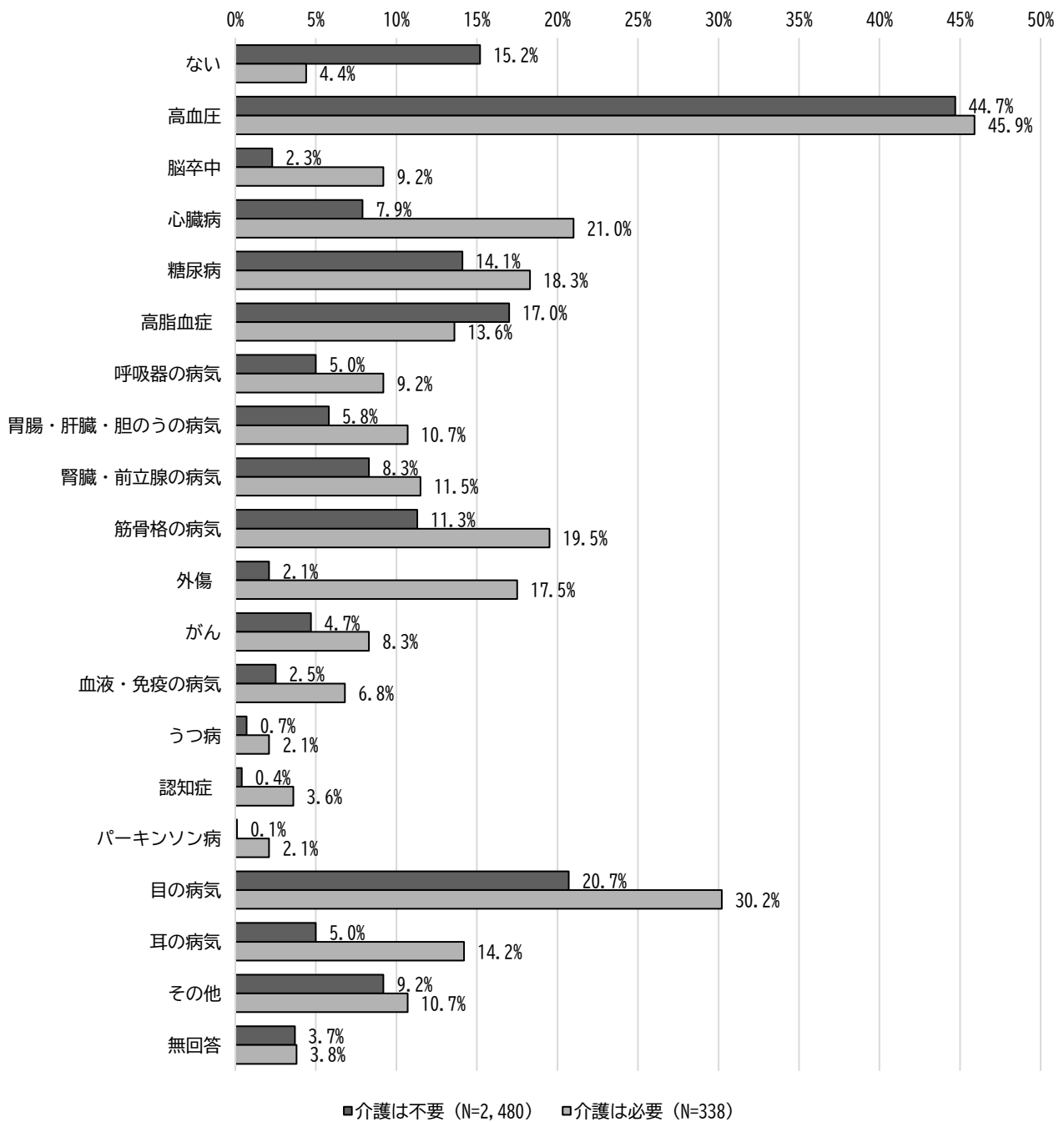
「心臓病」は「介護は必要」が 21.0%に対し、「介護は不要」は 7.9%と、「介護は必要」が「介護は不要」を 13.1ポイント上回っています。

「目の病気」は「介護は必要」が 30.2%に対し、「介護は不要」は 20.7%と、「介護は必要」が「介護は不要」を 9.5ポイント上回っています。

「耳の病気」は「介護は必要」が 14.2%に対し、「介護は不要」は 5.0%と、「介護は必要」が「介護は不要」を 9.2ポイント上回っています。

「筋骨格の病気」は「介護は必要」が 19.5%に対し、「介護は不要」は 11.3%と、「介護は必要」が「介護は不要」を 8.2ポイント上回っています。

《介護の有無別》治療中、または後遺症のある病気



《日常生活圏域別》

回答の多かった「高血圧」「目の病気」「高脂血症」に着目して圏域ごとの比較を行います。

「高血圧」は「天見小学校区」が 50.0%と最も多く、次いで「川上小学校区」が 48.4%、「天野小学校区」が 48.1%、「高向小学校区」が 47.6%、「南花台小学校区」が 46.7%となっています。

「目の病気」は「天見小学校区」が 30.6%と最も多く、次いで「川上小学校区」が 26.8%、「南花台小学校区」が 22.8%、「高向小学校区」が 22.6%、「加賀田小学校区」が 22.3%となっています。

「高脂血症」は「天見小学校区」が 25.0%と最も多く、次いで「高向小学校区」が 23.4%、「川上小学校区」が 19.0%、「三日市小学校区」が 18.9%、「美加の台小学校区」が 18.6%となっています。

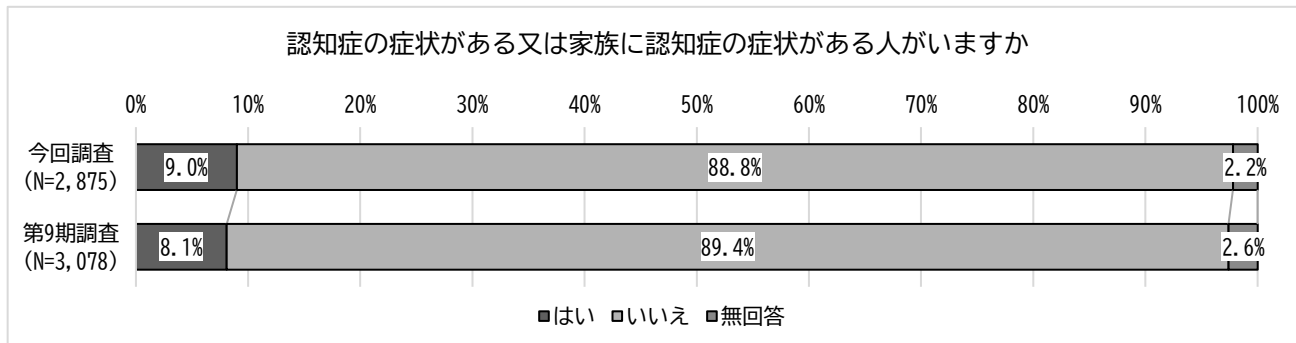
圏域	回答数	ない	高血圧	脳卒中	心臓病	糖尿病	高脂血症	呼吸器の 病気	胃腸・肝 臓・胆の うの病気	腎臓・前 立腺の病 気	筋骨格の 病気
長野	314	11.8%	44.6%	4.5%	11.8%	13.4%	14.6%	5.4%	8.3%	5.7%	13.1%
小山田	325	13.2%	44.6%	3.4%	8.9%	14.2%	15.7%	4.3%	4.0%	8.3%	14.8%
天野	54	16.7%	48.1%	1.9%	7.4%	11.1%	9.3%	9.3%	7.4%	3.7%	16.7%
高向	124	8.1%	47.6%	1.6%	12.1%	17.7%	23.4%	4.0%	8.1%	10.5%	12.1%
三日市	244	14.8%	45.1%	3.3%	6.1%	13.9%	18.9%	7.8%	7.4%	11.1%	14.3%
天見	36	5.6%	50.0%	5.6%	13.9%	16.7%	25.0%	11.1%	2.8%	22.2%	13.9%
川上	310	14.2%	48.4%	4.5%	8.7%	13.2%	19.0%	6.1%	7.7%	9.4%	9.7%
千代田	332	11.7%	44.3%	3.0%	9.0%	16.3%	15.4%	5.4%	8.7%	6.0%	15.1%
楠	292	16.1%	44.5%	1.7%	9.2%	11.6%	13.4%	4.8%	4.1%	10.3%	13.0%
加賀田	206	17.5%	45.1%	1.5%	6.8%	13.1%	15.0%	2.9%	5.3%	8.3%	10.7%
石仏	155	16.8%	38.7%	1.9%	13.5%	14.8%	12.3%	5.8%	4.5%	11.6%	12.9%
美加の台	215	14.4%	41.9%	4.7%	8.8%	18.1%	18.6%	7.4%	7.0%	10.2%	8.4%
南花台	259	14.7%	46.7%	1.9%	10.4%	17.4%	18.5%	4.2%	5.0%	8.1%	7.7%

圏域	回答数	外傷	がん	血液・免 疫の病気	うつ病	認知症	パーキン ソン病	目の病気	耳の病気	その他	無回答
長野	314	3.2%	5.7%	3.8%	1.3%	2.2%	0.3%	20.7%	6.7%	9.6%	4.5%
小山田	325	5.5%	2.8%	2.5%	0.6%	0.3%	0.3%	17.2%	8.3%	10.8%	4.3%
天野	54	1.9%	1.9%	1.9%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	3.7%	3.7%	3.7%
高向	124	1.6%	3.2%	1.6%	0.8%	0.0%	0.0%	22.6%	9.7%	16.1%	2.4%
三日市	244	5.7%	3.3%	4.5%	0.4%	0.4%	0.0%	21.7%	5.7%	7.4%	1.6%
天見	36	2.8%	8.3%	5.6%	2.8%	0.0%	2.8%	30.6%	0.0%	5.6%	5.6%
川上	310	2.9%	6.8%	2.3%	1.6%	0.3%	0.0%	26.8%	5.2%	8.1%	2.3%
千代田	332	6.0%	5.7%	3.6%	1.5%	1.2%	0.6%	21.4%	7.8%	9.0%	4.8%
楠	292	5.5%	5.5%	4.1%	0.3%	0.7%	0.3%	21.9%	5.8%	10.3%	4.1%
加賀田	206	2.4%	5.3%	2.4%	0.5%	0.5%	0.0%	22.3%	6.8%	10.2%	1.9%
石仏	155	3.9%	5.2%	3.2%	0.6%	1.3%	1.3%	20.6%	4.5%	9.7%	4.5%
美加の台	215	2.3%	6.5%	2.3%	0.9%	0.5%	0.0%	21.4%	3.3%	9.8%	4.7%
南花台	259	1.9%	6.2%	1.5%	1.2%	1.2%	0.4%	22.8%	5.4%	6.9%	5.0%

問 9 認知症にかかる相談窓口の把握について

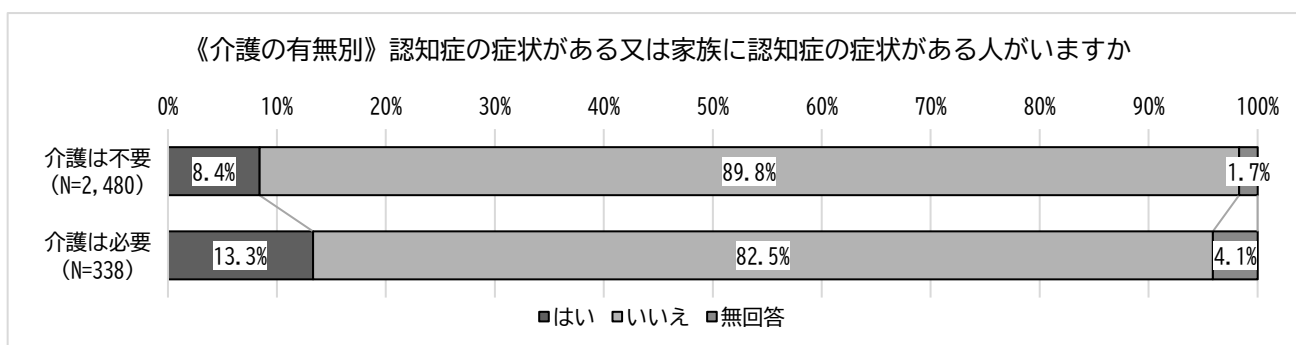
問 9-1 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか(○はひとつ)

「はい」が9.0%、「いいえ」が88.8%となっており、第9期調査との有意な差はありません。



《介護の有無別》

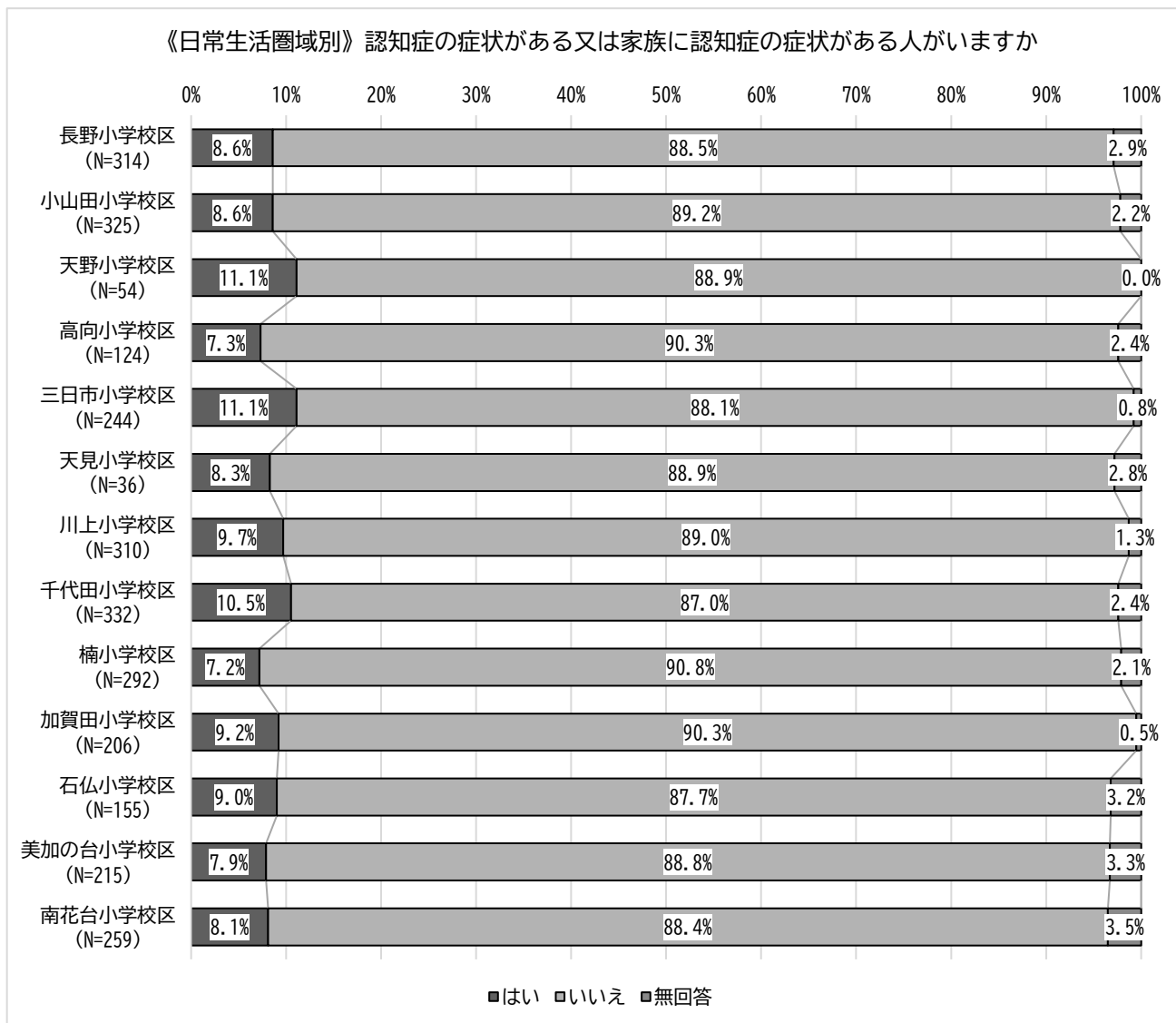
「介護は不要」は「はい」が8.4%、「いいえ」が89.8%、「介護は必要」は「はい」が13.3%、「いいえ」が82.5%で、「はい」は「介護は必要」が13.3%に対し、「介護は不要」は8.4%と、「介護は必要」が「介護は不要」を4.9ポイント上回っています。



《日常生活圏域別》

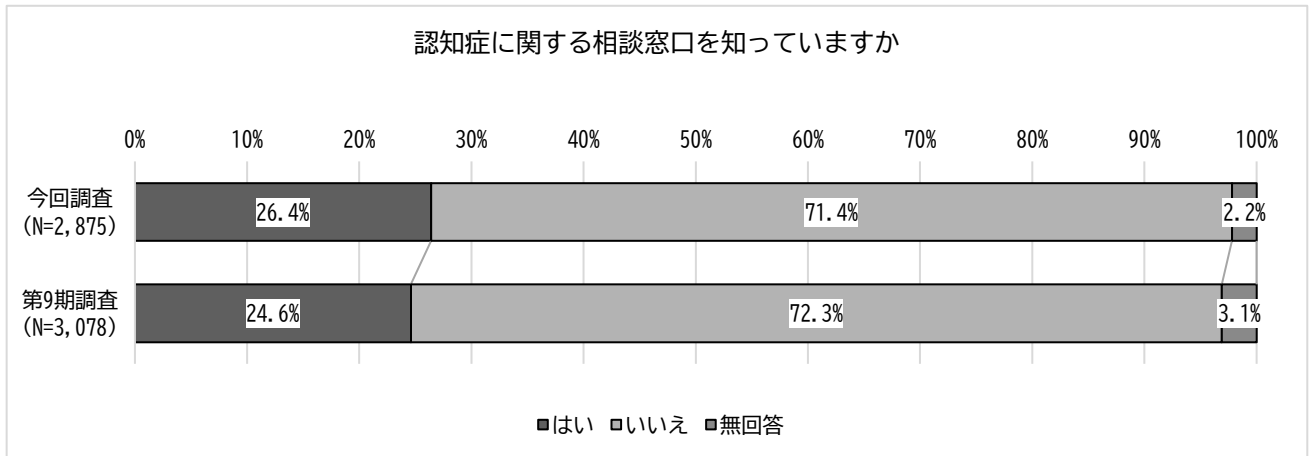
「はい」は「天野小学校区」と「三日市小学校区」が共に 11.1%と最も多く、次いで「千代田小学校区」が 10.5%、「川上小学校区」が 9.7%、「加賀田小学校区」が 9.2%となっています。

「いいえ」は「楠小学校区」が 90.8%と最も多く、次いで「高向小学校区」と「加賀田小学校区」が共に 90.3%、「小山田小学校区」が 89.2%、「川上小学校区」が 89.0%となっています。



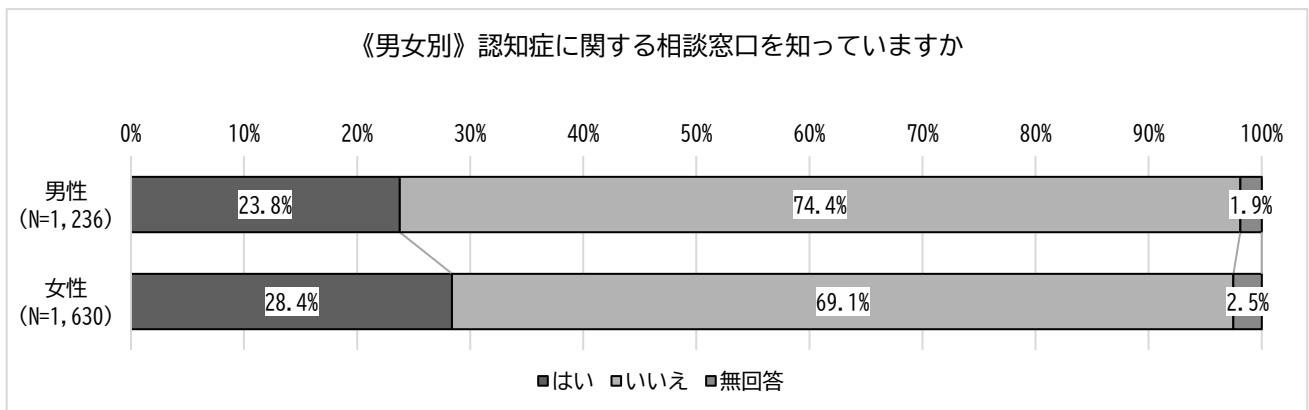
問 9-2 認知症に関する相談窓口を知っていますか(〇はひとつ)

「はい」が26.4%、「いいえ」が71.4%となっており、第9期調査との有意な差はありません。



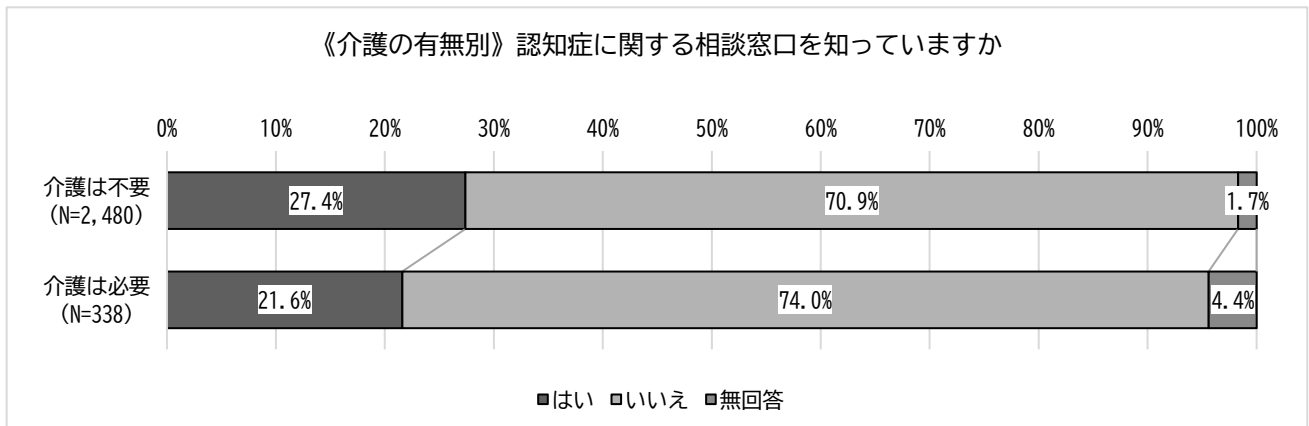
《男女別》

「男性」は「はい」が23.8%、「いいえ」が74.4%、「女性」は「はい」が28.4%、「いいえ」が69.1%で、「はい」は「女性」が28.4%に対し、「男性」は23.8%と、「女性」が「男性」を4.6ポイント上回っています。



《介護の有無別》

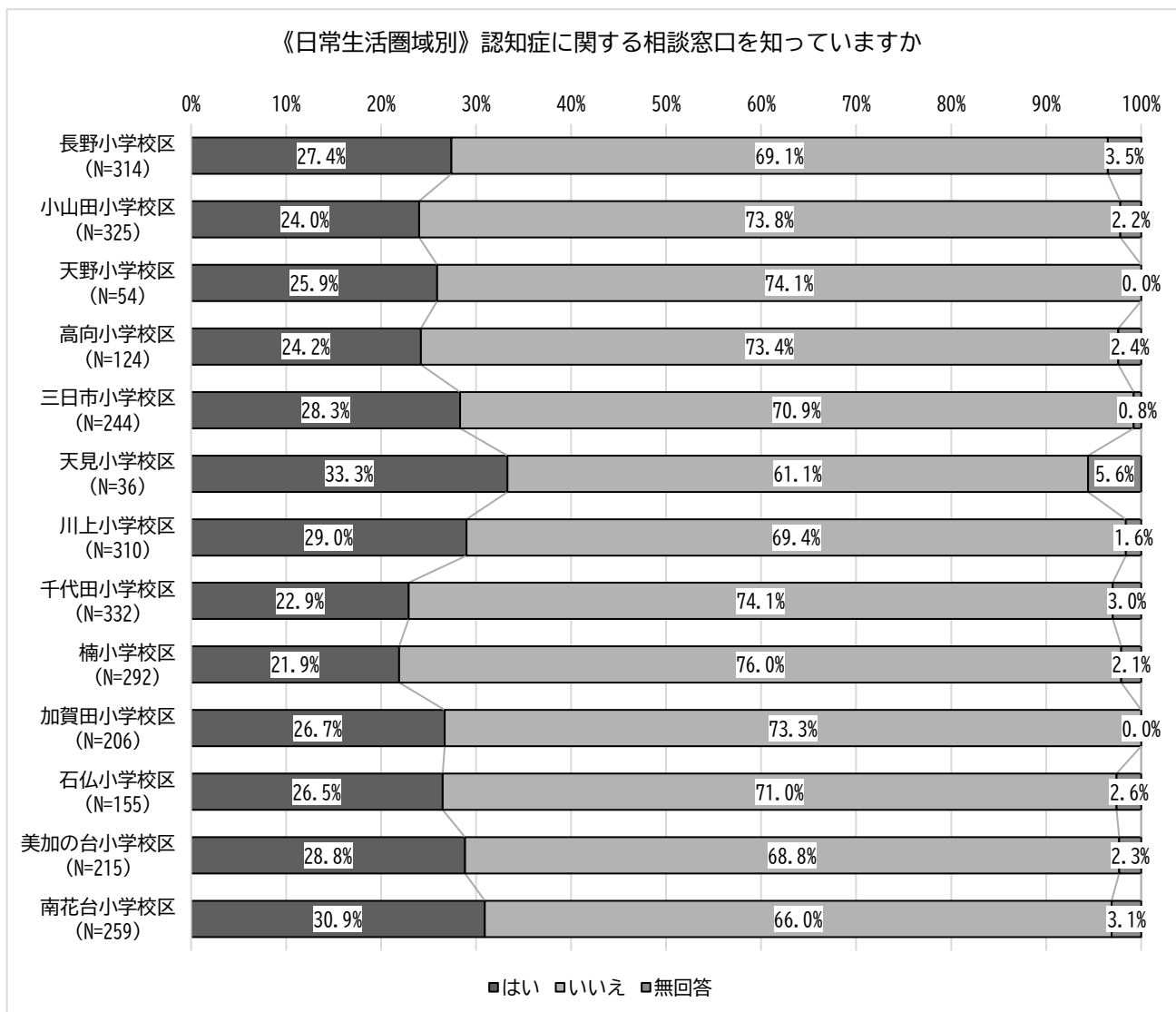
「介護は不要」は「はい」が27.4%、「いいえ」が70.9%、「介護は必要」は「はい」が21.6%、「いいえ」が74.0%で、「はい」は「介護は不要」が27.4%に対し、「介護は必要」は21.6%と、「介護は不要」が「介護は必要」を5.8ポイント上回っています。



《日常生活圏域別》

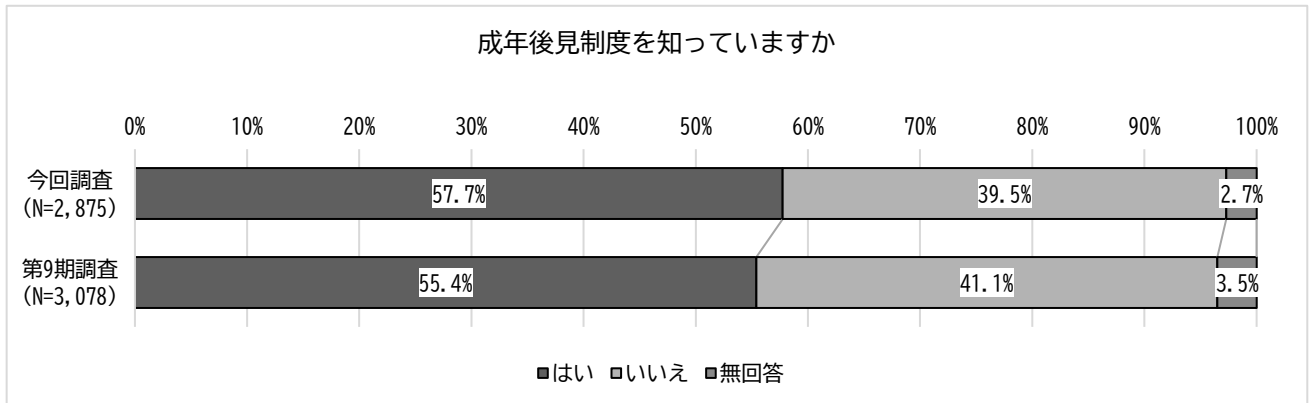
「はい」は「天見小学校区」が 33.3%と最も多く、次いで「南花台小学校区」が 30.9%、「川上小学校区」が 29.0%、「美加の台小学校区」が 28.8%、「三日市小学校区」が 28.3%となっています。

「いいえ」は「楠小学校区」が 76.0%と最も多く、次いで「天野小学校区」と「千代田小学校区」が共に 74.1%、「小山田小学校区」が 73.8%、「高向小学校区」が 73.4%となっています。



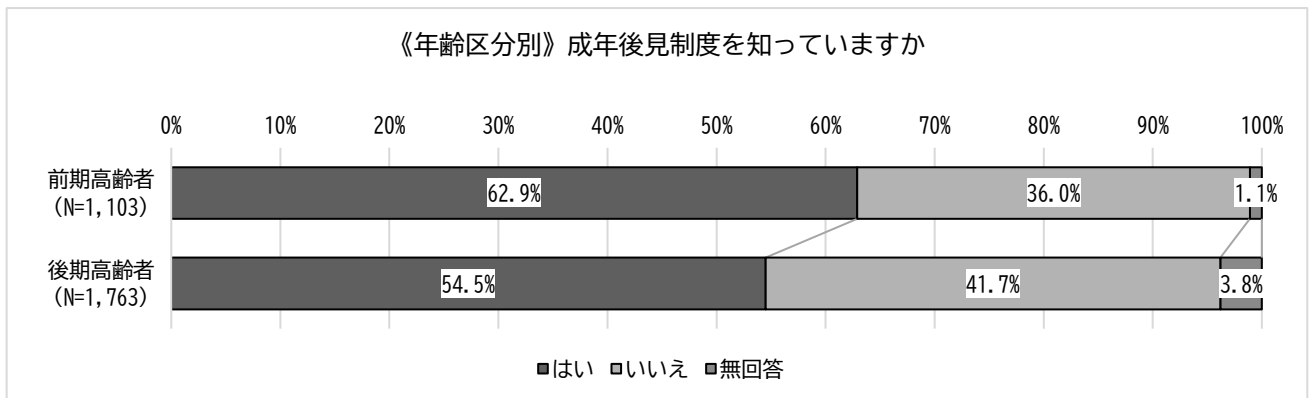
問 9-3 成年後見制度を知っていますか(○はひとつ)

「はい」が 57.7%、「いいえ」が 39.5%となっており、第 9 期調査との有意な差はありません。



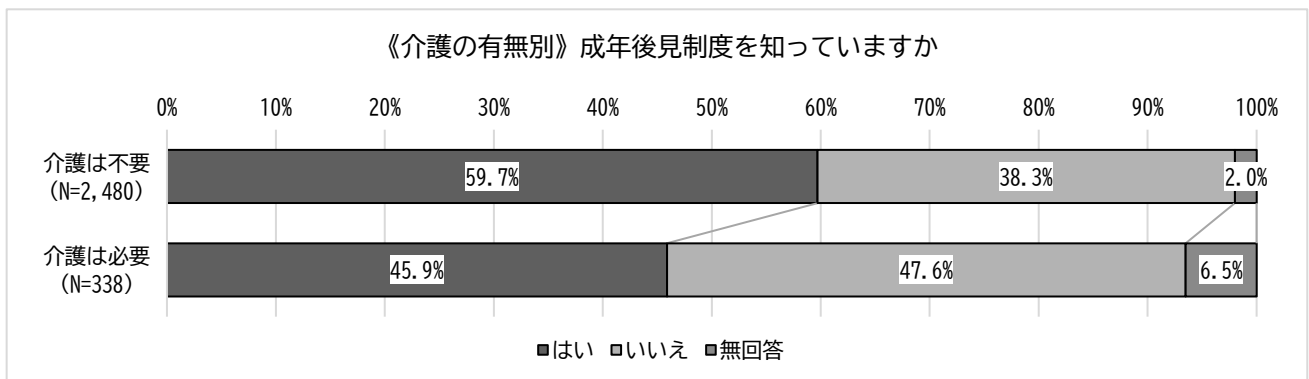
《年齢区分別》

「前期高齢者」は「はい」が 62.9%、「いいえ」が 36.0%、「後期高齢者」は「はい」が 54.5%、「いいえ」が 41.7%で、「はい」は「前期高齢者」が 62.9%に対し、「後期高齢者」は 54.5%と、「前期高齢者」が「後期高齢者」を 8.4 ポイント上回っています。



《介護の有無別》

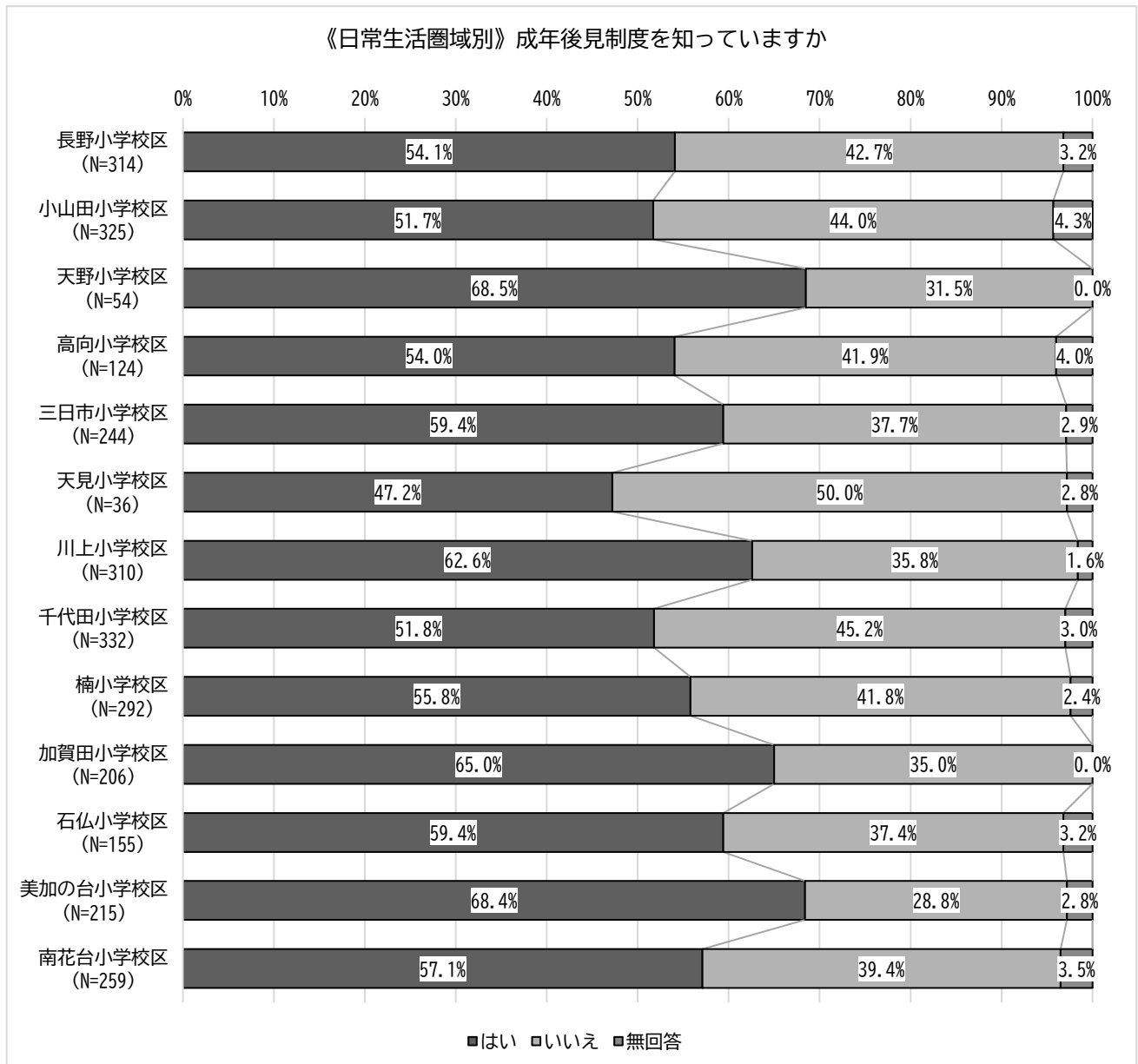
「介護は不要」は「はい」が 59.7%、「いいえ」が 38.3%、「介護は必要」は「はい」が 45.9%、「いいえ」が 47.6%で、「はい」は「介護は不要」が 59.7%に対し、「介護は必要」は 45.9%と、「介護は不要」が「介護は必要」を 13.8 ポイント上回っています。



《日常生活圏域別》

「はい」は「天野小学校区」が68.5%と最も多く、次いで「美加の台小学校区」が68.4%、「加賀田小学校区」が65.0%、「川上小学校区」が62.6%、「三日市小学校区」と「石仏小学校区」が共に59.4%となっています。

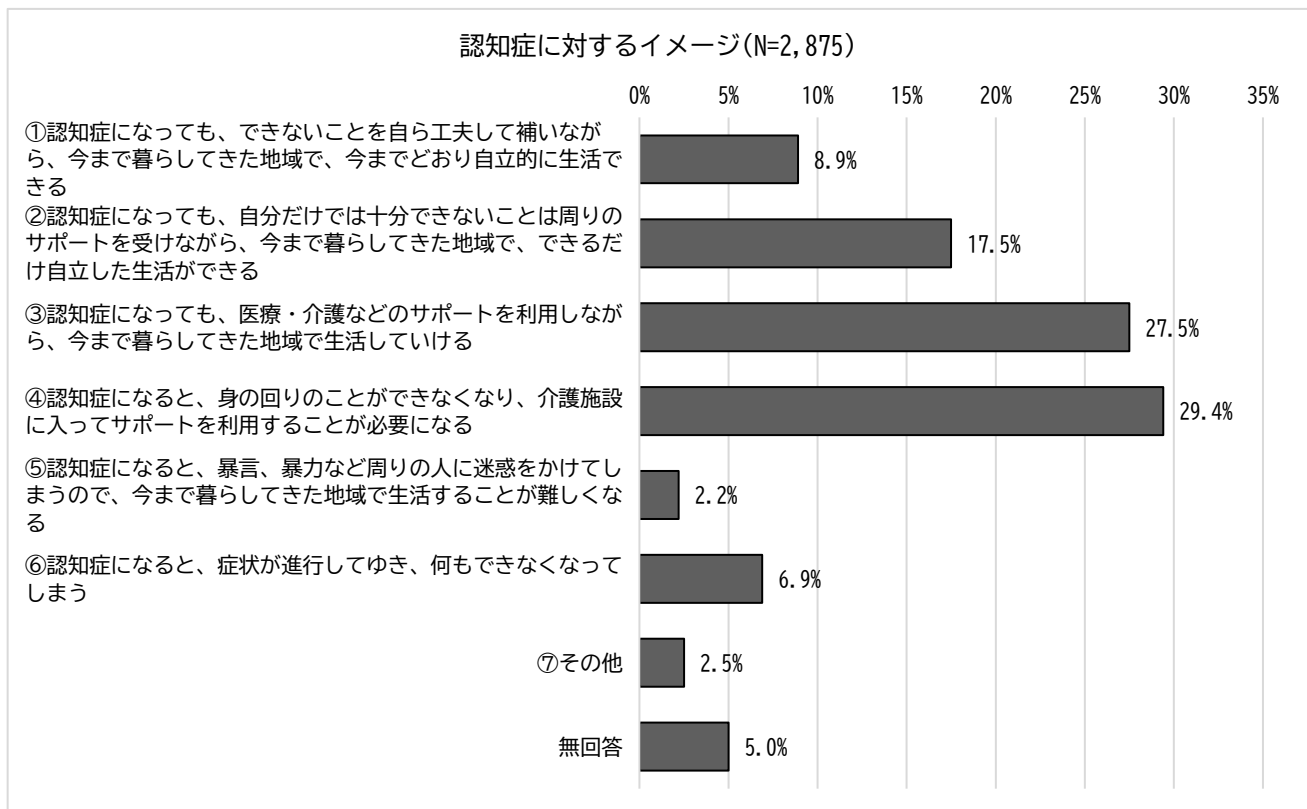
「いいえ」は「天見小学校区」が50.0%と最も多く、次いで「千代田小学校区」が45.2%、「小山田小学校区」が44.0%、「長野小学校区」が42.7%、「高向小学校区」が41.9%となっています。



問 10 認知症について

問 10-1 あなたは認知症に対してどのようなイメージを持っていますか。あなたが思うイメージに最も近いものをお答えください。(○は1つ)

「認知症になると、身の回りのことができなくなり、介護施設に入ってサポートを利用することが必要になる」が29.4%と最も多く、次いで「認知症になっても、医療・介護などのサポートを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活していける」が27.5%、「認知症になっても、自分だけでは十分できないことは周りのサポートを受けながら、今まで暮らしてきた地域で、できるだけ自立した生活ができる」が17.5%となっています。



《自由記述》

認知症に対するイメージについて60件の回答があり、症状の進行度や個人差を指摘する声、介護経験に基づく実感、具体的なイメージが湧かないなど意見がありました。

① 症状・進行度・個人差について

- 「認知症の症状により異なる」「程度(レベル)によって違う」といった、一概に言えないとする意見が多く見られました。
- 「1~6は段階的になっていくと思う」「初期は①で進行することによって⑥になるイメージ」という、病状の変化を段階的に捉える記述もありました。
- 「人により様々なイメージ」「症状の出方がそれぞれ」といった個人差を指摘する声もありました。

② 不安・悲観的なイメージについて

- 「生きていくつもりはない」「死にたいです」といった、自身が認知症になることへの強い拒否感や不安を示す記述が見られました。

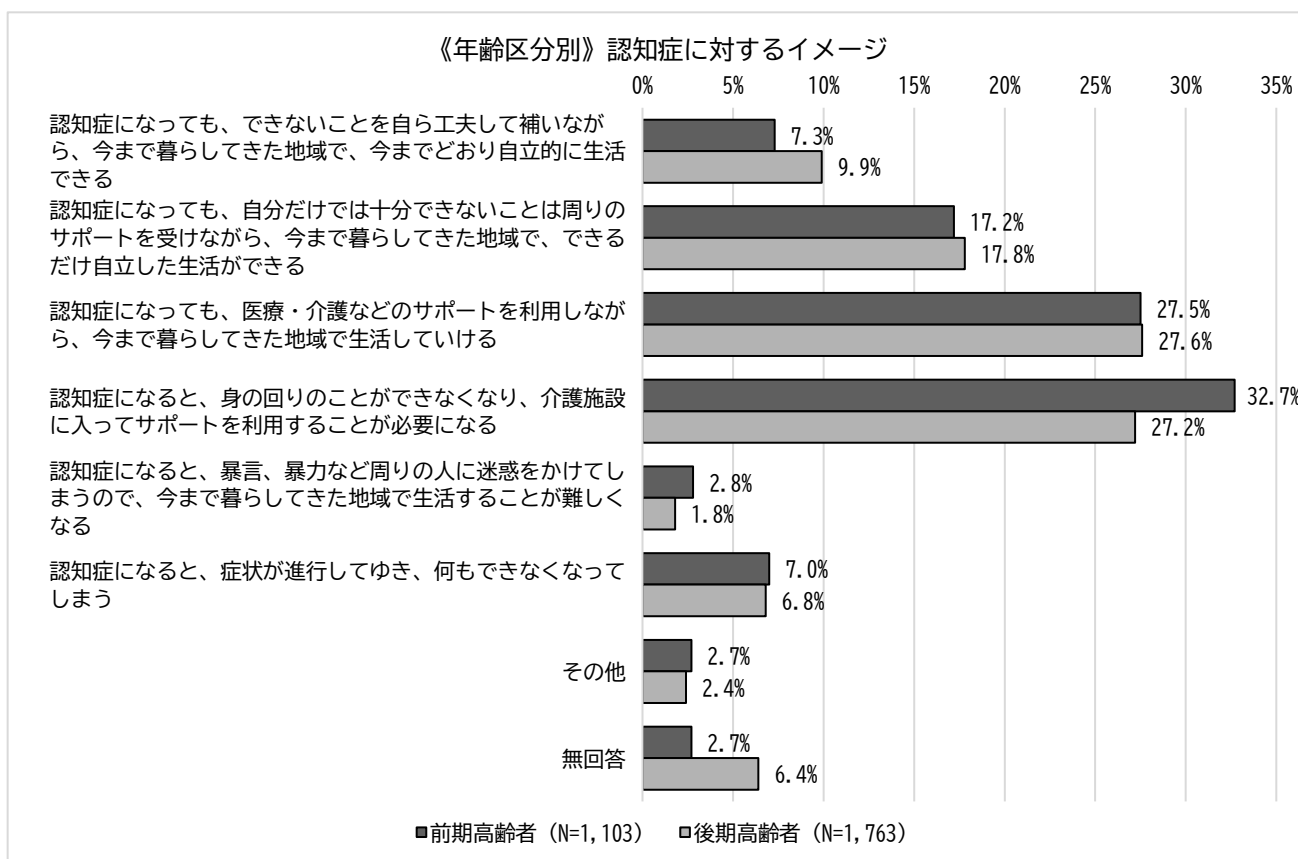
- 「妻の介護ができなくなる」「不安になれば子どもの援助」といった、生活への影響を懸念する声もありました。
- ③ わからない・予防意識について
- 「経験がないので、どうなるかわからない」「なってみないとわからない」といった、実感を持ってないとする回答も多くありました。
 - 「ならないように気を付けている」「早期発見・治療が大切」といった予防や対策への意識を示す意見も見られました。
- ④ 介護経験からの実感について
- 「主人を認知症で 8 年間看てきたからよくわかる」「母と同居して、できることはやってもらい、できないことはサポートしている」といった、実際の介護経験に基づく具体的な実感が寄せられました。

《年齢区分別》

「前期高齢者」は「認知症になると、身の回りのことができなくなり、介護施設に入ってサポートを利用することが必要になる」が 32.7%と最も多く、次いで「認知症になっても、医療・介護などのサポートを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活していける」が 27.5%、「認知症になっても、自分だけでは十分できないことは周りのサポートを受けながら、今まで暮らしてきた地域で、できるだけ自立した生活ができる」が17.2%となっています。

「後期高齢者」は「認知症になっても、医療・介護などのサポートを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活していける」が 27.6%、「認知症になると、身の回りのことができなくなり、介護施設に入ってサポートを利用することが必要になる」が 27.2%、「認知症になっても、自分だけでは十分できないことは周りのサポートを受けながら、今まで暮らしてきた地域で、できるだけ自立した生活ができる」が17.8%となっています。

「認知症になると、身の回りのことができなくなり、介護施設に入ってサポートを利用することが必要になる」は「前期高齢者」が 32.7%に対し、「後期高齢者」は 27.2%と、「前期高齢者」が「後期高齢者」を 5.5 ポイント上回っています。

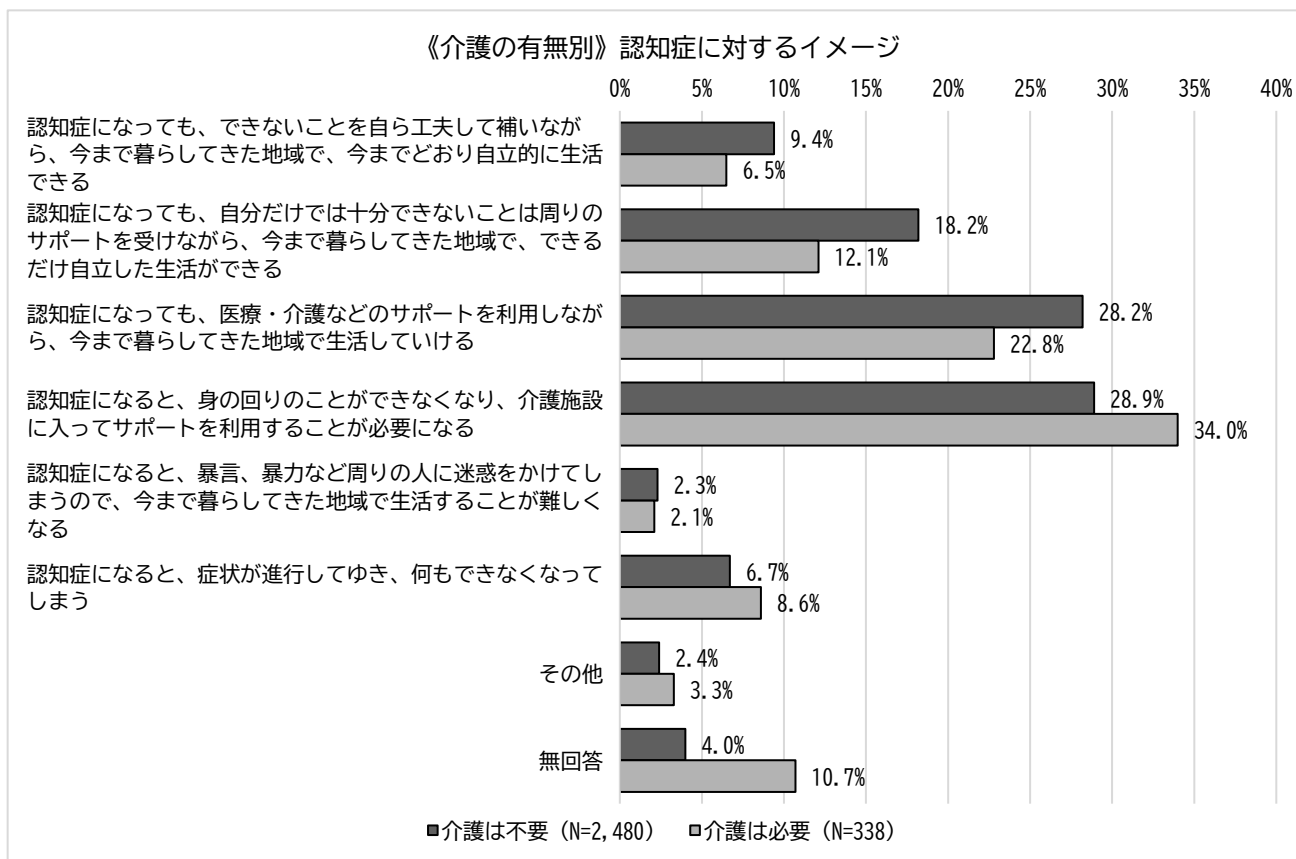


《介護の有無別》

「介護は不要」は「認知症になると、身の回りのことができなくなり、介護施設に入ってサポートを利用することが必要になる」が 28.9%と最も多く、次いで「認知症になっても、医療・介護などのサポートを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活していける」が 28.2%、「認知症になっても、自分だけでは十分できないことは周りのサポートを受けながら、今まで暮らしてきた地域で、できるだけ自立した生活ができる」が 18.2%となっています。

「介護は必要」は「認知症になると、身の回りのことができなくなり、介護施設に入ってサポートを利用することが必要になる」が 34.0%、「認知症になっても、医療・介護などのサポートを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活していける」が 22.8%、「認知症になっても、自分だけでは十分できないことは周りのサポートを受けながら、今まで暮らしてきた地域で、できるだけ自立した生活ができる」が 12.1%となっています。

「認知症になっても、医療・介護などのサポートを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活していける」は「介護は不要」が 28.2%に対し、「介護は必要」は 22.8%と、「介護は不要」が「介護は必要」を 5.4 ポイント上回り、「認知症になると、身の回りのことができなくなり、介護施設に入ってサポートを利用することが必要になる」は「介護は必要」が 34.0%に対し、「介護は不要」は 28.9%と、「介護は必要」が「介護は不要」を 5.1 ポイント上回っています。



《日常生活圏域別》

回答の多かった「認知症になると、身の回りのことができなくなり、介護施設に入ってサポートを利用することが必要になる」「認知症になっても、医療・介護などのサポートを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活していける」「認知症になっても、自分だけでは十分できないことは周りのサポートを受けながら、今まで暮らしてきた地域で、できるだけ自立した生活ができる」に着目して圏域ごとの比較を行います。

「認知症になっても、医療・介護などのサポートを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活していける」は「加賀田小学校区」が 33.0%と最も多く、次いで「美加の台小学校区」が 32.1%、「天野小学校区」が 31.5%、「高向小学校区」が 29.8%、「三日市小学校区」が 29.5%となっています。

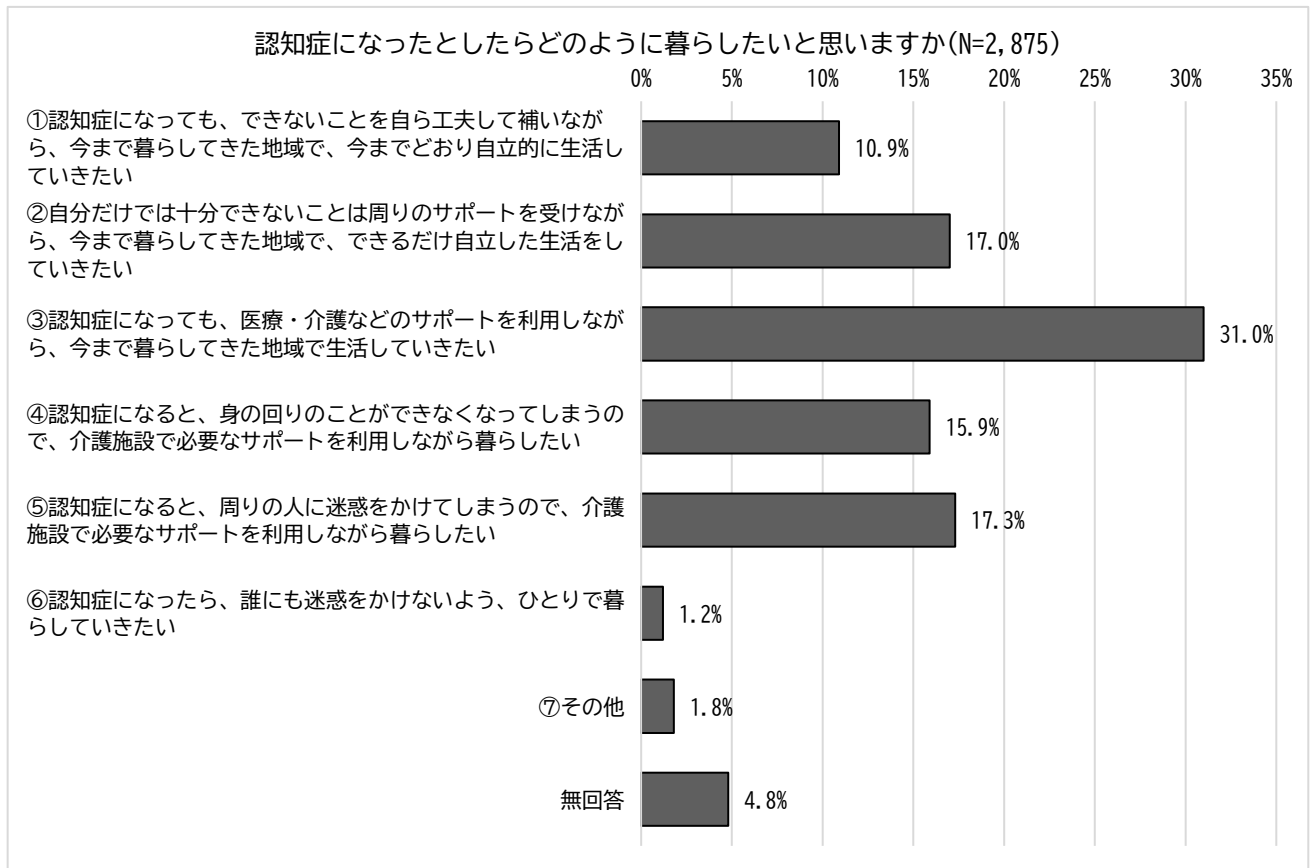
「認知症になると、身の回りのことができなくなり、介護施設に入ってサポートを利用することが必要になる」は「千代田小学校区」が 34.9%と最も多く、次いで「天野小学校区」と「天見小学校区」が共に 33.3%、「楠小学校区」が 33.2%、「三日市小学校区」が 30.7%となっています。

「認知症になっても、自分だけでは十分できないことは周りのサポートを受けながら、今まで暮らしてきた地域で、できるだけ自立した生活ができる」は「川上小学校区」が 21.0%と最も多く、次いで「南花台小学校区」が 20.5%、「小山田小学校区」が 19.7%、「天見小学校区」が 19.4%、「加賀田小学校区」が 18.4%となっています。

圏域	回答数	認知症になっても、身の回りのことができなくなり、介護施設に入ってサポートを利用することが必要になる	認知症になっても、医療・介護などのサポートを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活していける	認知症になると、身の回りのことができなくなり、介護施設に入ってサポートを利用することが必要になる	認知症になると、暴言、暴力など周りの人に迷惑をかけてしまうので、今まで暮らしてきた地域で生活することが難しくなる	認知症になると、症状が進行してゆき、何もできなくなってしまう	その他	無回答	
長野	314	10.5%	17.5%	26.4%	26.1%	2.5%	8.6%	4.1%	4.1%
小山田	325	8.0%	19.7%	27.4%	28.3%	2.2%	5.5%	3.1%	5.8%
天野	54	9.3%	16.7%	31.5%	33.3%	1.9%	1.9%	1.9%	3.7%
高向	124	5.6%	16.9%	29.8%	27.4%	2.4%	8.1%	0.8%	8.9%
三日市	244	9.8%	12.3%	29.5%	30.7%	2.0%	9.0%	2.0%	4.5%
天見	36	8.3%	19.4%	27.8%	33.3%	0.0%	5.6%	0.0%	5.6%
川上	310	8.4%	21.0%	26.5%	29.7%	2.3%	5.8%	2.3%	4.2%
千代田	332	4.5%	16.6%	24.7%	34.9%	3.9%	7.5%	1.8%	6.0%
楠	292	12.0%	14.4%	26.0%	33.2%	1.4%	3.4%	2.1%	7.5%
加賀田	206	7.3%	18.4%	33.0%	28.6%	1.5%	8.7%	1.0%	1.5%
石仏	155	11.6%	18.1%	24.5%	29.0%	0.6%	7.7%	3.2%	5.2%
美加の台	215	8.4%	16.7%	32.1%	24.7%	1.9%	7.9%	3.7%	4.7%
南花台	259	12.0%	20.5%	25.9%	25.5%	2.7%	6.6%	3.5%	3.5%

問 10-2 もし、あなたが認知症になったら、どのように暮らしたいと思いますか。あなたが思う暮らしに最も近いものをお答えください。また、ご自身が認知症であると診断された場合には、今後の暮らしの希望について、最も近いものをお答えください。(〇は1つ)

「認知症になっても、医療・介護などのサポートを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活していきたい」が 31.0%と最も多く、次いで「認知症になると、周りの人に迷惑をかけてしまうので、介護施設で必要なサポートを利用しながら暮らしたい」が 17.3%、「自分だけでは十分できないことは周りのサポートを受けながら、今まで暮らしてきた地域で、できるだけ自立した生活をしていきたい」が 17.0%となっています。



《自由記述》

認知症になった時のどのように暮らしたいかについて、41件の回答があり、症状の進行度合いによる意見や、現時点では判断できないとする意見、家族への負担を考慮する声などが見られました。

① 症状・進行度による判断について

- 「認知症の症状により異なる」「進行状況によって思いが違う」「レベルによる」といった、一概には決められないとする意見が多く見られました。
- 「できるだけ③で生活したいが、それが無理になったら⑤を考えている」「初期では①、病状が進行すると②→⑤となる」といった、段階的な移行を希望する記述がありました。
- 「認知症でもその時の症状によってふさわしいサポートを受け家庭で生活し、できなければ介護施設入居を考える」という柔軟な対応を求める声もありました。

② 判断の難しさ・不明について

- 「なってみないとわからない」「未経験で分からない」「想像できない」といった、当事者になっていないため判断できないとする回答が多数ありました。
- 「その時の家族の状態にもよるので今はわからない」「知識として知っていても、身の回りにそのような人がいないから具体的な対応は不明」といった記述も見られました。

③ 家族への配慮・相談について

- 「自分では決められない事だと思うので娘と相談」「家族で相談してそれからのことだと思う」といった、家族との話し合いを重視する意見がありました。
- 「子ども夫婦に面倒をかけるかも」「迷惑をかけない為自分自身で最後を迎えると思う」といった、家族への負担を懸念する声も聞かれました。

④ 具体的な希望・死生観について

- 「安楽死希望」「死にたいです」「終わりです」といった、認知症になった場合の延命や生活継続を望まない強い意見が散見されました。
- 住環境として「信州とか、海のきれいな所で生活したい」という希望や、「自立的に生活できる間は地域が望ましい」という意見もありました。

《男女別》

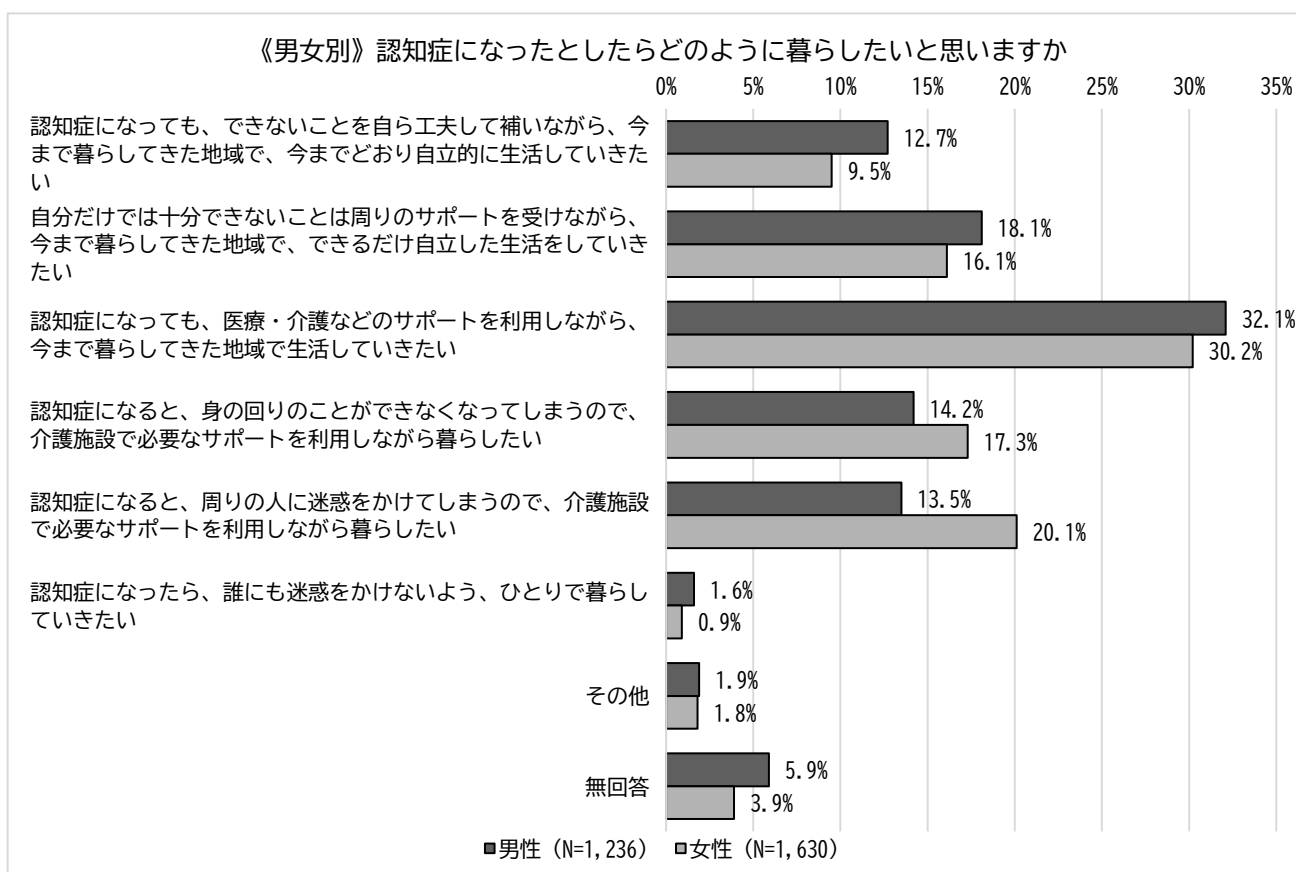
「男性」は「認知症になっても、医療・介護などのサポートを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活していきたい」が32.1%と最も多く、次いで「自分だけでは十分できないことは周りのサポートを受けながら、今まで暮らしてきた地域で、できるだけ自立した生活をしていきたい」が18.1%、「認知症になると、身の回りのことができなくなってしまうので、介護施設で必要なサポートを利用しながら暮らしたい」が14.2%となっています。

「女性」は「認知症になっても、医療・介護などのサポートを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活していきたい」が30.2%と最も多く、次いで「認知症になると、周りの人に迷惑をかけてしまうので、介護施設で必要なサポートを利用しながら暮らしたい」が20.1%、「認知症になると、身の回りのことができなくなってしまうので、介護施設で必要なサポートを利用しながら暮らしたい」が17.3%となっています。

「認知症になっても、できないことを自ら工夫して補いながら、今まで暮らしてきた地域で、今までどおり自立的に生活していきたい」は「男性」が12.7%に対し、「女性」は9.5%と、「男性」が「女性」を3.2ポイント上回っています。

「認知症になると、周りの人に迷惑をかけてしまうので、介護施設で必要なサポートを利用しながら暮らしたい」は「女性」が20.1%に対し、「男性」は13.5%と、「女性」が「男性」を6.6ポイント上回っています。

「認知症になると、身の回りのことができなくなってしまうので、介護施設で必要なサポートを利用しながら暮らしたい」は「女性」が17.3%に対し、「男性」は14.2%と、「女性」が「男性」を3.1ポイント上回っています。

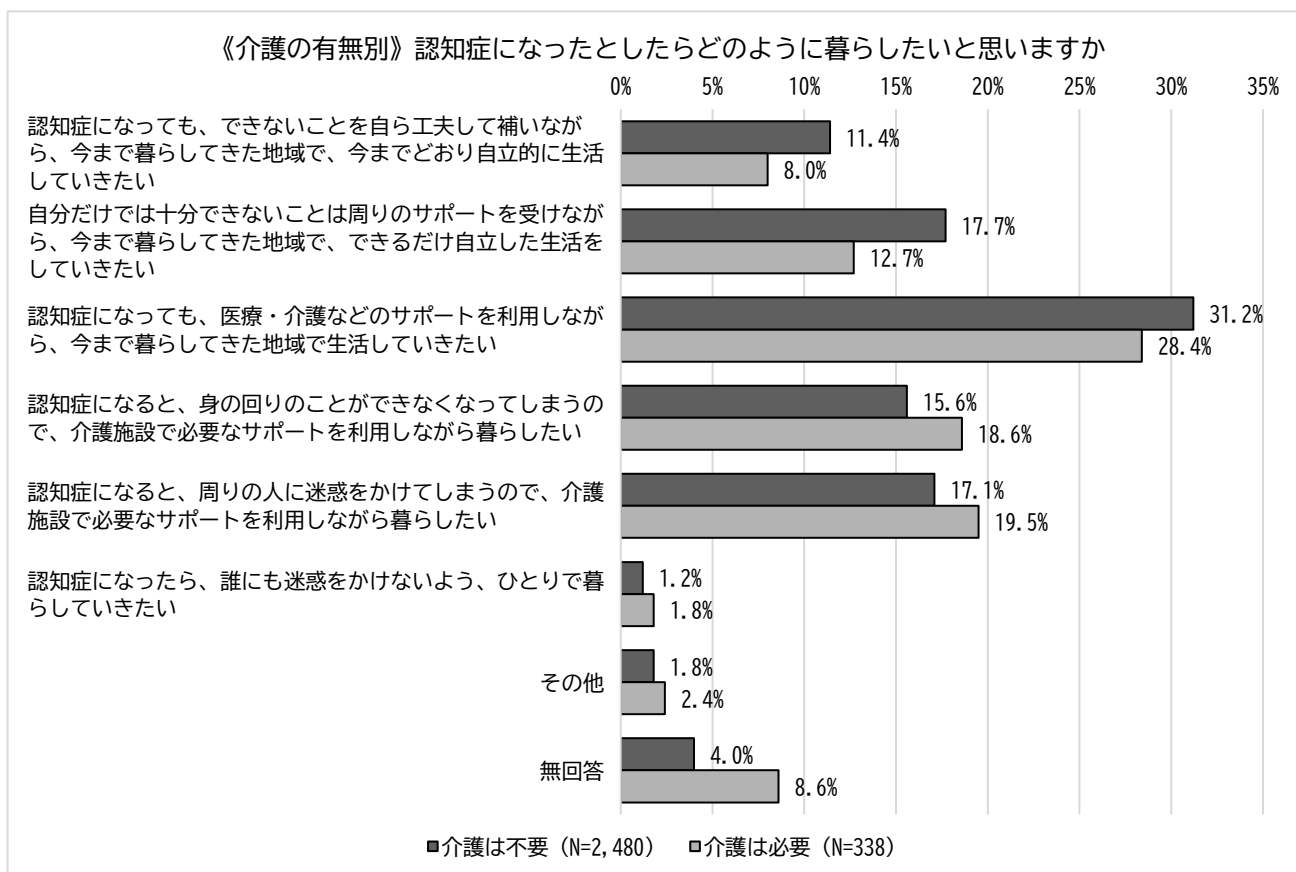


《介護の有無別》

「介護は不要」は「認知症になっても、医療・介護などのサポートを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活していきたい」が 31.2%と最も多く、次いで「自分だけでは十分できないことは周りのサポートを受けながら、今まで暮らしてきた地域で、できるだけ自立した生活をしていきたい」が 17.7%、「認知症になると、周りの人に迷惑をかけてしまうので、介護施設で必要なサポートを利用しながら暮らしたい」が 17.1%となっています。

「介護は必要」は「認知症になっても、医療・介護などのサポートを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活していきたい」が 28.4%と最も多く、次いで「認知症になると、周りの人に迷惑をかけてしまうので、介護施設で必要なサポートを利用しながら暮らしたい」が 19.5%、「認知症になると、身の回りのことができなくなってしまうので、介護施設で必要なサポートを利用しながら暮らしたい」が 18.6%となっています。

「自分だけでは十分できないことは周りのサポートを受けながら、今まで暮らしてきた地域で、できるだけ自立した生活をしていきたい」は「介護は不要」が 17.7%に対し、「介護は必要」は 12.7%と、「介護は不要」が「介護は必要」を 5.0 ポイント上回り、「認知症になっても、できないことを自ら工夫して補いながら、今まで暮らしてきた地域で、今までどおり自立的に生活していきたい」は「介護は不要」が 11.4%に対し、「介護は必要」は 8.0%と、「介護は不要」が「介護は必要」を 3.4 ポイント上回っています。



《日常生活圏域別》

「認知症になっても、できないことを自ら工夫して補いながら、今まで暮らしてきた地域で、今までどおり自立的に生活していきたい」は「南花台小学校区」が 16.2%と最も多く、次いで「天見小学校区」が 13.9%、「石仏小学校区」が 13.5%、「天野小学校区」が 13.0%、「長野小学校区」と「楠小学校区」が共に 12.7%となっています。

「自分だけでは十分できないことは周りのサポートを受けながら、今まで暮らしてきた地域で、できるだけ自立した生活をしていきたい」は「天見小学校区」が 22.2%と最も多く、次いで「加賀田小学校区」が 21.8%、「美加の台小学校区」が 21.4%、「石仏小学校区」が 21.3%、「南花台小学校区」が 19.3%となっています。

「認知症になっても、医療・介護などのサポートを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活していきたい」は「三日市小学校区」が 35.7%と最も多く、次いで「天野小学校区」が 35.2%、「千代田小学校区」が 33.4%、「加賀田小学校区」が 33.0%、「川上小学校区」が 32.6%となっています。

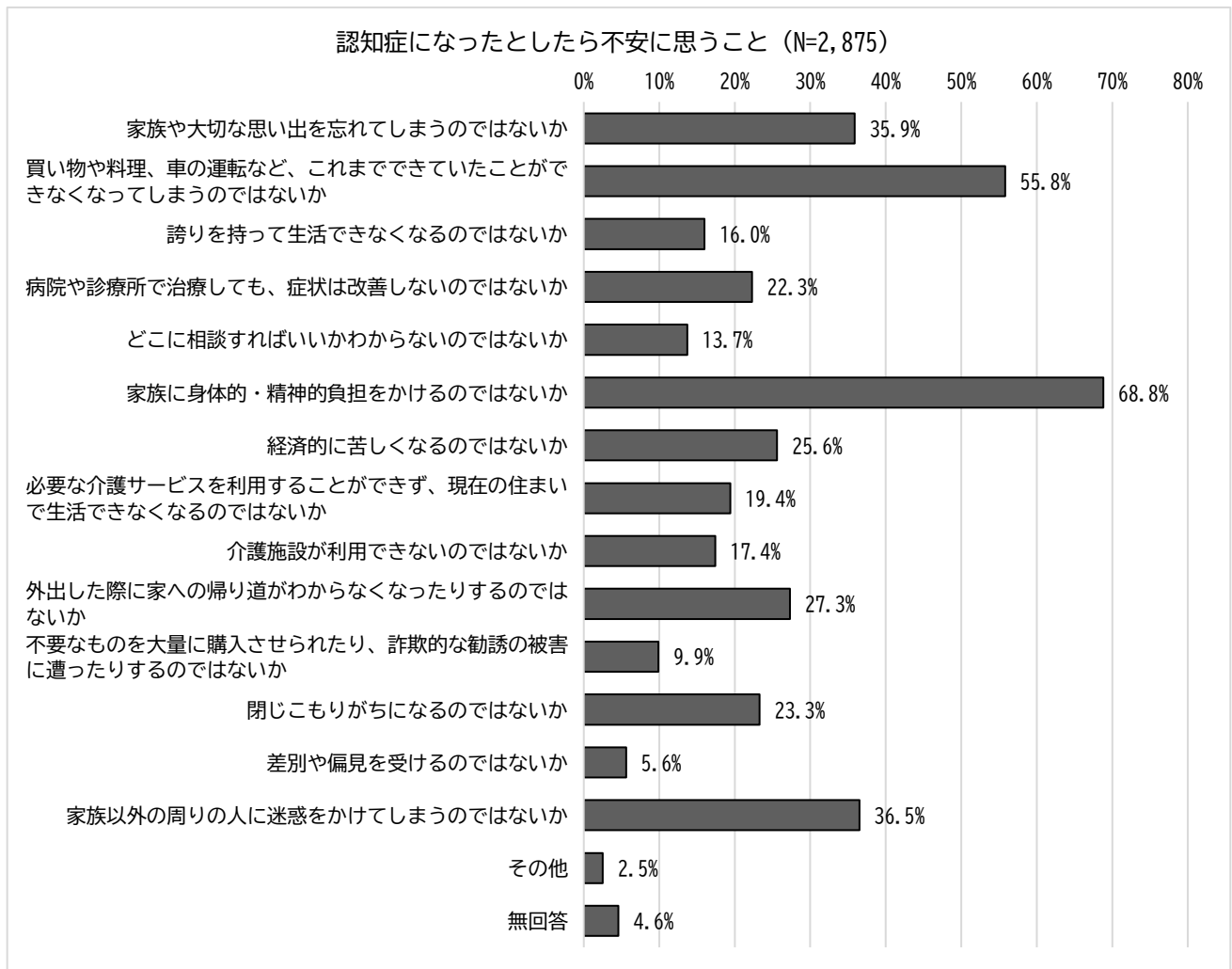
「認知症になると、身の回りのことができなくなってしまうので、介護施設で必要なサポートを利用しながら暮らしたい」は「楠小学校区」が 21.2%と最も多く、次いで「千代田小学校区」が 18.7%、「天野小学校区」が 18.5%、「小山田小学校区」が 17.8%、「川上小学校区」が 17.4%となっています。

「認知症になると、周りの人に迷惑をかけてしまうので、介護施設で必要なサポートを利用しながら暮らしたい」は「天見小学校区」が 22.2%と最も多く、次いで「高向小学校区」が 21.0%、「三日市小学校区」が 20.5%、「楠小学校区」が 19.5%、「長野小学校区」が 18.2%となっています。

圏域	回答数	認知症になっても、できないことを自ら工夫して補いながら、今まで暮らしてきた地域で、今までどおり自立的に生活していきたい	自分だけでは十分できないことは周りのサポートを受けながら、今まで暮らしてきた地域で、できるだけ自立した生活をしていきたい	認知症になっても、医療・介護などのサポートを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活していきたい	認知症になると、身の回りのことができなくなってしまうので、介護施設で必要なサポートを利用しながら暮らしたい	認知症になると、周りの人に迷惑をかけてしまうので、介護施設で必要なサポートを利用しながら暮らしたい	認知症になったら、誰にも迷惑をかけないよう、ひとりで暮らしていきたい	その他	無回答
長野	314	12.7%	15.6%	30.3%	14.6%	18.2%	1.9%	1.3%	5.4%
小山田	325	9.8%	18.2%	29.5%	17.8%	16.3%	0.3%	2.8%	5.2%
天野	54	13.0%	14.8%	35.2%	18.5%	11.1%	1.9%	3.7%	1.9%
高向	124	6.5%	18.5%	32.3%	12.9%	21.0%	0.0%	0.8%	8.1%
三日市	244	10.2%	11.9%	35.7%	14.3%	20.5%	0.4%	2.0%	4.9%
天見	36	13.9%	22.2%	25.0%	11.1%	22.2%	0.0%	0.0%	5.6%
川上	310	11.3%	18.1%	32.6%	17.4%	15.5%	1.9%	1.3%	1.9%
千代田	332	6.9%	14.8%	33.4%	18.7%	18.1%	1.2%	2.4%	4.5%
楠	292	12.7%	11.0%	27.4%	21.2%	19.5%	1.0%	0.7%	6.5%
加賀田	206	9.7%	21.8%	33.0%	15.5%	14.1%	0.0%	1.9%	3.9%
石仏	155	13.5%	21.3%	26.5%	13.5%	14.8%	2.6%	1.9%	5.8%
美加の台	215	7.9%	21.4%	31.6%	11.6%	17.2%	1.9%	2.3%	6.0%
南花台	259	16.2%	19.3%	29.0%	12.4%	15.8%	1.9%	2.3%	3.1%

問 10-3 もし、あなたご自身が認知症になったら、どのようなことに不安を感じると思いますか。特に不安と覚えることをお答えください。また、ご自身が認知症であると診断された場合には、現在特に不安と覚えることをお答えください。(〇はいくつでも)

「家族に身体的・精神的負担をかけるのではないかと」が 68.8%と最も多く、次いで「買い物や料理、車の運転など、これまでできていたことができなくなってしまうのではないかと」が 55.8%、「家族以外の周りの人に迷惑をかけてしまうのではないかと」が 36.5%、「家族や大切な思い出を忘れてしまうのではないかと」が 35.9%、「外出した際に家への帰り道がわからなくなったりするのではないかと」が 27.3%となっています。



《自由記述》

認知症になった時の不安について 51 件の回答があり、具体的なトラブルや家族への迷惑を懸念する声がある一方、実感が湧かないため「わからない」とする意見や、あえて考えないようにしているという意見も多く見られました。

① 具体的なトラブル・生活への支障について

- 「火事を出すのではないかと」「交通事故を起こす」といった事故への不安が挙げられました。
- 「おもらし等して迷惑をかける」「金銭の出し入れ(預貯金)ができなくなる」「インスリンの管理ができな

い」といった日常生活動作や管理能力の喪失を懸念する記述が見られました。

- 「意味不明な言動(暴力含む)」や「自身の認知症にいつ誰が気が付くのか」という対人面・認識面での心配もありました。
- 「子どもも施設に行かなければ生活できないので心配」という、自身の罹患が家族(子ども)の生活基盤に直結することへの切実な不安も寄せられました。

② 実感のなさ・不明確さについて

- 「なってみないとわからない」「想像できない」「まだ想定できない」といった、当事者でないため判断できないとする回答が多数ありました。
- 「認知症の症状により異なる」「認知の程度による」といった、一概には言えないとする意見も見られました。

③ 不安の捉え方・死生観について

- 「あまり考えたことがない」「特になし」「気にしていません」という回答や、「前もって不安を感じることは考えない」「予防(心づくり)に専念しているから不安はない」といった前向き、あるいは楽観的な姿勢も見られました。
- 「全部忘れてしまうので(本人は)幸せかも」という意見の一方、「早く死にたい」「安楽死したい」といった記述も見受けられました。

《男女別》

「男性」は「家族に身体的・精神的負担をかけるのではないか」が 65.2%と最も多く、次いで「買い物や料理、車の運転など、これまでできていたことができなくなってしまうのではないか」が 56.9%、「家族や大切な思い出を忘れてしまうのではないか」が 38.0%、「家族以外の周りの人に迷惑をかけてしまうのではないか」が 36.7%、「外出した際に家への帰り道がわからなくなったりするのではないか」が 26.8%となっています。

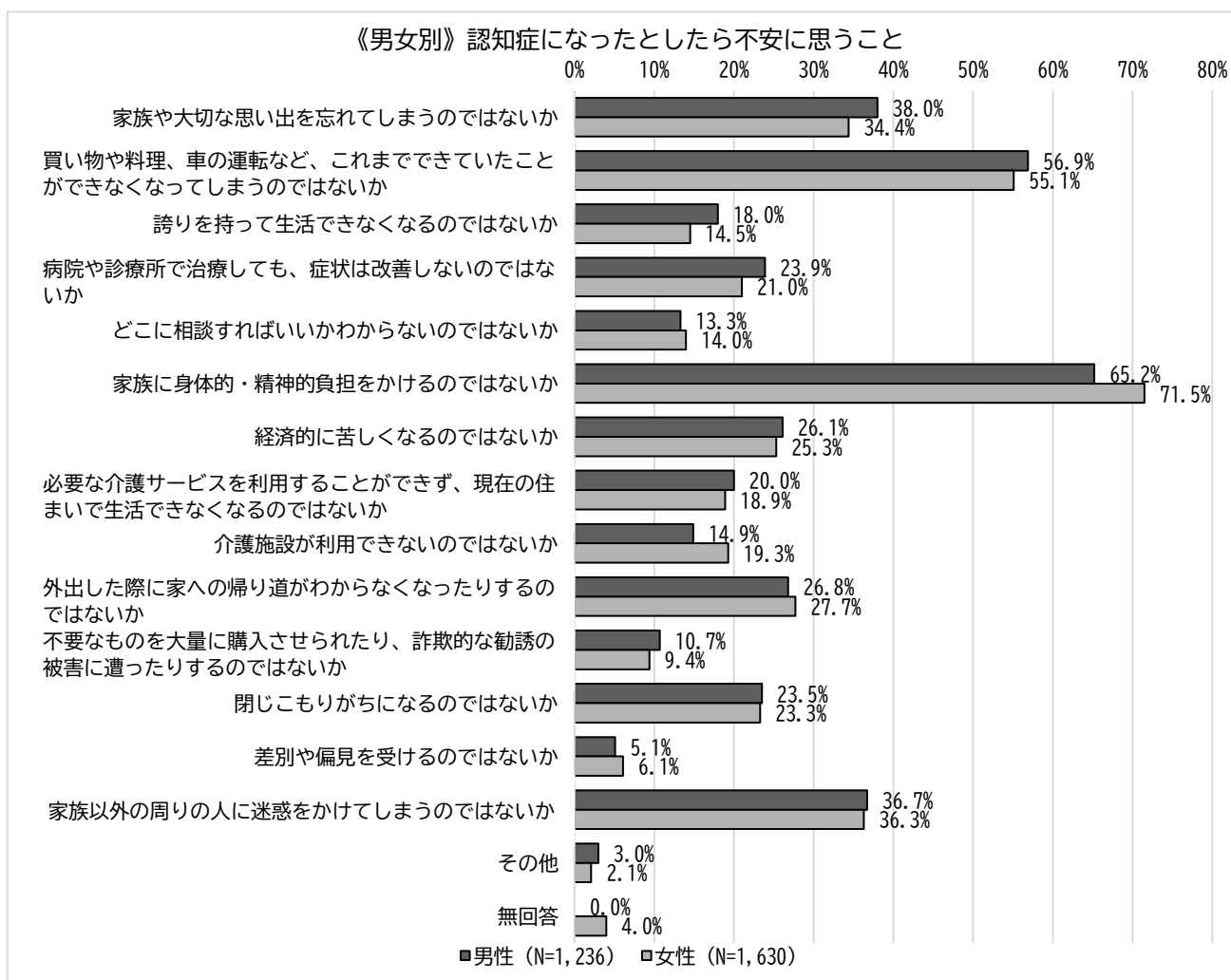
「女性」は「家族に身体的・精神的負担をかけるのではないか」が 71.5%と最も多く、次いで「買い物や料理、車の運転など、これまでできていたことができなくなってしまうのではないか」が 55.1%、「家族以外の周りの人に迷惑をかけてしまうのではないか」が 36.3%、「家族や大切な思い出を忘れてしまうのではないか」が 34.4%、「外出した際に家への帰り道がわからなくなったりするのではないか」が 27.7%となっています。

「家族に身体的・精神的負担をかけるのではないか」は「女性」が 71.5%に対し、「男性」は 65.2%と、「女性」が「男性」を 6.3 ポイント上回っています。

「介護施設が利用できないのではないか」は「女性」が 19.3%に対し、「男性」は 14.9%と、「女性」が「男性」を 4.4 ポイント上回っています。

「家族や大切な思い出を忘れてしまうのではないか」は「男性」が 38.0%に対し、「女性」は 34.4%と、「男性」が「女性」を 3.6 ポイント上回っています。

「誇りを持って生活できなくなるのではないか」は「男性」が 18.0%に対し、「女性」は 14.5%と、「男性」が「女性」を 3.5 ポイント上回っています。



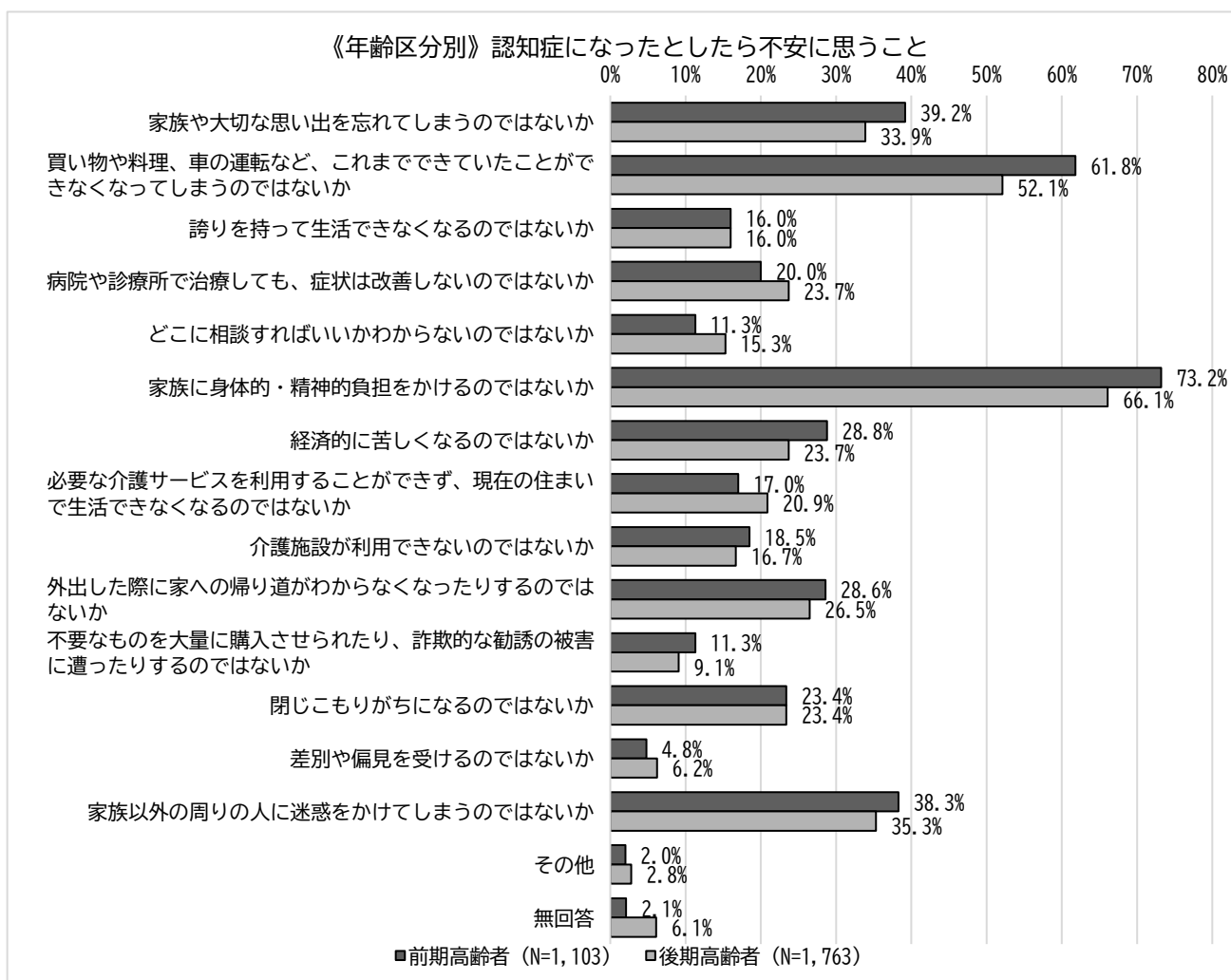
《年齢区分別》

「前期高齢者」は「家族に身体的・精神的負担をかけるのではないかと」が 73.2%と最も多く、次いで「買い物や料理、車の運転など、これまでできていたことができなくなってしまうのではないかと」が 61.8%、「家族や大切な思い出を忘れてしまうのではないかと」が 39.2%、「家族以外の周りの人に迷惑をかけてしまうのではないかと」が 38.3%、「経済的に苦しくなるのではないかと」が 28.8%となっています。

「後期高齢者」は「家族に身体的・精神的負担をかけるのではないかと」が 66.1%と最も多く、次いで「買い物や料理、車の運転など、これまでできていたことができなくなってしまうのではないかと」が 52.1%、「家族以外の周りの人に迷惑をかけてしまうのではないかと」が 35.3%、「家族や大切な思い出を忘れてしまうのではないかと」が 33.9%、「外出した際に家への帰り道がわからなくなったりするのではないかと」が 26.5%となっています。

「買い物や料理、車の運転など、これまでできていたことができなくなってしまうのではないかと」は「前期高齢者」が 61.8%に対し、「後期高齢者」は 52.1%と、「前期高齢者」が「後期高齢者」を 9.7 ポイント上回り、「家族に身体的・精神的負担をかけるのではないかと」は「前期高齢者」が 73.2%に対し、「後期高齢者」は 66.1%と、「前期高齢者」が「後期高齢者」を 7.1%上回っています。

反対に「必要な介護サービスを利用することができず、現在の住まいで生活できなくなるのではないかと」は「後期高齢者」が 20.9%に対し、「前期高齢者」は 17.0%と、「後期高齢者」が「前期高齢者」を 3.9 ポイント上回り、「どこに相談すればいいかわからないのではないかと」は「後期高齢者」が 15.3%に対し、「前期高齢者」は 11.3%と、「後期高齢者」が「前期高齢者」を 4.0 ポイント上回っています。



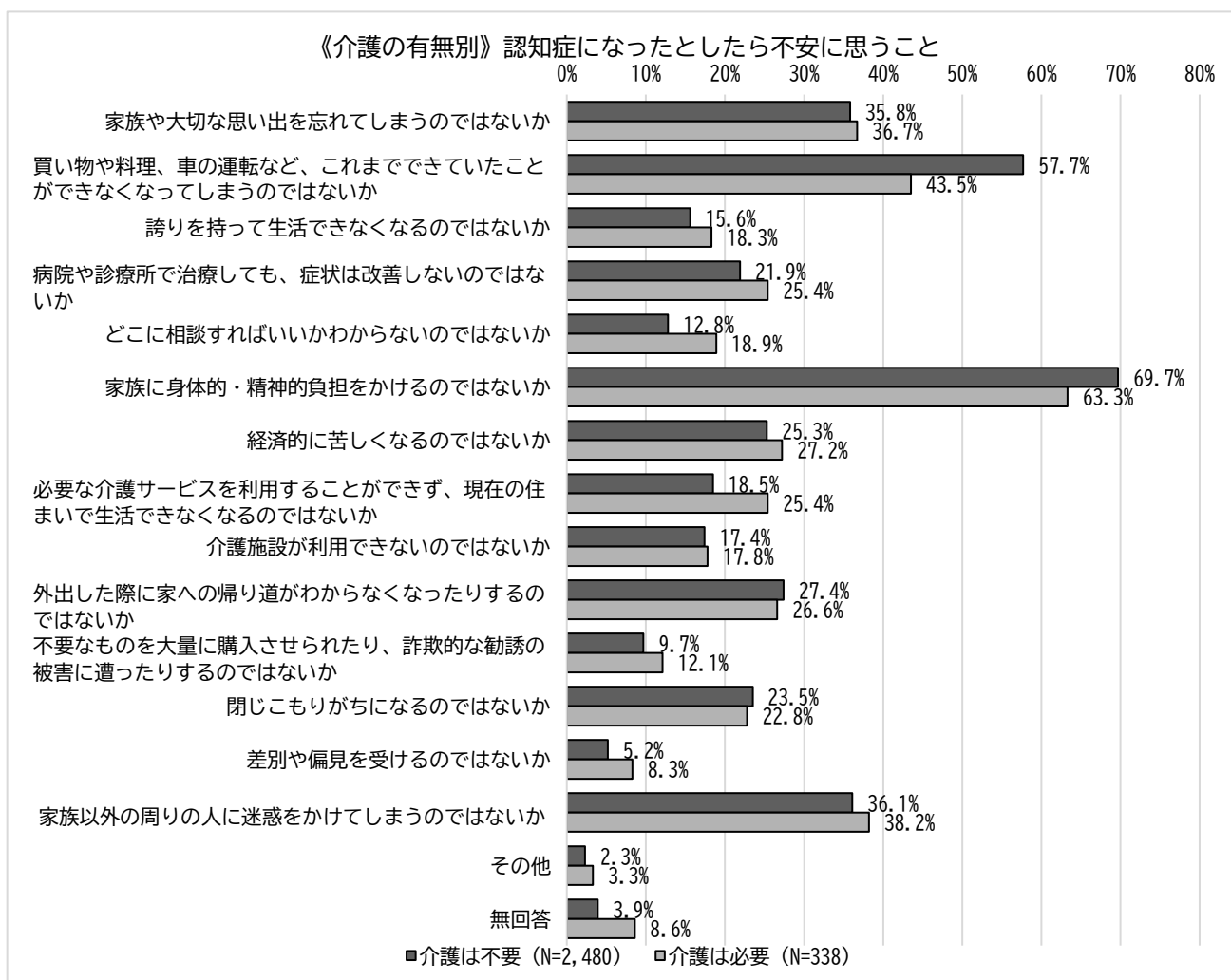
《介護の有無別》

「介護は不要」は「家族に身体的・精神的負担をかけるのではないか」が 69.7%と最も多く、次いで「買い物や料理、車の運転など、これまでできていたことができなくなってしまうのではないか」が 57.7%、「家族以外の周りの人に迷惑をかけてしまうのではないか」が 36.1%、「家族や大切な思い出を忘れてしまうのではないか」が 35.8%、「外出した際に家への帰り道がわからなくなったりするのではないか」が 27.4%となっています。

「介護は必要」は「家族に身体的・精神的負担をかけるのではないか」が 63.3%と最も多く、次いで「買い物や料理、車の運転など、これまでできていたことができなくなってしまうのではないか」が 43.5%、家族以外の周りの人に迷惑をかけてしまうのではないか」が 38.2%、「家族や大切な思い出を忘れてしまうのではないか」が 36.7%、「経済的に苦しくなるのではないか」が 27.2%となっています。

「買い物や料理、車の運転など、これまでできていたことができなくなってしまうのではないか」は「介護は不要」が 57.7%に対し、「介護は必要」は 43.5%と、「介護は不要」が「介護は必要」を 14.2 ポイント上回り、「家族に身体的・精神的負担をかけるのではないか」は「介護は不要」が 69.7%に対し、「介護は必要」は 63.3%と、「介護は不要」が「介護は必要」を 6.4 ポイント上回っています。

反対に「必要な介護サービスを利用することができず、現在の住まいで生活できなくなるのではないか」は「介護は必要」が 25.4%に対し、「介護は不要」は 18.5%と、「介護は必要」が「介護は不要」を 6.9 ポイント上回り、「どこに相談すればいいかわからないのではないか」は「介護は必要」が 18.9%に対し、「介護は不要」は 12.8%と、「介護は必要」が「介護は不要」を 6.1 ポイント上回っています。



《日常生活圏域別》

「家族に身体的・精神的負担をかけるのではないか」は「加賀田小学校区」が 73.8%と最も多く、次いで「美加の台小学校区」が 73.5%、「高向小学校区」が 71.8%、「川上小学校区」が 71.3%、「天野小学校区」が 70.4%となっています。

「買い物や料理、車の運転など、これまでできていたことができなくなってしまうのではないか」は「川上小学校区」が 65.8%と最も多く、次いで「南花台小学校区」が 60.6%、「美加の台小学校区」が 59.5%、「三日市小学校区」が 59.4%、「天野小学校」が 59.3%となっています。

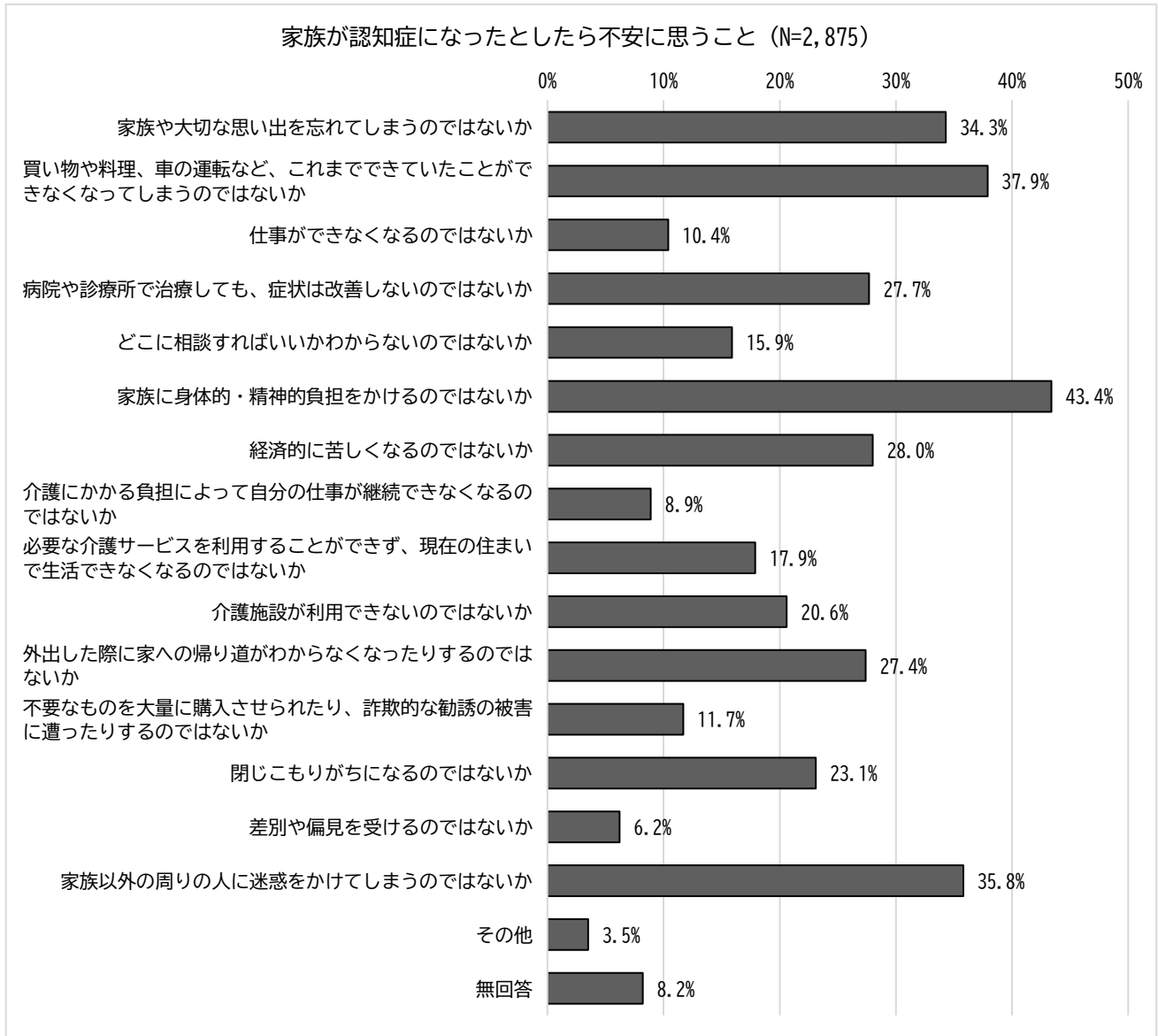
「家族以外の周りの人に迷惑をかけてしまうのではないか」は「川上小学校区」が 40.0%と最も多く、次いで「天見小学校区」が 38.9%、「楠小学校区」が 37.7%、「加賀田小学校区」「長野小学校区」が共に 36.9%となっています。

圏域	回答数	家族や大切な思い出を忘れてしまうのではないか	買い物や料理、車の運転など、これまでできていたことができなくなってしまうのではないか	誇りを持つて生活できなくなるのではないか	病院や診療所で治療しても、症状は改善しないのではないか	どこに相談すればいいかわからないのではないか	家族に身体的・精神的負担をかけるのではないか	経済的に苦しくなるのではないか	必要な介護サービスを利用することができず、現在の住まいで生活できなくなるのではないか
長野	314	32.8%	48.1%	15.9%	23.9%	15.9%	62.7%	28.3%	21.0%
小山田	325	41.5%	54.5%	14.8%	23.7%	11.1%	67.1%	26.8%	18.2%
天野	54	46.3%	59.3%	11.1%	16.7%	7.4%	70.4%	22.2%	14.8%
高向	124	38.7%	53.2%	8.1%	19.4%	11.3%	71.8%	21.8%	16.9%
三日市	244	33.6%	59.4%	16.8%	16.8%	11.1%	69.3%	26.6%	20.1%
天見	36	30.6%	55.6%	16.7%	11.1%	13.9%	66.7%	25.0%	27.8%
川上	310	31.6%	65.8%	17.4%	20.0%	11.9%	71.3%	22.6%	21.9%
千代田	332	38.6%	47.6%	14.2%	26.5%	15.4%	66.6%	27.1%	18.4%
楠	292	38.0%	55.5%	15.1%	23.3%	14.7%	69.5%	25.3%	20.9%
加賀田	206	33.5%	56.8%	19.4%	24.3%	17.5%	73.8%	23.8%	16.5%
石仏	155	32.3%	54.2%	13.5%	17.4%	9.7%	67.1%	24.5%	21.9%
美加の台	215	35.8%	59.5%	22.3%	24.2%	16.7%	73.5%	28.4%	18.6%
南花台	259	35.9%	60.6%	17.0%	23.6%	15.4%	68.7%	24.7%	17.0%

圏域	回答数	介護施設が利用できないのではないか	外出した際に家への帰り道がわからなくなったりするのはないか	不要なものを大量に購入させられたり、詐欺的な勧誘の被害に遭ったりするのはないか	閉じこもりがちになるのではないか	差別や偏見を受けるのではないか	家族以外の周りの人に迷惑をかけてしまっているのではないか	その他	無回答
長野	314	18.5%	26.4%	10.8%	27.4%	6.7%	36.9%	2.2%	6.1%
小山田	325	16.3%	28.3%	10.8%	24.6%	6.2%	36.6%	3.1%	5.2%
天野	54	14.8%	33.3%	5.6%	14.8%	1.9%	31.5%	0.0%	1.9%
高向	124	16.1%	23.4%	7.3%	16.1%	4.0%	35.5%	0.0%	8.9%
三日市	244	19.3%	24.6%	8.6%	23.8%	5.3%	36.1%	2.5%	2.9%
天見	36	19.4%	19.4%	13.9%	19.4%	11.1%	38.9%	0.0%	5.6%
川上	310	17.7%	31.6%	12.6%	27.7%	7.4%	40.0%	2.9%	2.9%
千代田	332	15.1%	28.9%	9.6%	20.2%	5.4%	34.9%	3.0%	3.9%
楠	292	18.8%	29.1%	9.2%	21.2%	4.8%	37.7%	1.4%	4.1%
加賀田	206	18.4%	23.3%	9.7%	23.3%	4.9%	36.9%	1.5%	2.9%
石仏	155	16.1%	21.9%	9.0%	18.1%	5.2%	35.5%	2.6%	7.7%
美加の台	215	18.6%	31.6%	12.1%	23.3%	5.6%	35.8%	0.9%	6.0%
南花台	259	16.6%	25.1%	7.7%	27.0%	5.0%	34.4%	6.2%	3.5%

問 10-4 もし、あなたのご家族が認知症になったら、あなたはどのようなことに不安を感じると思いますか。特に不安と感ずることをお答えください。また、既にご家族に認知症の人がいる場合には、特に不安と感ずることをお答えください。(〇はいくつでも)

「家族に身体的・精神的負担をかけるのではないかと」が 43.4%と最も多く、次いで「買い物や料理、車の運転など、これまでできていたことができなくなってしまうのではないかと」が 37.9%、「家族以外の周りの人に迷惑をかけてしまうのではないかと」が 35.8%、「家族や大切な思い出を忘れてしまうのではないかと」が 34.3%、「経済的に苦しくなるのではないかと」が 28.0%となっています。



《自由記述》

家族が認知症になった時の不安について、50 件の回答があり、老老介護や子どもへの負担、自身の家事能力に対する不安が見られました。

① 介護負担・生活能力への不安について

- 「老老介護になる」「どの程度まで介護してあげられるか」「共倒れ」といった、高齢者同士での介護に対する体力面・精神面の不安が挙げられました。
 - 「全部妻に任せているから何もできない」「料理、洗濯等の家事ができない」といった、配偶者が認知症になった場合に自身の生活が立ち行かなくなることを懸念する記述が見られました。
 - 「娘たちがかわいそう」「子どもは働いているので迷惑をかけたくない」といった、次世代への負担を心配する声もありました。
- ② 対応・心構えについて
- 「地域包括支援センターに相談する」「ケアマネジャーがついているので不安はない」といった、専門機関やサービスへの信頼・活用意向が示されました。
 - 「あまり先々のことはくよくよ考えていない」「なるようにしかならない」「考えたくない」といった、あえて考えないようにしている、または達観している意見も多く見られました。

《男女別》

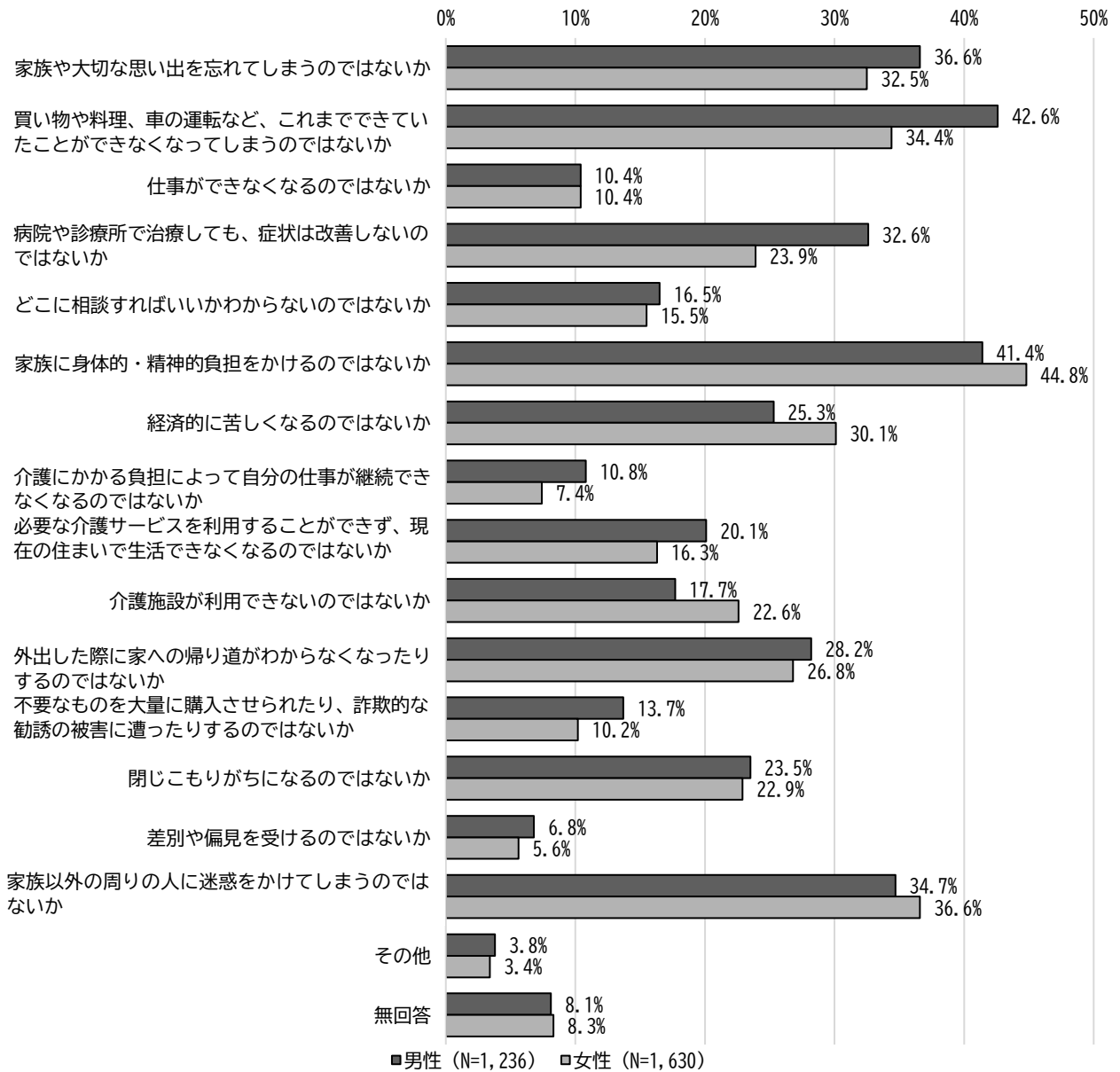
「男性」は「買い物や料理、車の運転など、これまでできていたことができなくなってしまうのではないか」が42.6%と最も多く、次いで「家族に身体的・精神的負担をかけるのではないか」が41.4%、「家族や大切な思い出を忘れてしまうのではないか」が36.6%、「家族以外の周りの人に迷惑をかけてしまうのではないか」が34.7%、「病院や診療所で治療しても、症状は改善しないのではないか」が32.6%となっています。

「女性」は「家族に身体的・精神的負担をかけるのではないか」が44.8%と最も多く、次いで「家族以外の周りの人に迷惑をかけてしまうのではないか」が36.6%、「買い物や料理、車の運転など、これまでできていたことができなくなってしまうのではないか」が34.4%、「家族や大切な思い出を忘れてしまうのではないか」が32.5%、「経済的に苦しくなるのではないか」が30.1%となっています。

「病院や診療所で治療しても、症状は改善しないのではないか」は「男性」が32.6%に対し、「女性」は23.9%と、「男性」が「女性」を8.7ポイント上回り、「買い物や料理、車の運転など、これまでできていたことができなくなってしまうのではないか」は「男性」が42.6%に対し、「女性」は34.4%と、「男性」が「女性」を8.2ポイント上回り、「家族や大切な思い出を忘れてしまうのではないか」は「男性」が36.6%に対し、「女性」は32.5%と、「男性」が「女性」を4.1ポイント上回っています。

反対に「経済的に苦しくなるのではないか」は「女性」が30.1%に対し、「男性」は25.3%と、「女性」が「男性」を4.8ポイント上回り、「介護施設が利用できないのではないか」は「女性」が22.6%に対し、「男性」は17.7%と、「女性」が「男性」を4.9ポイント上回っています。

《男女別》 家族が認知症になったら不安に思うこと



《年齢区分別》

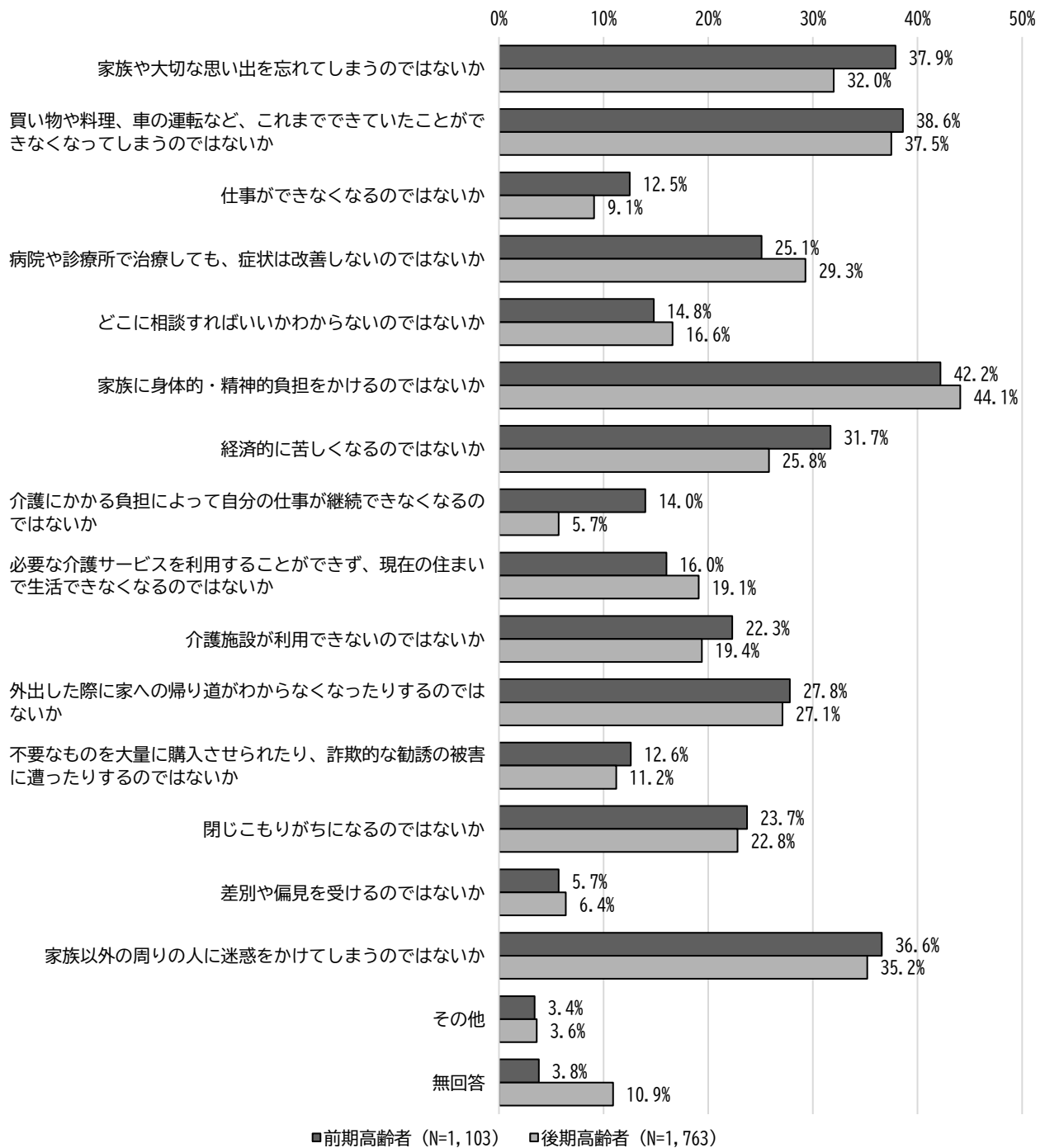
「前期高齢者」は「家族に身体的・精神的負担をかけるのではないか」が 42.2%と最も多く、次いで「買い物や料理、車の運転など、これまでできていたことができなくなってしまうのではないか」が 38.6%、「家族や大切な思い出を忘れてしまうのではないか」が 37.9%、「家族以外の周りの人に迷惑をかけてしまうのではないか」が 36.6%、「経済的に苦しくなるのではないか」が 31.7%となっています。

「後期高齢者」は「家族に身体的・精神的負担をかけるのではないか」が 44.1%と最も多く、次いで「買い物や料理、車の運転など、これまでできていたことができなくなってしまうのではないか」が 37.5%、「家族以外の周りの人に迷惑をかけてしまうのではないか」が 35.2%、「家族や大切な思い出を忘れてしまうのではないか」が 32.0%、「病院や診療所で治療しても、症状は改善しないのではないか」が 29.3%となっています。

「介護にかかる負担によって自分の仕事が継続できなくなるのではないか」は「前期高齢者」が 14.0%に対し、「後期高齢者」は 5.7%と、「前期高齢者」が「後期高齢者」を 8.3 ポイント上回り、「経済的に苦しくなるのではないか」は「前期高齢者」が 31.7%に対し、「後期高齢者」は 25.8%と、「前期高齢者」が「後期高齢者」を 6.1 ポイント上回り、「家族や大切な思い出を忘れてしまうのではないか」は「前期高齢者」が 37.9%に対し、「後期高齢者」は 32.0%と、「前期高齢者」が「後期高齢者」を 5.9 ポイント上回っています。

反対に「病院や診療所で治療しても、症状は改善しないのではないか」は「後期高齢者」が 29.3%に対し、「前期高齢者」は 25.1%と、「後期高齢者」が「前期高齢者」を 4.2 ポイント上回っています。

《年齢区分別》家族が認知症になったら不安に思うこと



《介護の有無別》

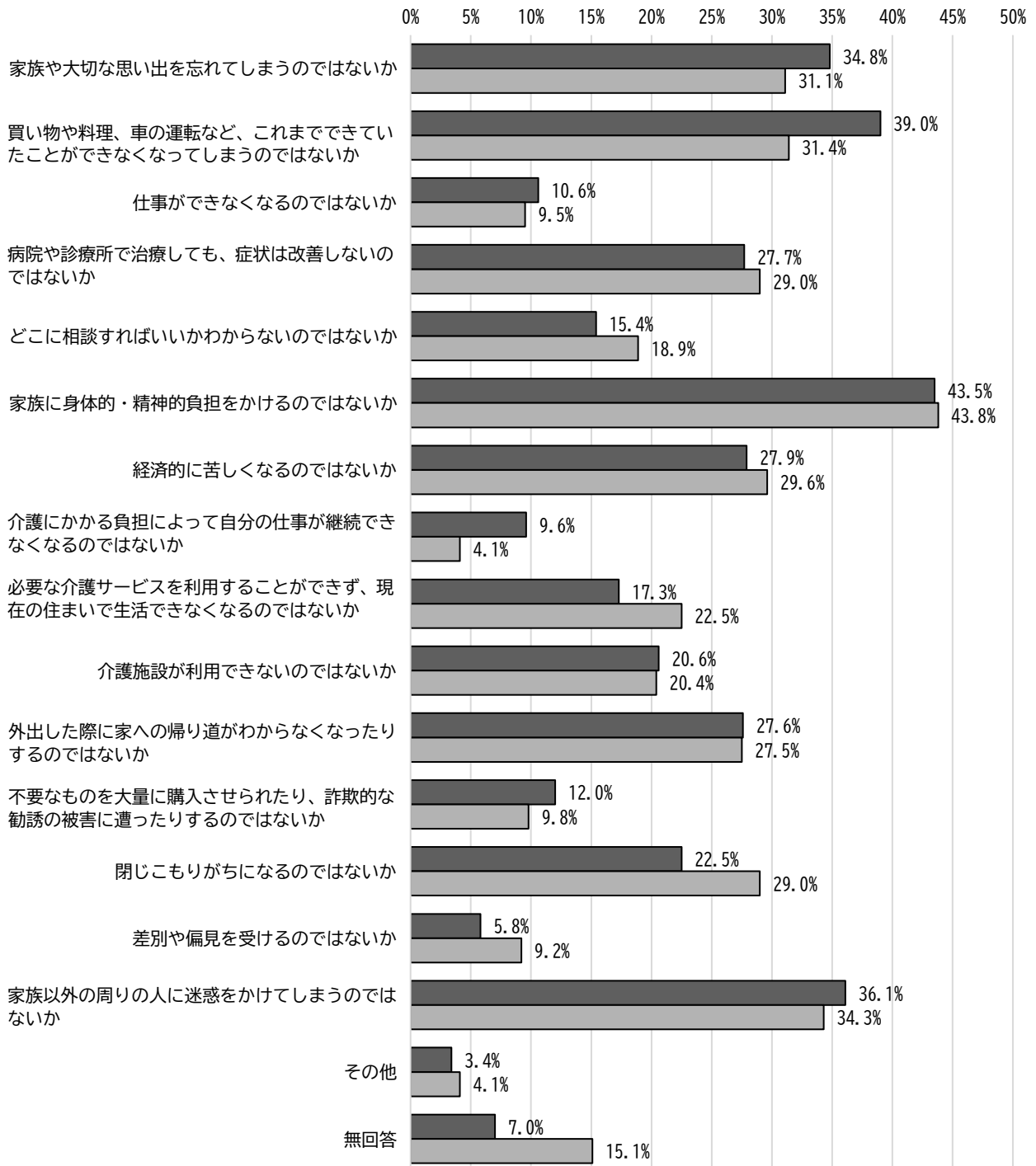
「介護は不要」は「家族に身体的・精神的負担をかけるのではないか」が 43.5%と最も多く、次いで「買い物や料理、車の運転など、これまでできていたことができなくなってしまうのではないか」が 39.0%、「家族以外の周りの人に迷惑をかけてしまうのではないか」が 36.1%、「家族や大切な思い出を忘れてしまうのではないか」が 34.8%、「経済的に苦しくなるのではないか」が 27.9%となっています。

「介護は必要」は「家族に身体的・精神的負担をかけるのではないか」が 43.8%と最も多く、次いで「家族以外の周りの人に迷惑をかけてしまうのではないか」が 34.3%、「買い物や料理、車の運転など、これまでできていたことができなくなってしまうのではないか」が 31.4%、「家族や大切な思い出を忘れてしまうのではないか」が 31.1%、「経済的に苦しくなるのではないか」が 29.6%となっています。

「買い物や料理、車の運転など、これまでできていたことができなくなってしまうのではないか」は「介護は不要」が 39.0%に対し、「介護は必要」は 31.4%と、「介護は不要」が「介護は必要」を 7.6 ポイント上回り、「介護にかかる負担によって自分の仕事が継続できなくなるのではないか」は「介護は不要」が 9.6%に対し、「介護は必要」は 4.1%と、「介護は不要」が「介護は必要」を 5.5 ポイント上回っています。

反対に「閉じこもりがちになるのではないか」は「介護は必要」が 29.0%に対し、「介護は不要」は 22.5%と、「介護は必要」が「介護は不要」を 6.5 ポイント上回り、「必要な介護サービスを利用することができず、現在の住まいで生活できなくなるのではないか」は「介護は必要」が 22.5%に対し、「介護は不要」は 17.3%と、「介護は必要」が「介護は不要」を 5.2 ポイント上回っています。

《介護の有無別》家族が認知症になったら不安に思うこと



■介護は不要 (N=2,480) □介護は必要 (N=338)

《日常生活圏域別》

回答が多かった「家族に身体的・精神的負担をかけるのではないか」「買い物や料理、車の運転など、これまでできていたことができなくなってしまうのではないか」「家族以外の周りの人に迷惑をかけてしまうのではないか」「家族や大切な思い出を忘れてしまうのではないか」に着目して圏域ごとの比較を行います。

「家族に身体的・精神的負担をかけるのではないか」は「加賀田小学校区」が 48.5%と最も多く、次いで「石仏小学校区」が 46.5%、「美加の台小学校区」が 45.6%、「楠小学校区」が 44.9%、「天野小学校区」と「高向小学校区」が共に 44.4%となっています。

「買い物や料理、車の運転など、これまでできていたことができなくなってしまうのではないか」は「天野小学校区」が 48.1%と最も多く、次いで「高向小学校区」と「川上小学校区」が共に 45.2%、「小山田小学校区」が 41.8%、「三日市小学校区」が 40.2%となっています。

「家族や大切な思い出を忘れてしまうのではないか」は「天野小学校区」が 44.4%と最も多く、次いで「美加の台小学校区」が 40.9%、「高向小学校区」が 40.3%、「小山田小学校区」が 39.7%、「楠小学校区」が 37.0%、となっています。

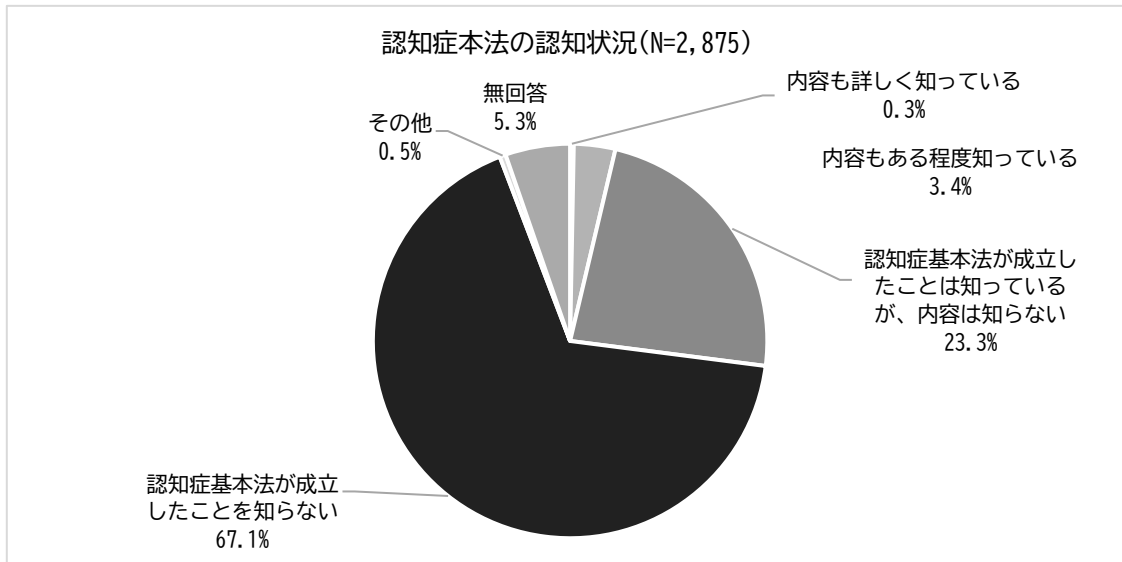
「家族以外の周りの人に迷惑をかけてしまうのではないか」は「楠小学校区」が 43.5%と最も多く、次いで「三日市小学校区」が 39.8%、「小山田小学校区」が 37.2%、「加賀田小学校区」が 36.4%、「南花台小学校区」が 36.3%となっています。

圏域	回答数	買い物や料理、車の運転など、これまでできていたことができなくなってしまうのではないか	家族や大切な思い出を忘れてしまうのではないか	仕事ができなくなるのではないか	病院や診療所で治療しても、症状は改善しないのではないか	どこに相談すればいいかわからないのではないか	家族に身体的・精神的負担をかけるのではないか	経済的に苦しくなるのではないか	介護にかかる負担によって自分の仕事が継続できなくなるのではないか
長野	314	31.8%	32.2%	11.1%	29.0%	17.8%	43.0%	31.5%	8.9%
小山田	325	41.8%	39.7%	9.5%	27.4%	16.0%	41.8%	30.5%	8.6%
天野	54	48.1%	44.4%	3.7%	20.4%	7.4%	44.4%	16.7%	9.3%
高向	124	45.2%	40.3%	14.5%	23.4%	8.1%	44.4%	26.6%	8.9%
三日市	244	40.2%	29.1%	10.7%	25.8%	12.3%	40.6%	29.1%	10.2%
天見	36	30.6%	22.2%	5.6%	41.7%	27.8%	36.1%	22.2%	8.3%
川上	310	45.2%	35.5%	10.0%	25.5%	15.5%	41.9%	24.5%	8.4%
千代田	332	31.0%	32.8%	10.8%	28.0%	16.0%	43.1%	25.9%	6.3%
楠	292	32.9%	37.0%	8.2%	26.7%	21.2%	44.9%	31.8%	10.6%
加賀田	206	34.0%	32.5%	14.1%	32.5%	16.5%	48.5%	25.7%	9.7%
石仏	155	39.4%	31.0%	13.5%	23.9%	12.9%	46.5%	24.5%	7.1%
美加の台	215	36.3%	40.9%	10.2%	27.9%	15.8%	45.6%	28.8%	11.2%
南花台	259	39.4%	30.5%	8.1%	31.3%	16.6%	41.3%	29.7%	8.1%

圏域	回答数	必要な介護サービスを利用することができず、現在の住まいで生活できないのではないか	介護施設が利用できないのではないか	外出した際に家への帰りがわからなくなったりするのではないか	不要なものを大量に購入させられたり、詐欺的な勧誘の被害に遭ったりするのではないか	閉じこもりがちになるのではないか	差別や偏見を受けるのではないか	家族以外の周りの人に迷惑をかけてしまうのではないか	その他	無回答
長野	314	16.6%	21.0%	26.8%	11.5%	24.2%	8.6%	33.4%	4.1%	9.2%
小山田	325	14.8%	18.2%	26.5%	13.5%	23.7%	4.3%	37.2%	2.5%	9.8%
天野	54	22.2%	18.5%	24.1%	9.3%	18.5%	1.9%	29.6%	0.0%	1.9%
高向	124	18.5%	17.7%	24.2%	8.1%	23.4%	4.0%	31.5%	1.6%	12.1%
三日市	244	18.0%	19.7%	25.4%	11.1%	20.1%	6.6%	39.8%	6.1%	8.6%
天見	36	11.1%	30.6%	11.1%	11.1%	30.6%	11.1%	25.0%	2.8%	11.1%
川上	310	19.7%	21.0%	29.0%	13.5%	24.2%	7.1%	35.5%	4.5%	5.8%
千代田	332	18.1%	18.1%	26.8%	9.6%	18.4%	3.9%	33.7%	3.6%	9.9%
楠	292	20.2%	25.7%	33.6%	12.7%	27.4%	6.8%	43.5%	3.1%	4.5%
加賀田	206	15.0%	20.4%	23.8%	11.2%	23.3%	4.4%	36.4%	3.4%	5.3%
石仏	155	20.0%	19.4%	25.8%	11.0%	21.9%	7.1%	32.3%	3.2%	12.3%
美加の台	215	19.1%	23.3%	30.7%	13.5%	24.7%	7.0%	32.6%	0.9%	7.9%
南花台	259	18.5%	19.3%	28.6%	11.6%	23.2%	7.3%	36.3%	5.4%	8.5%

問 10-5 共生社会の実現を推進するための認知症基本法、いわゆる認知症基本法が令和 5 年 6 月成立、令和 6 年1月に施行されました。あなたは、認知症基本法が成立したことや、その内容について知っていますか。(〇は1つ)

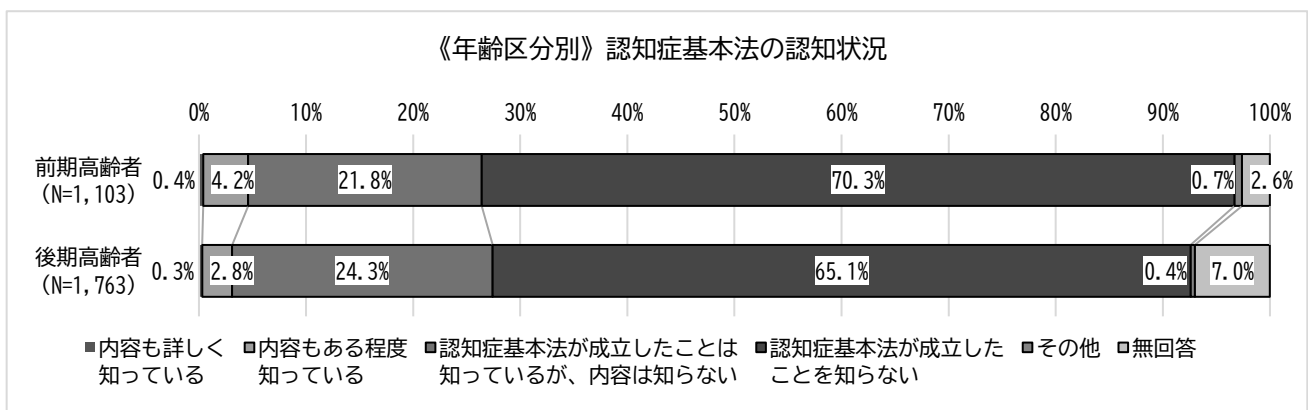
「認知症基本法が成立したことを知らない」が 67.1%と最も多く、次いで「認知症基本法が成立したことは知っているが、内容は知らない」が 23.3%で、「内容を知っている」はごくわずかにとどまっています。



《年齢区分別》

「前期高齢者」は「認知症基本法が成立したことを知らない」が 70.3%と最も多く、次いで「認知症基本法が成立したことは知っているが、内容は知らない」が 21.8%、「後期高齢者」は「認知症基本法が成立したことを知らない」が 65.1%、「認知症基本法が成立したことは知っているが、内容は知らない」が 24.3%となっています。

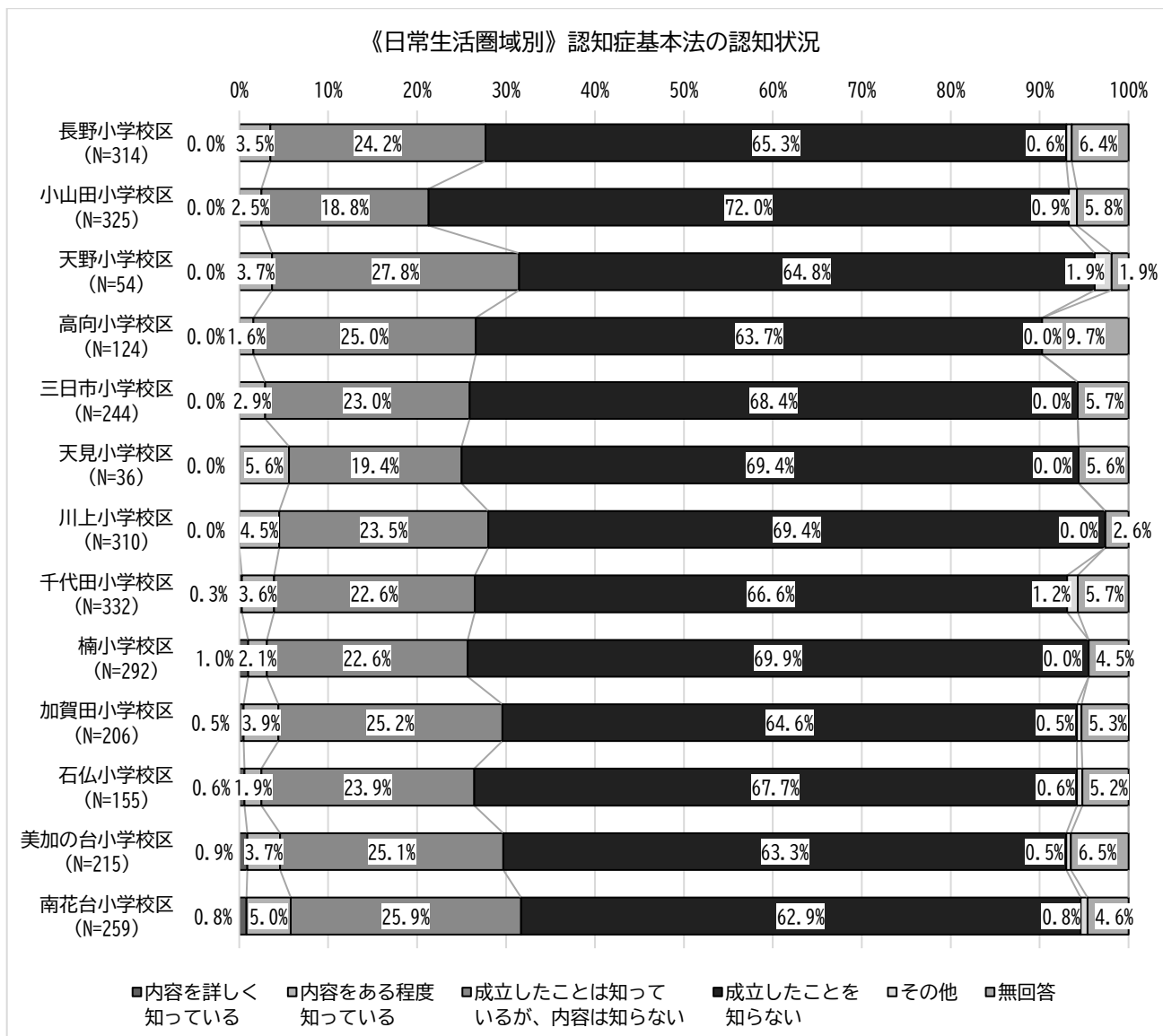
「認知症基本法が成立したことを知らない」は「前期高齢者」が 70.3%に対し、「後期高齢者」は 65.1%と、「前期高齢者」が「後期高齢者」を 5.2 ポイント上回っています。



《日常生活圏域別》

「認知症基本法が成立したことを知らない」は「小山田小学校区」が72.0%と最も多く、次いで「楠小学校区」が69.9%、「川上小学校区」と「天見小学校区」が共に69.4%、「三日市小学校区」が68.4%となっています。

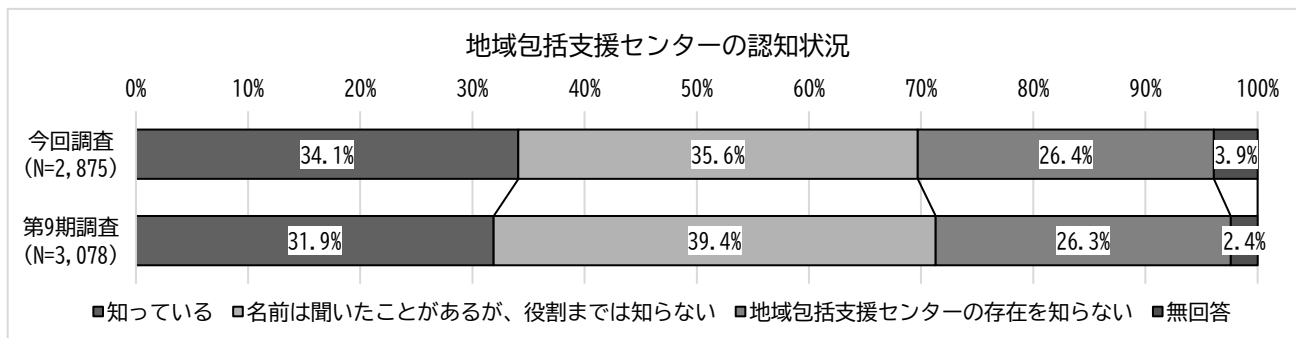
「認知症基本法が成立したことは知っているが、内容は知らない」は「天野小学校区」が27.8%と最も多く、次いで「南花台小学校区」が25.9%、「加賀田小学校区」が25.2%、「美加の台小学校区」が25.1%、「高向小学校区」が25.0%となっています。



問 11 住み慣れた地域での暮らしについて

問 11-1 河内長野市では、市内 3 ケ所に地域包括支援センターを設置しています。地域包括支援センターの役割を知っていますか(○はひとつ)

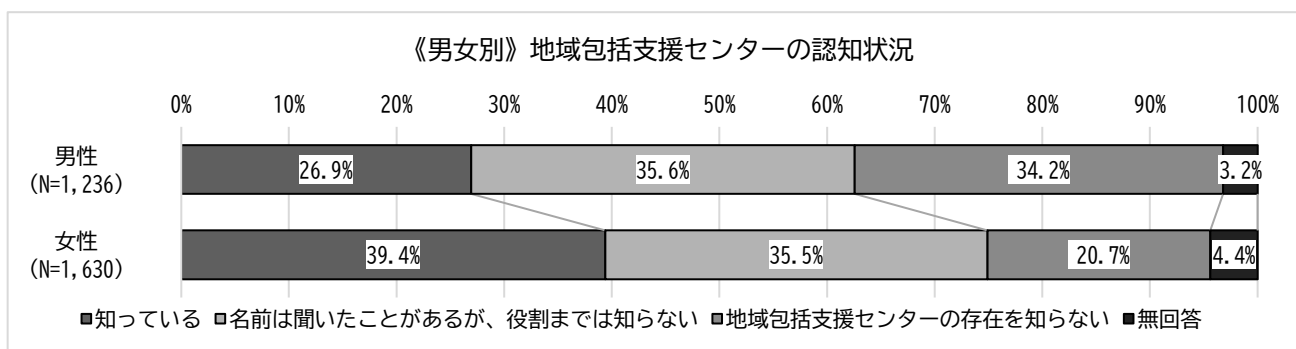
「知っている」が 34.1%、「名前は聞いたことがあるが、役割までは知らない」が 35.6%、「地域包括支援センターの存在を知らない」は 26.4%で、第 9 期調査と比較すると、「知っている」は 31.9%から 34.1%へと 2.2 ポイント増加し、「名前は聞いたことがあるが、役割までは知らない」は 39.4%から 35.6%へと 3.8 ポイント減少しています。



《男女別》

「男性」は「知っている」が 26.9%、「名前は聞いたことがあるが、役割までは知らない」が 35.6%、「地域包括支援センターの存在を知らない」が 34.2%、「女性」は「知っている」が 39.4%、「名前は聞いたことがあるが、役割までは知らない」が 35.5%、「地域包括支援センターの存在を知らない」が 20.7%となっています。

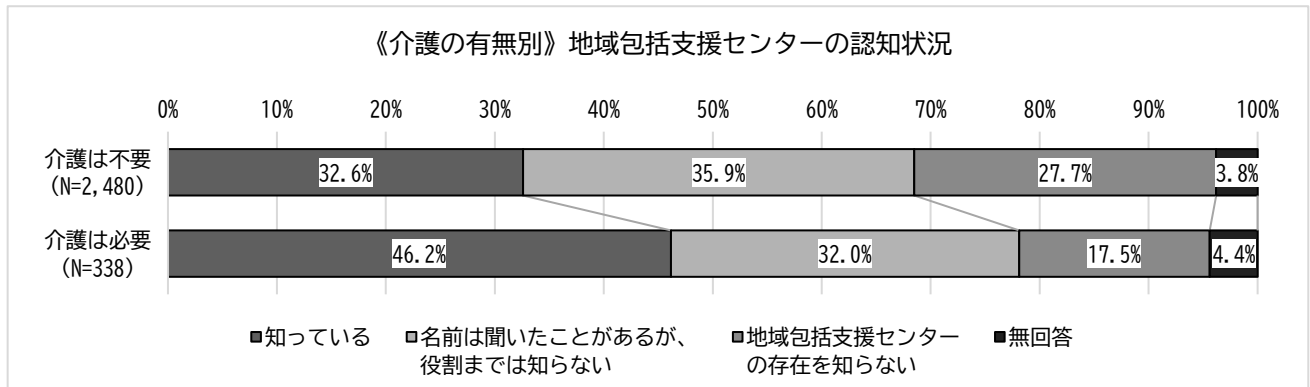
「知っている」は「女性」が 39.4%に対し、「男性」は 26.9%と、「女性」が「男性」を 12.5 ポイント上回り、「地域包括支援センターの存在を知らない」は「男性」が 34.2%に対し、「女性」は 20.7%と、「男性」が「女性」を 13.5 ポイント上回っています。



《介護の有無別》

「介護は不要」は「知っている」が 32.6%、「名前は聞いたことがあるが、役割までは知らない」が 35.9%、「地域包括支援センターの存在を知らない」が 27.7%、「介護は必要」は「知っている」が 46.2%、「名前は聞いたことがあるが、役割までは知らない」が 32.0%、「地域包括支援センターの存在を知らない」が 17.5%となっています。

「知っている」は「介護は必要」が 46.2%に対し、「介護は不要」は 32.6%と、「介護は必要」が「介護は不要」を 13.6 ポイント上回り、「地域包括支援センターの存在を知らない」は「介護は不要」が 27.7%に対し、「介護は必要」は 17.5%と、「介護は不要」が「介護は必要」を 10.2 ポイント上回っています。

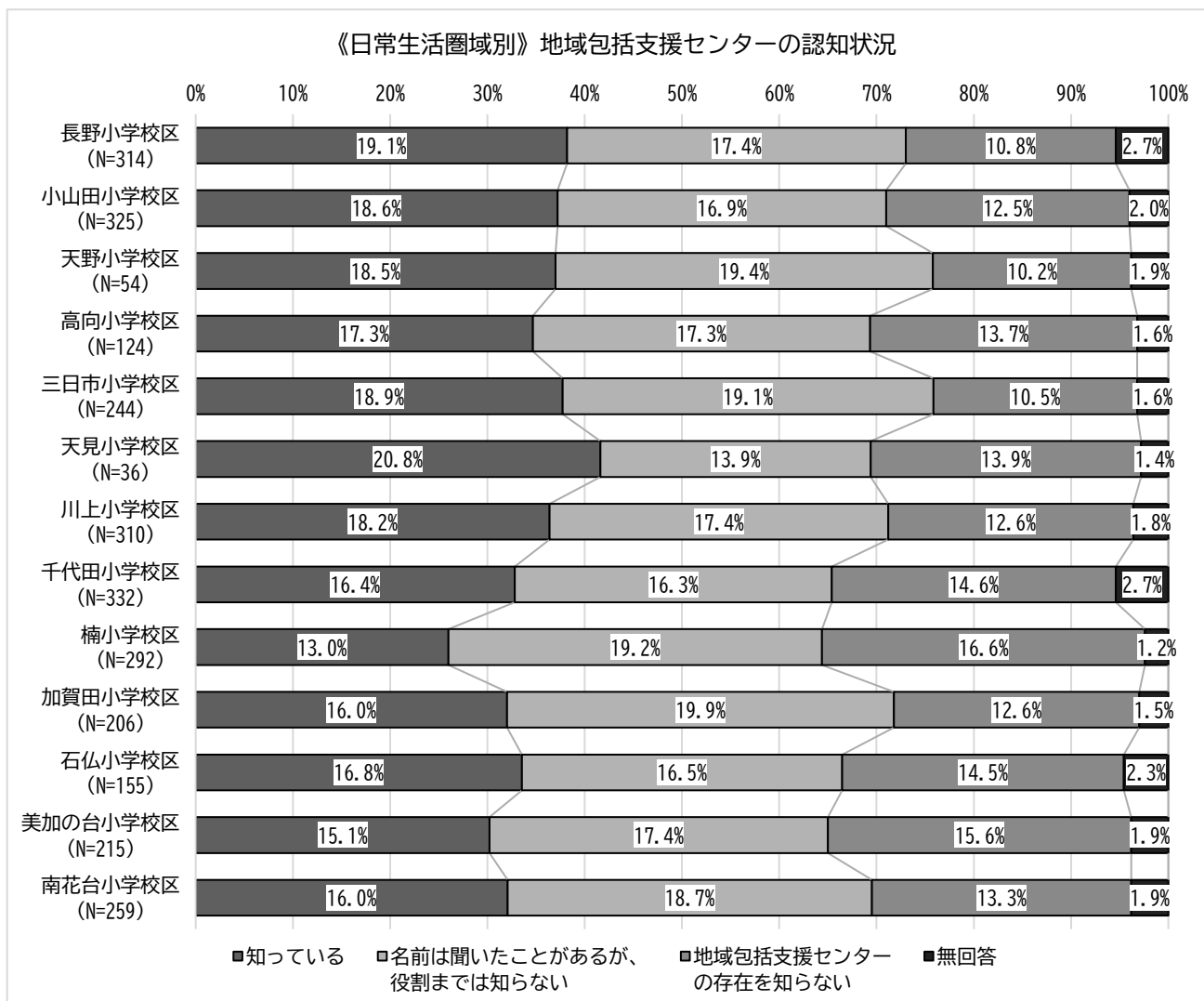


《日常生活圏域別》

「知っている」は「天見小学校区」が20.8%と最も多く、次いで「長野小学校区」が19.1%、「三日市小学校区」が18.9%、「小山田小学校区」が18.6%、「天野小学校区」が18.5%となっています。

「名前は聞いたことがあるが、役割までは知らない」は「加賀田小学校区」が19.9%と最も多く、次いで「天野小学校区」が19.4%、「楠小学校区」が19.2%、「三日市小学校区」が19.1%、「南花台小学校区」が18.7%となっています。

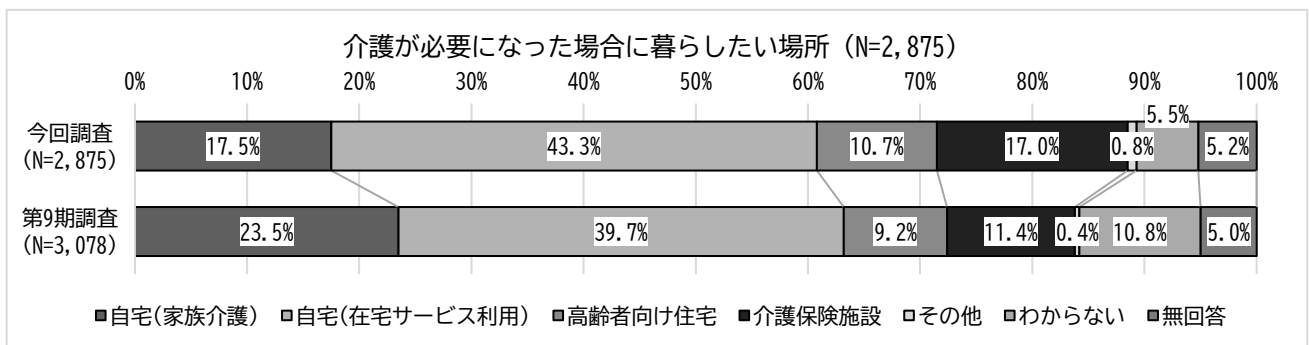
「地域包括支援センターの存在を知らない」は「楠小学校区」が16.6%と最も多く、次いで「美加の台小学校区」が15.6%、「千代田小学校区」が14.6%、「石仏小学校区」が14.5%、「天見小学校区」が13.9%となっています。



問 11-2 あなたが介護が必要な状態となった場合、どこで介護を受けながら暮らしたいですか
(〇はひとつ)

「自宅(在宅サービス利用)」が 43.3%と最も多く、次いで「自宅(家族介護)」が 17.5%、「介護保険施設」が 17.0%、「高齢者向け住宅」が 10.7%となっています。

第 9 期調査と比較すると、「自宅(家族介護)」は 23.5%から 17.5%へと 6.0 ポイント減少し、「介護保険施設」は 11.4%から 17.0%へと 5.6 ポイント増加しています。



《自由記述》

介護が必要な状態となった場合、どこで介護を受けながら暮らしたいかについて、14 件の「回答」があり、現時点では決められないとする意見や、症状の程度によるとする意見などが見られました。

① 状態・程度による判断・未定について

- 「介護が必要な状態の程度により変わる」「レベル次第」「症状による」といった、その時の状況に応じて判断したいという柔軟な意見が多く見られました。
- 「今のところ、考えていません」「今の段階では健康なので考えてなかった」といった、まだ具体的に検討していないという回答もありました。
- 「まだ決めかねている」として、友人の状況や施設入所の実情を見て迷っているという記述もありました。

② 相談・死生観・その他について

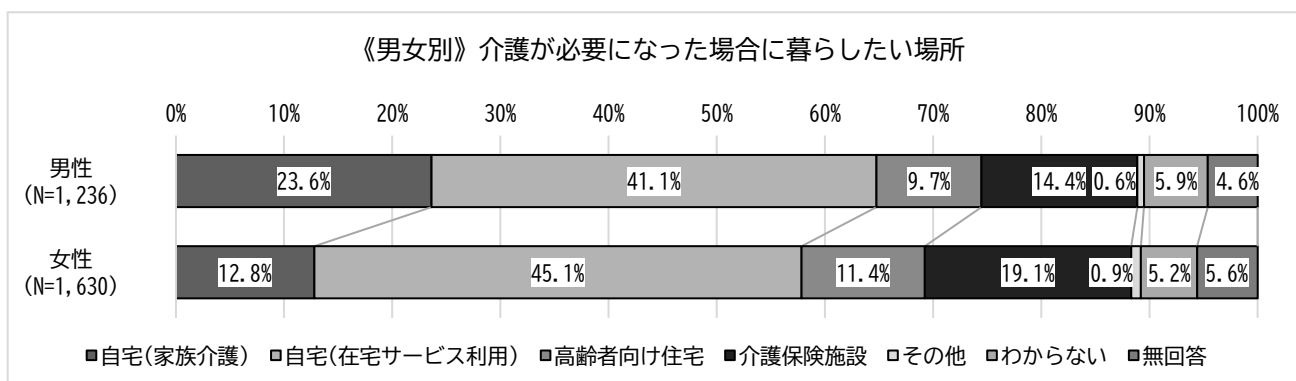
- 「娘、息子に相談しながら決める」という家族との話し合いを重視する意見がありました。
- 「お金もかかるし人に迷惑をかけるので自分自身で最期を迎える」「ポックリ死にたい」といった、介護を受けること自体への拒否感や独自の死生観を示す記述も見られました。
- 「現在受けている」という回答もありました。

《男女別》

「男性」は自宅(在宅サービス利用)が 41.1%と最も多く、次いで「自宅(家族介護)」が 23.6%、「介護保険施設」が 14.4%、「高齢者向け住宅」が 9.7%、「女性」は自宅(在宅サービス利用)が 45.1%と最も多く、次いで「自宅(家族介護)」が 12.8%、「介護保険施設」が 19.1%、「高齢者向け住宅」が 11.4%となっています。

「自宅(在宅サービス利用)」は「女性」が 45.1%に対し、「男性」は 41.1%と、「女性」が「男性」を 4.0 ポイント上回り、「介護保険施設」は「女性」が 19.1%に対し、「男性」は 14.4%と、「女性」が「男性」を 4.7 ポイント上回っています。

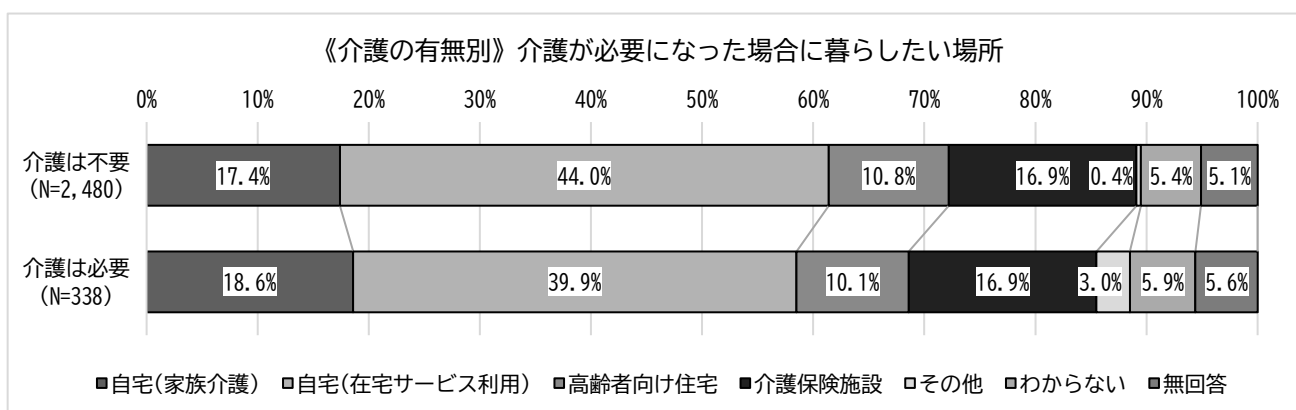
反対に「自宅(家族介護)」は「男性」が 23.6%に対し、「女性」は 12.8%と、「男性」が「女性」を 10.8 ポイント上回っています。



《介護の有無別》

「介護は不要」は自宅(在宅サービス利用)が 44.0%と最も多く、次いで「自宅(家族介護)」が 17.4%、「介護保険施設」が 16.9%、「高齢者向け住宅」が 10.8%、「介護は必要」は自宅(在宅サービス利用)が 39.9%と最も多く、次いで「自宅(家族介護)」が 18.6%、「介護保険施設」が 16.9%、「高齢者向け住宅」が 10.1%となっています。

「自宅(在宅サービス利用)」は「介護は不要」が 44.0%に対し、「介護は必要」は 39.9%と、「介護は不要」が「介護は必要」を 4.1 ポイント上回っています。

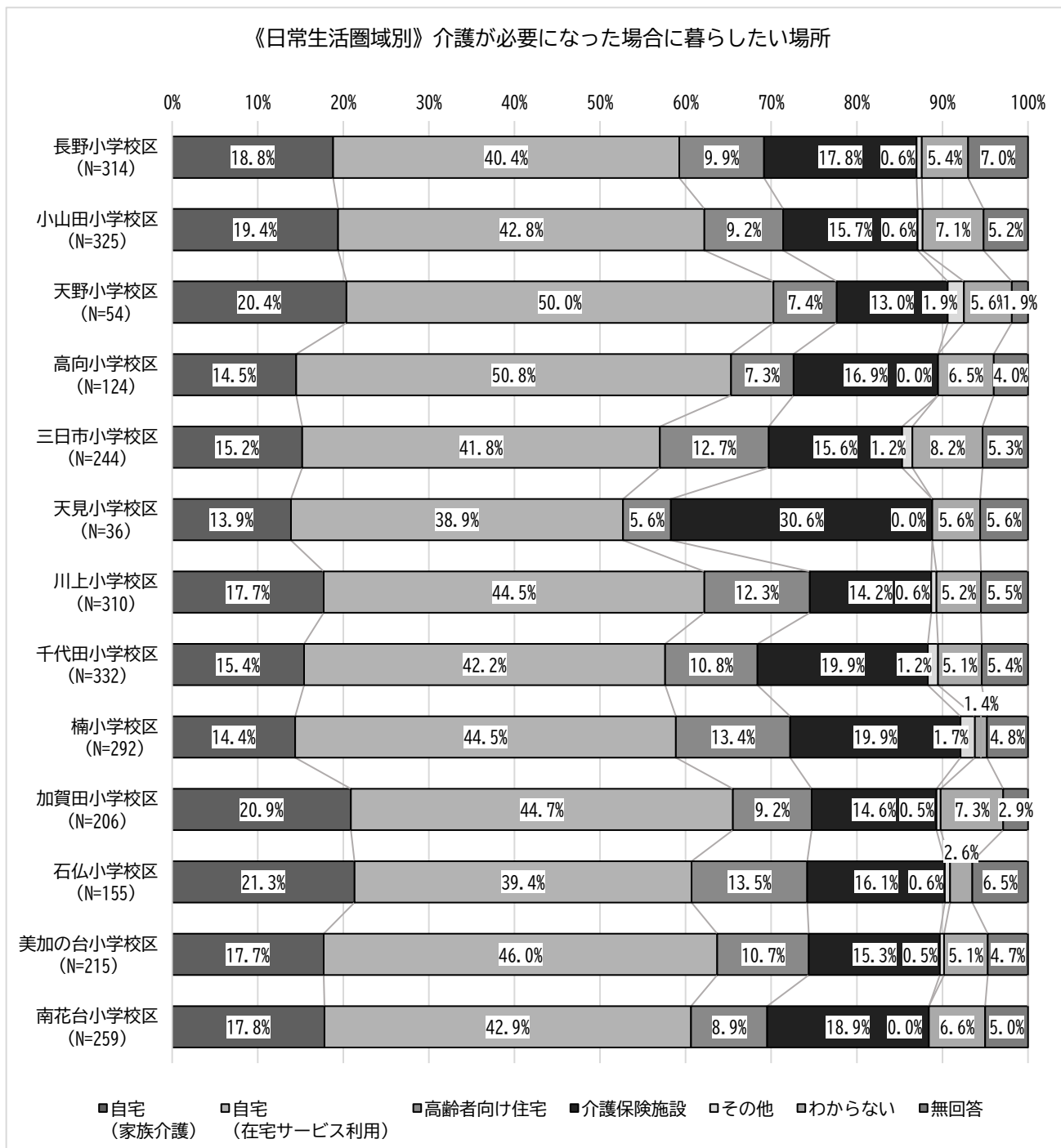


《日常生活圏域別》

「自宅(在宅サービス利用)」は「高向小学校区」が 50.8%と最も多く、次いで「天野小学校区」が 50.0%、「美加の台小学校区」が 46.0%、「加賀田小学校区」が 44.7%、「川上小学校区」と「楠小学校区」が共に 44.5%となっています。

「自宅(家族介護)」は「石仏小学校区」が 21.3%と最も多く、次いで「加賀田小学校区」が 20.9%、「天野小学校区」が 20.4%、「小山田小学校区」が 19.4%、「長野小学校区」が 18.8%となっています。

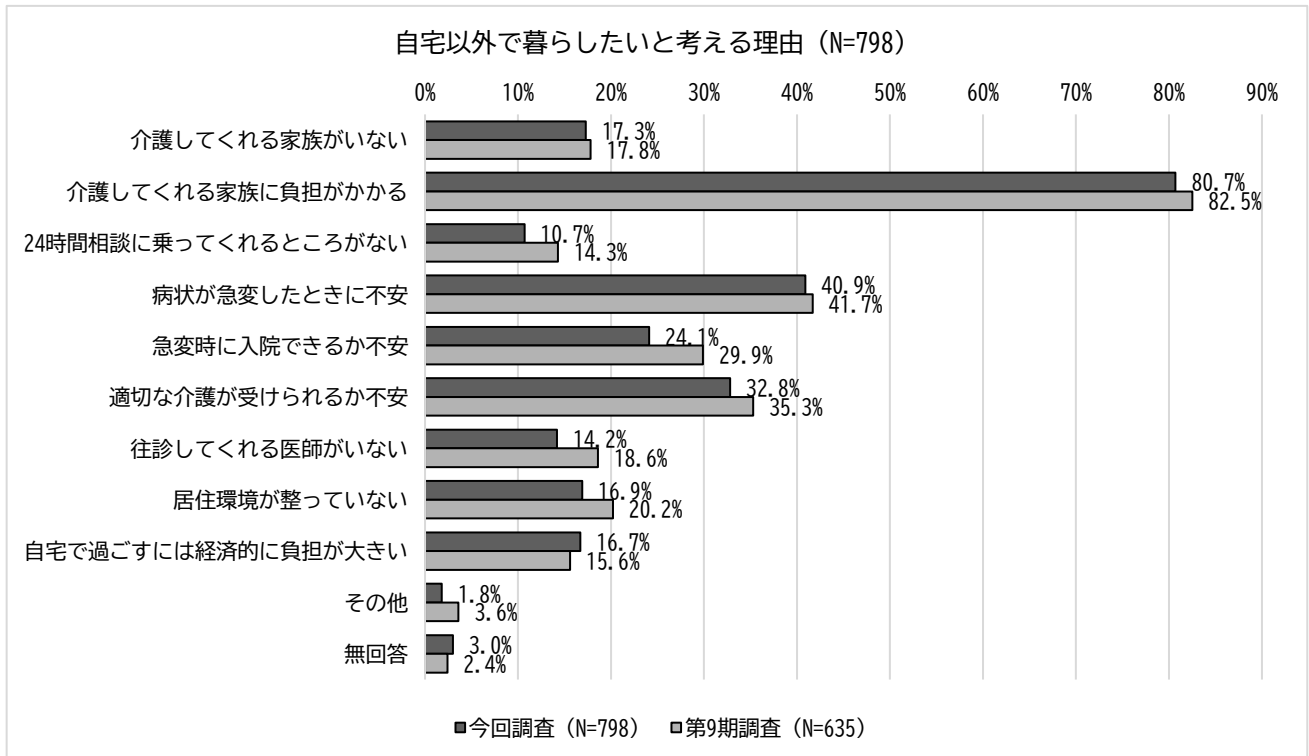
「介護保険施設」は「天見小学校区」が 30.6%と最も多く、次いで「千代田小学校区」と「楠小学校区」が共に 19.9%、「南花台小学校区」が 18.9%、「長野小学校区」が 17.8%となっています。



問 11-2 で「3. 高齢者向け住宅で暮らしたい」「4. 介護保険施設で暮らしたい」を回答された方のみ
問 11-2-1 自宅以外で暮らしたいと考える理由を教えてください(○はいくつでも)

「介護してくれる家族に負担がかかる」が 80.7%と最も多く、次いで「病状が急変したときに不安」が 40.9%、「適切な介護が受けられるか不安」が 32.8%、「急変時に入院できるか不安」が 24.1%となっています。

第 9 期調査と比較すると、「急変時に入院できるか不安」が 29.9%から 24.1%へと 5.8 ポイント減少し、「往診してくれる医師がいない」が 18.6%から 14.2%へと 4.4 ポイント減少し、「24 時間相談に乗ってくれるところがない」が 14.3%から 10.7%へと 3.6 ポイント減少しています。



《自由記述》

自宅以外で暮らしたいと考える理由について、11 件の回答があり、専門家によるケアへの信頼、心理的な気楽さや自尊心、施設に対する肯定的なイメージなどが見られました。

① 専門職への信頼・安心感について

- 「介護のプロに任せの方が良い(家族にとっても本人にとっても)」という、家族介護よりも専門職に委ねる方が双方にとって望ましいとする積極的な意見がありました。
- 施設等で過ごすことに対して「安心」「安心できる」とする回答が見られました。

② 心理的要因について

- 「気が楽」といった、自宅介護に伴う気遣いから解放されたいという心理や、「弱っていく自分を知人にさらしたくない」という自尊心に関わる理由が挙げられました。
- 「別荘気分だから」という、施設生活をポジティブに捉える意見もありました。

③ 本音・その他

- 「自宅で暮らせるなら暮らしたい」という、やむを得ず自宅以外を選択した心境を吐露する記述がありました。

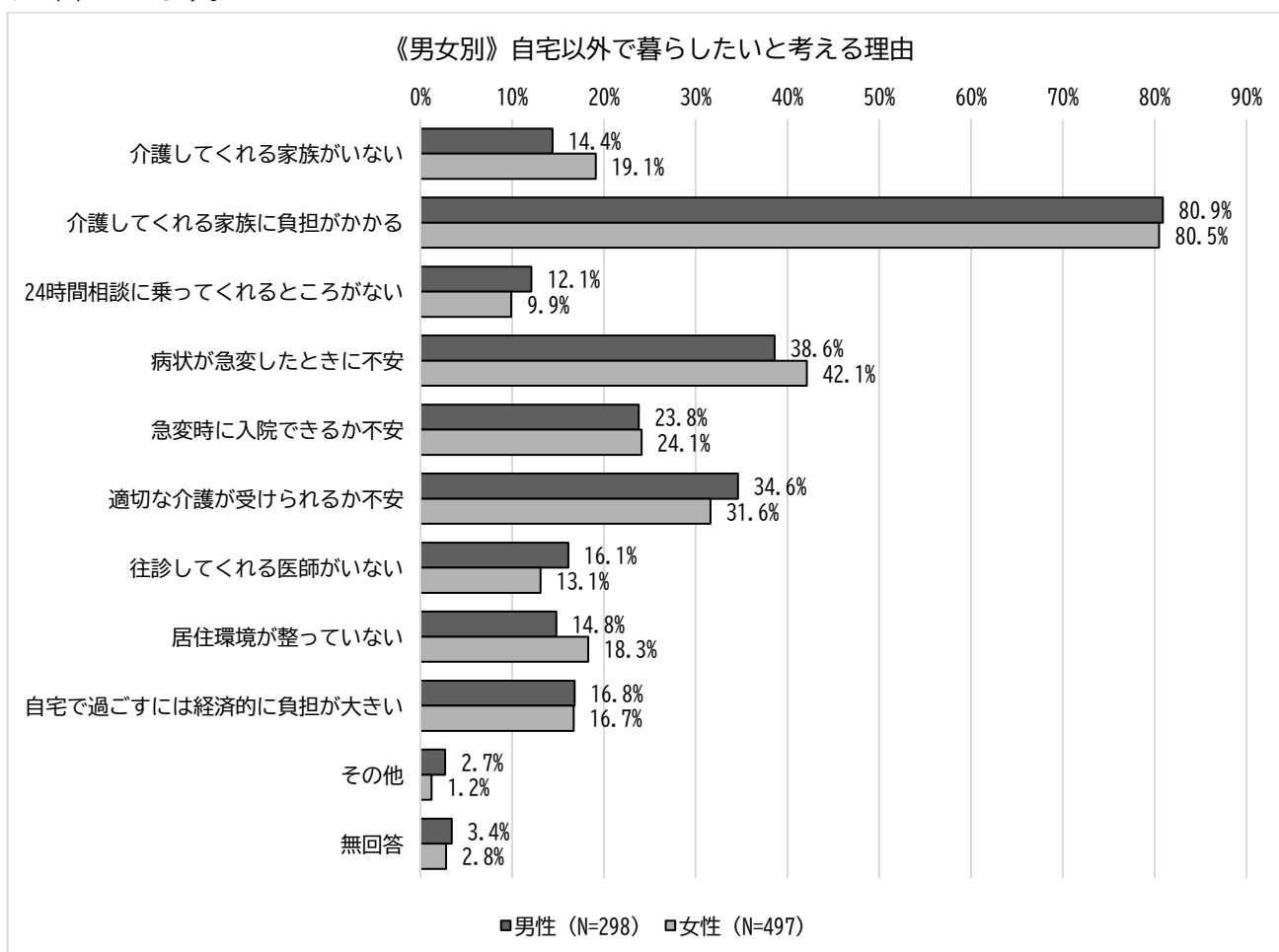
《男女別》

「男性」は「介護してくれる家族に負担がかかる」が 80.9%と最も多く、次いで「病状が急変したときに不安」が 38.6%、「適切な介護が受けられるか不安」が 34.6%、「急変時に入院できるか不安」が 23.8%、「女性」は「介護してくれる家族に負担がかかる」が 80.5%と最も多く、次いで「病状が急変したときに不安」が 42.1%、「適切な介護が受けられるか不安」が 31.6%、「急変時に入院できるか不安」が 24.1%となっています。

「介護してくれる家族がいない」は「女性」が 19.1%に対し、「男性」は 14.4%と、「女性」が「男性」を 4.7 ポイント上回っています。

「居住環境が整っていない」は「女性」が 18.3%に対し、「男性」は 14.8%と、「女性」が「男性」を 3.5 ポイント上回っています。

「病状が急変したときに不安」は「女性」が 42.1%に対し、「男性」は 38.6%と、「女性」が「男性」を 3.5 ポイント上回っています。



《介護の有無別》

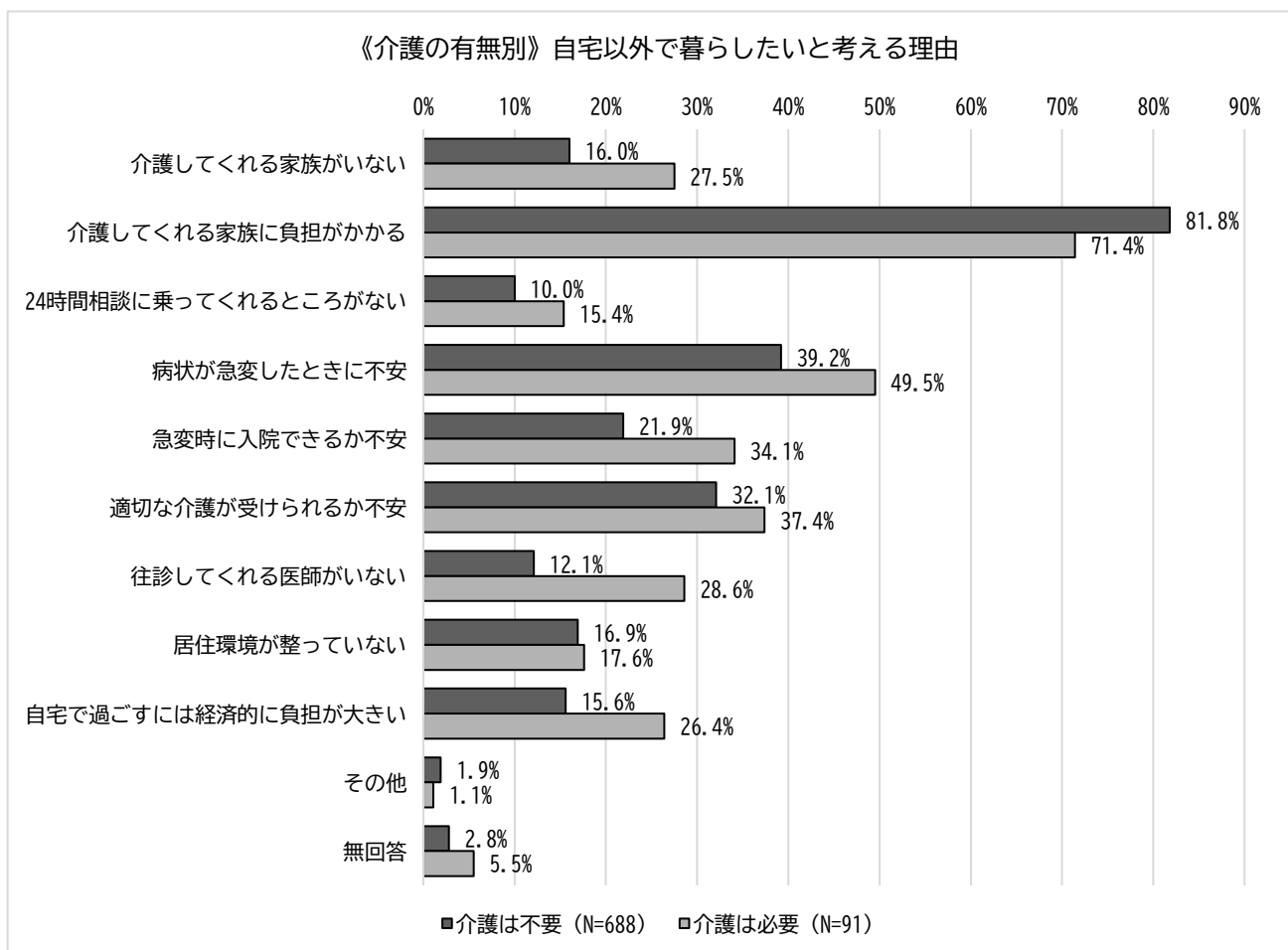
「介護は不要」は「介護してくれる家族に負担がかかる」が 81.8%と最も多く、次いで「病状が急変したときに不安」が 39.2%、「適切な介護が受けられるか不安」が 32.1%、「急変時に入院できるか不安」が 21.9%、「介護は必要」は「介護してくれる家族に負担がかかる」が 71.4%と最も多く、次いで「病状が急変したときに不安」が 49.5%、「適切な介護が受けられるか不安」が 37.4%、「急変時に入院できるか不安」が 34.1%となっています。

「往診してくれる医師がいない」は「介護は必要」が 28.6%に対し、「介護は不要」は 12.1%と、「介護は必要」が「介護は不要」を 16.5 ポイント上回っています。

「急変時に入院できるか不安」は「介護は必要」が 34.1%に対し、「介護は不要」は 21.9%と、「介護は必要」が「介護は不要」を 12.2 ポイント上回っています。

「介護は必要」は「介護してくれる家族がいない」が 27.5%に対し、「介護は不要」は 16.0%と、「介護は必要」が「介護は不要」を 11.5 ポイント上回り、「自宅で過ごすには経済的に負担が大きい」は「介護は必要」が 26.4%に対し、「介護は不要」は 15.6%と、「介護は必要」が「介護は不要」を 10.8 ポイント上回り、「病状が急変したときに不安」は「介護は必要」が 49.5%に対し、「介護は不要」は 39.2%と、「介護は必要」が「介護は不要」を 10.3 ポイント上回っています。

反対に「介護してくれる家族に負担がかかる」は「介護は不要」が 81.8%に対し、「介護は必要」は 71.4%と、「介護は不要」が「介護は必要」を 10.4 ポイント上回っています。



《日常生活圏域別》

回答の多かった「介護してくれる家族に負担がかかる」「病状が急変したときに不安」「適切な介護が受けられるか不安」に着目して圏域ごとの比較を行います。

「介護してくれる家族に負担がかかる」は「天見小学校区」が 92.3%と最も多く、次いで「天野小学校区」が 90.9%、「高向小学校区」が 90.0%、「南花台小学校区」が 88.9%、「加賀田小学校区」が 87.8%となっています。

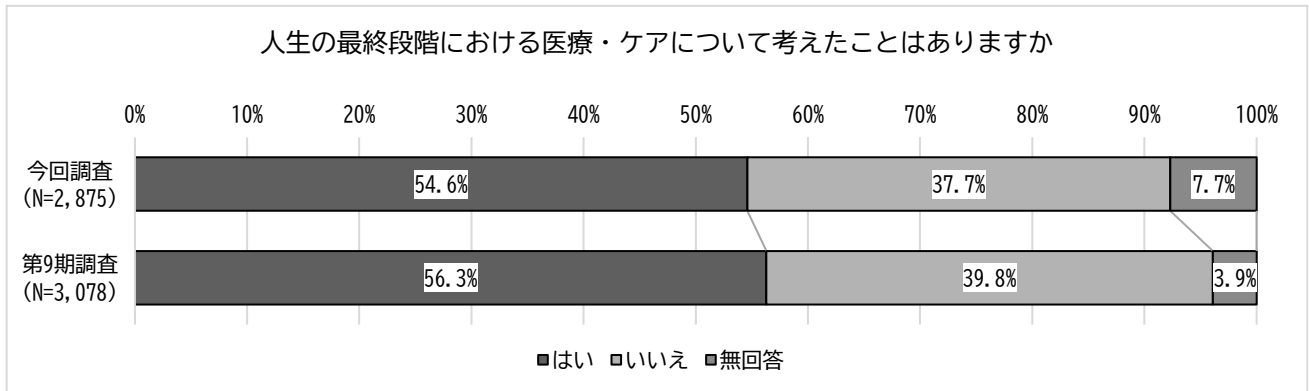
「病状が急変したときに不安」は「高向小学校区」が 53.3%と最も多く、次いで「美加の台小学校区」が 51.8%、「南花台小学校区」が 45.8%、「小山田小学校区」が 43.2%、「千代田小学校区」が 40.2%となっています。

「適切な介護が受けられるか不安」は「小山田小学校区」が 44.4%と最も多く、次いで「石仏小学校区」が 37.0%、「高向小学校区」が 36.7%、「天野小学校区」が 36.4%、「川上小学校区」が 32.9%となっています。

圏域	回答数	介護してくれる家族がいない	介護してくれる家族に負担がかかる	24時間相談に乗ってほしいところがない	病状が急変したときに不安	急変時に入院できるか不安	適切な介護が受けられるか不安	医師がいない	往診してくれる	居住環境が整っていない	自宅ですぐに経済的に負担が大きい	その他	無回答
長野	87	16.1%	80.5%	5.7%	39.1%	17.2%	27.6%	5.7%	13.8%	13.8%	2.3%	4.6%	
小山田	81	24.7%	76.5%	14.8%	43.2%	27.2%	44.4%	11.1%	19.8%	17.3%	0.0%	2.5%	
天野	11	9.1%	90.9%	0.0%	36.4%	18.2%	36.4%	0.0%	0.0%	9.1%	9.1%	0.0%	
高向	30	16.7%	90.0%	20.0%	53.3%	16.7%	36.7%	20.0%	20.0%	20.0%	3.3%	3.3%	
三日市	69	13.0%	82.6%	1.4%	34.8%	18.8%	31.9%	13.0%	17.4%	15.9%	5.8%	2.9%	
天見	13	15.4%	92.3%	23.1%	38.5%	30.8%	23.1%	30.8%	15.4%	15.4%	0.0%	0.0%	
川上	82	14.6%	75.6%	11.0%	39.0%	26.8%	32.9%	17.1%	24.4%	20.7%	0.0%	3.7%	
千代田	102	18.6%	75.5%	10.8%	40.2%	21.6%	30.4%	15.7%	13.7%	21.6%	0.0%	2.9%	
楠	97	18.6%	81.4%	9.3%	37.1%	23.7%	32.0%	11.3%	11.3%	9.3%	2.1%	4.1%	
加賀田	49	22.4%	87.8%	14.3%	38.8%	24.5%	32.7%	16.3%	18.4%	16.3%	2.0%	2.0%	
石仏	46	21.7%	71.7%	10.9%	34.8%	23.9%	37.0%	10.9%	8.7%	15.2%	0.0%	6.5%	
美加の台	56	8.9%	80.4%	14.3%	51.8%	32.1%	32.1%	23.2%	21.4%	17.9%	1.8%	1.8%	
南花台	72	16.7%	88.9%	12.5%	45.8%	30.6%	27.8%	18.1%	23.6%	19.4%	2.8%	0.0%	

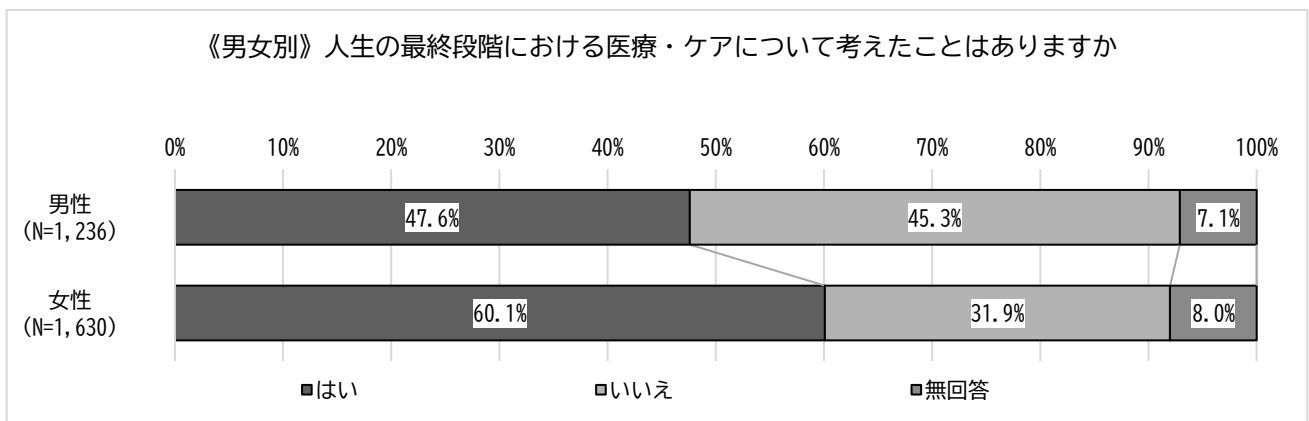
問 11-3 人生の最終段階における医療・ケア(療養)についてこれまでに考えたことがありますか
(〇はひとつ)

「はい」が 54.6%、「いいえ」が 37.7%で、第 9 期調査との有意な差はありません。



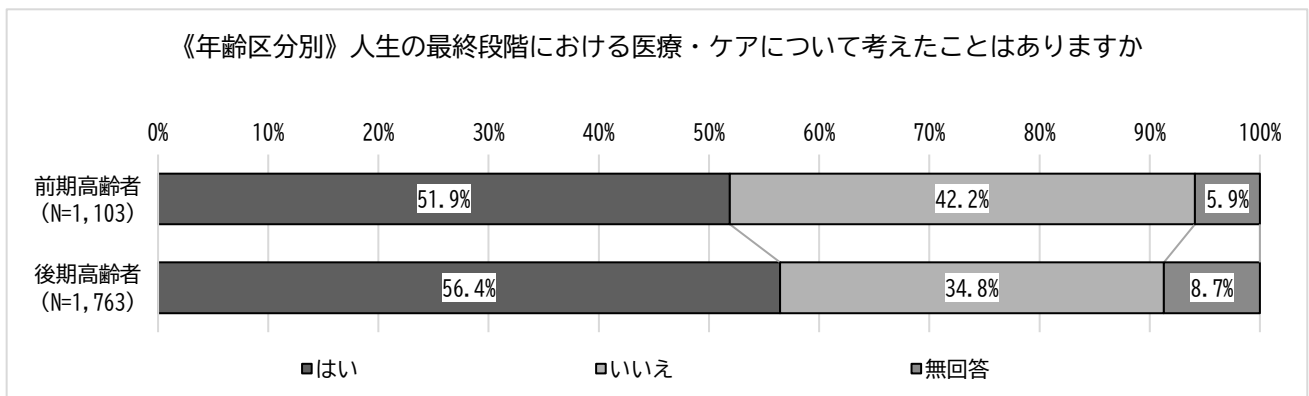
《男女別》

「男性」は「はい」が 47.6%、「いいえ」が 45.3%、「女性」は「はい」が 60.1%、「いいえ」が 31.9%で、「はい」に着目すると、「女性」が 60.1%に対し、「男性」は 47.6%と、「女性」が「男性」を 12.5 ポイント上回っています。



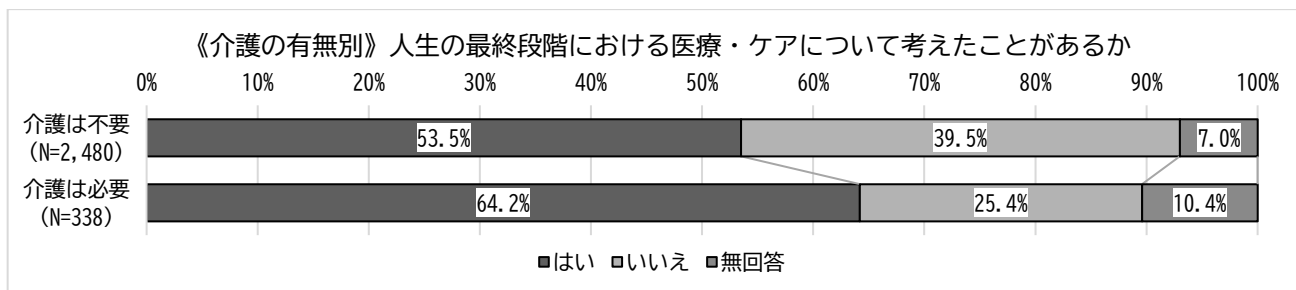
《年齢区分別》

「前期高齢者」は「はい」が 51.9%、「いいえ」が 42.2%、「後期高齢者」は「はい」が 56.4%、「いいえ」が 34.8%で、「はい」に着目すると、「後期高齢者」が 56.4%に対し、「前期高齢者」は 51.9%と、「後期高齢者」が「前期高齢者」を 4.5 ポイント上回っています。



《介護の有無別》

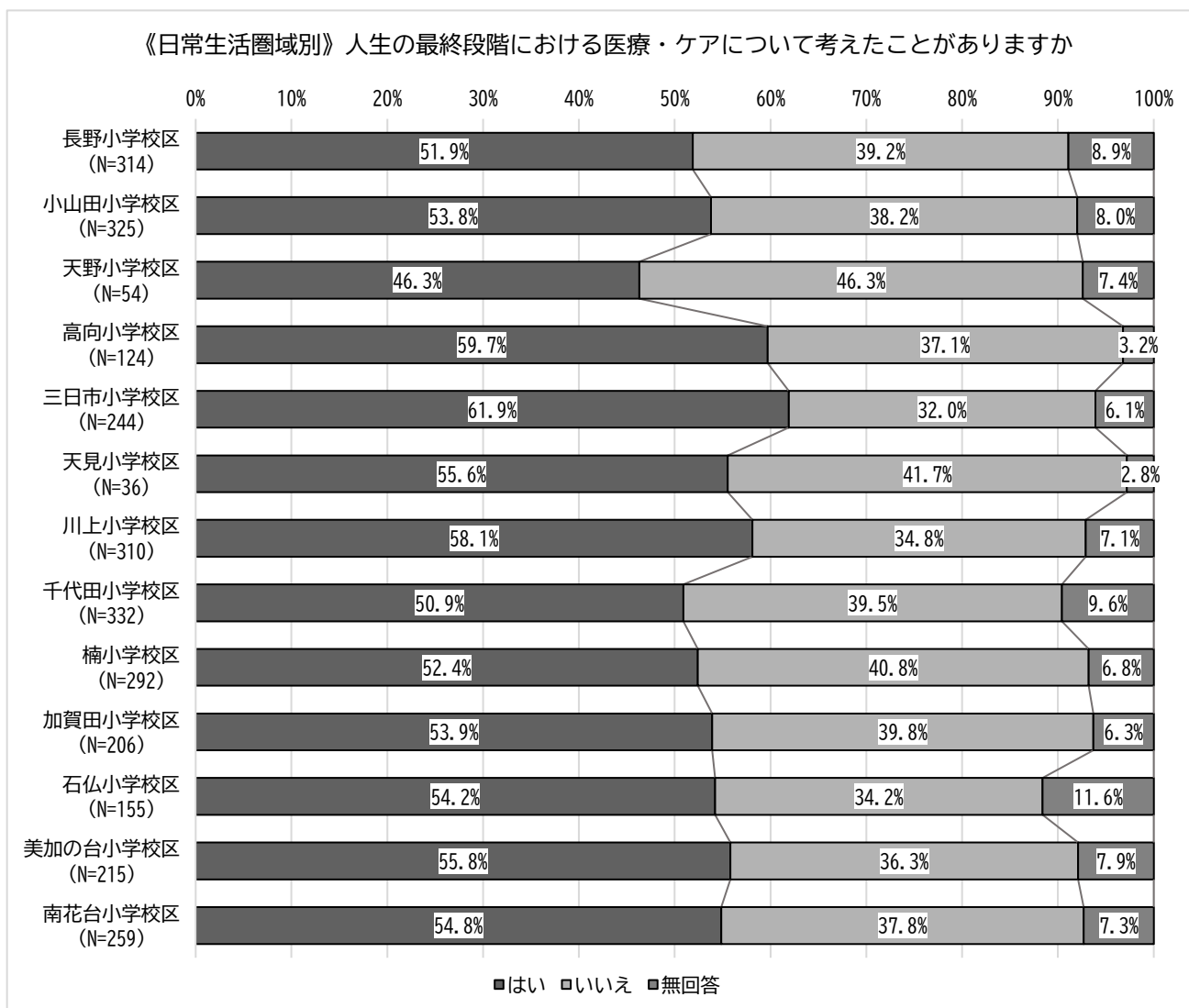
「介護は不要」は「はい」が 53.5%、「いいえ」が 39.5%、「介護は必要」は「はい」が 64.2%、「いいえ」が 25.4%で、「はい」に着目すると、「介護は必要」が 64.2%に対し、「介護は不要」は 53.5%と、「介護は必要」が「介護は不要」を 10.7 ポイント上回っています。



《日常生活圏域別》

「はい」は「三日市小学校区」が 61.9%と最も多く、次いで「高向小学校区」が 59.7%、「川上小学校区」が 58.1%、「美加の台小学校区」が 55.8%、「天見小学校区」が 55.6%となっています。

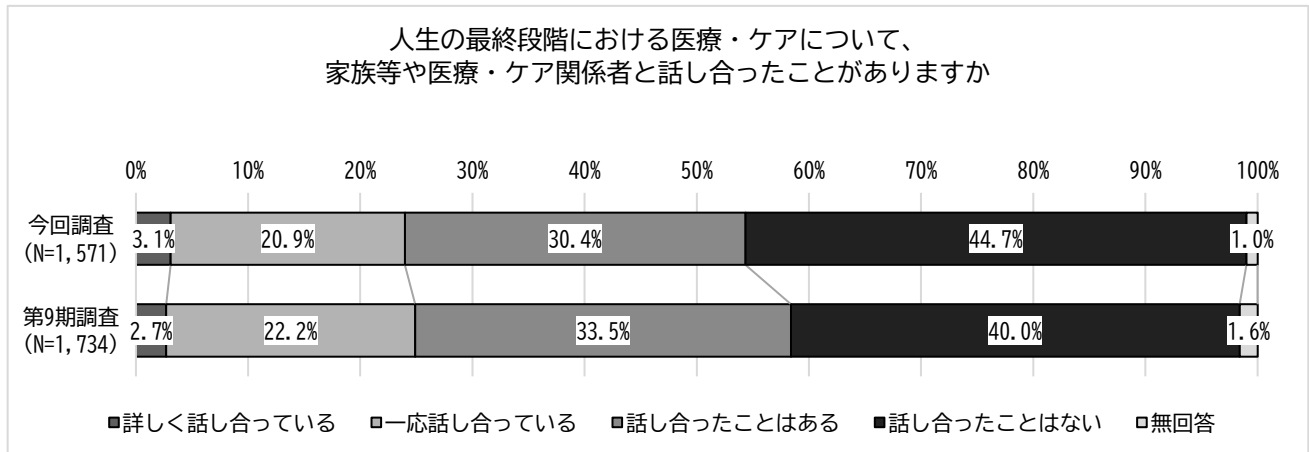
「いいえ」は「天野小学校区」が 46.3%と最も多く、次いで「天見小学校区」が 41.7%、「楠小学校区」が 40.8%、「加賀田小学校区」が 39.8%、「千代田小学校区」が 39.5%となっています。



問 11-3 で「1. はい」を回答された方のみ

問 11-3-1 人生の最終段階において、受けた医療・ケア(療養)や受けたくない医療・ケア(療養)についてご家族等や医療・ケア(療養)関係者と話し合ったことがありますか(○はひとつ)

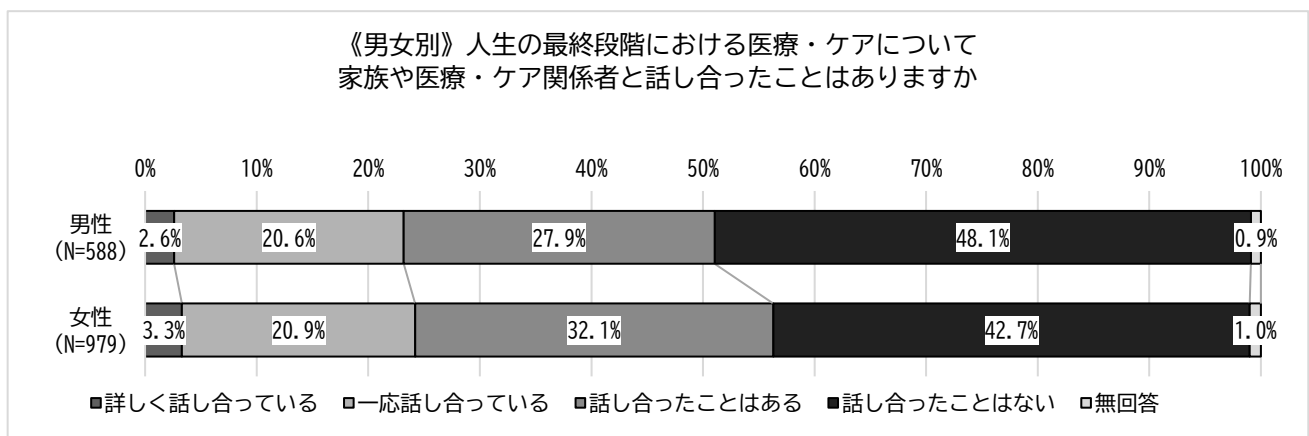
「話し合ったことはない」が 44.7%と最も多く、次いで「話し合ったことはある」が 30.4%、「一応話し合っている」が 20.9%で、第 9 期調査と比較すると、「話し合ったことはない」は 40.0%から 44.7%へと 4.7 ポイント増加しています。



《男女別》

「男性」は「話し合ったことはない」が 48.1%と最も多く、次いで「話し合ったことはある」が 27.9%、「一応話し合っている」が 20.6%、「女性」は「話し合ったことはない」が 42.7%と最も多く、次いで「話し合ったことはある」が 32.1%、「一応話し合っている」が 20.9%となっています。

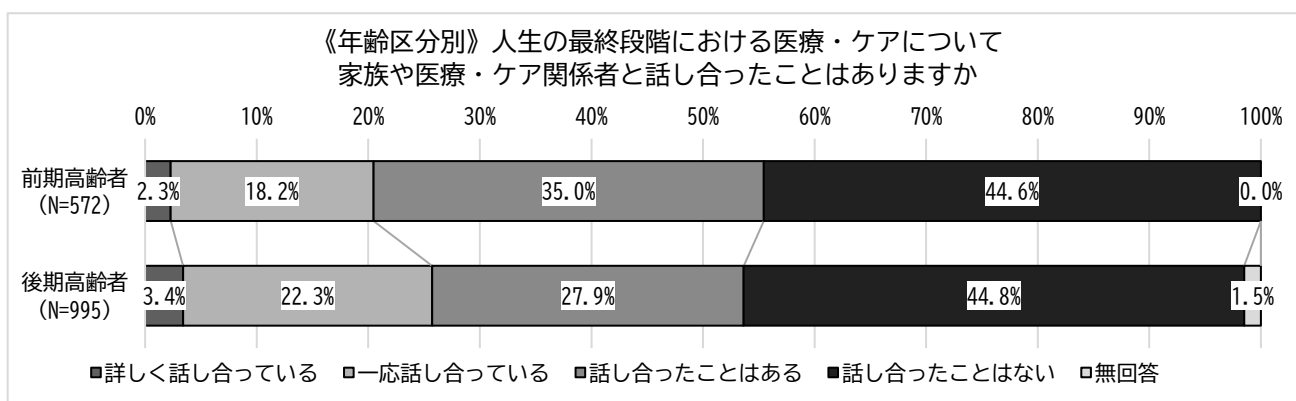
「詳しく話し合っている」「一応話し合っている」「話し合ったことはある」を合わせた「話し合っている」に着目すると、「女性」が 56.3%に対し、「男性」は 51.1%と、「女性」が「男性」を 5.2 ポイント上回っています。



《年齢区分別》

「前期高齢者」は「話し合ったことはない」が 44.6%と最も多く、次いで「話し合ったことはある」が 35.0%、「一応話し合っている」が 18.2%、「後期高齢者」は「話し合ったことはない」が 44.8%と最も多く、次いで「話し合ったことはある」が 27.9%、「一応話し合っている」が 22.3%となっています。

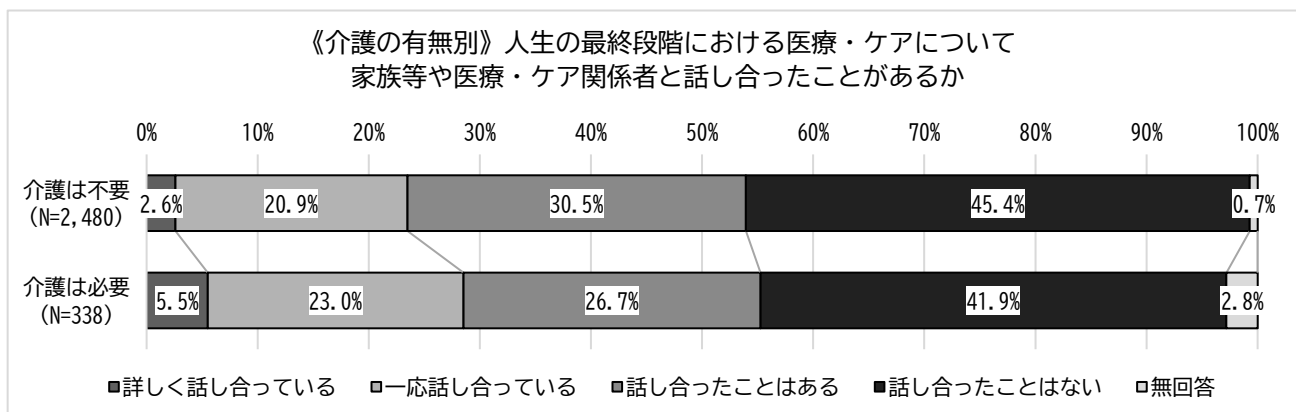
「一応話し合っている」は「後期高齢者」が 22.3%に対し、「前期高齢者」は 18.2%と、「後期高齢者」が「前期高齢者」を 4.1 ポイント上回り、「話し合ったことはある」は「前期高齢者」が 35.0%に対し、「後期高齢者」は 27.9%と、「前期高齢者」が「後期高齢者」を 7.1 ポイント上回っています。



《介護の有無別》

「介護は不要」は「話し合ったことはない」が 45.4%と最も多く、次いで「話し合ったことはある」が 30.5%、「一応話し合っている」が 20.9%、「介護は必要」は「話し合ったことはない」が 41.9%と最も多く、次いで「話し合ったことはある」が 26.7%、「一応話し合っている」が 23.0%となっています。

「話し合ったことはある」は「介護は不要」が 30.5%に対し、「介護は必要」は 26.7%と、「介護は不要」が「介護は必要」を 3.8 ポイント上回り、「話し合ったことはない」は「介護は不要」が 45.4%に対し、「介護は必要」は 41.9%と、「介護は不要」が「介護は必要」を 3.5 ポイント上回っています。

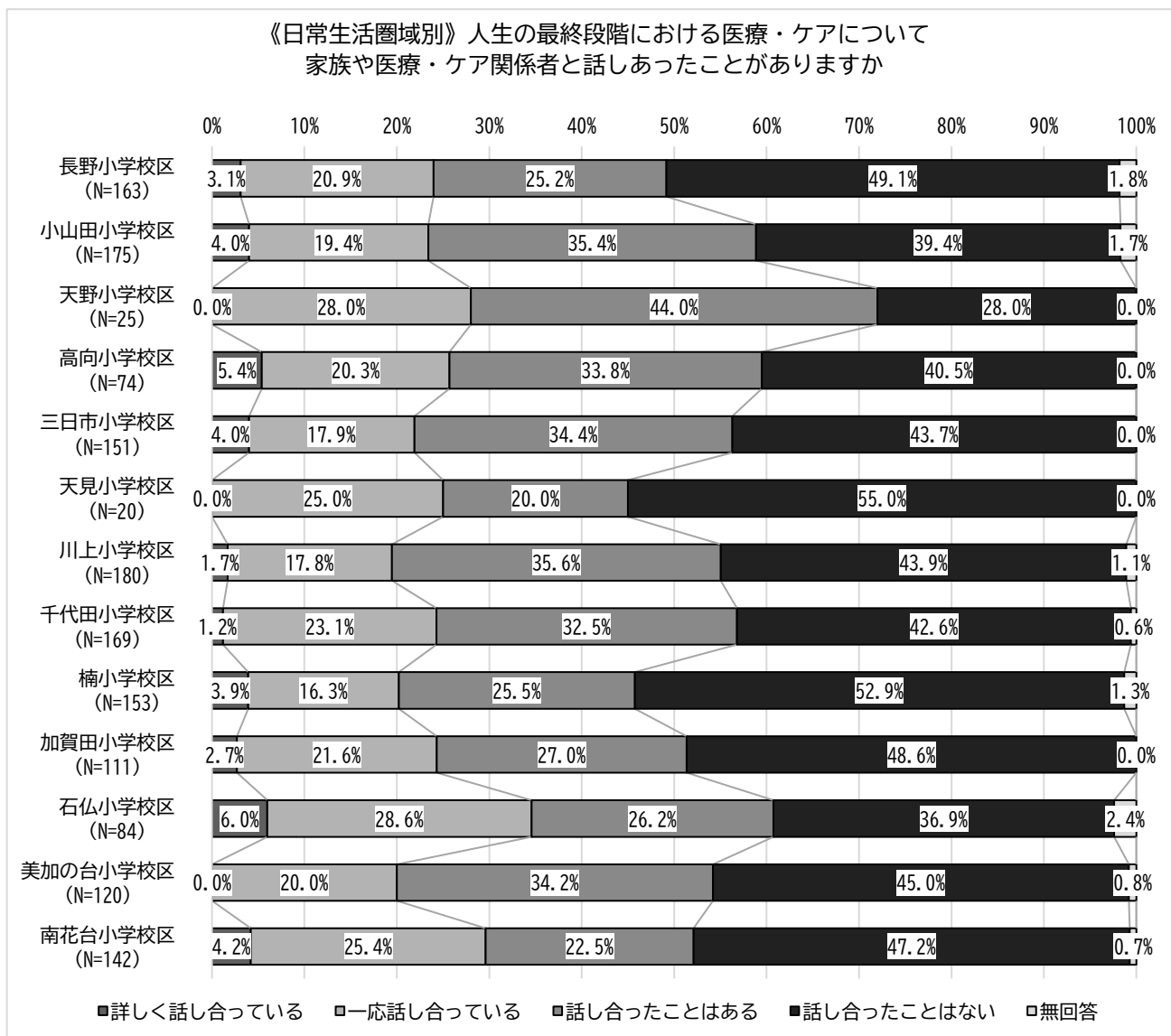


《日常生活圏域別》

「一応話し合っている」は「石仏小学校区」が28.6%と最も多く、次いで「天野小学校区」が28.0%、「南花台小学校区」が25.4%、「天見小学校区」が25.0%、「千代田小学校区」が23.1%となっています。

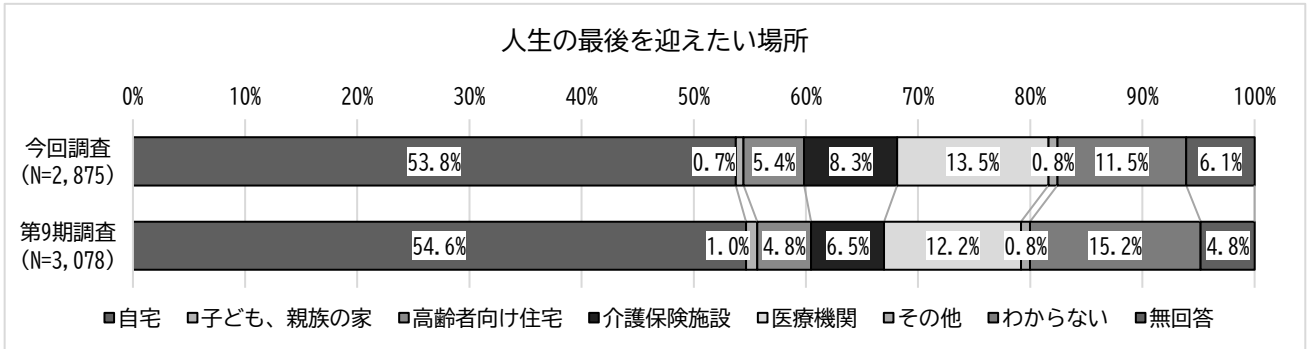
「話し合ったことはある」は「天野小学校区」が44.0%と最も多く、次いで「川上小学校区」が35.6%、「小山田小学校区」が35.4%、「三日市小学校区」が34.4%、「美加の台小学校区」が34.2%となっています。

「話し合ったことはない」は「天見小学校区」が55.0%と最も多く、次いで「楠小学校区」が52.9%、「長野小学校区」が49.1%、「加賀田小学校区」が48.6%、「南花台小学校区」が47.2%となっています。



問 11-4 あなたが人生の最後を迎えたい場所として、ご希望に最も近いものはどれですか
(○はひとつ)

「自宅」が 53.8%と最も多く、次いで「医療機関」が 13.5%、「わからない」が 11.5%で、第 9 期調査と比較すると、「わからない」が 15.2%から 11.5%へと 3.7 ポイント減少しています。



《自由記述》

人生の最後を迎えたい場所について、20 件の回答があり、自宅を希望しつつも家族への負担を懸念する声や、その時の状況によるとする意見などが見られました。

① 家族への配慮・現実的な判断について

- 「できるだけ自宅で過ごしたいが、家族の迷惑になったら施設に」「経済的・精神的負担はかけさせたくない」といった、家族への負担を最優先に考える意見が多く見られました。
- 「自宅が希望ですが、主人、両親をみてきて病院になるかも」「主人の在宅介護が大変だったので、子ども達には迷惑をかけたくない」など、実際の介護・看取り経験から、現実的な選択として病院や施設を想定する記述もありました。
- 「自分の希望は無理、子どもの親族に迷惑はかけられない」という回答もありました。

② 状況・状態による判断について

- 「意識がしっかりしていれば自宅だが、そうでなければどことも言えない」「やはり病気の場合は⑤(病院など)にあたるでしょう」といった、心身の状態によって場所が変わるとする意見が見られました。
- 「レベル次第」「介護度により希望が変わる」「その時の状況により、死に場所は仕方ない」という柔軟、あるいは達観した回答もありました。

③ 具体的な場所・こだわりについて

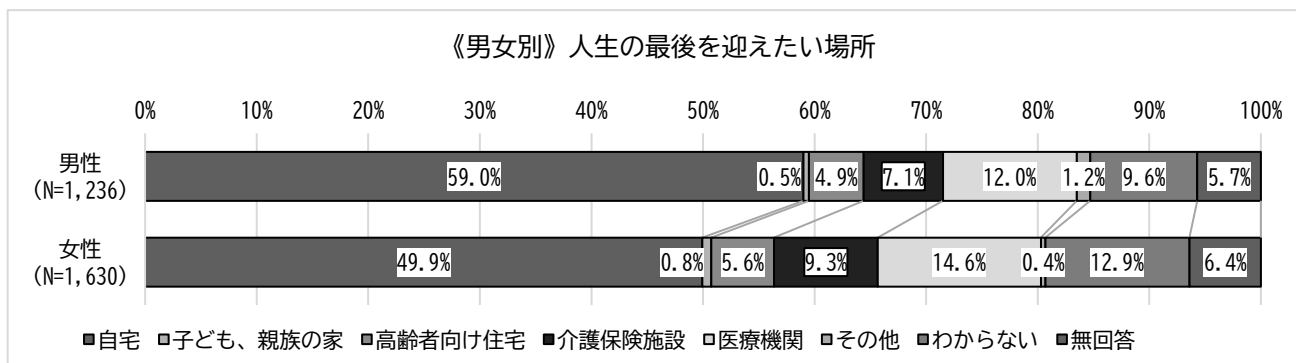
- 「海の美しい場所」「海辺」「自分の好きな場所」といった、特定の環境や風景を希望する記述がありました。

④ その他(未定・こだわりなし)

- 「どこでもよい」「どちらでも大丈夫」「なりゆきに任せる」といった場所に固執しない意見や、「考えたことがない」「まだ考えたことがない」「考えたくない」といった回答も散見されました。

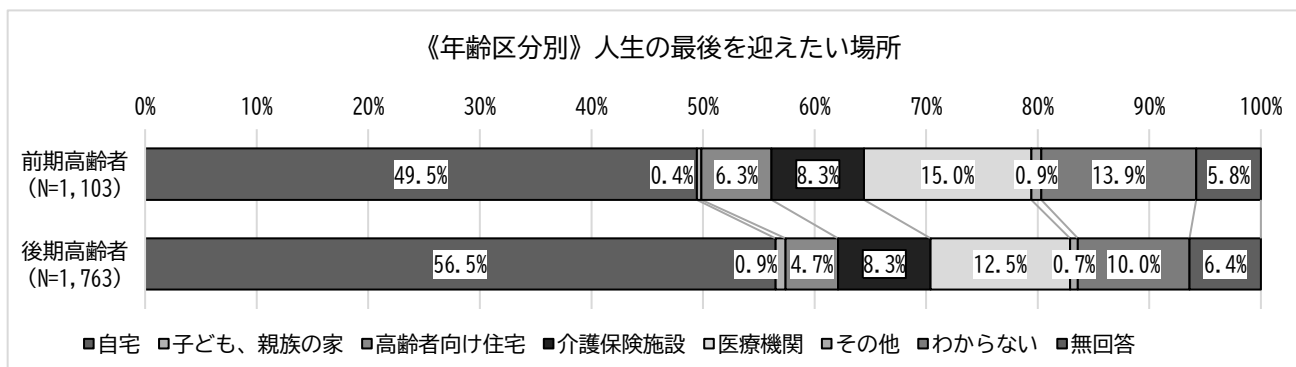
《男女別》

「男性」は「自宅」が 59.0%と最も多く、次いで「医療機関」が 12.0%、「わからない」が 9.6%、「女性」は「自宅」が 49.9%と最も多く、次いで「医療機関」が 14.6%、「わからない」が 12.9%で、「自宅」は「男性」が 59.0%に対し、「女性」は 49.9%と、「男性」が「女性」を 9.1 ポイント上回っています。



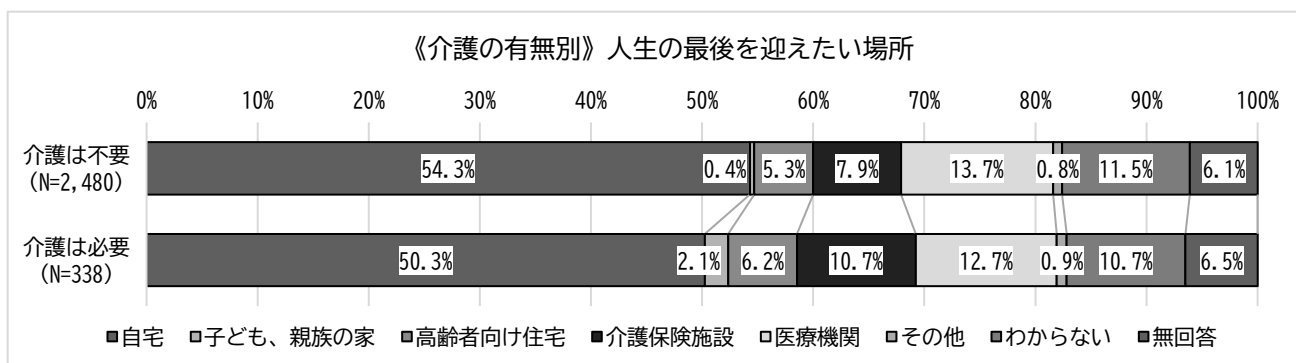
《年齢区分別》

「前期高齢者」は「自宅」が 49.5%と最も多く、次いで「医療機関」が 15.0%、「わからない」が 13.9%、「後期高齢者」は「自宅」が 56.5%と最も多く、次いで「医療機関」が 12.5%、「わからない」が 10.0%で、「自宅」は「後期高齢者」が 56.5%に対し、「前期高齢者」は 49.5%と、「後期高齢者」が「前期高齢者」を 7.0 ポイント上回っています。



《介護の有無別》

「介護は不要」は「自宅」が 54.3%と最も多く、次いで「医療機関」が 13.7%、「わからない」が 11.5%、「介護は必要」は「自宅」が 50.3%と最も多く、次いで「医療機関」が 12.7%、「わからない」が 10.7%で、「自宅」は「介護は不要」が 54.3%に対し、「介護は必要」は 50.3%と、「介護は不要」が「介護は必要」を 4.0 ポイント上回っています。



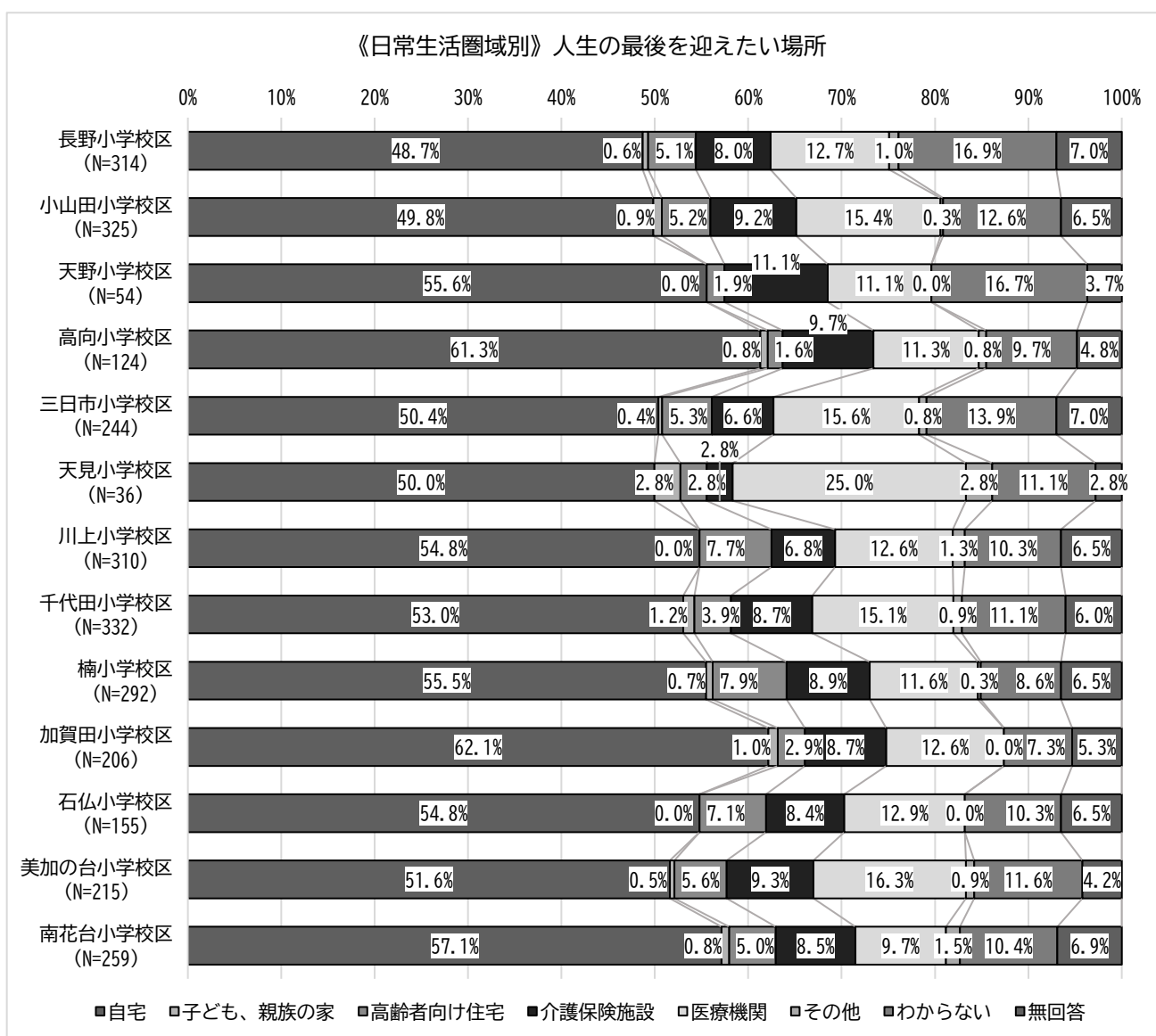
《日常生活圏域別》

「自宅」は「加賀田小学校区」が62.1%と最も多く、次いで「高向小学校区」が61.3%、「南花台小学校区」が57.1%、「天野小学校区」が55.6%、「楠小学校区」が55.5%となっています。

「介護保険施設」は「天野小学校区」が11.1%と最も多く、次いで「高向小学校区」が9.7%、「美加の台小学校区」が9.3%、「小山田小学校区」が9.2%、「楠小学校区」が8.9%となっています。

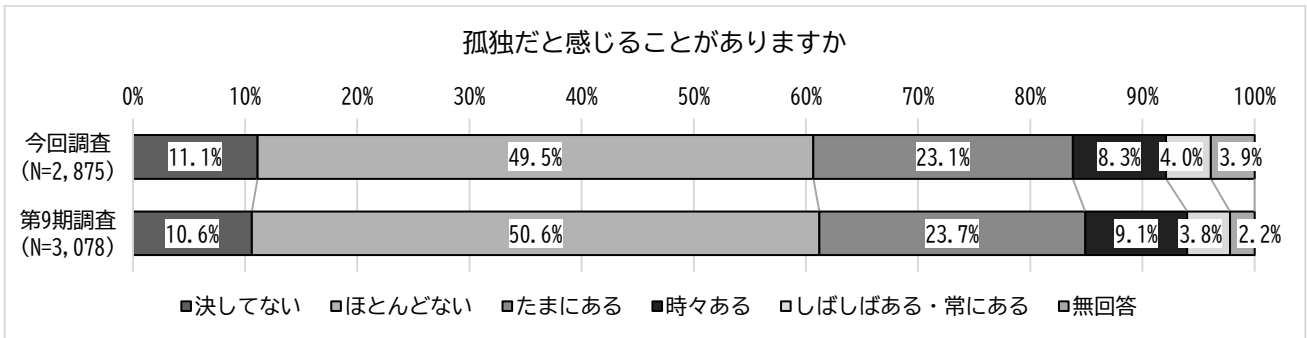
「医療機関」は「天見小学校区」が25.0%と最も多く、次いで「美加の台小学校区」が16.3%、「三日市小学校区」が15.6%、「小山田小学校区」が15.4%、「千代田小学校区」が15.1%となっています。

「わからない」は「長野小学校区」が16.9%と最も多く、次いで「天野小学校区」が16.7%、「三日市小学校区」が13.9%、「小山田小学校区」が12.6%、「美加の台小学校区」が11.6%となっています。



問 11-5 あなたはどの程度、孤独であると感じることがありますか(○はひとつ)

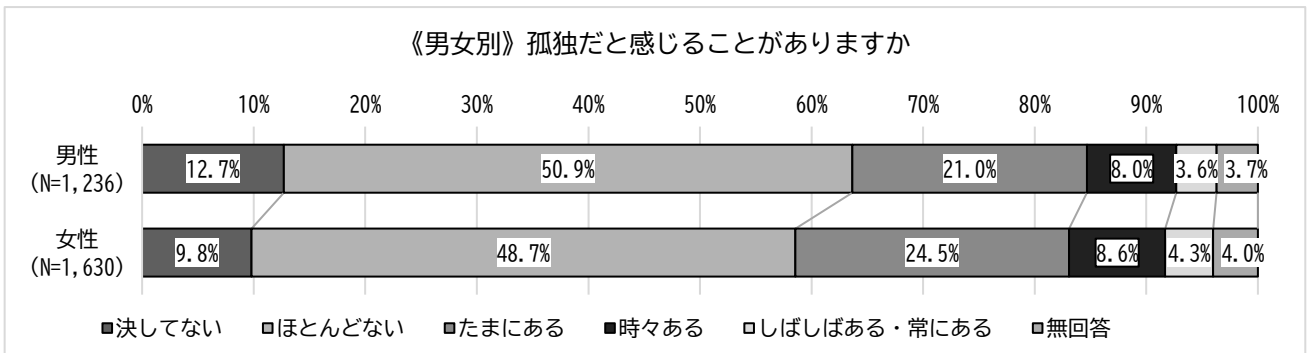
「ほとんどない」が49.5%と最も多く、次いで「たまにある」が23.1%、「決してない」が11.1%、「時々ある」が8.3%で、第9期調査との有意な差はありません。



《男女別》

「男性」は「ほとんどない」が50.9%と最も多く、次いで「たまにある」が21.0%、「決してない」が12.7%、「時々ある」が8.0%、「女性」は「ほとんどない」が48.7%と最も多く、次いで「たまにある」が24.5%、「決してない」が9.8%、「時々ある」が8.6%となっています。

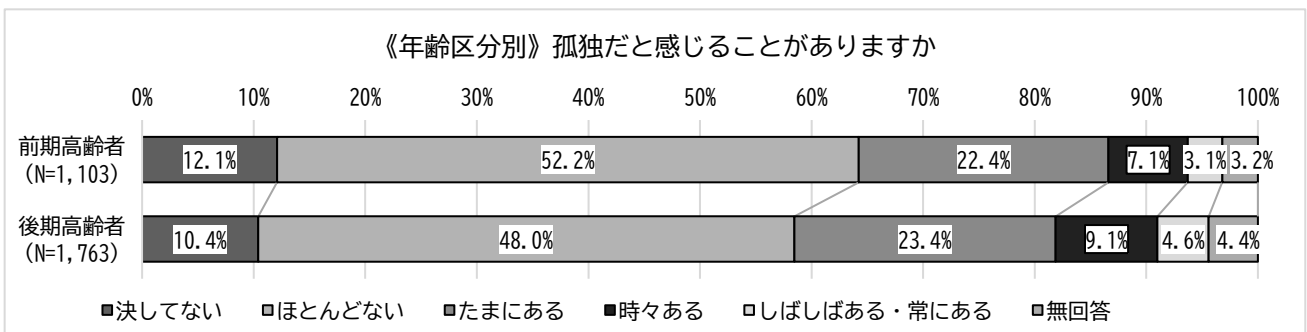
「たまにある」「時々ある」「しばしばある・常にある」を合わせた「ある」に着目すると、「女性」が37.4%に対し、「男性」は32.6%と、「女性」が「男性」を4.8ポイント上回っています。



《年齢区分別》

「前期高齢者」は「ほとんどない」が52.2%と最も多く、次いで「たまにある」が22.4%、「決してない」が12.1%、「時々ある」が7.1%、「後期高齢者」は「ほとんどない」が48.0%と最も多く、次いで「たまにある」が23.4%、「決してない」が10.4%、「時々ある」が9.1%となっています。

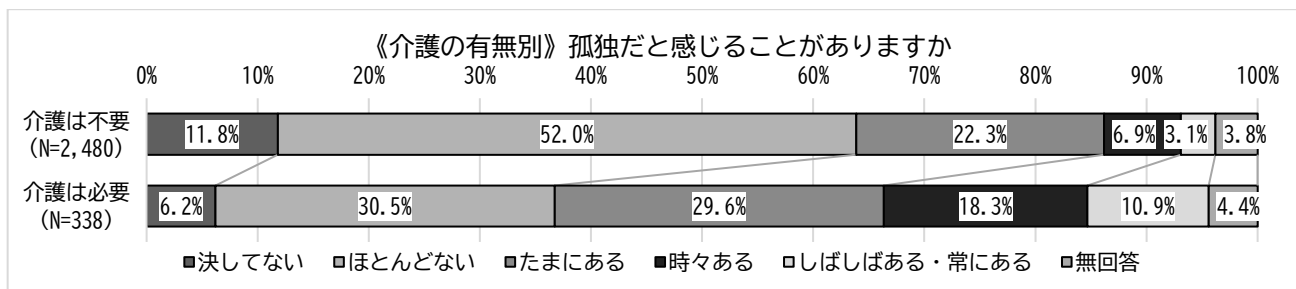
「たまにある」「時々ある」「しばしばある・常にある」を合わせた「ある」に着目すると、「後期高齢者」が37.1%に対し、「前期高齢者」は32.6%と、「後期高齢者」が「前期高齢者」を4.5ポイント上回っています。



《介護の有無別》

「介護は不要」は「ほとんどない」が 52.0%と最も多く、次いで「たまにある」が 22.3%、「決してない」が 11.8%、「時々ある」が 6.9%、「介護は必要」は「ほとんどない」が 30.5%と最も多く、次いで「たまにある」が 29.6%、「時々ある」が 18.3%、「しばしばある・常にある」が 10.9%となっています。

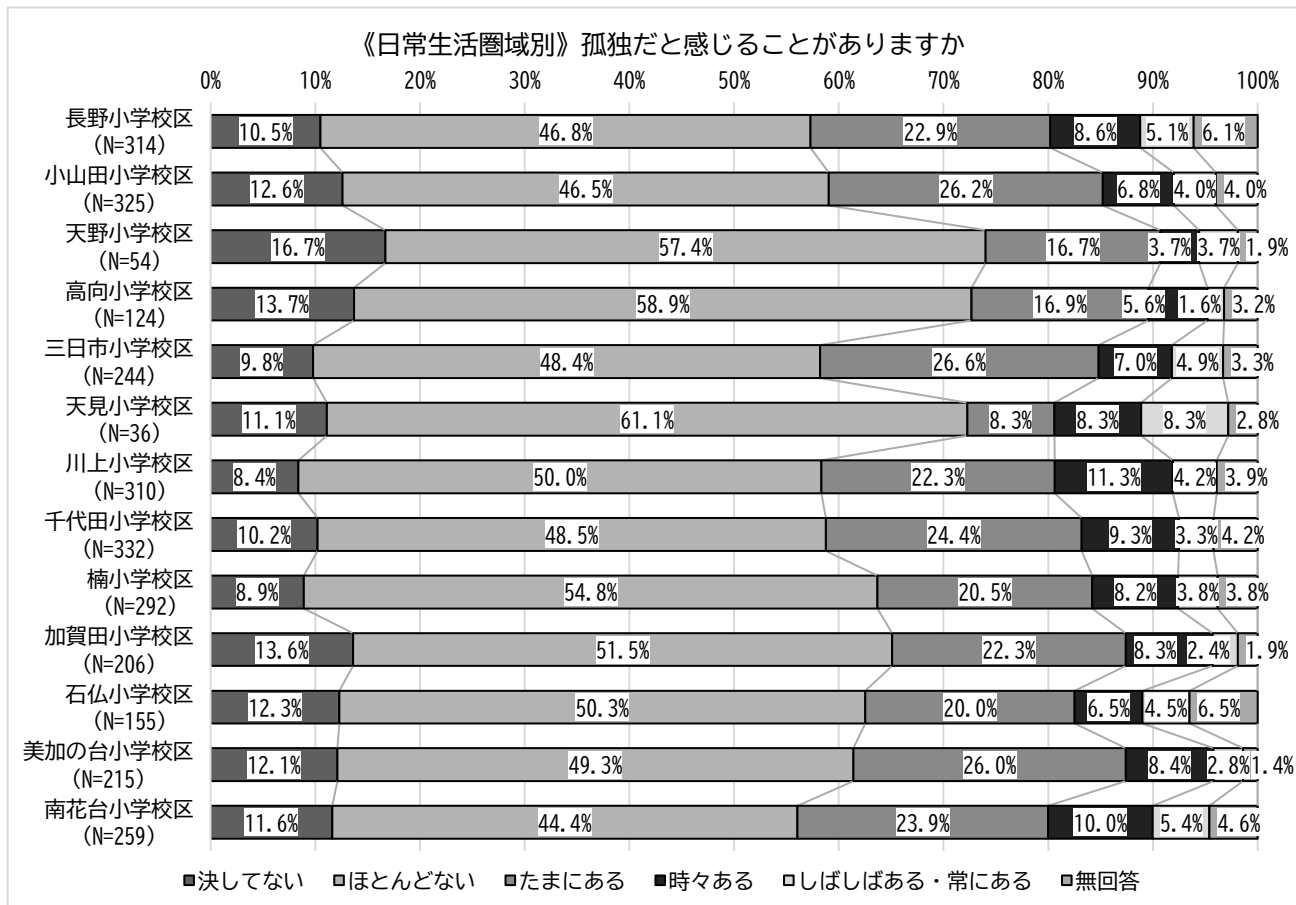
「たまにある」「時々ある」「しばしばある・常にある」を合わせた「ある」に着目すると、「介護は必要」が 58.8%に対し、「介護は不要」は 32.3%と、「介護は必要」が「介護は不要」を 26.5 ポイント上回っています。



《日常生活圏域別》

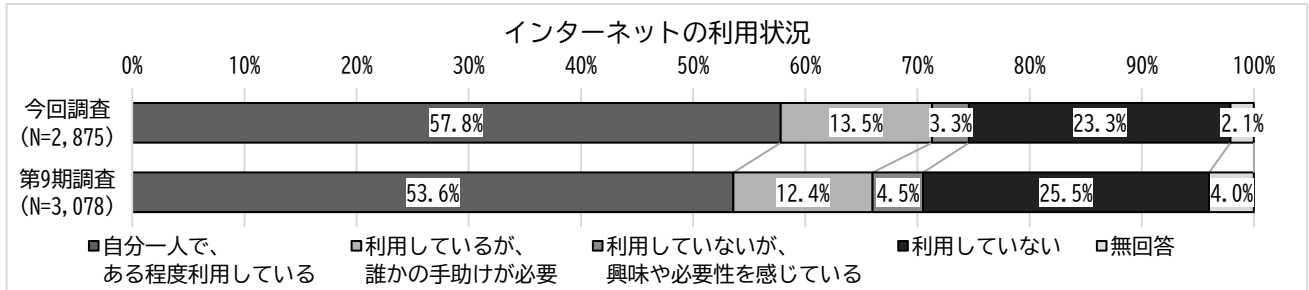
「決してない」と「ほとんどない」を合わせた「ない」は「天野小学校区」が 74.1%と最も多く、次いで「高向小学校区」が 72.6%、「天見小学校区」が 72.2%、「加賀田小学校区」が 65.1%、「楠小学校区」が 63.7%となっています。

「たまにある」と「時々ある」と「しばしばある・常にある」を合わせた「ある」は「南花台小学校区」が 39.3%と最も多く、次いで「三日市小学校区」が 38.5%、「川上小学校区」が 37.8%、「美加の台小学校区」が 37.2%、「小山田小学校区」と「千代田小学校区」が共に 37.0%となっています。



問 11-6 パソコン、スマホ、タブレット等を用いて、インターネットを利用していますか(〇はひとつ)

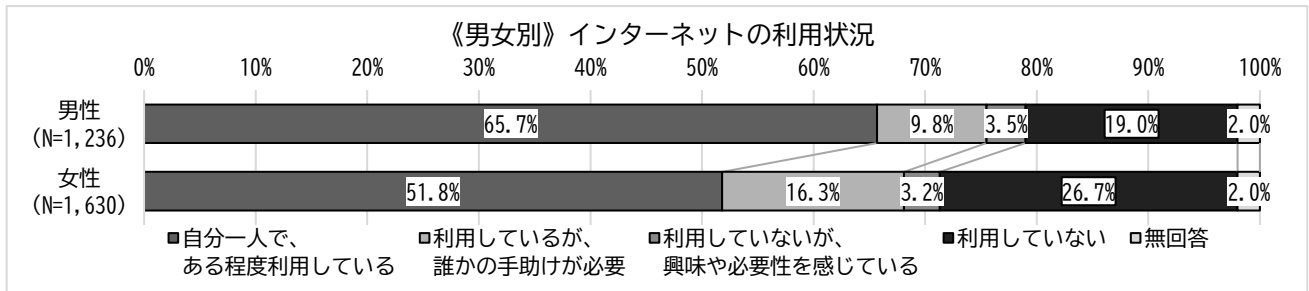
「自分一人で、ある程度利用している」は57.8%と最も多く、次いで「利用していない」が23.3%、「利用しているが、誰かの手助けが必要」が13.5%で、第9期調査と比較すると、「自分一人で、ある程度利用している」は53.6%から57.8%へと4.2ポイント増加しています。



《男女別》

「男性」は「自分一人で、ある程度利用している」が65.7%と最も多く、次いで「利用していない」が19.0%、「利用しているが、誰かの手助けが必要」が9.8%、「女性」は「自分一人で、ある程度利用している」が51.8%、「利用していない」が26.7%、「利用しているが、誰かの手助けが必要」が16.3%となっています。

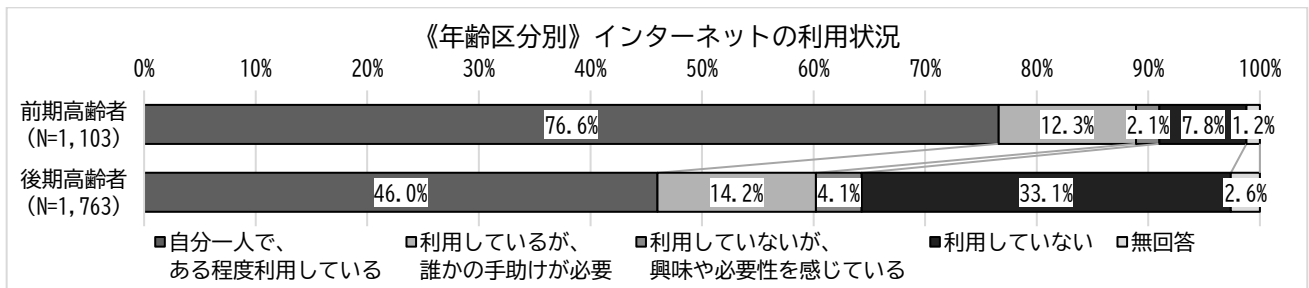
「自分一人で、ある程度利用している」は「男性」が65.7%に対し、「女性」は51.8%と、「男性」が「女性」を13.9ポイント上回り、「利用していない」は「女性」が26.7%に対し、「男性」が19.0%と、「男性」が「女性」を7.7ポイント上回っています。



《年齢区分別》

「前期高齢者」は「自分一人で、ある程度利用している」が76.6%と最も多く、次いで「利用しているが、誰かの手助けが必要」が12.3%、「利用していない」が7.8%、「後期高齢者」は「自分一人で、ある程度利用している」が46.0%と最も多く、「利用していない」が33.1%、「利用しているが、誰かの手助けが必要」が14.2%となっています。

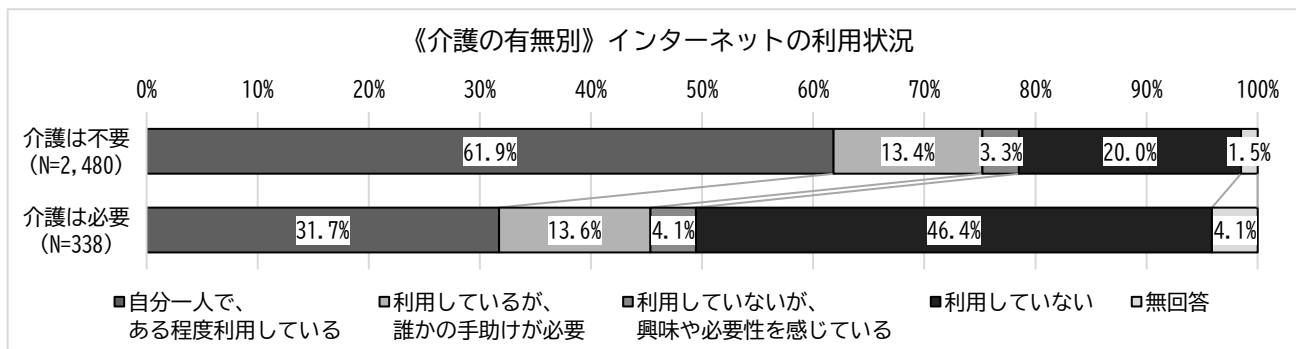
「自分一人で、ある程度利用している」は「前期高齢者」が76.6%に対し、「後期高齢者」は46.0%と、「前期高齢者」が「後期高齢者」を30.6ポイント上回り、「利用していない」は「後期高齢者」が33.1%に対し、「前期高齢者」は7.8%と、「後期高齢者」が「前期高齢者」を25.3ポイント上回っています。



《介護の有無別》

「介護は不要」は「自分一人で、ある程度利用している」が 61.9%と最も多く、「利用していない」が 20.0%、「利用しているが、誰かの手助けが必要」が 13.4%、「介護は必要」は「利用していない」が 46.4%と最も多く、次いで「自分一人で、ある程度利用している」が 31.7%、「利用しているが、誰かの手助けが必要」が 13.6%となっています。

「自分一人で、ある程度利用している」は「介護は不要」が 61.9%に対し、「介護は必要」は 31.7%と、「介護は不要」が「介護は必要」を 30.2 ポイント上回り、「利用していない」は「介護は必要」が 46.4%に対し、「介護は不要」は 20.0%と、「介護は必要」が「介護は不要」を 26.4 ポイント上回っています。

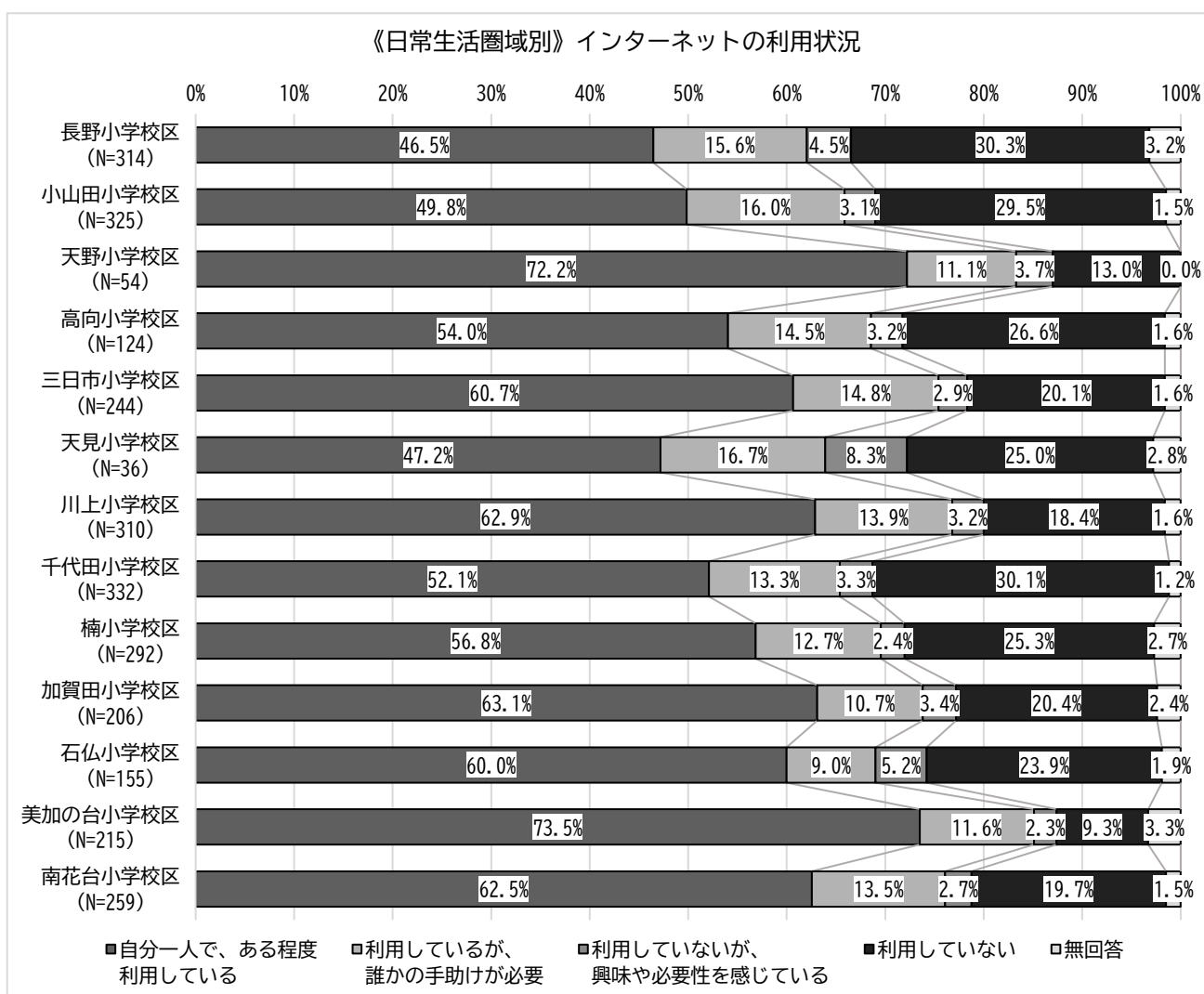


《日常生活圏域別》

「自分一人で、ある程度利用している」は「美加の台小学校区」が73.5%と最も多く、次いで「天野小学校区」が72.2%、「加賀田小学校区」が63.1%、「川上小学校区」が62.9%、「南花台小学校区」が62.5%となっています。

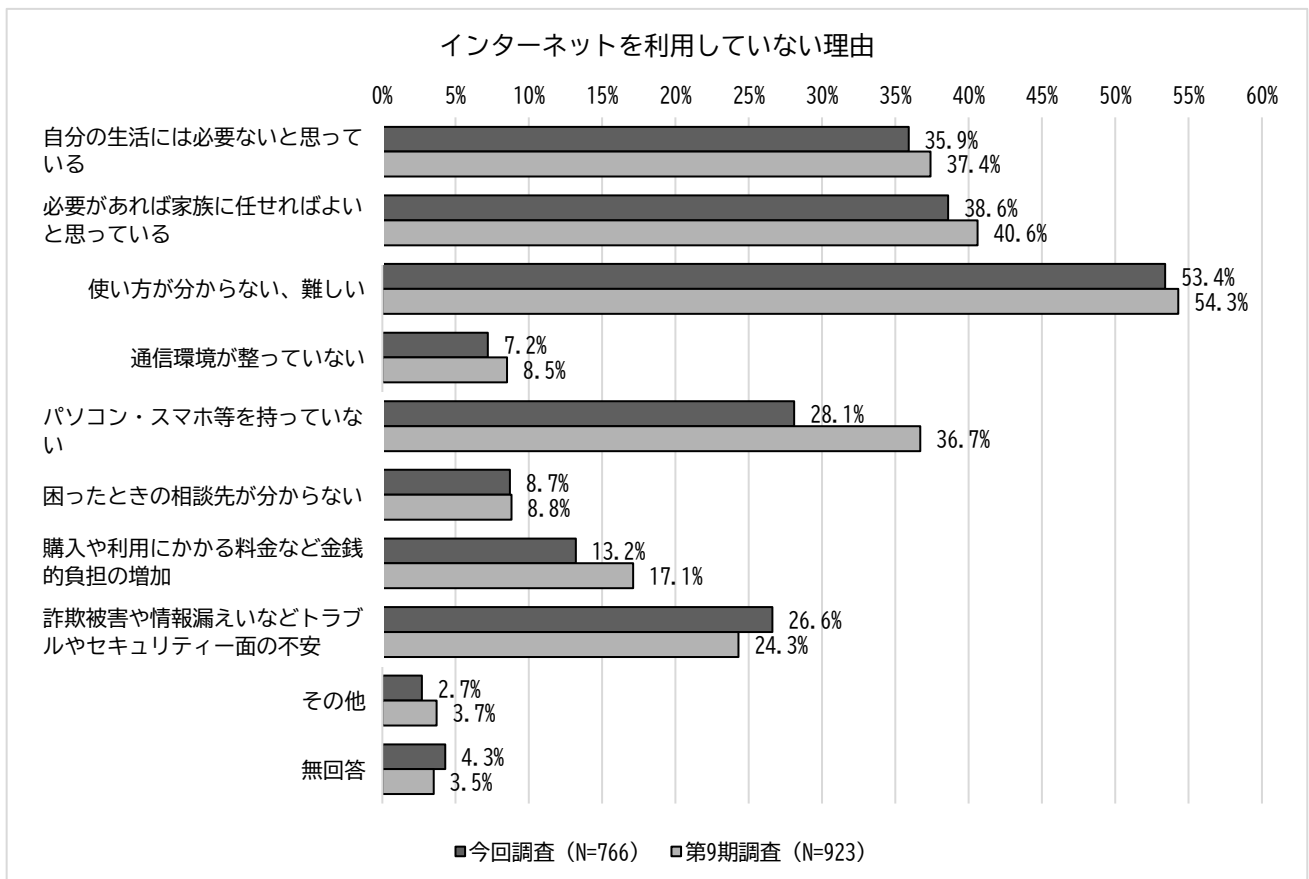
「利用しているが、誰かの手助けが必要」は「天見小学校区」が16.7%と最も多く、次いで「小山田小学校区」が16.0%、「長野小学校区」が15.6%、「三日市小学校区」が14.8%、「高向小学校区」が14.5%となっています。

「利用していない」は「長野小学校区」が30.3%と最も多く、次いで「千代田小学校区」が30.1%、「小山田小学校区」が29.5%、「高向小学校区」が26.6%、「楠小学校区」が25.3%となっています。



問11-6で「3. 利用していないが、興味や必要性を感じている」「4. 利用していない」を回答された方のみ
問11-6-1 利用していない理由について教えてください(〇はいくつでも)

「使い方が分からない、難しい」が53.4%と最も多く、次いで「必要があれば家族に任せればよいと思っている」が38.6%、「自分の生活には必要ないと思っている」が35.9%、「パソコン・スマホ等を持っていない」が28.1%で、第9期調査と比較すると、「パソコン・スマホ等を持っていない」が36.7%から28.1%へと8.6ポイント減少しています。



《自由記述》

インターネットを利用していない理由について、19件の回答があり、必要性を感じないことやアナログ志向、視力の低下などの身体的理由、時間的余裕のなさなどが見られました。

① 必要性・興味関心について

- 「興味はないし、必要性を感じない」「新聞、テレビ、本で十分」といった、現状の情報収集手段で満足しているという意見が見られました。
- 「使いたくない、アナログが好き」「メールより電話をして話す」といった、直接的なコミュニケーションや従来の方法を好む声もありました。
- 「他に読む本がある」という記述もありました。

② 身体的理由について

- 「視力不足で使えない」「目が見にくいので利用しにくい」「目に障害がある」といった、視力の問題により利用が困難であるとする回答が複数寄せられました。

③ 機器・環境・操作について

- 「スマホは画面が小さい」「まだ携帯電話(ガラケー)を利用している」といった機器に関する理由が挙げられました。
- 「あれば便利だと思うが、いまさらと思う」といった、導入への心理的ハードルを示す意見や、「スマホは持っているが、インターネットは使用していない」という回答もありました。
- 「画面の大きいタブレットを購入したいと思っている」「必要を感じたので購入しようと思っている」という前向きな検討状況を示す記述もありました。

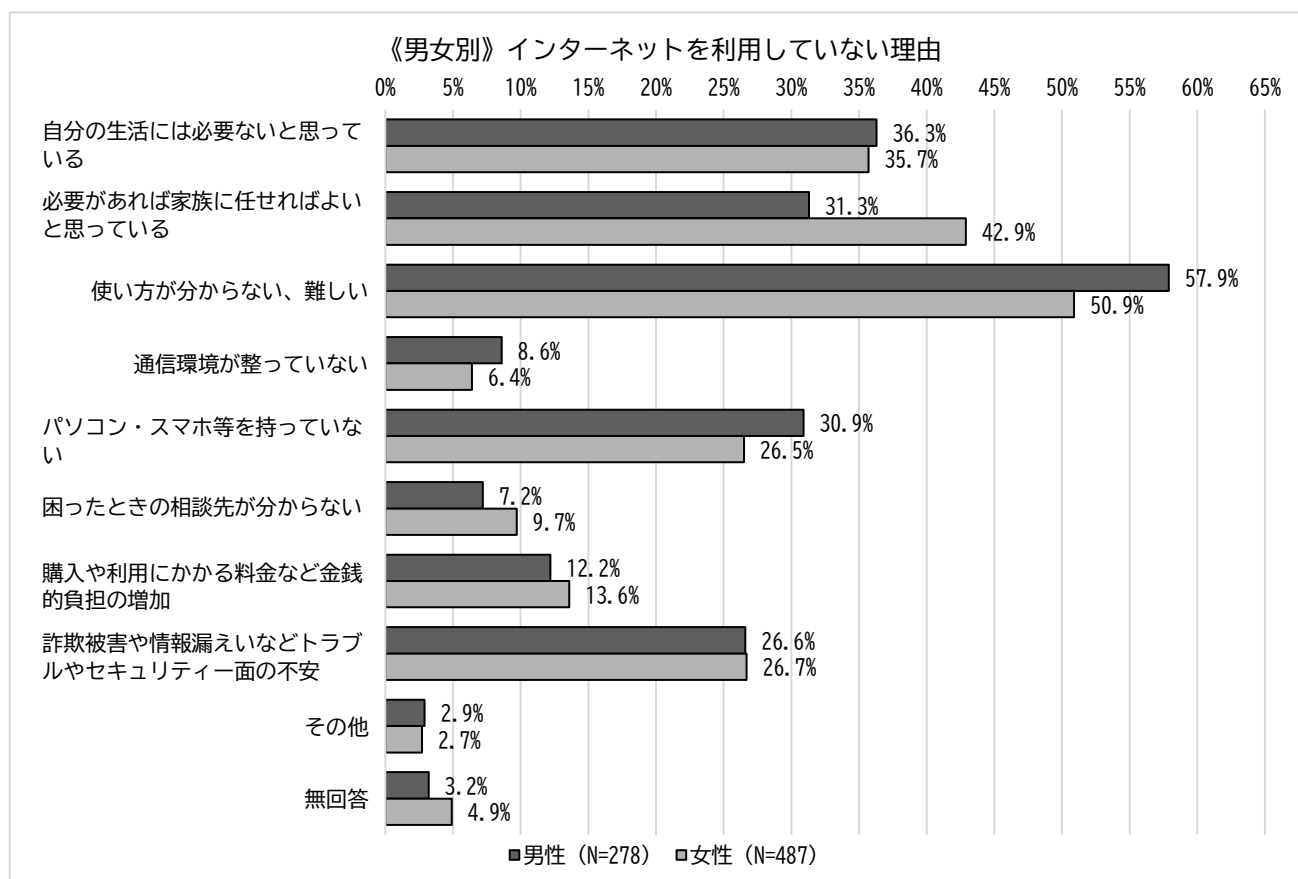
④ 時間的余裕について

- 「関わる時間がない」「時間的余裕がない」といった回答が見られました。

《男女別》

「男性」は「使い方が分からない、難しい」が 57.9%と最も多く、次いで「自分の生活には必要ないと思っている」が 36.3%、「必要があれば家族に任せればよいと思っている」が 31.3%、「パソコン・スマホ等を持っていない」が 30.9%、「詐欺被害や情報漏えいなどトラブルやセキュリティー面の不安」が 26.6%、「女性」は「使い方が分からない、難しい」は 50.9%と最も多く、次いで「必要があれば家族に任せればよいと思っている」が 42.9%、「自分の生活には必要ないと思っている」が 35.7%、「詐欺被害や情報漏えいなどトラブルやセキュリティー面の不安」が 26.7%、「パソコン・スマホ等を持っていない」が 26.5%となっています。

「使い方が分からない、難しい」は「男性」が 57.9%に対し、「女性」は 50.9%と、「男性」が「女性」を 7.0 ポイント上回り、「必要があれば家族に任せればよいと思っている」は「女性」が 42.9%に対し、「男性」は 31.3%と、「女性」が「男性」を 11.6 ポイント上回っています。



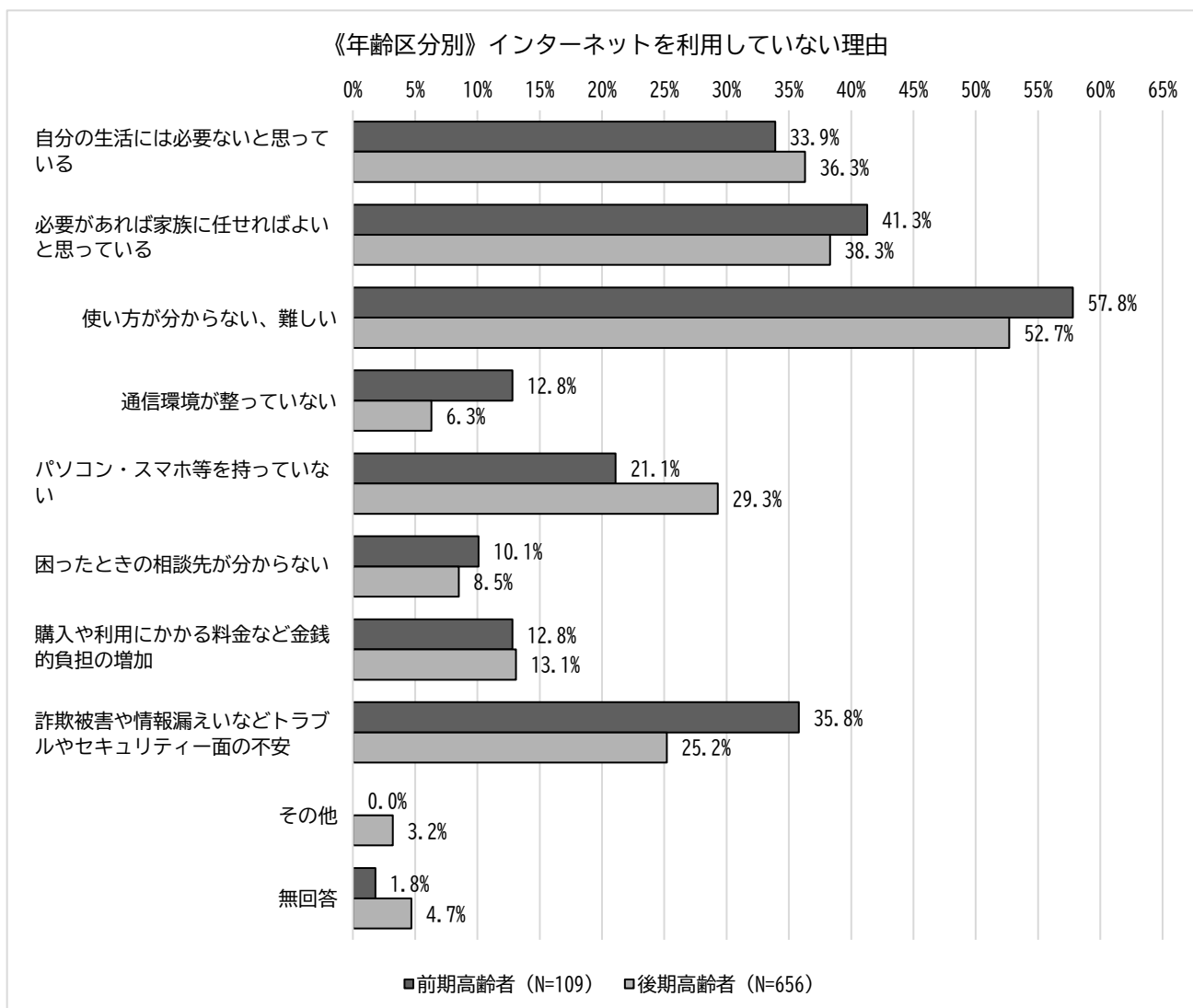
《年齢区分別》

「前期高齢者」は「使い方が分からない、難しい」が 57.8%と最も多く、次いで「必要があれば家族に任せればよいと思っている」が 41.3%、「詐欺被害や情報漏えいなどトラブルやセキュリティー面の不安」が 35.8%、「自分の生活には必要ないと思っている」が 33.9%となっています。

「後期高齢者」は「使い方が分からない、難しい」が 52.7%と最も多く、「必要があれば家族に任せればよいと思っている」が 38.3%、「自分の生活には必要ないと思っている」が 36.3%、「パソコン・スマホ等を持っていない」が 29.3%、「詐欺被害や情報漏えいなどトラブルやセキュリティー面の不安」が 25.2%となっています。

「詐欺被害や情報漏えいなどトラブルやセキュリティー面の不安」は「前期高齢者」が 35.8%に対し、「後期高齢者」は 25.2%と、「前期高齢者」が「後期高齢者」を 10.6 ポイント上回り、「通信環境が整っていない」は「前期高齢者」が 12.8%に対し、「後期高齢者」は 6.3%と、「前期高齢者」が「後期高齢者」を 6.5 ポイント上回り、「使い方が分からない、難しい」は「前期高齢者」が 57.8%に対し、「後期高齢者」は 52.7%と、「前期高齢者」が「後期高齢者」を 5.1 ポイント上回っています。

反対に「パソコン・スマホ等を持っていない」は「後期高齢者」が 29.3%に対し、「前期高齢者」は 21.1%と、「後期高齢者」が「前期高齢者」を 8.2 ポイント上回っています。



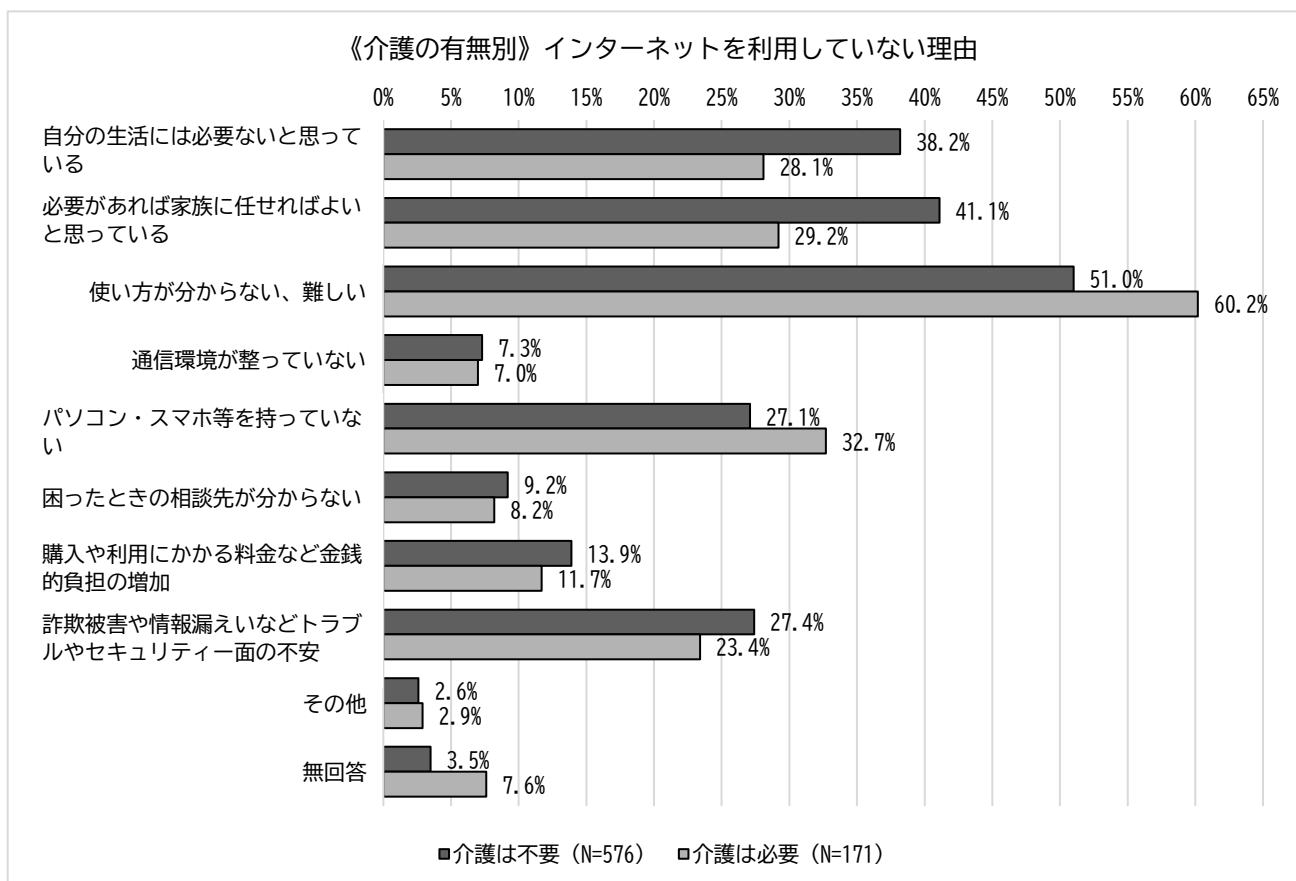
《介護の有無別》

「介護は不要」は「使い方が分からない、難しい」が 51.0%と最も多く、次いで「必要があれば家族に任せればよいと思っている」が 41.1%、「自分の生活には必要ないと思っている」が 38.2%、「詐欺被害や情報漏えいなどトラブルやセキュリティー面の不安」が 27.4%、「パソコン・スマホ等を持っていない」が 27.1%となっています。

「介護は必要」は「使い方が分からない、難しい」が 60.2%と最も多く、次いで「パソコン・スマホ等を持っていない」が 32.7%、「必要があれば家族に任せればよいと思っている」が 29.2%、「自分の生活には必要ないと思っている」が 28.1%、「詐欺被害や情報漏えいなどトラブルやセキュリティー面の不安」が 23.4%となっています。

「必要があれば家族に任せればよいと思っている」は「介護は不要」が 41.1%に対し、「介護は必要」は 29.2%と、「介護は不要」が「介護は必要」を 11.9 ポイント上回り、「自分の生活には必要ないと思っている」は「介護は不要」が 38.2%に対し、「介護は必要」は 28.1%と、「介護は不要」が「介護は必要」を 10.1 ポイント上回っています。

反対に「使い方が分からない、難しい」は「介護は必要」が 60.2%に対し、「介護は不要」は 51.0%と「介護は必要」が「介護は不要」を 9.2 ポイント上回り、「パソコン・スマホ等を持っていない」は「介護は必要」が 32.7%に対し、「介護は不要」は 27.1%と、「介護は必要」が「介護は不要」を 5.6 ポイント上回っています。



《日常生活圏域別》

回答の多かった「使い方が分からない、難しい」「必要があれば家族に任せればよいと思っている」「自分の生活には必要ないと思っている」「パソコン・スマホ等を持っていない」に着目して圏域ごとの比較を行います。

「使い方が分からない、難しい」は「高向小学校区」が 67.6%と最も多く、次いで「楠小学校区」が 61.7%、「南花台小学校区」が 60.3%、「美加の台小学校区」が 56.0%、「天野小学校区」が 55.6%となっています。

「必要があれば家族に任せればよいと思っている」は「川上小学校区」が 49.3%と最も多く、次いで「石仏小学校区」が 48.9%、「美加の台小学校区」が 48.0%、「天野小学校区」が 44.4%、「加賀田小学校区」が 40.8%となっています。

「自分の生活には必要ないと思っている」は「天見小学校区」が 58.3%と最も多く、次いで「加賀田小学校区」が 40.8%、「千代田小学校区」と「高向小学校区」が共に 40.5%、「三日市小学校区」が 37.5%となっています。

「パソコン・スマホ等を持っていない」は「高向小学校区」が 40.5%と最も多く、次いで「天見小学校区」と「天野小学校区」が共に 33.3%、「小山田小学校区」が 33.0%、「長野小学校区」が 31.2%となっています。

圏域	回答数	自分の生活には必要ない と思っている	必要があれば家族に任せ ればよいと思っている	使い方が分からない、難 しい	通信環境が整っていない	パソコン・スマホ等を持 っていない	困ったときの相談先が分 からない	購入や利用にかかる料金 など金銭的負担の増加	詐欺被害や情報漏えいな どトラブルやセキュリティ 面の不安	その他	無回答
長野	109	31.2%	38.5%	55.0%	7.3%	31.2%	10.1%	12.8%	22.9%	0.0%	5.5%
小山田	106	34.0%	36.8%	48.1%	7.5%	33.0%	4.7%	11.3%	20.8%	3.8%	3.8%
天野	9	33.3%	44.4%	55.6%	11.1%	33.3%	0.0%	11.1%	22.2%	0.0%	0.0%
高向	37	40.5%	27.0%	67.6%	8.1%	40.5%	8.1%	10.8%	32.4%	2.7%	8.1%
三日市	56	37.5%	37.5%	55.4%	10.7%	26.8%	3.6%	12.5%	32.1%	3.6%	3.6%
天見	12	58.3%	33.3%	50.0%	8.3%	33.3%	8.3%	16.7%	41.7%	0.0%	0.0%
川上	67	28.4%	49.3%	43.3%	3.0%	26.9%	13.4%	9.0%	32.8%	6.0%	1.5%
千代田	111	40.5%	33.3%	54.1%	3.6%	23.4%	5.4%	11.7%	31.5%	2.7%	5.4%
楠	81	37.0%	39.5%	61.7%	7.4%	27.2%	13.6%	16.0%	24.7%	1.2%	4.9%
加賀田	49	40.8%	40.8%	42.9%	10.2%	26.5%	6.1%	20.4%	28.6%	6.1%	4.1%
石仏	45	35.6%	48.9%	48.9%	8.9%	17.8%	6.7%	15.6%	26.7%	0.0%	4.4%
美加の台	25	36.0%	48.0%	56.0%	0.0%	24.0%	20.0%	16.0%	24.0%	4.0%	4.0%
南花台	58	34.5%	34.5%	60.3%	12.1%	27.6%	13.8%	12.1%	19.0%	3.4%	3.4%

III. リスクを有する高齢者について

1. 運動器機能リスクを有する高齢者

運動機能リスクの判定基準			
調査項目	選択肢	判定方法	
問 2-1	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	3.できない	3問以上が該当
問 2-2	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	3.できない	
問 2-3	15分位続けて歩いていますか	3.できない	
問 2-4	過去1年間に転んだ経験がありますか	1.何度もある 2.1度ある	
問 2-5	転倒に対する不安は大きいですか	1.とても不安である 2.やや不安である	

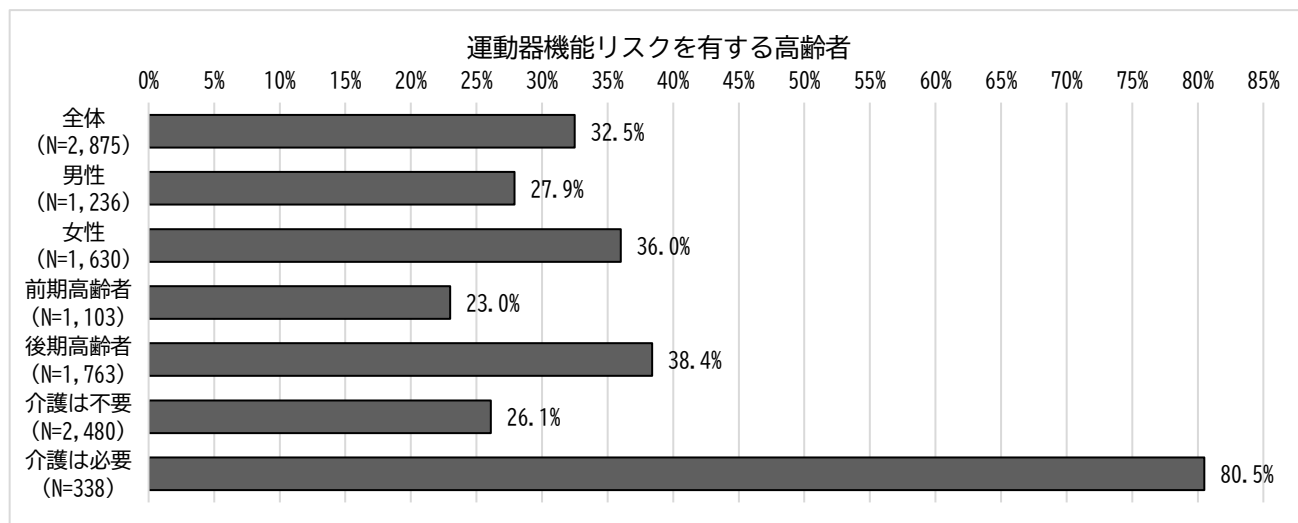
「運動器機能リスクを有する高齢者」は調査対象者全体の 32.5%となっています。

男女別では「女性」が 36.0%に対し、「男性」は 27.9%と、「女性」が「男性」を 8.1 ポイント上回っています。

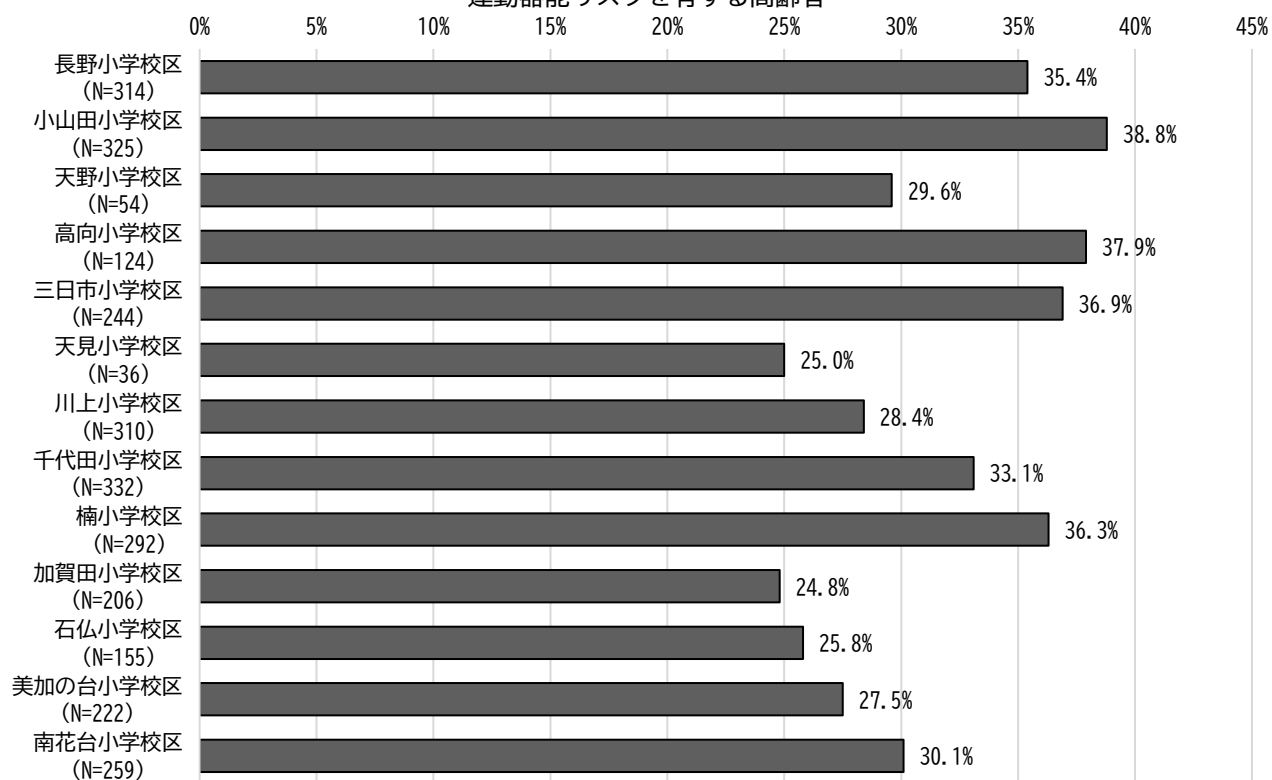
年齢区分別では「後期高齢者」が 38.4%に対し、「前期高齢者」は 23.0%と、「後期高齢者」が「前期高齢者」を 15.4 ポイント上回っています。

介護の有無別では「介護は必要」が 80.5%に対し、「介護は不要」は 26.1%と、「介護は必要」が「介護は不要」を 54.4 ポイント上回っています。

日常生活圏域別では「小山田小学校区」が 38.8%と最も多く、次いで「高向小学校区」が 37.9%、「三日市小学校区」が 36.9%、「楠小学校区」が 36.3%、「長野小学校区」が 35.4%となっています。



運動器能リスクを有する高齢者



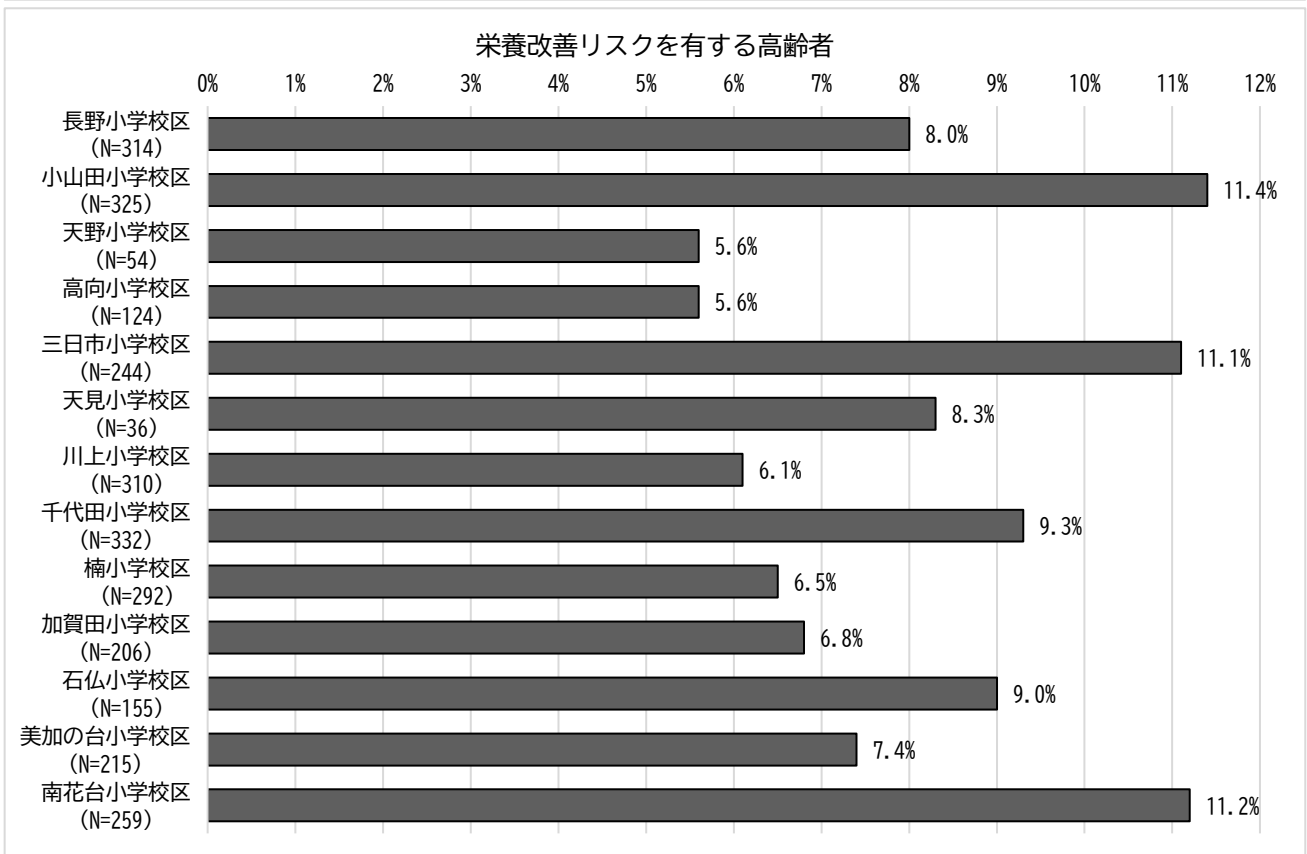
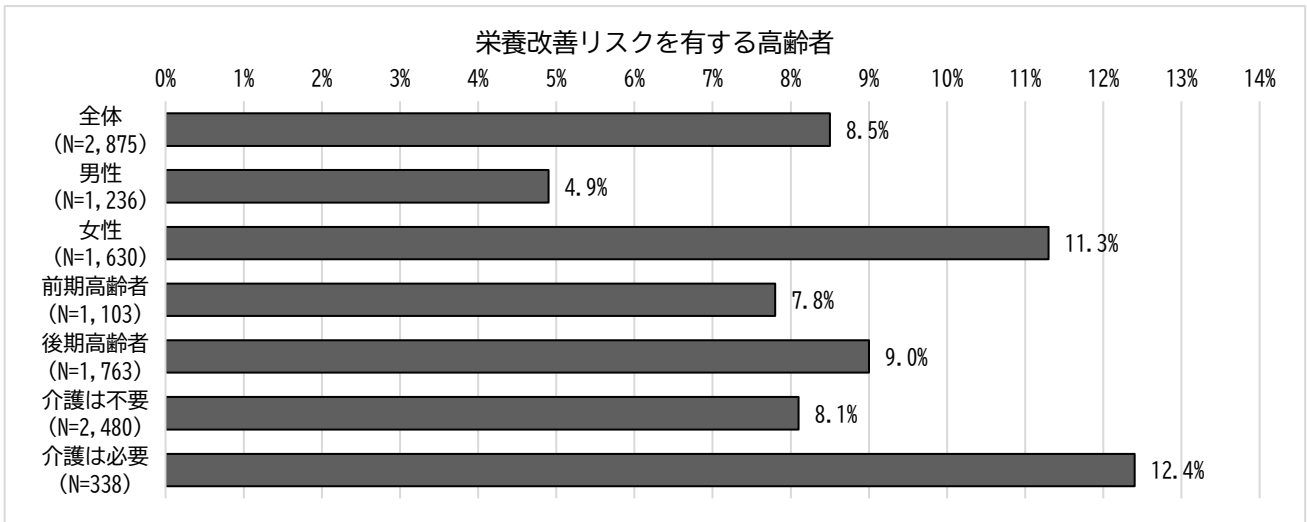
2. 栄養改善リスクを有する高齢者

判定基準	BMI が 18.5 未満の場合が栄養改善リスクに該当
------	-----------------------------

「栄養改善リスクを有する高齢者」は調査対象者全体の 8.5%となっています。

男女別では「女性」が 11.3%に対し、「男性」は 4.9%と、「女性」が「男性」を 6.4 ポイント上回り、年齢区分別では「後期高齢者」が 9.0%に対し、「前期高齢者」は 7.8%と、「後期高齢者」が「前期高齢者」を 1.2 ポイント上回り、介護の有無別では「介護は必要」が 12.4%に対し、「介護は不要」は 8.1%と、「介護は必要」が「介護は不要」を 4.3 ポイント上回っています。

日常生活圏域別では「小山田小学校区」が 11.4%と最も多く、次いで「南花台小学校区」が 11.2%、「三日市小学校区」が 11.1%、「千代田小学校区」が 9.3%、「石仏小学校区」が 9.0%となっています。



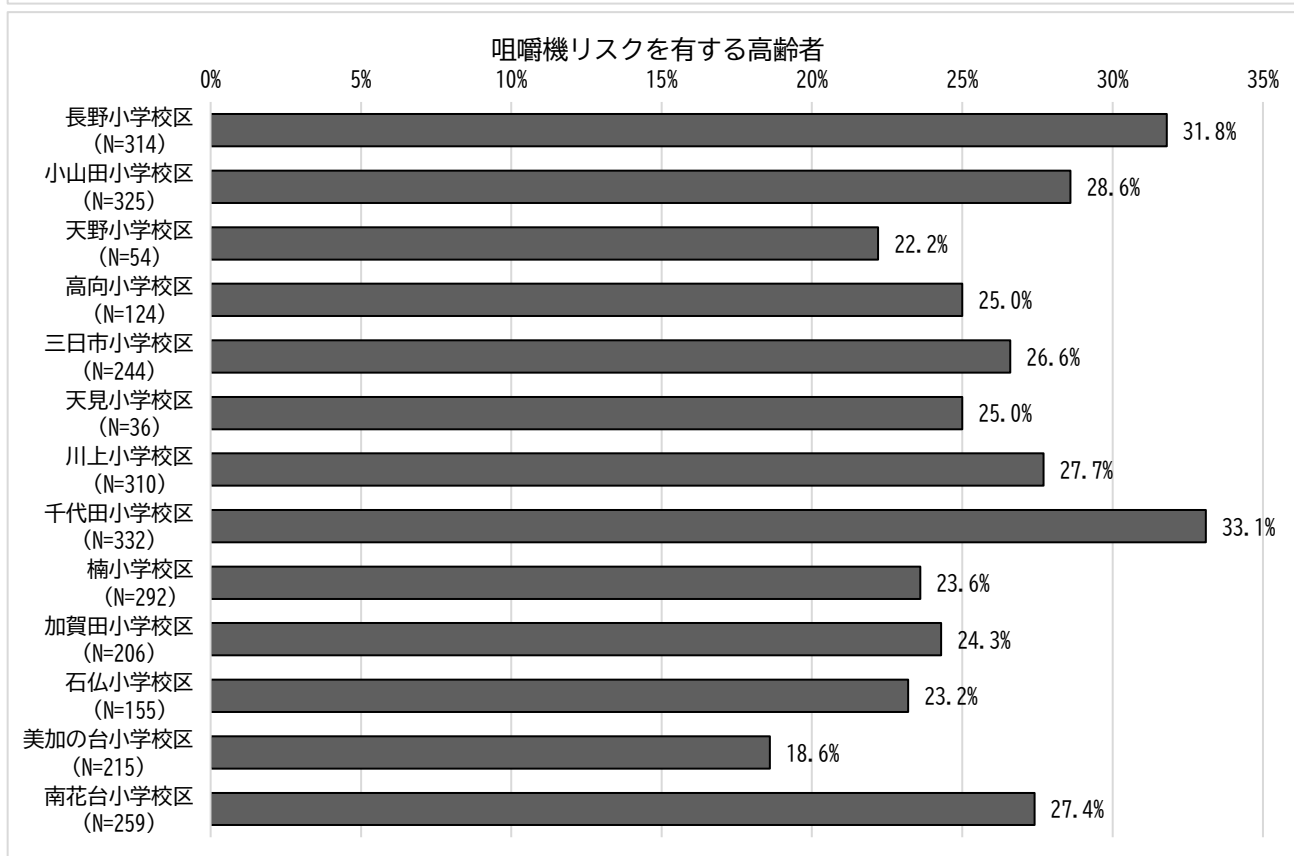
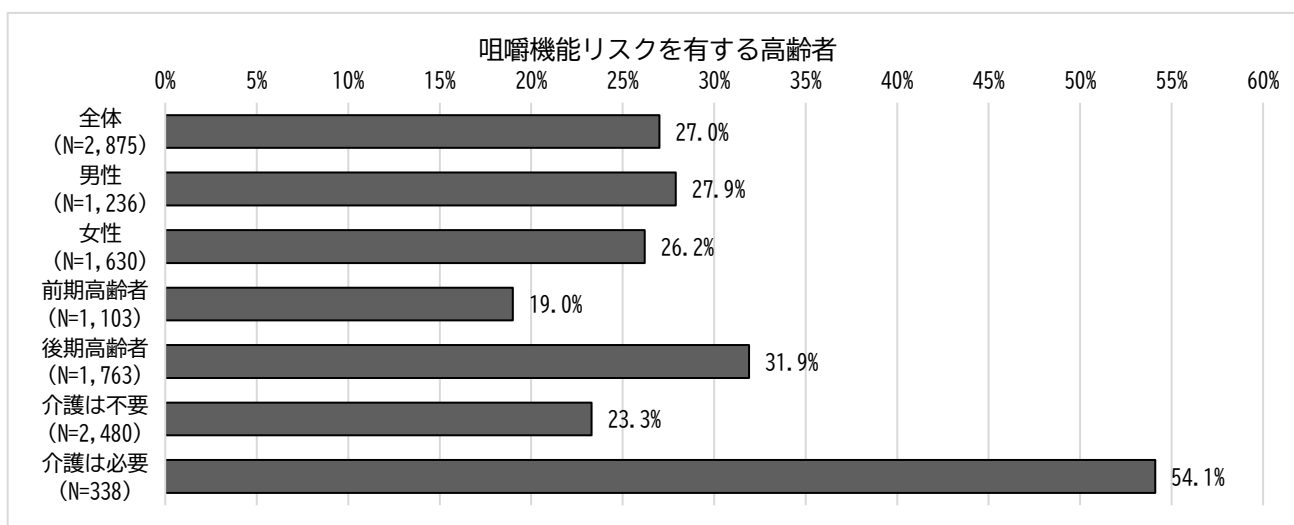
3. 咀嚼機能リスクを有する高齢者

判定基準	問 3-2「半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか」に「1. はい」と回答した場合に該当
------	--

「咀嚼機能リスクを有する高齢者」は調査対象者全体の 27.0%となっています。

年齢区分別では「後期高齢者」が 31.9%に対し、「前期高齢者」は 19.0%と、「後期高齢者」が「前期高齢者」を 12.9 ポイント上回り、介護の有無別では「介護は必要」が 54.1%に対し、「介護は不要」は 23.3%と、「介護は必要」が「介護は不要」を 30.8 ポイント上回っています。

日常生活圏域別では「千代田小学校区」が 33.1%と最も多く、次いで「長野小学校区」が 31.8%、「小山田小学校区」が 28.6%、「川上小学校区」が 27.7%、「南花台小学校区」が 27.4%となっています。



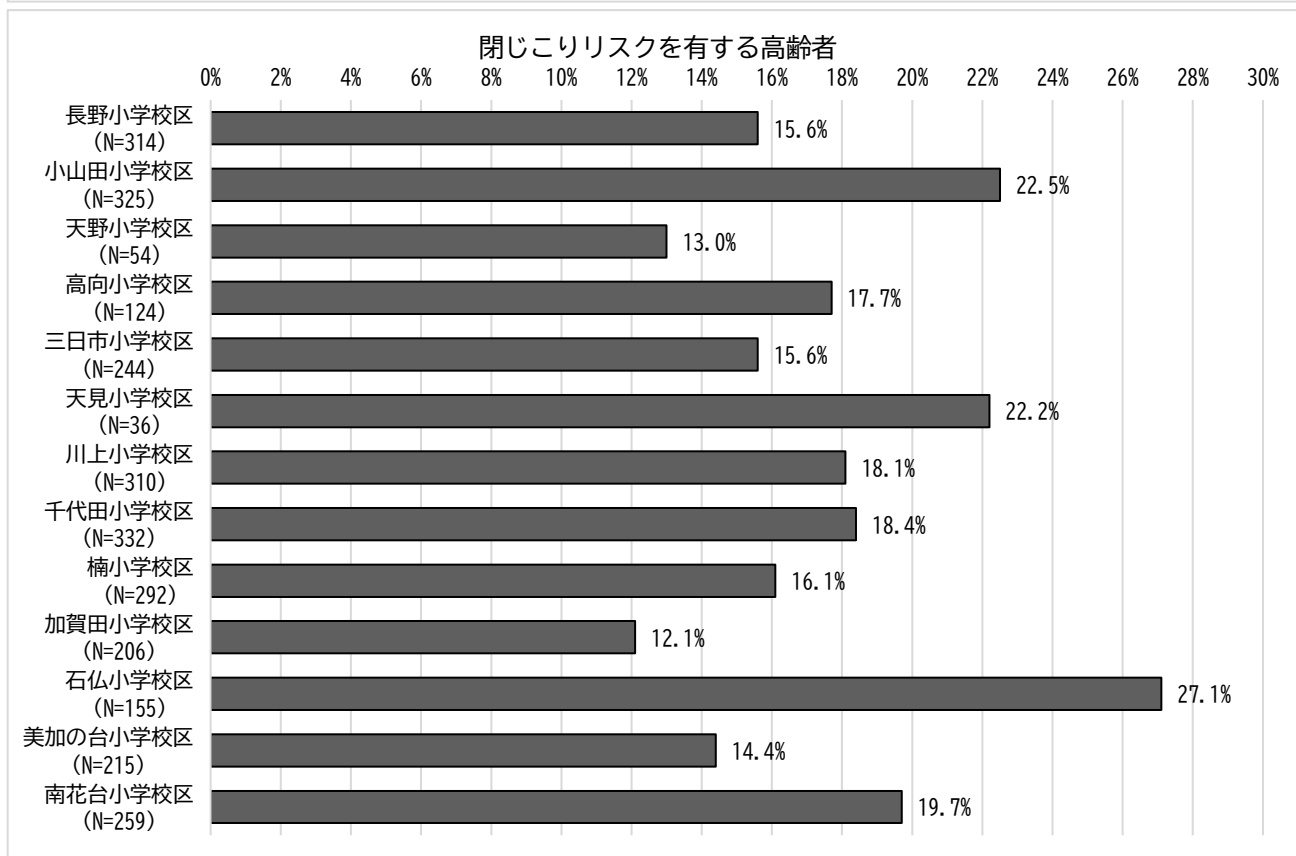
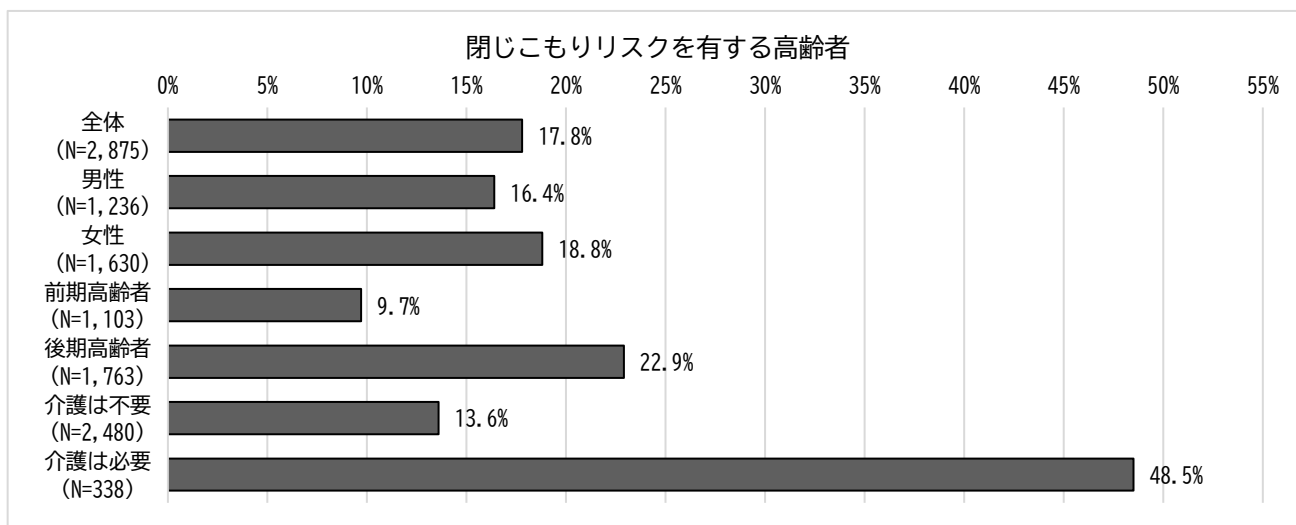
4. 閉じこもりリスクを有する高齢者

判定基準	問 2-6「週に1回以上は外出していますか」に「1. ほとんど外出しない」「2. 週1回」のどちらかと回答した場合に該当
------	--

「閉じこもりリスクを有する高齢者」は調査対象者全体の 17.8%となっています。

年齢区分別では「後期高齢者」が 22.9%に対し、「前期高齢者」は 9.7%と、「後期高齢者」が「前期高齢者」を 13.2 ポイント上回り、介護の有無別では「介護は必要」が 48.5%に対し、「介護は不要」は 13.6%と、「介護は必要」が「介護は不要」を 34.9 ポイント上回っています。

日常生活圏域別では「石仏小学校区」が 27.1%と最も多く、次いで「小山田小学校区」が 22.5%、「天見小学校区」が 22.2%、「南花台小学校区」が 19.7%、「千代田小学校区」が 18.4%となっています。



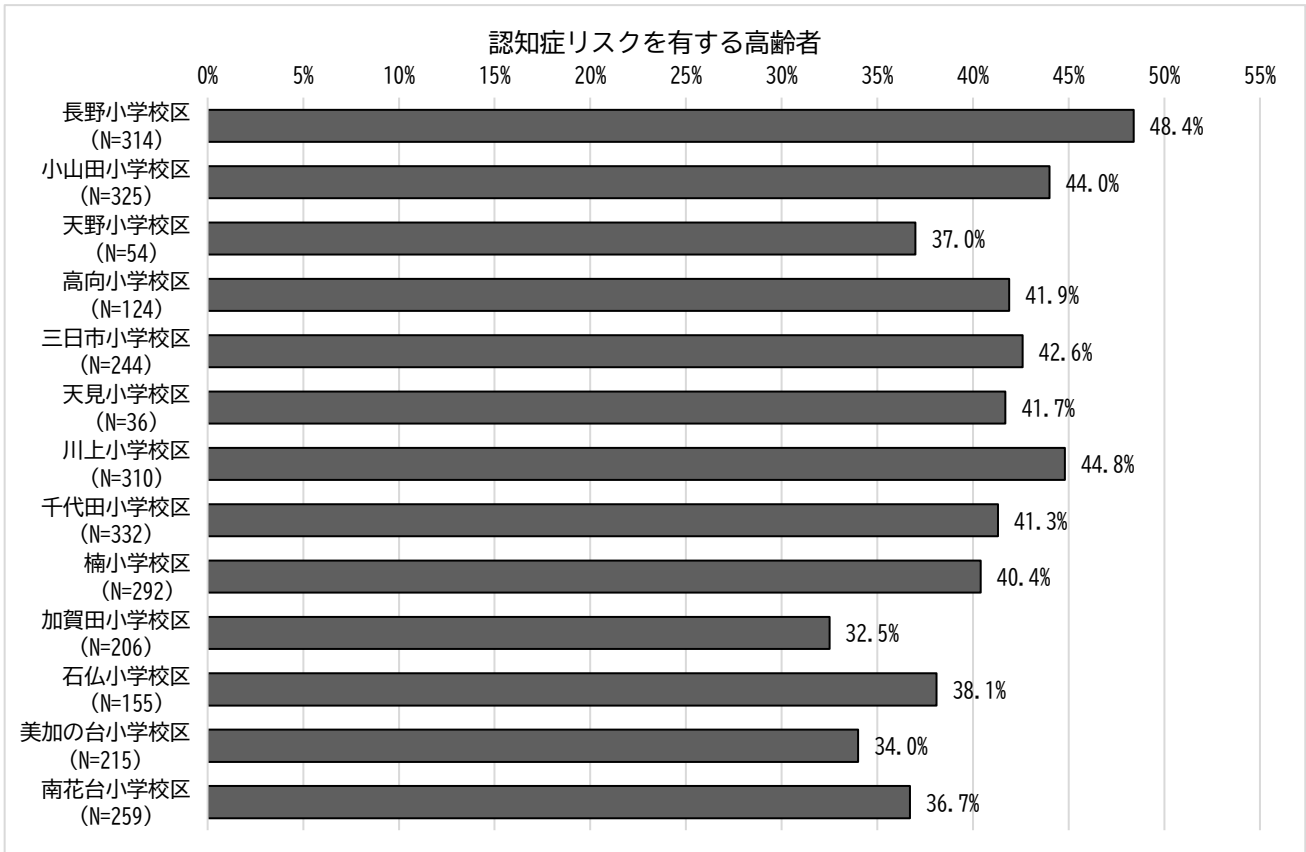
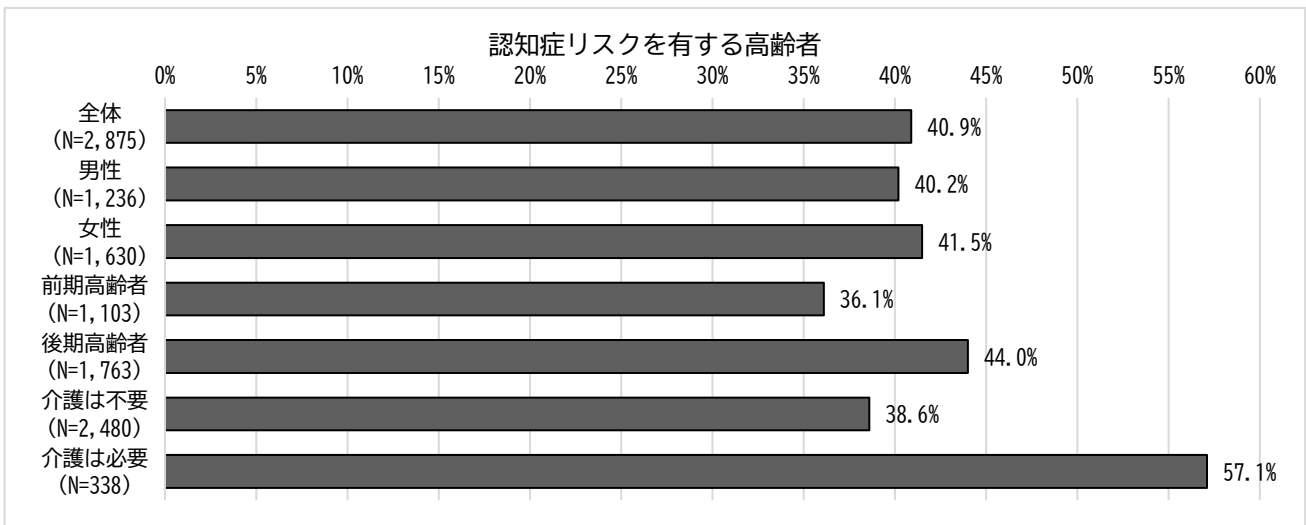
5. 認知症リスクを有する高齢者

判定基準	問 4-1「物忘れが多いと感じますか」に「1. はい」と回答した場合が該当
------	---------------------------------------

「認知症リスクを有する高齢者」は調査対象者全体の 40.9%となっています。

年齢区分別では「後期高齢者」が44.0%に対し、「前期高齢者」は36.1%と、「後期高齢者」が「前期高齢者」を 7.9 ポイント上回り、介護の有無別では「介護は必要」が 57.1%に対し、「介護は不要」は 38.6%と、「介護は必要」が「介護は不要」を 18.5 ポイント上回っています。

日常生活圏域別では「長野小学校区」が 48.4%と最も多く、次いで「川上小学校区」が 44.8%、「小山田小学校区」が 44.0%、「三日市小学校区」が 42.6%、「高向小学校区」が 41.9%となっています。



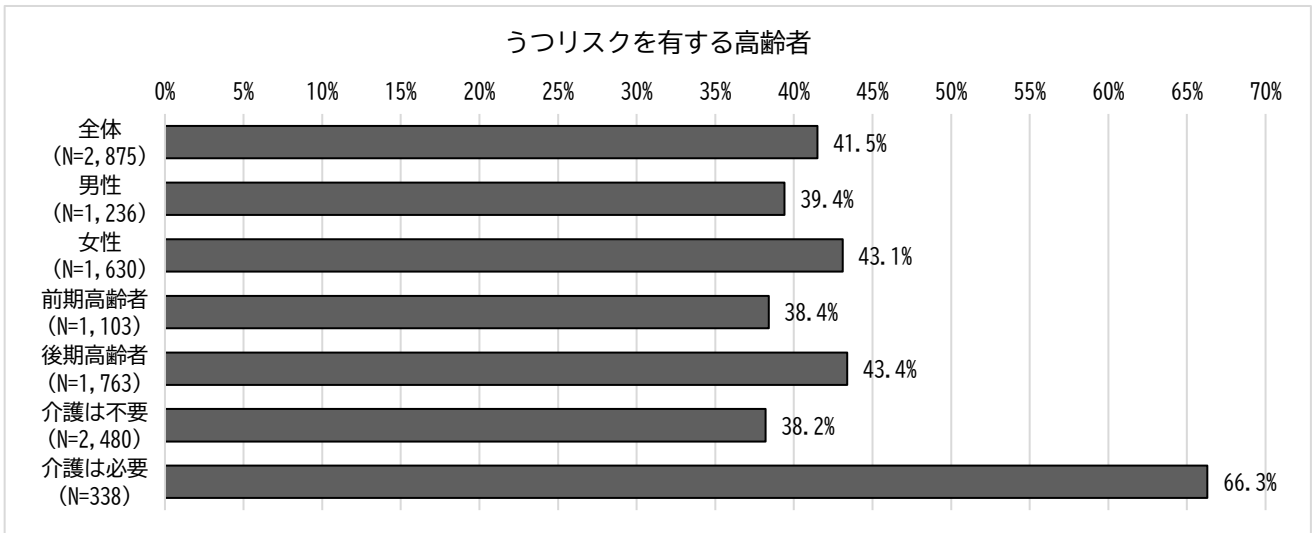
6. うつリスクを有する高齢者

判定基準			
	調査項目	選択肢	判定方法
問 8-3	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	1. はい	いずれか1つでも選択した場合は該当
問 8-4	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	1. はい	

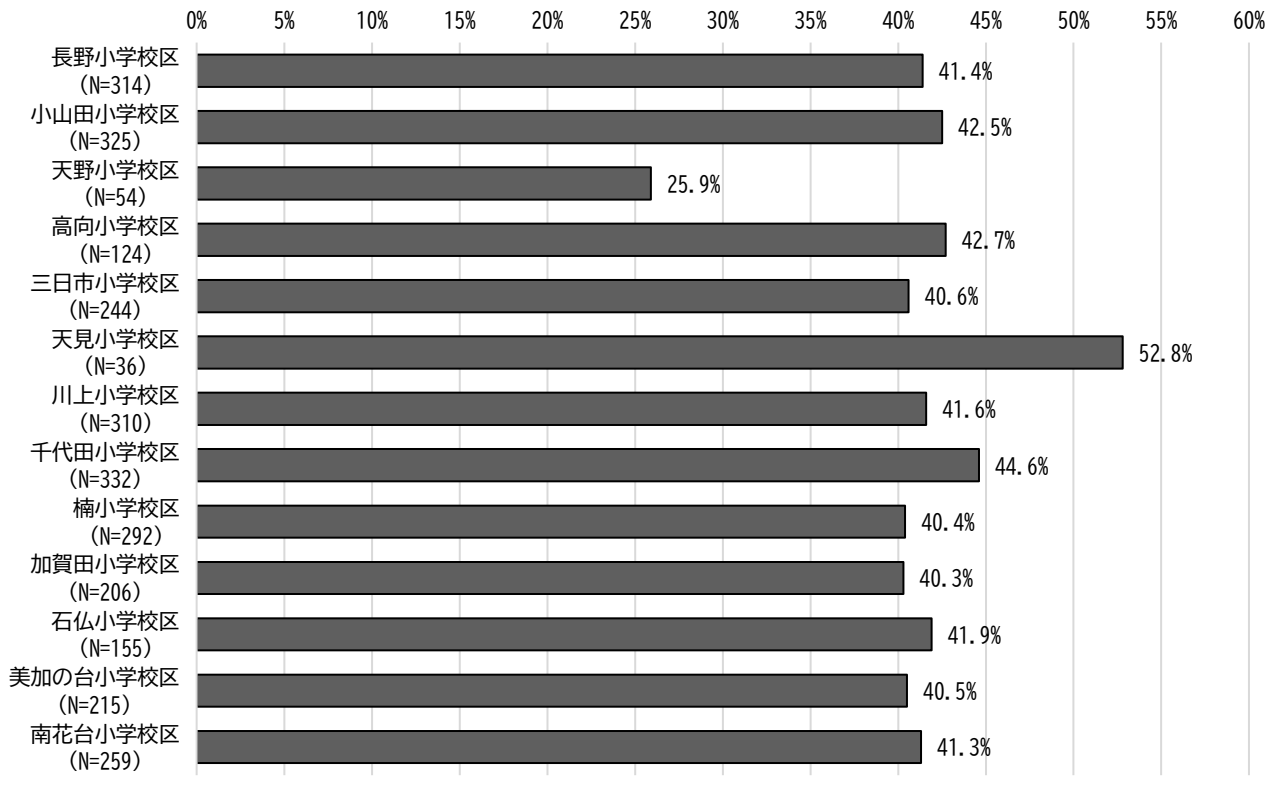
「うつリスクを有する高齢者」は対象者全体の41.5%となっています。

男女別では「女性」が43.1%に対し、「男性」は39.4%と、「女性」が「男性」を3.7ポイント上回り、年齢区分別では「後期高齢者」が43.4%に対し、「前期高齢者」は38.4%と、「後期高齢者」が「前期高齢者」を5.0ポイント上回り、介護の有無別では「介護は必要」が66.3%に対し、「介護は不要」は38.2%と、「介護は必要」が「介護は不要」を28.1ポイント上回っています。

日常生活圏域別では「天見小学校区」が52.8%と最も多く、次いで「千代田小学校区」が44.6%、「高向小学校区」が42.7%、「小山田小学校区」が42.5%、「石仏小学校区」が41.9%となっています。



うつリクを有する高齢者



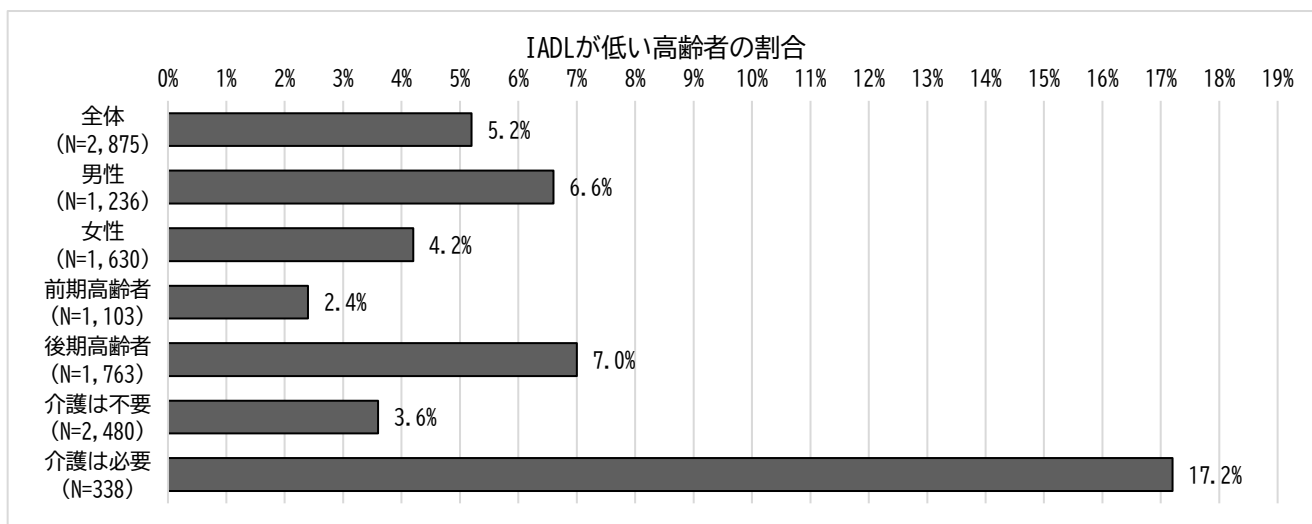
7. IADL が低い高齢者

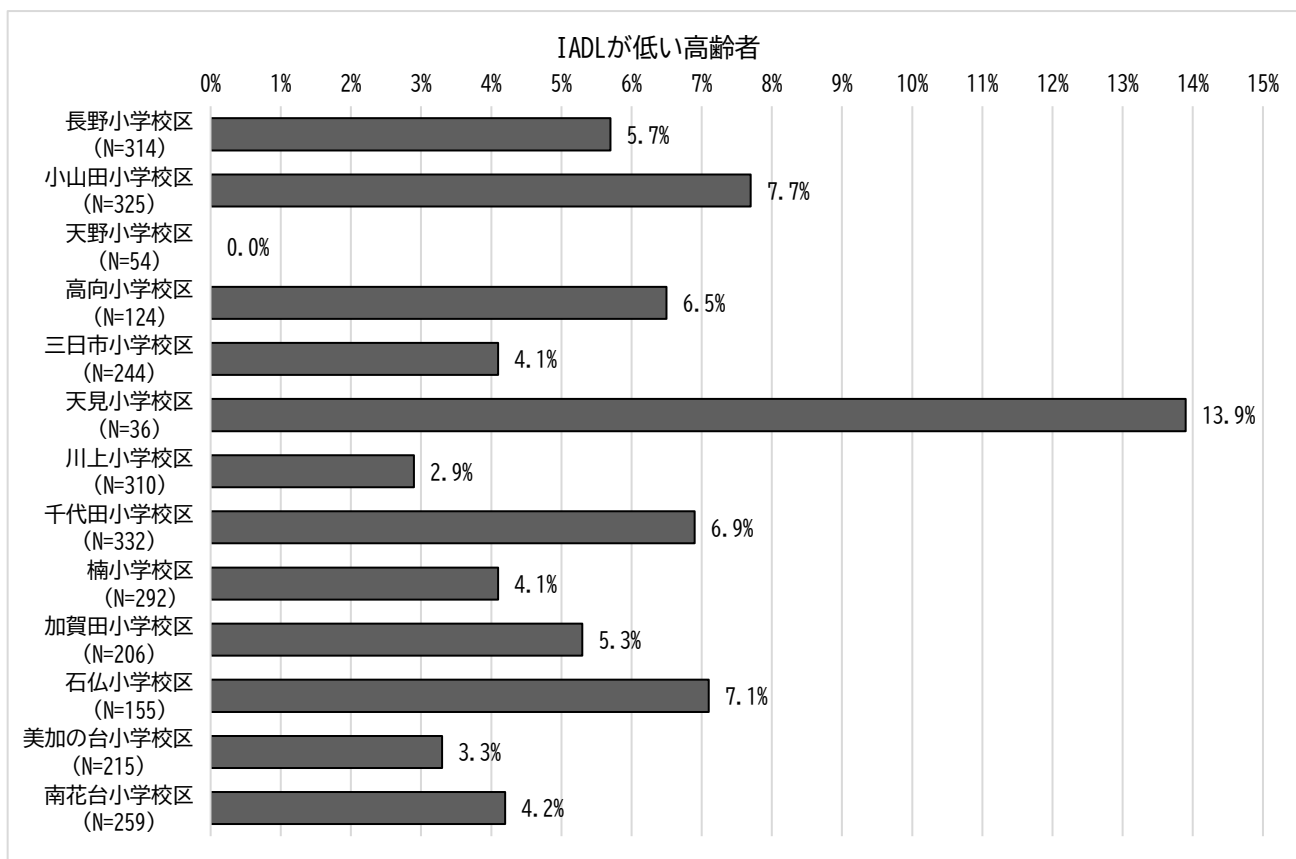
判定基準			
	調査項目	選択肢	判定方法
問 4-4	バスや電車を使って1人で外出していますか(自家用車でも可)	1.できるし、している 2.できるけどしていない	選択肢を選択した場合を1点とし、計3点以下で該当
問 4-5	自分で食品・日用品の買物をしていますか		
問 4-6	自分で食事の用意をしていますか		
問 4-7	自分で請求書の支払いをしていますか		
問 4-8	自分で預貯金の出し入れをしていますか		

「IADL が低い高齢者」は調査対象者全体の 5.2%となっています。

男女別では「男性」が 6.6%に対し、「女性」は 4.2%と、「男性」が「女性」を 2.4 ポイント上回り、年齢区別では「後期高齢者」が 7.0%に対し、「前期高齢者」は 2.4%と、「後期高齢者」が「前期高齢者」を 4.6 ポイント上回り、介護の有無別では「介護は必要」が 17.2%に対し、「介護は不要」は 3.6%と、「介護は必要」が「介護は不要」を 13.6 ポイント上回っています。

日常生活圏域別では「天見小学校区」が 13.9%と最も多く、次いで「小山田小学校区」が 7.7%、「石仏小学校区」が 7.1%、「千代田小学校区」が 6.9%、「高向小学校区」が 6.5%となっています。





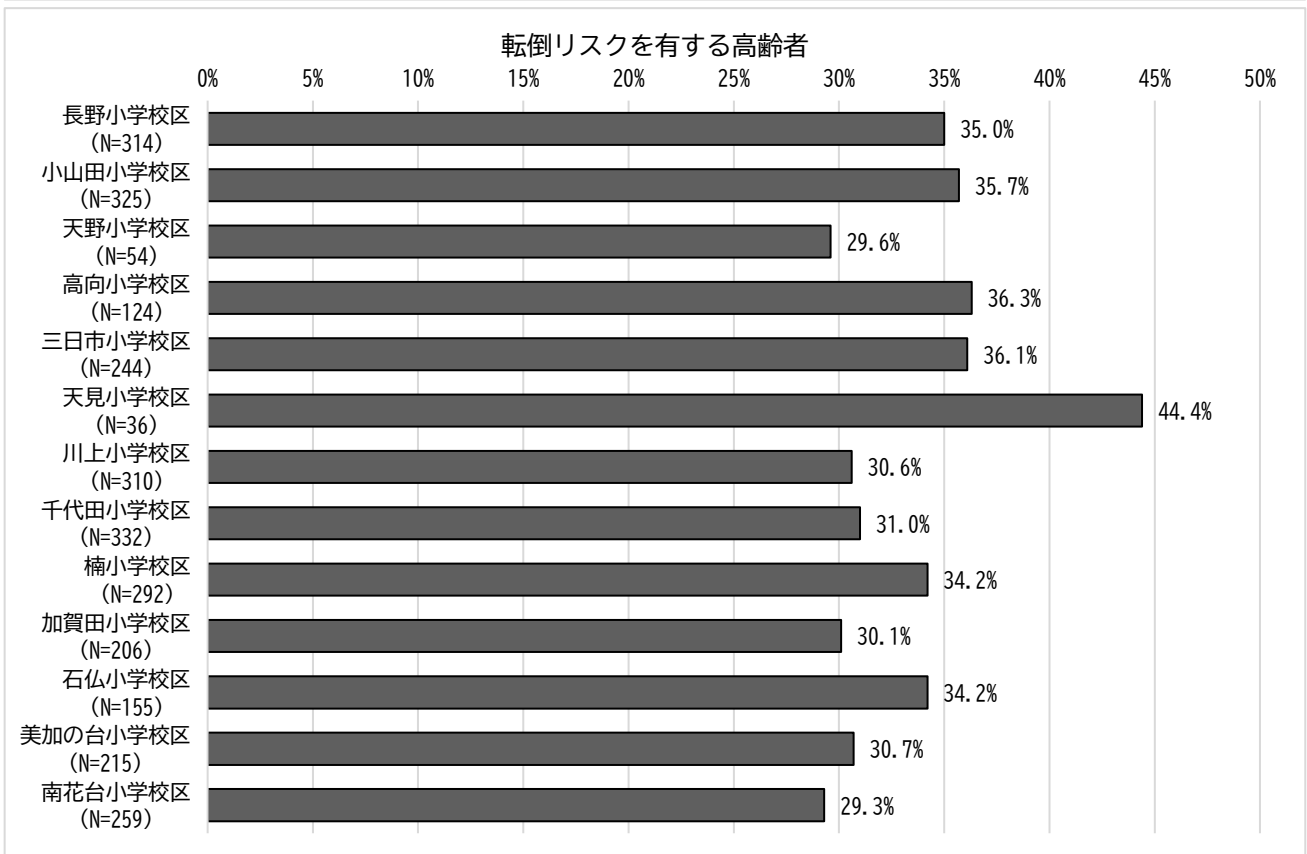
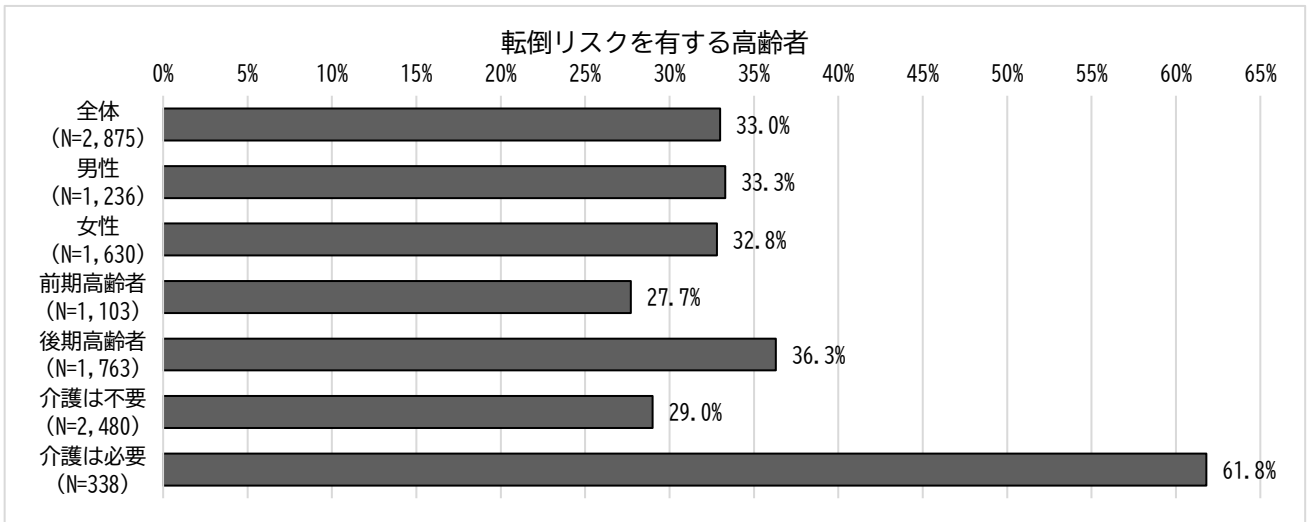
8. 転倒リスクを有する高齢者

判定基準	問 2-4 「過去 1 年間に転んだ経験がありますか」に「1. 何度もある」「2. 1 度ある」のどちらかに回答した場合に該当
------	---

「転倒リスクを有する高齢者」は調査対象者全体の 33.0%となっています。

年齢区分別では「後期高齢者」が 36.3%に対し、「前期高齢者」は 27.7%と、「後期高齢者」が「前期高齢者」を 8.6 ポイント上回り、介護の有無別では「介護は必要」が 61.8%に対し、「介護は不要」は 29.0%と、「介護は必要」が「介護は不要」を 32.8 ポイント上回っています。

日常生活圏域別では「天見小学校区」が 44.4%と最も多く、次いで「高向小学校区」が 36.3%、「三日市小学校区」が 36.1%、「小山田小学校区」が 35.7%、「長野小学校区」が 35.0%となっています。



IV. 日常生活圏域ごとの特徴と課題

1. 長野小学校区

① 属性と世帯構成

- 市内全体の回答者のうち 10.9%を占めています。
- 「女性」が 60.8%に対し、「男性」は 39.2%で、「女性」が「男性」を 21.6 ポイント上回っています。
- 「75～79 歳」の年齢層が最も多い圏域の一つです。

② 生活機能・健康状態

- 階段を手すりや壁をつたわずに昇ることが「できない」と回答した人の割合が 22.9%で、市内で最も高くなっています。
- 毎日歯磨きを「していない」が 10.5%で、市内で最も多くなっています。

③ 認知症リスク

- 「物忘れが多い」は 48.4%と市内で最も多く、「認知症リスクを有する高齢者」が 48.4%と、市内で最も多くなっています。

④ 日常生活動作(IADL)の状況

- 生活動作について、「自分で電話番号を調べて電話をかけることができない」は 19.1%、「自分で請求書の支払いができない」は 4.5%と、市内で最も多くなっています。
- 本や雑誌を読んでいないと回答した人が 38.2%と、市内で 2 番目に多くなっています。

⑤ 趣味や生きがい

- 趣味が「思いつかない」人の割合が 26.8%と、市内で最も多く、生きがいが「思いつかない」人も 40.1%と市内 2 番目に多くなっています。

⑥ 地域包括支援センターの認知

- 地域包括支援センターの役割を「知っている」と回答した人は 19.1%と、市内 2 番目に多くなっています。

⑦ デジタルデバインド

- 「インターネットを利用していない」は 30.3%と、市内で最も多くなっています。

2. 小山田小学校区

① 人口構成と世帯の特徴

- 「85 歳以上」が 45.2%を占めており、市内で最も後期高齢化が進んでいる圏域です。
- 「女性」が 73.8%に対し、「男性」は 26.2%と、「女性」が「男性」を 47.6 ポイント上回っています。
- 1 人暮らしの割合は 22.5%で、市内では「石仏小学校区」、「千代田小学校区」に次いで多い状況です。

② リスクを有する高齢者

- 「運動器機能リスクを有する高齢者」が 38.8%に達し、市内で最も高い割合となっています。
- BMI が 18.5 未満の「低体重」は 11.4%と、市内で最も多く痩せすぎによる健康悪化が懸念されます。
- 閉じこもりリスクは 22.5%と市内で 2 番目に多く、社会参加の促進が課題です。
- 「IADL が低い高齢者」の割合は 7.7%で、「天見小学校区」に次いで市内 2 番目に多くなっています。

③ 身体機能の低下と外出自粛

- 「階段を自力で昇れない」は 22.5%と、市内で 3 番目に多く、椅子から自力で立ち上がれない人が 16.0%と、市内で 2 番目に多く、身体機能の低下が目立ちます。
- 「外出を控えている」割合が 24.0%で市内最多です。その理由として「交通手段がない」と回答した割合は 34.6%と、市内で 2 番目に高くなっています。
- 介護が必要になった主な原因は「骨折・転倒」が 33.3%と、市内で最も多くなっており、外出自粛の一因になっていると考えられます。

3. 天野小学校区

① 社会参加と生活自立

- 会やグループ等への参加状況は「趣味関係のグループ」が 44.4%、「収入のある仕事」が 33.3%と、市内で最も多くなっています。
- 「自分で食事の用意をしている」は 81.5%、「請求書の支払いをしている」は 90.7%、「書類を書いている」は 96.3%と、市内で最も多く日常生活動作の自立度が市内で最高水準にあります。

② 人との関わりと孤独感

- 「家族や友人の相談にのっている」は 85.2%、「病人を見舞うことができる」は 92.6%と、市内で最も多くなっています。
- 「孤独を感じる事がほとんどない・決してない」も 74.1%と、市内で最も多くなっています。

③ 健康・生活リスク

- 「肥満(BMI25 以上)」が 25.9%と、市内で最も多く介護が必要になった原因は「糖尿病」が 40.0%と、市内で最も多くなっています。
- 「ほぼ毎日飲む」と「時々飲む」を合わせた「飲む」は 46.3%と、市内で最も多くなっています。
- 「椅子から何もつかまらずに立ち上がることができない」は 16.7%と、市内で最も多く「15 分続けて歩けない」は 13.0%と、市内で 2 番目に多くなっています。

④ 相談支援

- 介護保険の要介護区分で「要支援 1」が 22.2%と、市内で最も多く介護予防支援を必要とする高齢者が多くなっています。
- 家族や友人以外で「相談する相手はいない」と答えた人が 55.6%と最も多く、インフォーマルな繋がりは強いものの、専門機関との繋がりが弱い傾向があります。
- インターネットを一人で利用している高齢者は 72.2%と、市内で 2 番目に多くなっており、ICTを活用した支援のあり方を検討していく必要があります。

4. 高向小学校区

① 健康意識と幸福感

- 自身の健康状態を「よい」と感じている人は 87.1%と、市内で 2 番目に多くなっています。
- 「生きがいはある」は 71.8%と、市内で最も多く、幸福度の平均値も 7.60 点と市内で 2 番目に多くなっています。
- 要介護・要支援認定を受けていない「一般高齢者」は回答者全員と、きわめて多くなっています。

② 地域ネットワークと社会参加

- 「友人の家を訪ねている」が 54.8%と、市内で最も多く、友人・知人と会う頻度が週に何度かある」も 35.5%と、市内で最も多くなっており、活発に交流していることがうかがえます。
- 町内会・自治会への参加率は 50.0%と高く、孤独を感じる事が「ない」も 72.6%と、市内で 2 番目に多くなっています。
- 「地域包括支援センター・役場」を家族や友人・知人以外の相談相手として回答している人は 23.4%で、市内で最も多くなっています。

③ 身体機能と生活習慣病

- 主観的な健康感である「幸福度」の平均は 7.60 点と、市内で 2 番目に多い一方、運動器機能リスクは 37.9%と、市内で 2 番目に多く、転倒リスクも 36.3%と、市内で 2 番目に多く、身体機能の維持が重要な課題です。
- BMIが 25 以上の肥満が 24.2%と、市内で 2 番目に多く、治療中の病気では高血圧(47.6%)、高脂血症(23.4%)、糖尿病(17.7%)などの生活習慣病を抱えている人が多い傾向にあります。

④ 住環境とデジタルデバイス

- 持家(一戸建て)率が 95.2%と高く、介護が必要になっても「自宅(在宅サービス利用)」で暮らしたいと考える割合は 50.8%で市内最多となっています。
- インターネットの利用状況は 26.6%が利用しておらず、「利用していない理由は「自分の生活には必要ないと思っている」が 40.5%、「パソコン・スマホ等を持っていない」が 40.5%と、いずれも市内で最も多く、他の圏域に比べてデジタルデバイスが大きくなっています。

5. 三日市小学校区

① 生活自立度と社会参加

- 「自分で食事の用意をしている」は 77.9%と、市内 2 番目に多く、自分で預貯金の出し入れ(ATM 操作等)を「している」も 85.7%と多くなっています。
- 「若い人に自分から話しかけている」は 76.2%と、市内で 3 番目に多くなっています。
- 健康づくりなどのグループ活動への参加意欲(参加したい)は 66.8%と、市内で 2 番目に多くなっています。

② リスクを有する高齢者

- 「過去 1 年間に転んだ経験がある」は 27.5%と、市内で 2 番目に多く、「転倒リスクを有する高齢者」も 36.1%と、市内で 3 番目に多くなっています。
- 「運動器機能リスクを有する高齢者」の割合は 36.9%と、市内 3 番目に多くなっています。
- 普通体重(BMI18.5~25.0)は 62.3%と、市内で最も低く、「栄養改善リスクを有する高齢者」も 11.1%と、市内で 3 番目に多くなっています。

③ 将来のケアに対する意識

- 人生の最終段階における医療やケアについて「考えたことがある」が 61.9%と、市内で最も多くなっています。
- 認知症になっても「医療・介護サポートを利用しながら地域で暮らしていける」と考えている高齢者は 29.5%と、市内で 5 番目に多くなっています。

6. 天見小学校区

① 社会参加と交流

- 会やグループ等への参加状況は「町内会・自治会」が 55.6%、「ボランティアグループ」が 30.6%と、共に市内で最も多くなっています。
- 「若い人に自分から話しかけている」も 83.3%で、市内で 2 番目に多くなっています。
- 「地域活動の企画・運営(お世話役)に参加してもよい」と考える高齢者は 44.5%と、市内で 2 番目に多くなっています。

② リスクを有する高齢者

- 「転倒リスクを有する高齢者」は 44.4%と、市内で最も多くなっています。
- 「うつリスクを有する高齢者」は 52.8%と、市内で最も多くなっています。
- 「IADL が低い高齢者」は 13.9%と、市内で最も多くなっています。
- リスクを有する高齢者が多いことから、主観的幸福感に乏しく、幸福度の平均は市内最低の 7.00 点となっています。

③ 相談窓口の認知

- 地域包括支援センターの役割を「知っている」は 20.8%と、市内で最も多くなっています。
- 認知症の相談窓口を「知っている」は 33.3%と、市内で最も多くなっています。

④ 将来の意向

- 介護が必要になった場合、「自宅以外で暮らしたい」は 36.2%と、市内で最も多く、その理由も「家族に負担がかかる」が 92.3%と、市内で最も多くなっています。
- 人生の最後を迎えたい場所として自宅以外の施設や病院を希望する高齢者は 30.6%と、市内で 2 番目に多くなっています。

7. 川上小学校区

① 住環境と生活習慣

- 持家(一戸建て)率は 97.1%と非常に高く、市内で 2 番目の高水準です。
- 世帯構成は「夫婦 2 人暮らし(配偶者 65 歳以上)」が 51.6%と、市内で 2 番目に多くなっています。
- 「本や雑誌を読んでいる」は 73.5%と、市内で 2 番目に多くなっています。

② 健康的な体格と活発な身体活動

- BMI が「普通体重(18.5~25.0)」の範囲にある高齢者が 73.2%と、市内で最も多くなっています。
- 会やグループへの参加状況では「スポーツ関係」が 31.6%と、市内で最も多くなっています。
- 一方で、治療中の病気は「高血圧」が 48.4%、「目の病気」も 26.8%と、共に市内で最も多くなっています。

③ 認知症リスク

- 「認知症リスクを有する高齢者」は 44.8%と、市内で 2 番目に多くなっています。
- 認知症になった場合の不安は、「買い物や料理、車の運転などの日常生活ができなくなること」が 65.8%と、市内で最も多くなっています。

8. 千代田小学校区

① 介護・生活支援ニーズ

- 「介護は必要」が 14.7%と、市内で最も多くなっています。
- 介護が必要になった原因は「高齢による衰弱」が 38.8%と、市内で 2 番目に多くなっています。
- 世帯構成は「1 人暮らし」が 23.5%と、市内で 2 番目に多くなっています。

② リスクを有する高齢者

- 「転倒リスクを有する高齢者」は 31.0%と、市内で 8 番目ですが、「転倒に対する不安」は 64.5%と、市内で最も多くなっています。
- 「半年前に比べて固いものが食べにくくなった」が 33.1%、「お茶や汁物等でむせることがある」が 32.2%、「口の渇きが気になる」が 36.4%と、いずれも市内で最も多くなっており、「咀嚼機能リスクを有する高齢者」は 33.1%と、市内で 2 番目に多くなっています。
- 「うつリスクを有する高齢者」は 44.6%と、市内で 2 番目に多くなっています。

③ 経済状況とデジタルデバイド

- 経済的な暮らしの状況が「苦しい(大変・やや)」は 30.1%と最も多くなっています。
- インターネットを「利用していない」は 30.1%と、市内で 2 番目に多くなっています。

9. 楠小学校区

① 住環境と年齢

- 住宅形態は「持家(集合住宅)」が 21.2%と、市内で最も多くなっています。
- 年齢構成は「75～79 歳」が 29.5%と、市内で 2 番目に多くなっています。

② 健康意識と身体機能

- 健康に関する記事や番組に「関心がある」は 92.5%と市内で 2 番目に多くなっていますが、自身の健康状態を「よくない」と感じている高齢者は 22.0%と、市内で 2 番目に多くなっています。
- 「運動器機能リスクを有する高齢者」は 36.3%と、市内で 4 番目に多く、「階段を手すりや壁をつたわずに昇ることができない」は 22.9%で、「長野小学校区」と並び最も多くなっています。
- BMIの平均は 23.09 で、市内でも平均的な値を示していますが、半年間で 2～3kg 以上の体重減少があった高齢者が 16.4%、市内で 2 番目に多くなっており、低栄養リスクの増大が懸念されます。

③ 趣味と生きがい

- 趣味が「思いつかない」は 22.6%と、市内で 4 番目に多くなっています。
- 生きがいが「思いつかない」は 42.8%と、市内で最も多くなっています。

④ 孤立と相談窓口の認知

- 友人と会う頻度が「ほとんどない」は 18.2%と、市内で 3 番目に多く、地域との繋がりの希薄化が懸念されます。
- 「地域包括支援センターの存在を知らない」が 16.6%、「認知症の相談窓口を知らない」が 76.0%と、いずれも市内で最も多くなっています。

10. 加賀田小学校区

① 幸福度と健康感

- 主観的幸福感を示す幸福度平均は 7.63 点と、市内で最も高くなっています。
- 自分の健康状態が「よい(とても・まあ)」と感じている高齢者は 87.4%と、市内で最も多くなっています。
- 「運動器機能リスクを有する高齢者」は 24.8%と、市内で最も少なくなっています。
- 「認知症リスクを有する高齢者」は 32.5%と、市内で最も少なくなっています。

② 生きがいと社会参加

- 「生きがいがある」は 66.5%と高く、市内で 3 番目に多くなっています。
- 地域活動に参加者として「参加したい」は 65.6%と、市内で 3 番目に多くなっています。

③ 将来への意向と家族への負担

- 人生の最後を迎えたい場所は「自宅」が 62.1%と、市内で最も多くなっています。
- その反面、自分が認知症になった場合の不安は「家族に身体的・精神的負担をかけるのではないか」が 73.8%と、市内で最も多くなっています。

11. 石仏小学校区

① 世帯構成と居住環境

- 「1 人暮らし」が 23.9%と、市内で最も多くなっています。
- 「80～84 歳」が 27.7%を占め、市内で最も多くなっています。
- 「持家(一戸建て)」が 96.8%に達し、市内で 3 番目に多くなっています。

② 経済的な暮らしの状況と健康への関心

- 経済的な暮らしの状況は「ふつう」が 66.5%と、市内で最も多くなっています。
- 健康についての記事や番組に「関心がある」は 92.9%と、市内で最も多くなっています。

③ 閉じこもりリスク

- 「閉じこもりリスクを有する高齢者」が 27.1%と、市内で最も多くなっています。
- 友人・知人と会うことが「ほとんどない」は 18.7%と、市内で最も多くなっています。
- 外出を控える理由は「交通手段がない」が 37.5%と、市内で最も多くなっています。

④ 相談相手と将来への備え

- 心配事の相談相手は「別居の子ども」が 52.3%と、市内で最も多くなっています。
- 家族・友人以外での相談相手は「医師・歯科医師・看護師」が 32.9%と、市内で最も多くなっています。
- 人生の最終段階の医療・ケアについて家族等と「詳しく話し合っている」「一応話し合っている」「話し合ったことはある」を合わせた「話し合っている」は 60.8%と、市内で 2 番目に多くなっています。

12. 美加の台小学校区

① 身体機能と移動

- 「階段を手すりや壁をつたわずに昇っている」は 68.8%、「椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっている」は 82.8%、「15 分位続けて歩いている」は 87.0%と、いずれも市内で最も多くなっています。

- 「外出を控えていない」は 85.6%と、市内で最も多くなっています。
- 移動手段は「公共交通機関(電車)」が 52.6%と、市内で最も多く、「自動車(自分で運転)」も 66.5%と、市内で 2 番目に多くなっています。

② デジタル活用と社会参加の意欲

- 「インターネットを自分一人である程度利用している」が 73.5%と、市内で最も多くなっています。
- 「地域活動への参加者としての意向」は 68.3%、「企画・運営(お世話役)としての意向」は 46.5%と、いずれも市内で最も多くなっています。

③ 暮らしの状況

- 経済的な暮らしが「苦しい」は 20.0%と、市内で最も少なくなっています。
- 自分で預貯金の出し入れを「できるし、している」は 90.2%と、市内で最も多くなっています。
- 誰かと食事を共にする機会が「毎日ある」は 72.6%と、市内で最も多くなっています。

13. 南花台小学校区

① 住環境の特徴

- 「公営賃貸住宅」が 10.0%と、市内で最も多くなっています。

② 他者との交流

- 「若い人に自分から話しかけることがない」が 29.7%、「友人の家を訪ねていない」が 58.7%と、いずれも市内で最も多くなっており、他者との交流が少ない傾向にあります。

③ 公共交通の活用と社会参加

- 外出時の移動手段は「路線バス」が 45.9%と、市内で最も多くなっています。
- 会やグループへの参加は「趣味関係のグループ」が 39.0%と、市内で 3 番目に多くなっています。
- 「地域活動に参加者として参加したい」は 63.4%と、市内で 4 番目に多くなっています。

④ 高齢者の有するリスク

- 孤独を感じる事が「ある(たまに・時々・しばしば)」は 39.3%と、市内で最も多くなっています。
- 「栄養改善リスクを有する高齢者」は 11.2%と、市内 2 番目に多くなっています。
- 「この 1 か月間に気分が沈んだり、ゆううつになったりすることがあった」は 39.8%で、市内で 4 番目に多くなっています。

⑤ 転倒経験と自立した生活への意欲

- 「過去 1 年間に転んだ経験がない」は 69.9%と、市内で最も多くなっています。
- 認知症になった場合に「自分で工夫して今まで通り自立的に生活したい」は 16.2%と、市内で最も多くなっています。

V. 介護予防に着目した課題整理

1. 生活機能・健康状態の分析(個人の要因)

高齢者個人の心身の状態には、加齢や介護状況に応じた明確なリスクが見られます。

① 身体機能の低下

「運動器機能リスクを有する高齢者」は調査対象者全体で 32.5%にのぼります。特に「女性」が 36.0%、「後期高齢者」が 38.4%、「介護は必要」が 80.5%で、リスクが高くなっています。

② 転倒リスクと不安の解消

「転倒リスクを有する高齢者」は調査対象者全体の 33.0%となっています。特に「後期高齢者」は 36.3%、「介護は必要」は 61.8%で、リスクが高くなっています。

また、転倒への不安は「女性」が 64.4%、「後期高齢者」が 62.2%、「介護は必要」が 90.8%で高く、これが「外出控えの要因」になっている可能性があります。

③ 口腔機能と栄養改善

「栄養改善リスクを有する高齢者」(BMI18.5 未満)は調査対象者全体の 8.5%となっています。大きな差はないものの、「女性」「後期高齢者」「介護は必要」が多い傾向をしめしています。

「咀嚼機能リスクを有する高齢者」は調査対象者全体の 27.0%となっており、「後期高齢者」が 31.9%、「介護は必要」が 54.1%で、リスクが高くなっています。

④ 「こころ」の健康と認知症リスクへの対応

「認知症リスクを有する高齢者」は調査対象者全体の 40.9%となっており、特に「後期高齢者」が 44.0%、「介護は必要」が 57.1%と、リスクが高くなっています。

「うつリスクを有する高齢者」は調査対象者全体の 41.5%となっており、特に「介護は必要」が 66.3%と、リスクが高くなっています。

2. 生活環境・社会参加の分析(環境の要因)

社会とのつながりや移動手段の確保が、閉じこもり防止の鍵となります。社会参加は介護予防に効果があるとされ、「身体機能の維持・向上」「認知機能の向上・認知症予防」「精神的健康の維持」「孤立の解消」などにも有効であるとされています。

① 閉じこもりリスクと孤独

「閉じこもりリスクを有する高齢者」は調査対象者全体の 17.8%で、特に「後期高齢者」が 22.9%、「介護は必要」が 48.5%と、リスクが高くなっています。

孤独を感じる事が「たまにある」「時々ある」「しばしばある・常にある」を合わせた「ある」に着目すると、「全体」で 36.6%となっており、「女性」が 37.4%、「後期高齢者」が 37.1%、「介護は必要」が 58.8%となっています。

② 通いの場などへの参加状況

主な参加先は「趣味関係のグループ」が 33.5%、「町内会・自治会」が 33.4%となっています。

介護予防に直結する「いきいき百歳体操など、介護予防のための通いの場」への参加は「介護は必要」が 21.3%に対し、「介護は不要」は 7.9%にとどまっており、介護が必要ないころからの参加がのぞまれます。

③ 移動手段と外出

外出を控える理由は、「足腰などの痛み」が 57.9%と最も多く、次いで「交通手段がない」が 25.2%となっています。

移動手段は「徒歩」が66.3%と最も多く、次いで「自動車(自分で運転)」が51.2%、「電車」が44.2%、「路線バス」が 32.0%となっています。今後、高齢者の運転免許証の自主返納が増加していくことが予想されることから、公共交通手段の確保が課題になります。

④ 地域活動への参加

地域活動に参加者としての参加意向は「是非参加したい」「参加してもよい」「既に参加している」を合わせた「参加したい」に着目すると、「全体」が62.6%、「介護は不要」が64.9%、「介護は必要」は47.9%と、介護が必要な人の参加意欲が低くなっています。

3. 幸福度と介護予防

幸福感(主観的幸福感)と介護予防は密接に関連しており、高い幸福感は心身の健康を維持し、要介護状態になるリスクを下げる効果が期待できると言われています。

幸福度の平均は10点満点で7.35点でした。特に「介護は不要」が7.49点に対し、「介護は必要」は6.32点、健康状態が「良い」が7.62点に対し、「悪い」は6.07点、生きがいが「あり」が7.88点に対し、「なし」は6.46点、地域活動に参加者として、「参加したい」が7.54点、「参加したくない」は7.00点と、差が顕著になっています。

以上のことから、健康の維持や生きがい、社会参加の促進などによって、高齢者の幸福度を高め、介護予防につなげていく必要があります。

4. サービス利用・今後の意向分析(支援の要因)

相談体制の整備と、認知症に対する正しい理解の普及が課題です。

① 相談相手の有無

心配事の相談相手は「配偶者」が59.6%と最も多く、次いで「友人」が49.9%、「別居の子ども」が45.1%となっています。

また、家族や友人・知人以外の相談相手は「そのような人はいない」が43.2%と最も多く、次いで「医師・歯科医師・看護師」が27.3%、「地域包括支援センター・役場」が15.3%となっています。

「そのような人はいない」に着目すると、「男性」は46.7%、「前期高齢者」は51.9%、「介護は不要」は45.2%となっており、自治会や民生委員などの地域や地域包括支援センター、ケアマネジャーなどの専門機関が身近な相談相手として機能することが望まれます。

② 専門機関の認知度

地域包括支援センターの役割を「知っている」人は34.1%にとどまり、「地域包括支援センターの存在を知らない」は26.4%と回答しています。

また、認知症の相談窓口を知っている人は6.4%と極めて少ない状態です。この傾向は「男性」や「介護は不要」に顕著になっています。

③ 将来の不安

認知症になった際の不安は、「家族に身体的・精神的負担をかけるのではないか」が68.8%と最も多く、次いで「買い物や料理、車の運転など、これまでできていたことができなくなってしまうのではないか」が55.8%、「家族以外の周りの人に迷惑をかけてしまうのではないか」が36.5%となっています。

5. デジタル活用の格差(デジタル・ディバイド)

介護予防におけるデジタルディバイド(情報格差)は、高齢者が ICT 技術(スマホ、アプリ、オンラインサービス)を活用できず、介護・フレイル予防の機会を逸してしまう問題です。情報へのアクセスの成否が、孤立防止に影響を与える可能性があります。

インターネットを一人で利用できるのは「前期高齢者」が76.6%に対し、「後期高齢者」は46.0%にとどまっており、年齢による格差が大きくなっています。

インターネットを利用しない理由は「全体」では「使い方が分からない、難しい」が53.4%と最も多く、「自分の生活には必要ないと思っている」は35.9%となっており、使いこなしの難しさや必要性を感じないことがICT活用の障壁になっています。

ICTを活用した見守りや介護予防などの情報提供を進めるにあたって、これらを利用できない高齢者に対するていねいな支援が必要となります。

河内長野市介護予防・日常生活圏域ニーズ調査報告書

令和8(2026)年3月

編集・発行:河内長野市こどもの未来とウェルビーイング推進局

まちインクルーシブ地域福祉高齢課

〒586-8501

大阪府河内長野市原町一丁目1番1号

TEL 0721-53-1111(代表)

<https://www.city.kawachinagano.lg.jp/>